

立川市高齢者福祉介護計画改定事前調査

報 告 書

令和8（2026）年4月



立 川 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
(1) 調査の種類	1
(2) 調査期間	1
(3) 調査方法	1
3. 実施状況	1
4. 報告書の見方	2
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
1. 調査対象者について	3
(1) 性別・年齢	3
(2) 居住地区	4
(3) 家族構成	5
(4) 介護・介助の必要性	7
(5) 介護・介助が必要になった原因	9
(6) 主な介護・介助者	12
(7) 主な介護・介助者の年齢	14
(8) 経済的にみた現在の暮らしの状況	16
(9) 住居形態	18
2. からだを動かすことについて	20
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	20
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	22
(3) 15分位続けて歩いているか	24
(4) 過去1年間の転倒経験	26
(5) 転倒に対する不安	28
(6) 週に1回以上の外出の状況	30
(7) 昨年と比べた外出回数の減少状況	32
(8) 外出する際の移動手段	36
3. 食べることについて	38
(1) BMIの状況	38
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	40
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか	42
(4) 口の渇きが気になるか	44

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況	46
(6) 6か月で2～3kg以上の体重減少の有無	48
(7) 共食の機会	50
4. 毎日の生活について	52
(1) 物忘れが多いと感じるか	52
(2) 周りの人から物忘れを指摘されるか	54
(3) 日にちがわからない時があるか	56
(4) 自分で電話をかけることができるか	58
(5) 1人で外出できるか	60
(6) 自分で食品・日用品の買物ができるか	62
(7) 自分で食事の用意ができるか	64
(8) 自分で請求書の支払いができるか	66
(9) 自分で預貯金の出し入れができるか	68
(10) 友人の家を訪ねているか	70
(11) 家族や友人の相談にのっているか	72
(12) 趣味の有無	74
(13) 生きがいの有無	76
5. 地域での活動について	78
(1) 社会参加の状況	78
(2) 社会参加しない理由	84
(3) 地域住民のグループ活動による地域づくりへの参加意向	86
(4) 地域住民のグループ活動による地域づくりに参加しやすくする働きかけ	88
(5) 地域住民のグループ活動による地域づくりへの企画・運営での参加意向	90
(6) 企画・運営を行ううえで必要なサポート	92
(7) 地域の人から期待されている	93
6. あなたとまわりの人の「たすけあい」について	95
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	95
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	97
(3) 看病や世話をしてくれる人	99
(4) 看病や世話をしてあげる人	101
(5) 家族や友人・知人以外の相談相手	103
(6) 頼れる人がいない時に困る対応	105
7. 健康について	107
(1) 現在の健康状態	107
(2) 定期的な健康診断の受診状況	109

(3) 健康診断を受けていない理由	111
(4) 幸福度	113
(5) この1か月間は気分が沈む	115
(6) この1か月間は心から楽しめない	117
(7) ここ2週間は充実感がない	119
(8) ここ2週間は楽しめなくなった	121
(9) ここ2週間はおっくうに感じる	123
(10) ここ2週間は自分が役立つ人間だと思えない	125
(11) ここ2週間は疲れた感じがする	127
(12) 飲酒の状況	129
(13) 喫煙状況	132
(14) 治療中の病気	135
8. かかりつけ医などについて	137
(1) かかりつけ医の有無	137
(2) かかりつけ医の医療機関	139
(3) かかりつけ医の所在地	141
(4) かかりつけ医がいない理由	143
(5) かかりつけ歯科医の有無	145
(6) かかりつけ薬剤師・薬局の有無	147
9. ご近所づきあいについて	149
(1) ご近所の見守り活動を広げるために必要なこと	149
(2) ご近所との今後のお付き合いについて	151
10. 就労について	153
(1) 就労の継続意向	153
(2) 就労継続意向の理由	155
(3) 就労先探しの方法	157
11. 生活の心配や相談先などについて	159
(1) 今後の暮らしで不安に感じていること	159
(2) 施設・サービス等の認知・利用状況	161
(3) 通信・通話機器の利用状況	180
(4) 通信・通話機器の利用目的	182
(5) 社会的孤立	184
(6) ご近所からの見守り希望	186
(7) 社会的孤立を防ぐために必要なこと	188
(8) 見守りボランティアへの協力意向	190

1 2.	今後の暮らしについて	192
	(1) 介護が必要になった時に希望する生活	192
	(2) 介護が必要になった生活について家族等と話し合った経験	194
	(3) エンディングノートの認知状況	196
	(4) ACPの認知状況	198
	(5) 人生の最後を迎えたい場所	200
	(6) 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うか	202
	(7) 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなわないと思う理由	204
	(8) 成年後見制度の利用意向	206
	(9) 成年後見制度を利用したくない理由	208
1 3.	認知症の支援などについて	210
	(1) 認知症の症状がある人	210
	(2) 認知症の人と接した経験	212
	(3) 認知症の人の日常生活のイメージ	214
	(4) 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすために必要な取組	216
	(5) 認知症の人が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか	218
	(6) 認知症の人が生活するために必要だと思う地域住民の協力	220
	(7) 認知症の人が生活するために地域住民の協力が必要だと思わない理由	222
	(8) 認知症に関する相談窓口の認知度	224
	(9) 認知症サポーター養成講座の参加意向	226
	(10) 認知症についての情報源	228
	(11) 若年性認知症で知っていること	230
	(12) 認知症になったときのことを考えたことがある	232
	(13) 認知症になったらと考えたこと	234
	(14) 認知症になったときにどうしたいか	236
	(15) 認知症になったときのことを考えなかった理由	238
1 4.	災害時の対応について	240
	(1) 災害時の備え	240
	(2) 災害時の自力避難の困難者について	242
	(3) 災害時の避難等を手助けしてくれる方	244
	(4) 避難所生活の心配事	246
	(5) 災害時にできる近所への支援	248
1 5.	介護保険のことについて	250
	(1) 健康でいるためにしていること	250
	(2) 介護保険制度について知りたいこと	252

(3) 介護保険に関する情報源	254
(4) 介護保険と保険料についての考え	256
(5) 介護者への支援として力を入れるべき取組	258
(6) 介護保険制度をよりよくするために市に期待すること	260
16. リスク判定等	262
(1) 運動器機能の低下リスク	262
(2) 転倒リスク	264
(3) 閉じこもり傾向	265
(4) 低栄養状態	267
(5) 口腔機能の低下リスク	268
(6) 認知機能の低下リスク	270
(7) うつ傾向	271
(8) うつ病の可能性	273
(9) IADL（手段的自立度）の低下	275
(10) 生活機能全般の低下リスク（基本チェックリスト）	277
第3章 在宅介護実態調査	279
1. 調査対象者について	279
(1) 性別・年齢	279
(2) 居住地区	280
(3) 家族構成	281
(4) 居住形態	281
(5) 要介護度認定の状況	282
(6) 介護が必要となった原因	283
(7) 訪問診療の利用	286
(8) 介護保険サービス以外のサービス利用状況	288
(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	290
(10) 介護保険サービス以外で費用がかかるもの	292
(11) 介護保険サービスの利用状況	294
(12) 利用回数等を増やしたい・新規に利用を始めたい介護保険サービス	302
(13) 介護保険サービスを利用する上での困っていること	304
(14) 介護保険サービスを利用していない理由	306
(15) 現在の介護保険料について	308
(16) 介護保険サービスと介護保険料の関連性について	310
(17) ケアマネジャーに求めること	312
(18) 施設などへの入所・入居検討状況	314

(19) 入所・入居を希望している施設	315
(20) 家族介護の頻度	317
2. 家族介護者について	318
(1) 主な家族介護者について	318
(2) 主な介護者が行っている介護	321
(3) 認知症状の対応で困っていること	323
(4) 主な介護者の介護期間	325
(5) 一日あたりの介護時間	326
(6) 不安に感じる介護等について	327
(7) 認知症状の対応に係る支援	329
(8) 過去1年間の介護離職の状況	331
(9) 主な介護者の勤務形態	333
(10) 介護をするにあたっての働き方の調整	334
(11) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援	336
(12) 主な介護者の仕事と介護の両立の継続について	338
(13) 介護についての相談先	340
(14) 介護に関して困っていること	342
(15) 介護する家族への支援として市が力を入れるべき取組	344
第4章 介護保険事業所向けアンケート調査	346
1. 回答事業所の属性	346
(1) 回答事業所のサービスの種類	346
(2) 事業所開設時期	347
(3) 法人の開設時期	348
(4) 法人の組織形態	349
(5) 事業所及び併設事業所で提供している介護保険サービスの種類	350
(6) 実施している介護保険サービス以外の事業	351
2. サービスの提供体制について	352
(1) スタッフの人員構成	352
(2) スタッフの年齢構成	356
(3) 人材不足の状況	357
(4) 人材不足によるサービス提供への影響	358
(5) 職種別従業者の過不足感	359
3. 介護人材の確保・育成について	360
(1) 従業者の募集方法	360
(2) 採用実績の高い募集方法	361

(3) 民間人材紹介会社からの紹介状況	362
(4) 採用希望人数と採用人数	363
(5) 未経験者の募集・採用について	364
(6) 採用の困難感について	365
(7) 人材確保にあたっての課題	366
(8) 人材の確保に最も困難な課題	368
(9) 外国人介護従事者の活用状況	370
(10) 外国人介護従事者の受け入れ時の課題	371
(11) 外国人介護従事者の活用予定がない理由	373
(12) 外国人介護従事者の採用予定経路	374
(13) 外国人介護従事者の受け入れ状況	375
(14) 受け入れた外国人介護従事者の国籍	375
(15) 介護人材確保のために市が行うべき施策	376
4. サービスの質の向上のための取組について	380
(1) 過去1か月間の苦情受付件数	380
(2) 苦情の内容	381
(3) サービスの質の向上のために力を入れている取組	382
(4) 地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいること	386
(5) ボランティアの受け入れ状況	388
(6) 自立支援・介護予防・重度化防止等の取組	389
(7) 周辺業務の介護助手の従事	389
(8) 採用したい介護助手	390
(9) 介護助手に依頼したい仕事	391
5. 近年の制度改正の影響や職員処遇について	392
(1) 介護職員等処遇改善加算の取得状況	392
(2) 介護職員等処遇改善加算の取得による職員の採用や定着	393
(3) 介護職員等処遇改善加算を取得していない理由	394
(4) 介護報酬の改定に伴う影響や変化	395
6. 介護保険サービスの経営状況について	397
(1) 事業所の経営状況	397
(2) 赤字の主な理由	398
(3) 介護保険サービスの将来性について	399
(4) 今後の事業展開について	400
7. 近年の物価高騰の影響について	402
(1) 物価高騰による影響の有無	402

(2) 物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる経費	403
8. 市内の介護保険事業所の状況等について	405
(1) 居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数	405
(2) ケアプラン作成時の問題・課題	406
(3) 市内で不足している介護保険サービス	407
(4) 事業所で高齢者虐待が疑われたときの対応	408
(5) 事業所での高齢者虐待防止に必要なこと	409
(6) 災害に係る業務継続計画（BCP）の周知状況	411
(7) 感染症に係る業務継続計画（BCP）の周知状況	412
(8) 現在行っている非常災害時の対策	413
(9) 介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと	415
(10) 介護職員等の早期離職や定着促進を図るための方策	417
資料編 調査票	420
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	420
(2) 在宅介護実態調査	434
(3) 介護保険事業所向けアンケート調査	442

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

立川市では、令和9(2027)年度を初年度とする「立川市高齢者福祉介護計画(第10次高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画)」を策定するにあたり、市民を取り巻く環境の変化や問題点などを把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査の設計

(1) 調査の種類

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査(対象:市内在住の要介護認定を受けていない方)
地域の要支援者・総合事業対象者・一般高齢者を対象に、地域の抱える課題の特定に資することなどを目的として実施
- 在宅介護実態調査(対象:市内在住の要介護認定を受けている方)
「要介護状態にある高齢者の在宅生活の継続」と「家族介護者の就労継続」の実現に向け、有効なサービス提供体制の在り方を検討するための基礎資料を得ることを目的として実施
- 介護保険事業所向けアンケート調査(対象:市民の利用する介護サービス事業所)
事業所の現在のサービス提供の状況や今後の事業展開に向けた意向等を把握し、将来の持続的なサービス提供体制を検討するための基礎資料を得ることを目的として実施

(2) 調査期間

令和7(2025)年11月10日(月)から令和7(2025)年12月15日(月)まで

(3) 調査方法

- ・郵送による調査票の配布
- ・返信用封筒による郵送回収またはオンライン回答

3. 実施状況

図表 1-1 実施状況

調査名	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査	介護保険事業所向け アンケート調査
対象者数	3,000件(無作為抽出)	1,500件(無作為抽出)	300件
記名の有無	無記名式	無記名式	記名式
有効回答数	1,893件 うちオンライン回答:149件	816件 うちオンライン回答:69件	248件 うちオンライン回答:119件
回答率	63.1% オンライン回答率:5.0%	54.4% オンライン回答率:4.6%	82.7% オンライン回答率:39.7%


※ 調査期間を過ぎて届いた回答については、集計に支障がないかぎり有効票としました。

4. 報告書の見方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 集計は、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文及び図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記します。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。また、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図中、構成比が5.0%以下の場合、数値の表記を省略する場合があります。
- 本市では、立川市高齢者福祉介護計画（第9次高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画）において、下記の6つの地区を日常生活圏域として設定しています。

図表 1-2 日常生活圏域

圏域	町名	図表での表記
南部西地区	富士見町、柴崎町	南部西
南部東地区	錦町、羽衣町	南部東
中部地区	曙町、高松町、緑町	中部
北部東地区	栄町、若葉町	北部東
北部中地区	幸町、柏町、泉町、砂川町	北部中
北部西地区	上砂町、一番町、西砂町	北部西

- クロス集計の際には、回答者数を「全体」と表記し、特徴的なものについては、性別、年齢別、圏域別、職業別等の分類でクロス集計表を掲載し、分析を行っています。また、最も高いものには  をつけています。
- 前回調査（令和4（2022）年度に実施した調査）と同じ設問の場合には、比較した結果として特徴があった場合には図表を掲載しています。ただし、前回調査時に新型コロナウイルス感染症による影響があったと思われる場合には、前々回（令和元（2019）年度に実施した調査）と比較する場合があります。
- 「介護保険事業所向けアンケート調査」は、市民が利用している事業所に調査依頼を行っているため、立川市以外の事業所にも調査依頼を行っています。前回調査では立川市内事業所のみを集計結果を公表値としていましたが、今回調査では有効回答の中に立川市外の事業所を含んでいます。

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

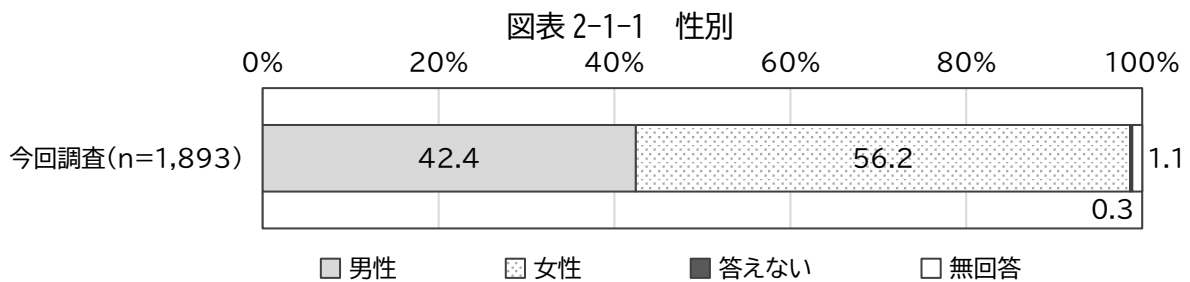
1. 調査対象者について

(1) 性別・年齢

問1 あなた（あて名ご本人）の性別・年齢をお選びください。

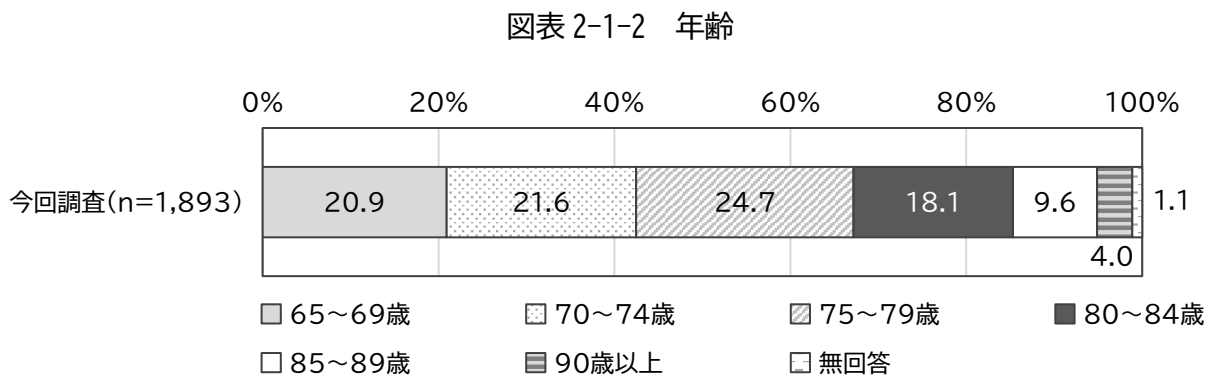
(1) 性別（○は1つ）

性別については、「男性」が42.4%、「女性」が56.2%となっています。



問1 (2) 年齢（○は1つ）

年齢については、「75～79歳」が24.7%と最も高く、次いで「70～74歳」が21.6%、「65～69歳」が20.9%となっています。



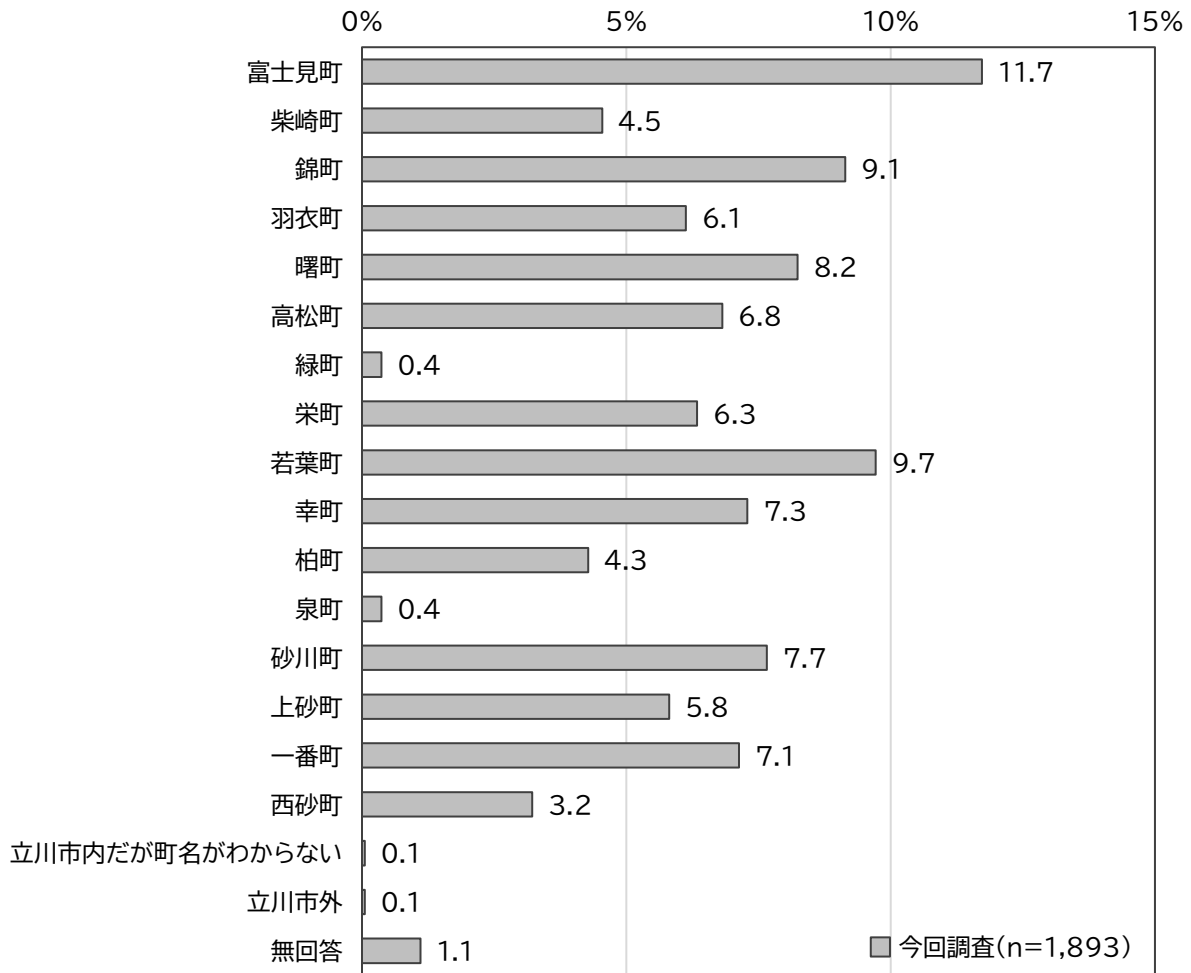
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(2) 居住地区

問2 お住まいの町名は次のうちどれですか。(○は1つ)

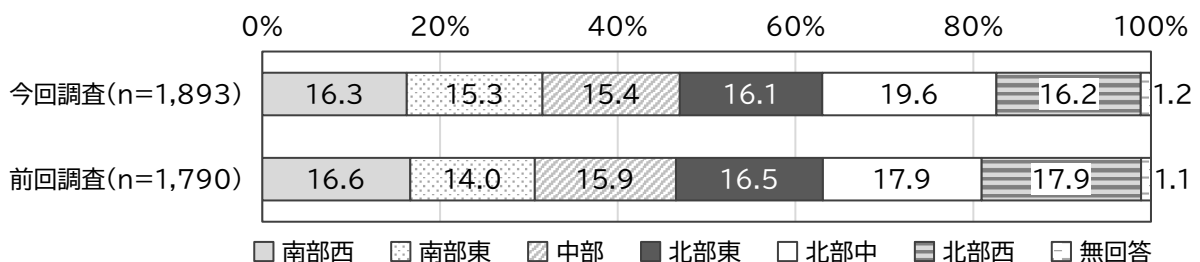
居住地域については、「富士見町」が11.7%と最も高く、次いで「若葉町」が9.7%、「錦町」が9.1%となっています。

図表 2-1-3 居住地域



居住地区(日常生活圏域)については、「北部中」が19.6%と最も高く、次いで「南部西」が16.3%、「北部西」が16.2%となっています。

図表 2-1-4 居住地区



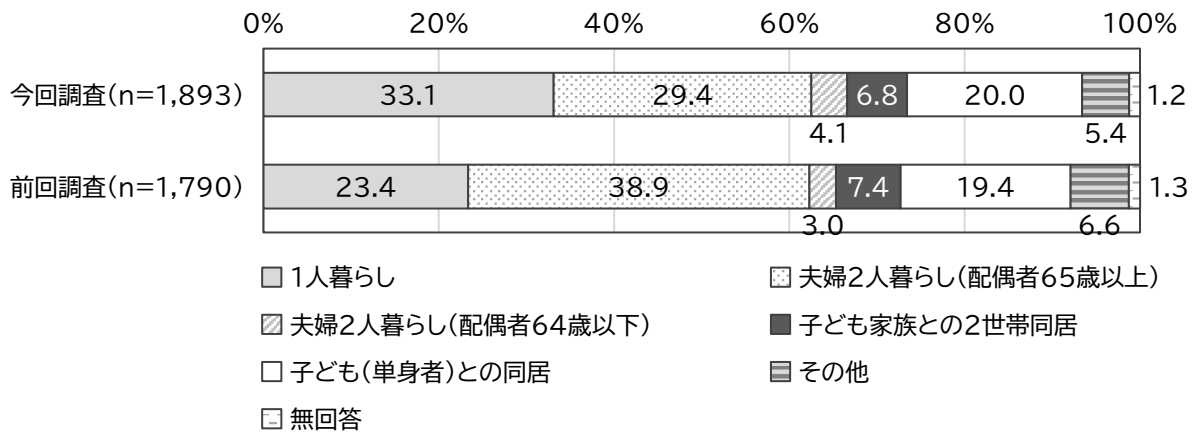
(3) 家族構成

問3 (1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

家族構成については、「1人暮らし」が33.1%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が29.4%、「子ども(単身者)との同居」が20.0%となっています。

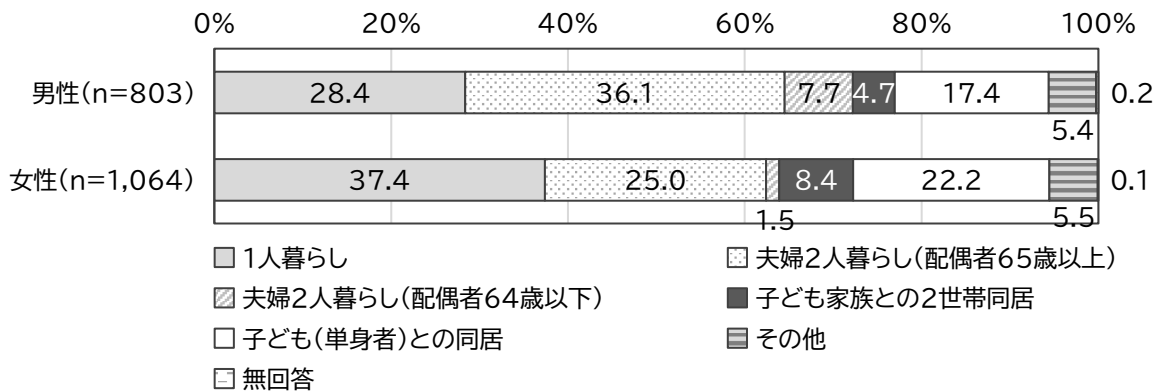
前回調査と比較すると、「1人暮らし」(33.1%)が前回調査(23.4%)より9.7ポイント増加しています。

図表 2-1-5 家族構成



性別で見ると、「1人暮らし」では、女性が37.4%で、男性(28.4%)より9.0ポイント高くなっています。

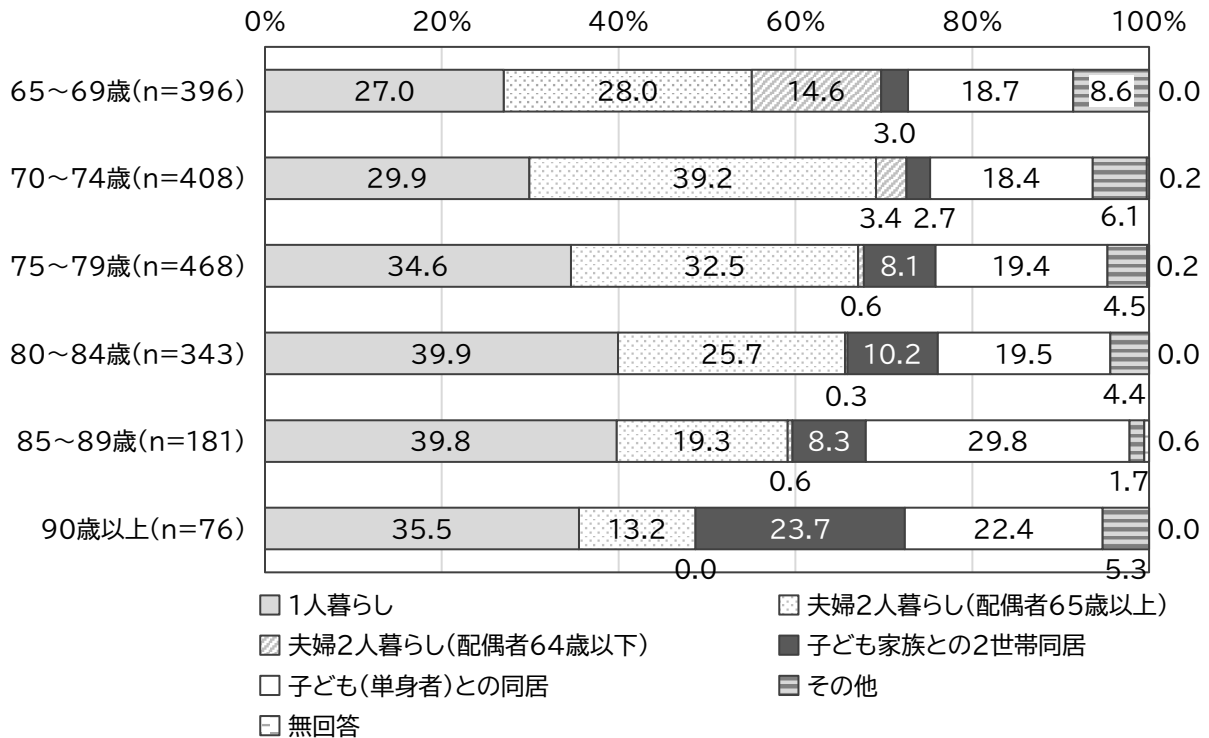
図表 2-1-6 家族構成 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

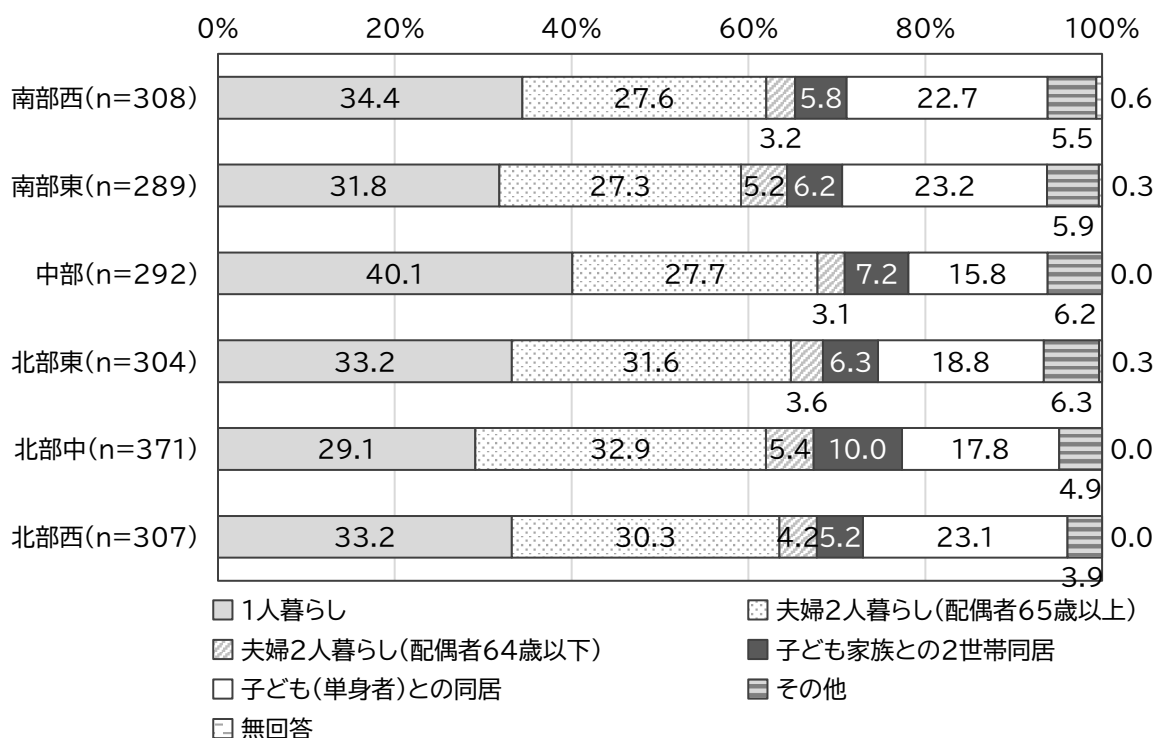
年齢別でみると、「1人暮らし」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、80～84歳では39.9%となっています。他方で、90歳以上になると「子ども家族との2世帯同居」が23.7%と他の年代よりも高くなっています。

図表 2-1-7 家族構成 年齢別



圏域別でみると、「1人暮らし」では、中部地区が40.1%と最も高くなっています。

図表 2-1-8 家族構成 圏域別



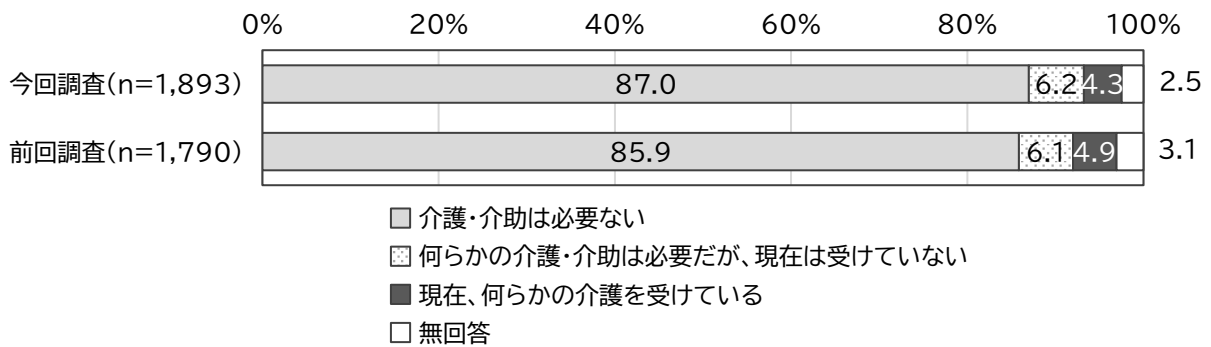
(4) 介護・介助の必要性

問3 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が87.0%と最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.2%、「現在、何らかの介護を受けている」が4.3%となっています。

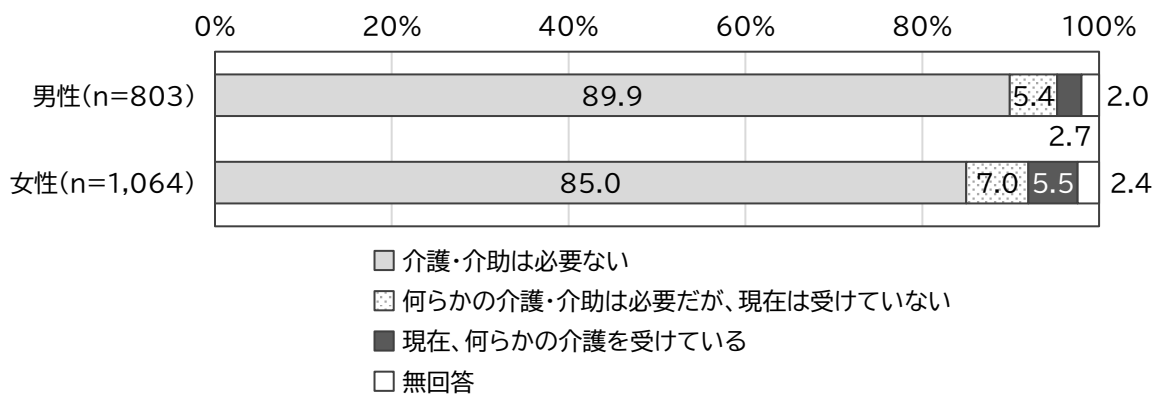
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-1-9 介護・介助の必要性



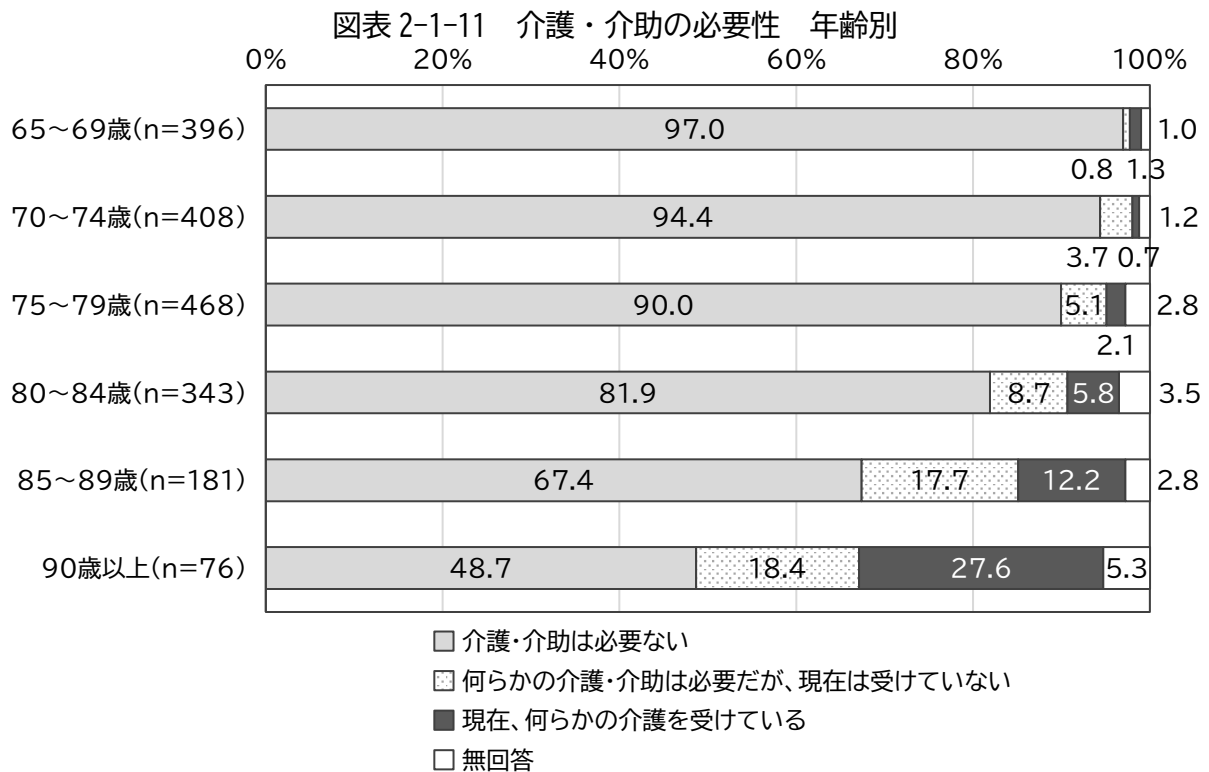
性別でみると、『介護・介助が必要』（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と「現在、何らかの介護を受けている」の合計）では、女性が12.5%で、男性（8.1%）より4.4ポイント高くなっています。

図表 2-1-10 介護・介助の必要性 性別

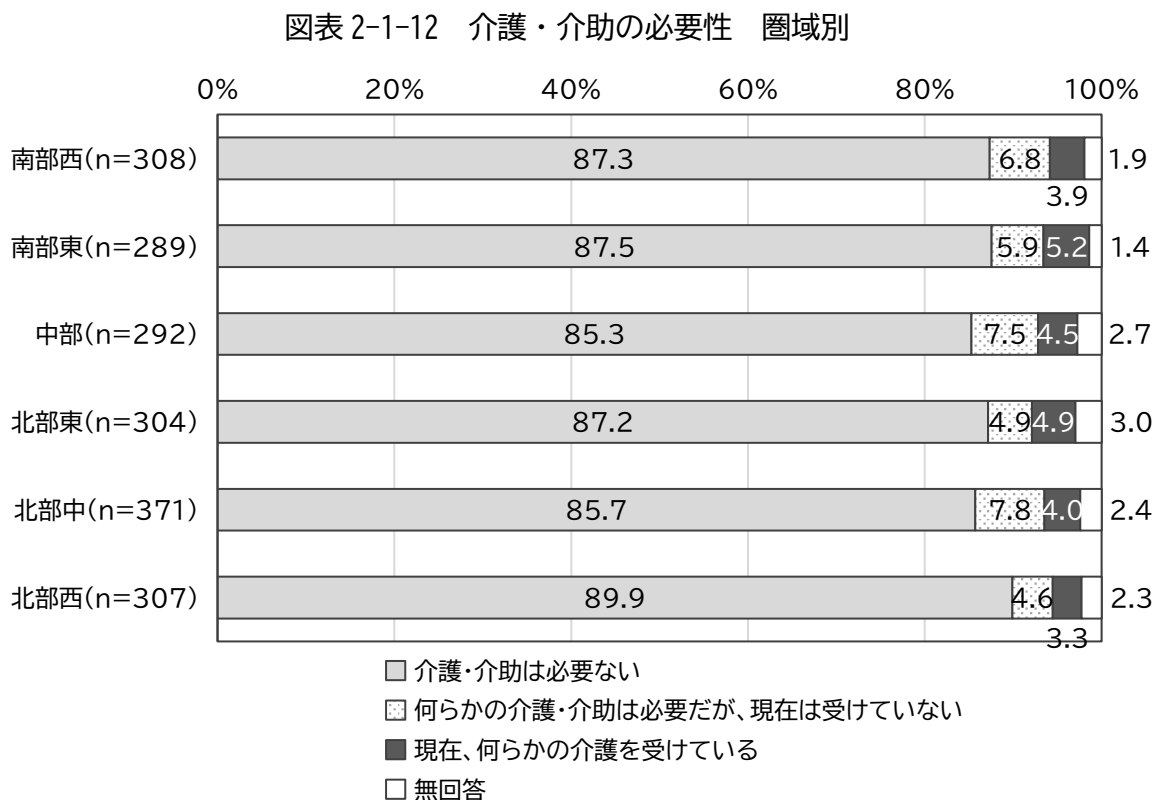


第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

年齢別でみると、『介護・介助が必要』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上が46.0%で最も高くなっています。



圏域別でみると、『介護・介助が必要』では、中部地区が12.0%で最も高くなっています。



(5) 介護・介助が必要になった原因

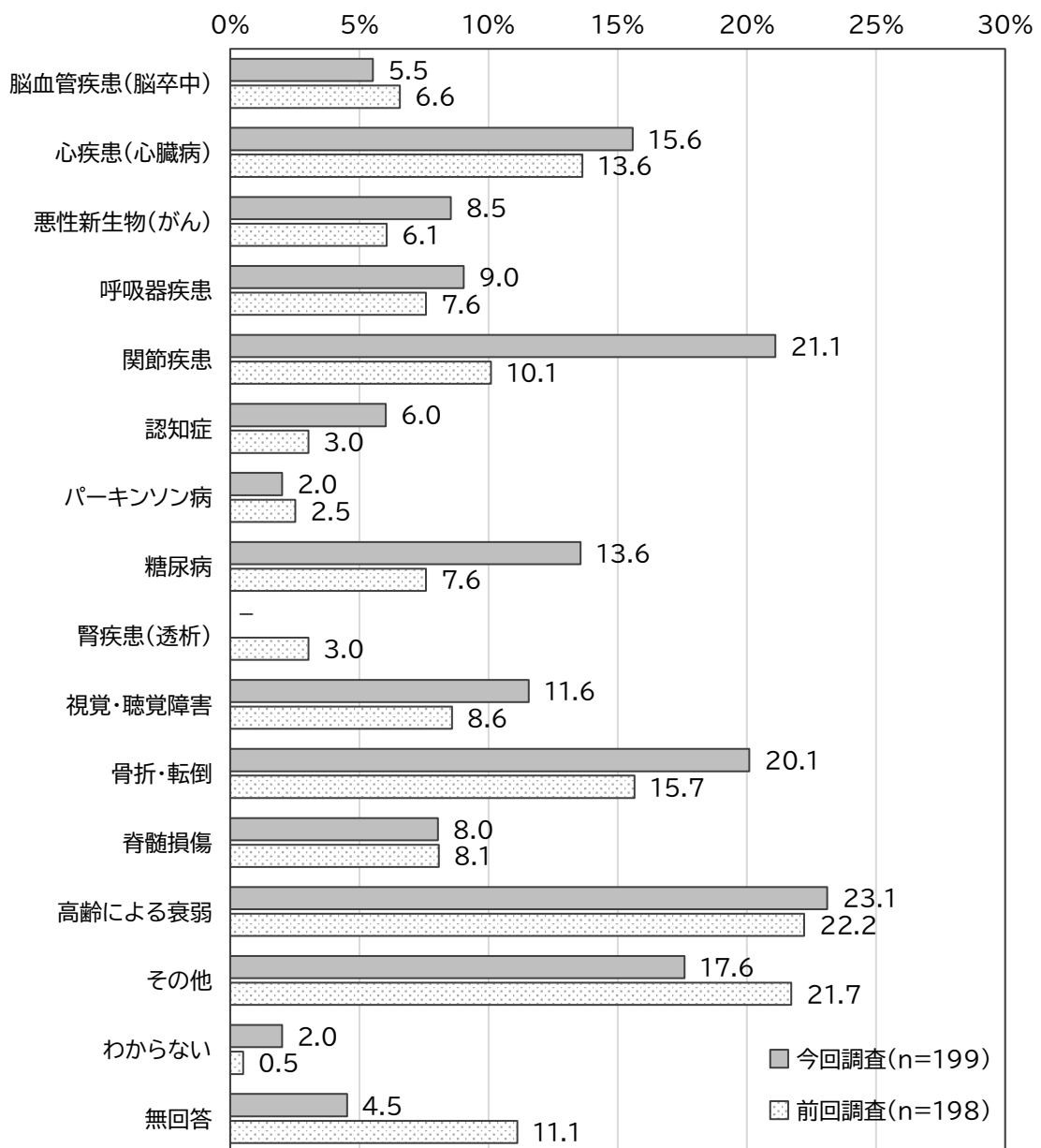
【問3-(2)で「2」「3」(介護・介助が必要)とお答えになった方におたずねします。】

①介護・介助が必要になった原因は何ですか。(〇はいくつでも)

介護・介護が必要になった原因については、「高齢による衰弱」が23.1%と最も高く、次いで「関節疾患」が21.1%、「骨折・転倒」が20.1%となっています。

前回調査と比較すると、「関節疾患」(21.1%)が前回調査(10.1%)より11.0ポイント増加しています。

図表 2-1-13 介護・介助が必要になった原因



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性では「心疾患（心臓病）」と「高齢による衰弱」が24.6%と最も高く、女性では「関節疾患」が25.4%と最も高くなっています。

年齢別で見ると、85～89歳では「関節疾患」と「骨折・転倒」、65～69歳と80～84歳では「その他」、70～79歳では「関節疾患」、90歳以上では「高齢による衰弱」の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-14 介護・介助が必要になった原因 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患(心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	関節疾患	認知症	パーキンソン病	糖尿病	視覚・聴覚障害	骨折・転倒
全体		199	5.5	15.6	8.5	9.0	21.1	6.0	2.0	13.6	11.1	20.1
性別	男性	65	6.2	24.6	12.3	16.9	12.3	9.2	3.1	20.0	15.4	13.8
	女性	134	5.2	11.2	6.7	5.2	25.4	4.5	1.5	10.4	9.0	23.1
年齢別	65～69歳	8	12.5	0.0	25.0	25.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0
	70～74歳	18	16.7	11.1	16.7	5.6	27.8	0.0	5.6	16.7	11.1	22.2
	75～79歳	34	8.8	11.8	11.8	8.8	20.6	8.8	5.9	17.6	5.9	17.6
	80～84歳	50	2.0	14.0	8.0	6.0	20.0	8.0	2.0	14.0	14.0	20.0
	85～89歳	54	3.7	16.7	5.6	7.4	27.8	5.6	0.0	13.0	11.1	27.8
	90歳以上	35	2.9	25.7	2.9	14.3	11.4	2.9	0.0	8.6	14.3	14.3

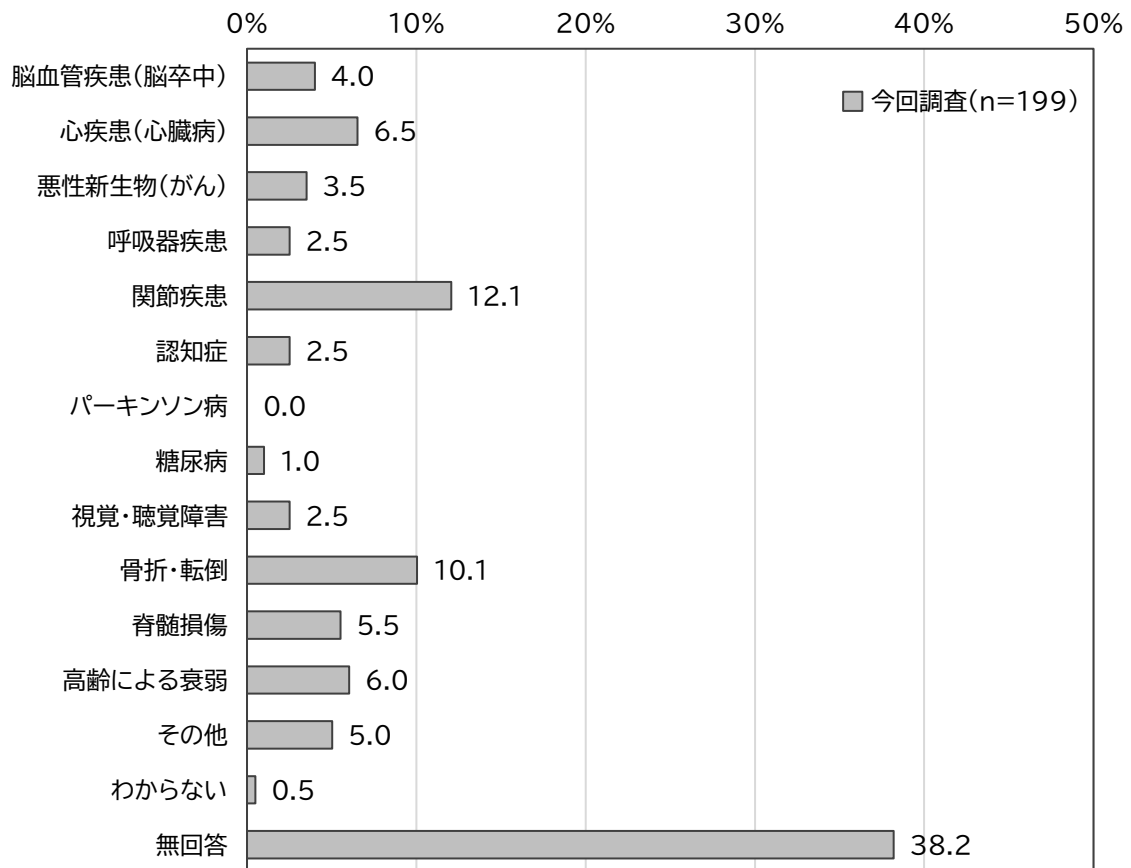
		合計	脊髄損傷	高齢による衰弱	その他	わからない	無回答
全体		199	7.5	23.1	17.6	2.0	5.5
性別	男性	65	9.2	24.6	13.8	4.6	4.6
	女性	134	6.7	22.4	19.4	0.7	6.0
年齢別	65～69歳	8	0.0	12.5	37.5	0.0	12.5
	70～74歳	18	0.0	16.7	16.7	0.0	5.6
	75～79歳	34	5.9	14.7	11.8	0.0	14.7
	80～84歳	50	10.0	14.0	22.0	2.0	0.0
	85～89歳	54	9.3	25.9	14.8	3.7	5.6
	90歳以上	35	8.6	45.7	17.1	2.9	2.9

【問3-(2)で「2」「3」(介護・介助が必要)とお答えになった方におたずねします。】

②上記(①介護・介助が必要になった原因)のうち、主な原因を記入してください。

介護・介助が必要になった主な原因については、「関節疾患」が12.1%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が10.1%、「心疾患(心臓病)」が6.5%となっています。

図表 2-1-15 介護・介助が必要になった主な原因



(6) 主な介護・介助者

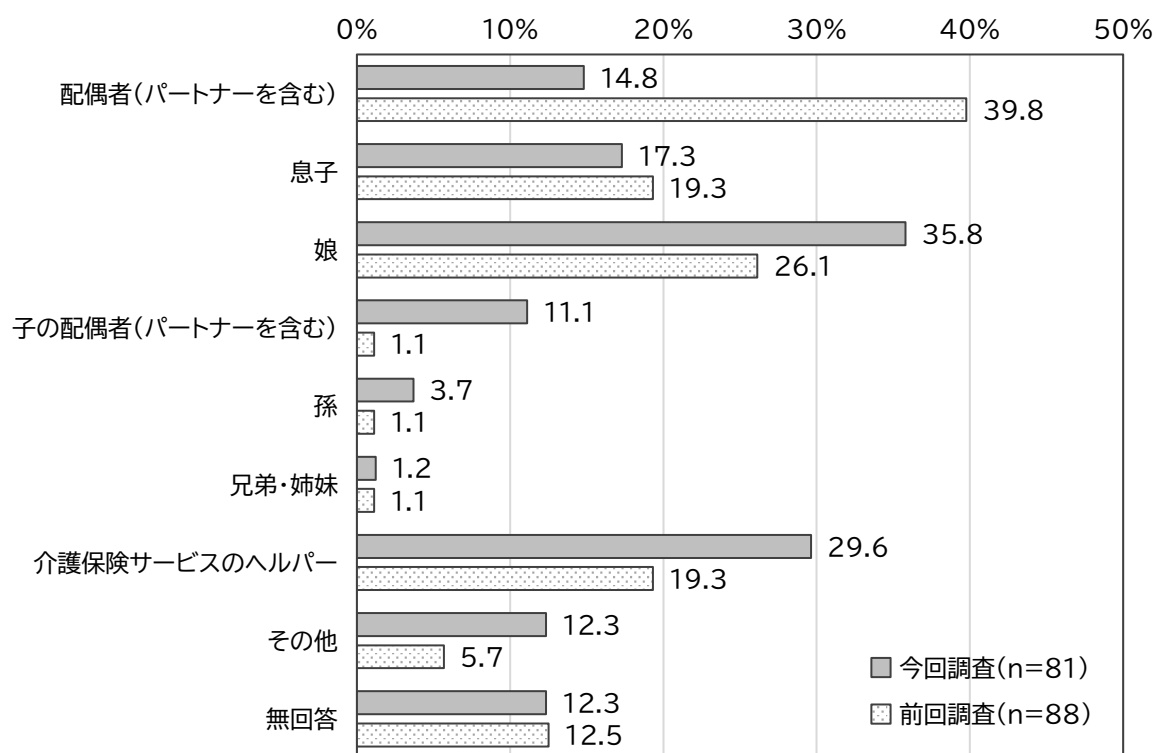
【問3-(2)で「3」(介護・介助を受けている)とお答えになった方におたずねします。】

③主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

主な介護・介助者では、「娘」が35.8%と最も高く、次いで「介護保険サービスのヘルパー」が29.6%、「息子」が17.3%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者(パートナーを含む)」(14.8%)が前回調査(39.8%)より25.0ポイント減少し、「介護保険サービスのヘルパー」(29.6%)が前回調査(19.3%)より10.3ポイント増加しています。

図表 2-1-16 主な介護・介助者



性別で見ると、男性では「介護保険サービスのヘルパー」が31.8%と最も高く、次いで「配偶者（パートナーを含む）」と「娘」が22.7%となっており、女性では「娘」が40.7%と最も高く、次いで「介護保険サービスのヘルパー」が28.8%となっています。また、「娘」では、女性が40.7%で、男性（22.7%）より18.0ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、75～84歳では「介護保険サービスのヘルパー」が最も高く、85歳以上では「娘」の割合が最も高くなっています。

図表 2-1-17 主な介護・介助者 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	配偶者(パートナーを含む)	息子	娘	子の配偶者(パートナーを含む)	孫	兄弟・姉妹	介護保険サービスのヘルパー	その他	無回答
全体		81	14.8	17.3	35.8	11.1	3.7	1.2	29.6	12.3	12.3
性別	男性	22	22.7	13.6	22.7	4.5	0.0	0.0	31.8	18.2	18.2
	女性	59	11.9	18.6	40.7	13.6	5.1	1.7	28.8	10.2	10.2
年齢別	65～69歳	5	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0
	70～74歳	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
	75～79歳	10	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	0.0	30.0	10.0	20.0
	80～84歳	20	25.0	10.0	40.0	15.0	0.0	0.0	45.0	10.0	20.0
	85～89歳	22	13.6	31.8	45.5	9.1	4.5	0.0	13.6	4.5	9.1
	90歳以上	21	4.8	19.0	42.9	14.3	4.8	0.0	38.1	9.5	9.5

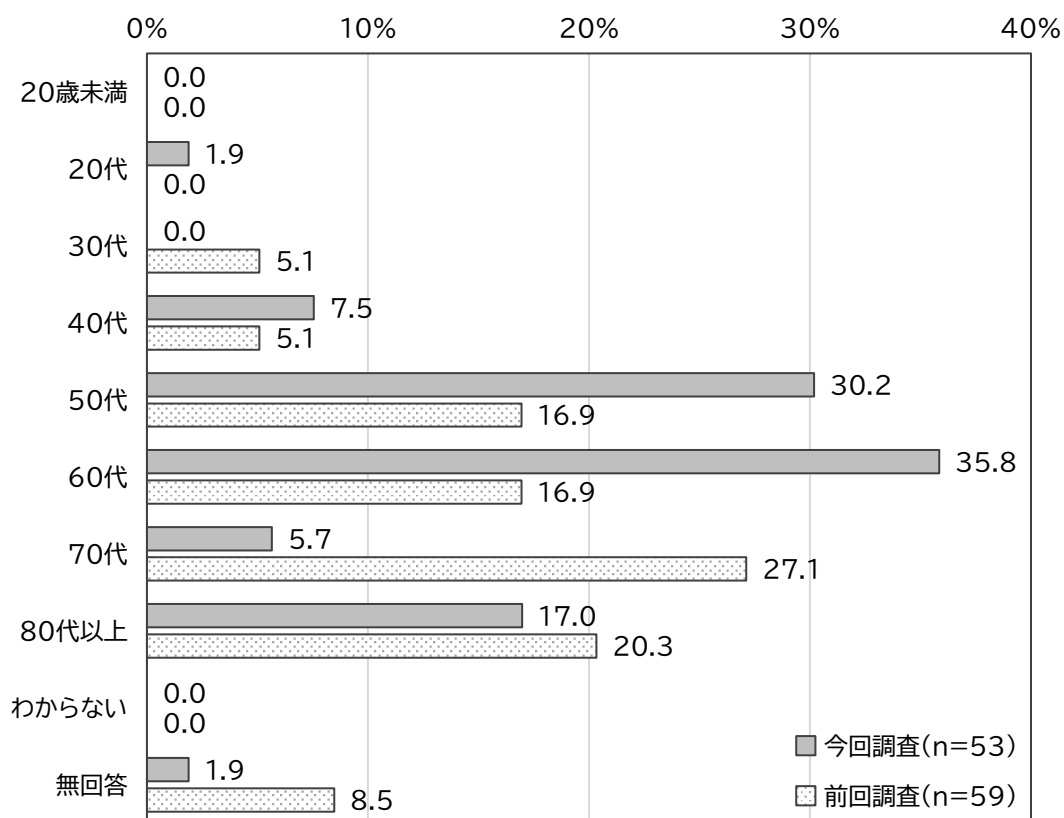
(7) 主な介護・介助者の年齢

【問3-(2)③で「1」～「6」(主な介護者が家族)とお答えになった方におたずねします。】
 ④主な介護者の方の年齢をお答えください。(〇は1つ)

主な介護・介助者の年齢では、「60代」が35.8%と最も高く、次いで「50代」が30.2%、「80代以上」が17.0%となっています。

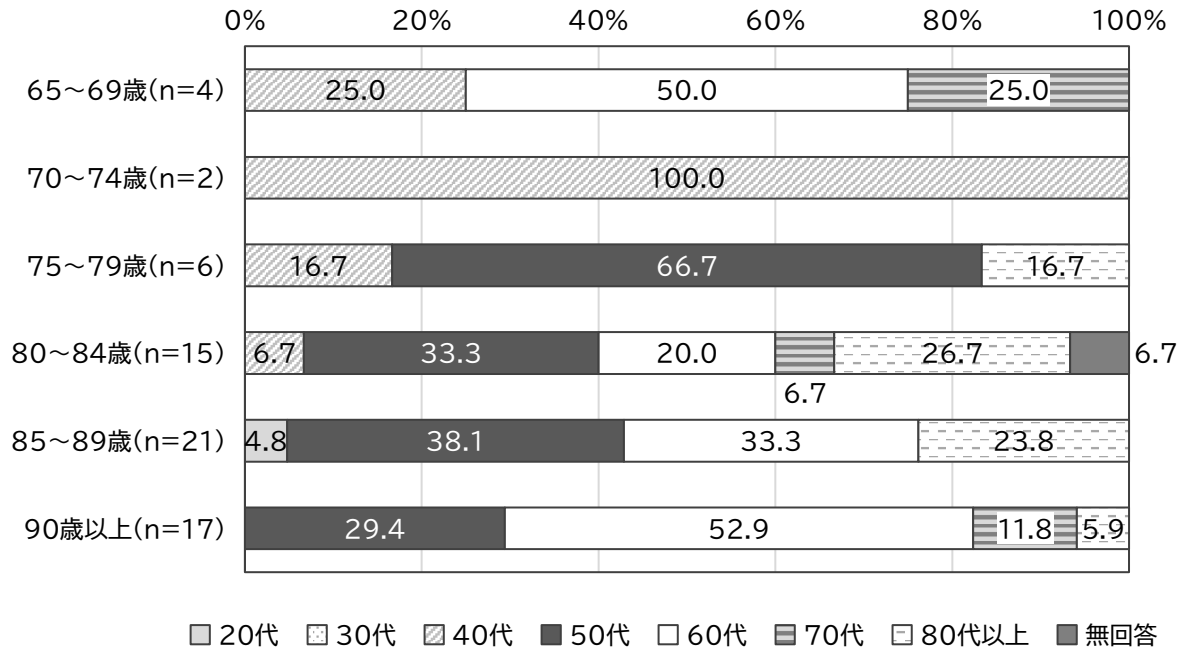
前回調査と比較すると、「70代」(5.7%)が前回調査(27.1%)より21.4ポイント減少し、「60代」(35.8%)が前回調査(16.9%)より18.9ポイント増加しています。

図表 2-1-18 主な介護・介助者の年齢



年齢別でみると、回答者の年齢が上がるにつれて、主な介護・介助者の年齢も上がっており、75～79歳では「50代」が66.7%と最も高く、90歳以上では「60代」が52.9%と最も高くなっています。

図表 2-1-19 主な介護・介助者の年齢



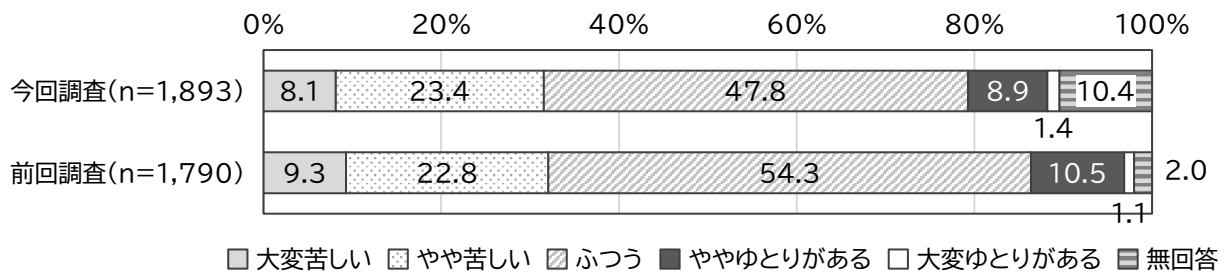
(8) 経済的にみた現在の暮らしの状況

問3 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

経済的にみた現在の暮らしの状況については、「ふつう」が47.8%と最も高く、次いで「やや苦しい」が23.4%、「ややゆとりがある」が8.9%となっています。

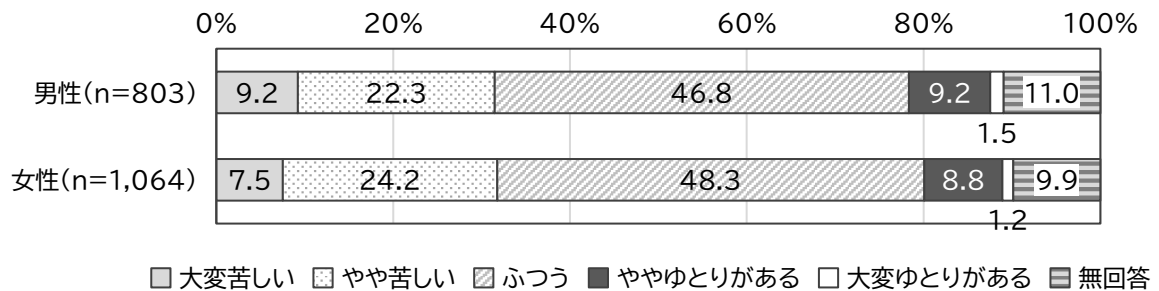
前回調査と比較すると、「ふつう」(47.8%)が前回調査(54.3%)より6.5ポイント減少しています。

図表 2-1-20 経済的にみた現在の暮らしの状況



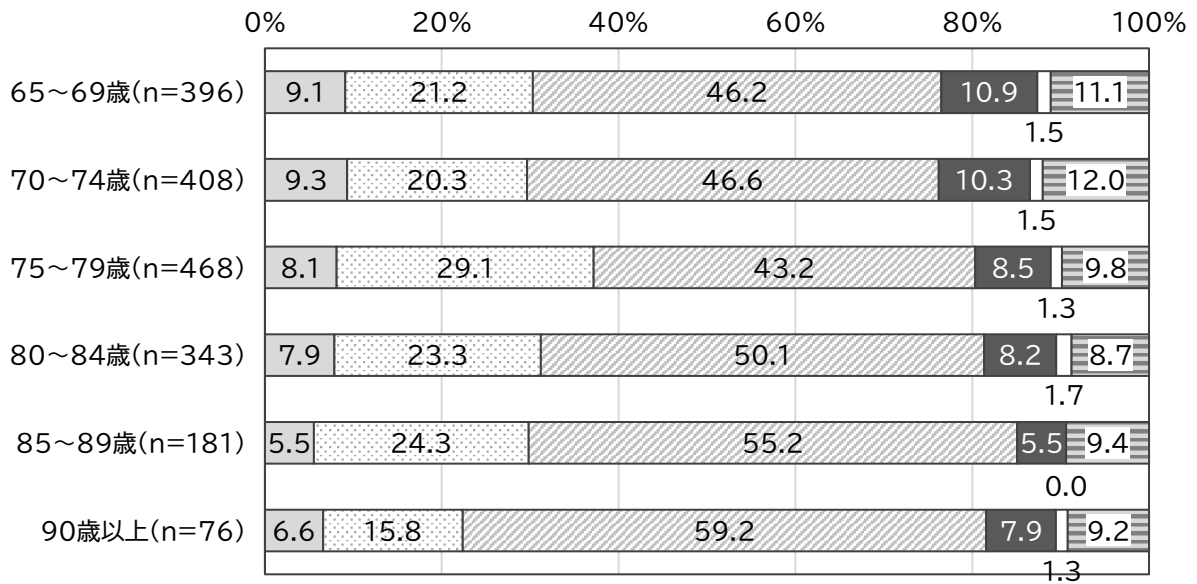
性別でみると、『苦しい』(「大変苦しい」と「やや苦しい」の合計)では、男性が31.5%、女性が31.7%で、大きな差はみられません。

図表 2-1-21 経済的にみた現在の暮らしの状況 性別



年齢別でみると、『苦しい』では、75～79歳が37.2%と最も高くなっています。

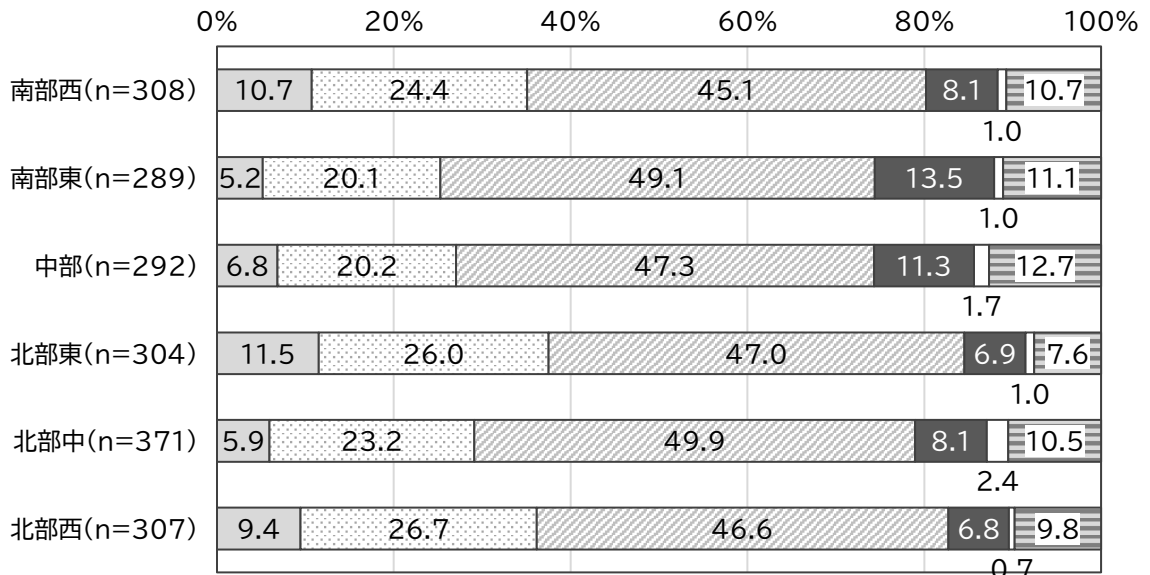
図表 2-1-22 経済的にみた現在の暮らしの状況 年齢別



□ 大変苦しい □ やや苦しい ▨ ふつう ■ ややゆとりがある □ 大変ゆとりがある ▨ 無回答

圏域別でみると、『苦しい』では、北部東地区が37.5%と最も高くなっています。

図表 2-1-23 経済的にみた現在の暮らしの状況 圏域別



□ 大変苦しい □ やや苦しい ▨ ふつう ■ ややゆとりがある □ 大変ゆとりがある ▨ 無回答

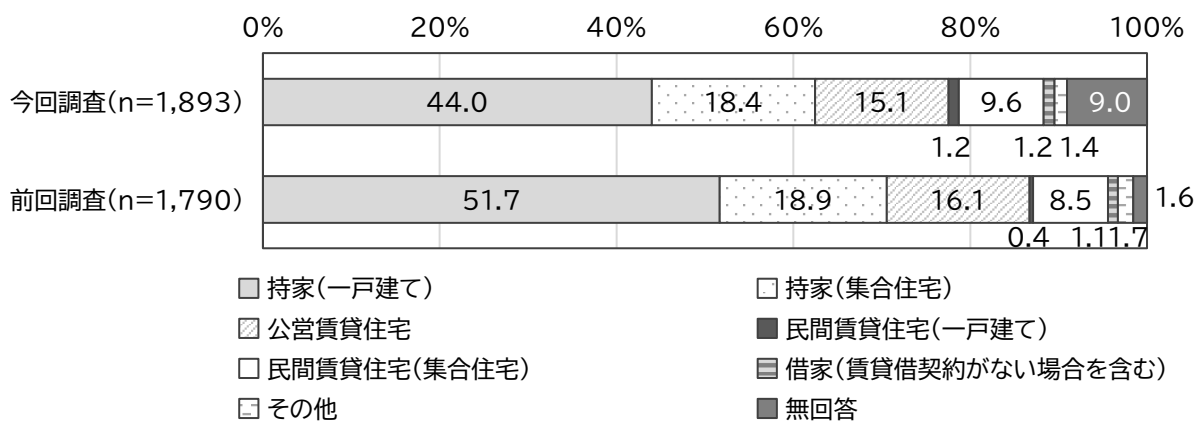
(9) 住居形態

問3 (4) お住まいは次のうちどれですか。(○は1つ)

住居形態については、「持家（一戸建て）」が 44.0%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 18.4%、「公営賃貸住宅」が 15.1%となっています。

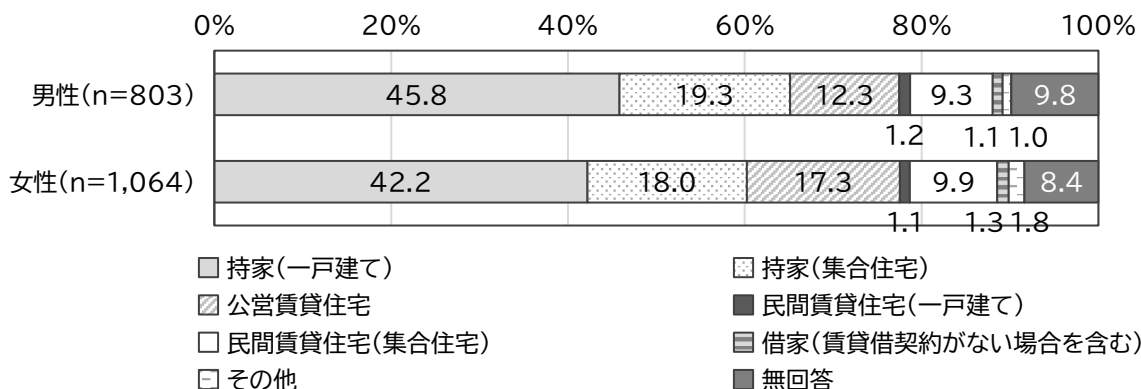
前回調査と比較すると、「持家（一戸建て）」(44.0%) が前回調査 (51.7%) より 7.7 ポイント減少しています。

図表 2-1-24 住居形態



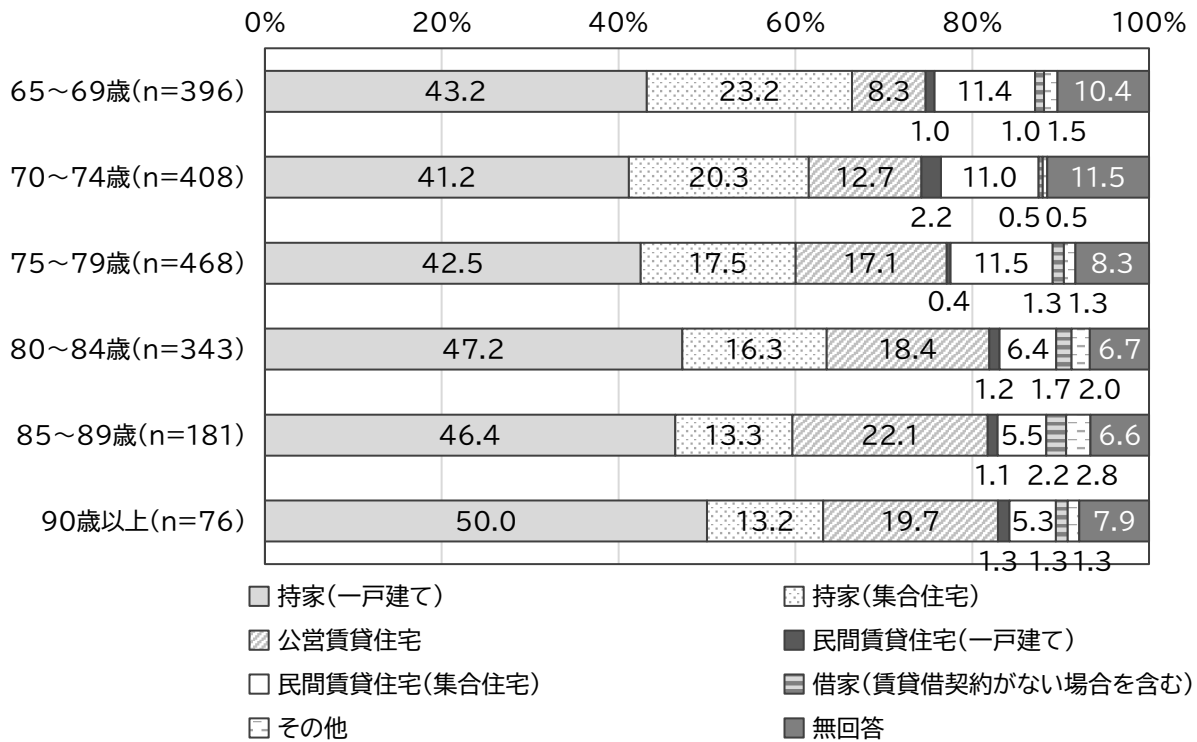
性別でみると、「公営賃貸住宅」では、女性が 17.3%で、男性 (12.3%) より 5.0 ポイント高くなっています。

図表 2-1-25 住居形態 性別



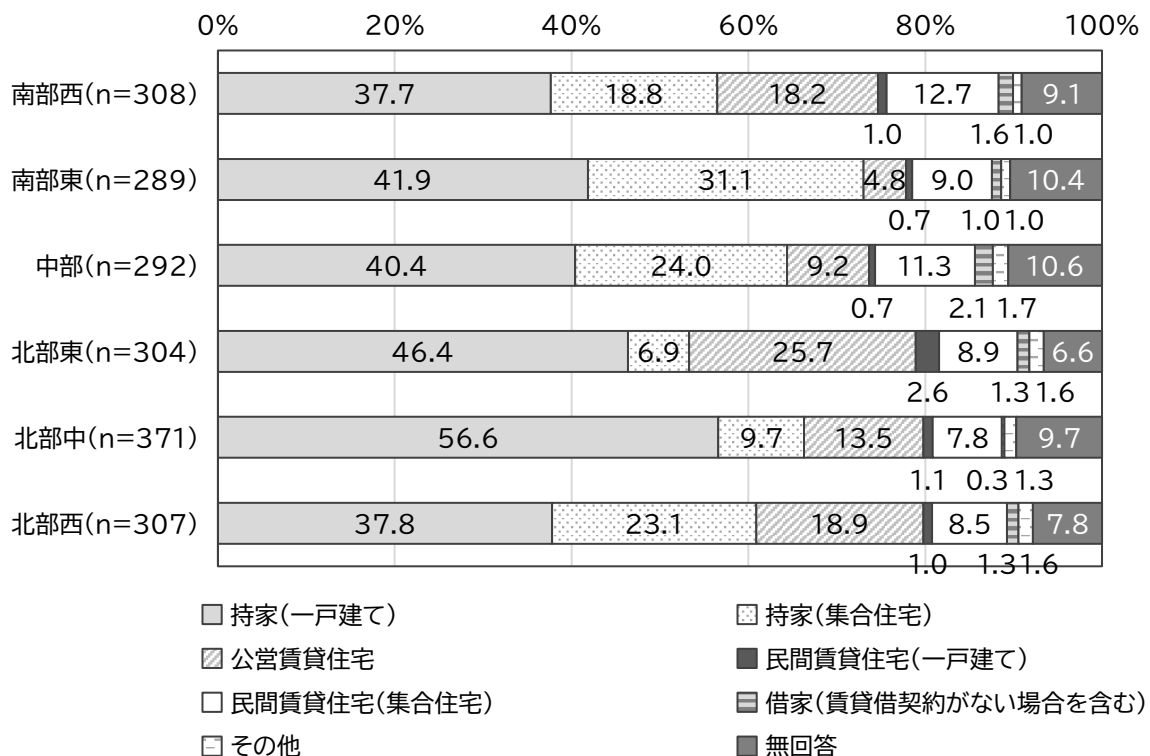
年齢別でみると、「持家（一戸建て）」では、90歳以上で50.0%と最も高くなっています。

図表 2-1-26 住居形態 年齢別



圏域別でみると、『賃貸』（「公営賃貸住宅」と「民間賃貸住宅（一戸建て）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「借家（賃貸借契約がない場合を含む）」の合計）では、北部東地区で38.5%と最も高くなっています。

図表 2-1-27 住居形態 圏域別



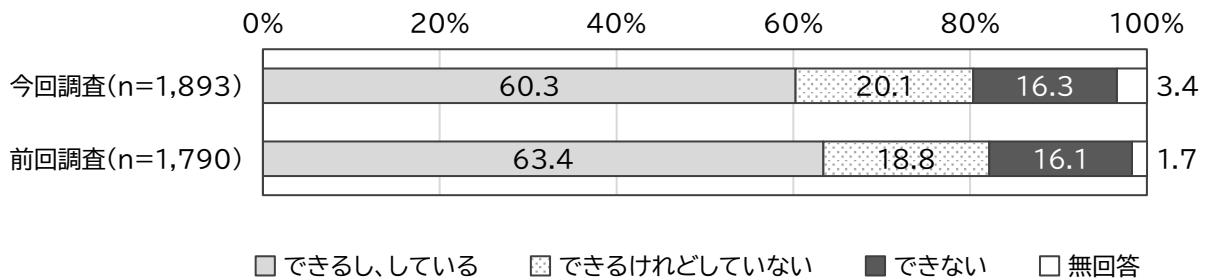
2. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか

問4 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)

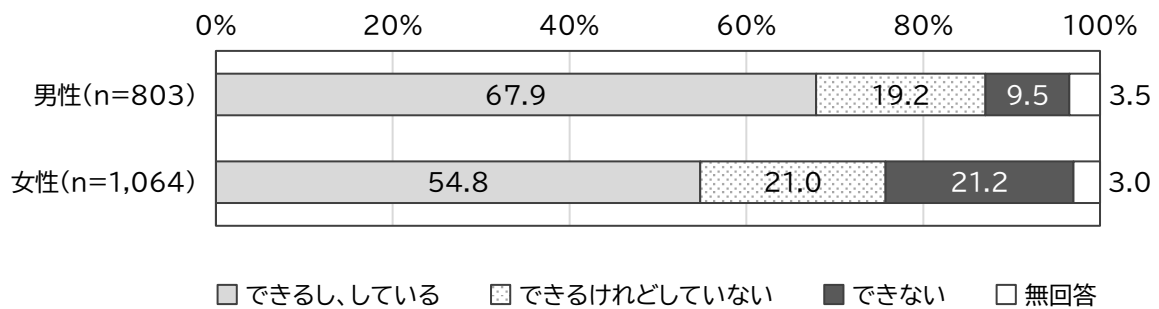
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が60.3%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が20.1%、「できない」が16.3%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか



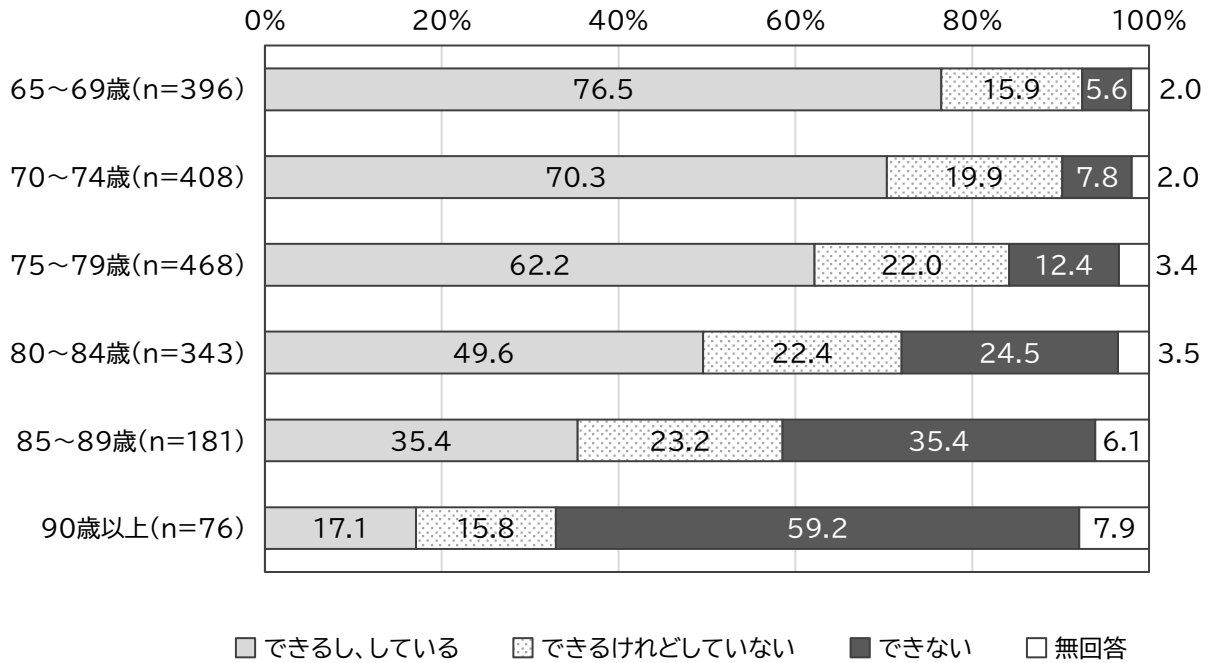
性別でみると、「できない」では、女性が21.2%で、男性(9.5%)より11.7ポイント高くなっています。

図表 2-2-2 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか 性別



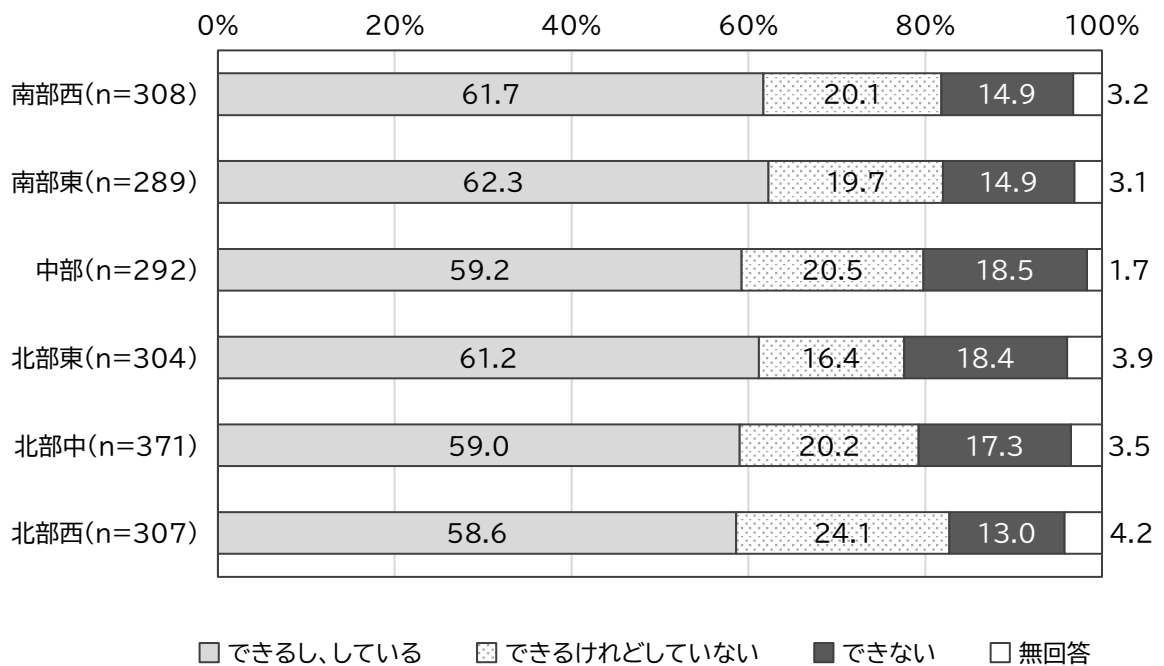
年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で59.2%と最も高くなっています。

図表 2-2-3 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか 年齢別



圏域別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-2-4 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか 圏域別



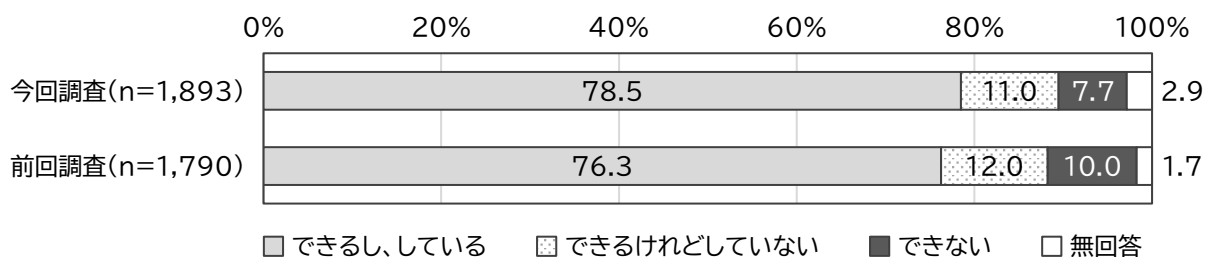
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか

問4 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が78.5%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が11.0%、「できない」が7.7%となっています。

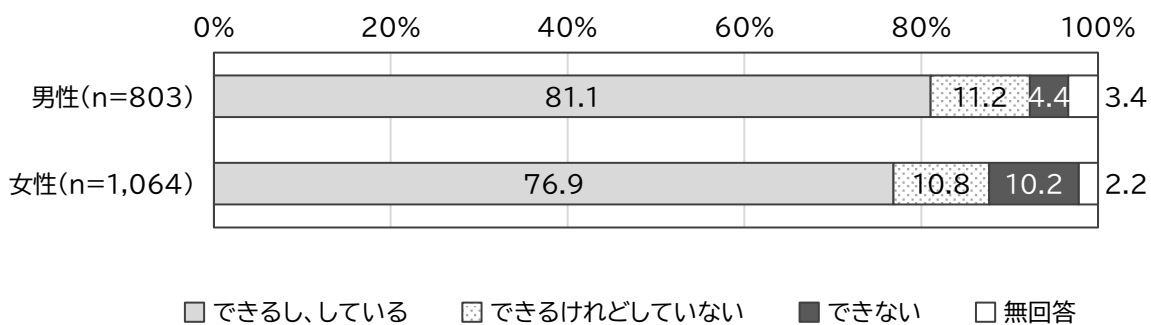
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-5 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか



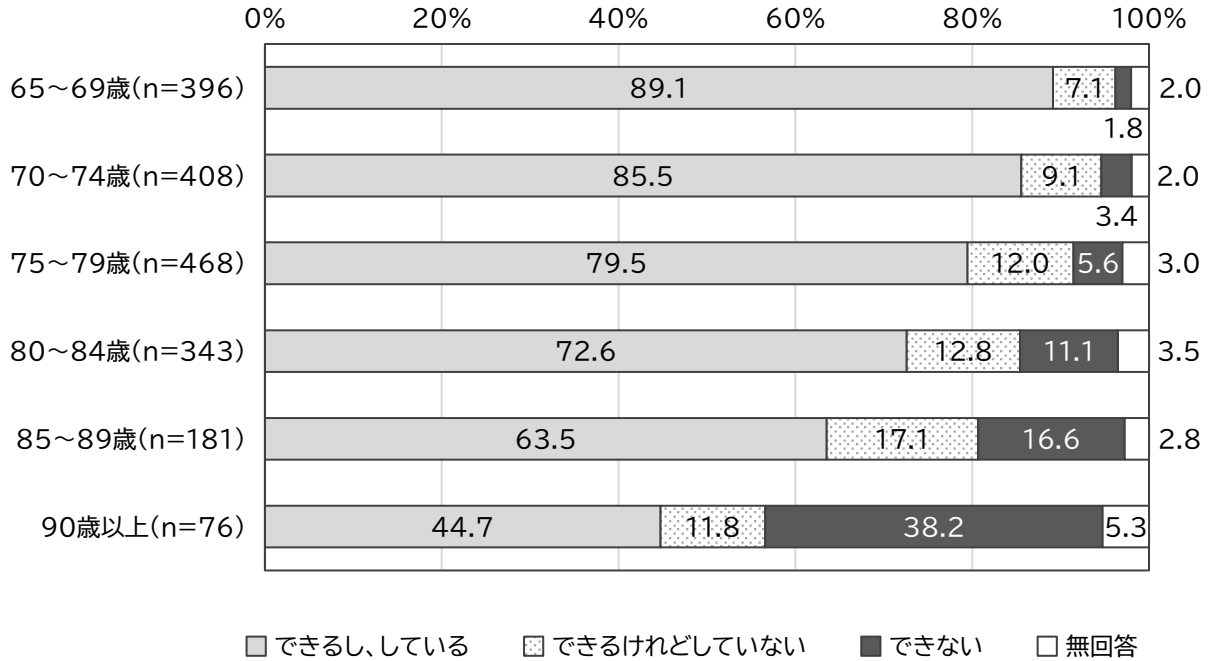
性別でみると、「できない」では、女性が10.2%で、男性(4.4%)より5.8ポイント高くなっています。

図表 2-2-6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか 性別



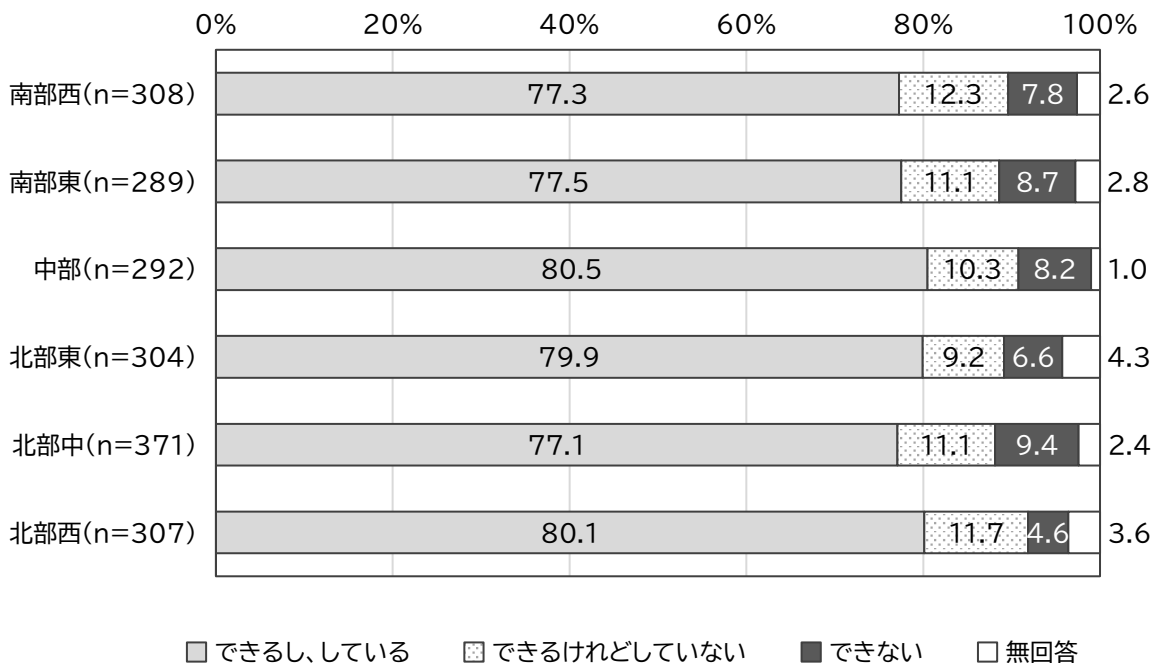
年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で38.2%と最も高くなっています。

図表 2-2-7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか 年齢別



圏域別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-2-8 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか 圏域別



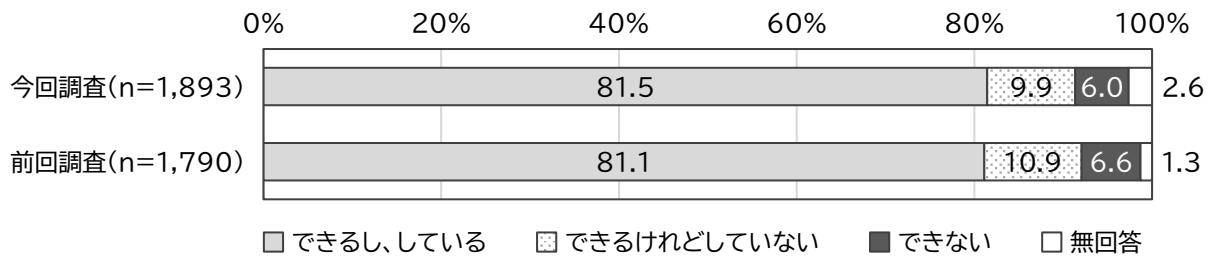
(3) 15分位続けて歩いているか

問4 (3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が81.5%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が9.9%、「できない」が6.0%となっています。

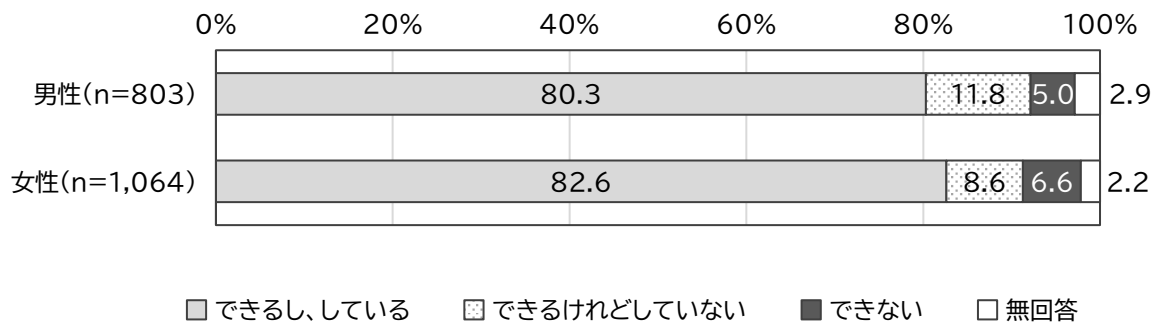
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-9 15分位続けて歩いているか



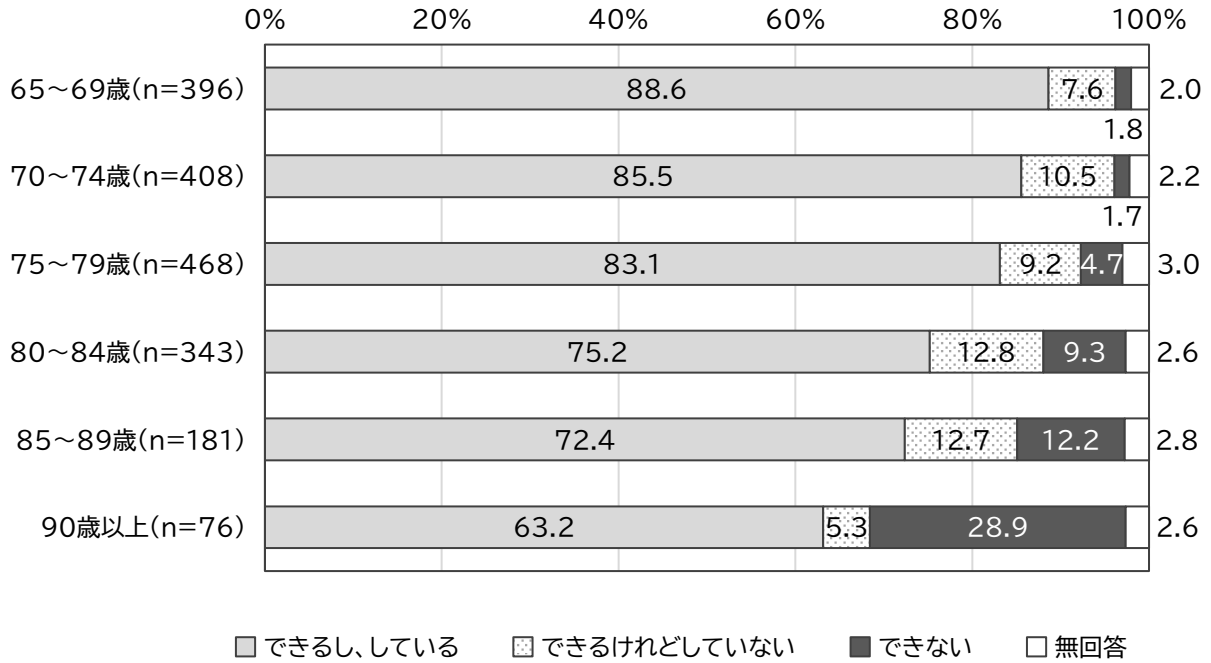
性別でみると、「できない」では、女性が6.6%で、男性(5.0%)より1.6ポイント高くなっています。

図表 2-2-10 15分位続けて歩いているか 性別



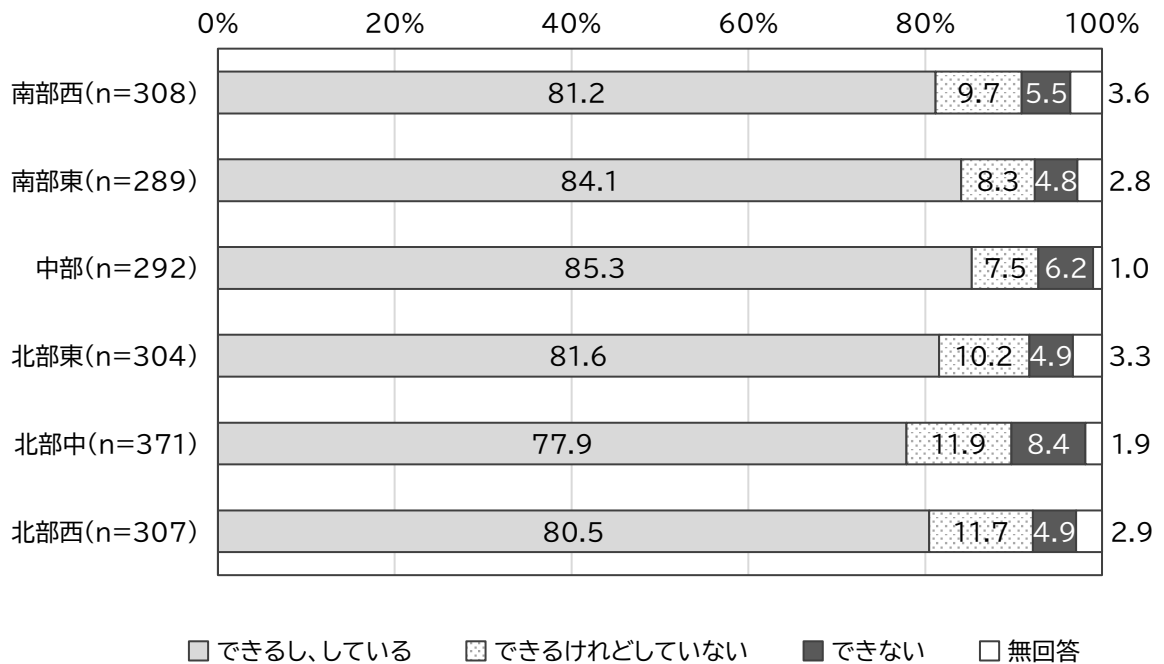
年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で28.9%と最も高くなっています。

図表 2-2-11 15分位続けて歩いているか 年齢別



圏域別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-2-12 15分位続けて歩いているか 圏域別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

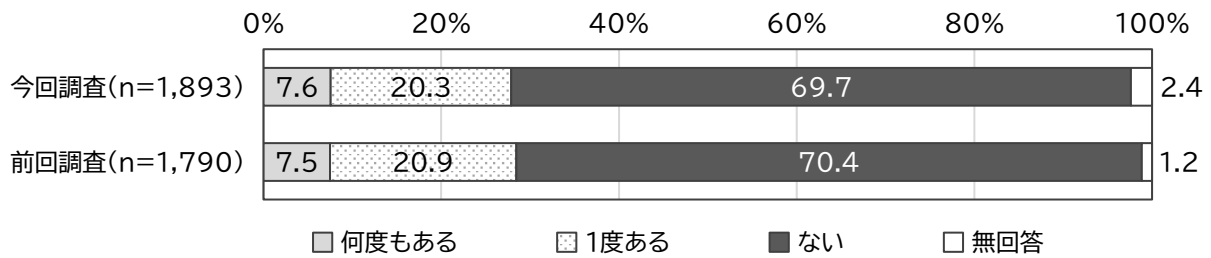
(4) 過去1年間の転倒経験

問4 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

過去1年間の転倒経験については、「ない」が69.7%と最も高く、次いで「1度ある」が20.3%、「何度もある」が7.6%となっています。

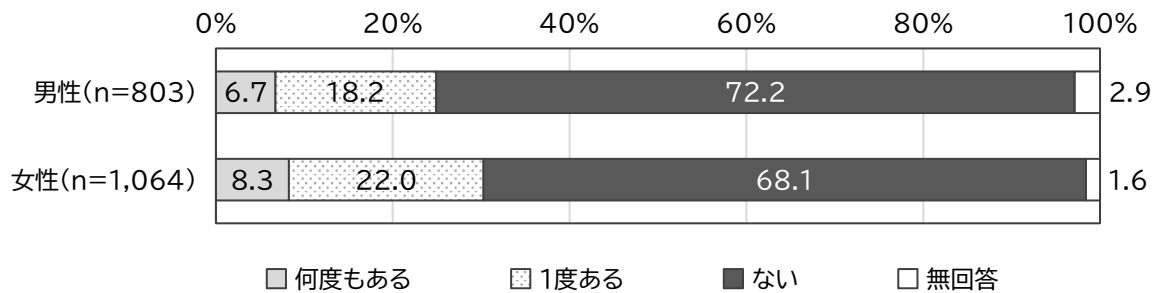
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-13 過去1年間の転倒経験



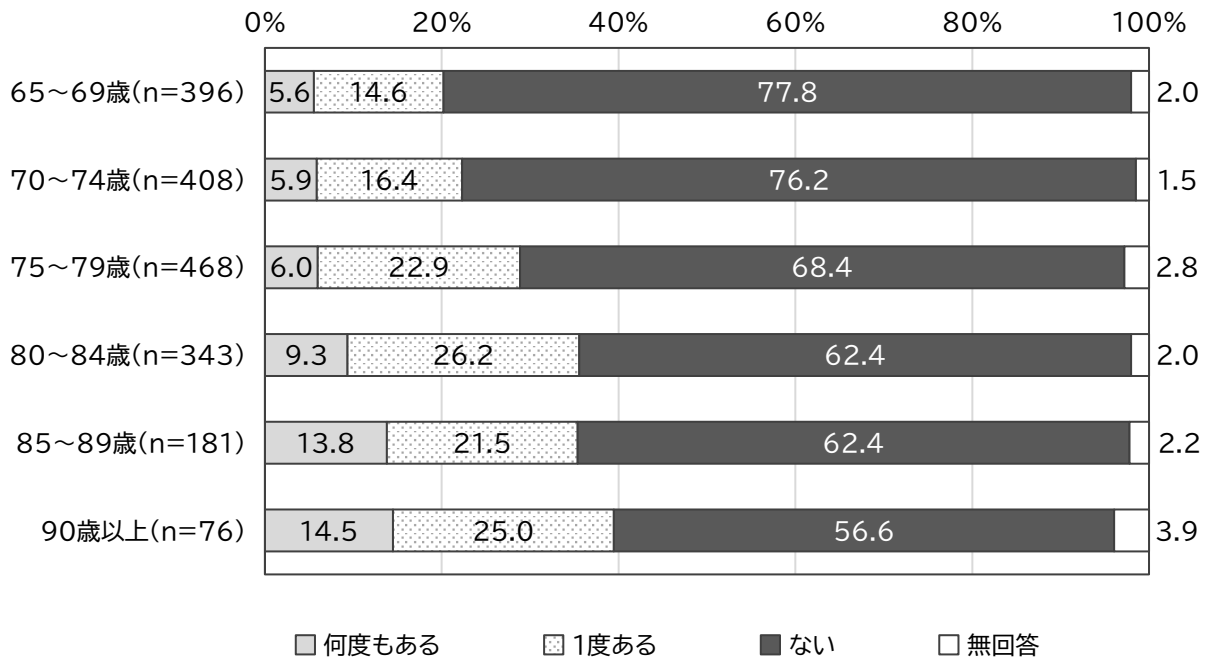
性別でみると、『転んだ経験がある』（「何度もある」と「1度ある」の合計）では、女性が30.3%で、男性（24.9%）より5.4ポイント高くなっています。

図表 2-2-14 過去1年間の転倒経験 性別



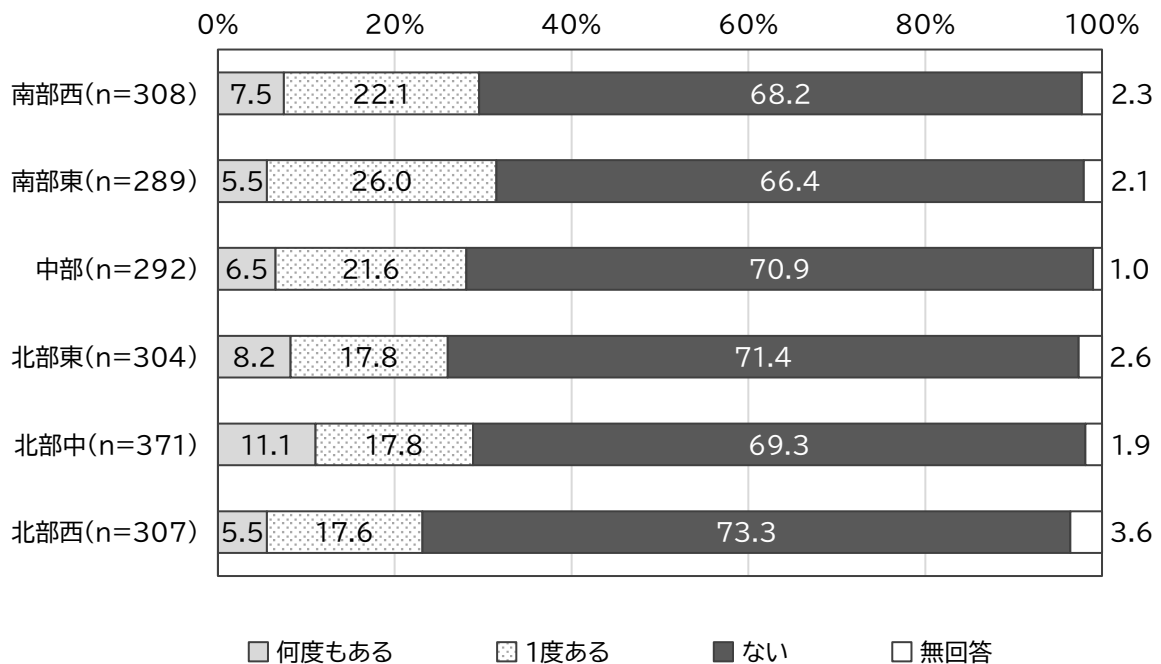
年齢別でみると、『転んだ経験がある』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で39.5%と最も高くなっています。

図表 2-2-15 過去1年間の転倒経験 年齢別



圏域別でみると、『転んだ経験がある』では、南部東地区で31.5%と最も高くなっています。

図表 2-2-16 過去1年間の転倒経験 圏域別



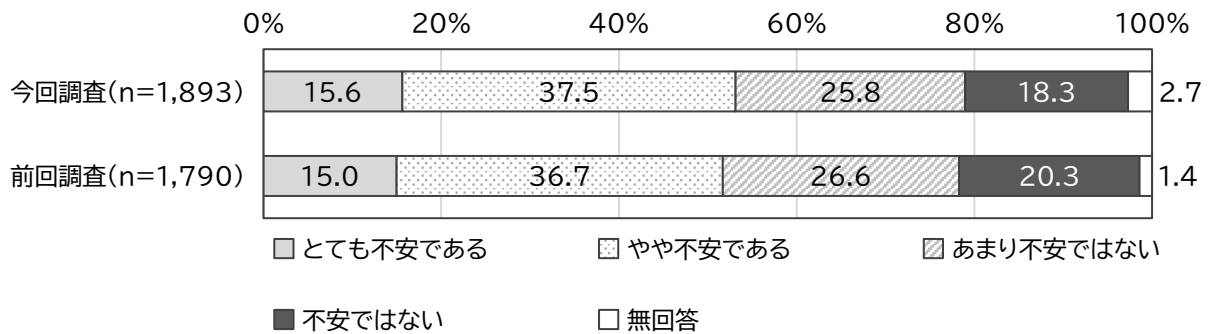
(5) 転倒に対する不安

問4 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

転倒に対する不安については、「やや不安である」が37.5%と最も高く、次いで「あまり不安ではない」が25.8%、「不安ではない」が18.3%となっています。

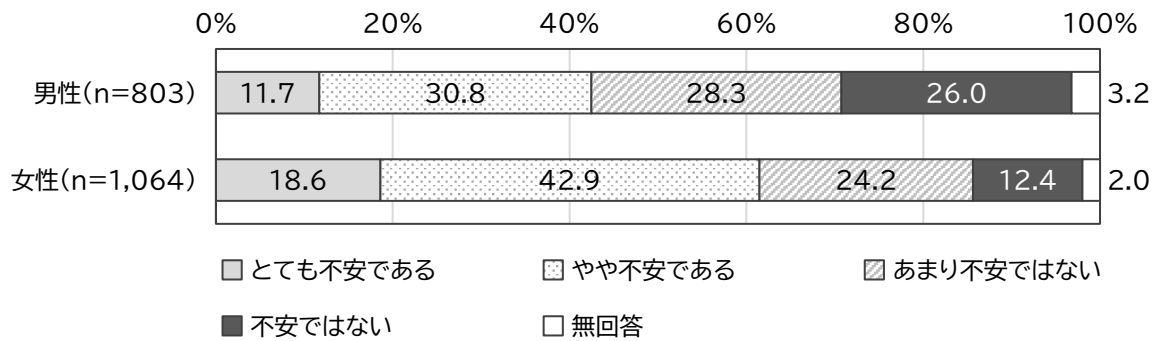
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-17 転倒に対する不安



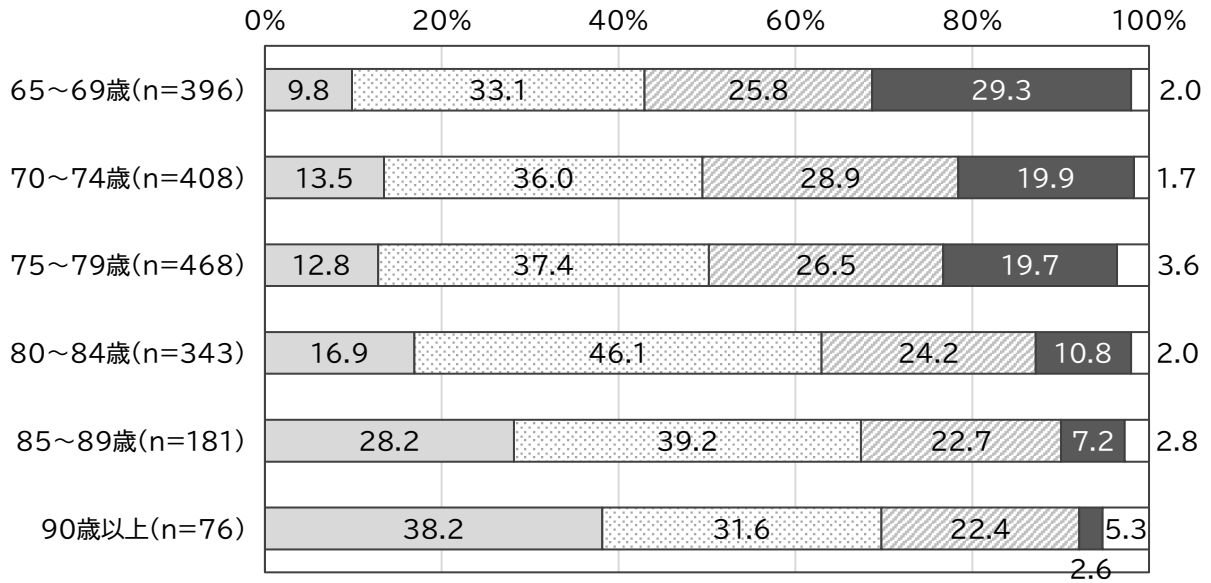
性別でみると、『不安である』（「とても不安である」と「やや不安である」の合計）では、女性が61.5%で、男性（42.5%）より19.0ポイント高くなっています。

図表 2-2-18 転倒に対する不安 性別



年齢別でみると、『不安である』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で69.8%と最も高くなっています。

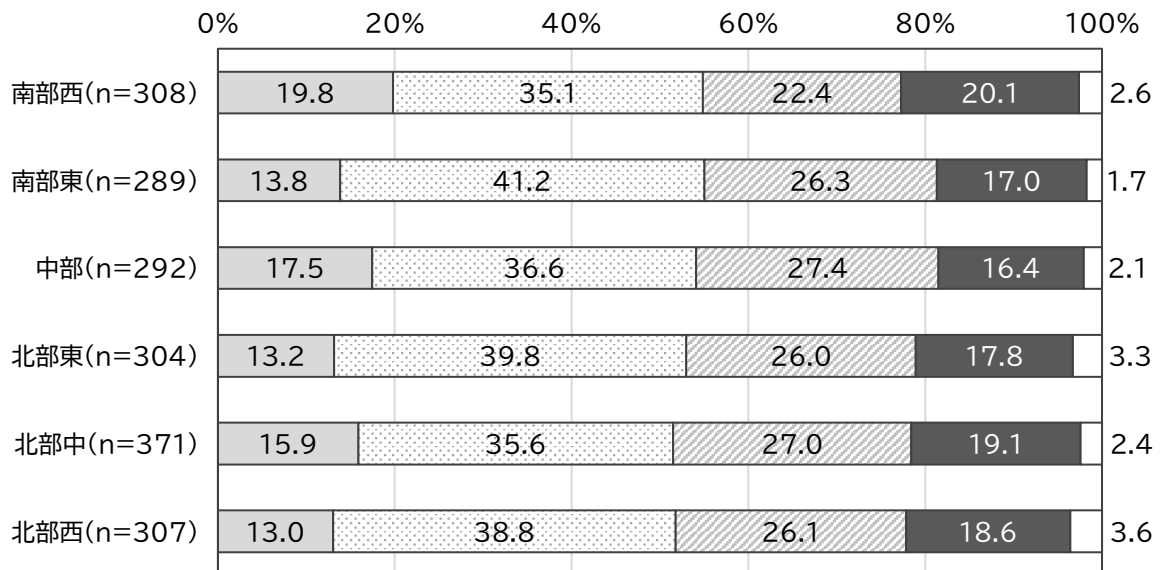
図表 2-2-19 転倒に対する不安 年齢別



□ とても不安である □ やや不安である □ あまり不安ではない ■ 不安ではない □ 無回答

圏域別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-2-20 転倒に対する不安 圏域別



□ とても不安である □ やや不安である □ あまり不安ではない ■ 不安ではない □ 無回答

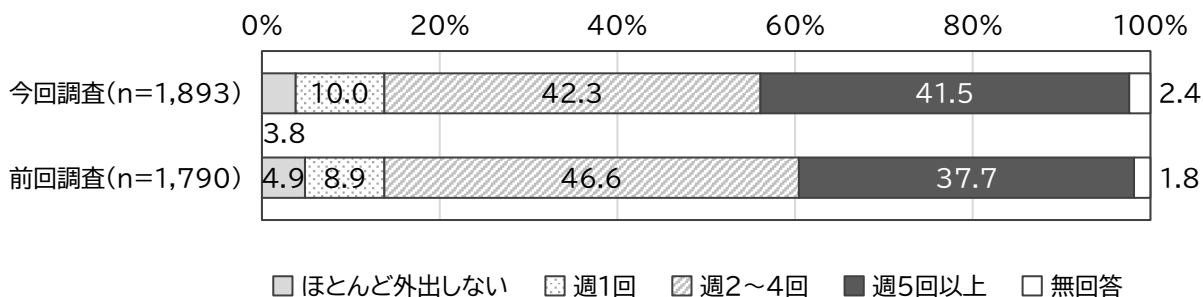
(6) 週に1回以上の外出の状況

問4 (6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

週に1回以上の外出の状況については、「週2～4回」が42.3%と最も高く、次いで「週5回以上」が41.5%、「週1回」が10.0%となっています。

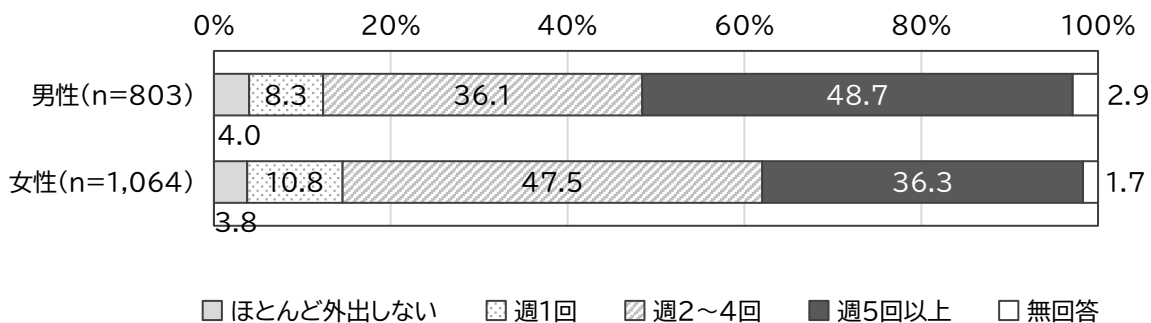
前回調査と比較すると、「週5回以上」(41.5%)が、前回調査(37.7%)より3.8ポイント増加し、「週2～4回」(42.3%)が、前回調査(46.6%)より4.3ポイント減少しています。

図表 2-2-21 週に1回以上の外出の状況



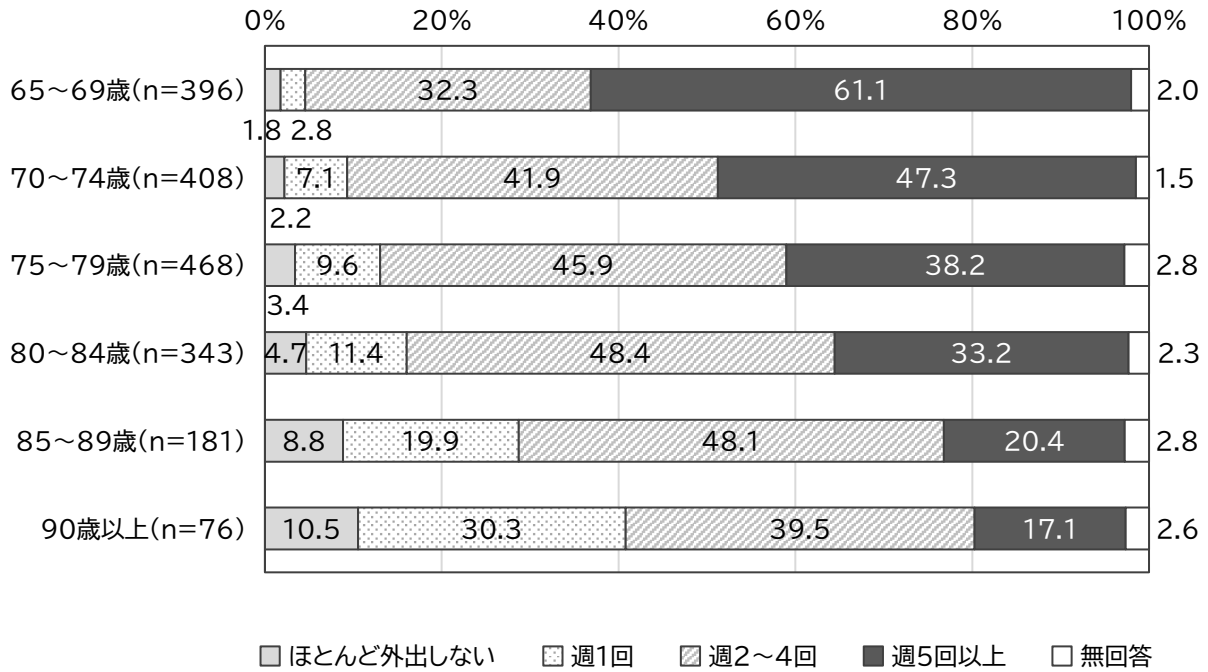
性別でみると、「週5回以上」では、男性が48.7%で、女性(36.3%)より12.4ポイント高くなっています。

図表 2-2-22 週に1回以上の外出の状況 性別



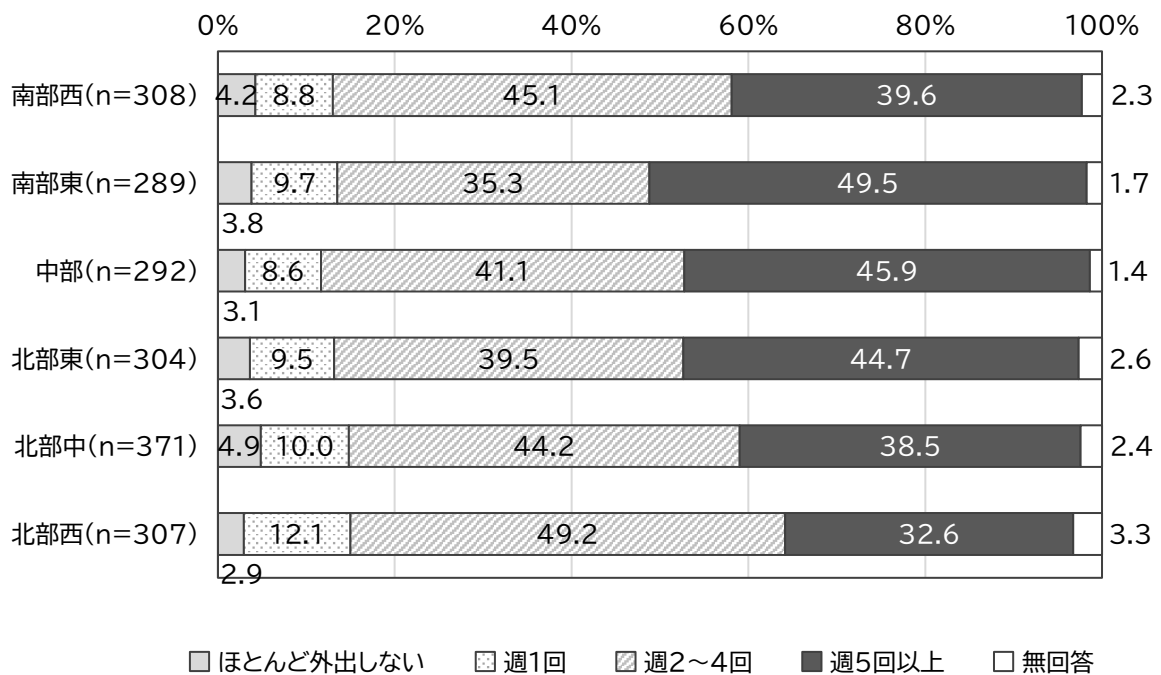
年齢別でみると、「ほとんど外出しない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で10.5%と最も高くなっています。

図表 2-2-23 週に1回以上の外出の状況 年齢別



圏域別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-2-24 週に1回以上の外出の状況 圏域別



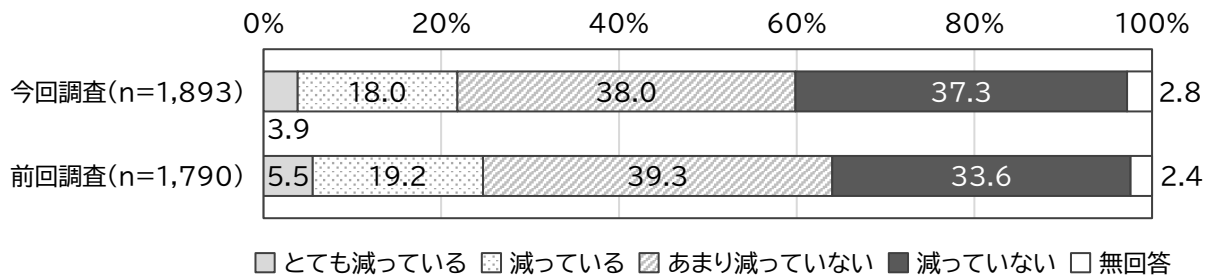
(7) 昨年と比べた外出回数の減少状況

問4 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

昨年と比べた外出回数の減少状況については、「あまり減っていない」が38.0%と最も高く、次いで「減っていない」が37.3%、「減っている」が18.0%となっています。

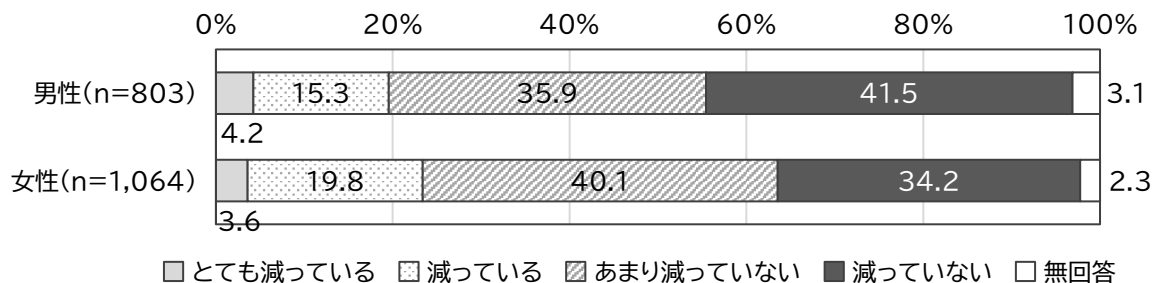
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-2-25 昨年と比べた外出の回数の減少状況



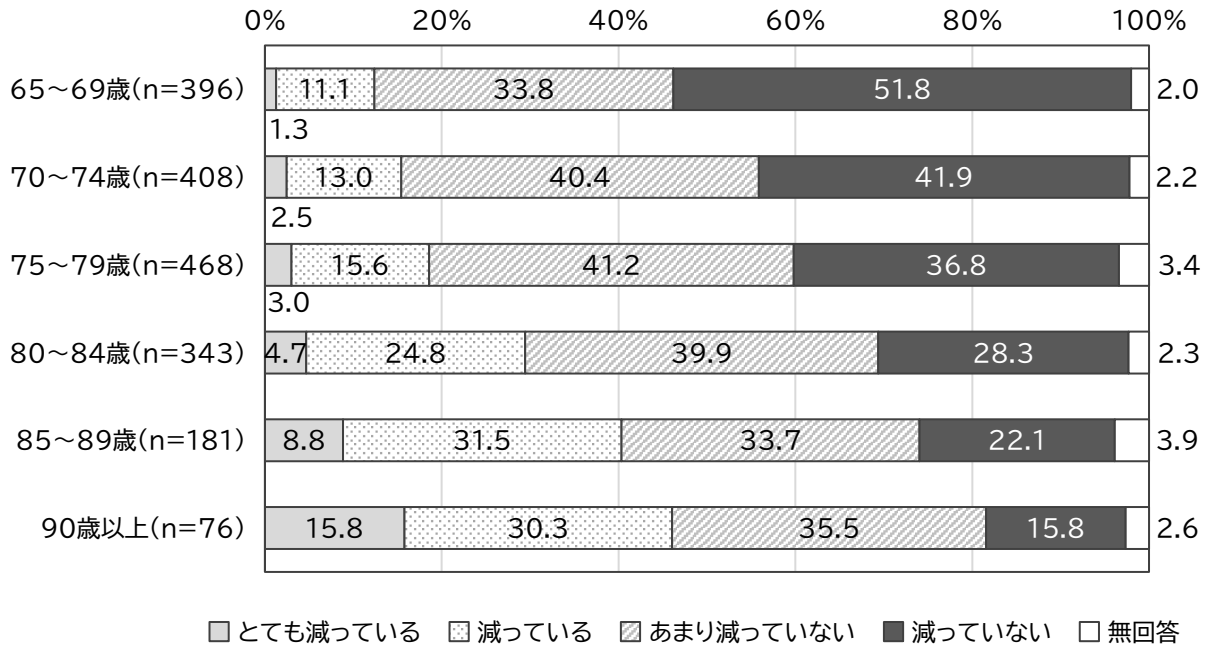
性別でみると、『減っている』(「とても減っている」と「減っている」の合計)では、女性が23.4%で、男性(19.5%)より3.9ポイント高くなっています。

図表 2-2-26 昨年と比べた外出回数の減少状況 性別



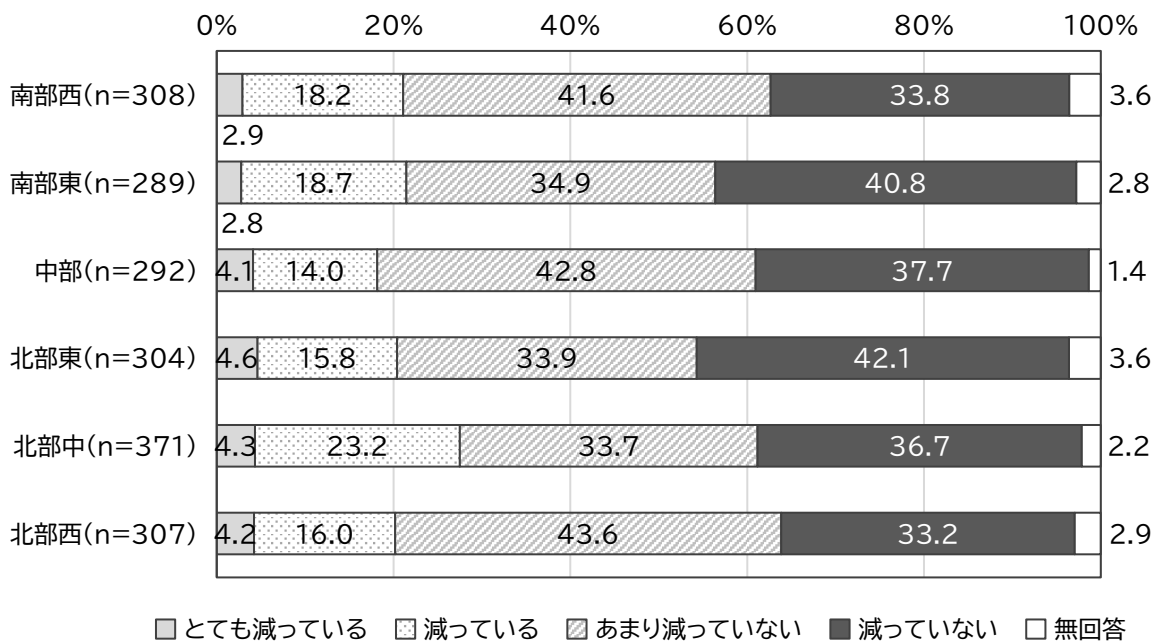
年齢別でみると、『減っている』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で46.1%と最も高くなっています。

図表 2-2-27 昨年と比べた外出回数の減少状況 年齢別



圏域別でみると、『減っている』では、北部中地区で27.5%と最も高くなっています。

図表 2-2-28 昨年と比べた外出回数の減少状況 圏域別

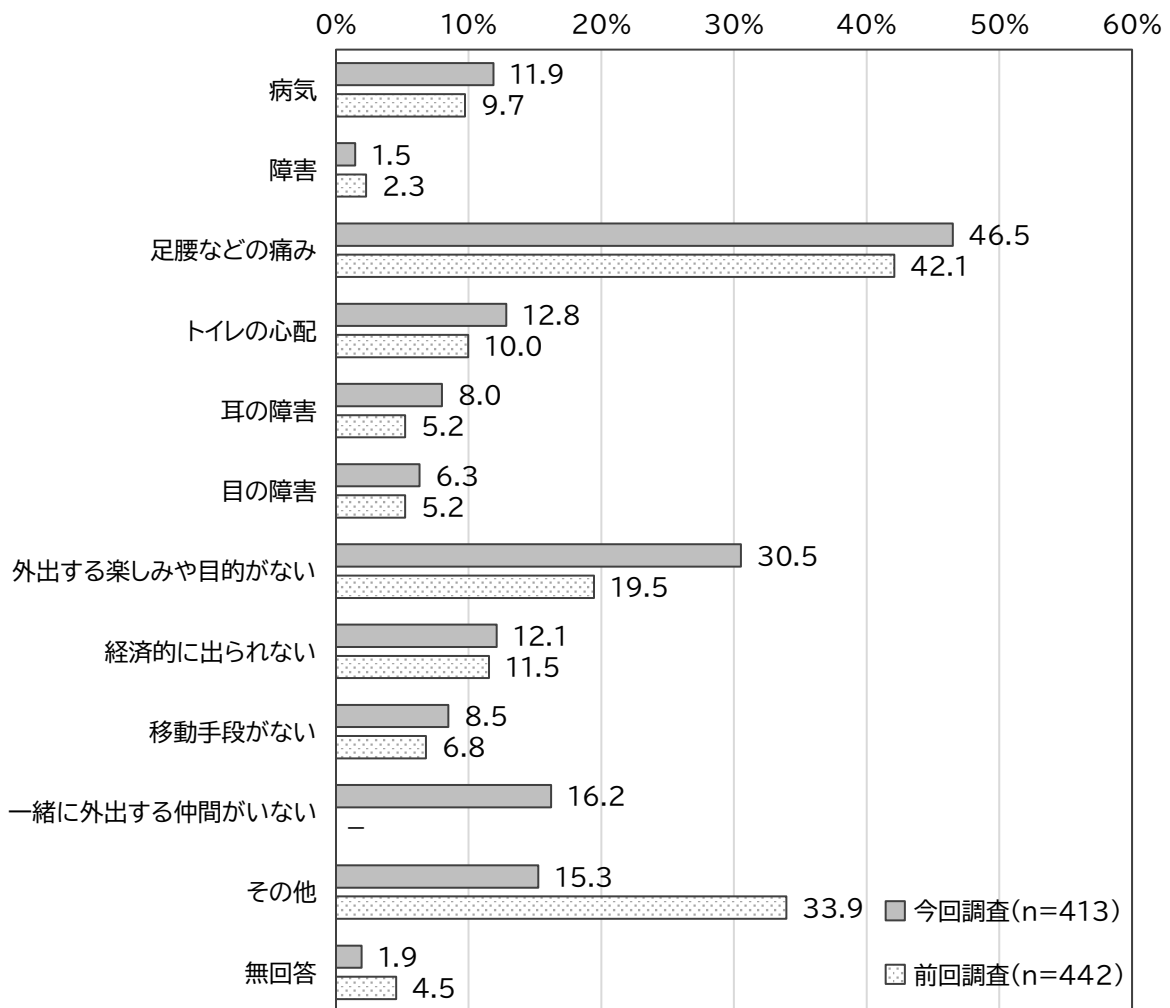


【問4-(7)で「1」「2」(外出の回数が減っている)とお答えになった方におたずねします。】
 ①外出の回数が減っている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

外出の回数が減っている理由では、「足腰などの痛み」が46.5%と最も高く、次いで「外出する楽しみや目的がない」が30.5%、「一緒に外出する仲間がいない」が16.2%となっています。

前回調査と比較すると、「外出する楽しみや目的がない」(30.5%)が、前回調査(19.5%)より11.0ポイント増加しています。

図表 2-2-29 外出の回数が減っている理由



属性別でみると、いずれも「足腰などの痛み」の割合が最も高くなっています。

性別でみると、「外出する楽しみや目的がない」では、男性が37.6%で、女性（26.5%）より11.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「トイレの心配」や「耳の障害」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しています。

圏域別でみると、北部東地区では「一緒に外出する仲間がいない」、その他の地区では「外出する楽しみや目的がない」が2番目に高くなっています。また、中部地区では「移動手段がない」が他の地区より高くなっています。

図表 2-2-30 外出の回数が減っている理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	病気	障害	足腰などの痛み	トイレの心配	耳の障害	目の障害	外出する楽しみや目的がない	経済的に出られない	移動手段がない	一緒に外出する仲間がいない	その他	無回答
全体		413	11.9	1.5	46.5	12.8	8.0	6.3	30.5	12.1	8.5	16.2	15.3	1.9
性別	男性	157	13.4	3.2	41.4	14.6	8.3	4.5	37.6	12.1	5.1	15.3	16.6	1.3
	女性	249	10.0	0.4	50.2	12.0	8.0	6.8	26.5	12.0	10.4	16.5	14.9	2.4
年齢別	65～69歳	49	14.3	4.1	34.7	4.1	6.1	2.0	28.6	28.6	4.1	12.2	28.6	0.0
	70～74歳	63	9.5	1.6	41.3	9.5	0.0	1.6	30.2	9.5	6.3	14.3	22.2	3.2
	75～79歳	87	10.3	2.3	47.1	13.8	1.1	3.4	36.8	14.9	5.7	19.5	13.8	2.3
	80～84歳	101	13.9	1.0	43.6	16.8	7.9	11.9	28.7	8.9	10.9	14.9	12.9	3.0
	85～89歳	73	12.3	0.0	54.8	15.1	15.1	2.7	27.4	5.5	6.8	16.4	8.2	1.4
	90歳以上	35	5.7	0.0	65.7	14.3	28.6	17.1	31.4	8.6	20.0	20.0	11.4	0.0
日常生活圏域別	南部西	65	10.8	1.5	52.3	7.7	7.7	3.1	26.2	6.2	7.7	13.8	9.2	3.1
	南部東	62	21.0	1.6	54.8	12.9	0.0	8.1	33.9	9.7	1.6	14.5	19.4	1.6
	中部	53	5.7	3.8	52.8	18.9	11.3	5.7	37.7	15.1	13.2	22.6	15.1	0.0
	北部東	62	8.1	1.6	37.1	11.3	9.7	8.1	22.6	11.3	9.7	24.2	16.1	4.8
	北部中	102	14.7	1.0	48.0	15.7	10.8	8.8	34.3	12.7	8.8	15.7	14.7	1.0
	北部西	62	6.5	0.0	35.5	11.3	8.1	1.6	29.0	17.7	9.7	8.1	17.7	1.6

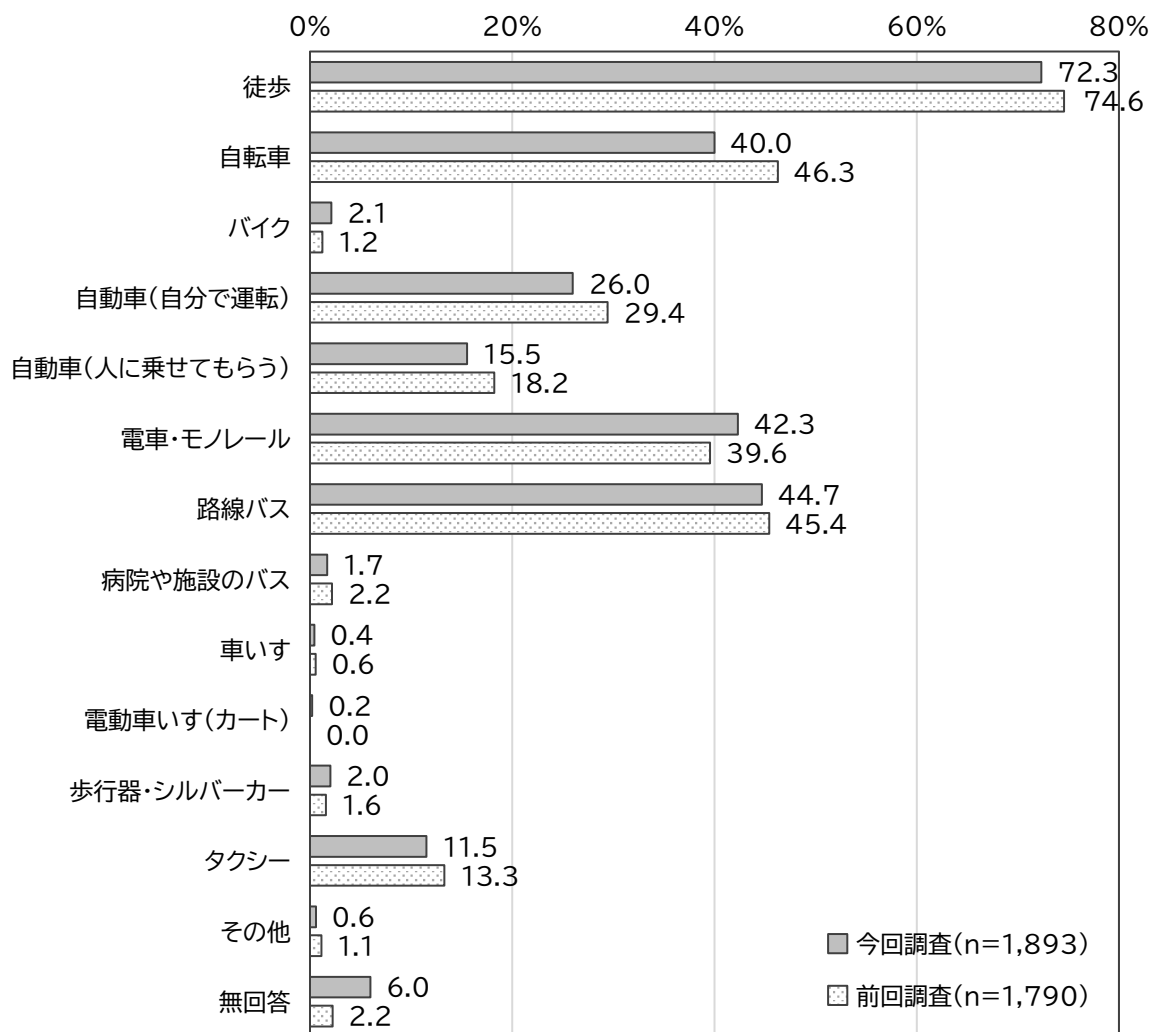
(8) 外出する際の移動手段

問4 (8) 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

外出する際の移動手段については、「徒歩」が72.3%と最も高く、次いで「路線バス」が44.7%、「電車・モノレール」が42.3%、「自転車」が40.0%となっています。

前回調査と比較すると、「自転車」(40.0%)では前回調査(46.3%)より6.3ポイント減少しています。

図表 2-2-31 外出する際の移動手段



属性別でみると、いずれも「徒歩」の割合がもっと高くなっており、大きな差はみられません。

図表 2-2-32 外出する際の移動手段 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	徒歩	自転車	バイク	運転 自動車(自分で)	自動車(人に乗せてもらう)	電車・モノレール	路線バス	ス 病院や施設のバ	車いす	ト) 電動車いす(カー
全体		1,893	72.3	40.0	2.1	26.0	15.5	42.3	44.7	1.7	0.4	0.2
性別	男性	803	70.7	45.5	4.2	42.7	7.6	40.8	31.9	1.4	0.2	0.1
	女性	1064	74.1	36.3	0.6	13.6	21.3	44.0	54.2	2.0	0.6	0.2
年齢別	65~69歳	396	76.8	47.7	5.1	43.2	15.4	57.1	35.6	1.3	0.3	0.3
	70~74歳	408	74.3	46.1	1.7	31.4	14.5	48.8	39.5	1.0	0.0	0.0
	75~79歳	468	72.4	41.0	1.7	26.3	13.7	40.6	47.2	1.1	0.4	0.2
	80~84歳	343	74.1	35.9	1.2	16.0	15.5	35.3	54.2	2.6	0.6	0.0
	85~89歳	181	64.6	26.5	0.6	5.0	20.4	26.0	51.9	3.3	0.6	0.6
	90歳以上	76	55.3	17.1	0.0	2.6	19.7	18.4	44.7	3.9	2.6	0.0
日常生活圏域別	南部西	308	74.4	36.4	1.6	18.5	12.7	39.0	51.0	1.6	0.3	0.0
	南部東	289	78.5	42.2	1.0	21.5	11.1	51.9	35.3	1.4	0.3	0.0
	中部	292	76.7	41.4	1.0	16.8	11.3	42.1	30.1	2.1	0.3	0.3
	北部東	304	74.3	39.5	1.6	22.4	14.5	40.1	64.8	1.6	0.3	0.0
	北部中	371	68.7	43.1	3.5	34.5	18.9	46.1	45.0	2.7	0.3	0.3
	北部西	307	64.2	37.8	3.6	40.4	22.5	35.8	40.7	0.7	0.7	0.3

		合計	歩 行 器 ・ シ ル バ ー カ ー	タ ク シ ー	そ の 他	無 回 答
全体		1,893	2.0	11.5	0.6	6.0
性別	男性	803	0.6	8.6	0.6	7.8
	女性	1064	3.0	13.7	0.5	4.4
年齢別	65~69歳	396	0.3	7.3	0.3	6.8
	70~74歳	408	0.5	7.1	0.2	6.4
	75~79歳	468	0.4	9.8	0.4	6.0
	80~84歳	343	3.5	18.1	0.3	5.5
	85~89歳	181	8.3	17.1	1.7	5.0
	90歳以上	76	6.6	25.0	2.6	1.3
日常生活圏域別	南部西	308	1.9	10.4	0.0	6.2
	南部東	289	1.4	11.1	0.7	4.8
	中部	292	1.7	13.7	0.3	6.5
	北部東	304	1.3	10.2	0.7	5.9
	北部中	371	2.7	14.8	0.3	4.9
	北部西	307	2.6	8.1	1.3	7.5

3. 食べることについて

(1) BMIの状況

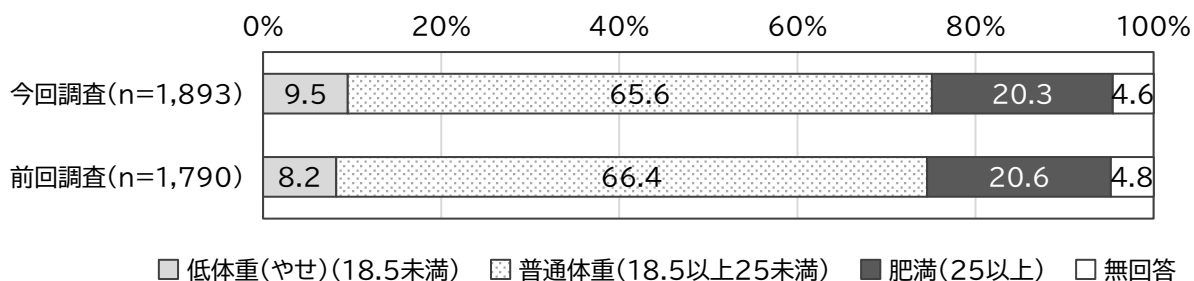
問5 (1) 身長・体重をご記入ください。(小数点以下は四捨五入)

記入いただいた身長・体重からBMI（体格指数）を算出し、「低体重（やせ）（18.5未満）」と「普通体重（18.5以上25未満）」、「肥満（25以上）」の3段階で判定しました。

BMIの状況については、「普通体重（18.5以上25未満）」が65.6%と最も高く、次いで「肥満（25以上）」が20.3%、「低体重（やせ）（18.5未満）」が9.5%となっています。

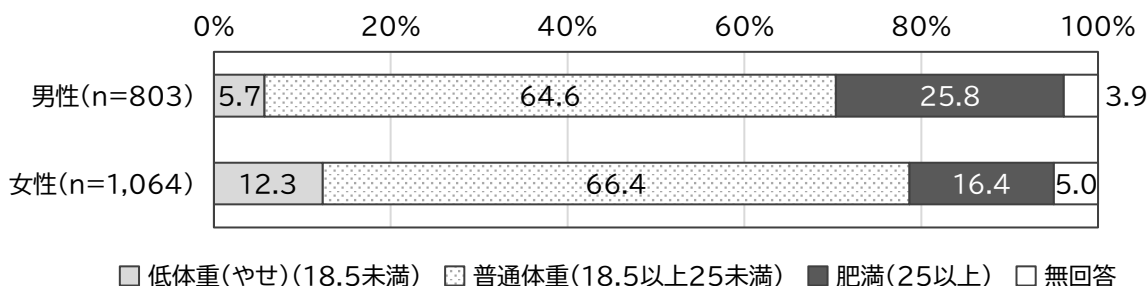
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-3-1 BMIの状況



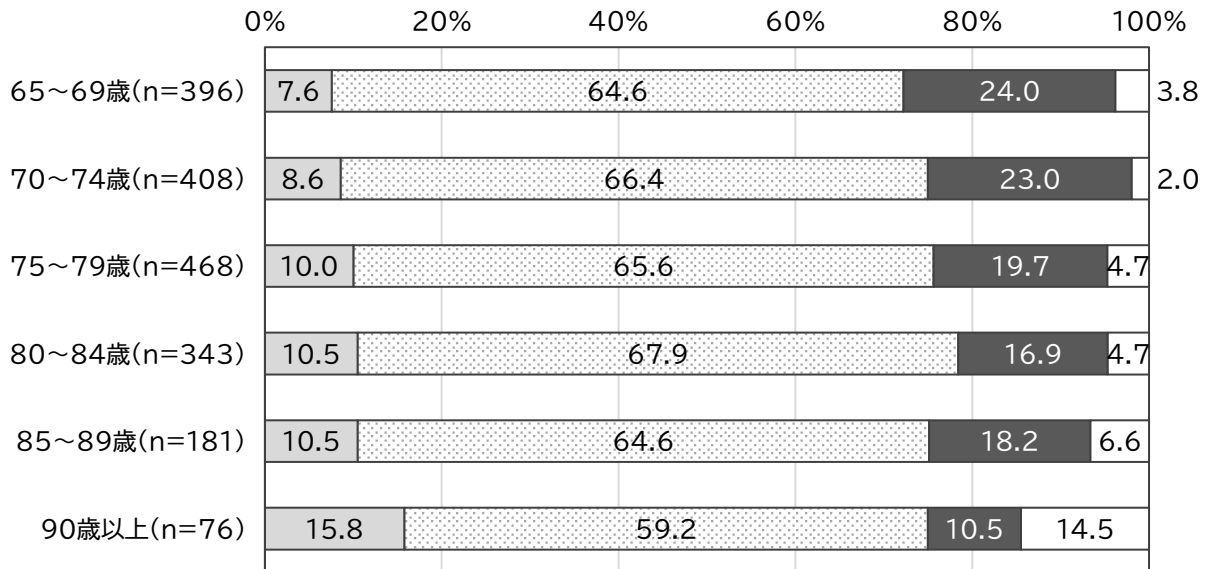
性別でみると、「肥満（25以上）」では、男性が25.8%で、女性（16.4%）より9.4ポイント高く、「低体重（やせ）（18.5未満）」では、女性が12.3%で、男性（5.7%）より6.6ポイント高くなっています。

図表 2-3-2 BMIの状況 性別



年齢別でみると、「低体重（やせ）（18.5未満）」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で15.8%と最も高くなっています。

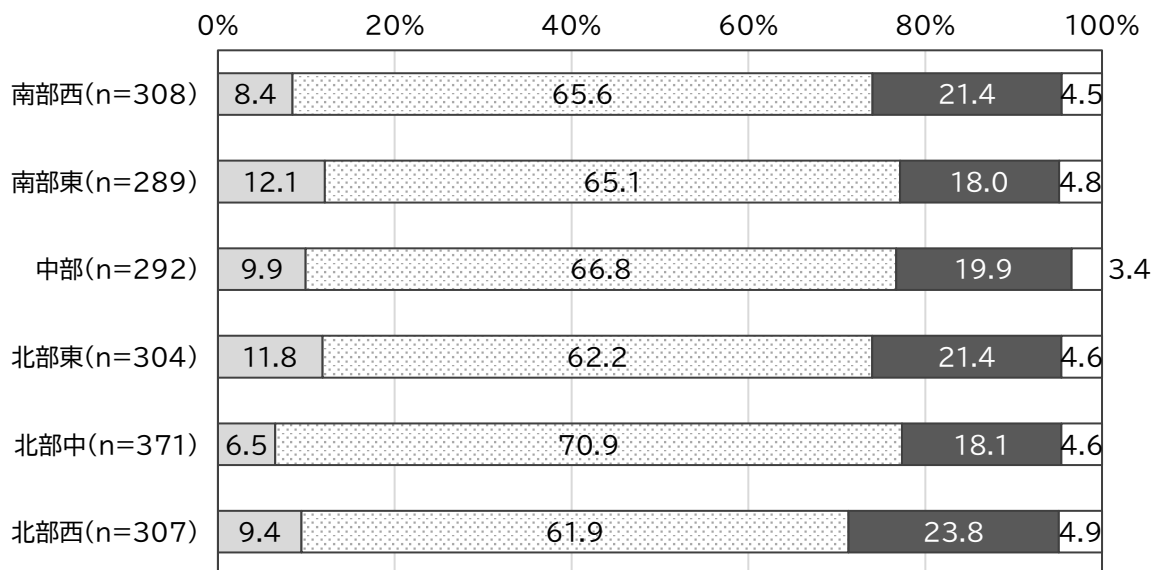
図表 2-3-3 BMIの状況 年齢別



□ 低体重(やせ)(18.5未満) □ 普通体重(18.5以上25未満) ■ 肥満(25以上) □ 無回答

圏域別でみると、「低体重（やせ）（18.5未満）」では、南部東地区で12.1%と最も高くなっています。

図表 2-3-4 BMIの状況 圏域別



□ 低体重(やせ)(18.5未満) □ 普通体重(18.5以上25未満) ■ 肥満(25以上) □ 無回答

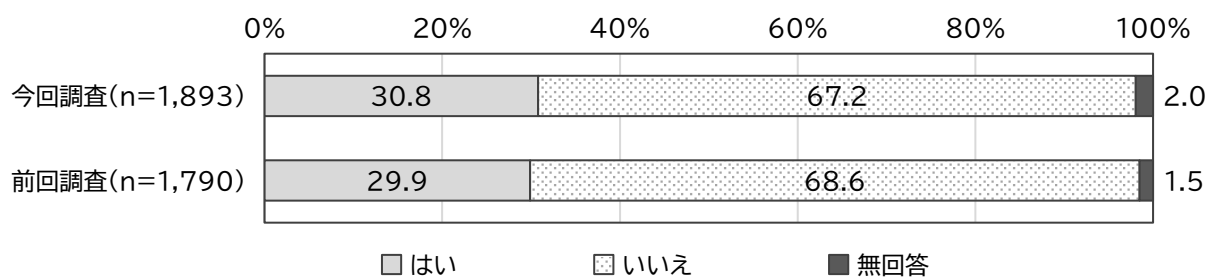
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

問5 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が30.8%、「いいえ」が67.2%となっています。

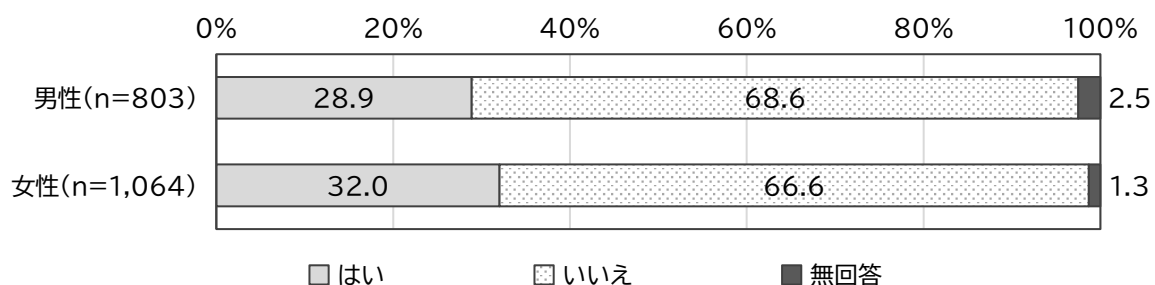
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-3-5 半年前に比べて固いものが食べにくくなったかの状況



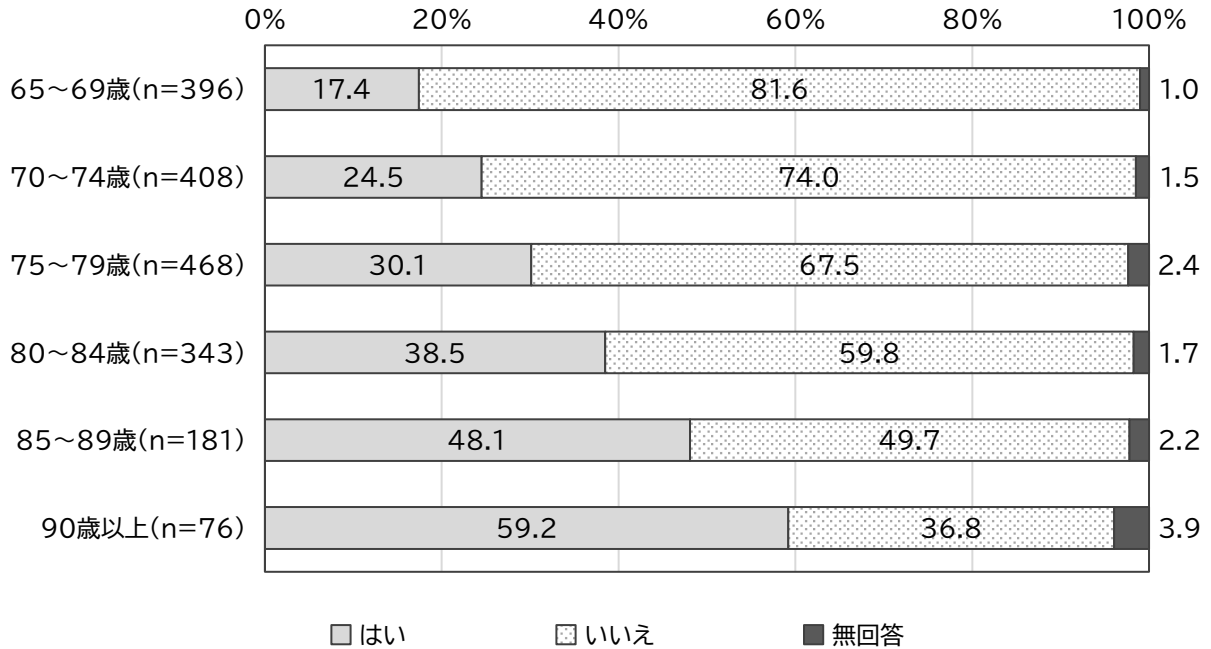
性別でみると、「はい」では、女性が32.0%で、男性(28.9%)より3.1ポイント高くなっています。

図表 2-3-6 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか 性別



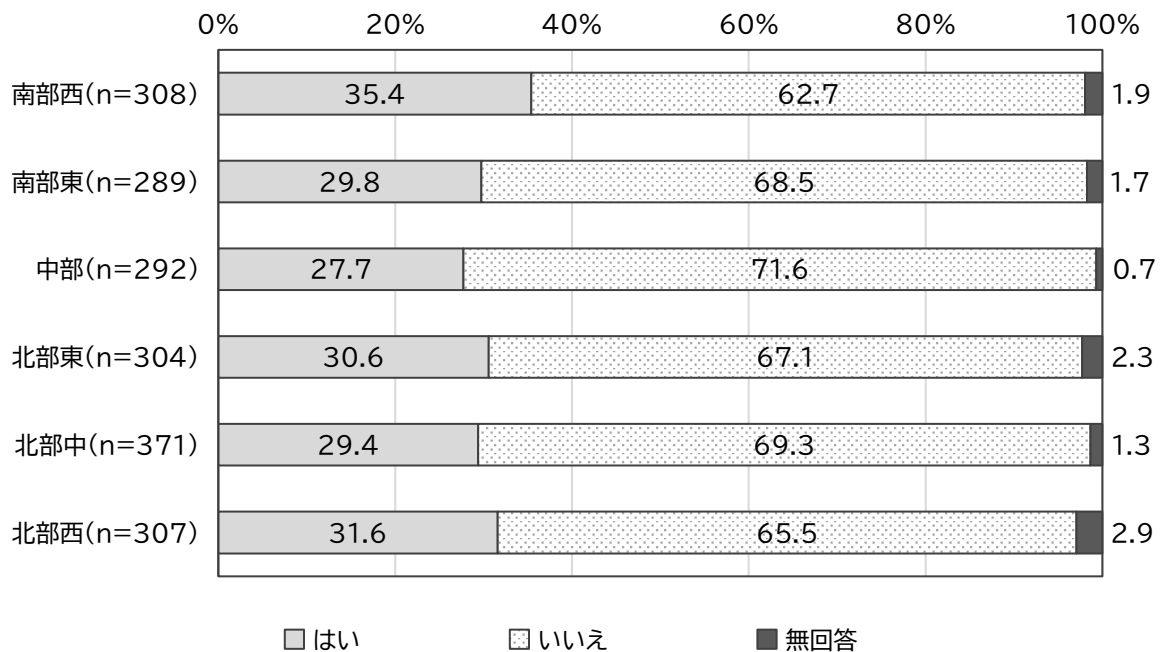
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で59.2%と最も高くなっています。

図表 2-3-7 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、南部西地区で35.4%と最も高くなっています。

図表 2-3-8 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか 圏域別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

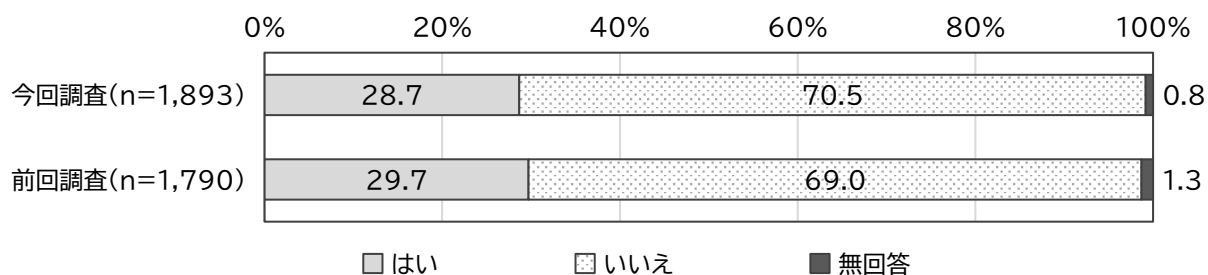
(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

問5 (3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が28.7%、「いいえ」が70.5%となります。

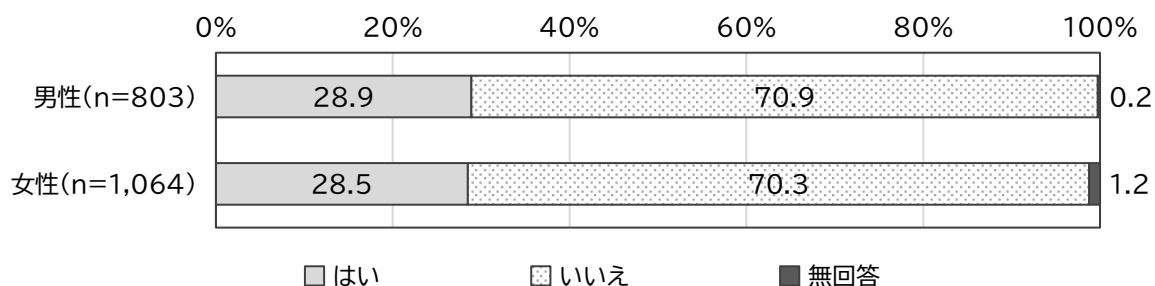
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-3-9 お茶や汁物等でむせることがあるか



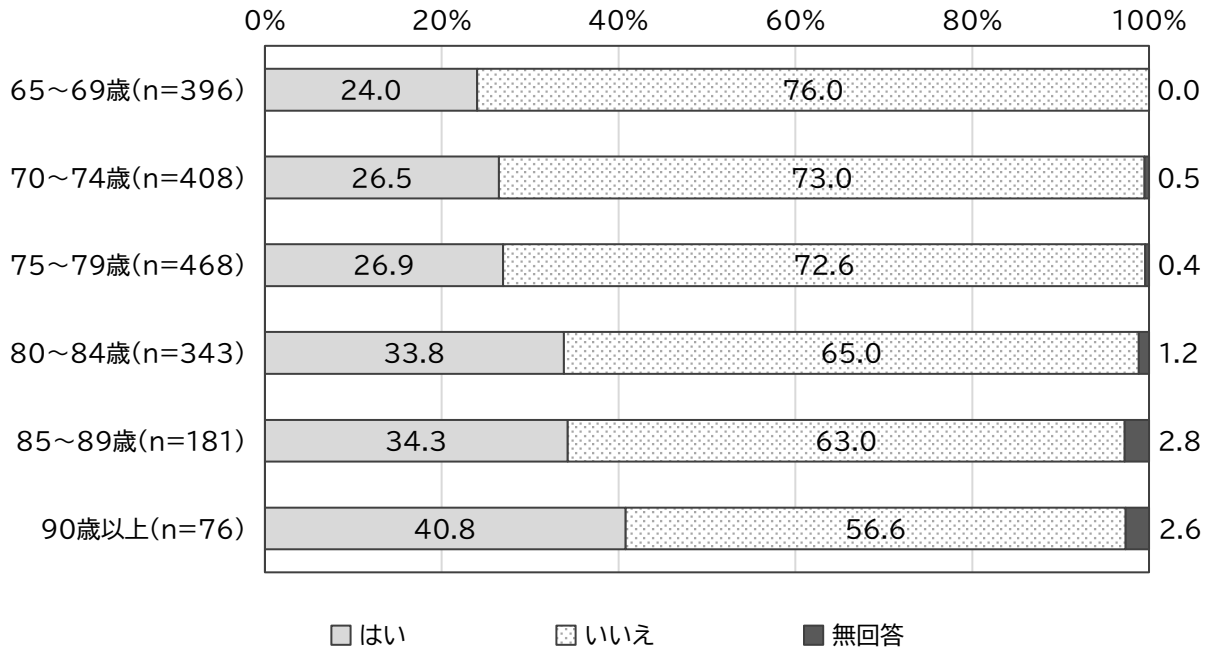
性別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-3-10 お茶や汁物等でむせることがあるか 性別



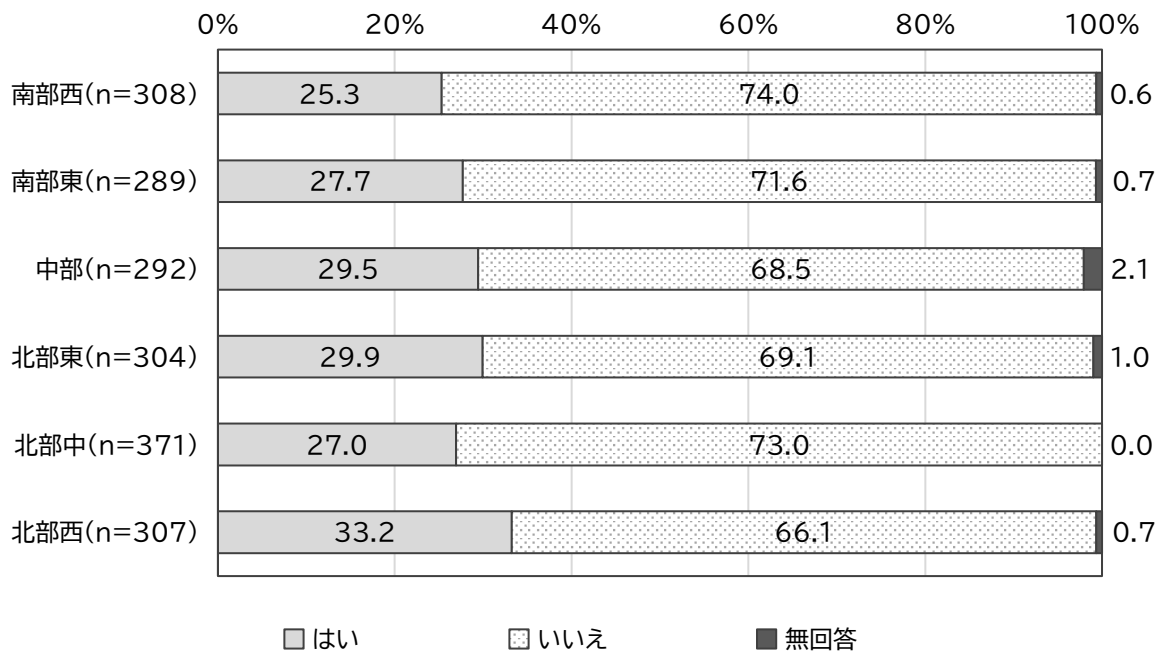
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で40.8%と最も高くなっています。

図表 2-3-11 お茶や汁物等でむせることがあるか 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部西地区で33.2%と最も高くなっています。

図表 2-3-12 お茶や汁物等でむせることがあるか 圏域別



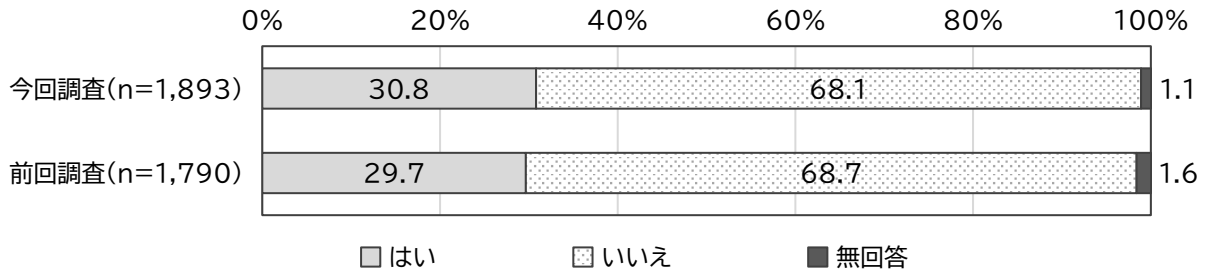
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(4) 口の渇きが気になるか

問5 (4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

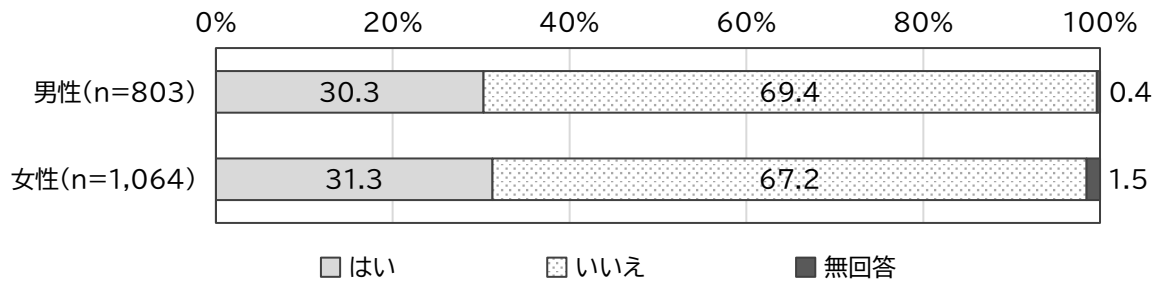
口の渇きが気になるかについては、「はい」が30.8%、「いいえ」が68.1%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-3-13 口の渇きが気になるか



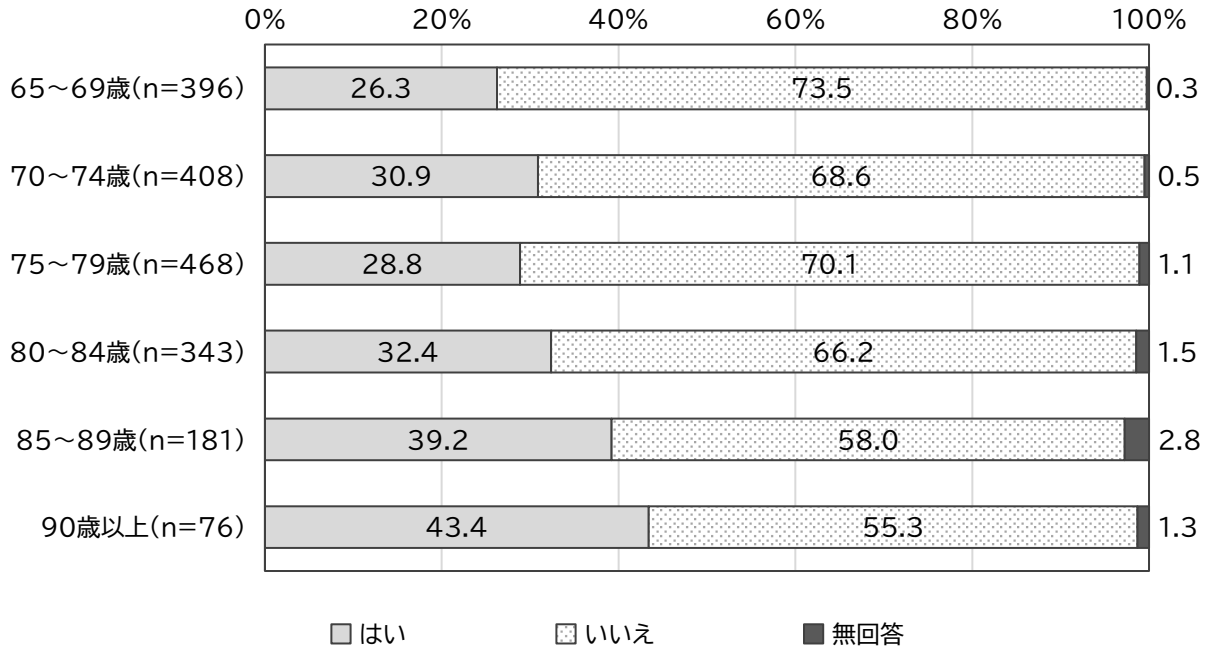
性別でみると、「はい」では、女性が31.3%で、男性(30.3%)より1.0ポイント高くなっています。

図表 2-3-14 口の渇きが気になるか 性別



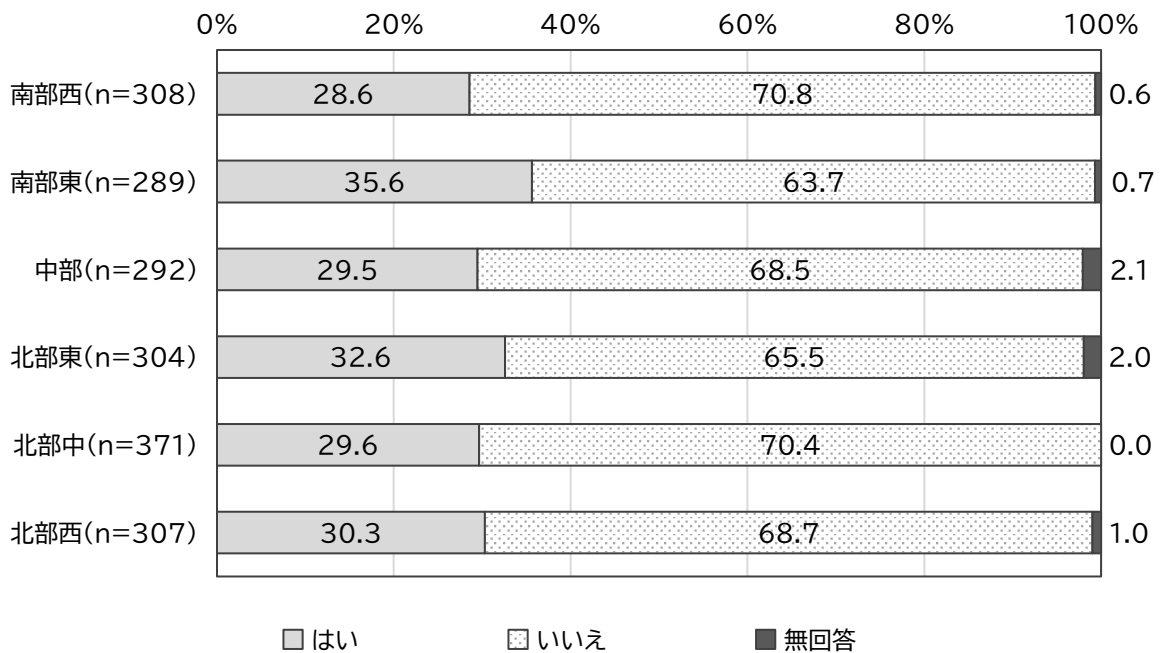
年齢別でみると、「はい」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で43.4%と最も高くなっています。

図表 2-3-15 口の渇きが気になるか 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、南部東地区で35.6%と最も高くなっています。

図表 2-3-16 口の渇きが気になるか 圏域別



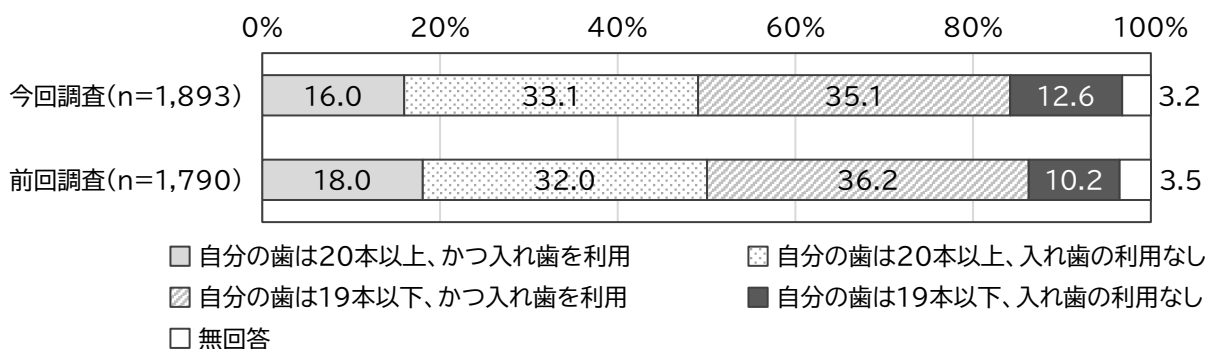
(5) 歯の数と入れ歯の利用状況

問5 (5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です) (○は1つ)

歯の数と入れ歯の状況については、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 35.1%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 33.1%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 16.0%となっています。

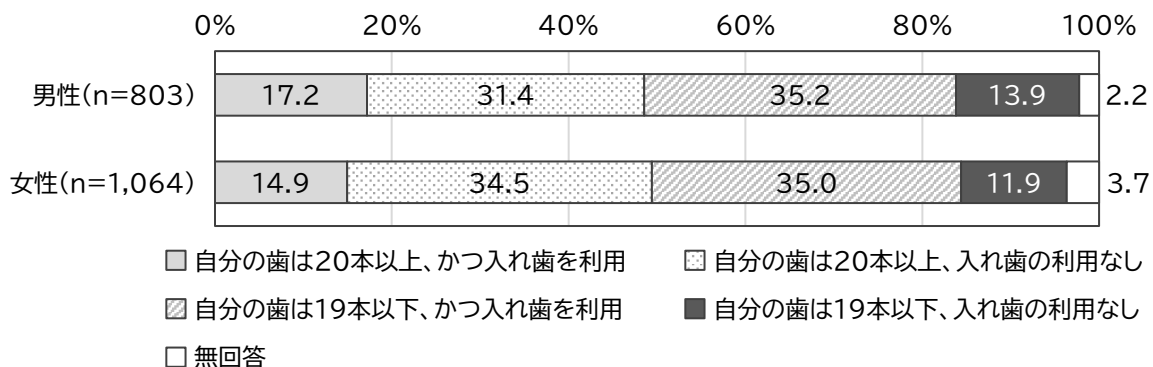
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-3-17 歯の数と入れ歯の利用状況



性別でみると、『自分の歯は 20 本以上』（「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の合計）では、男性が 48.6%、女性が 49.4%となっています。

図表 2-3-18 歯の数と入れ歯の利用状況 性別



年齢別でみると、『自分の歯は20本以上』では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳で61.3%と最も高く、90歳以上で30.2%と最も低くなっています。

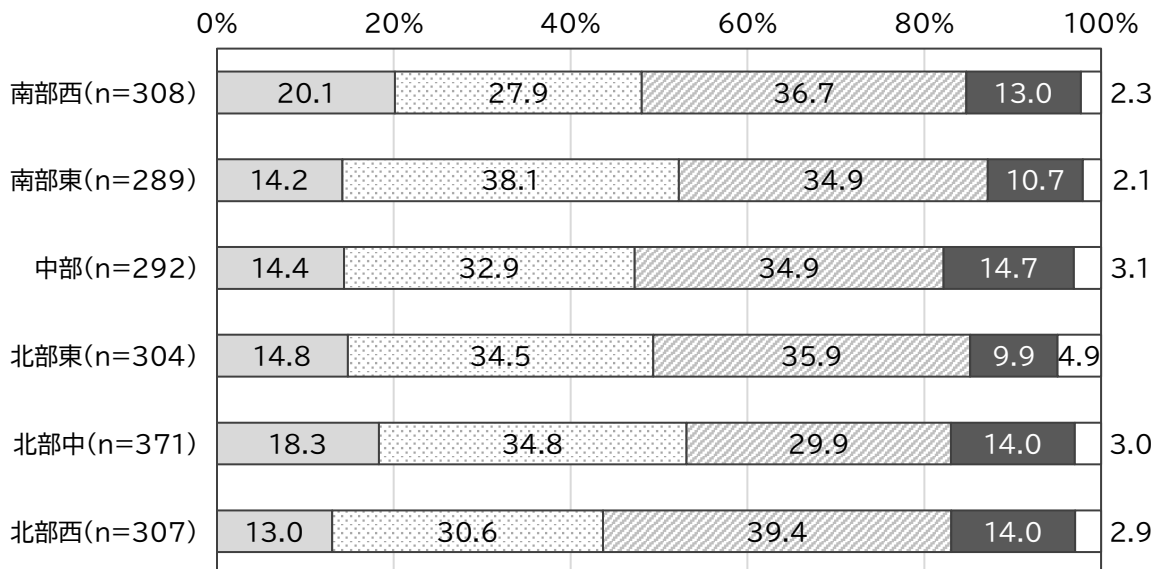
図表 2-3-19 歯の数と入れ歯の利用状況 年齢別



- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- ▨ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- ▩ 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 無回答

圏域別でみると、『自分の歯は20本以上』では、北部中地区で53.1%と最も高くなっています。

図表 2-3-20 歯の数と入れ歯の利用状況 圏域別



- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- ▨ 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- ▩ 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
- 無回答

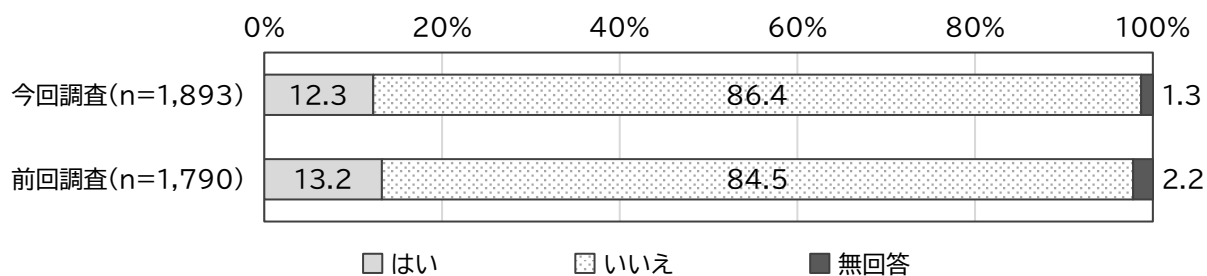
(6) 6か月で2～3kg以上の体重減少の有無

問5 (6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

6か月で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が12.3%、「いいえ」が86.4%となっています。

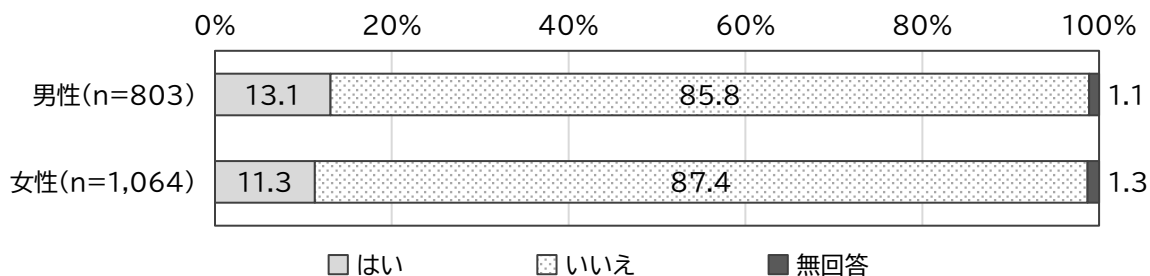
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-3-21 6か月で2～3kg以上の体重減少の有無



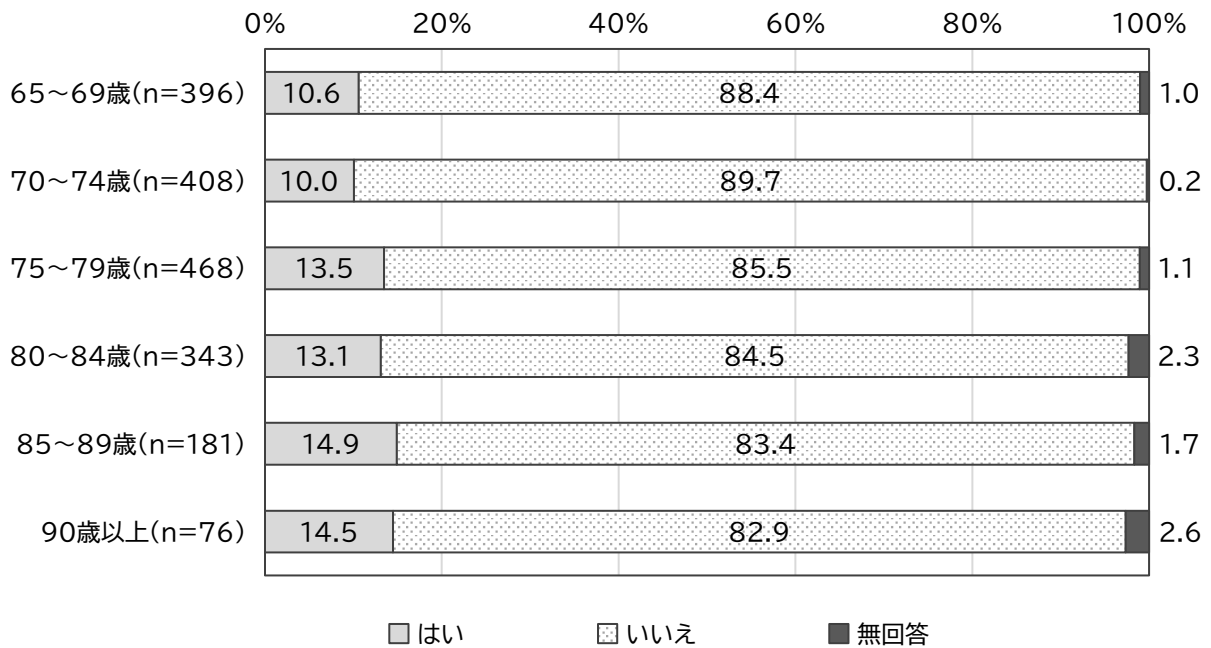
性別でみると、「はい」では、男性が13.1%で、女性(11.3%)より1.8ポイント高くなっています。

図表 2-3-22 6か月で2～3kg以上の体重減少の有無 性別



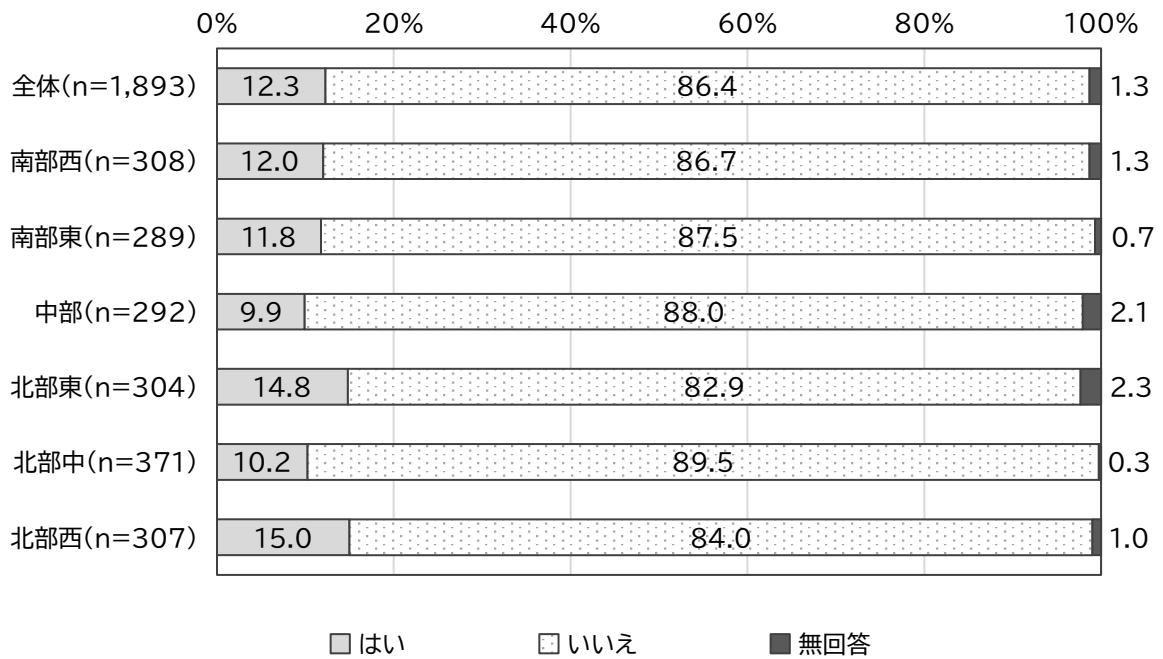
年齢別で見ると、「はい」では、85～89歳で14.9%と最も高くなっています。

図表 2-3-23 6か月で2～3kg以上の体重減少の有無 年齢別



圏域別で見ると、「はい」では、北部西地区で15.0%と最も高くなっています。

図表 2-3-24 6か月で2～3kg以上の体重減少の有無 圏域別



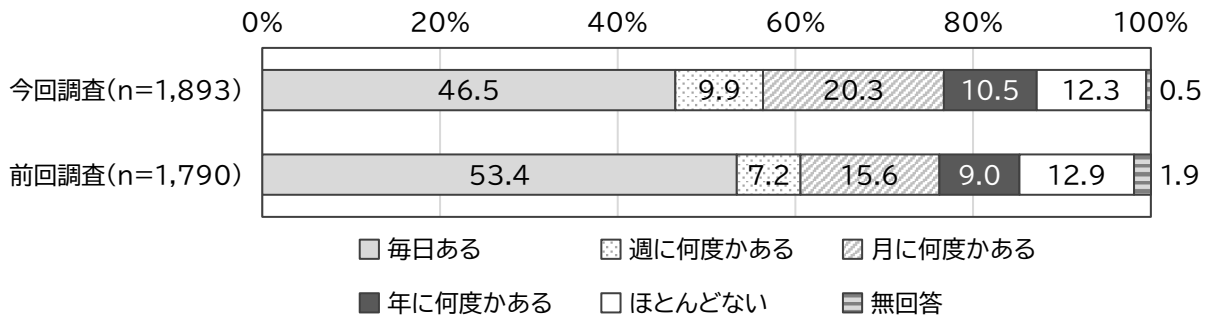
(7) 共食の機会

問5 (7) どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○は1つ)

共食の機会については、「毎日ある」が46.5%と最も高く、次いで「月に何度かある」が20.3%、「ほとんどない」が12.3%となっています。

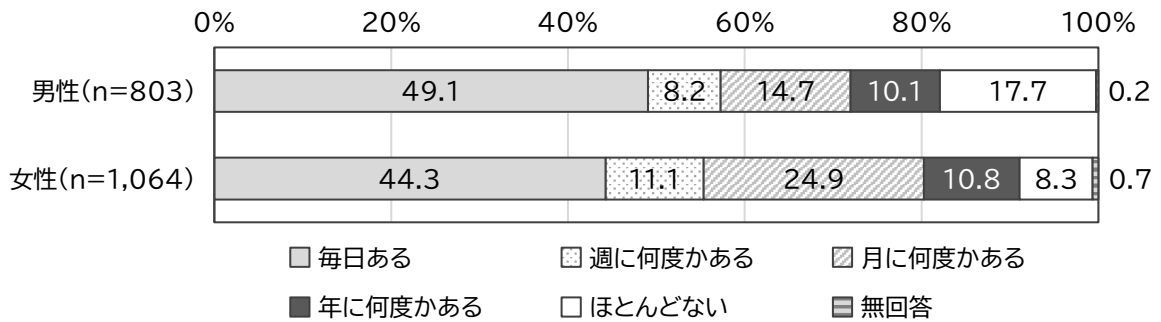
前回調査と比較すると、「毎日ある」(46.5%)が、前回調査(53.4%)より6.9ポイント減少しています。

図表 2-3-25 共食の機会



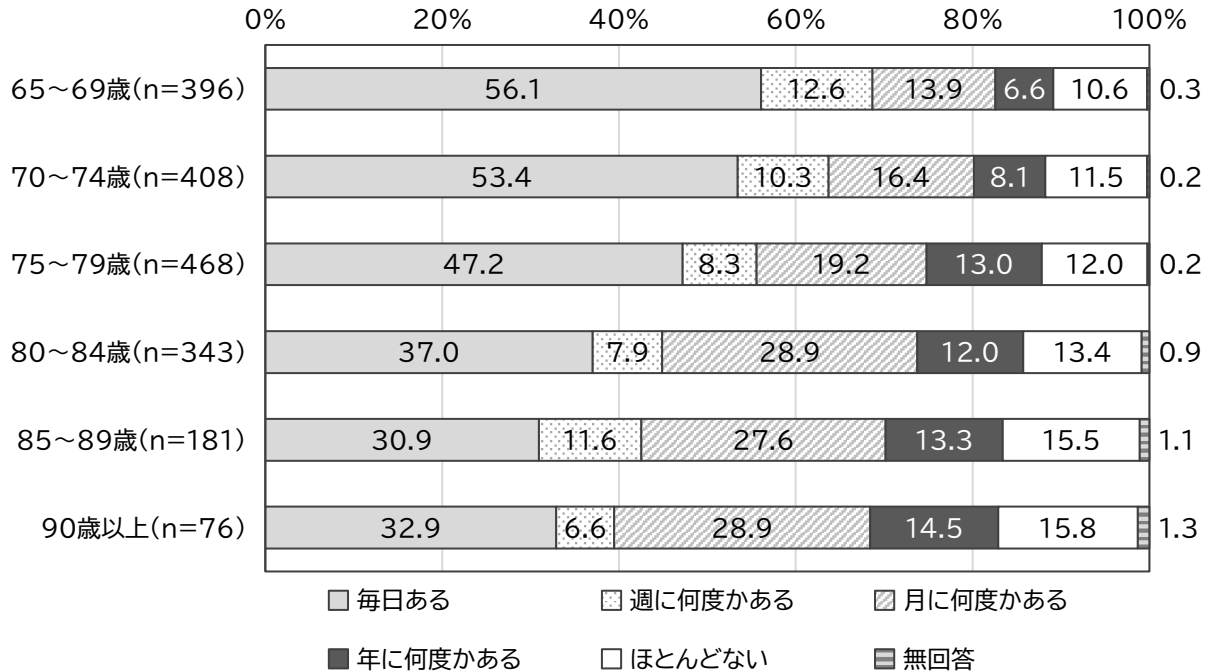
性別でみると、「ほとんどない」では、男性が17.7%で、女性(8.3%)より9.4ポイント高くなっています。

図表 2-3-26 共食の機会 性別



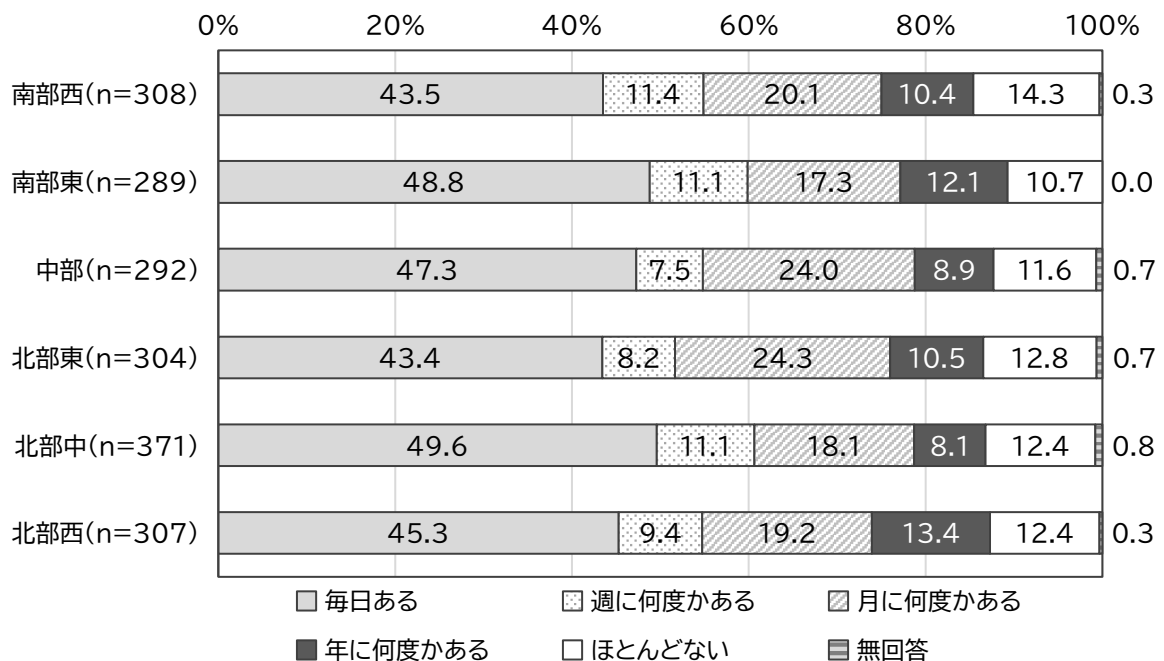
年齢別でみると、「毎日ある」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳で56.1%と最も高く、85～89歳で30.9%と最も低くなっています。

図表 2-3-27 共食の機会 年齢別



圏域別でみると、「毎日ある」では、北部中地区で49.6%と最も高くなっており、「ほとんどない」では、南部西地区で14.3%と最も高くなっています。

図表 2-3-28 共食の機会 圏域別



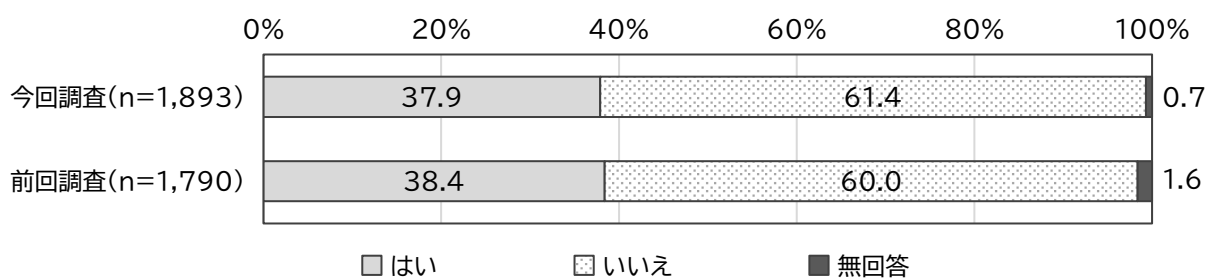
4. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

問6 (1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

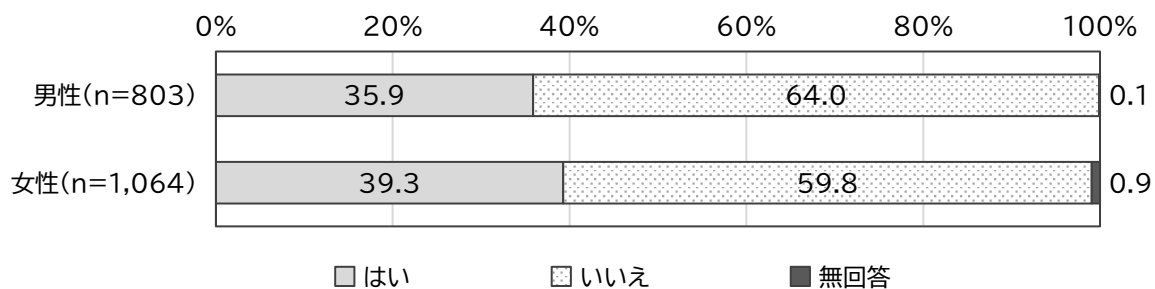
物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が37.9%、「いいえ」が61.4%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-4-1 物忘れが多いと感じるか

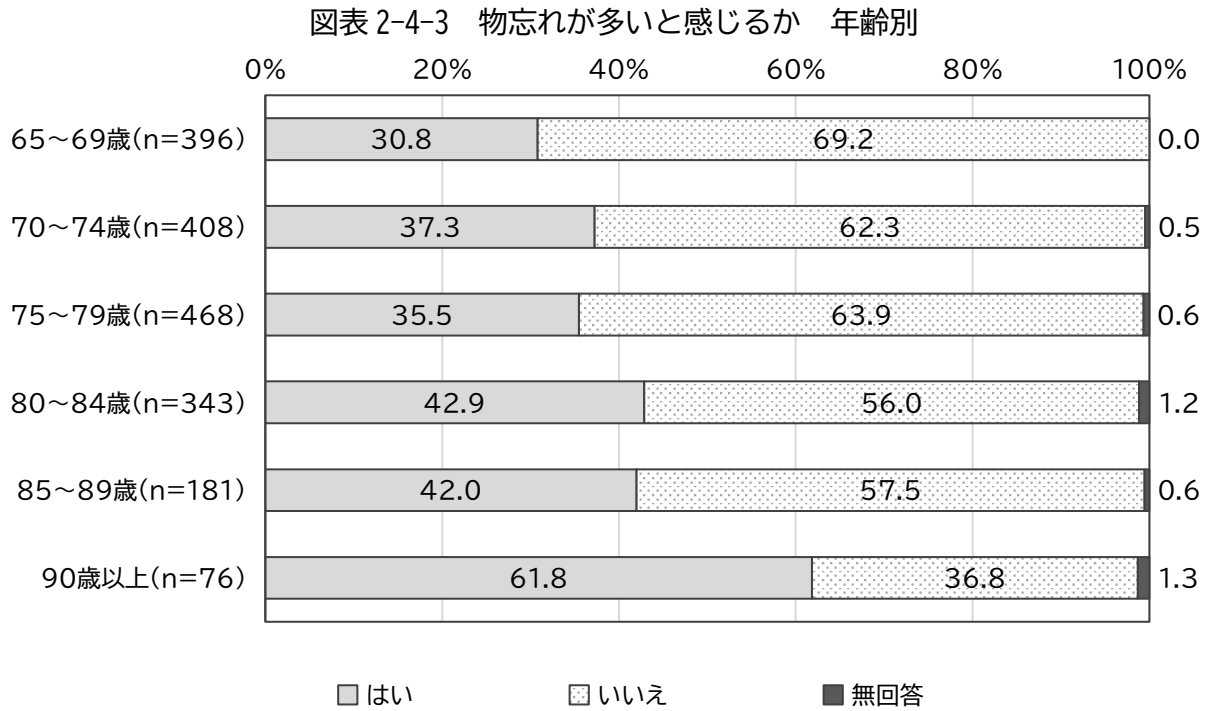


性別でみると、「はい」では、女性が39.3%で、男性(35.9%)より3.4ポイント高くなっています。

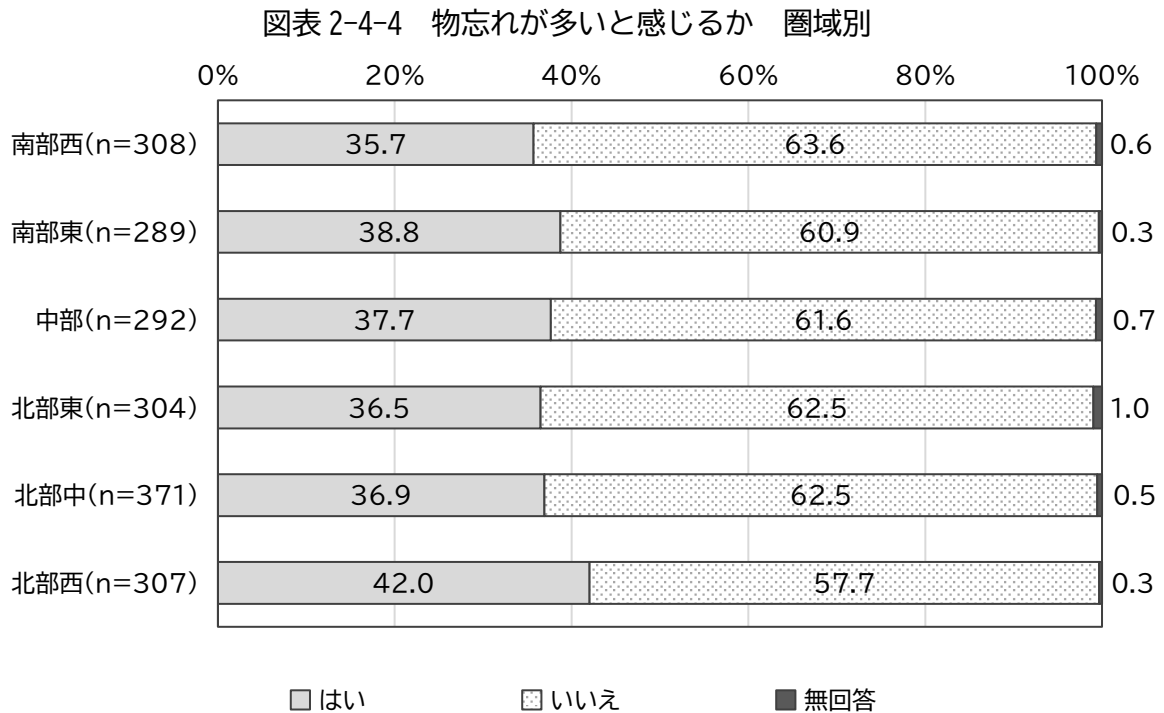
図表 2-4-2 物忘れが多いと感じるか 性別



年齢別でみると、「はい」では、90歳以上で61.8%と最も高くなっています。



圏域別でみると、「はい」では、北部西地区で42.0%と最も高くなっています。



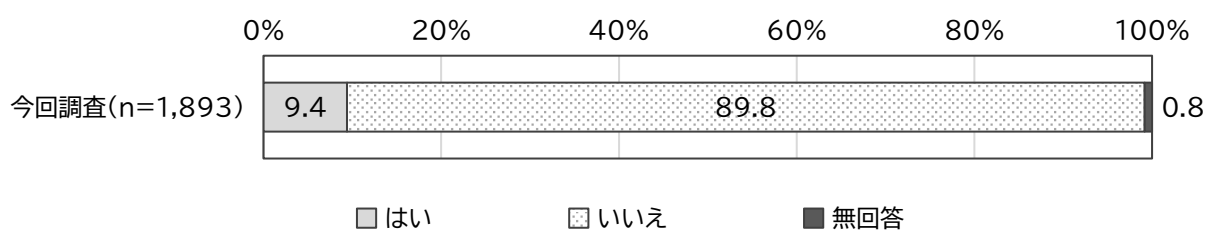
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(2) 周りの人から物忘れを指摘されるか

問6 (2) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか。
(○は1つ)

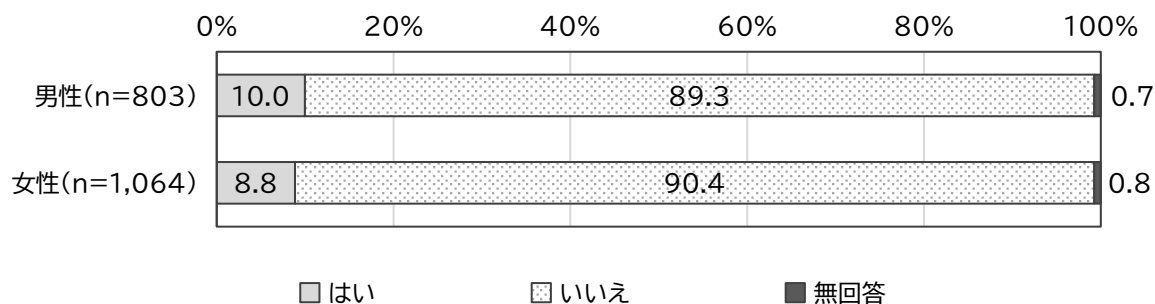
周りの人から物忘れを指摘されるかについては、「はい」が9.4%、「いいえ」が89.8%となっています。

図表 2-4-5 物忘れを指摘されるか



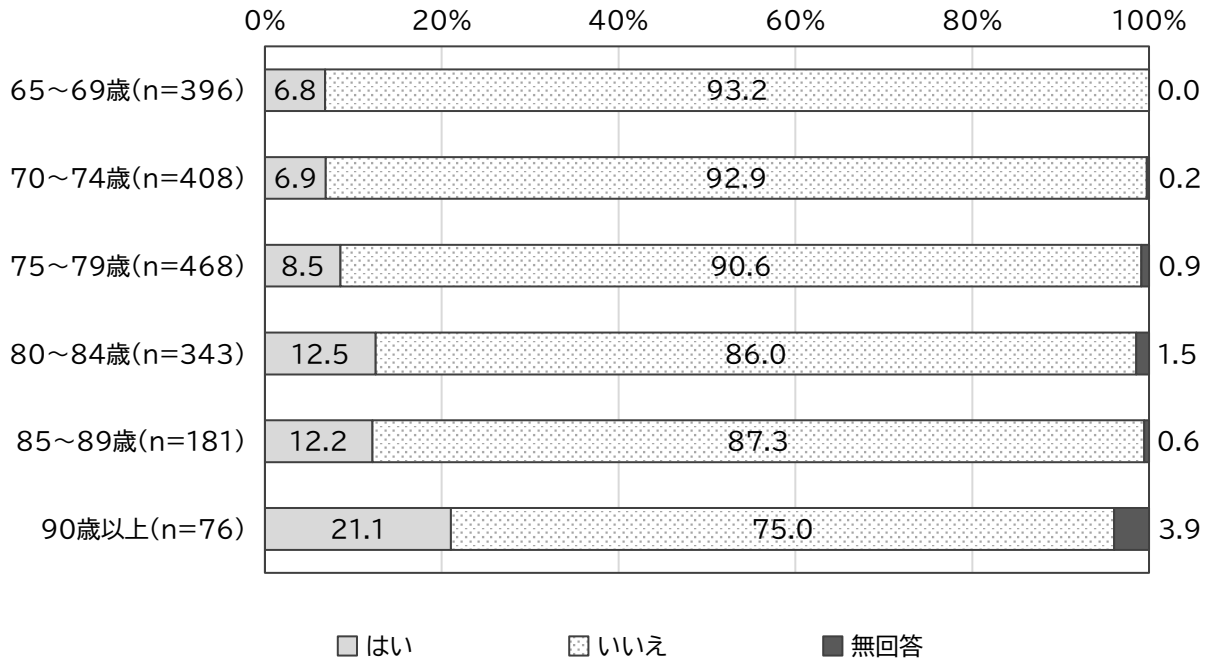
性別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-4-6 物忘れを指摘されるか 性別



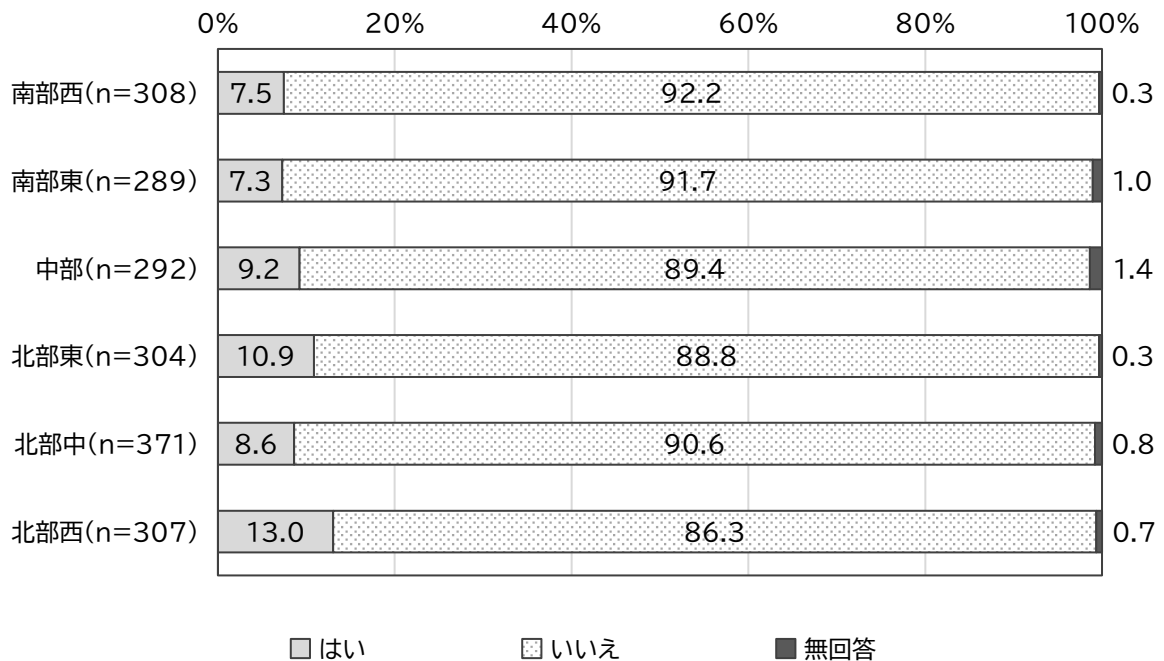
年齢別でみると、「はい」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で21.1%と最も高くなっています。

図表 2-4-7 物忘れを指摘されるか 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部西地区で13.0%と最も高くなっています。

図表 2-4-8 物忘れを指摘されるか 圏域別



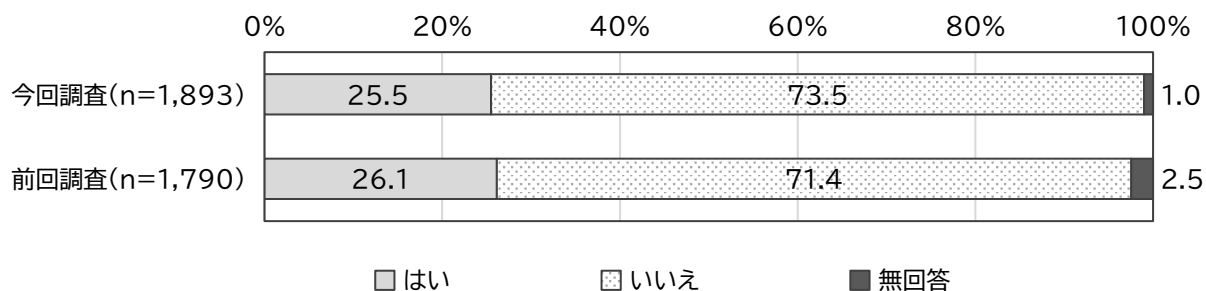
(3) 日にちがわからない時があるか

問6 (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

日にちがわからない時があるかについては、「はい」が25.5%、「いいえ」が73.5%となっています。

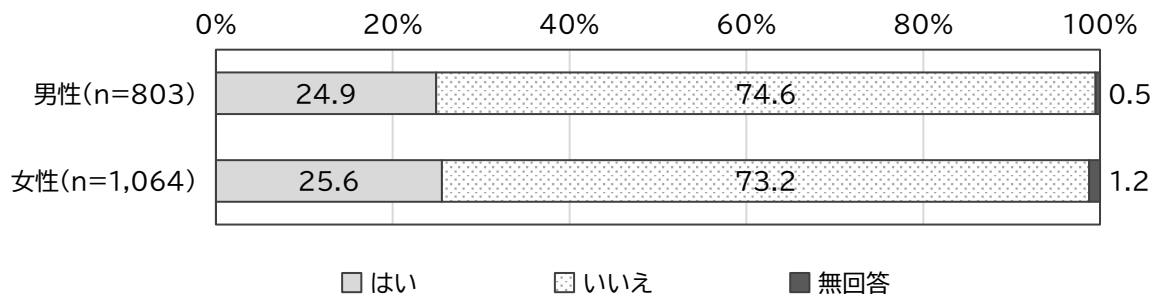
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-4-9 日にちがわからない時があるか



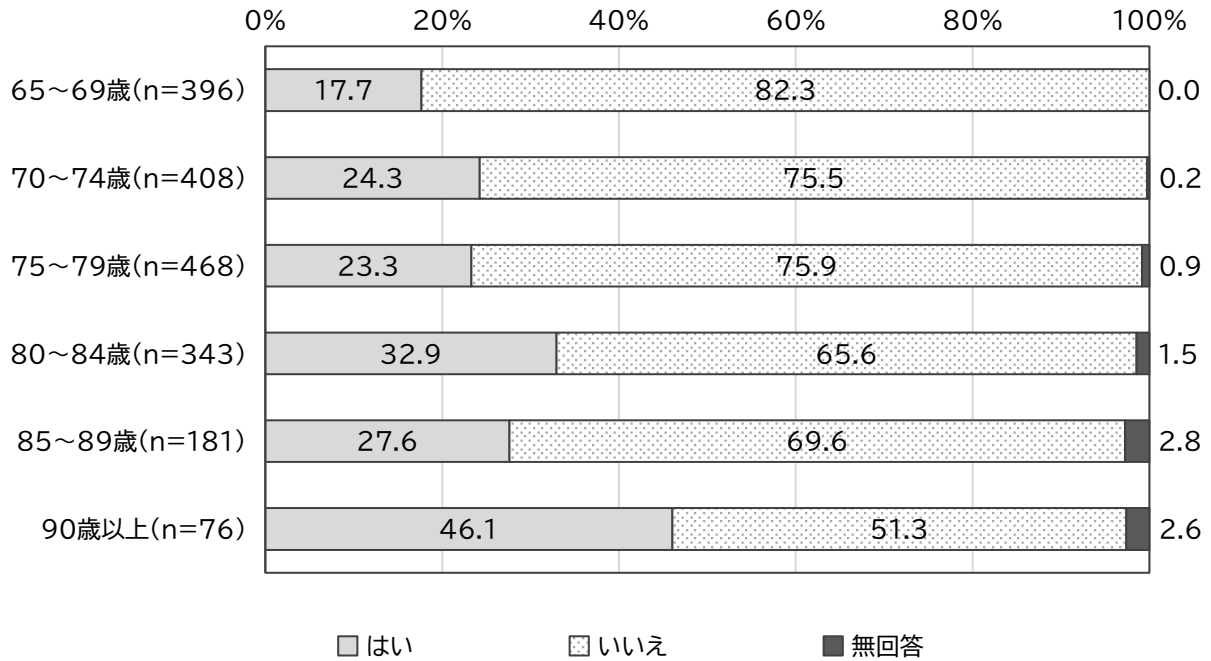
性別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-4-10 日にちがわからない時があるか 性別



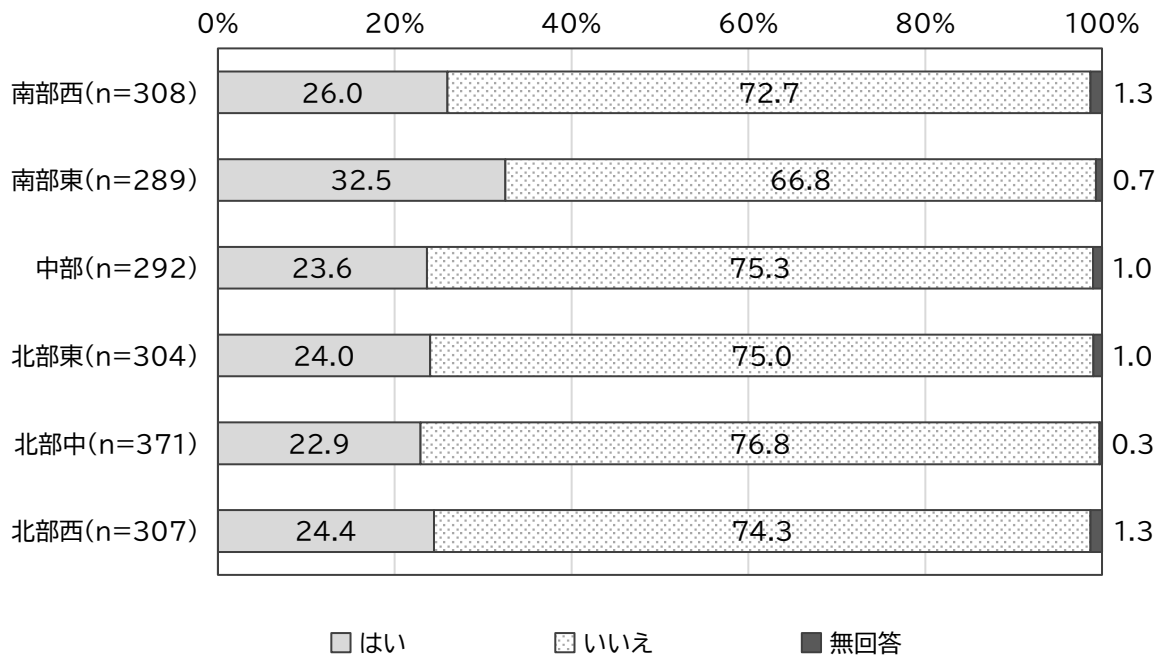
年齢別でみると、「はい」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で46.1%と最も高くなっています。

図表 2-4-11 日にちがわからない時があるか 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、南部東地区で32.5%と最も高くなっています。

図表 2-4-12 日にちがわからない時があるか 圏域別



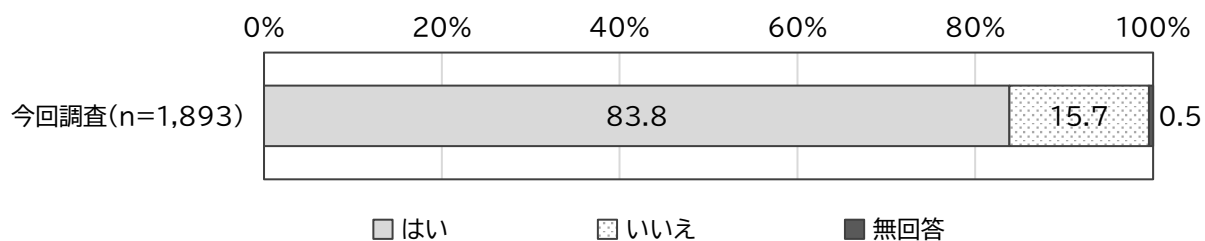
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(4) 自分で電話をかけることができるか

問6 (4) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(○は1つ)

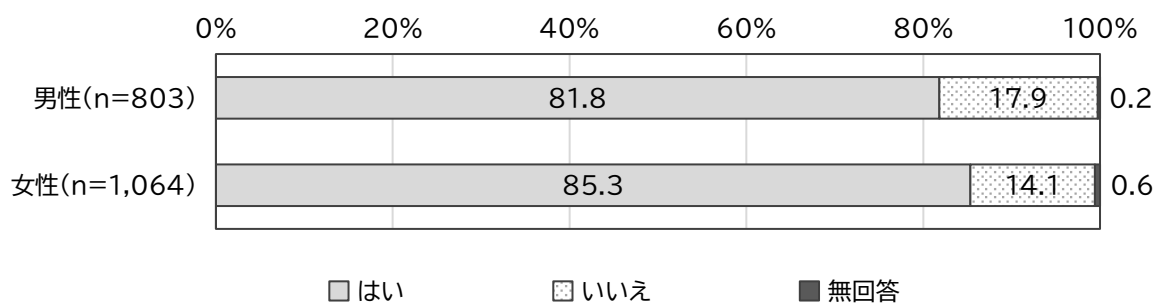
自分で電話をかけることができるかについては、「はい」が83.8%、「いいえ」が15.7%となっています。

図表 2-4-13 自分で電話をかけることができるか



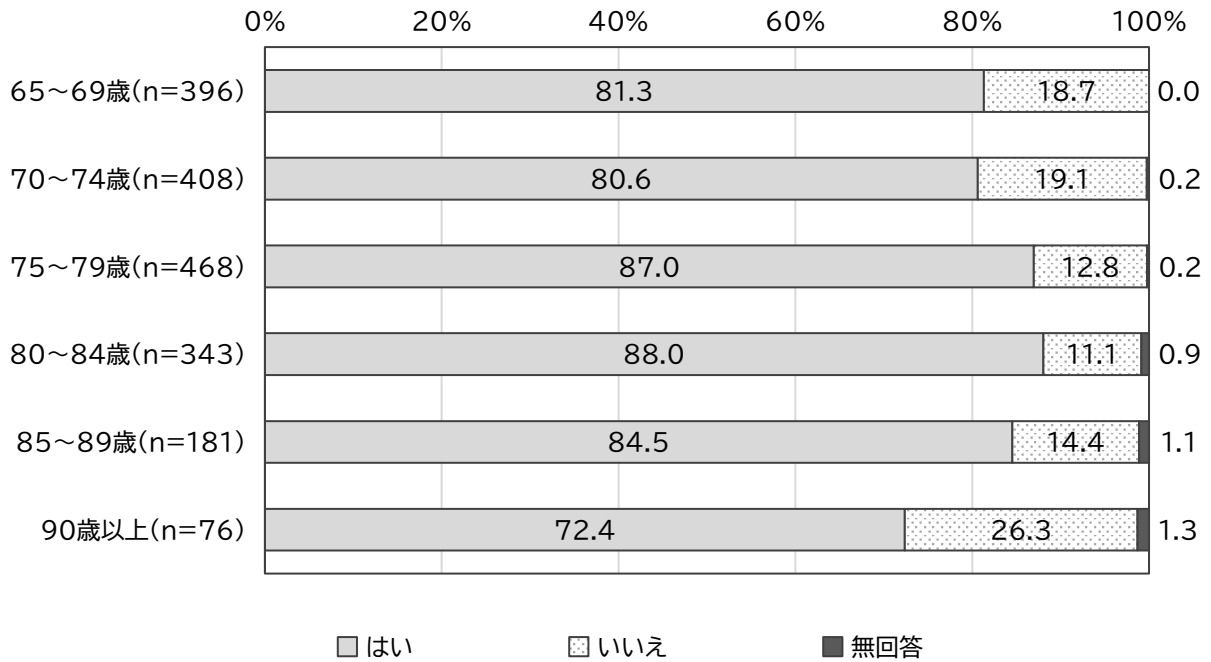
性別で見ると、「はい」では、女性が85.3%で、男性(81.8%)より3.5ポイント高くなっています。

図表 2-4-14 自分で電話をかけることができるか 性別



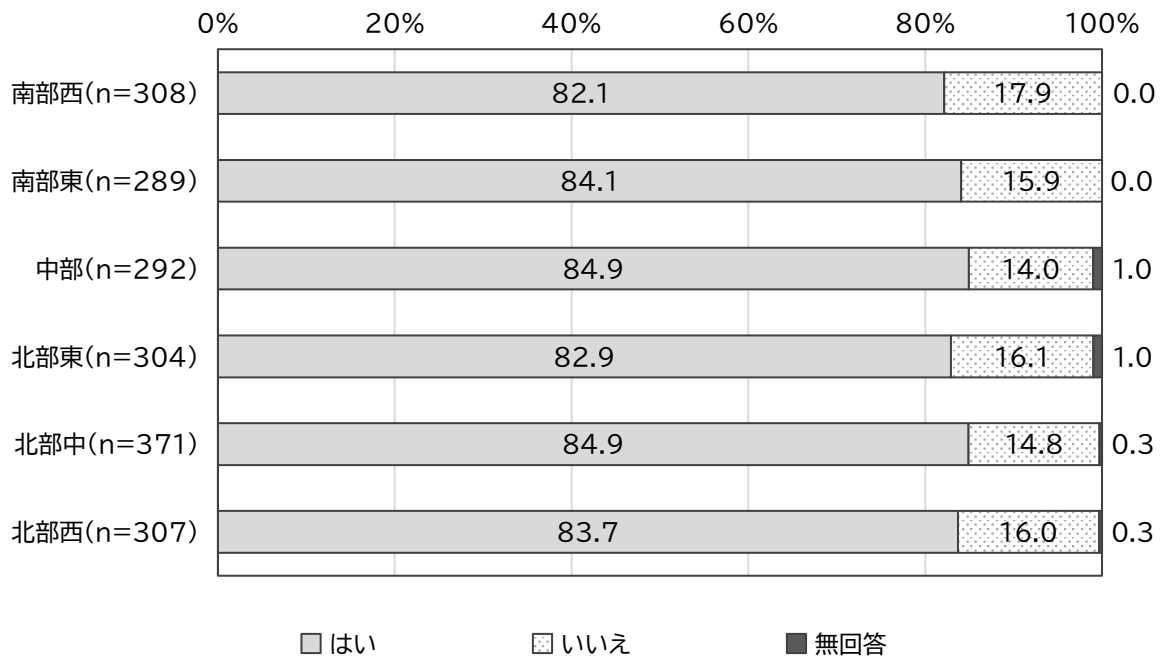
年齢別でみると、「はい」では、80～84歳で88.0%と最も高くなっています。

図表 2-4-15 自分で電話をかけることができるか 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、中部地区と北部中地区で84.9%と最も高くなっています。

図表 2-4-16 自分で電話をかけることができるか 圏域別



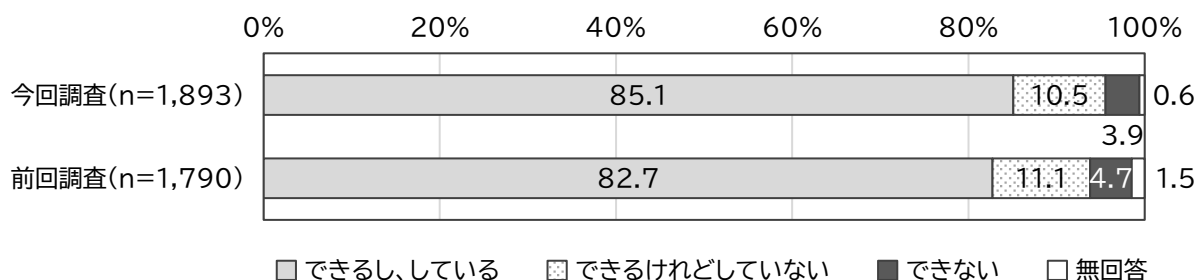
(5) 1人で外出できるか

問6 (5) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が85.1%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が10.5%、「できない」が3.9%となっています。

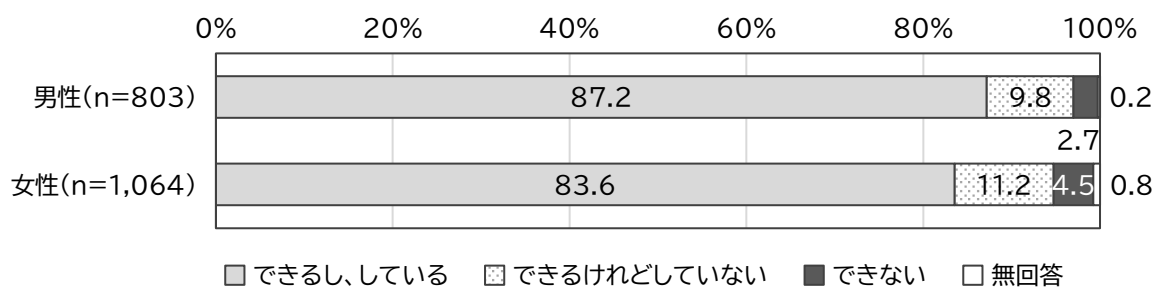
前回調査と比較すると、「できるし、している」(85.1%)が前回調査(82.7%)より2.4ポイント高くなっています。

図表 2-4-17 1人で外出できるか



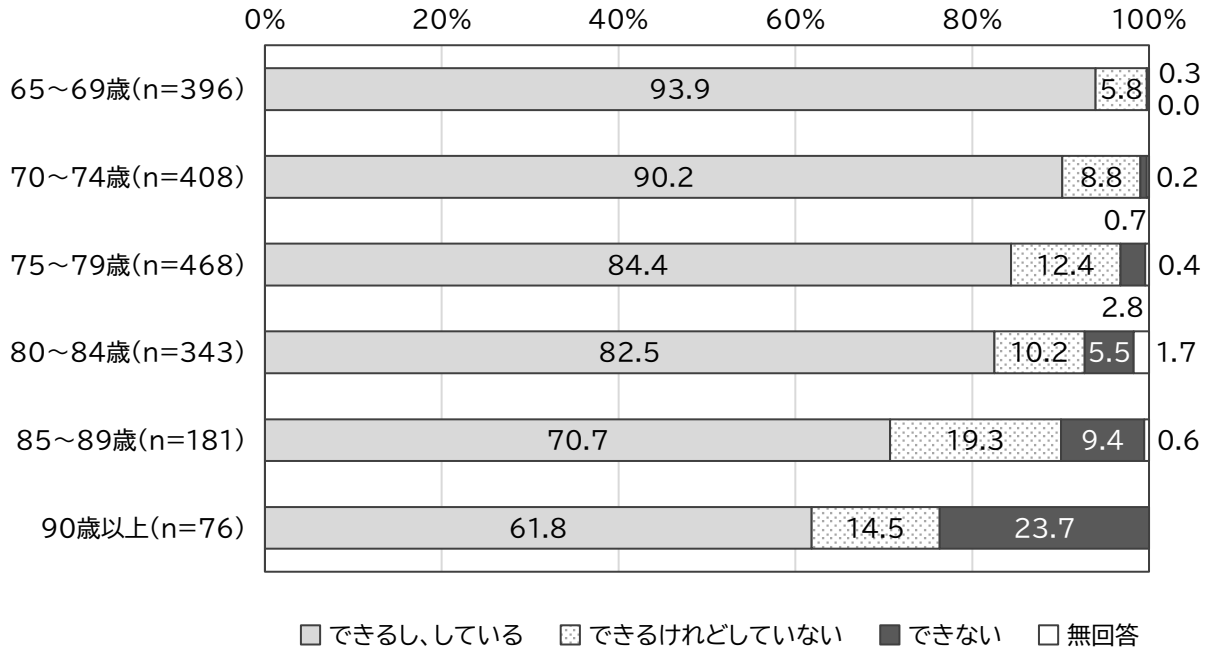
性別で見ると、「できるし、している」では、男性が87.2%で、女性(83.6%)より3.6ポイント高くなっています。

図表 2-4-18 1人で外出できるか 性別



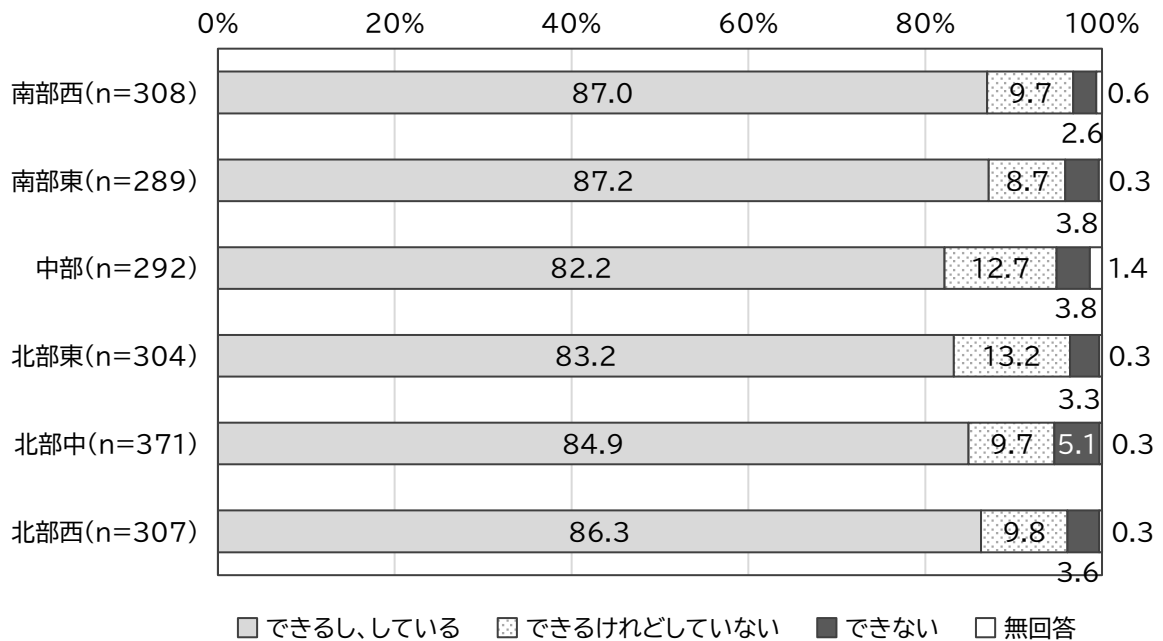
年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で23.7%と最も高くなっています。

図表 2-4-19 一人で外出できるか 年齢別



圏域別でみると、「できない」では、北部中地区で5.1%と最も高くなっています。

図表 2-4-20 一人で外出できるか 圏域別



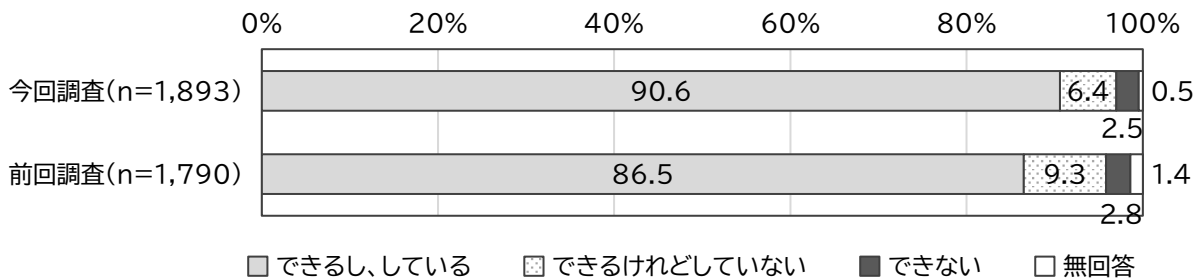
(6) 自分で食品・日用品の買物ができるか

問6 (6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

自分で食品・日用品の買物ができるかについては、「できるし、している」が90.6%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が6.4%、「できない」が2.5%となっています。

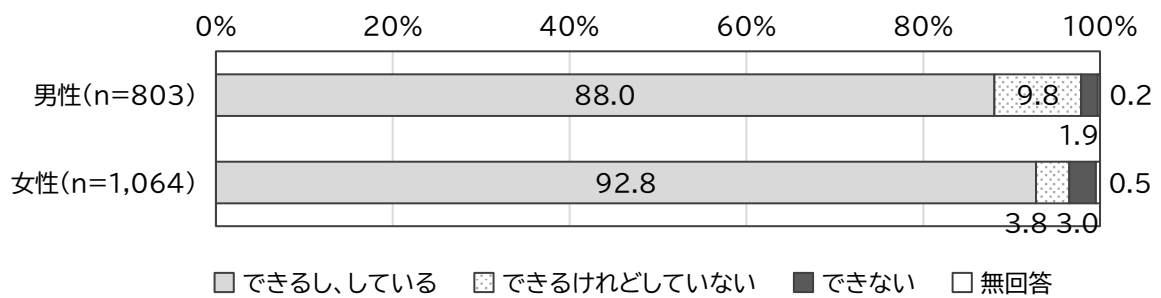
前回調査と比較すると、「できるし、している」(90.6%)が前回調査(86.5%)より4.1ポイント高くなっています。

図表 2-4-21 自分で食品・日用品の買物ができるか



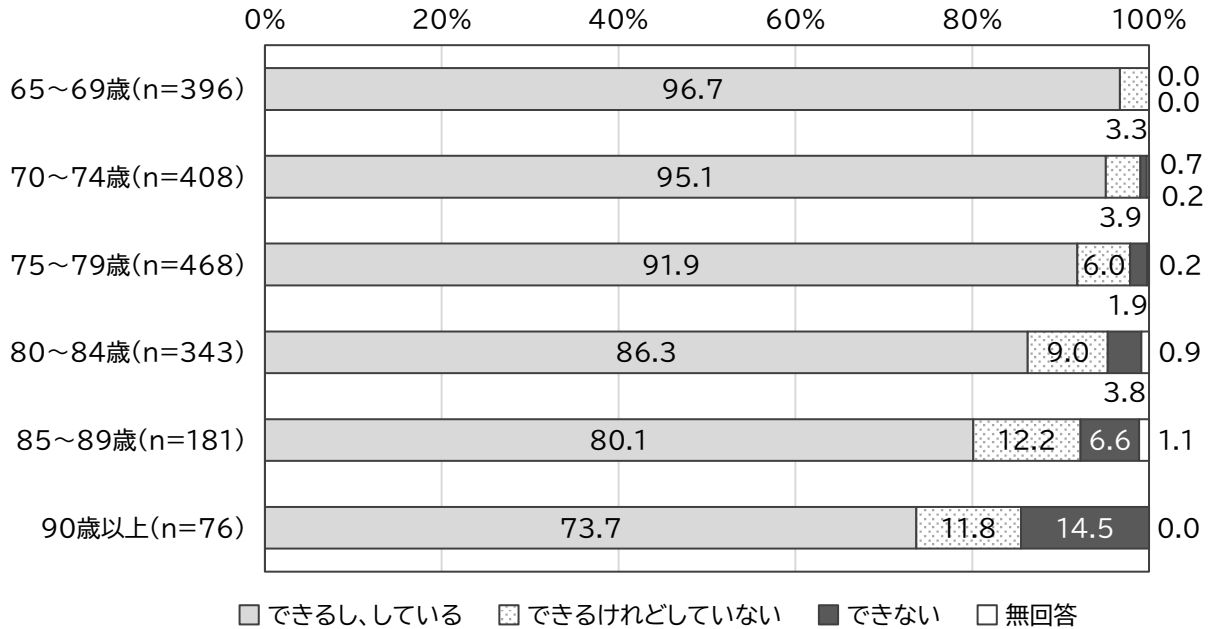
性別で見ると、「できるけれどしていない」では、男性が9.8%で、女性(3.8%)より6.0ポイント高くなっています。

図表 2-4-22 自分で食品・日用品の買物ができるか 性別



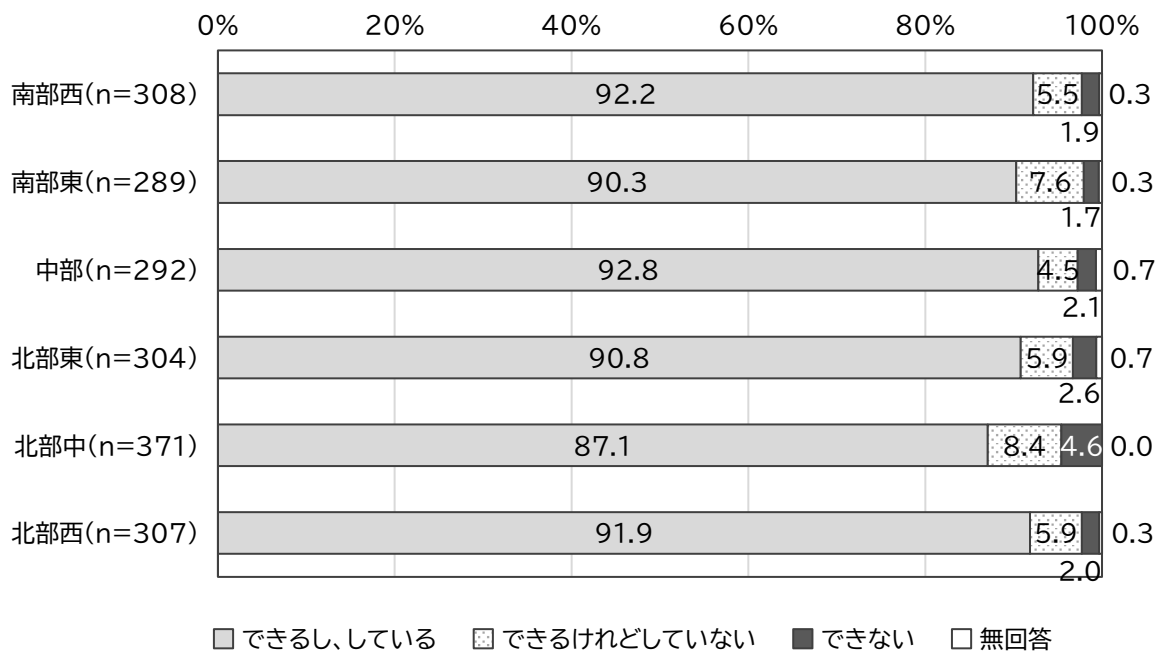
年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で14.5%と最も高くなっています。

図表 2-4-23 自分で食品・日用品の買物ができるか 年齢別



圏域別でみると、「できない」では、北部中地区で4.6%と最も高くなっています。

図表 2-4-24 自分で食品・日用品の買物ができるか 圏域別



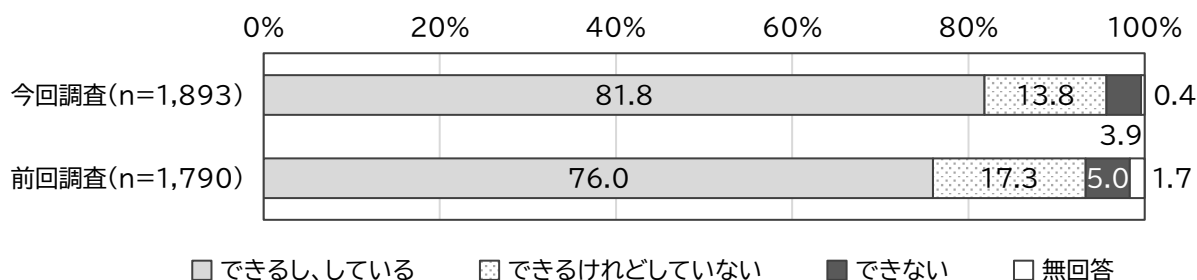
(7) 自分で食事の用意ができるか

問6 (7) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

自分で食事の用意ができるかについては、「できるし、している」が81.8%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が13.8%、「できない」が3.9%となっています。

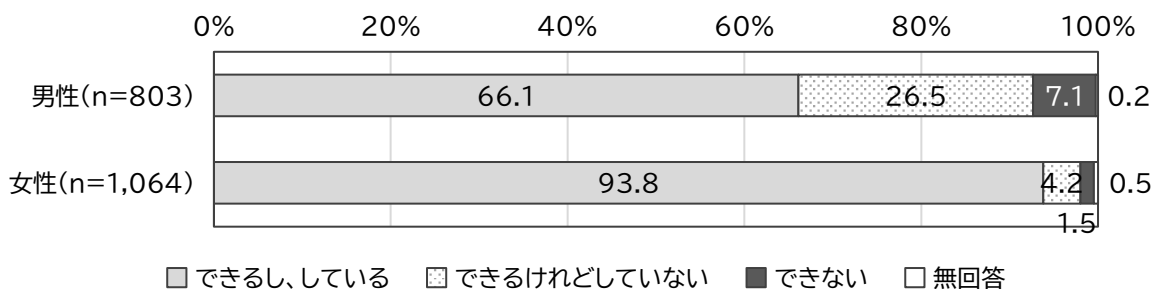
前回調査と比較すると、「できるし、している」(81.8%)が前回調査(76.0%)より5.8ポイント高くなっています。

図表 2-4-25 自分で食事の用意ができるか



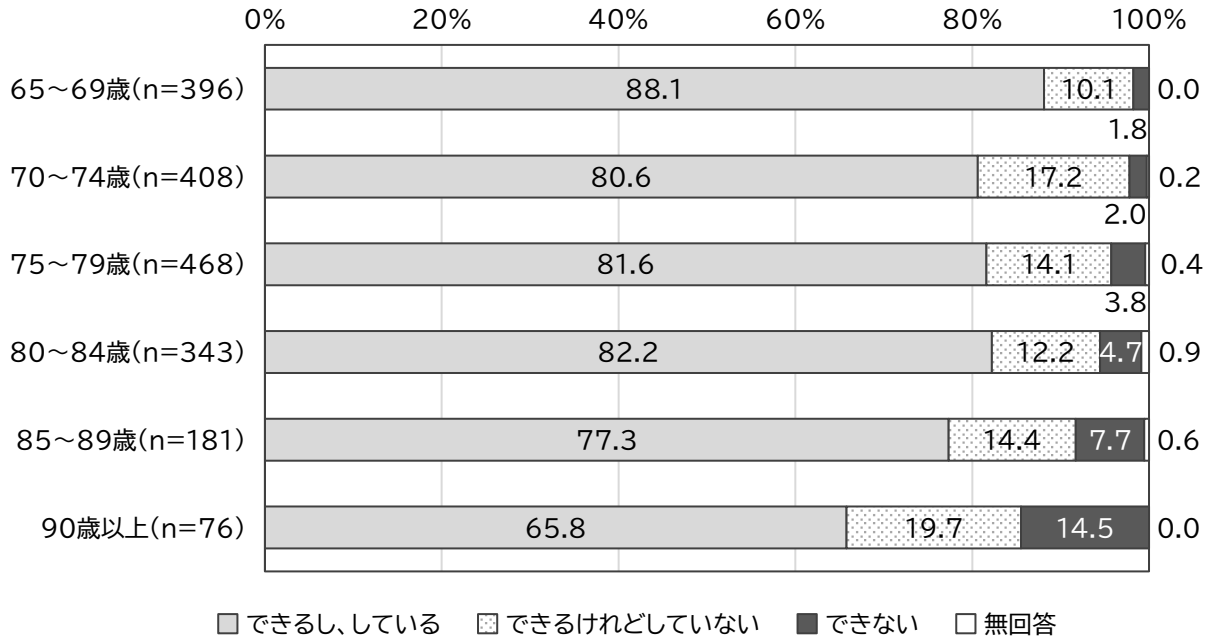
性別でみると、「できるけれどしていない」では、男性が26.5%で、女性(4.2%)より22.3ポイント高くなっています。

図表 2-4-26 自分で食事の用意ができるか 性別



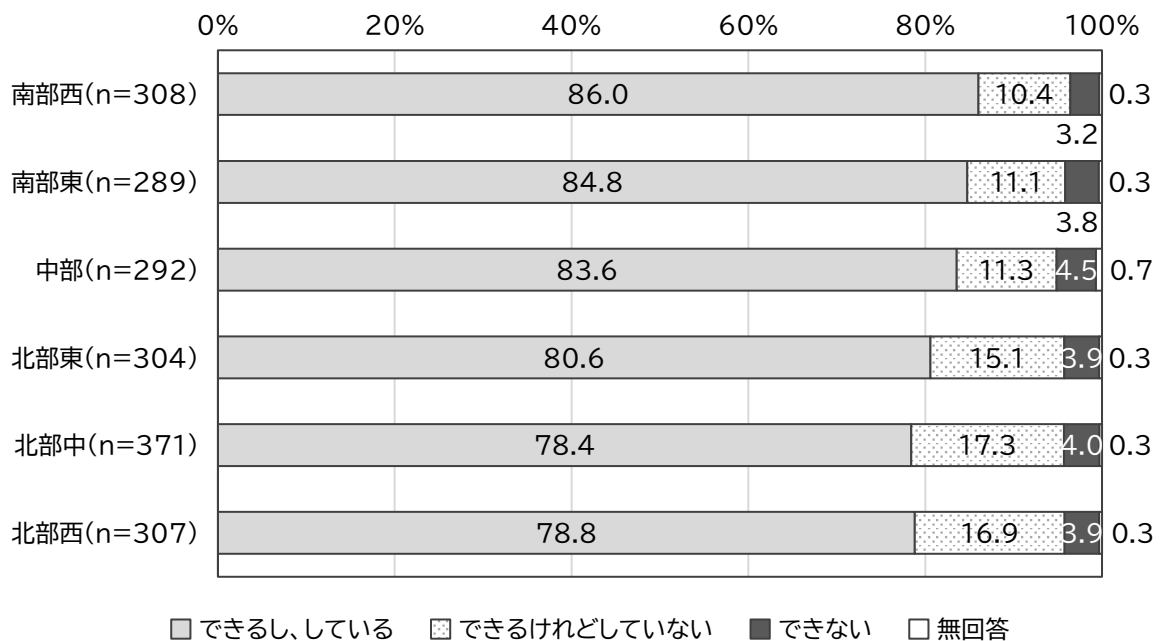
年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で14.5%と最も高くなっています。

図表 2-4-27 自分で食事の用意ができるか 年齢別



圏域別でみると、「できない」では、中部地区で4.5%と最も高くなっています。

図表 2-4-28 自分で食事の用意ができるか 圏域別



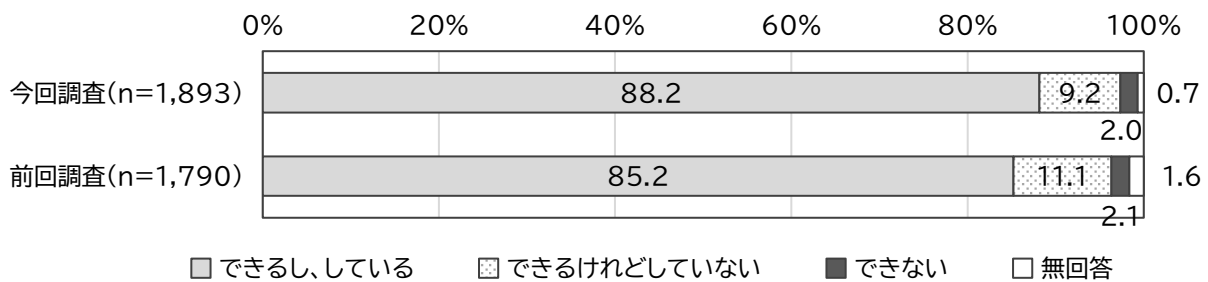
(8) 自分で請求書の支払いができるか

問6 (8) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が88.2%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が9.2%、「できない」が2.0%となっています。

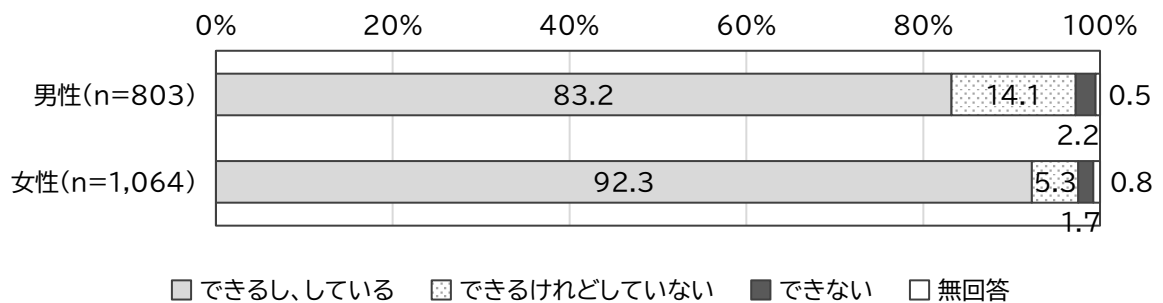
前回調査と比較すると、「できるし、している」(88.2%)が前回調査(85.2%)より3.0ポイント高くなっています。

図表 2-4-29 自分で請求書の支払いができるか



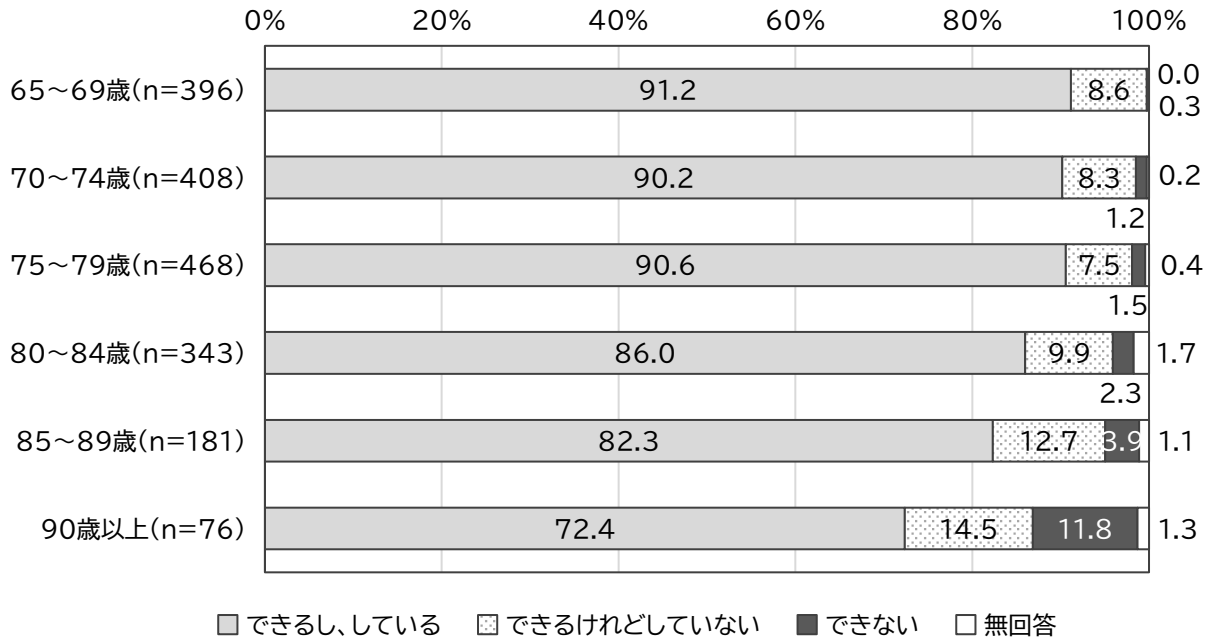
性別でみると、「できるけれどしていない」では、男性が14.1%で、女性(5.3%)より8.8ポイント高くなっています。

図表 2-4-30 自分で請求書の支払いができるか 性別



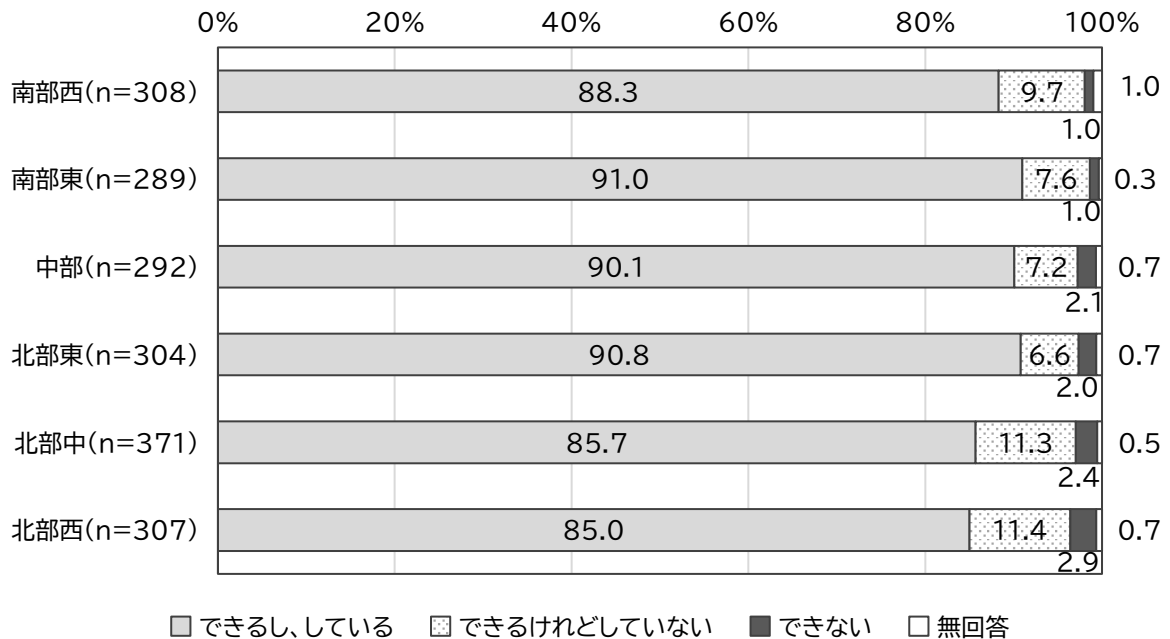
年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で11.8%と最も高くなっています。

図表 2-4-31 自分で請求書の支払いができるか 年齢別



圏域別でみると、「できない」では、北部西地区で2.9%と最も高くなっています。

図表 2-4-32 自分で請求書の支払いができるか 圏域別



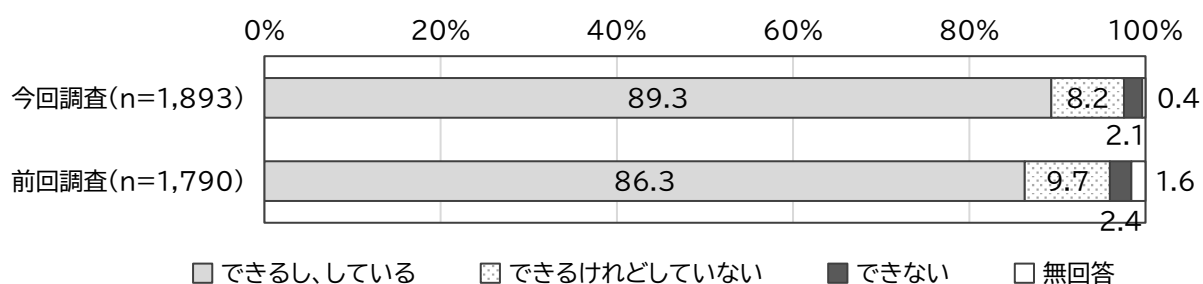
(9) 自分で預貯金の出し入れができるか

問6 (9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

自分で預貯金の出し入れができるかについては、「できるし、している」が89.3%と最も高く、次いで「できるけれどしていない」が8.2%、「できない」が2.1%となっています。

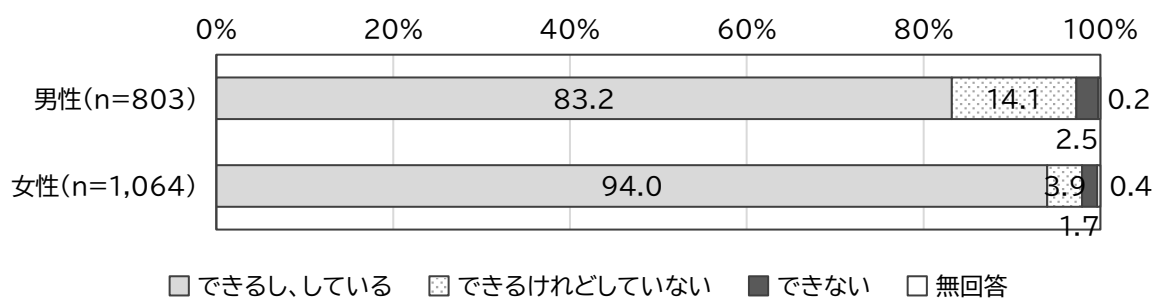
前回調査と比較すると、「できるし、している」(89.3%)が前回調査(86.3%)より3.0ポイント高くなっています。

図表 2-4-33 自分で預貯金の出し入れができるか



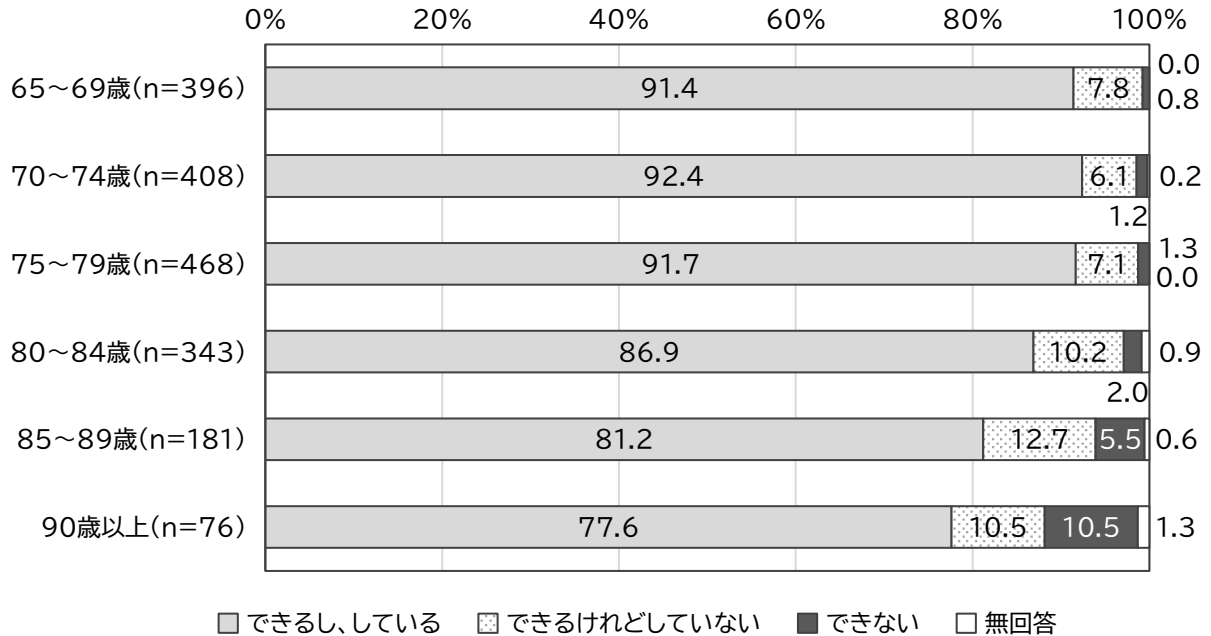
性別で見ると、「できるけれどしていない」では、男性が14.1%で、女性(3.9%)より10.2ポイント高くなっています。

図表 2-4-34 自分で預貯金の出し入れができるか 性別



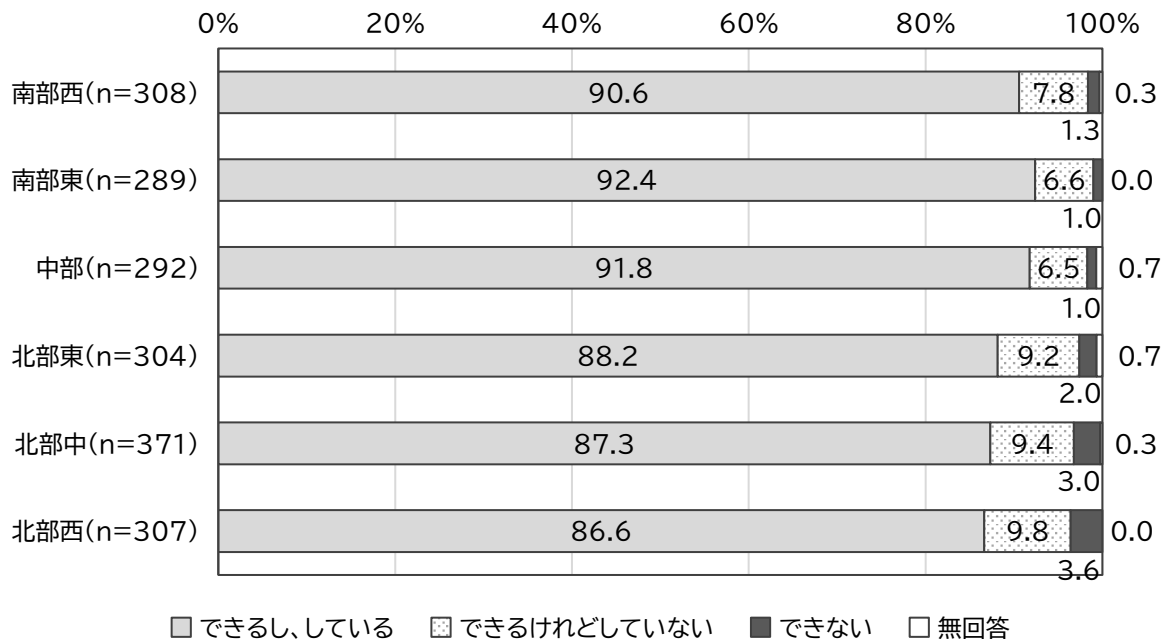
年齢別でみると、「できない」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で10.5%と最も高くなっています。

図表 2-4-35 自分で預貯金の出し入れができるか 年齢別



圏域別でみると、「できない」では、北部西地区で3.6%と最も高くなっています。

図表 2-4-36 自分で預貯金の出し入れができるか 圏域別

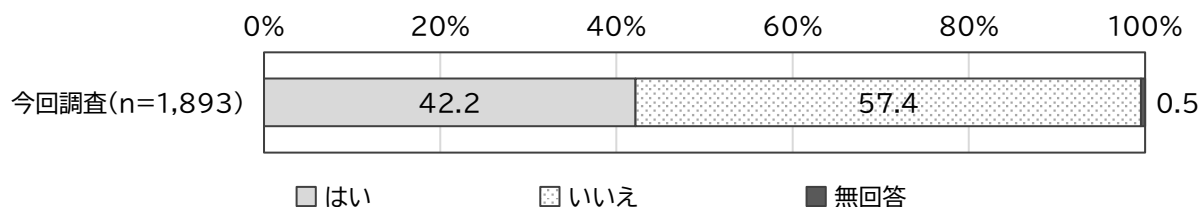


(10) 友人の家を訪ねているか

問6 (10) 友人の家を訪ねていますか。(○は1つ)

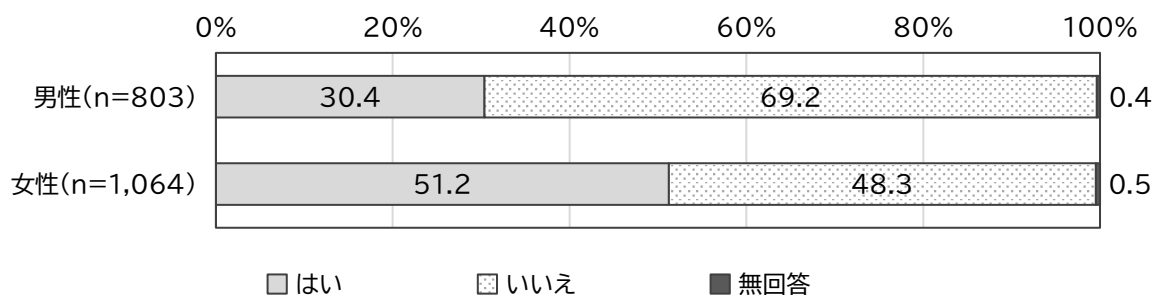
友人の家を訪ねているかについては、「はい」が42.2%、「いいえ」が57.4%となっています。

図表 2-4-37 友人の家を訪ねているか



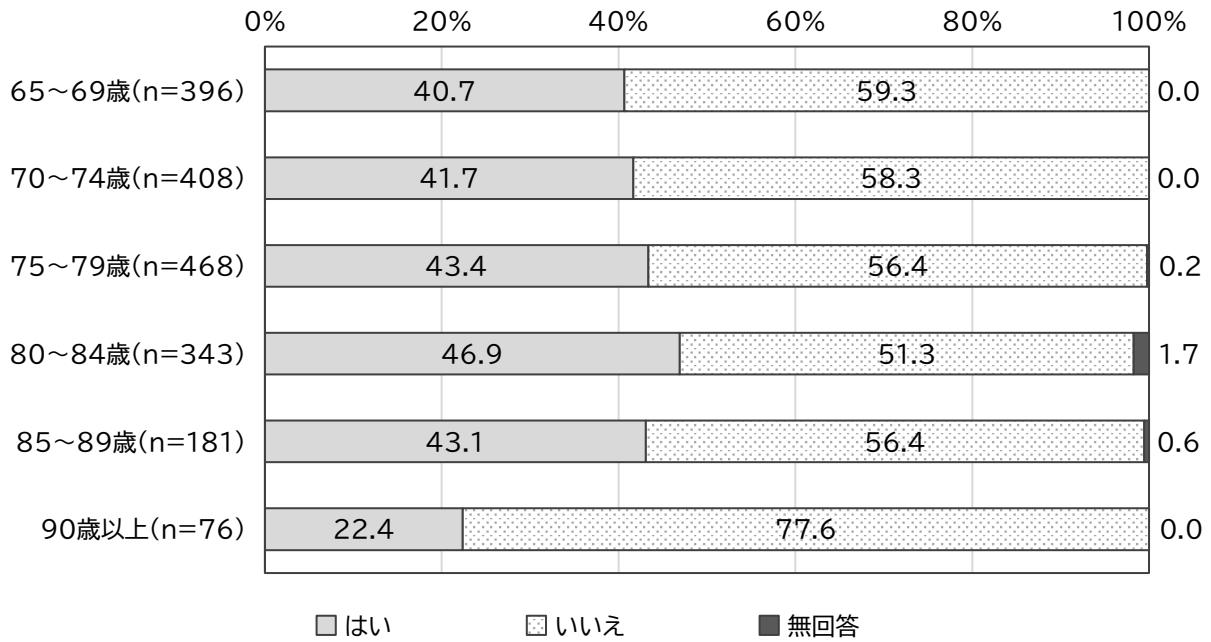
性別で見ると、「はい」では、女性が51.2%で、男性(30.4%)より20.8ポイント高くなっています。

図表 2-4-38 友人の家を訪ねているか 性別



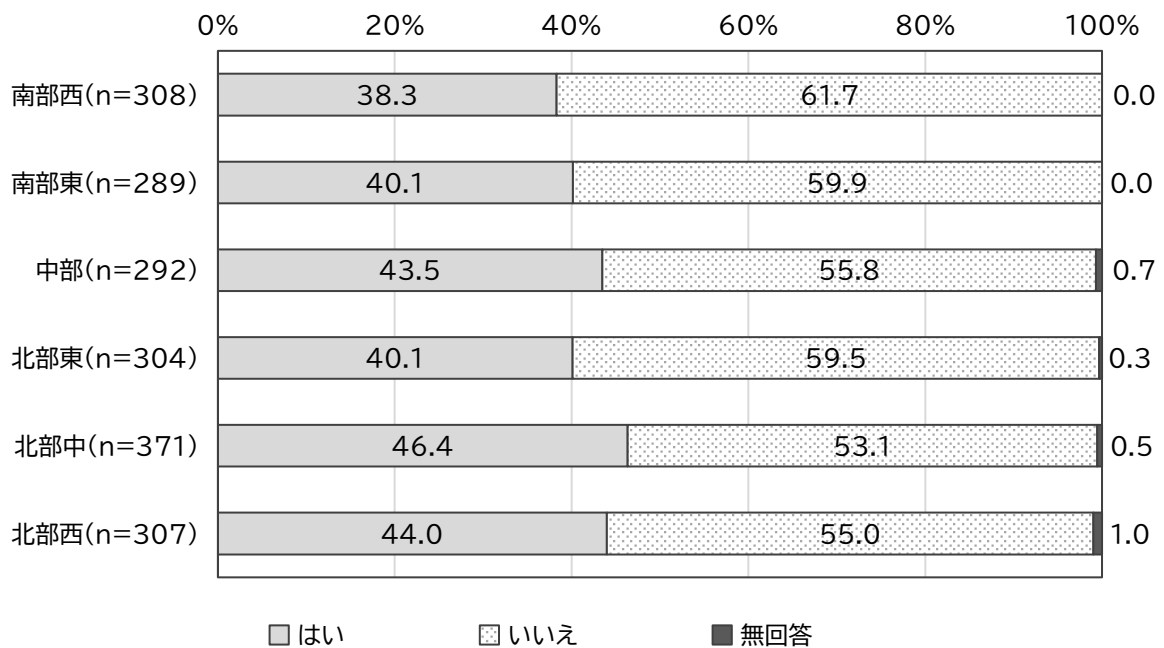
年齢別でみると、「はい」では、80～84歳で46.9%と最も高くなっています。

図表 2-4-39 友人の家を訪ねているか 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部中地区で46.4%と最も高くなっています。

図表 2-4-40 友人の家を訪ねているか 圏域別



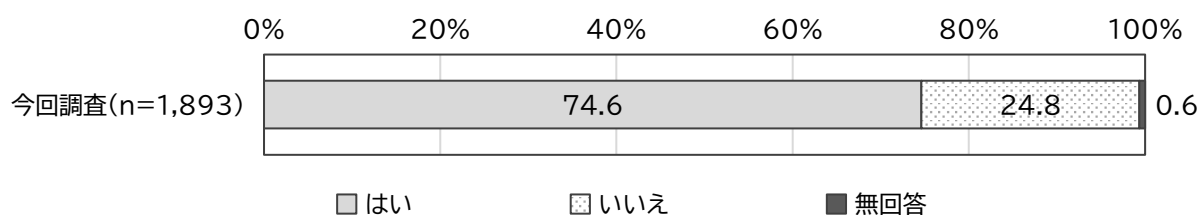
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(11) 家族や友人の相談にのっているか

問6 (11) 家族や友人の相談にのっていますか。(○は1つ)

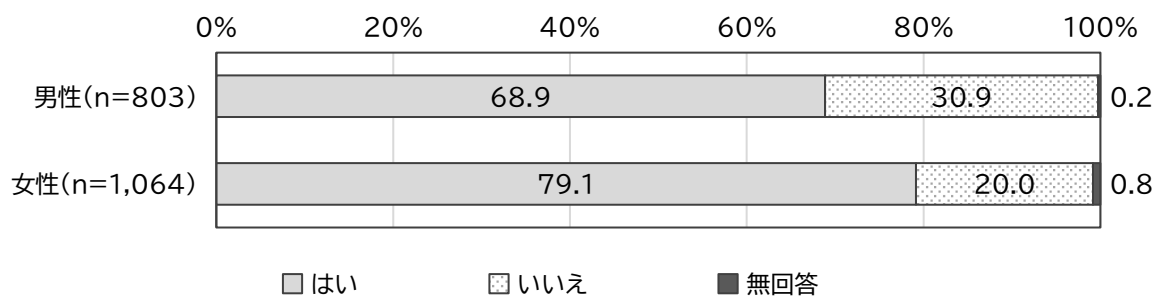
家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が74.6%、「いいえ」が24.8%となっています。

図表 2-4-41 家族や友人の相談にのっているか



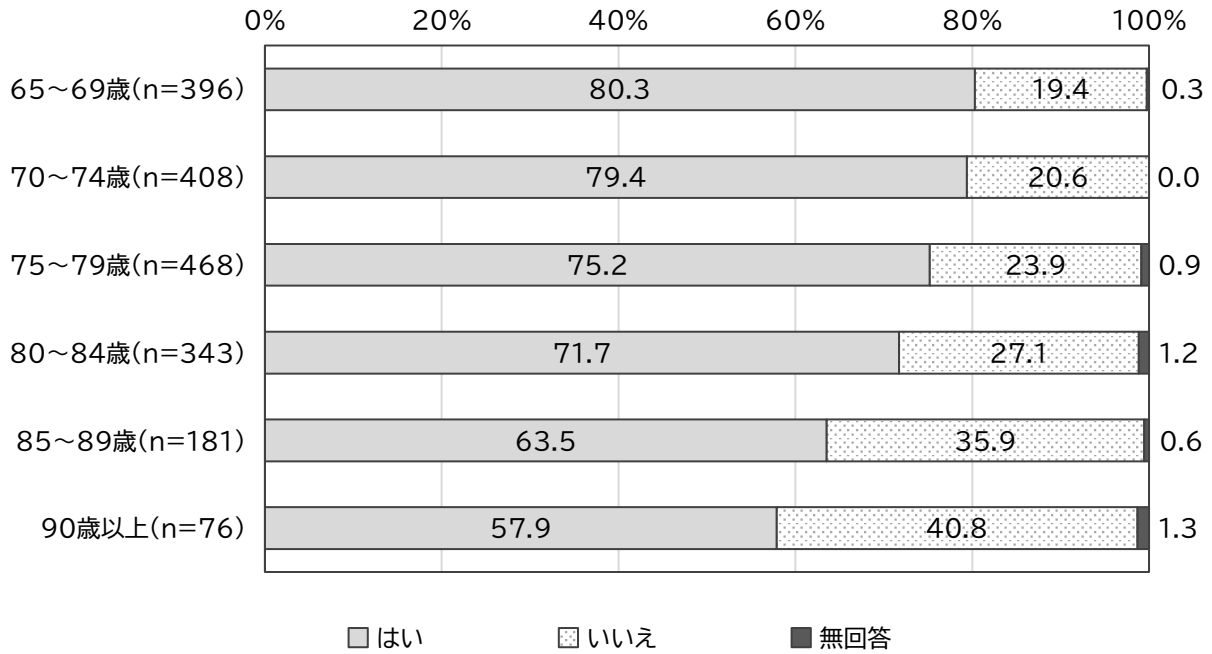
性別でみると、「はい」では、女性が79.1%で、男性(68.9%)より10.2ポイント高くなっています。

図表 2-4-42 家族や友人の相談にのっているか 性別



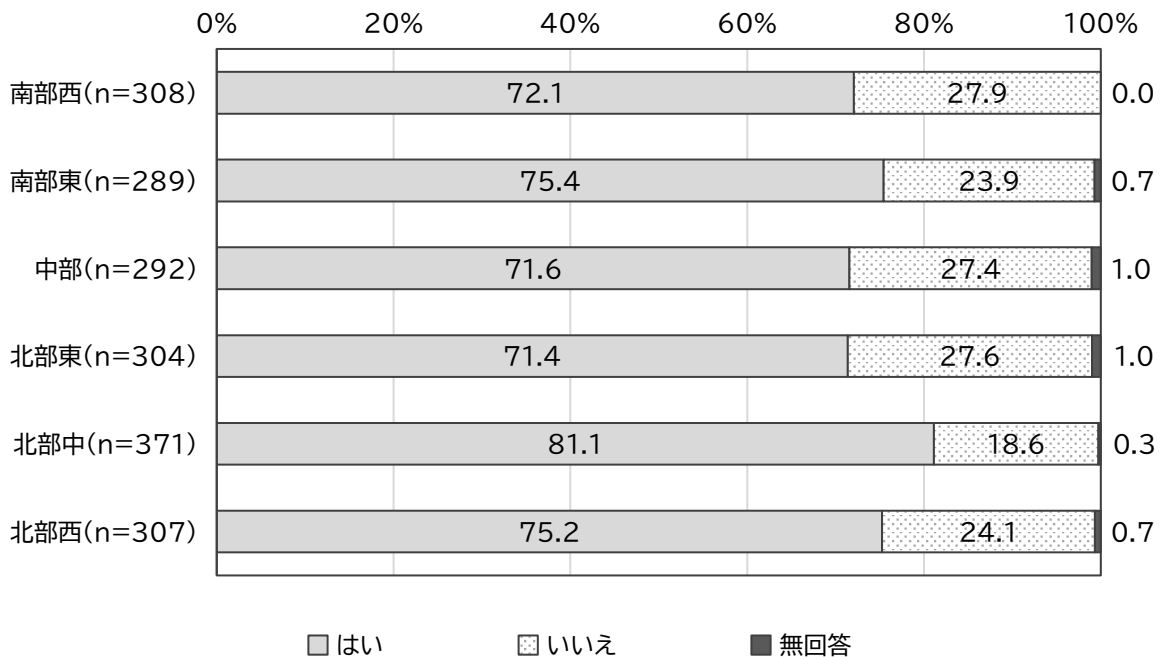
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が80.3%と最も高く、90歳以上が57.9%と最も低くなっています。

図表 2-4-43 家族や友人の相談にのっているか 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部中地区で81.1%と最も高くなっています。

図表 2-4-44 家族や友人の相談にのっているか 圏域別

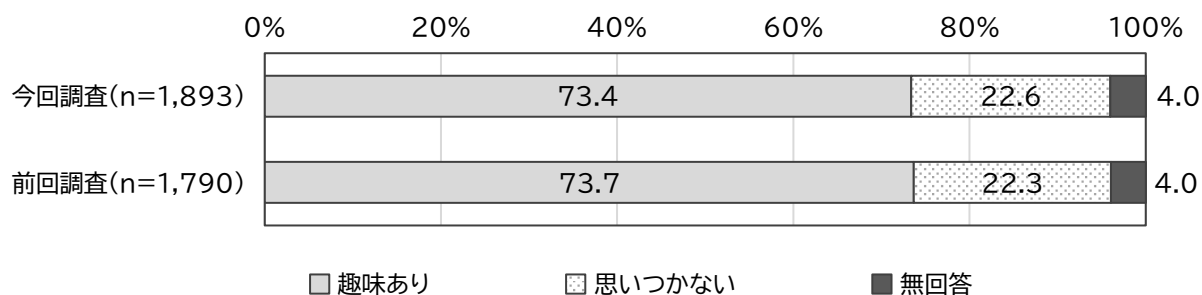


(12) 趣味の有無

問6 (12) 趣味はありますか。(○は1つ)

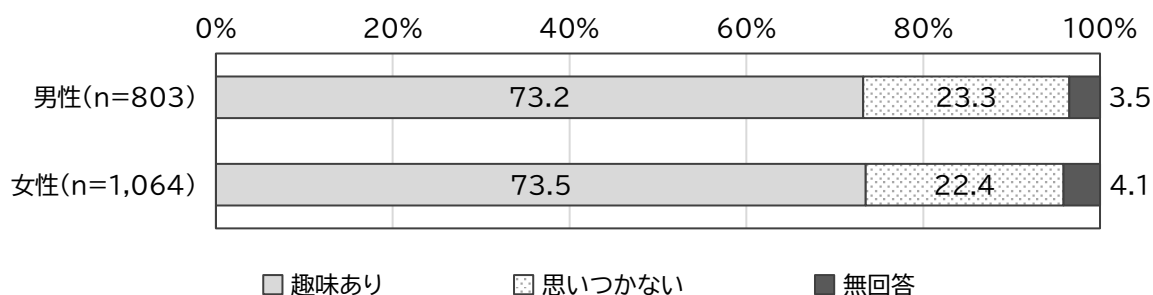
趣味の有無については、「趣味あり」が73.4%、「思いつかない」が22.6%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-4-45 趣味の有無



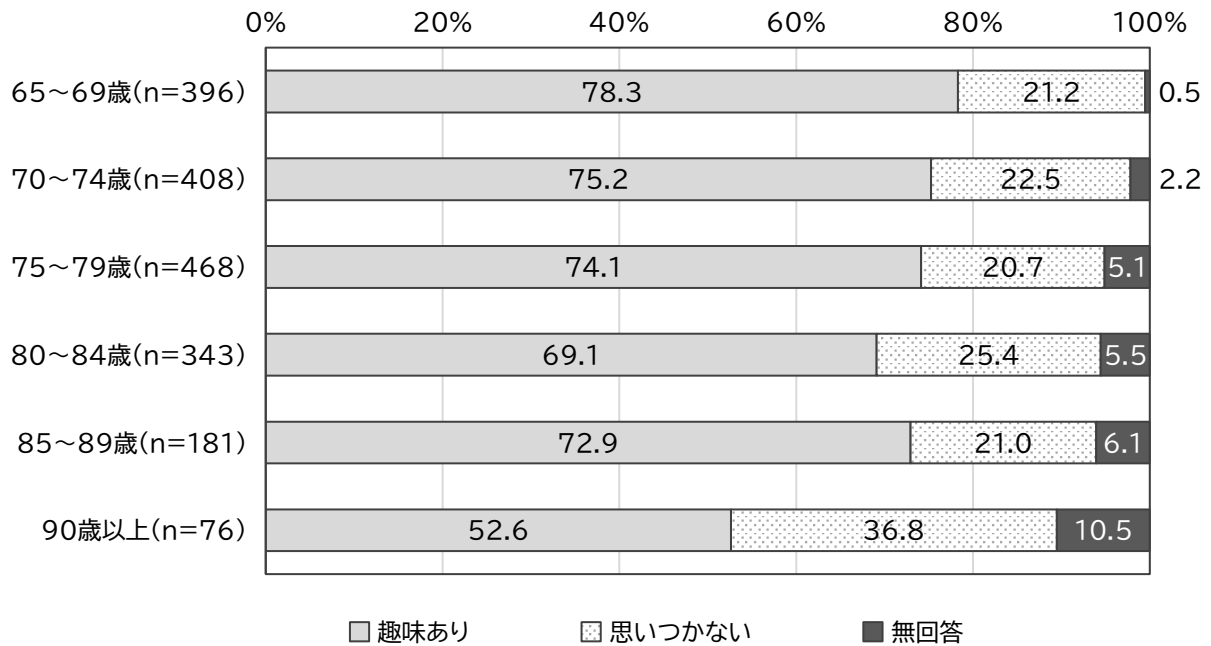
性別でみると、大きな差はみられません。

図表 2-4-46 趣味の有無 性別



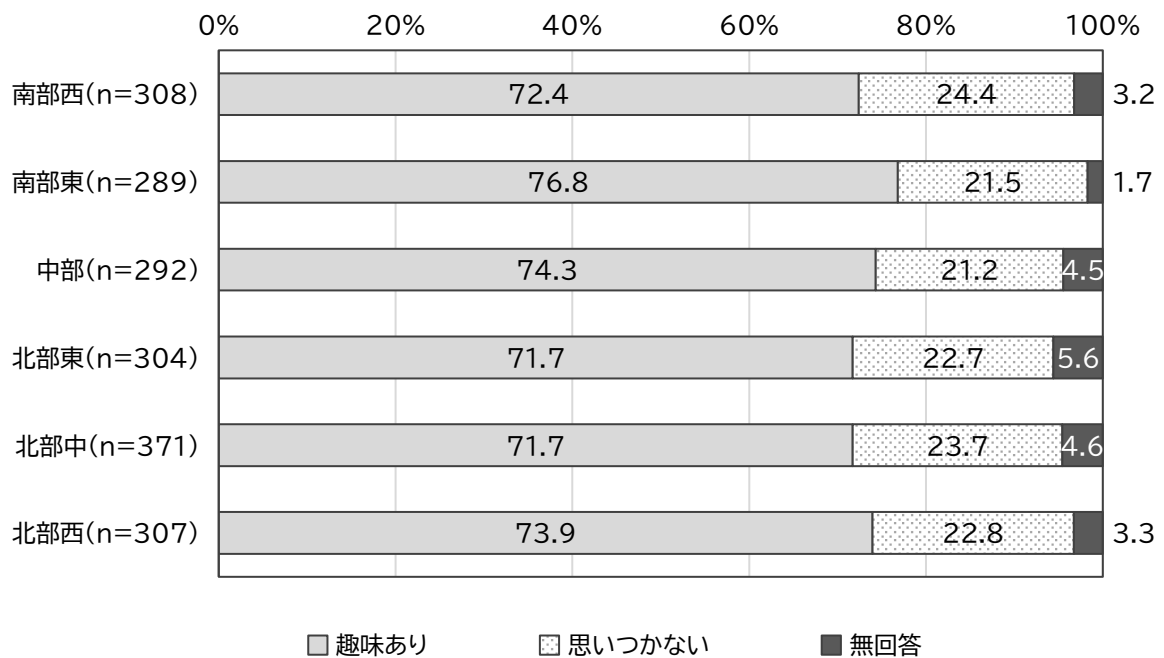
年齢別でみると、「趣味あり」では、65～69歳で78.3%と最も高くなっています。

図表 2-4-47 趣味の有無 年齢別



圏域別でみると、「趣味あり」では、南部東地区で76.8%と最も高くなっています。

図表 2-4-48 趣味の有無 圏域別



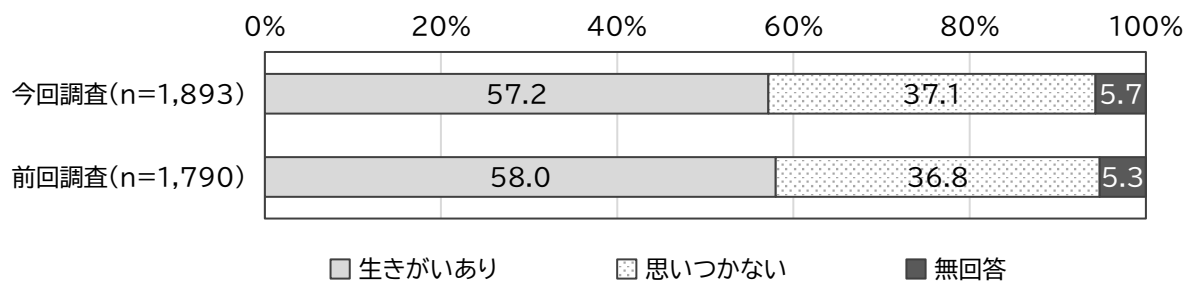
(13) 生きがいの有無

問6 (13) 生きがいはありますか。(○は1つ)

生きがいの有無については、「生きがいあり」が57.2%、「思いつかない」が37.1%となっています。

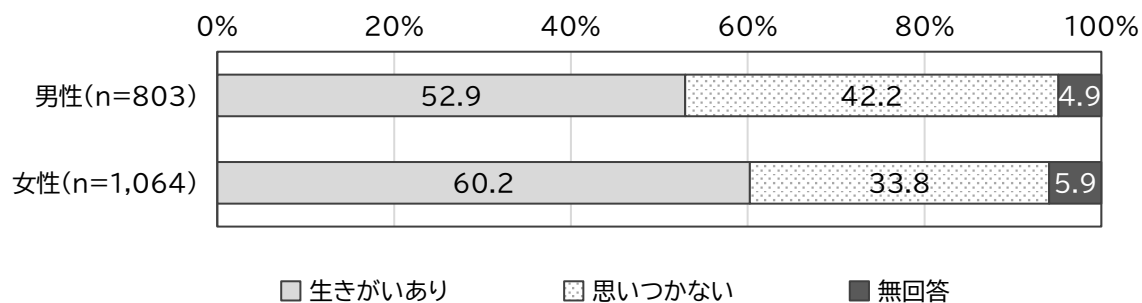
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-4-49 生きがいの有無



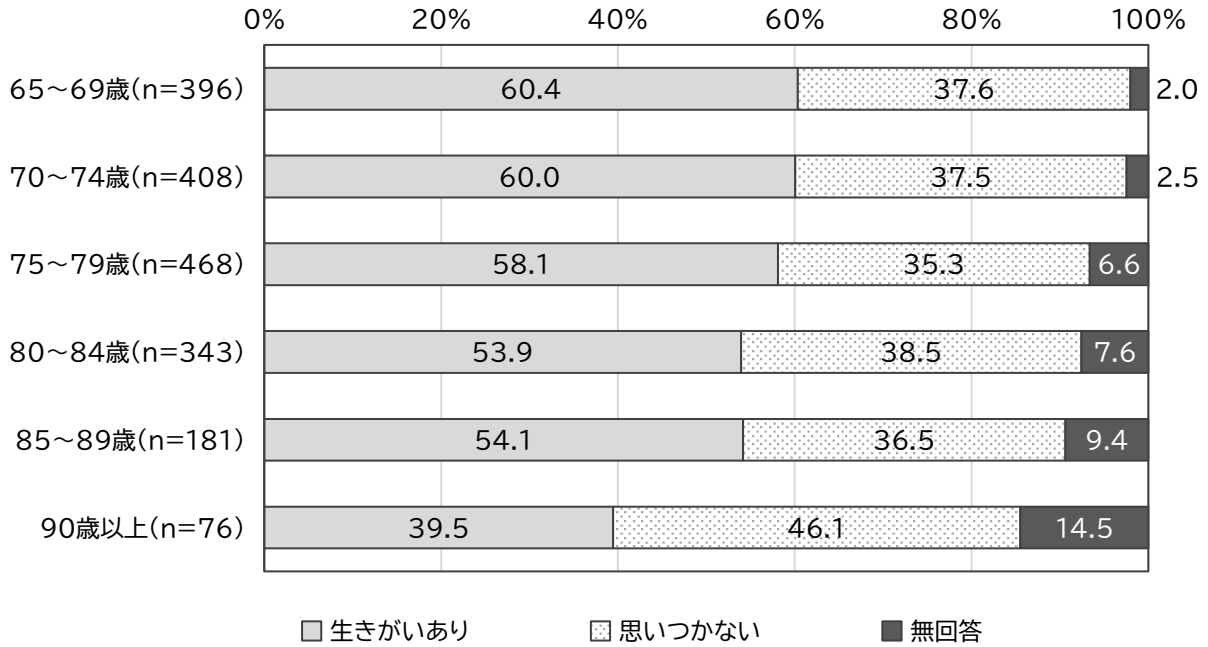
性別でみると、「生きがいあり」では、女性が60.2%で、男性(52.9%)より7.3ポイント高くなっています。

図表 2-4-50 生きがいの有無 性別



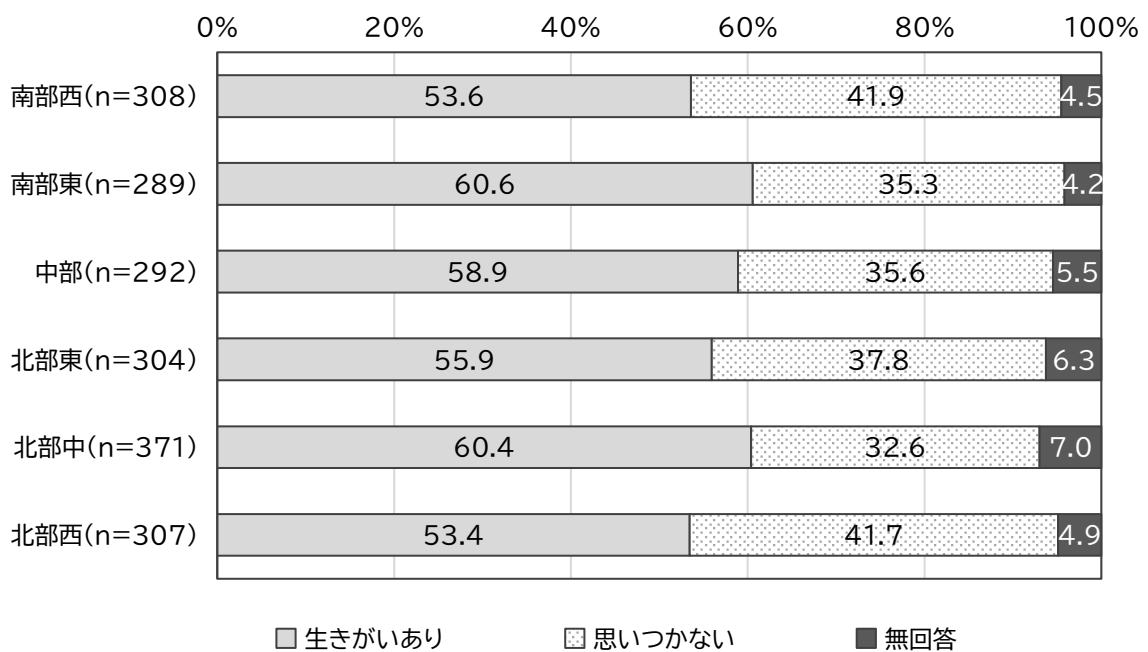
年齢別でみると、「生きがいあり」では、年齢が上がるにつれて割合が概ね減少しており 65～69歳で60.4%と最も高く、90歳以上で39.5%と最も低くなっています。

図表 2-4-51 生きがいの有無 年齢別



圏域別でみると、「生きがいあり」では、南部東地区で60.6%と最も高くなっています。

図表 2-4-52 生きがいの有無 圏域別



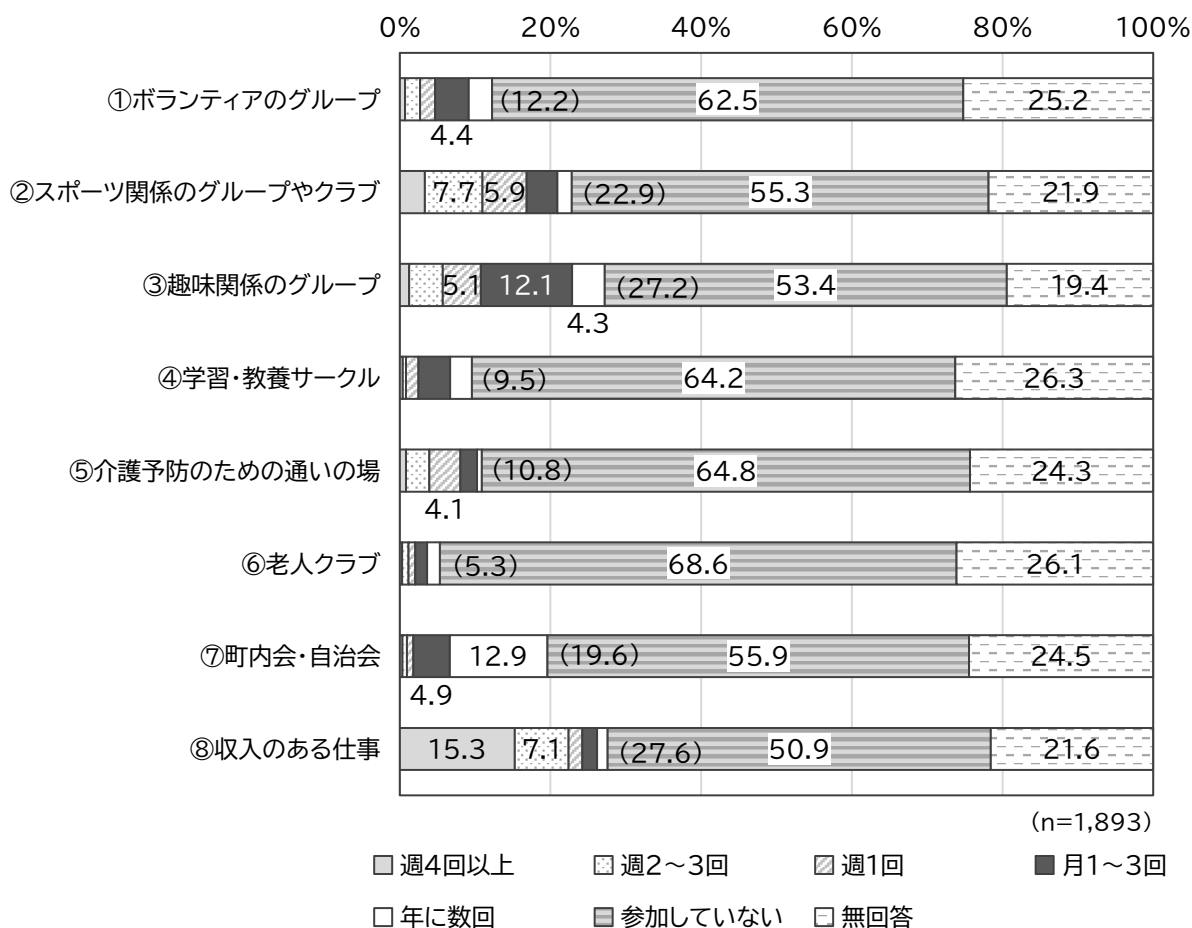
5. 地域での活動について

(1) 社会参加の状況

問7 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 (①～⑧それぞれに○は1つずつ)

社会参加の状況について、『参加している』(「年に数回」以上)では、「⑧収入のある仕事」が27.6%と最も高くなっており、次いで「③趣味関係のグループ」が27.2%、「②スポーツ関係のグループやクラブ」が22.9%となっている一方、「⑥老人クラブ」が5.3%と最も少なく、次いで「④学習・教養サークル」が9.5%、「⑤介護予防のための通いの場」が10.8%となっています。

図表 2-5-1 社会参加の状況



※ 「週4回以上」から「年に数回」の合計をカッコで表記しています。

前回調査と比較すると、『参加している』では、「⑥老人クラブ」を除くすべての項目で割合が増加し、「⑧収入のある仕事」が27.6%と、前回調査（23.5%）より4.1ポイント高くなっています。

図表 2-5-2 社会参加の状況 前回調査との比較

単位:構成比(%)

	今回調査(n=1,893)			前回調査(n=1,790)		
	参加している	参加していない	無回答	参加している	参加していない	無回答
①ボランティアのグループ	12.2	62.5	25.2	11.3	62.5	26.1
②スポーツ関係のグループやクラブ	22.9	55.3	21.9	20.5	55.8	23.7
③趣味関係のグループ	27.2	53.4	19.4	26.9	52.6	20.4
④学習・教養サークル	9.5	64.2	26.3	8.8	63.5	27.7
⑤介護予防のための通いの場	10.8	64.8	24.3	9.5	64.4	26.2
⑥老人クラブ	5.3	68.6	26.1	5.8	67.2	27.1
⑦町内会・自治会	19.6	55.9	24.5	18.1	56.2	25.7
⑧収入のある仕事	27.6	50.9	21.6	23.5	52.8	23.6

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問7 (1) ①ボランティアのグループ

図表 2-5-3 社会参加の状況 ①ボランティアのグループ 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	『参加している』	参加していない	無回答
全体		1,893	0.7	2.0	2.0	4.4	3.1	12.2	62.5	25.2
性別	男性	803	1.0	2.0	2.5	4.5	3.6	13.6	67.5	18.9
	女性	1,064	0.4	2.0	1.7	4.5	2.8	11.4	59.5	29.1
年齢別	65～69歳	396	1.3	2.5	1.5	3.8	3.5	12.6	75.5	11.9
	70～74歳	408	0.5	1.5	2.9	6.1	3.4	14.4	70.3	15.2
	75～79歳	468	0.4	2.6	1.7	4.3	3.6	12.6	60.7	26.7
	80～84歳	343	0.3	0.9	1.7	4.7	3.2	10.8	53.1	36.2
	85～89歳	181	0.6	3.3	3.3	3.3	1.7	12.2	45.9	42.0
	90歳以上	76	1.3	0.0	0.0	2.6	0.0	3.9	56.6	39.5
日常生活圏域別	南部西	308	0.0	3.2	1.9	4.2	2.3	11.6	64.3	24.0
	南部東	289	0.7	2.4	2.8	5.2	3.8	14.9	61.6	23.5
	中部	292	1.4	1.0	2.1	4.8	2.4	11.7	63.4	25.0
	北部東	304	1.0	2.0	2.0	4.3	2.0	11.3	61.2	27.6
	北部中	371	0.3	1.3	1.1	4.0	5.1	11.8	61.7	26.4
	北部西	307	0.7	2.0	2.6	4.6	2.9	12.8	65.1	22.1

問7 (1) ②スポーツ関係のグループやクラブ

図表 2-5-4 社会参加の状況 ②スポーツ関係のグループやクラブ 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	『参加している』	参加していない	無回答
全体		1,893	3.3	7.7	5.9	4.1	1.9	22.9	55.3	21.9
性別	男性	803	3.2	5.4	4.6	4.0	2.7	19.9	62.5	17.6
	女性	1,064	3.4	9.4	6.7	4.1	1.3	24.9	50.5	24.6
年齢別	65～69歳	396	3.5	6.1	6.1	3.5	2.8	22.0	67.2	10.9
	70～74歳	408	2.9	8.8	7.8	4.2	2.7	26.4	60.8	12.7
	75～79歳	468	3.4	8.8	6.2	4.5	1.5	24.4	53.2	22.4
	80～84歳	343	5.2	7.3	4.1	3.8	1.7	22.1	46.6	31.2
	85～89歳	181	1.1	7.7	4.4	3.9	0.6	17.7	44.2	38.1
	90歳以上	76	1.3	3.9	1.3	5.3	0.0	11.8	51.3	36.8
日常生活圏域別	南部西	308	4.9	7.8	3.9	1.9	2.3	20.8	56.5	22.7
	南部東	289	3.8	11.1	5.9	6.2	2.8	29.8	51.2	19.0
	中部	292	3.8	7.5	5.5	4.8	2.1	23.7	56.5	19.9
	北部東	304	3.6	6.3	7.9	3.0	1.3	22.1	53.9	24.0
	北部中	371	3.0	7.8	5.9	4.3	1.1	22.1	55.3	22.6
	北部西	307	1.3	5.5	5.5	4.2	2.3	18.8	59.9	21.2

問7(1) ③趣味関係のグループ

図表 2-5-5 社会参加の状況 ③趣味関係のグループ 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	『参加している』	参加していない	無回答
全体		1,893	1.3	4.4	5.1	12.1	4.3	27.2	53.4	19.4
性別	男性	803	1.1	3.4	3.7	8.0	5.9	22.1	61.3	16.7
	女性	1,064	1.3	5.1	6.0	15.2	3.3	30.9	47.9	21.1
年齢別	65～69歳	396	1.0	2.0	3.5	10.1	6.8	23.4	66.4	10.1
	70～74歳	408	0.7	3.2	6.1	14.0	4.7	28.7	58.1	13.2
	75～79歳	468	1.1	7.3	5.3	14.5	3.8	32.0	50.2	17.7
	80～84歳	343	1.7	4.1	5.2	12.8	2.9	26.7	45.8	27.4
	85～89歳	181	2.2	6.1	5.0	6.6	3.3	23.2	42.0	34.8
	90歳以上	76	1.3	1.3	3.9	7.9	2.6	17.0	47.4	35.5
日常生活圏域別	南部西	308	0.0	4.9	3.6	12.7	3.2	24.4	56.5	19.2
	南部東	289	1.4	5.9	6.6	14.5	7.6	36.0	48.1	15.9
	中部	292	2.1	4.8	6.2	12.0	3.8	28.9	53.4	17.8
	北部東	304	0.3	4.3	5.6	11.2	3.9	25.3	53.0	21.7
	北部中	371	1.3	4.0	4.3	11.9	3.0	24.5	53.9	21.6
	北部西	307	2.3	2.3	4.2	10.7	5.2	24.7	56.0	19.2

問7(1) ④学習・教養サークル

図表 2-5-6 社会参加の状況 ④学習・教養サークル 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	『参加している』	参加していない	無回答
全体		1,893	0.4	0.4	1.6	4.2	2.9	9.5	64.2	26.3
性別	男性	803	0.4	0.0	1.1	2.4	1.7	5.6	73.6	20.8
	女性	1,064	0.5	0.7	2.0	5.5	3.8	12.5	57.8	29.8
年齢別	65～69歳	396	0.5	0.0	0.8	3.8	2.8	7.9	79.0	13.1
	70～74歳	408	1.0	0.2	1.7	3.9	3.7	10.5	72.1	17.4
	75～79歳	468	0.4	0.6	2.1	5.3	3.4	11.8	61.5	26.5
	80～84歳	343	0.0	0.3	1.5	5.0	2.6	9.4	53.6	37.0
	85～89歳	181	0.0	1.1	2.8	2.8	1.7	8.4	47.5	44.2
	90歳以上	76	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.9	42.1
日常生活圏域別	南部西	308	0.3	0.0	1.0	4.2	2.6	8.1	65.9	26.0
	南部東	289	0.7	0.3	3.1	4.8	3.1	12.0	63.3	24.6
	中部	292	0.3	1.0	1.7	5.5	2.7	11.2	64.0	24.7
	北部東	304	0.7	0.3	1.0	3.0	1.6	6.6	63.5	29.9
	北部中	371	0.0	0.5	1.1	5.1	3.2	9.9	63.9	26.1
	北部西	307	0.7	0.0	2.0	2.3	3.9	8.9	66.4	24.8

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問7 (1) ⑤介護予防のための通いの場

図表 2-5-7 社会参加の状況 ⑤介護予防のための通いの場 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	『参加している』	参加していない	無回答
全体		1,893	0.8	3.1	4.1	2.2	0.6	10.8	64.8	24.3
性別	男性	803	1.0	1.0	1.4	0.9	0.5	4.8	75.2	20.0
	女性	1,064	0.8	4.6	6.3	3.3	0.8	15.8	57.6	26.7
年齢別	65～69歳	396	0.8	0.8	1.8	0.8	0.5	4.7	81.6	13.9
	70～74歳	408	0.5	2.5	3.4	1.0	0.2	7.6	76.2	16.2
	75～79歳	468	0.2	2.8	5.8	3.6	1.1	13.5	60.5	26.1
	80～84歳	343	2.6	4.7	4.4	2.9	0.6	15.2	53.1	31.8
	85～89歳	181	0.6	6.1	6.1	3.3	1.1	17.2	44.2	38.7
	90歳以上	76	0.0	5.3	5.3	2.6	0.0	13.2	53.9	32.9
日常生活圏域別	南部西	308	1.3	4.2	2.6	2.3	0.3	10.7	66.2	23.1
	南部東	289	0.7	2.4	6.2	2.4	0.7	12.4	65.7	21.8
	中部	292	0.3	2.4	3.4	2.1	1.0	9.2	67.5	23.3
	北部東	304	1.6	2.6	4.3	2.6	0.7	11.8	62.2	26.0
	北部中	371	0.5	4.0	4.9	1.9	0.5	11.8	61.7	26.4
	北部西	307	0.7	2.3	3.6	2.3	0.7	9.6	68.1	22.5

問7 (1) ⑥老人クラブ

図表 2-5-8 社会参加の状況 ⑥老人クラブ 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	『参加している』	参加していない	無回答
全体		1,893	0.3	0.8	0.9	1.6	1.7	5.3	68.6	26.1
性別	男性	803	0.1	1.1	0.9	1.1	2.0	5.2	75.2	19.6
	女性	1,064	0.5	0.7	0.9	1.9	1.5	5.5	64.3	30.3
年齢別	65～69歳	396	0.0	0.0	0.5	0.3	1.0	1.8	85.1	13.1
	70～74歳	408	0.0	0.2	0.7	1.5	1.2	3.6	78.7	17.6
	75～79歳	468	0.4	1.1	0.6	1.3	2.4	5.8	65.6	28.6
	80～84歳	343	0.6	1.5	0.9	2.3	2.3	7.6	57.7	34.7
	85～89歳	181	1.1	2.2	3.3	3.9	1.7	12.2	48.1	39.8
	90歳以上	76	0.0	1.3	0.0	1.3	1.3	3.9	53.9	42.1
日常生活圏域別	南部西	308	0.3	1.0	1.0	0.6	2.3	5.2	70.1	24.7
	南部東	289	0.3	1.0	1.7	2.8	3.1	8.9	68.9	22.1
	中部	292	1.0	0.0	0.7	2.1	2.7	6.5	69.2	24.3
	北部東	304	0.3	0.0	1.3	1.3	0.3	3.2	67.4	29.3
	北部中	371	0.0	1.3	0.3	1.1	1.1	3.8	66.3	29.9
	北部西	307	0.0	1.6	0.7	1.6	1.0	4.9	72.0	23.1

問7 (1) ⑦町内会・自治会

図表 2-5-9 社会参加の状況 ⑦町内会・自治会 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	『参加している』	参加していない	無回答
全体		1,893	0.4	0.6	0.8	4.9	12.9	19.6	55.9	24.5
性別	男性	803	0.5	0.6	1.2	4.7	12.1	19.1	62.8	18.1
	女性	1,064	0.3	0.6	0.6	5.1	13.5	20.1	51.4	28.6
年齢別	65～69歳	396	0.5	0.0	1.0	3.5	12.4	17.4	71.7	10.9
	70～74歳	408	0.2	0.5	0.7	4.4	13.0	18.8	65.0	16.2
	75～79歳	468	0.0	1.1	1.3	5.6	13.9	21.9	52.4	25.9
	80～84歳	343	0.9	0.9	0.3	7.0	14.6	23.7	42.9	33.5
	85～89歳	181	0.0	0.6	1.1	5.0	11.6	18.3	40.9	40.9
	90歳以上	76	1.3	0.0	0.0	1.3	5.3	7.9	50.0	42.1
日常生活圏域別	南部西	308	0.0	1.0	0.6	2.9	14.3	18.8	58.4	22.7
	南部東	289	0.7	0.3	2.1	7.3	12.8	23.2	55.0	21.8
	中部	292	0.7	0.7	1.4	5.5	13.7	22.0	55.1	22.9
	北部東	304	0.0	0.3	0.3	2.6	11.2	14.4	55.6	29.9
	北部中	371	0.8	1.1	0.3	5.7	12.1	20.0	53.9	26.1
	北部西	307	0.0	0.0	0.7	5.5	13.4	19.6	59.6	20.8

問7 (1) ⑧収入のある仕事

図表 2-5-10 社会参加の状況 ⑧収入のある仕事 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	『参加している』	参加していない	無回答
全体		1,893	15.3	7.1	1.8	2.0	1.4	27.6	50.9	21.6
性別	男性	803	22.4	7.6	2.0	1.6	1.7	35.3	49.8	14.8
	女性	1,064	10.2	6.9	1.7	2.3	1.1	22.2	52.1	25.8
年齢別	65～69歳	396	35.1	12.9	1.5	3.3	1.3	54.1	39.9	6.1
	70～74歳	408	17.6	10.8	1.5	2.9	1.2	34.0	54.7	11.3
	75～79歳	468	12.0	6.4	3.8	1.5	2.1	25.8	52.4	21.8
	80～84歳	343	4.4	1.7	1.5	1.5	1.7	10.8	56.3	32.9
	85～89歳	181	3.3	1.1	0.0	0.0	0.0	4.4	51.9	43.6
	90歳以上	76	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	57.9	40.8
日常生活圏域別	南部西	308	14.0	6.5	1.6	1.0	1.3	24.4	55.2	20.5
	南部東	289	16.3	6.9	2.1	2.4	1.7	29.4	49.5	21.1
	中部	292	18.2	7.5	1.7	3.1	1.0	31.5	50.0	18.5
	北部東	304	15.1	8.2	1.6	2.0	1.0	27.9	49.7	22.4
	北部中	371	15.4	6.2	1.1	1.9	1.1	25.7	49.3	25.1
	北部西	307	14.0	7.8	3.3	1.6	2.3	29.0	52.4	18.6

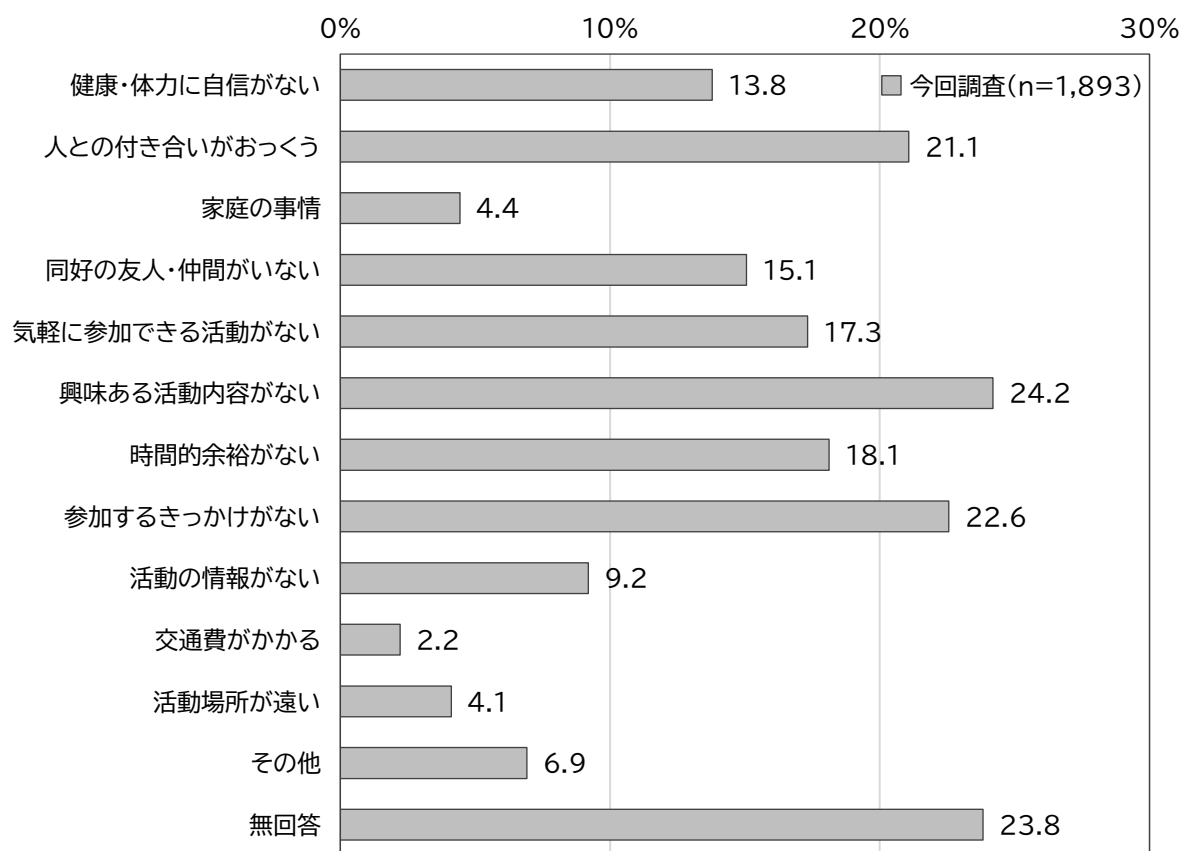
(2) 社会参加しない理由

問7 (2) 上記のグループ活動について、参加していない理由があれば教えてください。
(〇はいくつでも)

社会参加しない理由については、「興味ある活動内容がない」が24.2%と最も高く、次いで「参加するきっかけがない」が22.6%、「人との付き合いがおっくう」が21.1%となっています。

その他の理由では、「仕事をしている」が高く、「お金がかかる」、「介護をしている」、「1人がいい」などがありました。

図表 2-5-11 社会参加しない理由



性別でみると、いずれも「興味ある活動内容がない」が最も高くなっています。

年齢別でみると、79歳以下では「興味ある活動内容がない」、80～84歳では「参加するきっかけがない」、85歳以上では「健康・体力に自信がない」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

図表 2-5-12 社会参加しない理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	健康・体力に自信がない	人との付き合いがおっくう	家庭の事情	同好の友人・仲間がない	気軽に参加できる活動がない	興味ある活動内容がない	時間的余裕がない	参加するきっかけがない	活動の情報がない
全体		1,893	13.8	21.1	4.4	15.1	17.3	24.2	18.1	22.6	9.2
性別	男性	803	12.3	23.5	4.4	19.4	19.9	28.4	18.7	27.3	11.1
	女性	1,064	15.0	19.5	4.6	11.9	15.8	21.5	17.8	19.5	8.0
年齢別	65～69歳	396	7.1	21.0	4.3	14.4	18.2	30.8	29.8	26.0	9.6
	70～74歳	408	9.3	22.3	3.4	13.7	20.8	29.4	21.8	27.0	12.3
	75～79歳	468	12.0	20.3	4.9	16.7	16.9	25.0	17.1	22.2	9.2
	80～84歳	343	20.1	23.3	5.2	17.8	16.6	18.7	9.9	24.5	9.9
	85～89歳	181	23.2	22.7	5.0	12.2	13.3	13.8	7.7	9.9	3.9
	90歳以上	76	35.5	10.5	3.9	14.5	13.2	11.8	6.6	10.5	2.6
日常生活圏域別	南部西	308	13.6	22.7	5.2	16.9	16.2	22.4	15.6	22.1	9.1
	南部東	289	15.2	22.5	3.8	15.6	20.4	26.0	21.1	25.6	9.3
	中部	292	13.0	17.8	3.1	17.5	16.8	25.7	20.5	24.0	10.6
	北部東	304	13.5	19.4	6.9	12.8	15.1	26.3	18.8	18.4	6.3
	北部中	371	13.5	22.6	3.2	11.9	19.4	22.6	17.5	20.8	9.4
	北部西	307	14.7	22.1	4.9	17.6	16.9	24.1	15.6	26.7	11.1

		合計	交通費がかかる	活動場所が遠い	その他	無回答
全体		1,893	2.2	4.1	6.9	23.8
性別	男性	803	2.1	2.0	6.7	18.4
	女性	1,064	2.3	5.7	7.1	27.1
年齢別	65～69歳	396	4.0	2.3	8.8	16.2
	70～74歳	408	2.2	3.9	6.9	18.1
	75～79歳	468	1.7	5.3	6.2	26.1
	80～84歳	343	2.3	5.2	5.0	27.4
	85～89歳	181	0.0	3.9	6.6	32.6
	90歳以上	76	1.3	2.6	11.8	32.9
日常生活圏域別	南部西	308	1.6	2.9	6.2	24.4
	南部東	289	1.7	1.4	5.9	23.5
	中部	292	1.0	2.4	5.8	20.2
	北部東	304	2.3	3.9	7.2	25.0
	北部中	371	2.4	5.9	7.8	25.3
	北部西	307	4.2	7.5	8.1	21.5

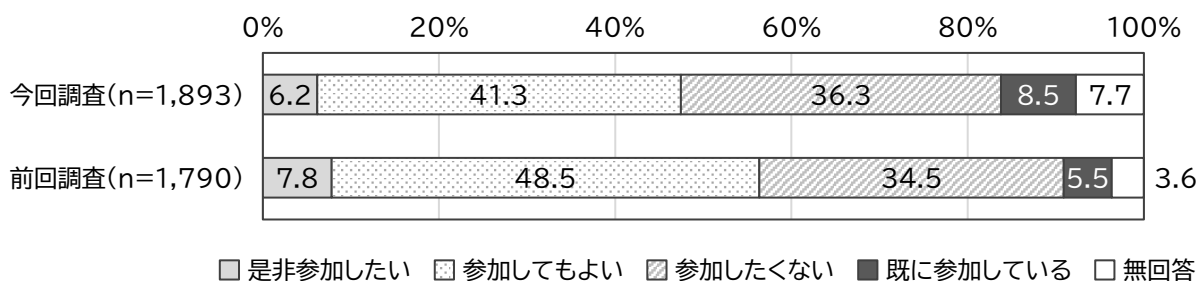
(3) 地域住民のグループ活動による地域づくりへの参加意向

問7(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域住民のグループ活動による地域づくりに参加者として参加したいかについては、「参加してもよい」が41.3%と最も高く、次いで「参加したくない」が36.3%、「既に参加している」が8.5%となっています。

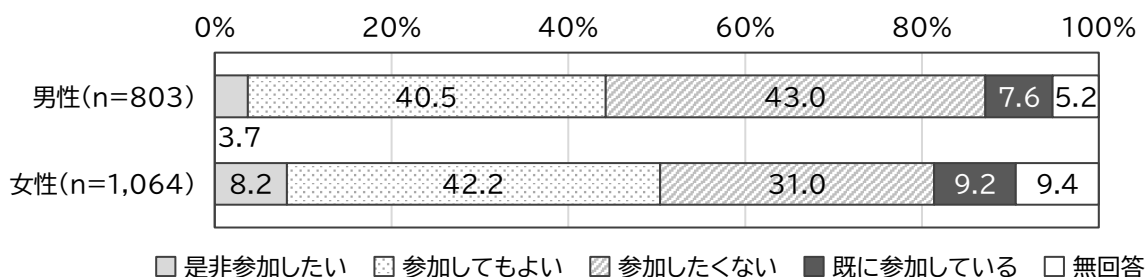
前回調査と比較すると、『参加意向がある』（「是非参加したい」と「参加してもよい」、「既に参加している」の合計）は56.0%で、前回調査（61.8%）より5.8ポイント低くなっています。

図表 2-5-13 地域住民のグループ活動による地域づくりへの参加意向



性別でみると、『参加意向がある』では、女性が59.6%で、男性（51.8%）より7.8ポイント高くなっています。

図表 2-5-14 地域住民のグループ活動による地域づくりへの参加意向 性別



年齢別でみると、『参加意向がある』では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳で59.8%と最も高く、90歳以上で34.3%と最も低くなっています。

図表 2-5-15 地域住民のグループ活動による地域づくりへの参加意向 年齢別



□ 是非参加したい □ 参加してもよい ▨ 参加したくない ■ 既に参加している □ 無回答

圏域別でみると、『参加意向がある』では、南部東地区で59.5%と最も高くなっています。

図表 2-5-16 地域住民のグループ活動による地域づくりへの参加意向 圏域別



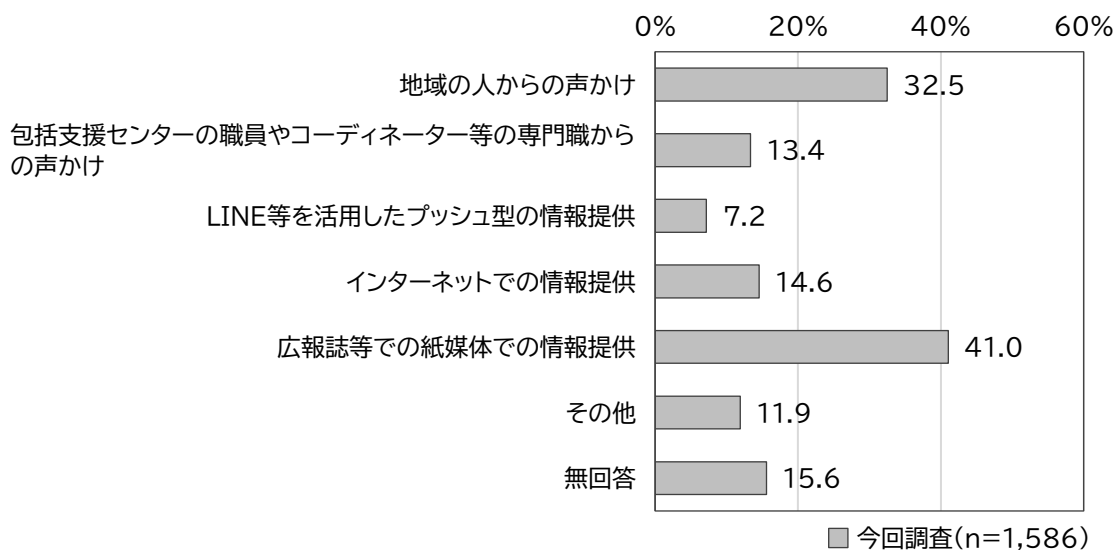
□ 是非参加したい □ 参加してもよい ▨ 参加したくない ■ 既に参加している □ 無回答

(4) 地域住民のグループ活動による地域づくりに参加しやすくする働きかけ

【問7-(3)で「1」「2」「3」(現在参加していない)とお答えになった方におたずねします。】
 ①どのような働きかけがあれば活動に参加しやすくなりますか。(〇はいくつでも)

地域住民のグループ活動による地域づくりに参加しやすくする働きかけについては、「広報紙等での紙媒体での情報提供」が41.0%と最も高く、次いで「地域の人からの声かけ」が32.5%、「インターネットでの情報提供」が14.6%となっています。

図表 2-5-17 グループ活動による地域づくりに参加しやすくする働きかけ



性別でみると、いずれも「広報紙等での紙媒体での情報提供」が最も高くなっています。

年齢別でみると、79歳以下では「広報紙等での紙媒体での情報提供」、80～89歳では「地域の人からの声かけ」、90歳以上では「包括支援センターの職員やコーディネーター等の専門職からの声かけ」が最も高くなっています。

図表 2-5-18 グループ活動による地域づくりに参加しやすくする働きかけ 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	地域の人からの声かけ	包括支援センターの職員や コーディネーター等の専門 職からの声かけ	LINE等を活用したブツ シユ型の情報提供	インターネットでの情報提供	広報紙等での紙媒体での情 報提供	その他	無回答
全体		1,586	32.5	13.4	7.2	14.6	41.0	11.9	15.6
性別	男性	700	32.0	12.1	8.0	22.0	36.1	13.7	14.3
	女性	866	33.5	14.7	6.6	8.8	45.4	10.0	16.2
年齢別	65～69歳	373	23.1	10.5	14.5	30.0	50.4	9.7	9.7
	70～74歳	359	32.3	10.9	6.7	17.8	47.4	12.8	11.7
	75～79歳	375	37.6	12.8	5.1	9.3	38.1	12.3	14.7
	80～84歳	267	41.9	17.2	2.6	4.5	36.3	9.7	19.9
	85～89歳	144	32.6	16.7	5.6	4.2	27.8	13.9	29.2
	90歳以上	52	23.1	30.8	1.9	1.9	17.3	21.2	25.0
日常生活圏域別	南部西	263	30.0	11.8	8.7	14.1	45.2	10.6	16.3
	南部東	236	26.7	11.9	8.9	16.1	42.4	9.3	17.4
	中部	250	32.8	13.6	6.4	16.0	40.4	13.6	13.6
	北部東	255	34.5	14.9	6.7	17.6	39.2	13.7	14.1
	北部中	307	32.9	16.3	6.5	13.4	40.7	13.4	13.7
	北部西	259	39.0	12.0	6.2	11.6	39.8	8.9	17.4

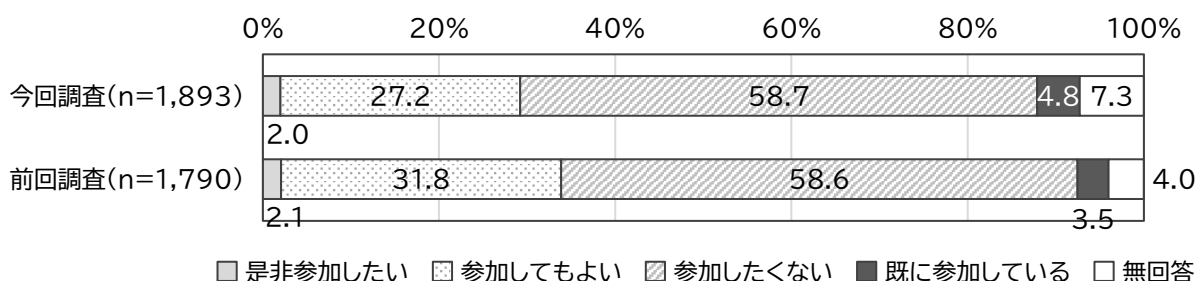
(5) 地域住民のグループ活動による地域づくりへの企画・運営での参加意向

問7(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域住民のグループ活動による地域づくりへの企画・運営での参加意向については、「参加したくない」が58.7%と最も高く、次いで「参加してもよい」が27.2%、「既に参加している」が4.8%となっています。

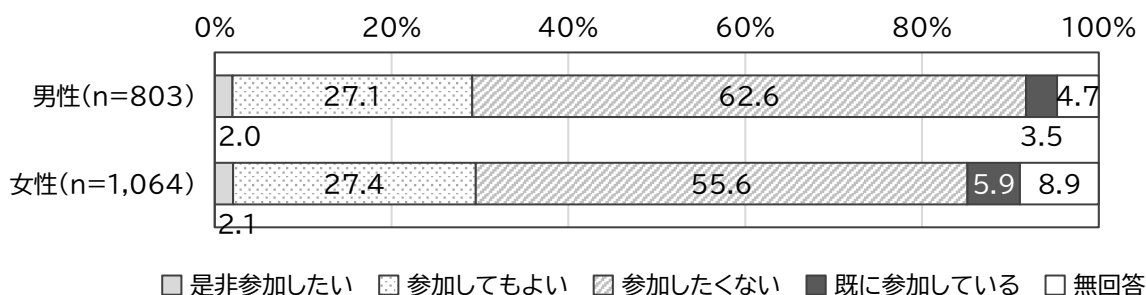
前回調査と比較すると、『参加意向がある』(「是非参加したい」と「参加してもよい」、「既に参加している」の合計)は34.0%で、前回調査(37.4%)より3.4ポイント低くなっています。

図表 2-5-19 地域住民のグループ活動による地域づくりへの運営・企画での参加意向



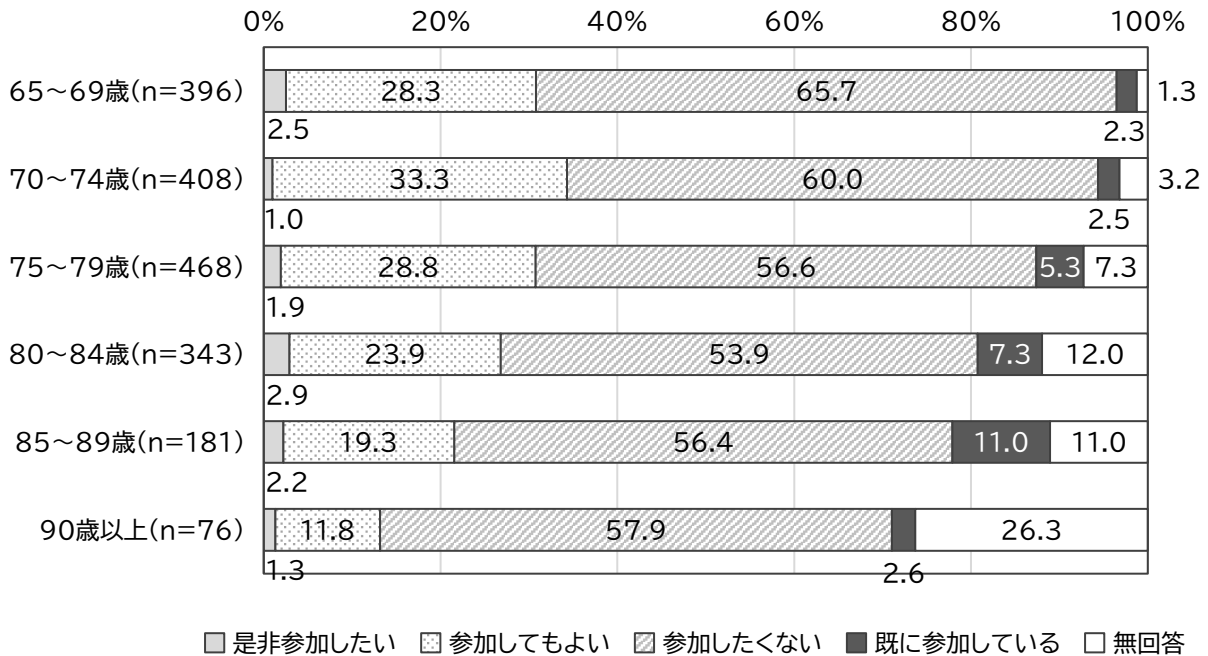
性別でみると、『参加意向がある』では、大きな差はみられませんが、「参加したくない」では、男性が62.6%で、女性(55.6%)より7.0ポイント高くなっています。

図表 2-5-20 地域住民のグループ活動による地域づくりへの運営・企画での参加意向 性別



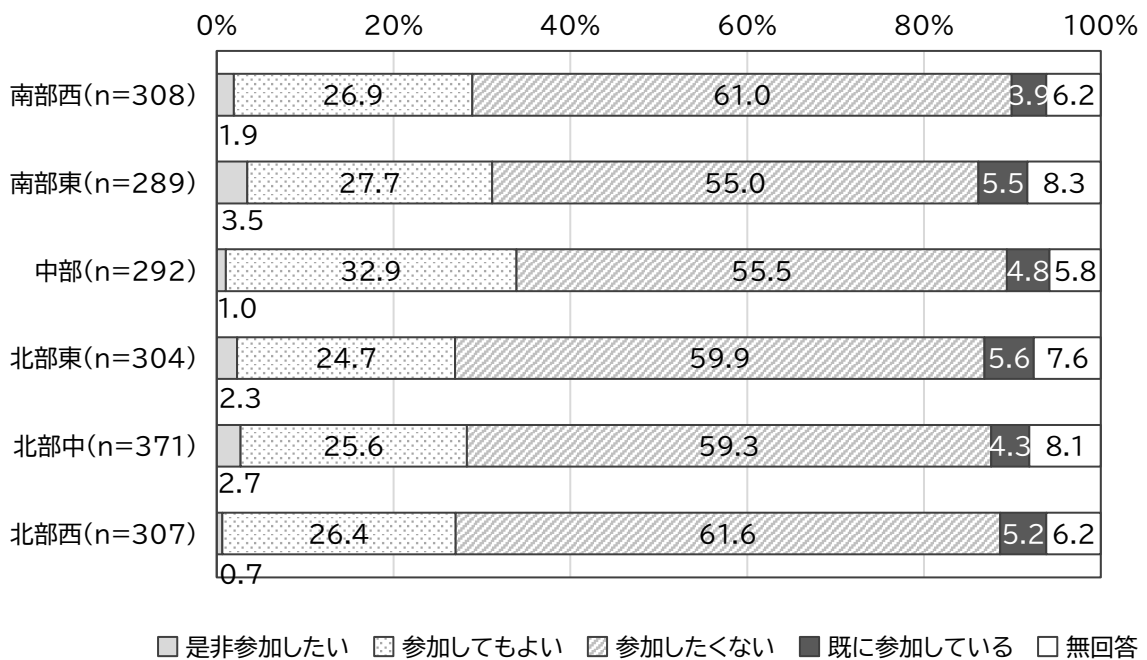
年齢別で見ると、『参加意向がある』では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、70～74歳で36.8%と最も高く、90歳以上で15.7%と最も低くなっています。

図表 2-5-21 地域住民のグループ活動による地域づくりへの運営・企画での参加意向 年齢別



圏域別で見ると、『参加意向がある』では、中部地区で38.7%と最も高くなっています。

図表 2-5-22 地域住民のグループ活動による地域づくりへの運営・企画での参加意向 圏域別

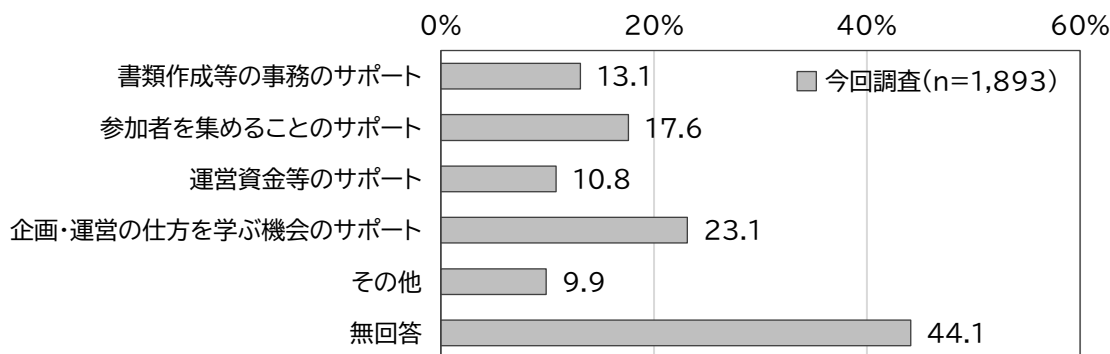


(6) 企画・運営を行ううえで必要なサポート

問7 (5) 企画・運営（お世話役）を行っていくうえで、どのようなサポートがあればよいですか。
 (〇はいくつでも)

企画・運営（お世話役）を行ううえで必要なサポートでは、「企画・運営の仕方を学ぶ機会のサポート」が23.1%と最も高く、次いで「参加者を集めることのサポート」が17.6%、「書類作成等の事務のサポート」が13.1%となっています。

図表 2-5-23 企画・運営を行ううえで必要なサポート



性別でみると、いずれも「企画・運営の仕方を学ぶ機会のサポート」が最も高くなっています。

年齢別でみると、84歳以下では「企画・運営の仕方を学ぶ機会のサポート」、85～89歳では「参加者を集めることのサポート」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 2-5-24 企画・運営を行ううえで必要なサポート 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

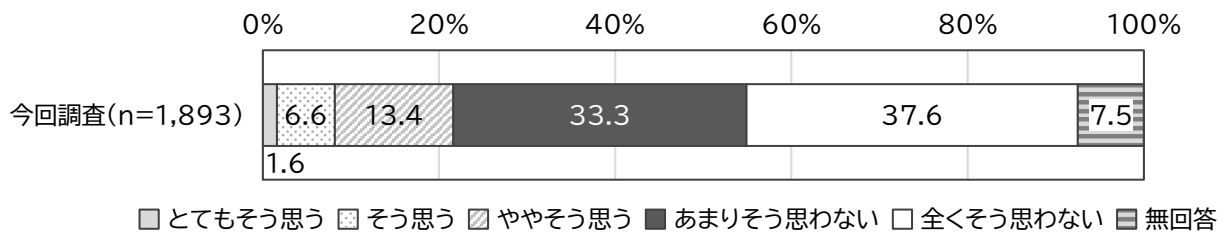
	合計	書類作成等のサポート	参加者を集めることのサポート	運営資金等のサポート	企画・運営の仕方を学ぶ機会のサポート	その他	無回答	
		のサポート	のサポート	のサポート	のサポート	のサポート	のサポート	
全体	1,893	13.1	17.6	10.8	23.1	9.9	44.1	
性別	男性	803	13.1	17.6	13.0	24.2	12.3	38.6
	女性	1,064	13.4	17.8	9.3	22.7	7.9	47.7
年齢別	65～69歳	396	18.7	23.2	21.7	31.6	12.1	26.3
	70～74歳	408	17.4	18.4	14.0	30.1	10.3	33.6
	75～79歳	468	12.4	16.7	7.5	22.4	8.5	48.3
	80～84歳	343	9.6	15.5	5.5	18.7	7.6	54.5
	85～89歳	181	5.5	14.9	2.8	6.6	11.0	62.4
	90歳以上	76	2.6	6.6	1.3	6.6	11.8	72.4
日常生活圏域別	南部西	308	13.6	14.6	10.7	23.7	10.7	44.5
	南部東	289	10.7	18.7	12.8	26.0	8.0	44.3
	中部	292	14.0	20.9	13.0	20.5	8.9	42.5
	北部東	304	13.5	15.1	7.2	21.1	11.2	45.7
	北部中	371	14.3	18.1	11.1	22.9	10.5	43.1
	北部西	307	13.0	18.6	10.4	25.4	9.1	43.6

(7) 地域の人から期待されている

問7(6) あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの取りまとめ役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願い事など) (○は1つ)

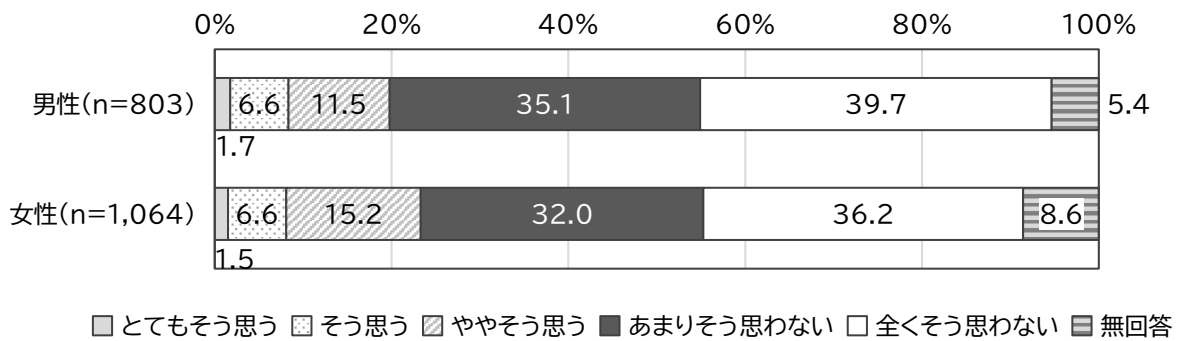
地域の人からの期待については、「全くそう思わない」が37.6%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」が33.3%、「ややそう思う」が13.4%となっています。

図表 2-5-25 地域の人から期待されている



性別でみると、『期待されていると思う』(「とてもそう思う」と「そう思う」、「ややそう思う」の合計)は、女性が23.3%で、男性(19.8%)より3.5ポイント高くなっています。

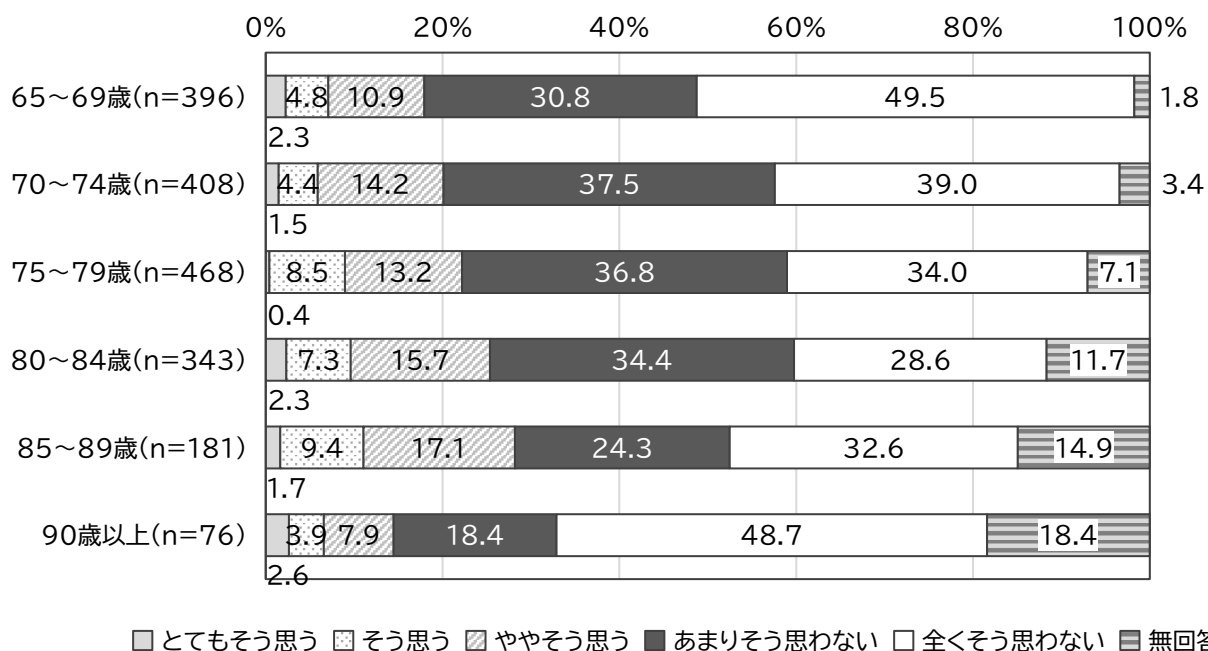
図表 2-5-26 地域の人から期待されている 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

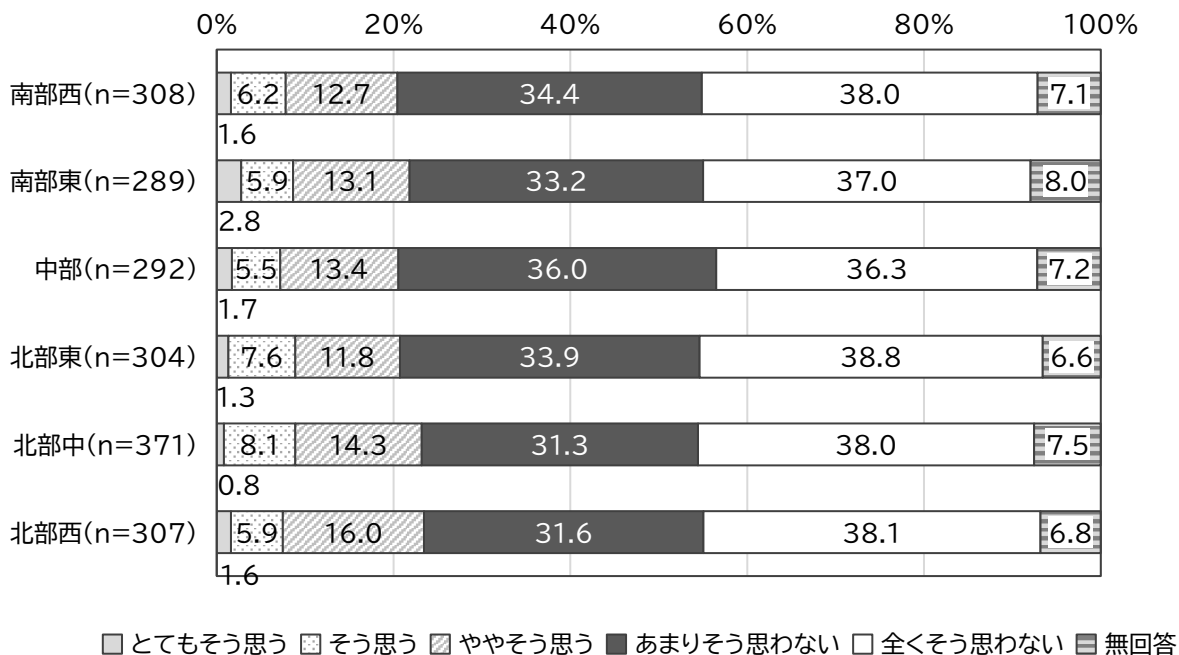
年齢別でみると、『期待されていると思う』では、85～89歳で28.2%と最も高くなっています。

図表 2-5-27 地域の人から期待されている 年齢別



圏域別でみると、『期待されていると思う』では、大きな差はみられません。

図表 2-5-28 地域の人から期待されている 圏域別



6. あなたとまわりの人の「たすけあい」について

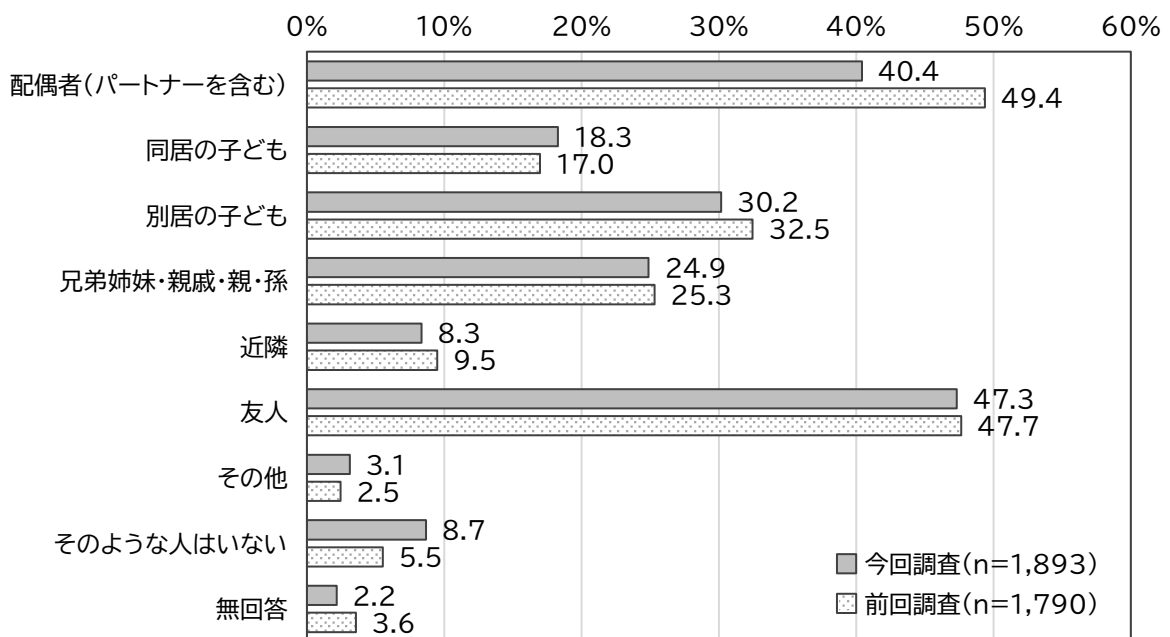
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

問8 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「友人」が47.3%と最も高く、次いで「配偶者(パートナーを含む)」が40.4%、「別居の子ども」が30.2%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者(パートナーを含む)」(40.4%)が前回調査(49.4%)より9.0ポイント減少しています。

図表 2-6-1 心配事や愚痴を聞いてくれる人



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性では「配偶者（パートナーを含む）」が最も高く、女性では「友人」が最も高くなっています。

年齢別で見ると、65～69歳では「配偶者（パートナーを含む）」、70～84歳では「友人」、85～89歳では「別居の子ども」、90歳以上では「同居の子ども」と「別居の子ども」が最も高くなっています。

圏域別では、いずれも「友人」が最も高くなっています。

図表 2-6-2 心配事や愚痴を聞いてくれる人 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	配偶者 (パートナーを含む)	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,893	40.4	18.3	30.2	24.9	8.3	47.3	3.1	8.7	2.2
性別	男性	803	56.0	12.3	20.2	17.1	5.6	31.3	2.9	13.8	2.1
	女性	1,064	28.9	22.5	37.7	30.6	10.6	59.8	3.4	4.8	2.0
年齢別	65～69歳	396	53.8	12.4	22.5	25.8	4.0	50.3	5.3	9.8	0.5
	70～74歳	408	48.0	16.2	29.4	25.0	8.6	54.7	1.2	9.1	1.2
	75～79歳	468	40.2	15.6	29.7	28.0	9.4	49.1	3.4	7.9	3.2
	80～84歳	343	31.5	23.9	35.3	24.5	10.5	45.8	2.6	7.3	2.0
	85～89歳	181	22.1	23.8	37.6	18.8	11.6	33.1	2.8	9.4	2.8
	90歳以上	76	15.8	36.8	36.8	17.1	7.9	23.7	3.9	9.2	6.6
日常生活圏域別	南部西	308	36.7	20.1	30.2	23.7	7.8	43.8	4.9	11.4	1.9
	南部東	289	41.2	20.4	27.7	24.6	10.0	53.6	2.8	6.9	1.0
	中部	292	36.6	15.1	28.8	22.6	6.2	50.3	3.1	9.6	2.4
	北部東	304	39.5	15.1	27.0	27.6	8.9	43.4	2.6	9.5	2.3
	北部中	371	44.2	19.9	33.2	27.8	8.9	48.5	2.7	6.7	1.6
	北部西	307	43.6	18.2	33.2	22.1	8.8	45.3	2.6	8.5	3.3

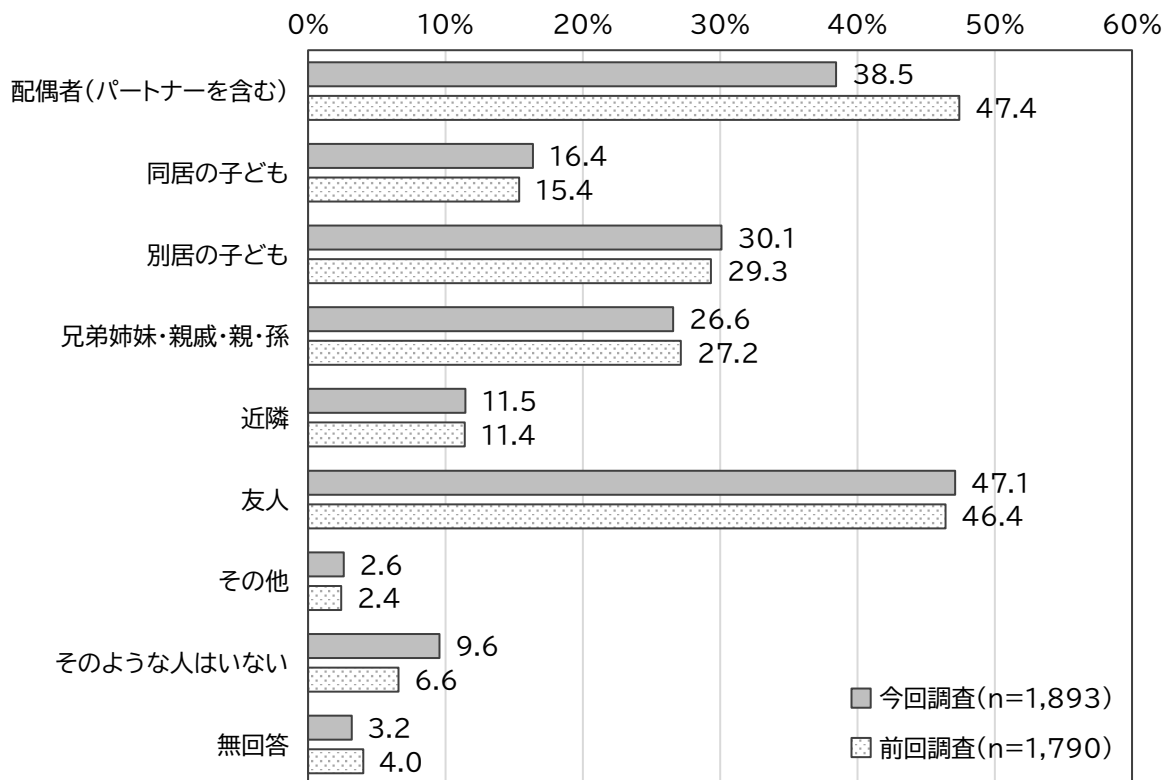
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

問8(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は誰ですか。(〇はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「友人」が47.1%と最も高く、次いで「配偶者(パートナーを含む)」が38.5%、「別居の子ども」が30.1%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者(パートナーを含む)」(38.5%)が前回調査(47.4%)より8.9ポイント減少しています。

図表 2-6-3 心配事や愚痴を聞いてあげる人



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性では「配偶者（パートナーを含む）」が最も高く、女性では「友人」が最も高くなっています。

年齢別で見ると、65～69歳では「配偶者（パートナーを含む）」が最も高く、70～89歳では「友人」、90歳以上では「別居の子ども」が最も高くなっています。

圏域別では、いずれも「友人」が最も高くなっています。

図表 2-6-4 心配事や愚痴を聞いてあげる人 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	配偶者 (パートナーを含む)	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,893	38.5	16.4	30.1	26.6	11.5	47.1	2.6	9.6	3.2
性別	男性	803	55.9	11.7	22.9	18.2	6.1	30.3	2.1	15.3	2.7
	女性	1,064	25.5	19.6	35.6	32.8	15.5	60.1	3.0	5.4	3.3
年齢別	65～69歳	396	54.0	14.6	27.0	27.8	6.8	51.8	4.5	8.3	0.5
	70～74歳	408	44.1	15.4	34.3	27.9	11.8	52.7	2.9	9.3	1.7
	75～79歳	468	37.4	15.4	28.0	29.3	13.2	47.2	1.5	8.8	3.6
	80～84歳	343	29.4	18.7	32.4	26.2	13.1	48.4	1.5	8.2	3.2
	85～89歳	181	20.4	19.3	27.1	19.3	15.5	33.1	3.9	14.9	5.5
	90歳以上	76	17.1	17.1	32.9	15.8	5.3	21.1	0.0	17.1	14.5
日常生活圏域別	南部西	308	34.1	18.2	31.5	23.4	8.4	46.8	4.9	12.0	3.6
	南部東	289	40.5	19.4	27.3	25.3	11.4	50.9	3.5	8.3	2.4
	中部	292	33.9	11.3	28.8	29.1	11.3	50.3	3.1	10.3	2.7
	北部東	304	37.8	12.5	26.6	29.9	9.9	40.8	2.0	9.5	4.3
	北部中	371	41.5	19.4	32.3	27.8	13.2	48.5	1.1	9.7	1.9
	北部西	307	42.3	16.3	33.2	23.8	14.0	45.9	1.6	7.8	3.9

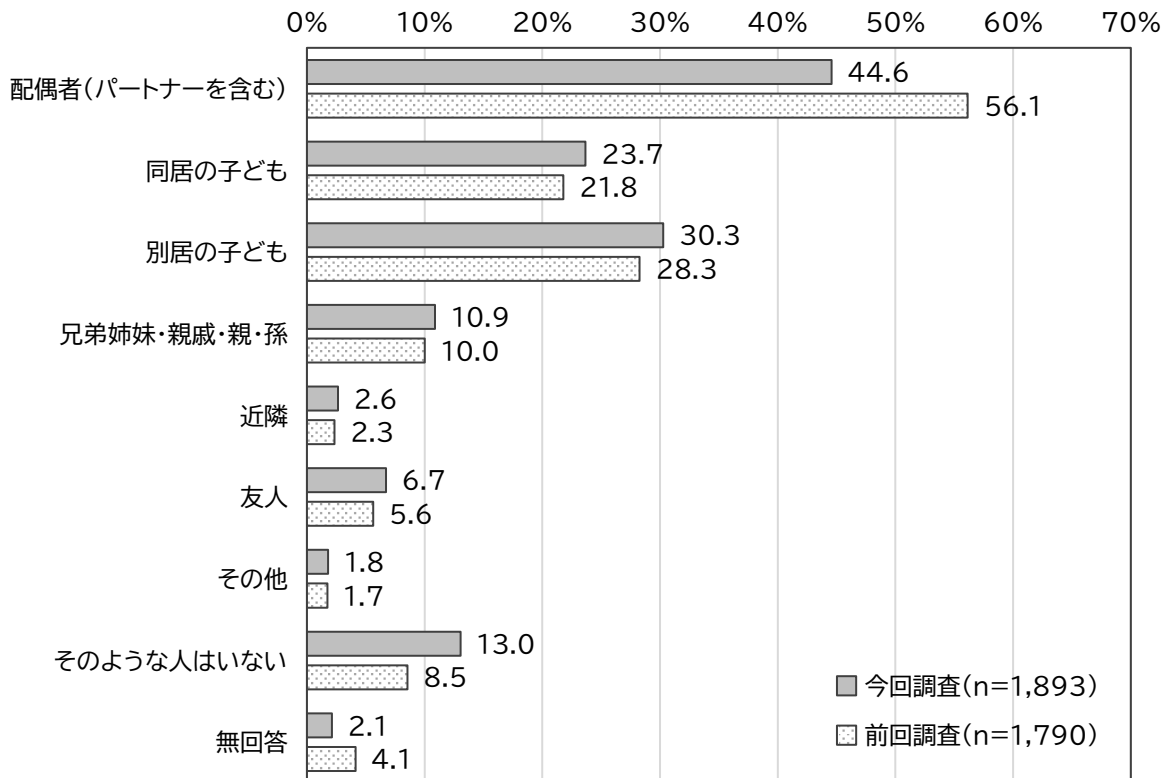
(3) 看病や世話をしてくれる人

問8 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。
(〇はいくつでも)

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者（パートナーを含む）」が44.6%と最も高く、次いで「別居の子ども」が30.3%、「同居の子ども」が23.7%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者（パートナーを含む）」（44.6%）が前回調査（56.1%）より11.5ポイント減少し、「そのような人はいない」（13.0%）が前回調査（8.5%）より4.5ポイント増加しています。

図表 2-6-5 看病や世話をしてくれる人



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性では「配偶者（パートナーを含む）」が最も高く、女性では「別居の子ども」が最も高くなっています。

年齢別で見ると、65～79歳では「配偶者（パートナーを含む）」が最も高く、80～89歳では「別居の子ども」、90歳以上では「同居の子ども」が最も高くなっています。

圏域別では、いずれも「配偶者（パートナーを含む）」が最も高くなっています。

図表 2-6-6 看病や世話をしてくれる人 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	配偶者 (パートナーを含む)	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,893	44.6	23.7	30.3	10.9	2.6	6.7	1.8	13.0	2.1
性別	男性	803	61.1	15.4	18.6	7.8	0.9	2.5	0.9	17.3	2.2
	女性	1,064	32.3	29.7	39.1	13.2	4.0	10.0	2.3	10.1	1.8
年齢別	65～69歳	396	60.6	18.4	18.7	8.8	1.8	6.8	1.0	16.4	0.5
	70～74歳	408	54.2	18.9	24.8	12.3	1.5	6.6	1.7	13.5	1.2
	75～79歳	468	43.4	22.6	32.5	12.2	4.1	8.3	1.7	12.6	3.6
	80～84歳	343	33.8	28.0	38.5	10.8	2.9	6.7	1.5	12.2	1.7
	85～89歳	181	23.2	32.0	43.6	11.6	3.9	5.0	3.3	9.4	2.8
	90歳以上	76	17.1	43.4	38.2	5.3	1.3	1.3	2.6	10.5	3.9
日常生活圏域別	南部西	308	41.6	25.0	28.6	12.7	1.9	5.2	1.0	16.9	1.9
	南部東	289	45.3	27.3	23.9	10.0	2.8	5.9	0.3	13.5	1.4
	中部	292	37.7	20.9	33.2	11.3	1.4	7.5	2.7	16.1	2.1
	北部東	304	44.1	19.7	28.0	12.2	2.6	8.9	3.0	13.2	2.6
	北部中	371	49.3	26.1	35.6	10.5	3.2	5.9	1.6	10.0	1.6
	北部西	307	48.5	22.5	30.9	8.8	3.9	7.2	1.3	10.4	2.6

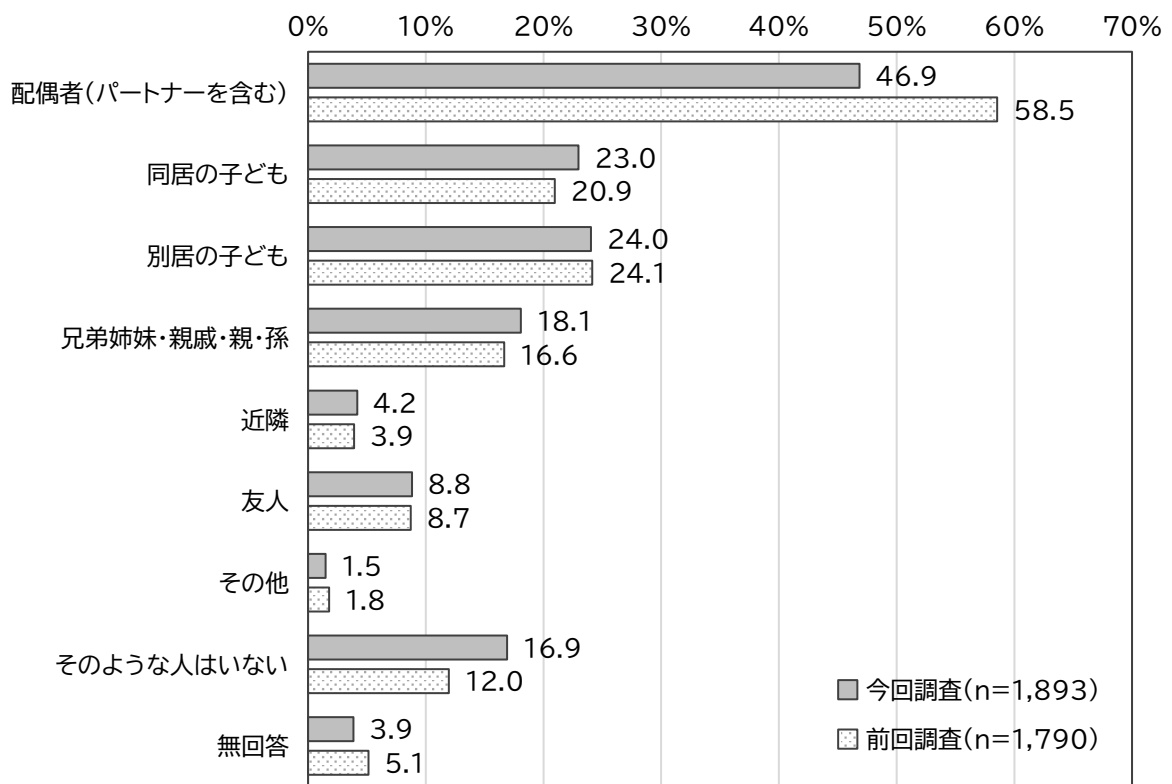
(4) 看病や世話をしあける人

問8 (4) 反対に、(あなたが) 看病や世話をしあける人は誰ですか。(〇はいくつでも)

看病や世話をしあける人については、「配偶者(パートナーを含む)」が46.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」が24.0%、「同居の子ども」が23.0%となっています。

前回調査と比較すると、「配偶者(パートナーを含む)」(46.9%)が前回調査(58.5%)より11.6ポイント減少し、「そのような人はいない」(16.9%)が前回調査(12.0%)より4.9ポイント増加しています。

図表 2-6-7 看病や世話をしあける人



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別でみると、いずれも「配偶者（パートナーを含む）」が最も高くなっています。

年齢別でみると、65～89歳では「配偶者（パートナーを含む）」、90歳以上では「同居の子ども」が最も高くなっています。

圏域別では、いずれも「配偶者（パートナーを含む）」が最も高くなっています。

図表 2-6-8 看病や世話をしあける人 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	配偶者 (パートナーを含む)	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,893	46.9	23.0	24.0	18.1	4.2	8.8	1.5	16.9	3.9
性別	男性	803	61.0	16.2	16.1	13.9	1.2	3.7	0.5	20.4	2.4
	女性	1,064	36.4	28.0	30.0	21.1	6.4	12.8	2.3	14.4	4.8
年齢別	65～69歳	396	62.4	21.7	23.0	22.0	3.0	7.3	2.3	12.6	0.8
	70～74歳	408	56.4	21.1	27.7	20.1	3.9	8.6	0.2	13.5	1.5
	75～79歳	468	45.3	22.6	22.6	19.2	5.8	12.4	0.6	16.0	4.5
	80～84歳	343	35.0	26.5	25.1	16.3	4.4	9.9	2.0	19.5	4.4
	85～89歳	181	29.8	23.8	24.3	9.4	4.4	5.0	2.2	24.9	6.1
	90歳以上	76	19.7	23.7	10.5	6.6	0.0	1.3	5.3	34.2	19.7
日常生活圏域別	南部西	308	46.4	24.4	21.4	19.2	3.2	9.7	1.3	18.2	3.2
	南部東	289	47.4	28.0	21.1	17.0	5.2	9.7	0.3	15.6	2.4
	中部	292	42.1	17.5	24.0	18.8	3.8	9.2	3.4	20.9	4.1
	北部東	304	45.4	19.7	21.4	18.8	3.6	10.2	2.3	17.8	4.3
	北部中	371	51.2	24.3	26.4	17.3	4.9	5.9	0.5	16.2	3.8
	北部西	307	47.9	23.8	28.3	17.6	4.2	9.1	1.3	13.7	4.9

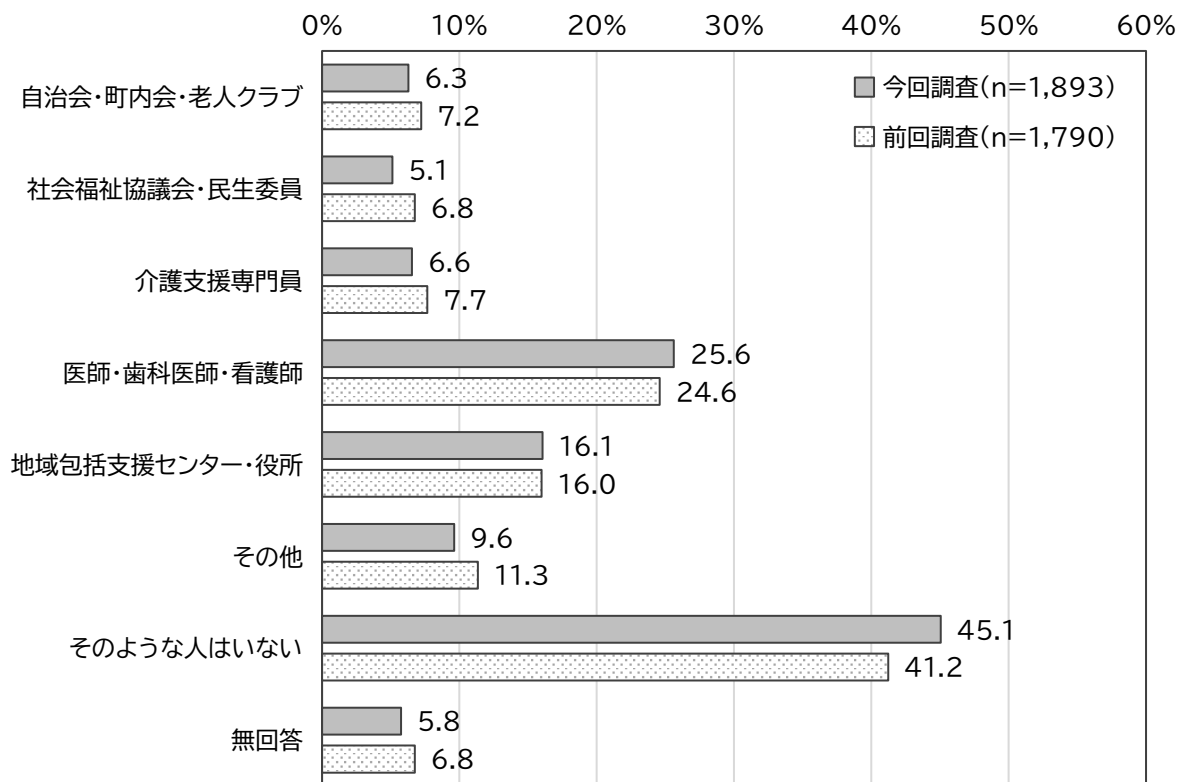
(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

問8 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(〇はいくつでも)

家族や友人・知人以外の相談相手では、「そのような人はいない」が45.1%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が25.6%、「地域包括支援センター・役所」が16.1%となっています。

前回調査と比較すると、「そのような人はいない」(45.1%)が前回調査(41.2%)より3.9ポイント増加しています。

図表 2-6-9 家族や友人・知人以外の相談相手



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別でみると、いずれも「そのような人はいない」が最も高くなっています。

年齢別でみると、いずれも「そのような人はいない」が最も高く、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が52.5%で最も高くなっています。

圏域別では、いずれも「そのような人はいない」が最も高くなっています。

図表 2-6-10 家族や友人・知人以外の相談相手 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

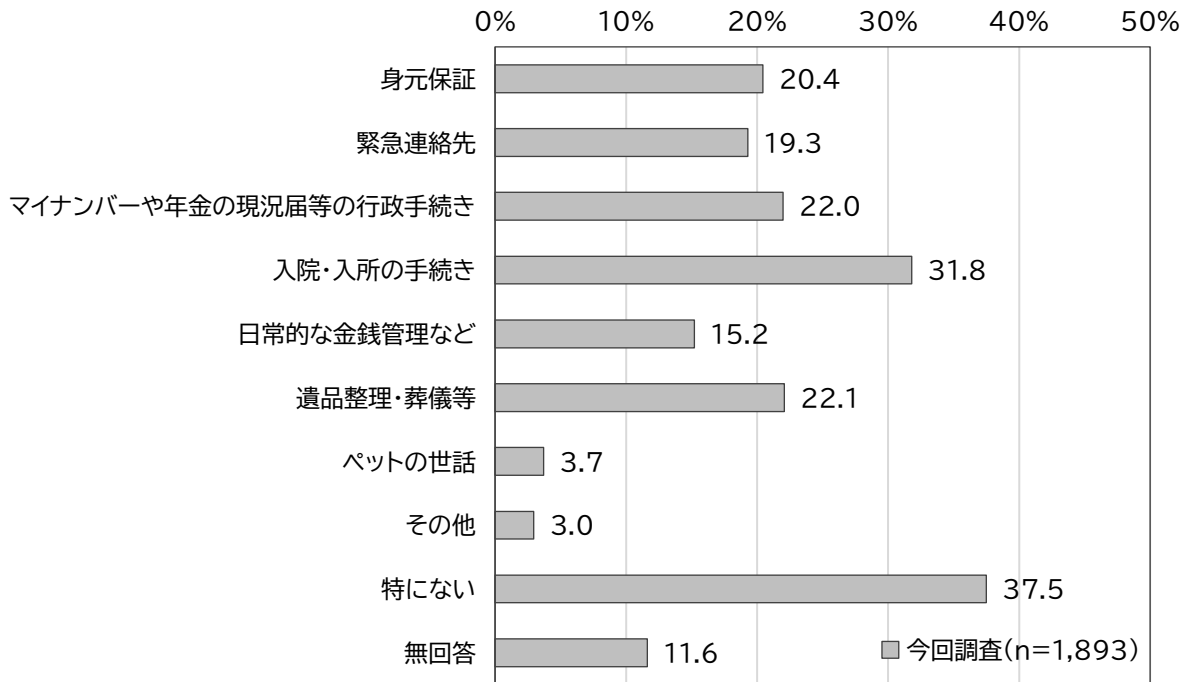
		合計	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	介護支援専門員	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,893	6.3	5.1	6.6	25.6	16.1	9.6	45.1	5.8
性別	男性	803	6.4	4.6	4.2	27.0	11.7	10.6	50.7	4.2
	女性	1,064	6.4	5.5	8.3	24.4	19.5	8.8	41.1	6.8
年齢別	65～69歳	396	4.5	2.5	2.3	26.8	12.4	15.7	52.5	1.3
	70～74歳	408	5.1	4.4	4.2	27.0	13.2	9.8	50.5	3.9
	75～79歳	468	6.8	4.9	5.1	23.1	15.6	7.7	47.6	7.7
	80～84歳	343	8.2	7.6	8.2	26.8	21.9	7.6	38.2	6.1
	85～89歳	181	9.9	8.3	17.7	23.8	21.0	6.6	32.0	7.2
	90歳以上	76	2.6	3.9	15.8	26.3	15.8	3.9	27.6	21.1
日常生活圏域別	南部西	308	6.8	5.8	6.2	22.1	17.5	11.7	42.9	6.2
	南部東	289	8.0	2.8	4.2	26.3	11.4	8.0	50.2	3.8
	中部	292	6.8	5.5	7.5	28.1	13.4	9.2	42.8	4.8
	北部東	304	4.9	6.6	8.9	26.0	19.7	6.3	44.4	6.3
	北部中	371	5.1	4.0	6.5	26.4	17.5	12.1	41.8	7.5
	北部西	307	6.8	6.2	5.9	24.4	16.3	9.1	50.5	4.9

(6) 頼れる人がいない時に困る対応

問8 (6) 頼れる人がいない、またはいなくなったときに対応に困ることは何ですか。
(〇はいくつでも)

頼れる人がいない、またはいなくなったときに困る対応については、「特にない」が37.5%と最も高く、次いで「入院・入所の手続き」が31.8%、「遺品整理・葬儀等」が22.1%、「マイナンバーや年金の現況届等の行政手続き」が22.0%となっています。

図表 2-6-11 頼れる人がいないときに困る対応



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別でみると、いずれも「特にない」が最も高くなっています。
 年齢別でみると、いずれも「特にない」が最も高くなっています。
 圏域別では、いずれも「特にない」が最も高くなっています。

図表 2-6-12 頼れる人がいないときに困る対応 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	身元保証	緊急連絡先	マイナンバーや年金の現況届等の行政手続き	入院・入所の手続き	日常的な金銭管理など	遺品整理・葬儀等	ペットの世話	その他	特にない	無回答
全体		1,893	20.4	19.3	22.0	31.8	15.2	22.1	3.7	3.0	37.5	11.6
性別	男性	803	23.4	20.8	21.5	35.0	18.1	23.5	4.2	3.2	37.0	7.7
	女性	1,064	18.1	18.0	22.3	29.3	13.1	21.1	3.2	2.7	38.3	14.4
年齢別	65～69歳	396	26.0	24.0	23.5	35.9	17.4	27.0	6.6	3.0	37.6	3.5
	70～74歳	408	25.0	20.6	23.0	33.1	15.4	24.0	3.9	2.7	39.2	7.1
	75～79歳	468	19.2	18.2	19.2	29.9	15.0	18.6	3.8	2.8	42.1	12.4
	80～84歳	343	13.4	15.2	23.0	31.5	14.9	22.2	1.2	2.9	34.4	17.5
	85～89歳	181	16.6	18.8	21.5	27.1	12.7	16.6	1.7	3.3	33.1	21.0
	90歳以上	76	15.8	15.8	22.4	26.3	11.8	21.1	1.3	3.9	27.6	22.4
日常生活圏域別	南部西	308	23.1	17.9	22.4	33.1	16.2	21.8	1.9	2.3	36.7	11.4
	南部東	289	22.8	20.8	19.4	31.5	12.8	24.2	6.2	3.8	36.7	12.1
	中部	292	20.5	18.2	17.1	29.8	12.3	21.9	3.8	2.4	42.1	11.0
	北部東	304	22.0	20.4	27.6	29.9	19.1	24.3	3.9	3.3	34.5	11.5
	北部中	371	14.6	18.1	22.9	30.7	13.5	20.2	3.2	2.7	38.5	11.1
	北部西	307	21.2	20.5	21.8	35.2	17.3	20.5	2.9	3.3	37.8	12.1

7. 健康について

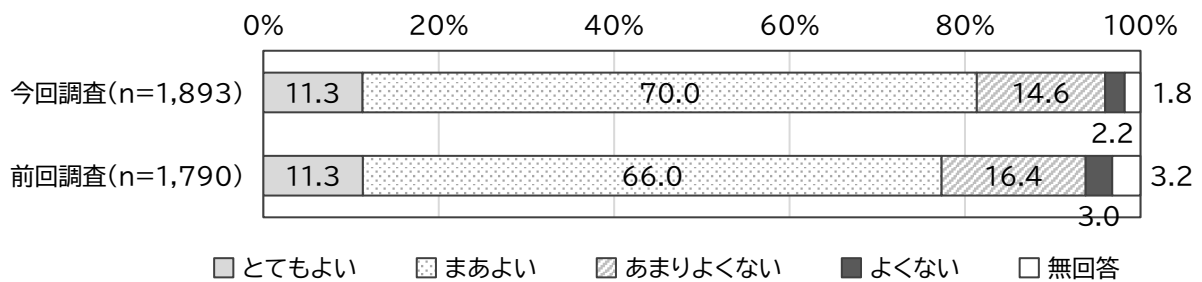
(1) 現在の健康状態

問9 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

現在の健康状態では、「まあよい」が70.0%と最も高く、次いで「あまりよくない」が14.6%、「とてもよい」が11.3%となっています。

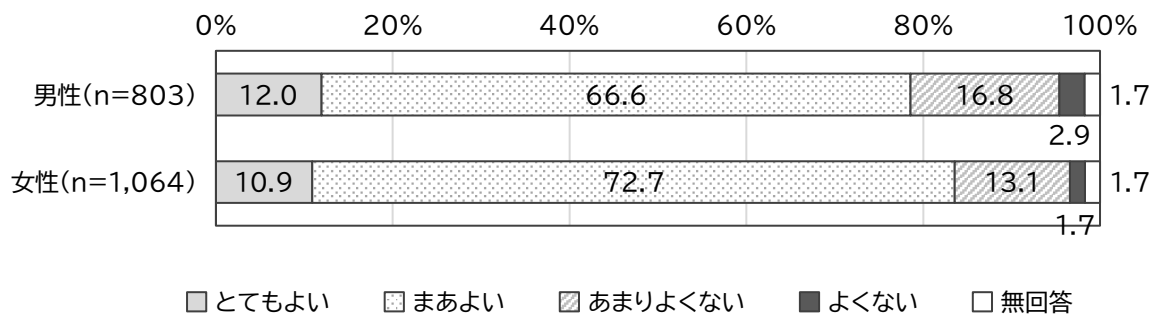
前回調査と比較すると、「まあよい」(70.0%)が前回調査(66.0%)より4.0ポイント増加しています。

図表 2-7-1 現在の健康状態



性別でみると、『よい』(「とてもよい」と「まあよい」の合計)では、女性が83.6%で、男性(78.6%)より5.0ポイント高く、『よくない』(「あまりよくない」と「よくない」の合計)では、男性が19.7%で、女性(14.8%)より4.9ポイント高くなっています。

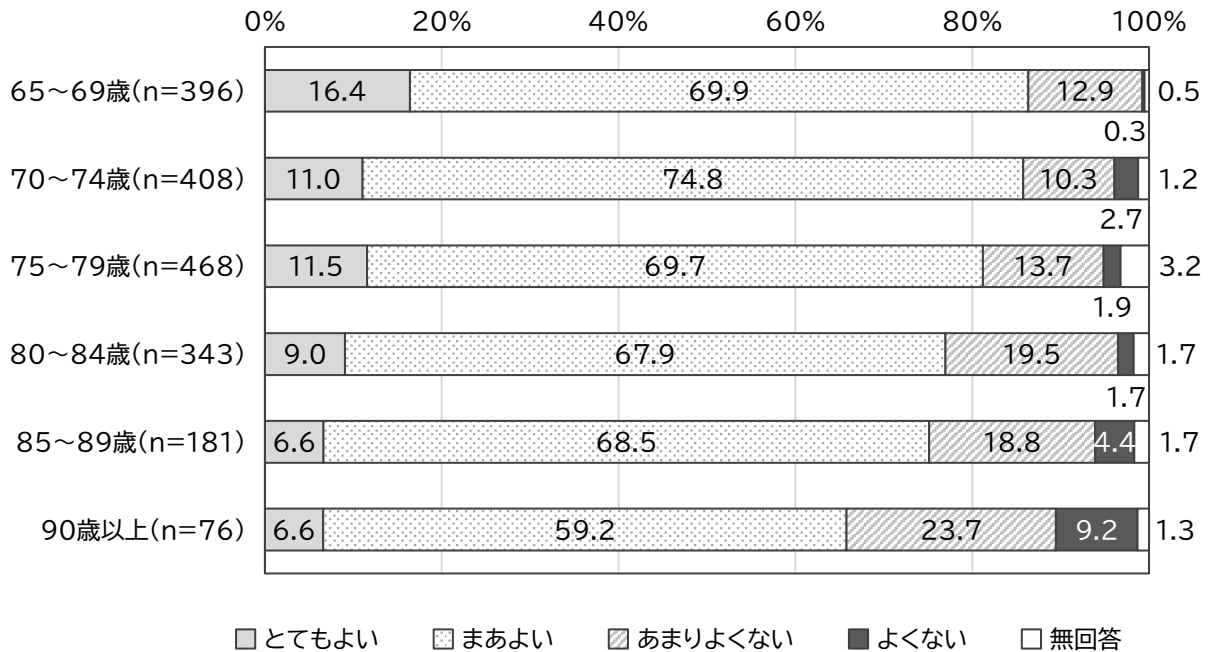
図表 2-7-2 現在の健康状態 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

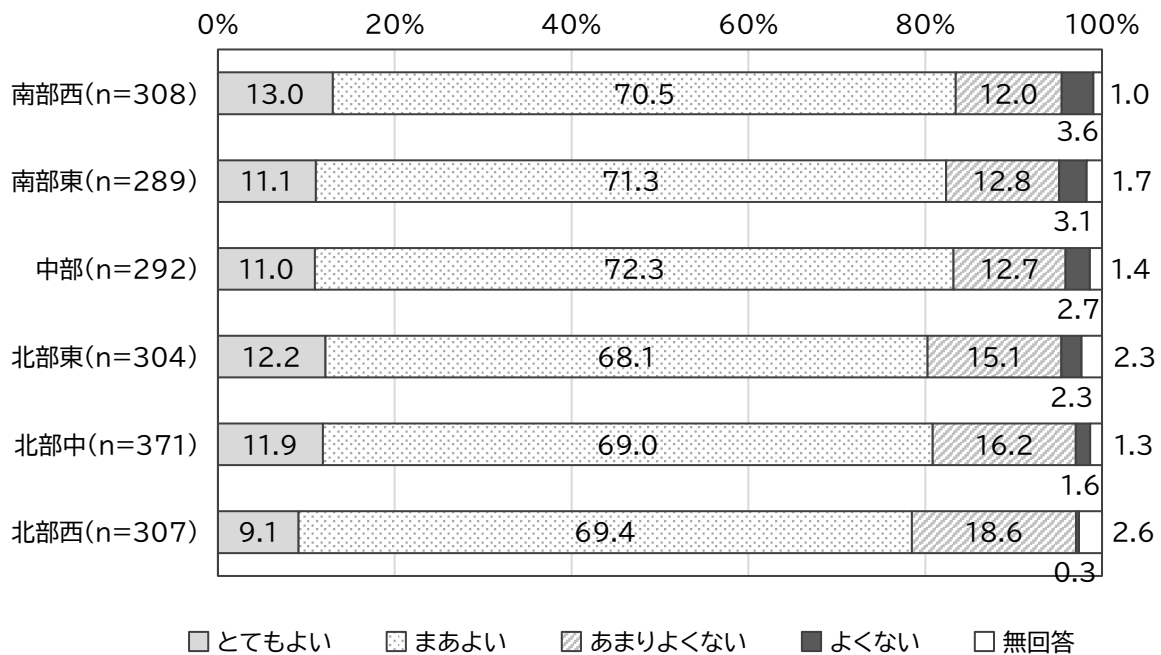
年齢別でみると、『よくない』では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で32.9%と最も高くなっています。

図表 2-7-3 現在の健康状態 年齢別



圏域別でみると、『よくない』では、北部西地区で18.9%と最も高くなっています。

図表 2-7-4 現在の健康状態 圏域別



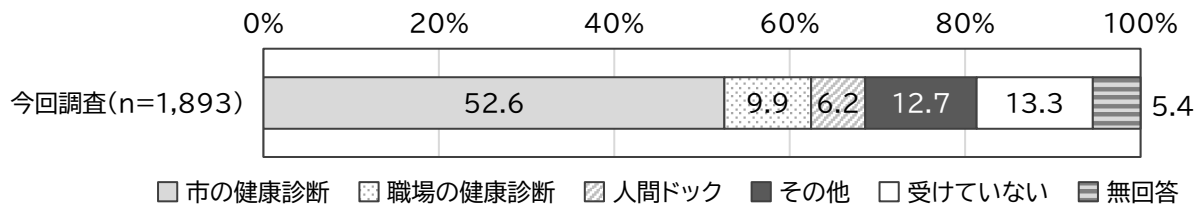
(2) 定期的な健康診断の受診状況

問9 (2) あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。(○は1つ)

定期的に受けている健康診断の状況では、「市の健康診断」が52.6%と最も高く、次いで「受けていない」が13.3%、「その他」が12.7%となっています。

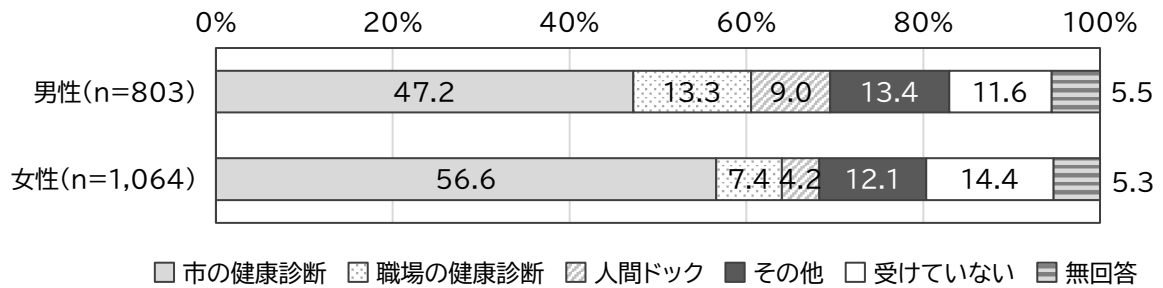
その他の内容では、「かかりつけ医」「通院中」が高くなっています。

図表 2-7-5 定期的な健康診断の受診状況



性別でみると、「市の健康診断」では、女性が56.6%で、男性(47.2%)より9.4ポイント高くなっています。

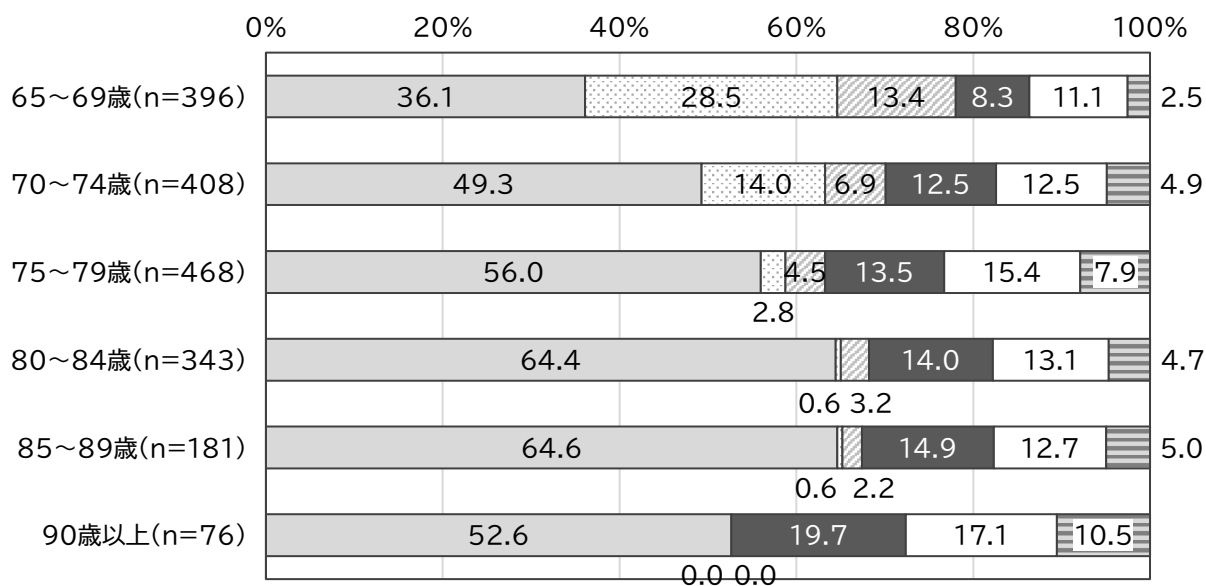
図表 2-7-6 定期的な健康診断の受診状況 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

年齢別でみると、「市の健康診断」では、85～89歳で64.6%と最も高くなっています。

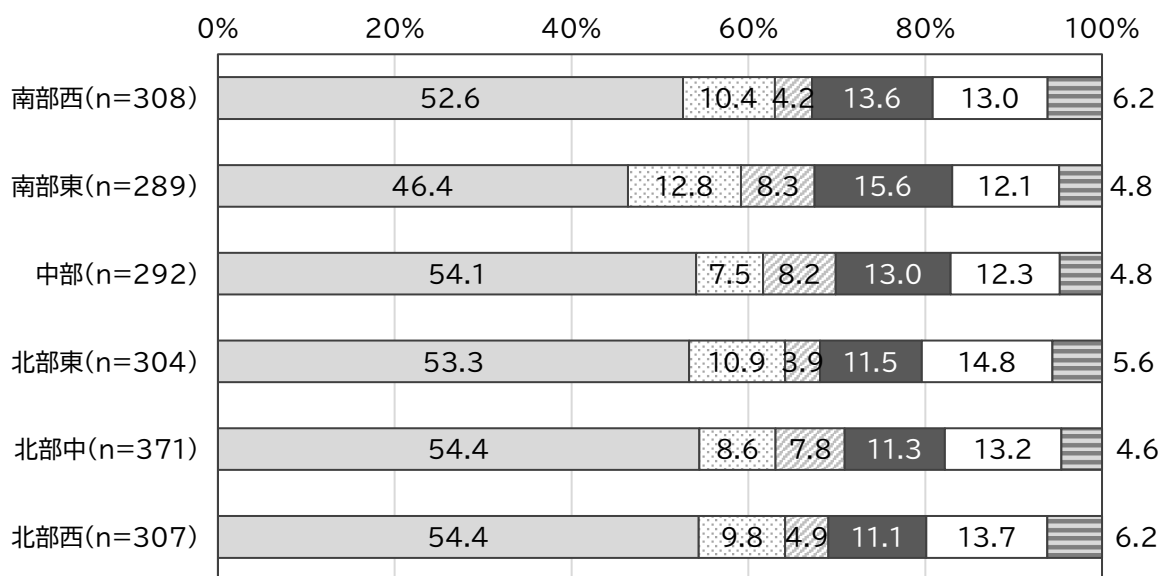
図表 2-7-7 定期的な健康診断の受診状況 年齢別



■ 市の健康診断 □ 職場の健康診断 ▨ 人間ドック ■ その他 □ 受けていない ▨ 無回答

圏域別でみると、「市の健康診断」では、北部中地区と北部西地区で54.4%と最も高くなっています。

図表 2-7-8 定期的な健康診断の受診状況 圏域別



■ 市の健康診断 □ 職場の健康診断 ▨ 人間ドック ■ その他 □ 受けていない ▨ 無回答

(3) 健康診断を受けていない理由

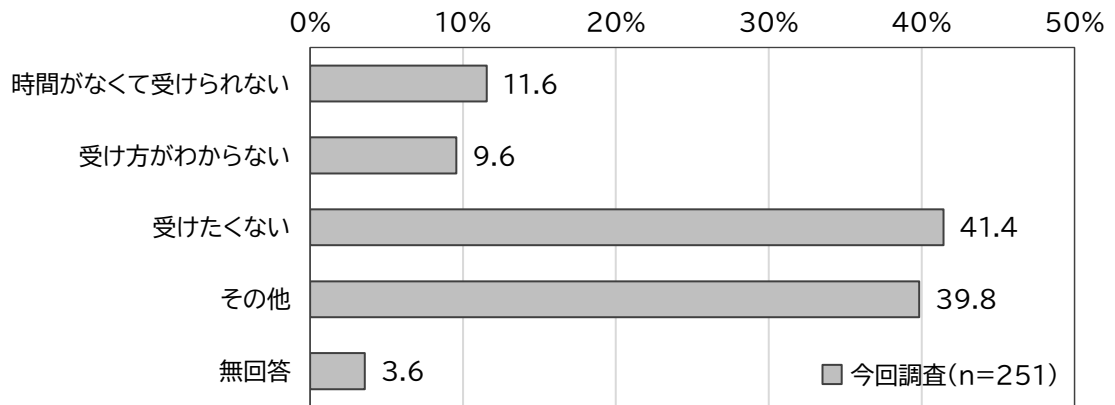
【問9-(2)で「5. 受けていない」とお答えになった方におたずねします。】

①健康診断を受けていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

健康診断を受けていない理由では、「受けたくない」が41.4%と最も高く、次いで「その他」が39.8%、「時間がなくて受けられない」が11.6%となっています。

その他の内容では、「通院中」が高くなっています。

図表 2-7-9 健康診断を受けていない理由



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、「受けたくない」では、女性が44.4%と、男性（37.6%）より6.8ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、74歳以下と85～89歳では「受けたくない」が最も高く、75～84歳と90歳以上で「その他」が最も高くなっています。

圏域別で見ると、「受けたくない」では、北部中地区で51.0%と最も高くなっています。

図表 2-7-10 健康診断を受けていない理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	時間 がない 受けれ ない	受け 方が わから ない	受け たく ない	そ の 他	無 回 答
全体		251	11.6	9.6	41.4	39.8	3.6
性別	男性	93	11.8	8.6	37.6	44.1	4.3
	女性	153	11.8	9.8	44.4	37.3	2.6
年齢別	65～69歳	44	18.2	6.8	40.9	34.1	2.3
	70～74歳	51	7.8	9.8	47.1	37.3	0.0
	75～79歳	72	15.3	6.9	40.3	41.7	4.2
	80～84歳	45	6.7	6.7	42.2	44.4	4.4
	85～89歳	23	8.7	21.7	43.5	30.4	4.3
	90歳以上	13	7.7	15.4	23.1	61.5	15.4
日常生活圏域別	南部西	40	15.0	7.5	40.0	40.0	0.0
	南部東	35	11.4	5.7	42.9	42.9	2.9
	中部	36	11.1	11.1	38.9	38.9	5.6
	北部東	45	13.3	6.7	44.4	35.6	4.4
	北部中	49	12.2	16.3	51.0	32.7	2.0
	北部西	42	7.1	7.1	31.0	50.0	7.1

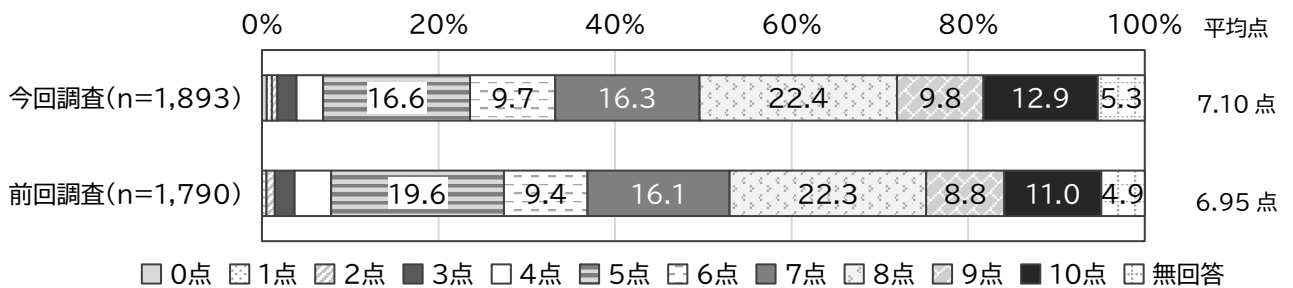
(4) 幸福度

問9 (3) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をお付けください。) (○は1つ)

現在の幸福度では、「8点」が22.4%と最も高く、次いで「5点」が16.6%、「7点」が16.3%となっており、平均点は7.10点となっています。

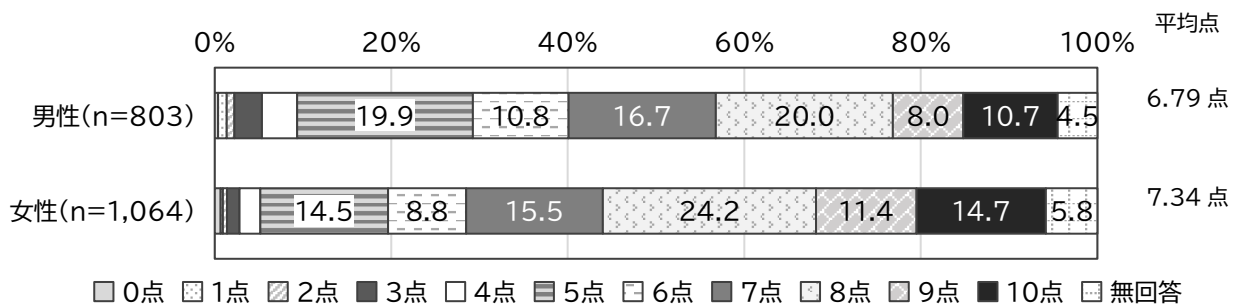
前回調査と比較すると、「5点」(16.6%)が前回調査(19.6%)より3.0ポイント減少しています。また、平均点(7.10点)は前回調査(6.95点)より0.15点高くなっています。

図表 2-7-11 幸福度



性別で見ると、「5点」では、男性が19.9%で、女性(14.5%)より5.4ポイント、「8点」では、女性が24.2%で、男性(20.0%)より4.2ポイント、「10点」では女性が14.7%で、男性(10.7%)より4.0ポイントがそれぞれ高くなっています。また、平均点では、男性が6.79点、女性が7.34点と高くなっています。

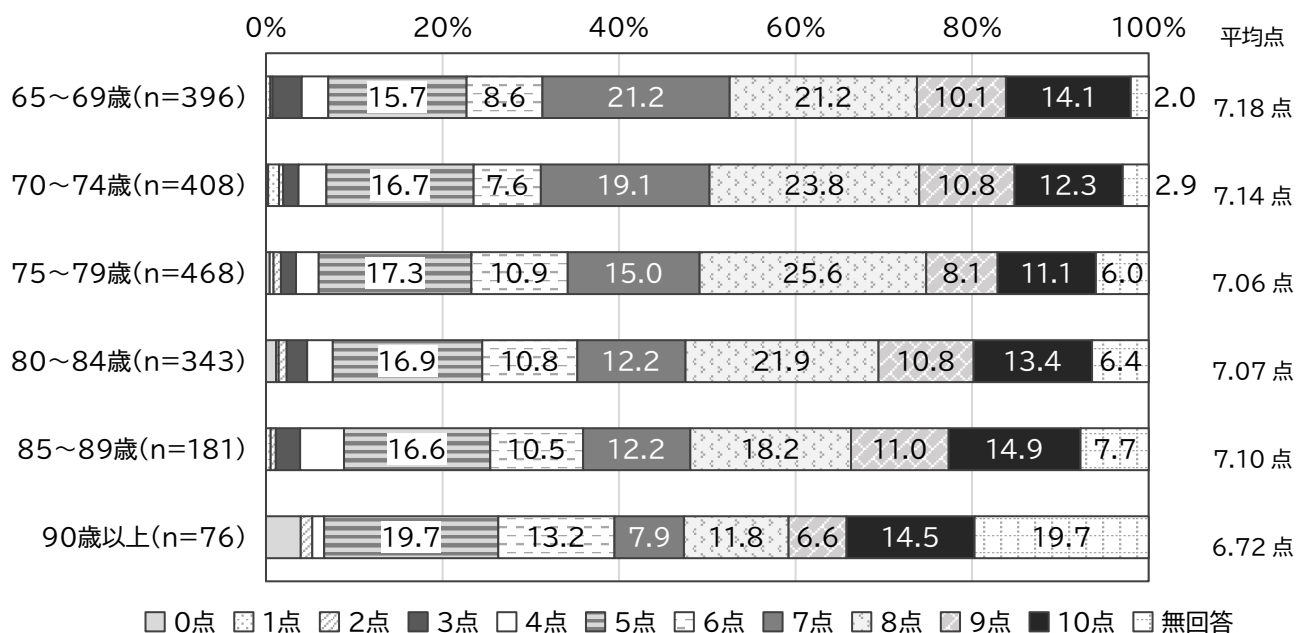
図表 2-7-12 幸福度 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

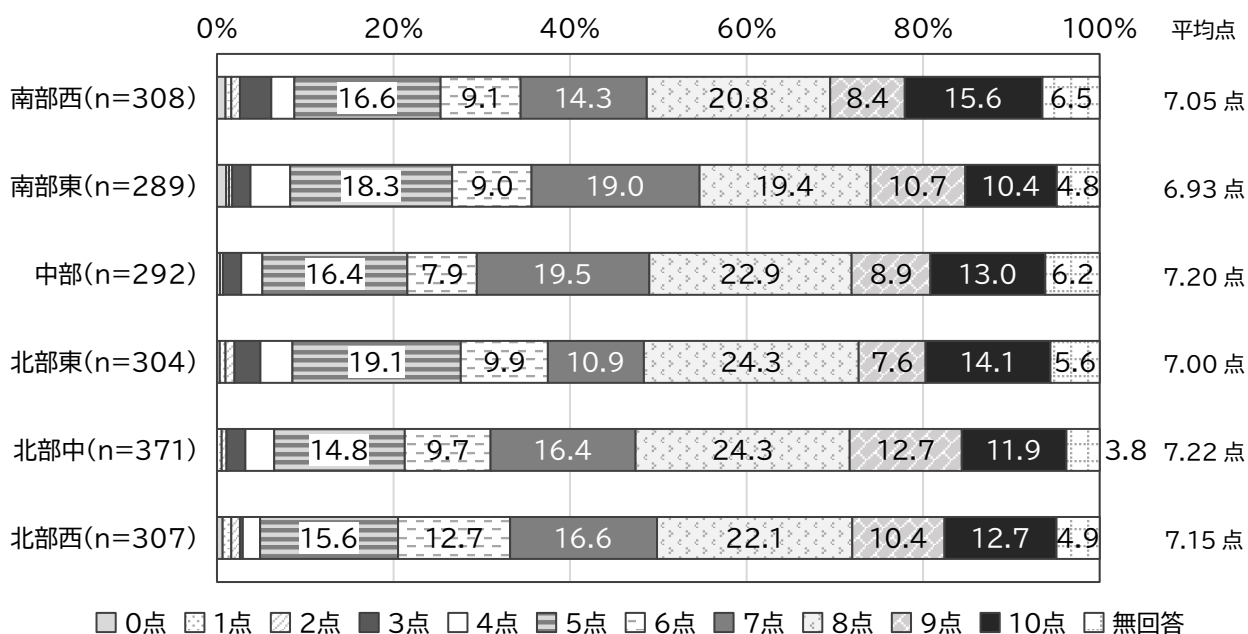
年齢別でみると、平均点では65～69歳で7.18点と最も高くなっています。

図表 2-7-13 幸福度 年齢別



圏域別でみると、平均点では北部中地区で7.22点と最も高くなっています。

図表 2-7-14 幸福度 圏域別



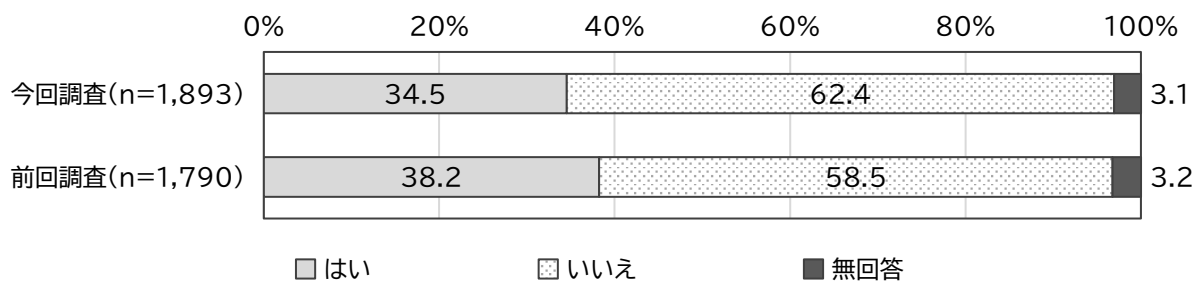
(5) この1か月間は気分が沈む

問9 (4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(○は1つ)

直近1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがあったかについては、「はい」が34.5%、「いいえ」が62.4%となっています。

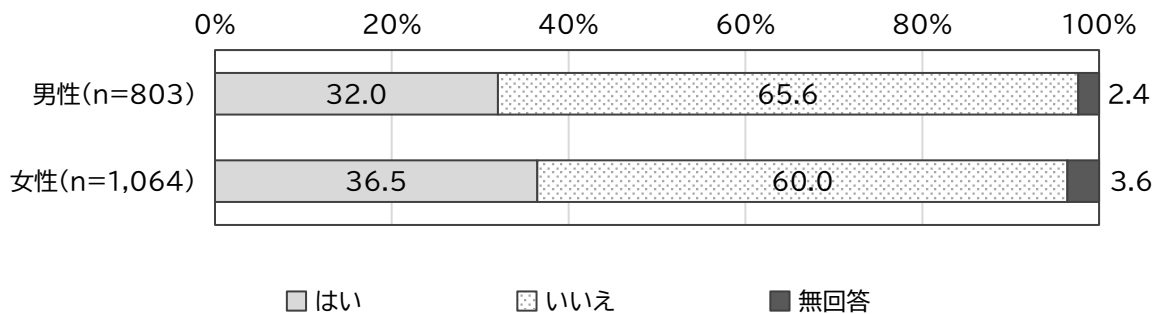
前回調査と比較すると、「はい」(34.5%)が前回調査(38.2%)より3.7ポイント減少しています。

図表 2-7-15 この1か月間は気分が沈む



性別で見ると、「はい」では、女性が36.5%で、男性(32.0%)より4.5ポイント高くなっています。

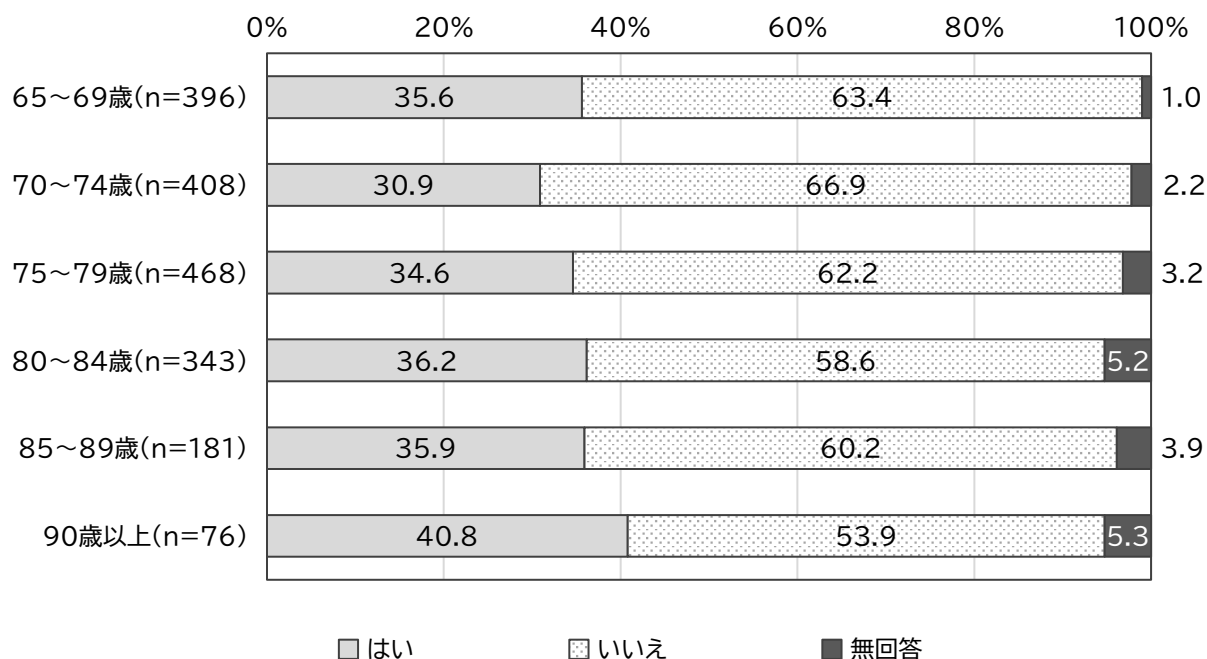
図表 2-7-16 この1か月間は気分が沈む 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

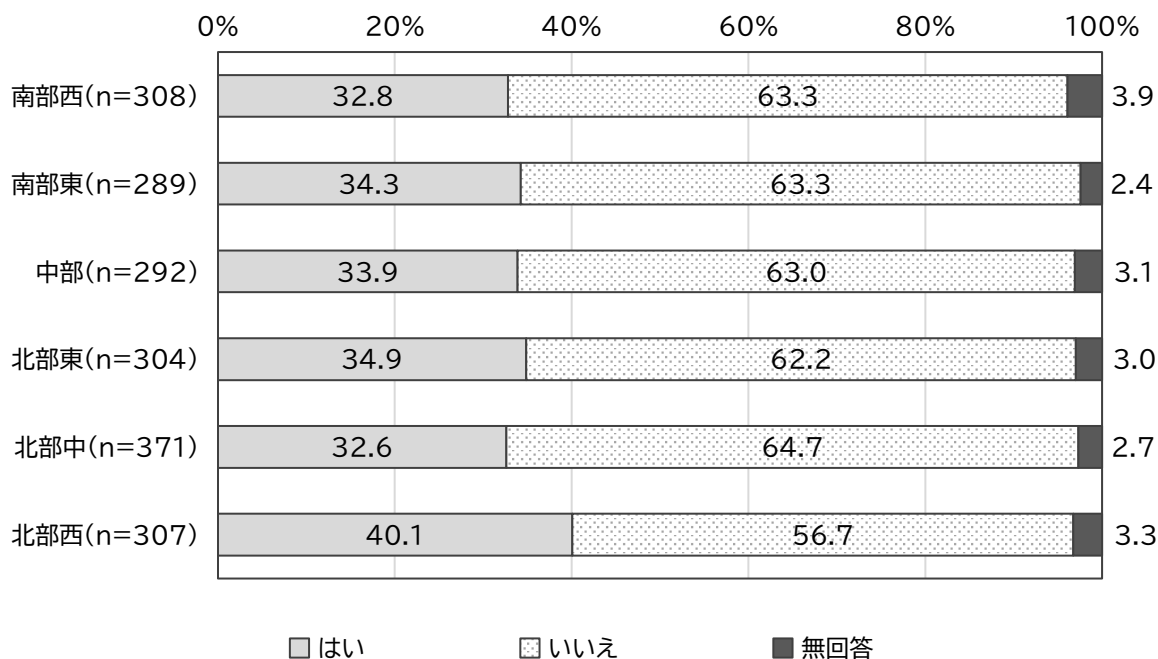
年齢別でみると、「はい」では、90歳以上で40.8%と最も高くなっています。

図表 2-7-17 この1か月間は気分が沈む 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部西地区で40.1%と最も高くなっています。

図表 2-7-18 この1か月間は気分が沈む 圏域別



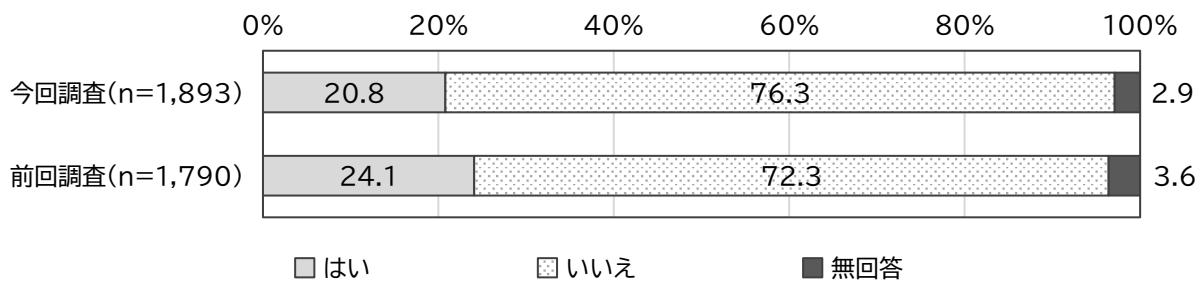
(6) この1か月間は心から楽しめない

問9 (5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

直近1か月間で物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがあったかについては、「はい」が20.8%、「いいえ」が76.3%となっています。

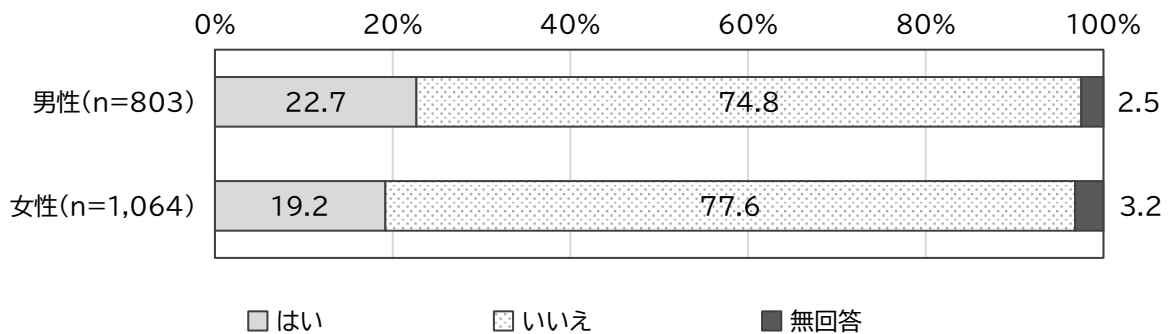
前回調査と比較すると、「はい」(20.8%)が前回調査(24.1%)より3.3ポイント減少しています。

図表 2-7-19 この1か月間は心から楽しめない



性別で見ると、「はい」では、男性が22.7%で、女性(19.2%)より3.5ポイント高くなっています。

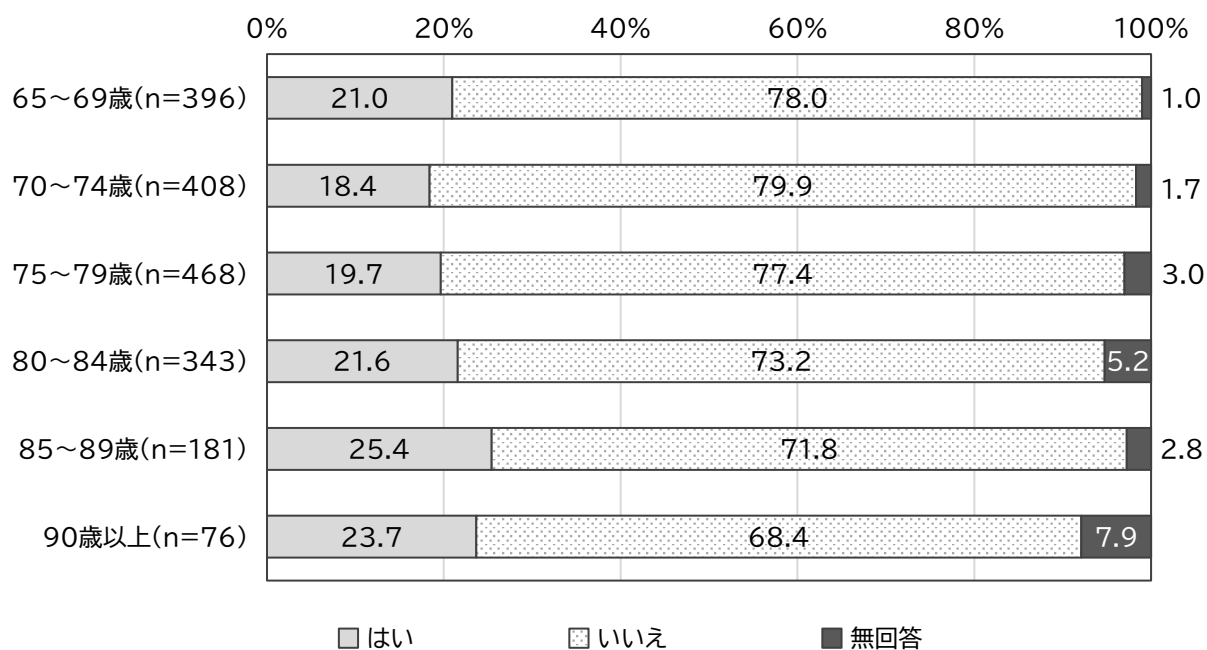
図表 2-7-20 この1か月間は心から楽しめない 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

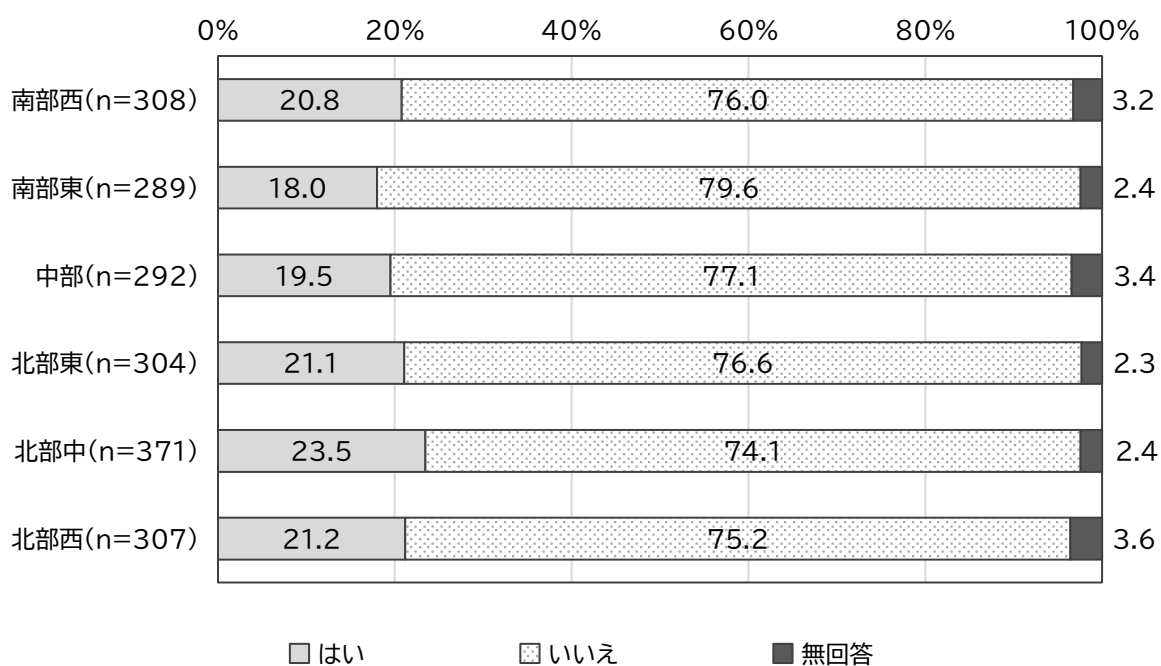
年齢別でみると、「はい」では、85～89歳で25.4%と最も高くなっています。

図表 2-7-21 この1か月間は心から楽しめない 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部中地区で23.5%と最も高くなっています。

図表 2-7-22 この1か月間は心から楽しめない 圏域別

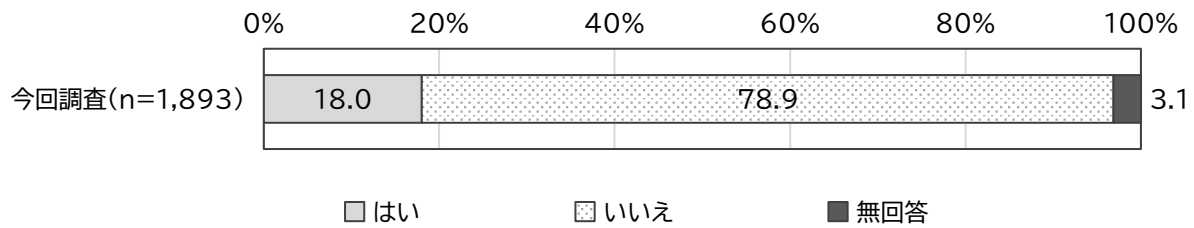


(7) ここ2週間は充実感がない

問9 (6) ここ2週間、毎日の生活に充実感がないと感じますか。(○は1つ)

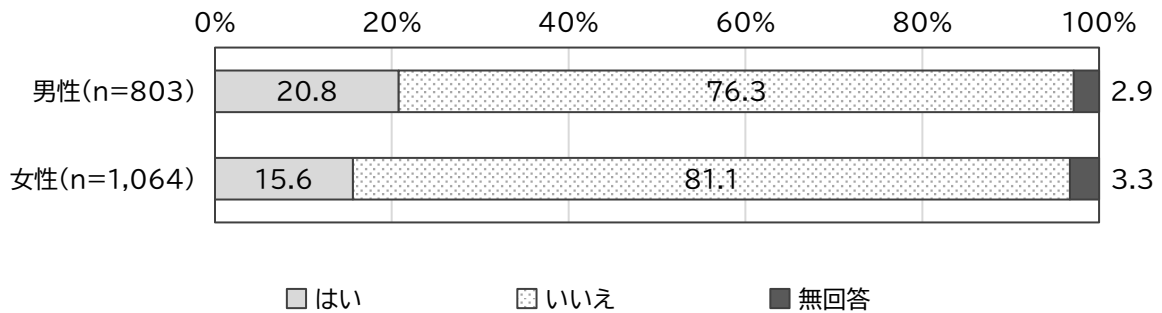
直近2週間で毎日の生活に充実感がないと感じるかについては、「はい」が18.0%、「いいえ」が78.9%となっています。

図表 2-7-23 ここ2週間は充実感がない



性別でみると、「はい」では、男性が20.8%で、女性（15.6%）より5.2ポイント高くなっています。

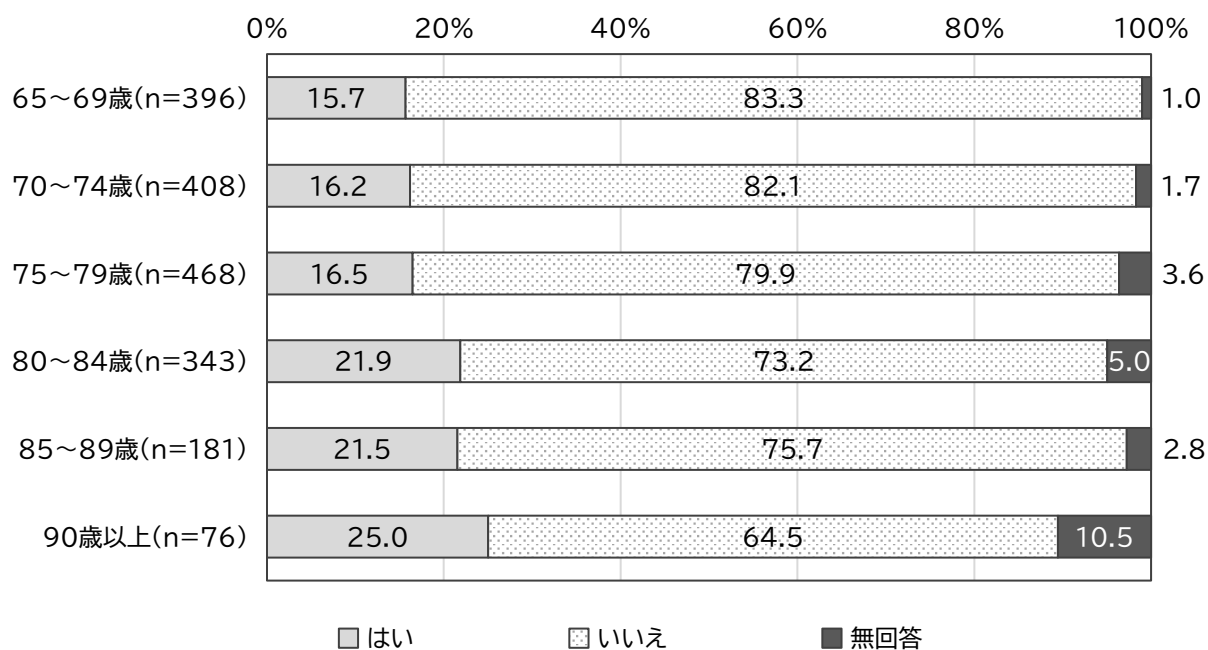
図表 2-7-24 ここ2週間は充実感がない 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

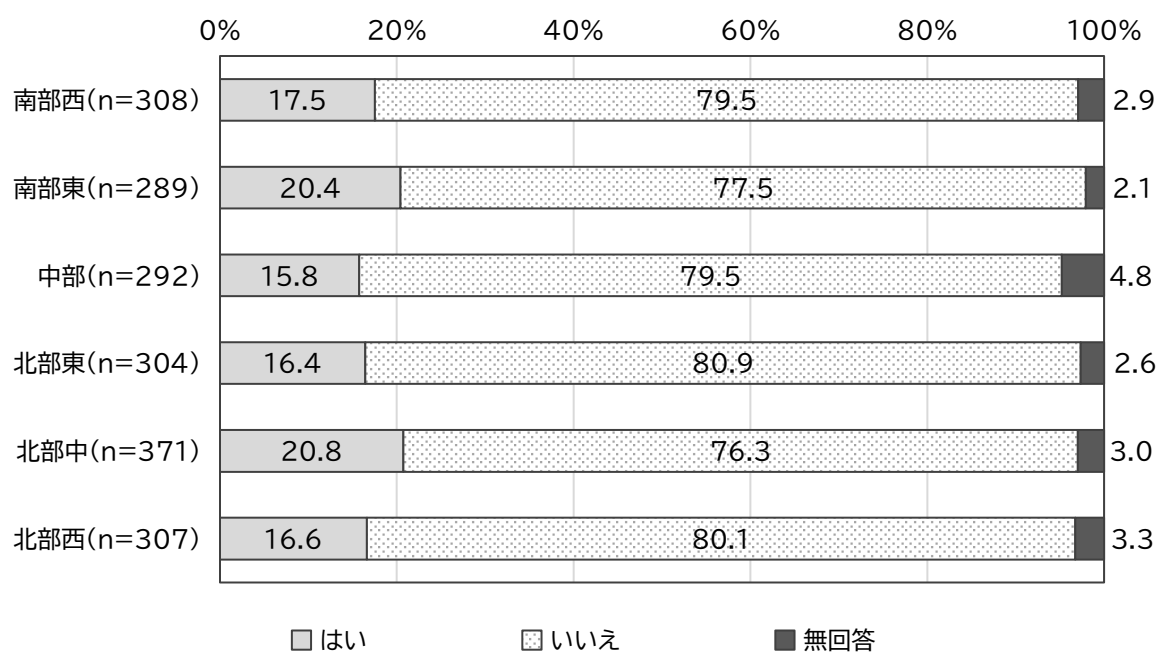
年齢別でみると、「はい」では、90歳以上で25.0%と最も高くなっています。

図表 2-7-25 ここ2週間は充実感がない 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部中地区で20.8%と最も高くなっています。

図表 2-7-26 ここ2週間は充実感がない 圏域別

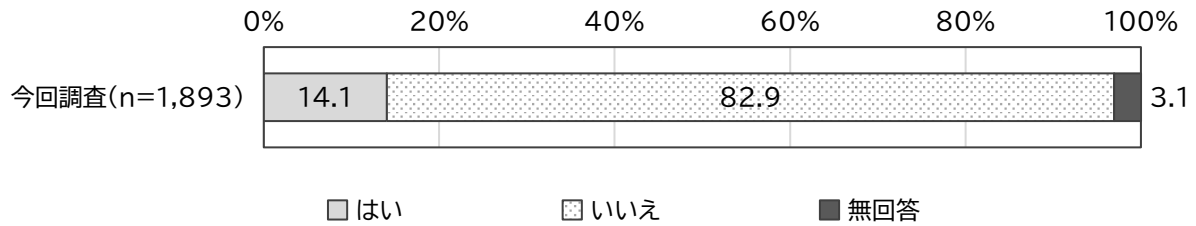


(8) ここ2週間は楽しめなくなった

問9 (7) ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じますか。
(○は1つ)

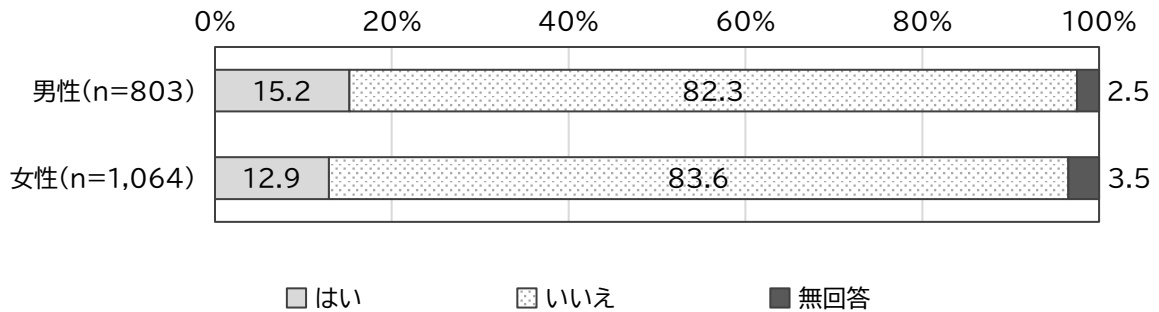
直近2週間で、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じるかについては、「はい」が14.1%、「いいえ」が82.9%となっています。

図表 2-7-27 ここ2週間は楽しめなくなった



性別でみると、「はい」では、男性が15.2%で、女性(12.9%)より2.3ポイント高くなっています。

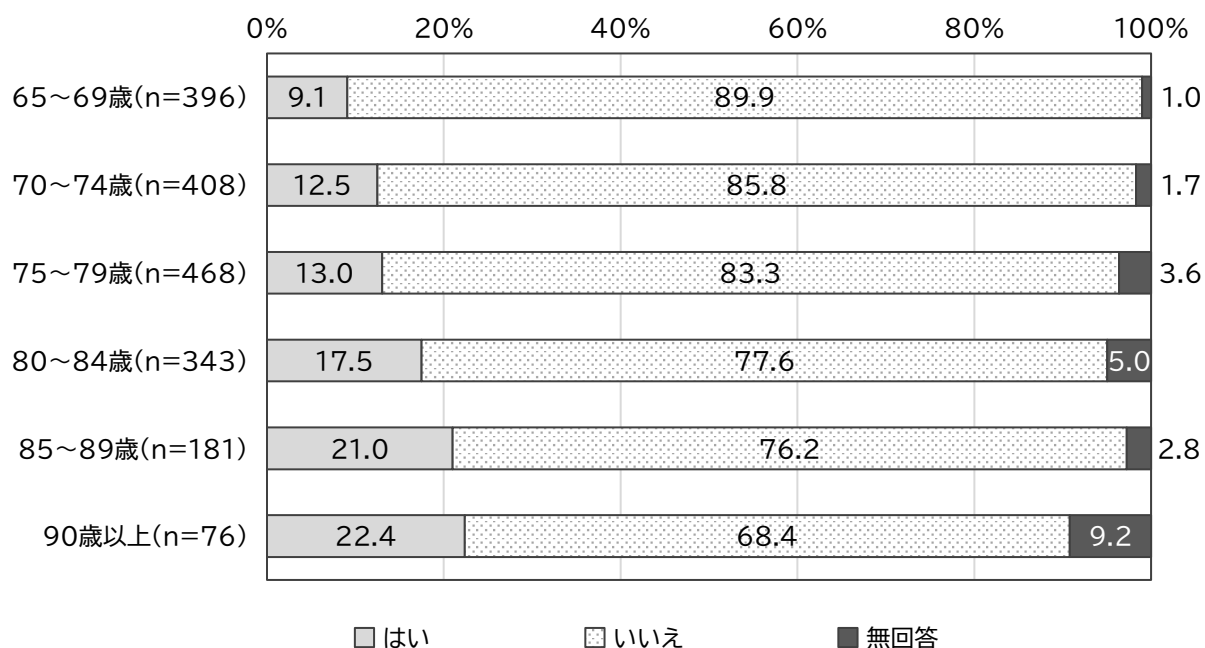
図表 2-7-28 ここ2週間は楽しめなくなった 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

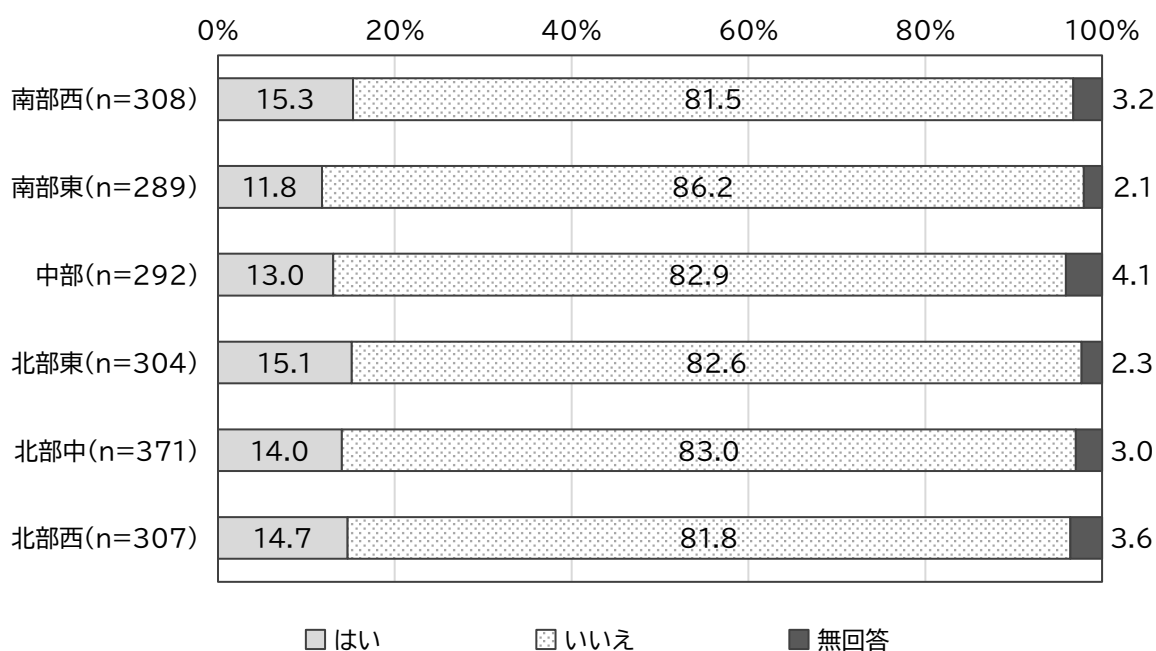
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で22.4%と最も高くなっています。

図表 2-7-29 ここ2週間は楽しめなくなった 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、南部西地区で15.3%と最も高くなっています。

図表 2-7-30 ここ2週間は楽しめなくなった 圏域別

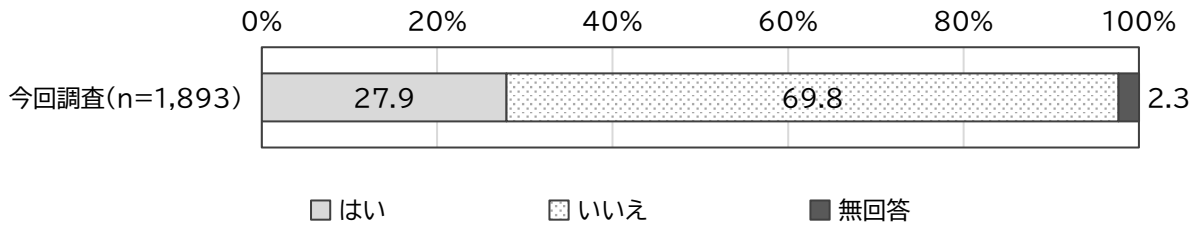


(9) ここ2週間はおっくうに感じる

問9 (8) ここ2週間、以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられますか。
(○は1つ)

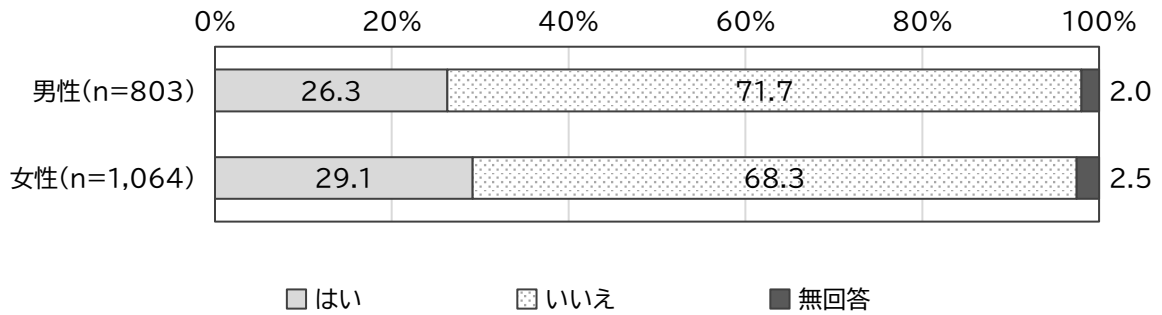
直近2週間で、以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じるかについては、「はい」が27.9%、「いいえ」が69.8%となっています。

図表 2-7-31 ここ2週間はおっくうに感じる



性別でみると、「はい」では、女性が29.1%で、男性(26.3%)より2.8ポイント高くなっています。

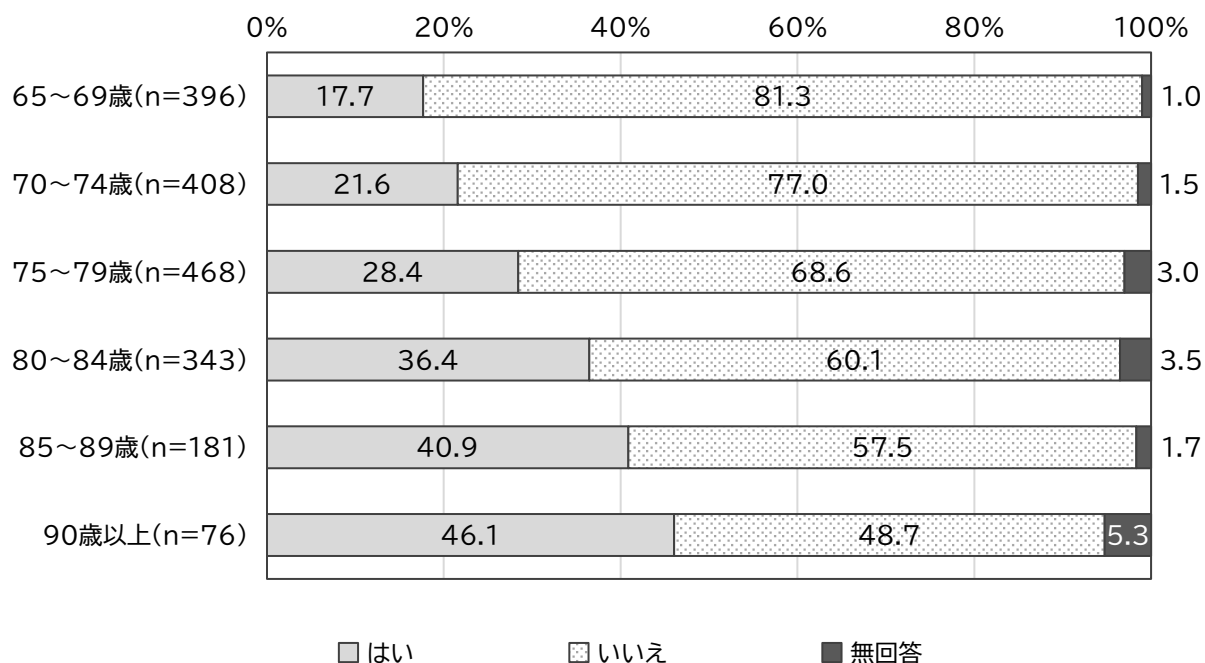
図表 2-7-32 ここ2週間はおっくうに感じる 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

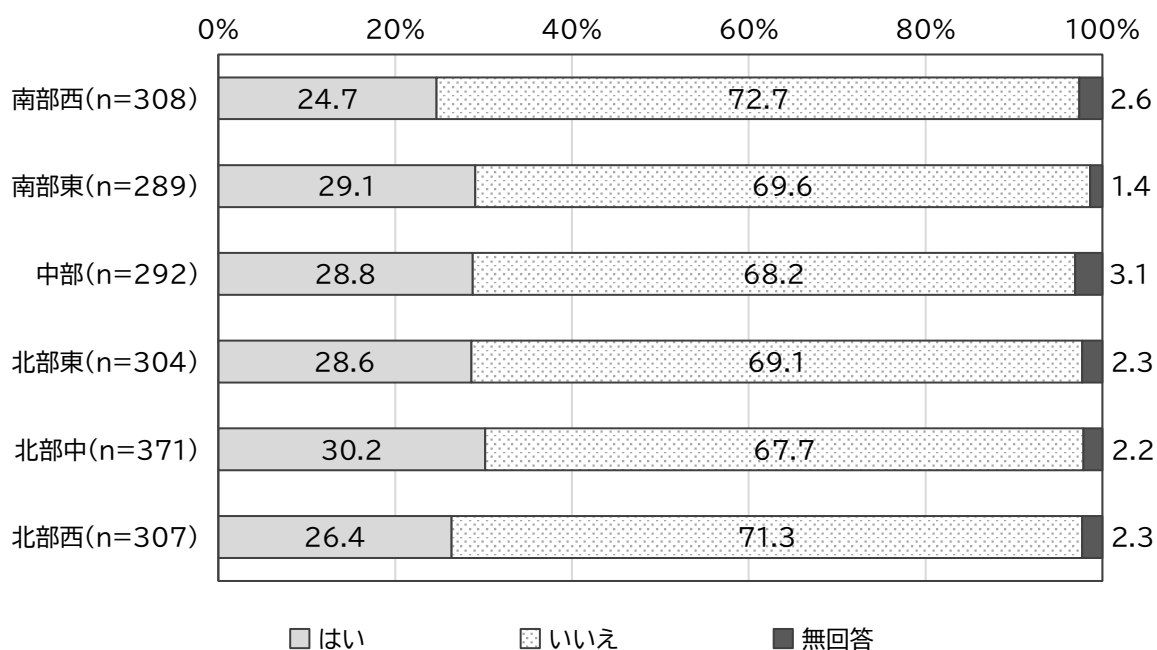
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で46.1%と最も高くなっています。

図表 2-7-33 ここ2週間はおっくうに感じる 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部中地区で30.2%と最も高くなっています。

図表 2-7-34 ここ2週間はおっくうに感じる 圏域別

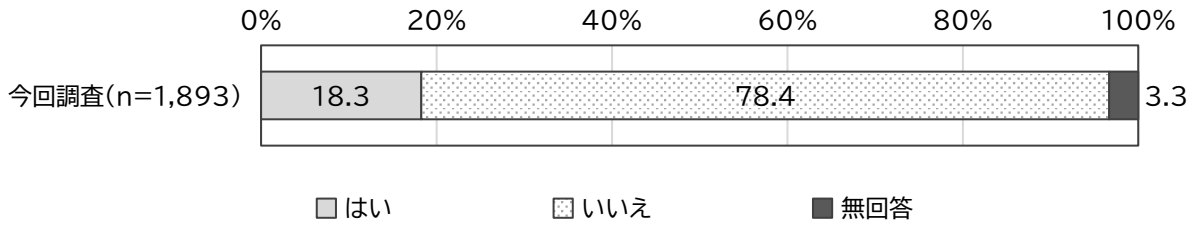


(10) ここ2週間は自分が役立つ人間だと思えない

問9 (9) ここ2週間、自分が役立つ人間だと思えないと感じたことはありますか。(○は1つ)

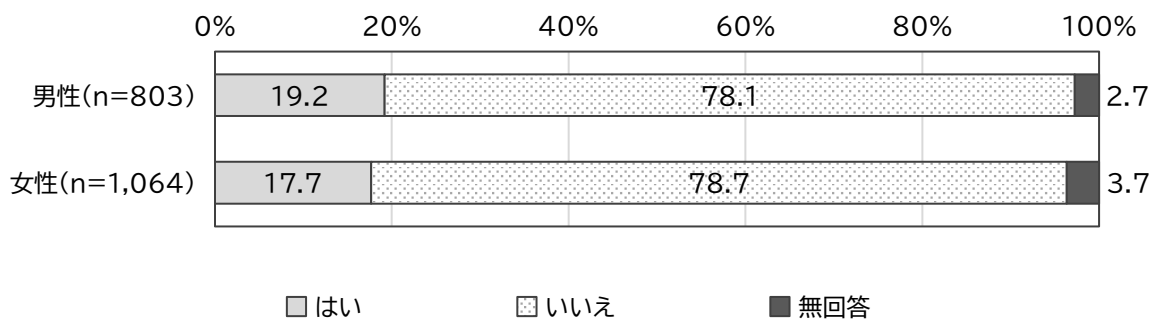
直近2週間で、自分が役に立つ人間だと思えないと感じたかについては、「はい」が18.3%、「いいえ」が78.4%となっています。

図表 2-7-35 ここ2週間は自分が役立つ人間だと思えない



性別でみると、「はい」では、男性が19.2%で、女性（17.7%）より1.5ポイント高くなっています。

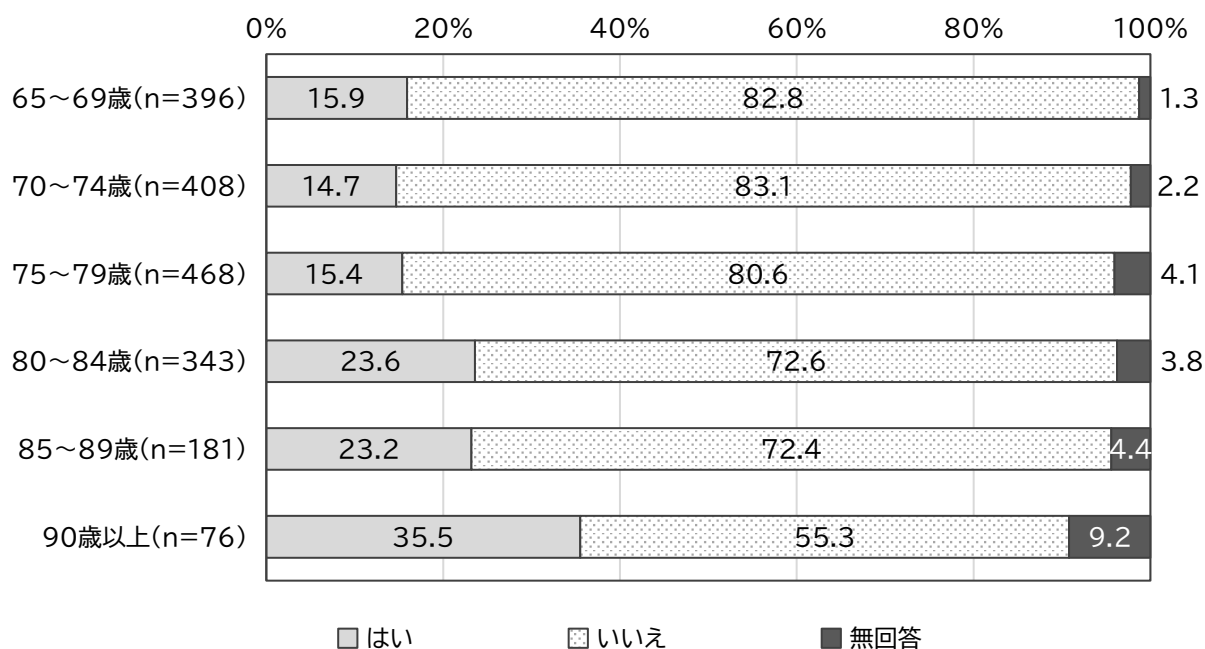
図表 2-7-36 ここ2週間は自分が役立つ人間だと思えない 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

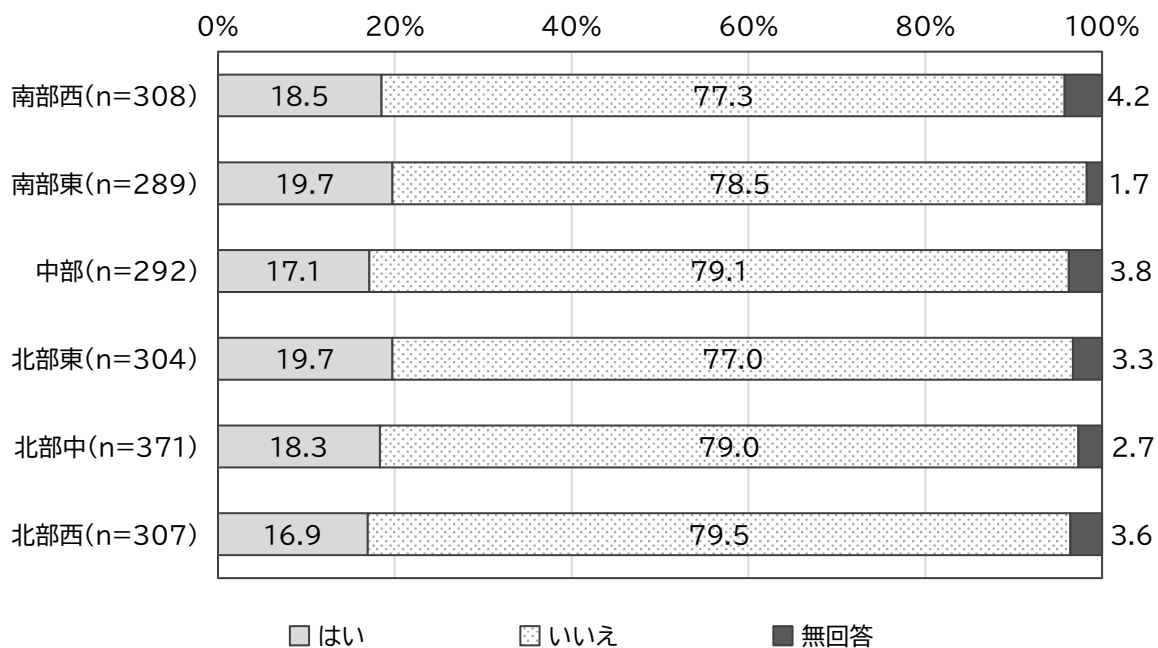
年齢別でみると、「はい」では、90歳以上で35.5%と最も高くなっています。

図表 2-7-37 ここ2週間は自分が役立つ人間だと思えない 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、南部東地区と北部東地区で19.7%と最も高くなっています。

図表 2-7-38 ここ2週間は自分が役立つ人間だと思えない 圏域別

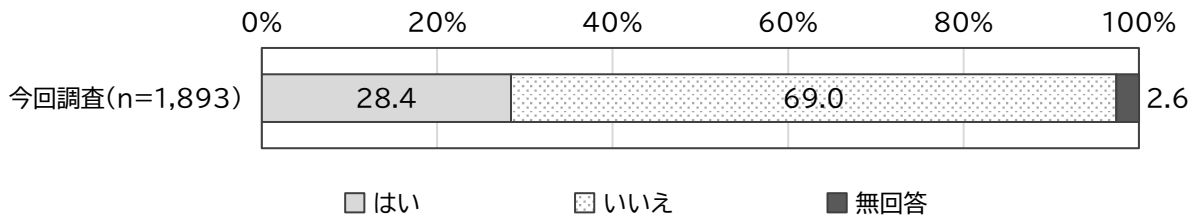


(11) ここ2週間は疲れた感じがする

問9 (10) ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがすることはありますか。(○は1つ)

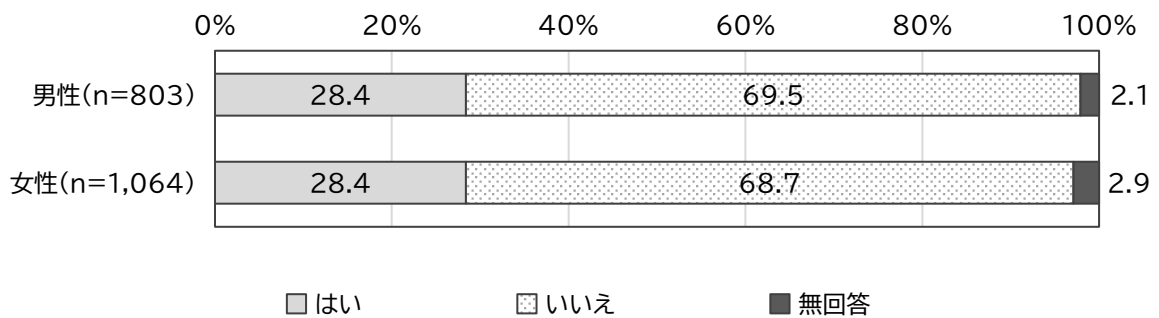
直近2週間で、わけもなく疲れたような感じがするかについては、「はい」が28.4%、「いいえ」が69.0%となっています。

図表 2-7-39 ここ2週間は疲れた感じがする



性別でみると、「はい」では、男女とも28.4%となっています。

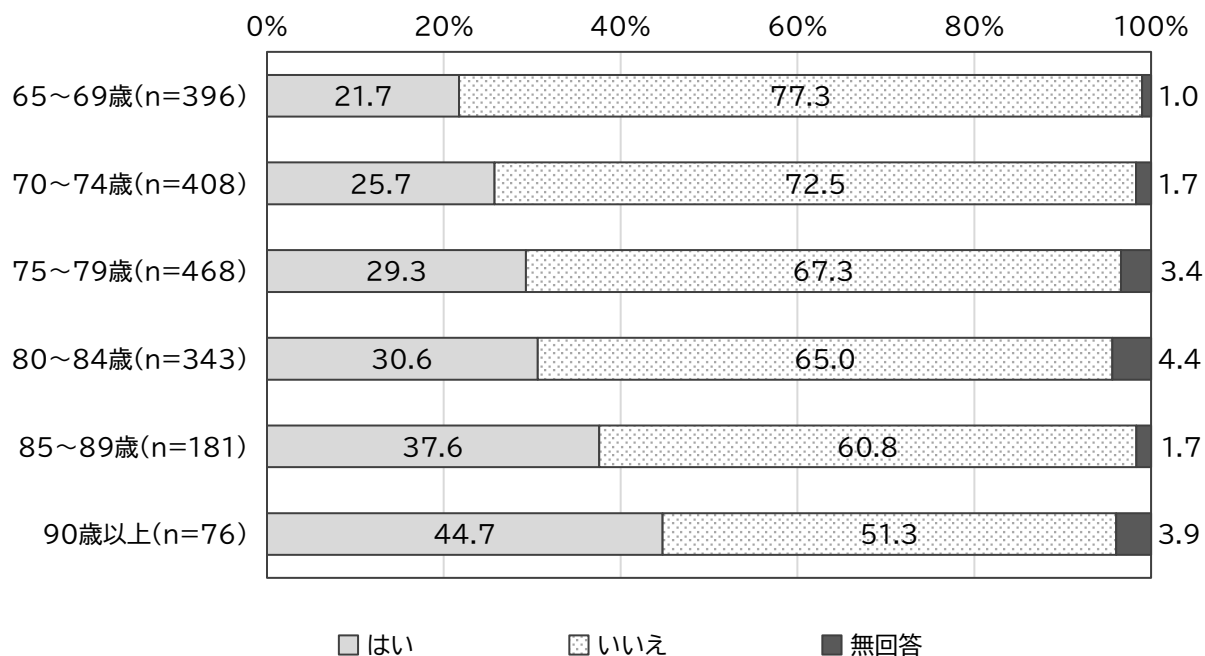
図表 2-7-40 ここ2週間は疲れた感じがする 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

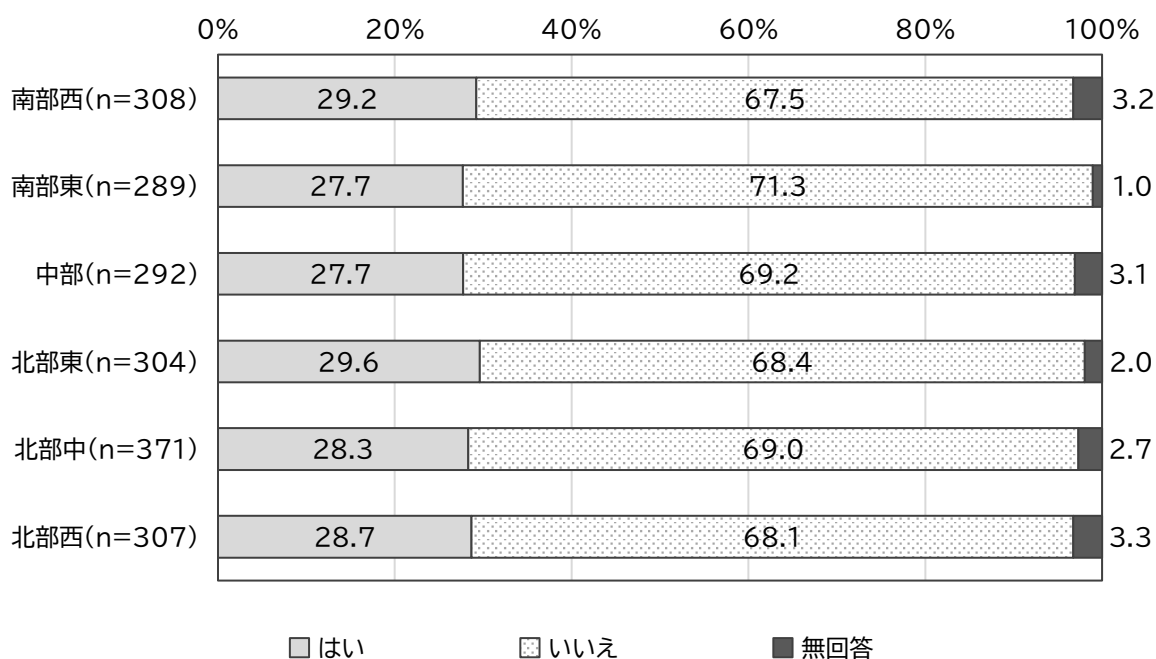
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で44.7%と最も高くなっています。

図表 2-7-41 ここ2週間は疲れた感じがする 年齢別



圏域別でみると、大きな差は見られません。

図表 2-7-42 ここ2週間は疲れた感じがする 圏域別



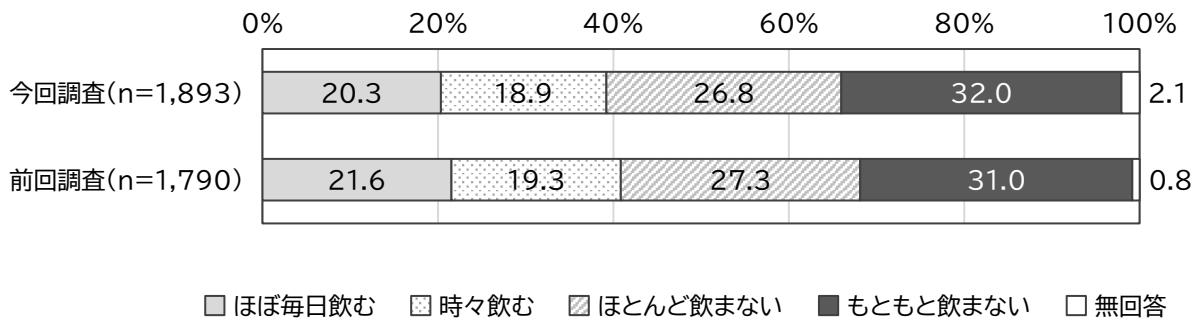
(12) 飲酒の状況

問9 (11) お酒は飲みますか。(○は1つ)

飲酒の状況については、「もともと飲まない」が32.0%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」が26.8%、「ほぼ毎日飲む」が20.3%となっています。

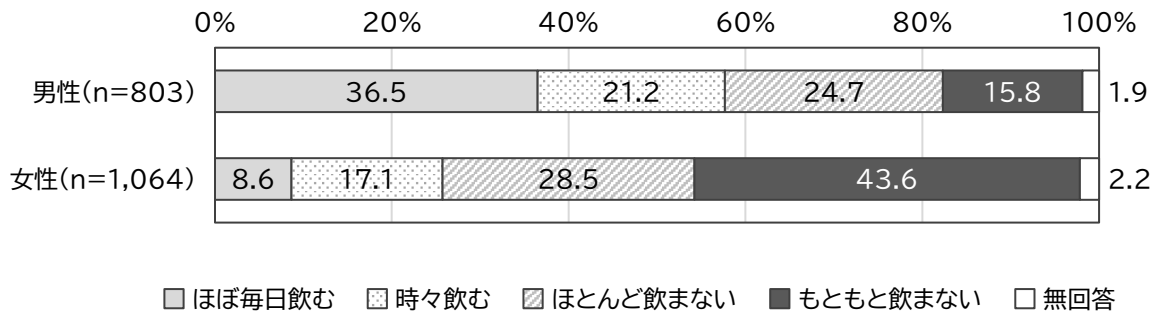
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-7-43 飲酒の状況



性別でみると、『飲む』（「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」の合計）では、男性が57.7%で、女性（25.7%）より32.0ポイント高くなっています。

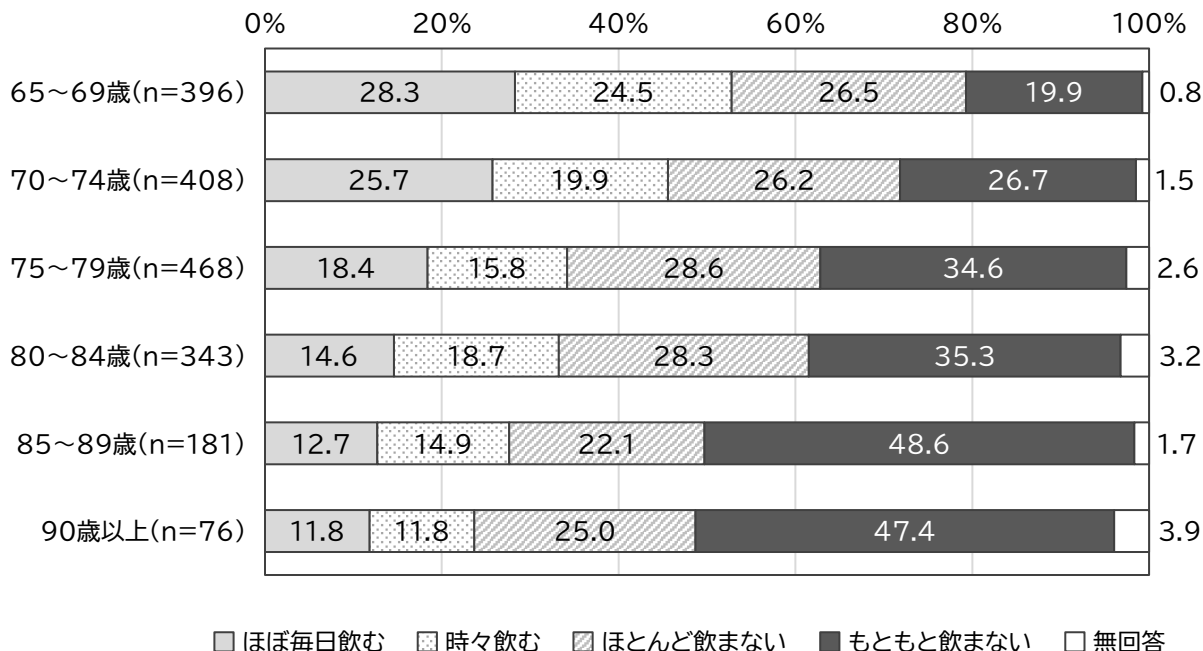
図表 2-7-44 飲酒の状況 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

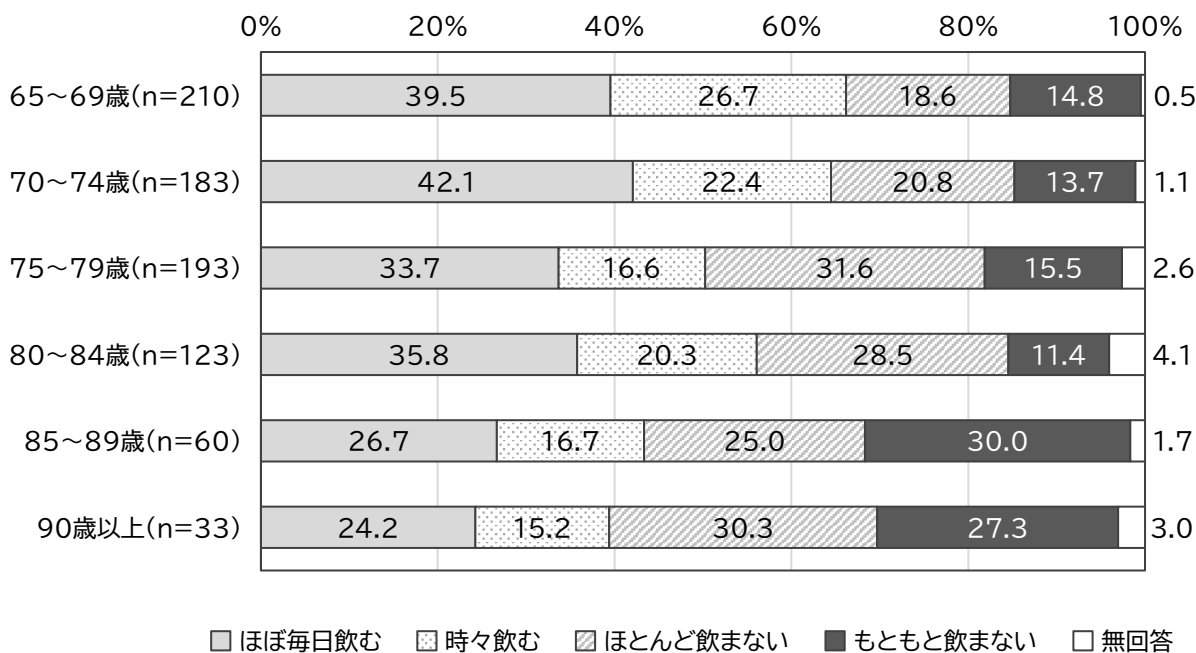
年齢別でみると、『飲む』では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳で52.8%と最も高くなっています。

図表 2-7-45 飲酒の状況 年齢別



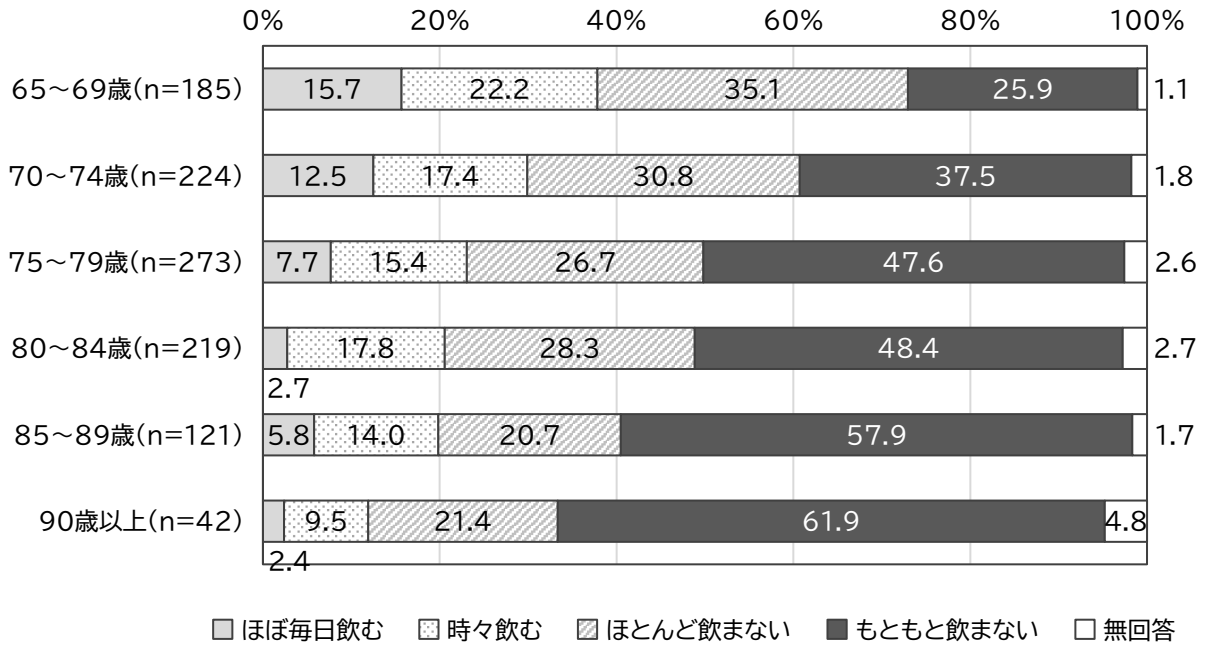
男性の年齢別でみると、『飲む』では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳で66.2%と最も高くなっています。

図表 2-7-46 飲酒の状況 性別（男性）・年齢別



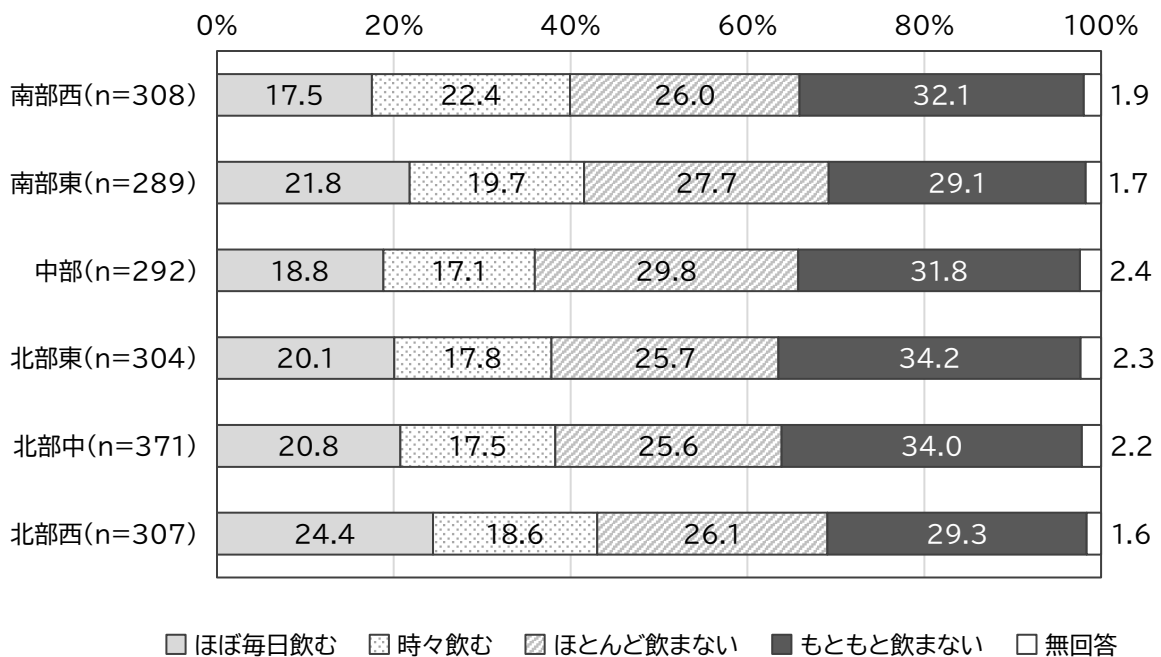
女性の年齢別で見ると、『飲む』では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳で37.9%と最も高くなっています。

図表 2-7-47 飲酒の状況 性別（女性）・年齢別



圏域別で見ると、『飲む』では、北部西地区で43.0%と最も高くなっています。

図表 2-7-48 飲酒の状況 圏域別



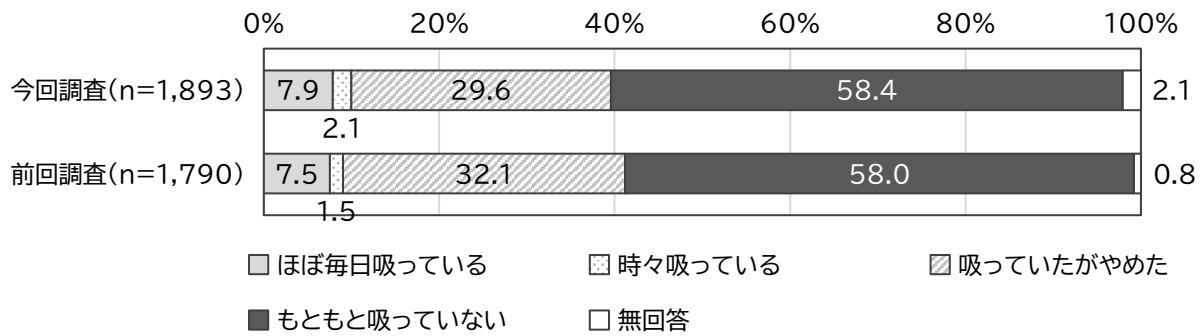
(13) 喫煙状況

問9 (12) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

タバコを吸っているかについては、「もともと吸っていない」が58.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.6%、「ほぼ毎日吸っている」が7.9%となっています。

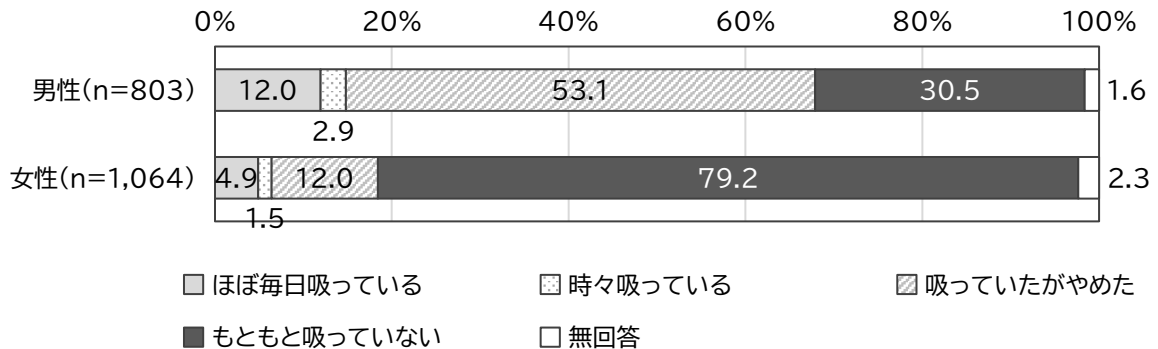
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-7-49 喫煙状況



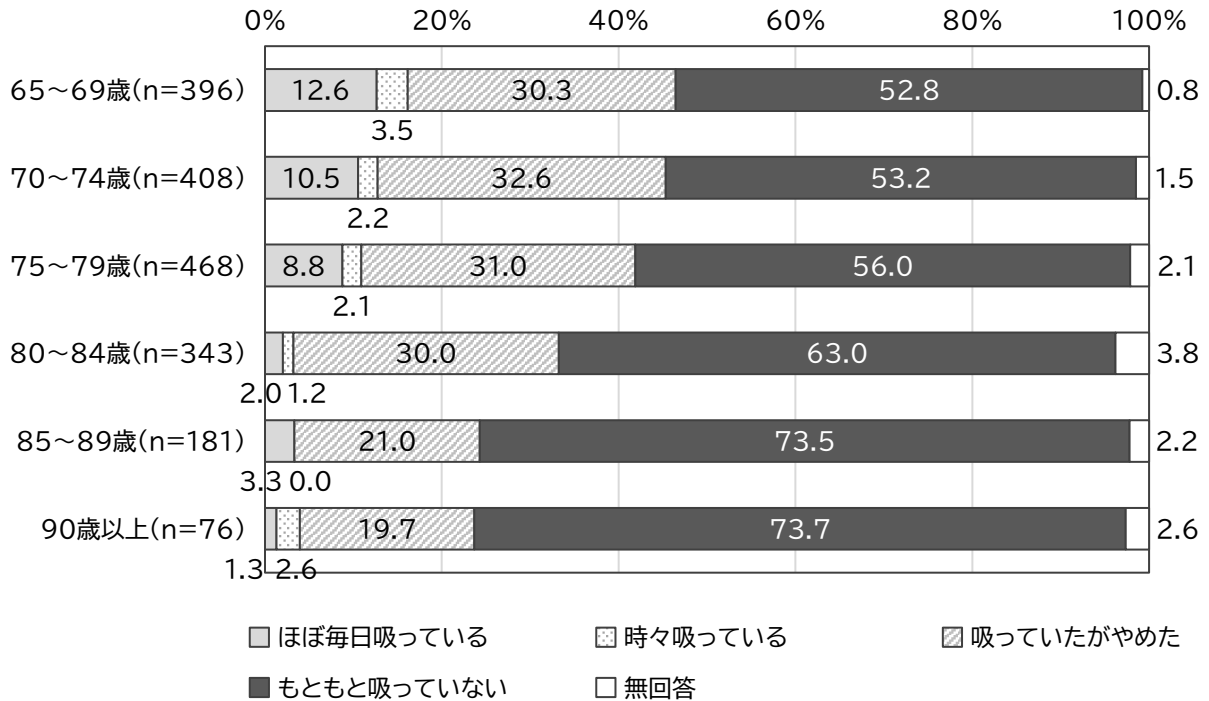
性別でみると、『吸う』（「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」の合計）では、男性が14.9%で、女性（6.4%）より8.5ポイント高くなっています。

図表 2-7-50 喫煙状況 性別



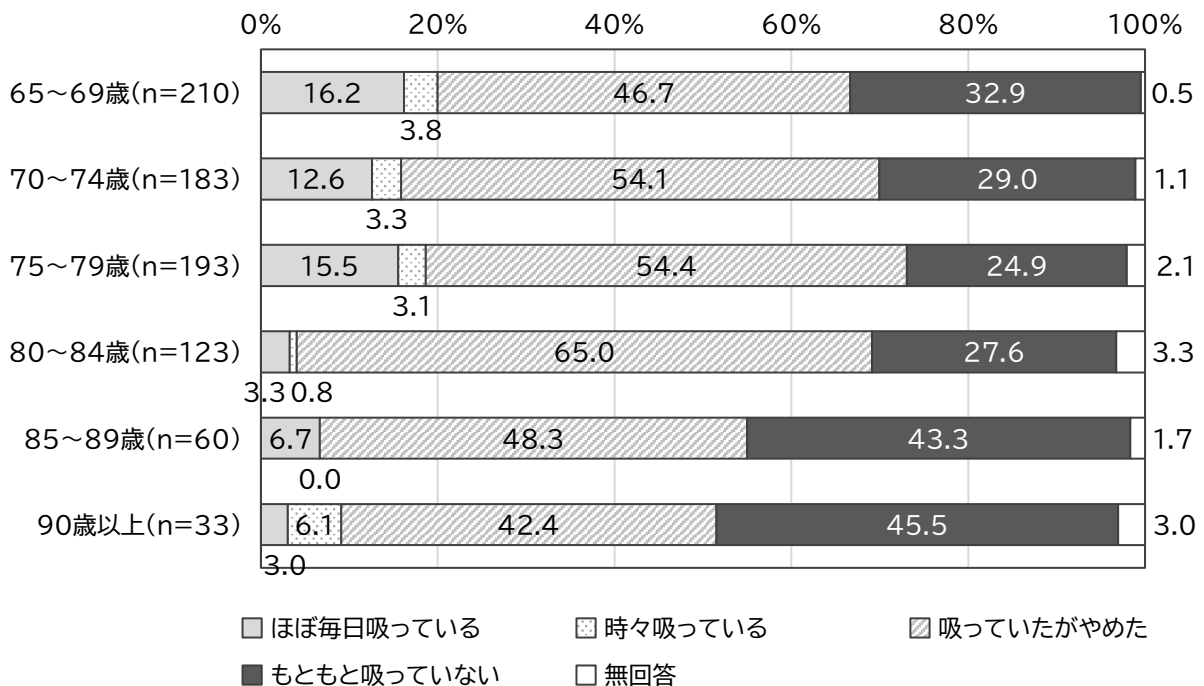
年齢別でみると、『吸う』では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳で16.1%と最も高くなっています。

図表 2-7-51 喫煙状況 年齢別



男性の年齢別でみると、『吸う』では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳で20.0%と最も高くなっています。

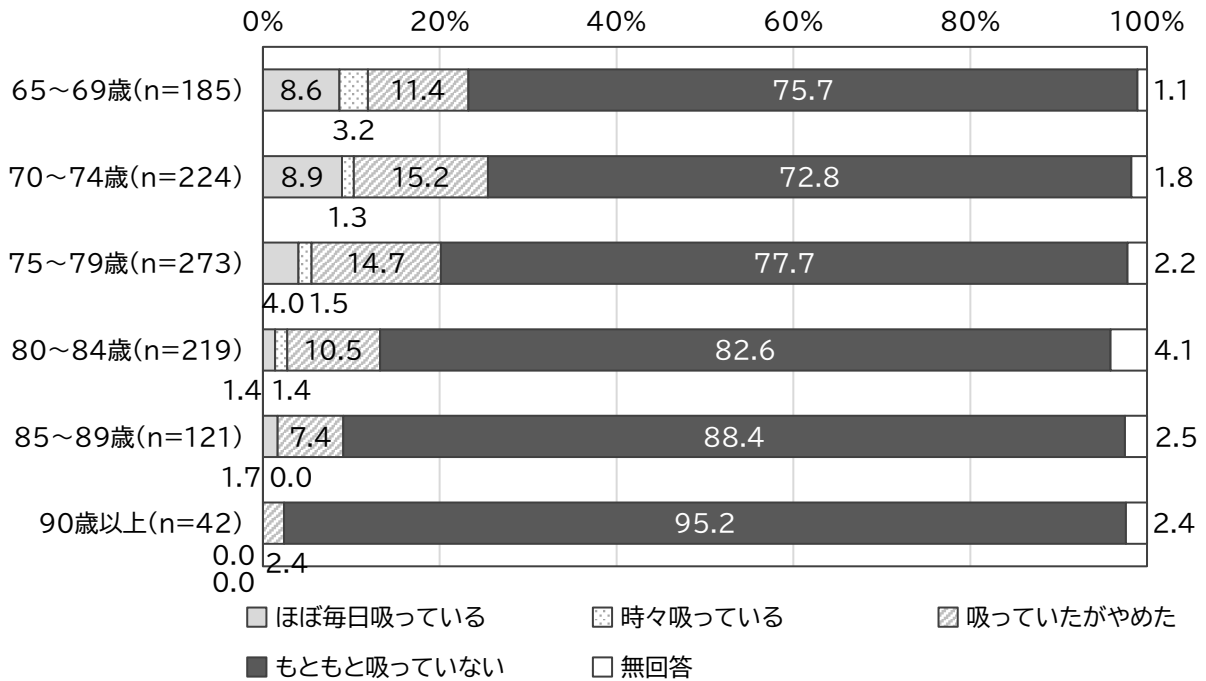
図表 2-7-52 喫煙状況 性別（男性）・年齢別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

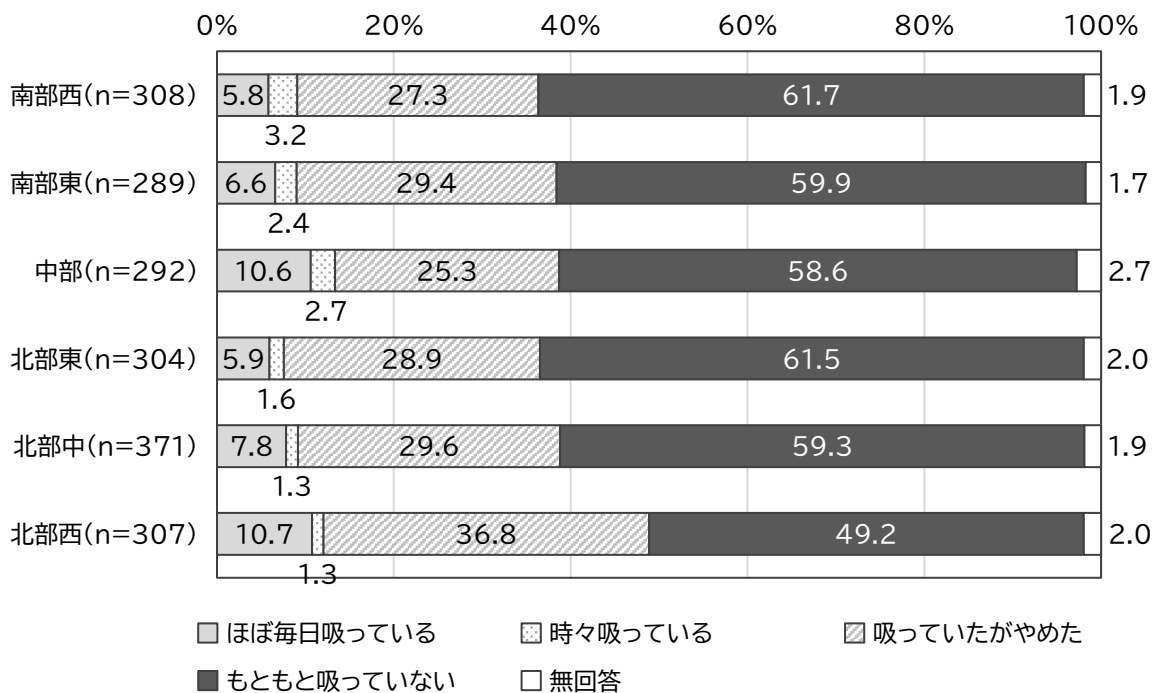
女性の年齢別で見ると、『吸う』では、年齢が上がるにつれて割合が減少し、65～69歳で11.8%と最も高くなっています。

図表 2-7-53 喫煙状況 性別（女性）・年齢別



圏域別で見ると、『吸う』では、中部地区では13.3%と最も高くなっています。

図表 2-7-54 喫煙状況 圏域別



(14) 治療中の病気

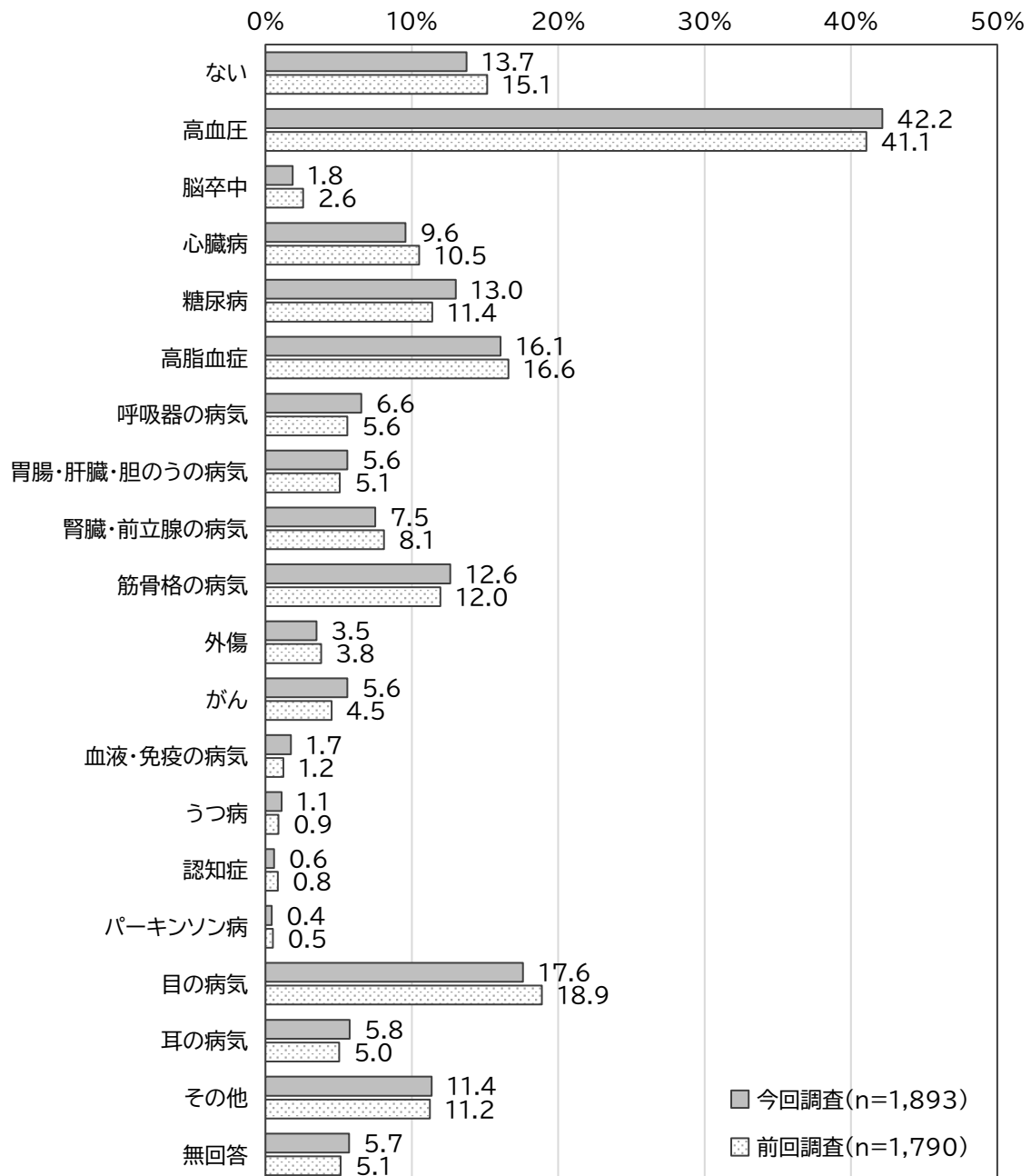
問9 (13) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気の状況では、「高血圧」が42.2%と最も高く、次いで「目の病気」が17.6%、「高脂血症」が16.1%となっています。

その他の内容では、「腰痛（腰部脊柱管狭窄症）」、「リウマチ」、「甲状腺の病気」、「歯」、「逆流性食道炎」などがありました。

前回調査と比較すると、増減が大きい項目では、「糖尿病」(13.0%)が前回調査(11.4%)より1.6ポイント増加し、「ない」(13.7%)が前回調査(15.1%)より1.4ポイント減少しています。

図表 2-7-55 治療中の病気



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別でみると、いずれも「高血圧」が最も高くなっています。

年齢別でみると、「高血圧」では85～89歳で53.6%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「高血圧」では北部西地区で50.2%と最も高くなっています。

図表 2-7-56 治療中の病気 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	ない	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	高脂血症	呼吸器の病気	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気
全体		1,893	13.7	42.2	1.8	9.6	13.0	16.1	6.6	5.6	7.5	12.6
性別	男性	803	12.5	46.8	1.6	12.5	18.1	12.1	7.2	5.9	14.8	4.2
	女性	1,064	14.8	39.2	1.9	7.4	9.1	19.3	6.0	5.3	2.0	19.0
年齢別	65～69歳	396	19.7	36.4	2.0	4.3	10.9	17.9	5.1	5.1	5.6	7.3
	70～74歳	408	15.4	40.9	1.5	8.8	13.2	19.4	5.1	5.6	5.6	11.3
	75～79歳	468	14.1	41.2	1.3	9.6	14.1	16.2	7.1	5.3	8.1	12.2
	80～84歳	343	9.6	45.8	2.0	14.0	14.9	14.9	7.0	5.8	9.0	15.2
	85～89歳	181	9.4	53.6	1.7	12.2	12.2	9.4	9.4	6.6	9.4	22.7
	90歳以上	76	1.3	46.1	3.9	15.8	7.9	11.8	10.5	5.3	13.2	15.8
日常生活圏域別	南部西	308	16.9	39.9	3.2	10.1	12.0	14.6	7.1	3.9	5.5	13.3
	南部東	289	13.5	38.8	1.0	7.3	12.8	20.1	4.5	5.5	4.8	13.1
	中部	292	11.3	40.8	1.4	11.3	13.0	18.2	4.8	8.9	7.5	12.3
	北部東	304	13.8	39.8	2.6	9.9	9.9	11.8	8.9	5.6	11.8	12.8
	北部中	371	14.8	44.2	1.6	9.7	12.9	16.4	7.0	5.4	8.1	11.6
	北部西	307	12.1	50.2	1.0	9.1	16.9	16.0	6.5	4.2	6.5	12.4

		合計	外傷	がん	血液・免疫の病気	うつ病	認知症	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		1,893	3.5	5.6	1.7	1.1	0.6	0.4	17.6	5.8	11.4	5.7
性別	男性	803	2.2	6.7	1.6	1.1	0.7	0.5	13.8	4.7	10.2	4.4
	女性	1,064	4.5	4.9	1.8	1.1	0.5	0.4	20.3	6.7	12.3	6.4
年齢別	65～69歳	396	2.8	4.8	2.3	1.3	0.0	0.0	13.6	2.0	11.6	4.3
	70～74歳	408	1.5	6.9	1.0	1.7	0.0	1.0	15.0	3.7	13.7	4.4
	75～79歳	468	2.1	6.2	1.5	0.9	0.4	0.4	18.8	6.0	10.7	6.0
	80～84歳	343	5.0	5.8	2.3	0.3	1.7	0.6	21.3	6.1	11.4	7.3
	85～89歳	181	9.9	4.4	1.7	1.7	0.6	0.0	20.4	10.5	9.9	5.0
	90歳以上	76	5.3	2.6	1.3	1.3	2.6	0.0	22.4	23.7	5.3	9.2
日常生活圏域別	南部西	308	4.2	4.2	1.6	1.3	0.6	0.0	21.4	5.5	12.0	5.8
	南部東	289	4.2	4.5	1.7	0.7	0.3	1.0	18.3	4.5	13.5	6.2
	中部	292	3.8	6.5	1.0	1.0	0.7	0.3	17.1	5.1	11.6	4.8
	北部東	304	3.3	6.3	2.0	1.3	0.7	0.7	16.8	6.6	11.5	7.2
	北部中	371	3.2	4.0	0.8	1.3	0.8	0.5	18.6	6.5	8.4	5.1
	北部西	307	2.6	8.8	2.9	1.0	0.3	0.0	13.0	6.2	12.4	4.2

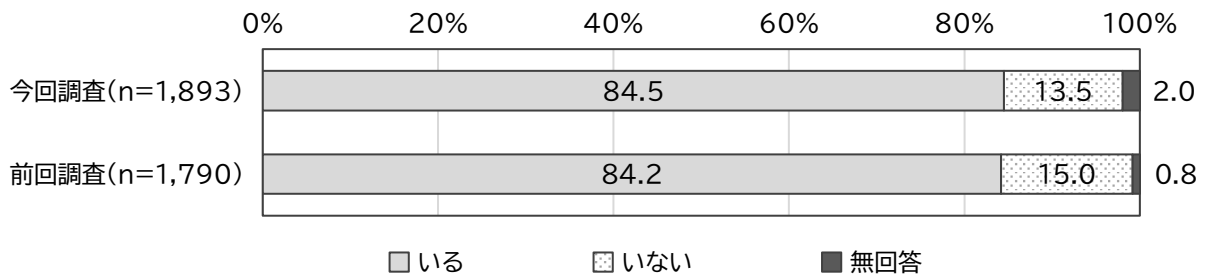
8. かかりつけ医などについて

(1) かかりつけ医の有無

問 10 (1) 普段から治療を受けたり、日常の健康について相談できる「かかりつけ医」がいますか。
(○は1つ)

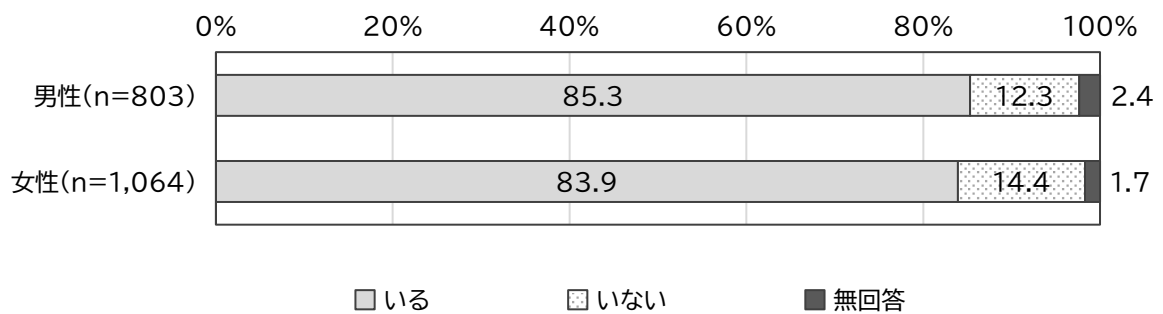
かかりつけ医の有無については、「いる」が84.5%、「いない」が13.5%となっています。
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-8-1 かかりつけ医の有無



性別でみると、「いる」では、男性が85.3%で、女性(83.9%)より1.4ポイント高くなっています。

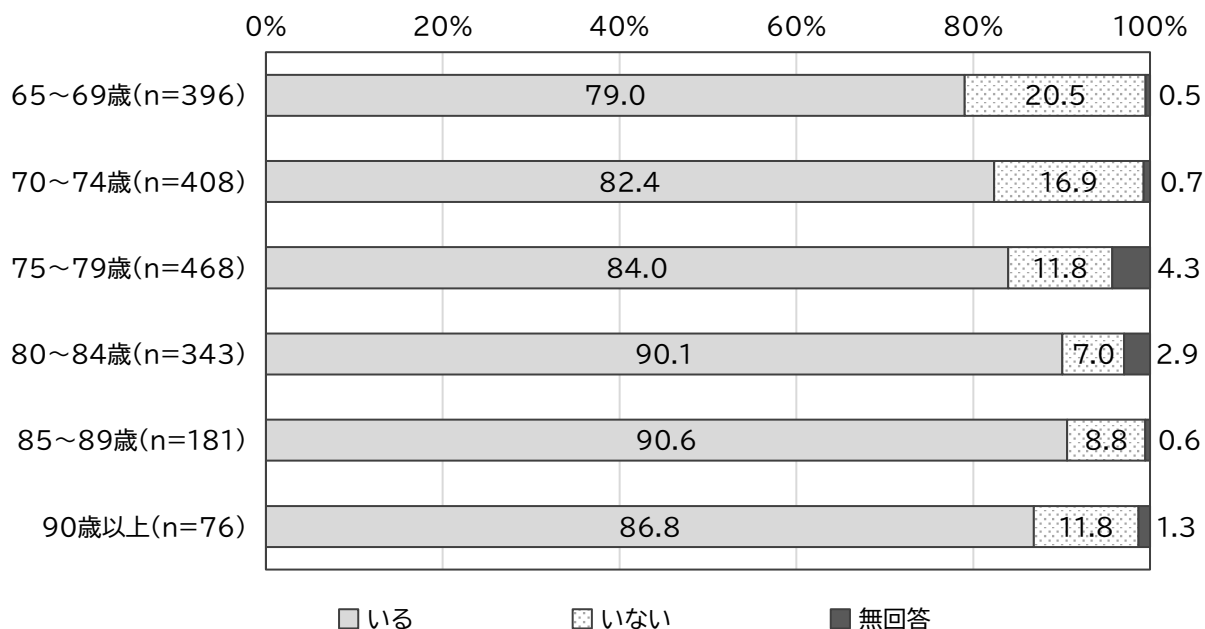
図表 2-8-2 かかりつけ医の有無 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

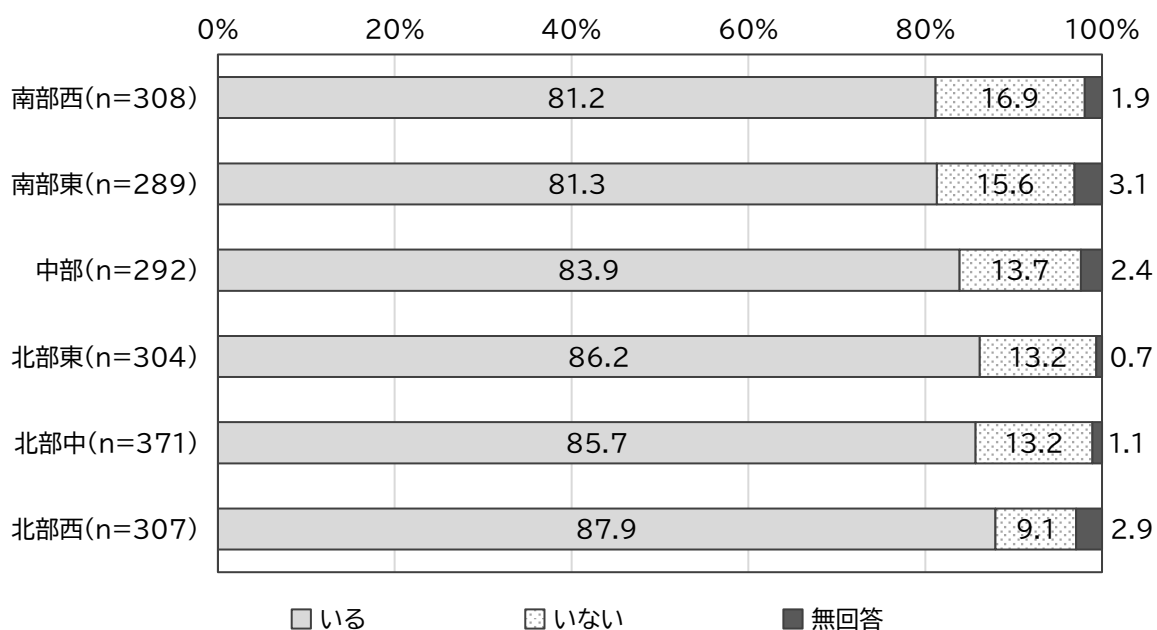
年齢別でみると、「いる」では、89歳以下で年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85～89歳が90.6%と最も高くなっています。

図表 2-8-3 かかりつけ医の有無 年齢別



圏域別でみると、「いる」では、北部西地区で87.9%と最も高くなっています。

図表 2-8-4 かかりつけ医の有無 圏域別



(2) かかりつけ医の医療機関

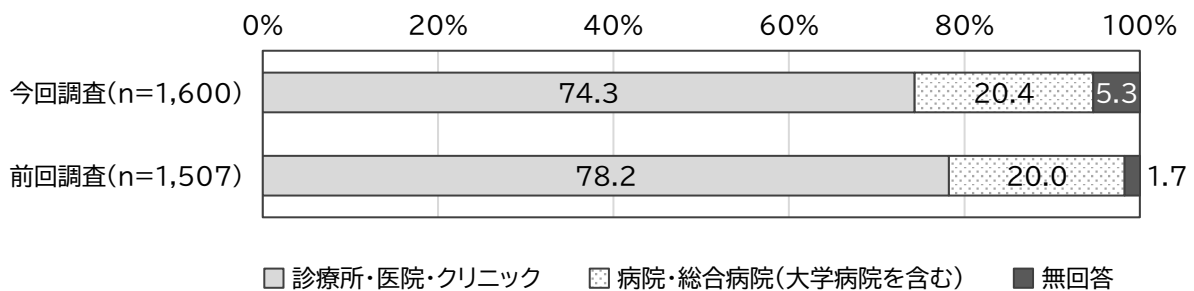
【問10-(1)で「1. いる」とお答えになった方におたずねします。】

①かかりつけ医の医療機関は次のうちのどれですか。(○は1つ)

かかりつけ医の医療機関については、「診療所・医院・クリニック」が74.3%、「病院・総合病院(大学病院を含む)」が20.4%となっています。

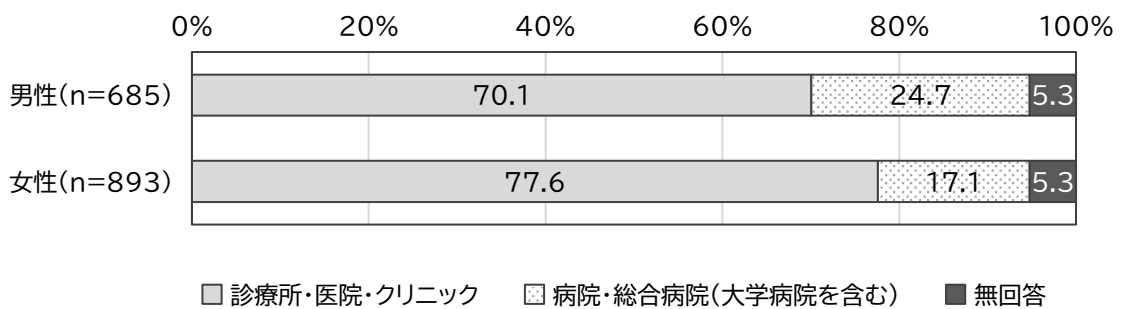
前回調査と比較すると、「診療所・医院・クリニック」(74.3%)が前回調査(78.2%)より3.9ポイント低くなっています。

図表 2-8-5 かかりつけ医の医療機関



性別でみると、「診療所・医院・クリニック」では、女性が77.6%で、男性(70.1%)より7.5ポイント高くなっています。

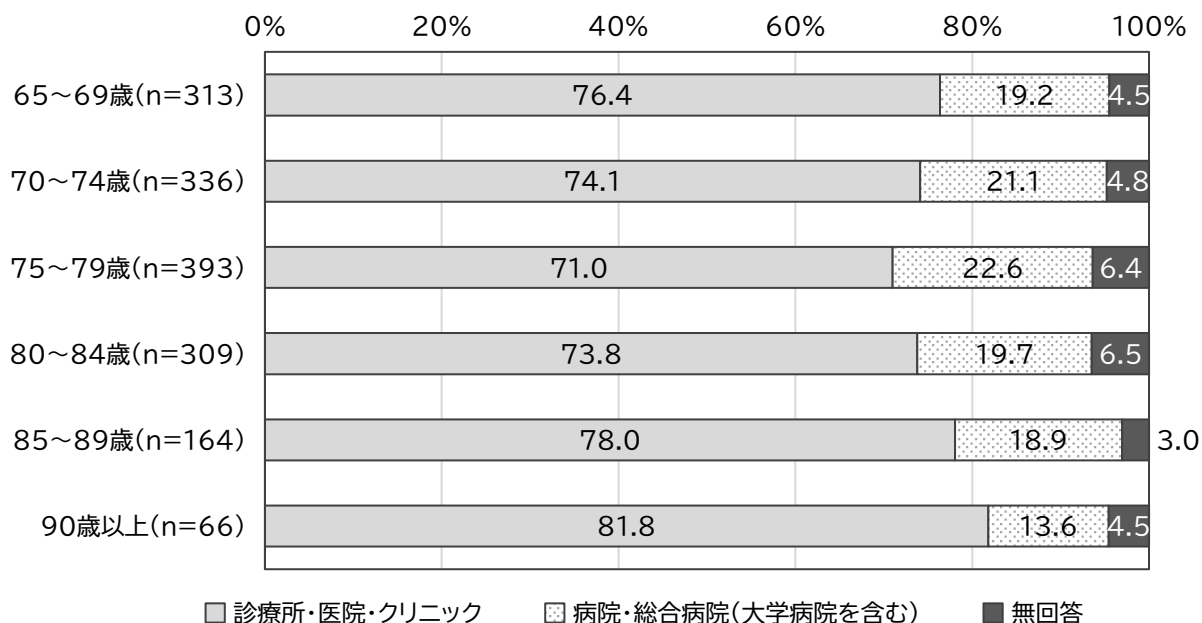
図表 2-8-6 かかりつけ医の医療機関 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

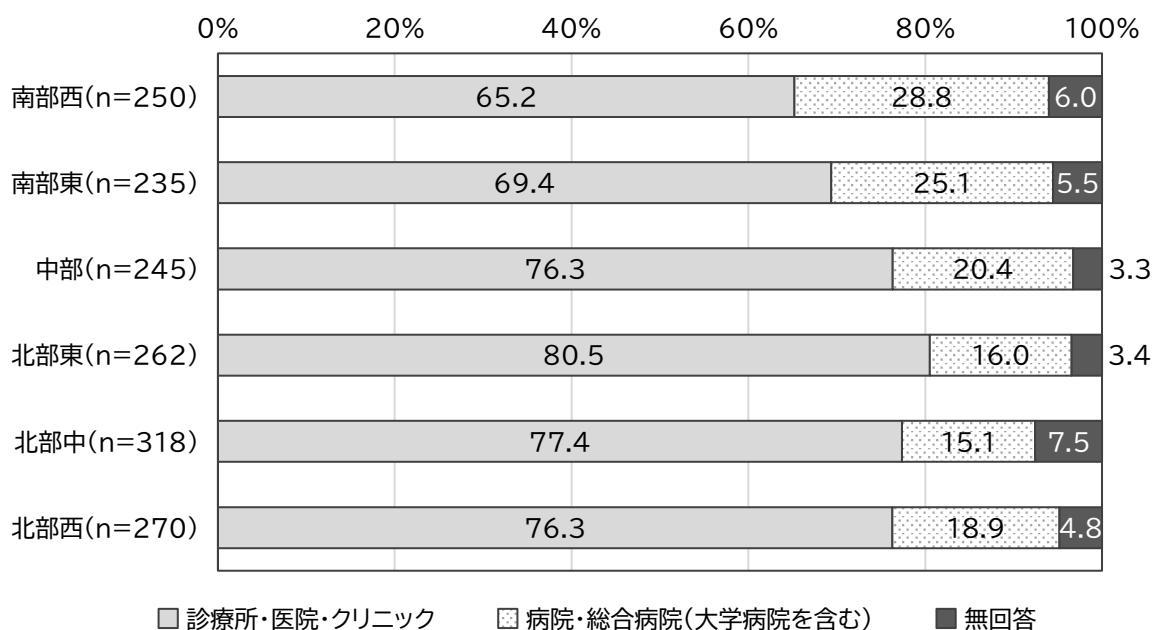
年齢別でみると、「診療所・医院・クリニック」では、90歳以上で81.8%と最も高くなっています。

図表 2-8-7 かかりつけ医の医療機関 年齢別



圏域別でみると、「診療所・医院・クリニック」では、北部東地区で80.5%と最も高く、「病院・総合病院（大学病院を含む）」では、南部西地区で28.8%と最も高くなっています。

図表 2-8-8 かかりつけ医の医療機関 圏域別



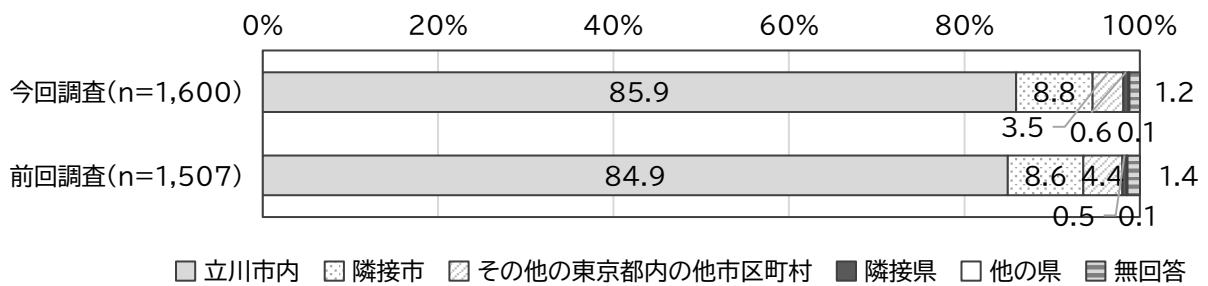
(3) かかりつけ医の所在地

【問10-(1)で「1. いる」とお答えになった方におたずねします。】
 ②その所在地は、どちらですか。(〇は1つ)

かかりつけ医の所在地については、「立川市内」が85.9%と最も高く、次いで「隣接市（国立市、国分寺市、小平市、東大和市、武蔵村山市、昭島市、日野市）」が8.8%、「その他の東京都内の他市区町村（隣接市は除く）」が3.5%となっています。

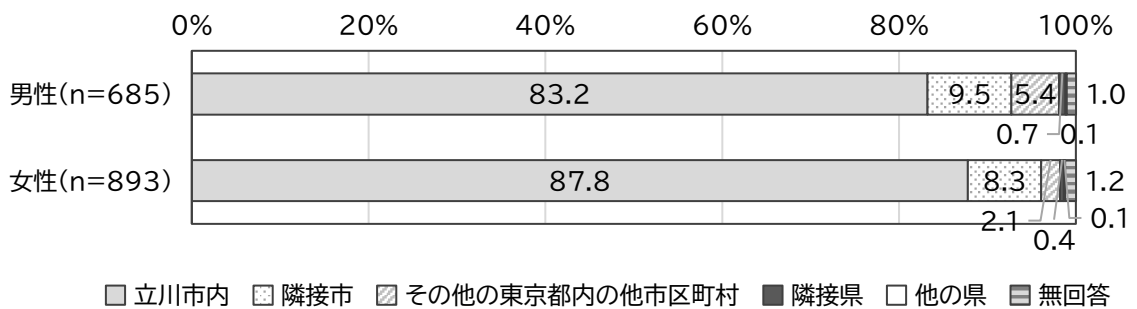
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-8-9 かかりつけ医の所在地



性別でみると、「立川市内」では、女性が87.8%で、男性（83.2%）より4.6ポイント高くなっています。

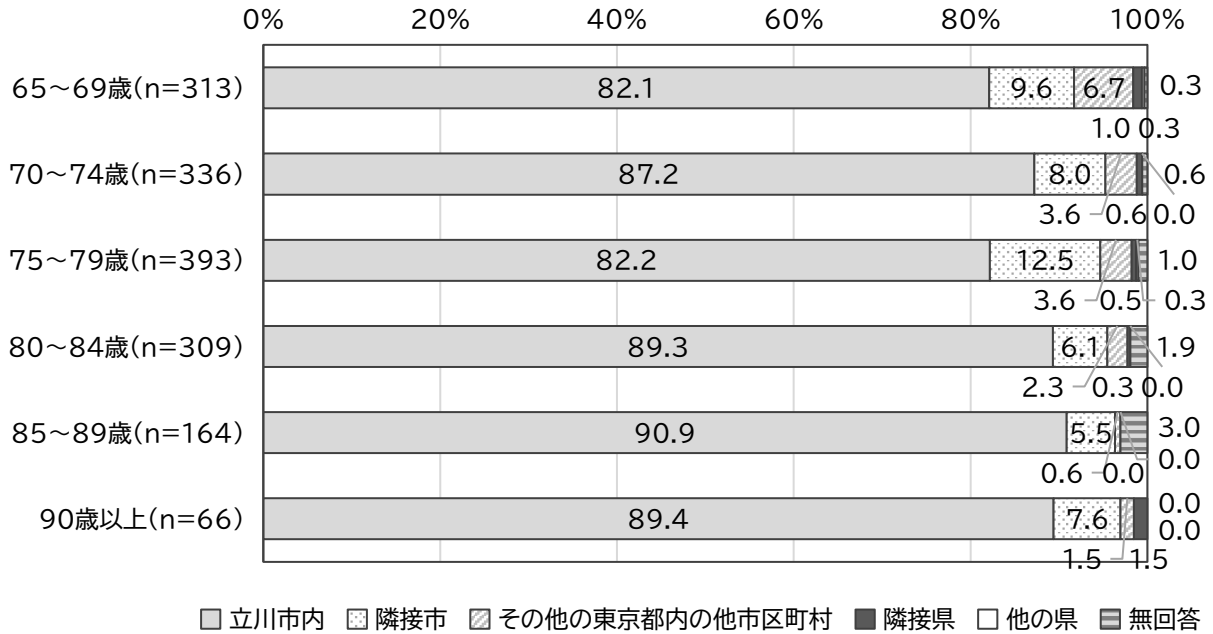
図表 2-8-10 かかりつけ医の所在地 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

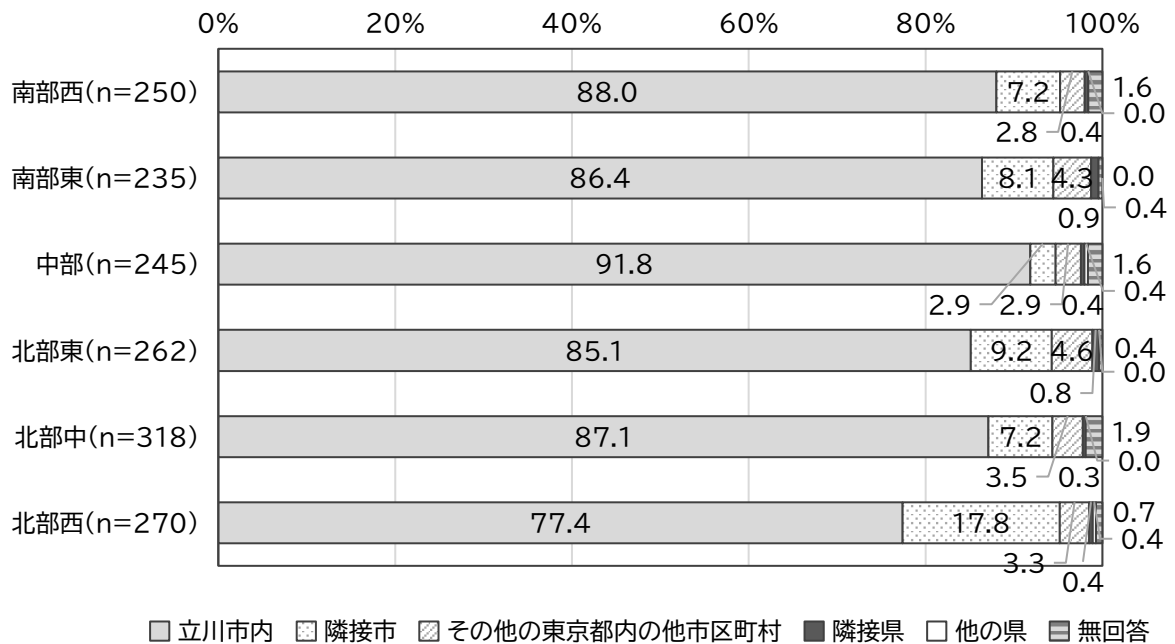
年齢別でみると、「立川市内」では、85～89歳が90.9%と最も高くなっています。

図表 2-8-11 かかりつけ医の所在地 年齢別



圏域別でみると、「立川市内」では、中部が91.8%と最も高くなっています。

図表 2-8-12 かかりつけ医の所在地 圏域別



(4) かかりつけ医がない理由

【問10-(1)で「2. いない」とお答えになった方におたずねします。】

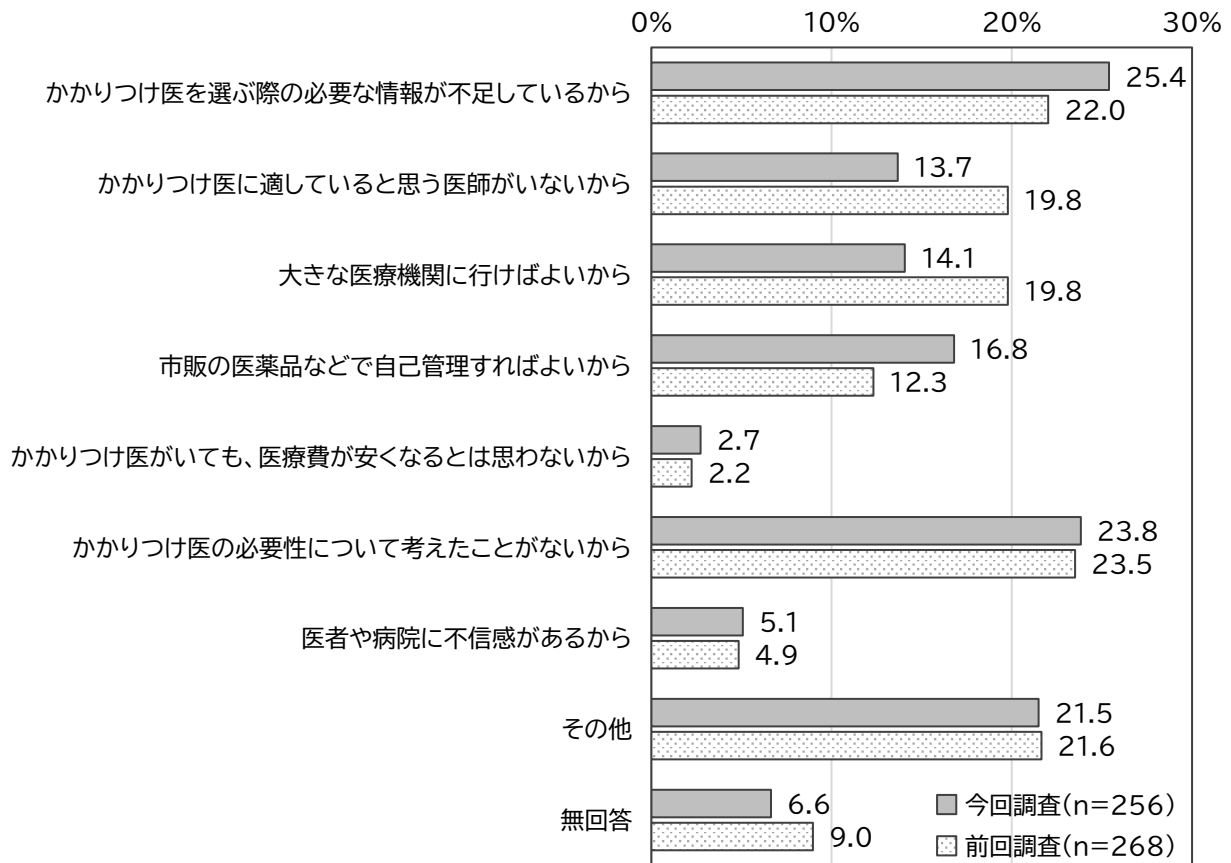
③「かかりつけ医」がない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

かかりつけ医がない理由では、「かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから」が25.4%と最も高く、次いで「かかりつけ医の必要性について考えたことがないから」が23.8%、「その他」が21.5%となっています。

その他の内容では、「通院中」が高くなっています。

前回調査と比較すると、「かかりつけ医に適していると思う医師がないから」(13.7%)が、前回調査(19.8%)より6.1ポイント減少しています。

図表 2-8-13 かかりつけ医がない理由



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別でみると、「かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから」では、女性が32.7%で、男性(15.2%)より17.5ポイント高くなっています。一方、「かかりつけ医の必要性について考えたことがないから」では、男性が32.3%で、女性(18.3%)より14.0ポイント高くなっています。

年齢別でみると、79歳以下では「かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから」が最も高く、80～84歳では「かかりつけ医の必要性について考えたことがない」と「その他」が最も高くなっています。

圏域別でみると、南部東地区と北部中地区では「かかりつけ医の必要性について考えたことがない」が最も高くなっています。

図表 2-8-14 かかりつけ医がない理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

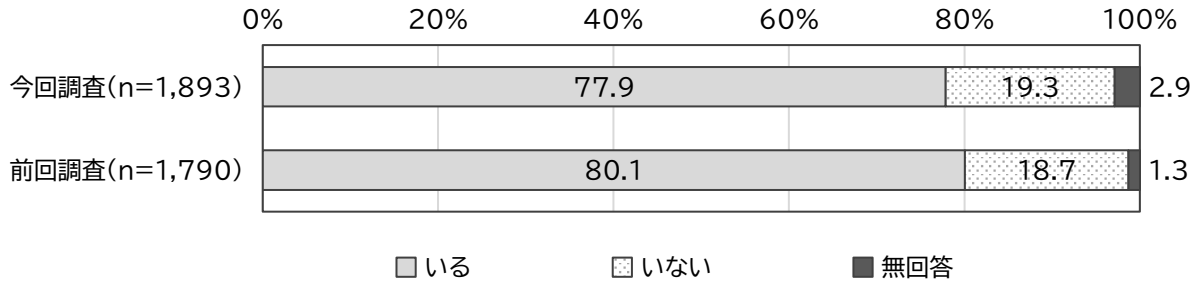
		合計	かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから	かかりつけ医に適していると思う医師がいないから	大きな医療機関に行けばよいから	市販の医薬品などで自己管理すればよいから	かかりつけ医がいても、医療費が安くなるとは思わないから	かかりつけ医の必要性について考えたことがないから	医者や病院に不信感があるから	その他	無回答
全体		256	25.4	13.7	14.1	16.8	2.7	23.8	5.1	21.5	6.6
性別	男性	99	15.2	9.1	20.2	21.2	5.1	32.3	6.1	21.2	5.1
	女性	153	32.7	17.0	9.8	14.4	1.3	18.3	3.9	21.6	7.8
年齢別	65～69歳	81	27.2	13.6	12.3	22.2	4.9	24.7	4.9	23.5	4.9
	70～74歳	69	31.9	10.1	18.8	15.9	1.4	27.5	2.9	18.8	1.4
	75～79歳	55	25.5	16.4	9.1	20.0	1.8	20.0	1.8	21.8	1.8
	80～84歳	24	25.0	20.8	12.5	4.2	4.2	29.2	8.3	29.2	16.7
	85～89歳	16	6.3	6.3	12.5	12.5	0.0	12.5	6.3	12.5	37.5
	90歳以上	9	0.0	22.2	33.3	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	11.1
日常生活圏域別	南部西	52	34.6	11.5	11.5	19.2	1.9	15.4	3.8	19.2	3.8
	南部東	45	24.4	17.8	20.0	22.2	4.4	24.4	2.2	13.3	8.9
	中部	40	32.5	10.0	15.0	12.5	2.5	27.5	2.5	17.5	10.0
	北部東	40	25.0	7.5	12.5	12.5	2.5	25.0	5.0	30.0	2.5
	北部中	49	16.3	20.4	14.3	18.4	4.1	32.7	6.1	28.6	2.0
	北部西	28	17.9	14.3	10.7	14.3	0.0	14.3	10.7	21.4	17.9

(5) かかりつけ歯科医の有無

問10(2) かかりつけ歯科医はいますか。(○は1つ)

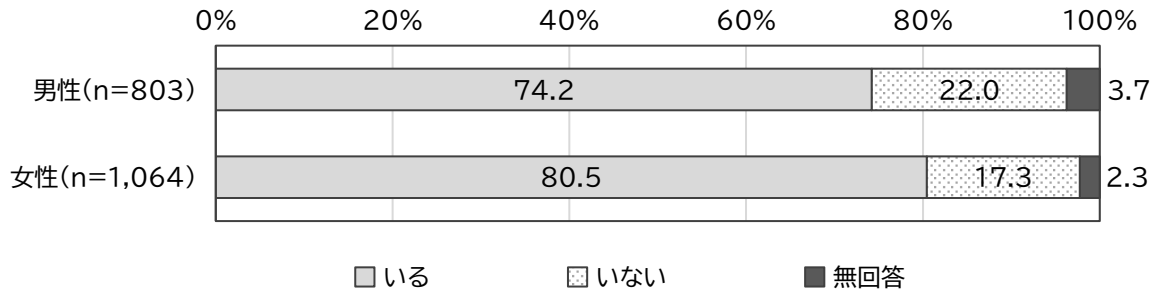
かかりつけ歯科医の有無については、「いる」が77.9%、「いない」が19.3%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-8-15 かかりつけ歯科医の有無



性別でみると、「いる」では、女性が80.5%で、男性(74.2%)より6.3ポイント高くなっています。

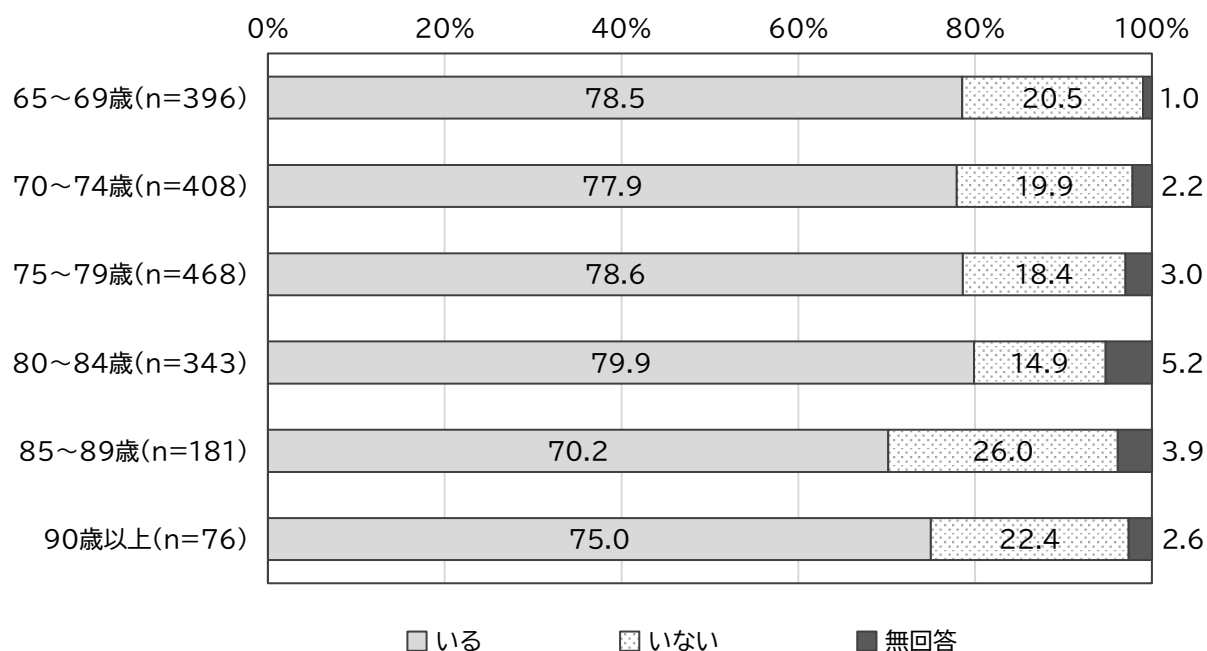
図表 2-8-16 かかりつけ歯科医の有無 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

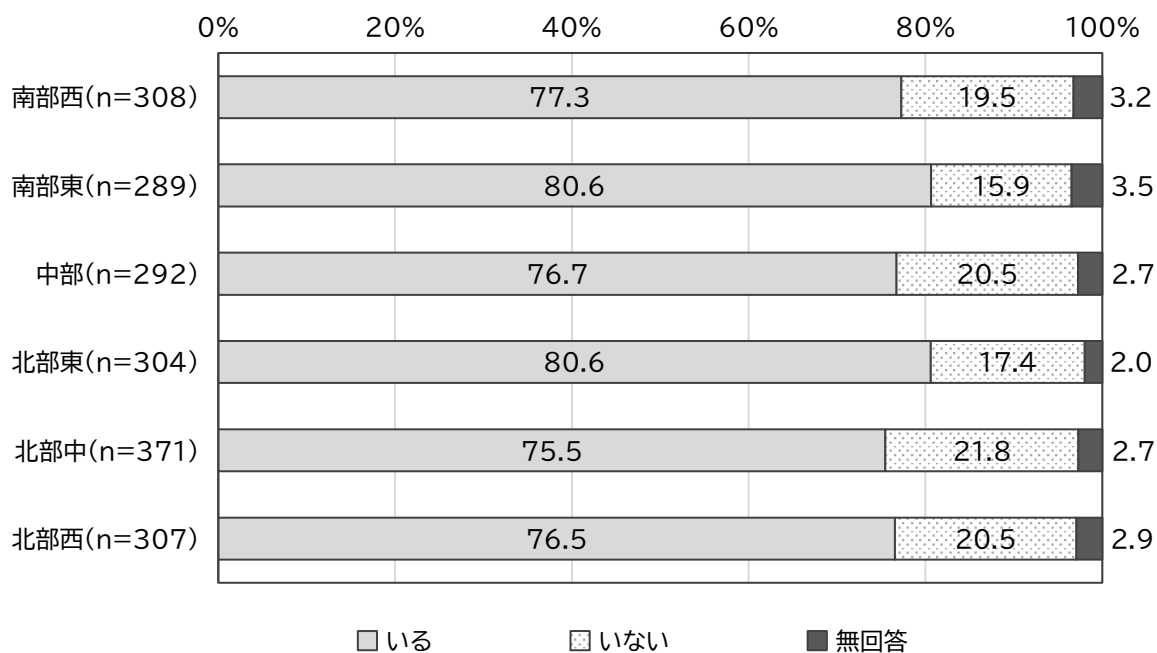
年齢別でみると、「いる」では、80～84歳が79.9%と最も高くなっています。

図表 2-8-17 かかりつけ歯科医の有無 年齢別



圏域別でみると、「いる」では、南部東地区と北部東地区が80.6%と最も高くなっています。

図表 2-8-18 かかりつけ歯科医の有無 圏域別



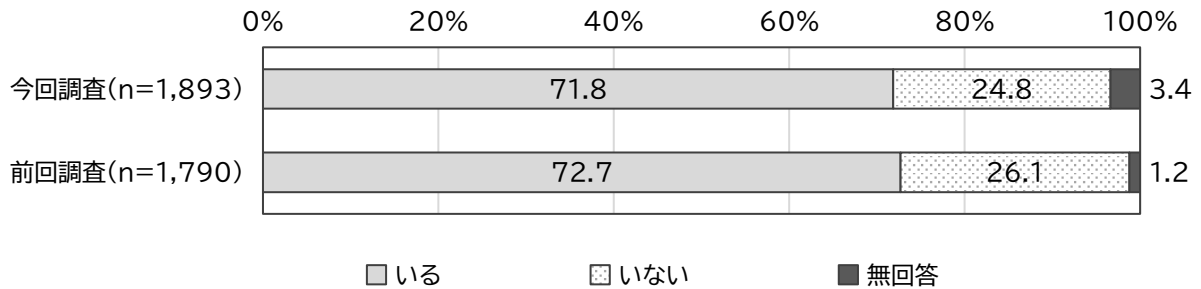
(6) かかりつけ薬剤師・薬局の有無

問10(3) かかりつけ薬剤師・薬局を持っていますか。(○は1つ)

かかりつけ薬剤師・薬局の有無については、「いる」が71.8%、「いない」が24.8%となっています。

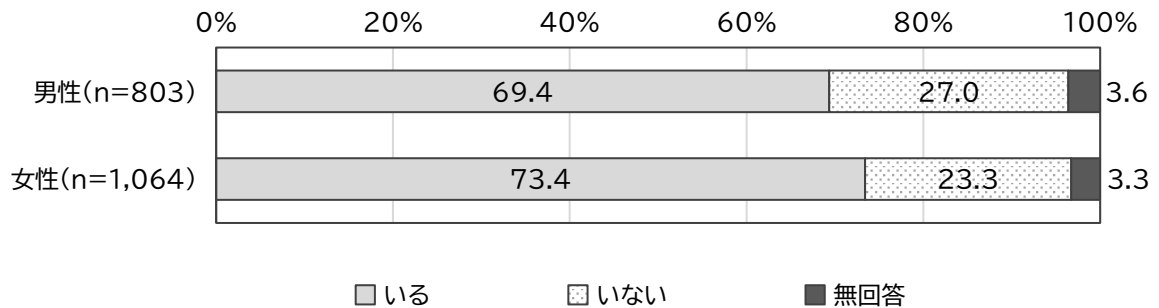
前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-8-19 かかりつけ薬剤師・薬局の有無



性別でみると、「いる」では、女性が73.4%で、男性(69.4%)より4.0ポイント高くなっています。

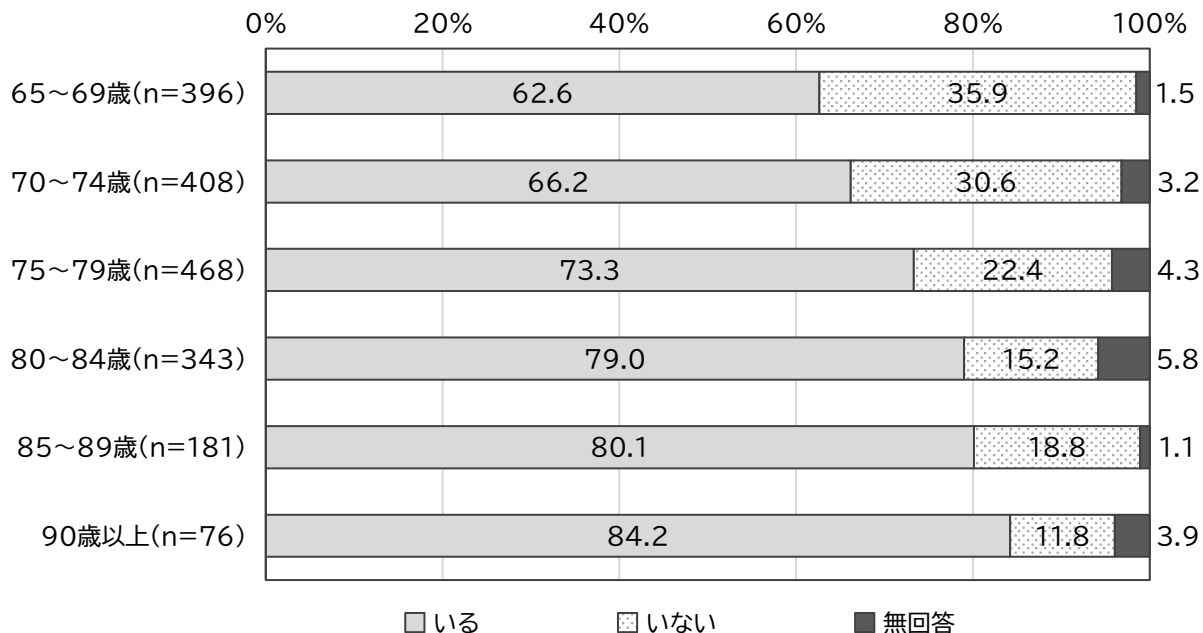
図表 2-8-20 かかりつけ薬剤師・薬局の有無 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

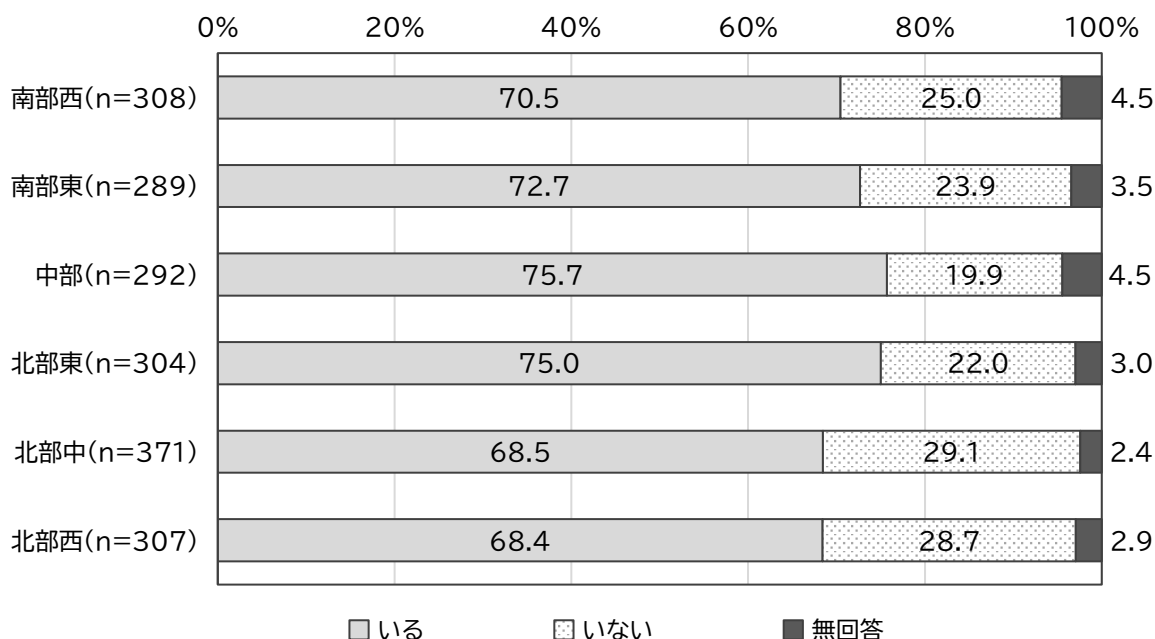
年齢別でみると、「いる」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上が84.2%で最も高くなっています。

図表 2-8-21 かかりつけ薬剤師・薬局の有無 年齢別



圏域別でみると、「いる」では、中部地区で75.7%と最も高くなっています。

図表 2-8-22 かかりつけ薬剤師・薬局の有無 圏域別



9. ご近所づきあいについて

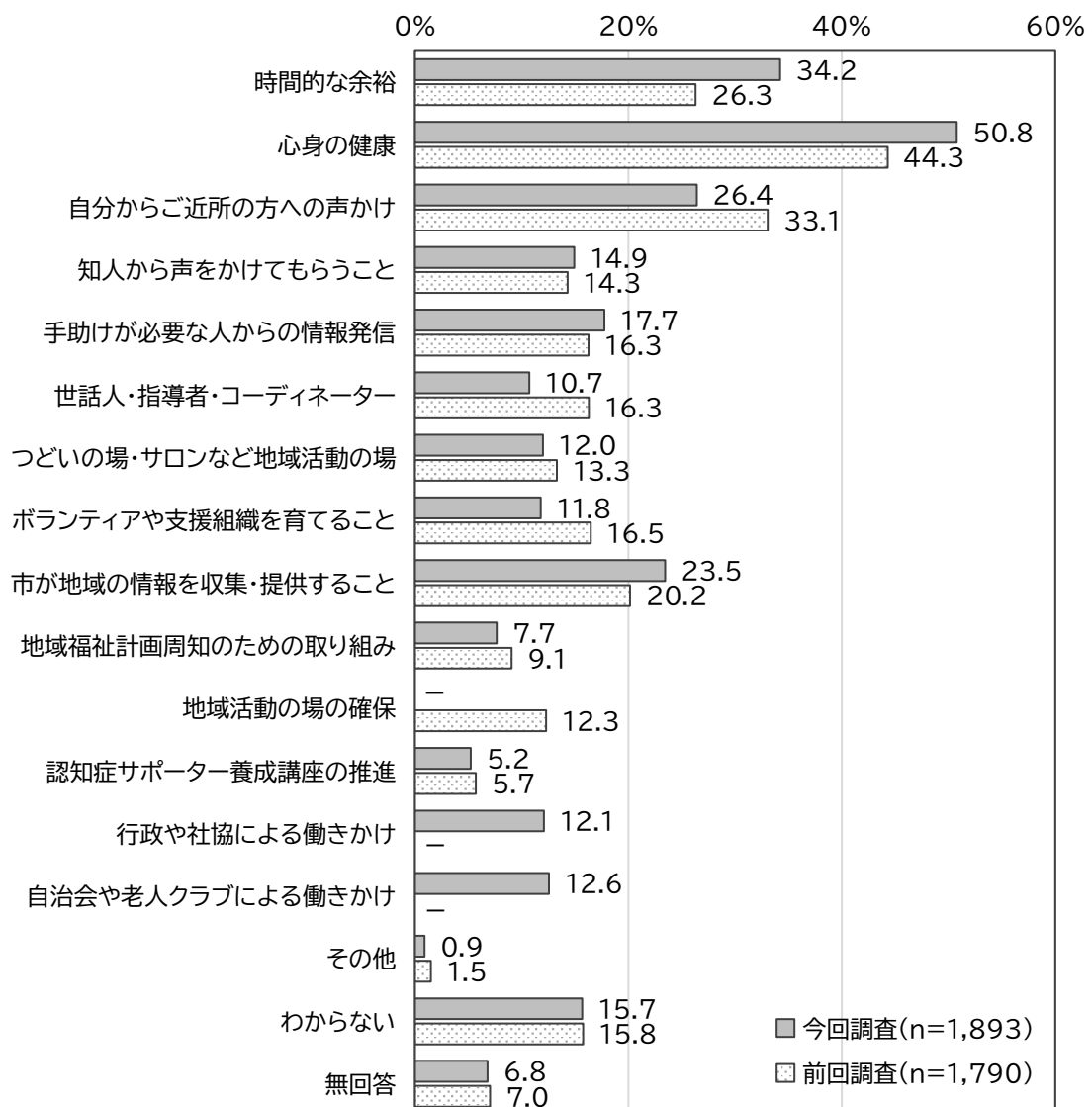
(1) ご近所の見守り活動を広げるために必要なこと

問11(1) ご近所での見守りやお世話など助けあいの活動を広げるために、必要なことは何ですか。
(〇はいくつでも)

ご近所での見守りやお世話など助けあいの活動を広げるために必要なことでは、「心身の健康」が50.8%と最も高く、次いで「時間的な余裕」が34.2%、「自分からご近所の方への声かけ」が26.4%、「市が地域の情報を収集・提供すること」が23.5%となっています。

前回調査と比較すると、「自分からのご近所の方への声かけ」が6.7ポイント、「世話人・指導者・コーディネーター」が5.6ポイント、「ボランティアや支援組織を育てること」が4.7ポイント、それぞれ減少している一方で、「時間的な余裕」が7.9ポイント、「心身の健康」が6.5ポイント増加しています。

図表 2-9-1 ご近所の見守り活動を広げるために必要なこと



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別でみると、いずれも「心身の健康」が最も高くなっています。

年齢別でみると、「心身の健康」では70～74歳で55.4%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「心身の健康」では北部西地区で53.7%と最も高くなっています。

図表 2-9-2 ご近所の見守り活動を広げるために必要なこと 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	時間的な余裕	心身の健康	自分からご近所の方への声かけ	知人から声をかけてもらうこと	手助けが必要な人からの情報発信	世話人・指導者・コーディネーター	地域活動の場	つどいの場・サロンなど	ボランティアや支援組織を育てること
全体		1,893	34.2	50.8	26.4	14.9	17.7	10.7	12.0	11.8	
性別	男性	803	34.5	45.5	21.8	12.3	15.6	10.1	9.3	11.3	
	女性	1,064	34.0	54.9	29.7	16.8	19.3	11.5	14.1	12.0	
年齢別	65～69歳	396	49.7	53.5	24.2	10.1	20.5	15.2	12.9	13.4	
	70～74歳	408	38.0	55.4	25.2	13.5	19.4	11.8	13.0	13.0	
	75～79歳	468	30.8	49.4	25.4	15.8	15.8	9.8	11.5	10.3	
	80～84歳	343	29.2	51.6	29.2	19.2	18.1	9.0	12.8	13.4	
	85～89歳	181	18.8	43.1	29.8	18.8	13.3	7.7	11.6	7.2	
	90歳以上	76	15.8	35.5	28.9	11.8	11.8	5.3	3.9	6.6	
日常生活圏域別	南部西	308	31.8	48.4	24.0	15.9	13.3	6.2	11.0	10.7	
	南部東	289	36.7	53.3	26.0	12.8	20.8	13.1	13.5	12.5	
	中部	292	33.9	48.6	25.3	14.0	20.5	11.6	12.7	13.7	
	北部東	304	34.9	49.7	22.7	17.4	16.8	10.5	11.2	8.9	
	北部中	371	33.7	51.8	31.0	12.4	15.6	12.1	10.8	11.6	
	北部西	307	34.9	53.7	28.3	17.3	19.5	11.4	13.7	13.0	

		合計	市が地域の情報を収集・提供すること	地域福祉計画周知のための取り組み	認知症サポート養成講座の推進	行政や社協による働きかけ	自治会や老人クラブによる働きかけ	その他	わからない	無回答
全体		1,893	23.5	7.7	5.2	12.1	12.6	0.9	15.7	6.8
性別	男性	803	24.4	8.0	3.6	13.4	11.8	1.4	18.8	5.1
	女性	1,064	22.9	7.4	6.4	11.0	13.2	0.5	13.6	7.8
年齢別	65～69歳	396	27.5	7.6	4.0	14.9	10.1	1.3	17.2	2.0
	70～74歳	408	27.2	7.8	3.7	14.5	11.5	1.0	16.2	3.7
	75～79歳	468	22.0	6.8	6.8	9.8	11.8	0.9	16.0	7.9
	80～84歳	343	21.9	9.9	6.7	11.4	15.5	0.6	14.0	9.3
	85～89歳	181	17.7	6.6	4.4	9.9	17.1	0.0	17.1	9.9
	90歳以上	76	13.2	3.9	3.9	5.3	11.8	1.3	10.5	19.7
日常生活圏域別	南部西	308	20.8	7.1	4.5	12.3	13.3	0.6	16.6	6.5
	南部東	289	25.6	6.6	4.5	13.5	15.2	1.4	13.8	8.3
	中部	292	23.3	5.8	4.8	9.2	13.4	0.0	15.1	6.5
	北部東	304	25.7	8.6	5.6	13.8	13.5	0.3	15.5	7.6
	北部中	371	24.8	7.8	5.9	11.9	10.0	0.8	15.1	5.9
	北部西	307	21.2	9.8	5.5	11.4	10.7	2.0	18.6	5.2

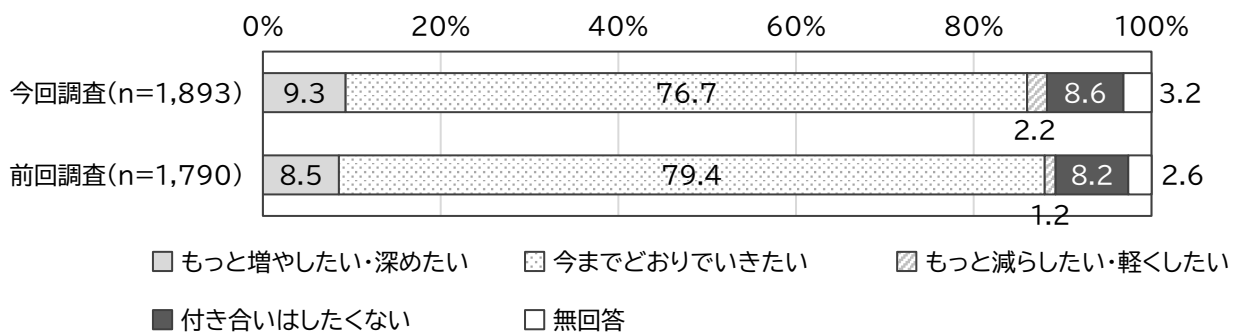
(2) ご近所との今後のお付き合いについて

問11 (2) ご近所の方々と今後の付き合いについて、どのように思いますか。(○は1つ)

ご近所の方々と今後の付き合いについては、「今までどおりでいきたい」が76.7%と最も高く、次いで「もっと増やしたい・深めたい」が9.3%、「付き合いはしたくない」が8.6%となっています。

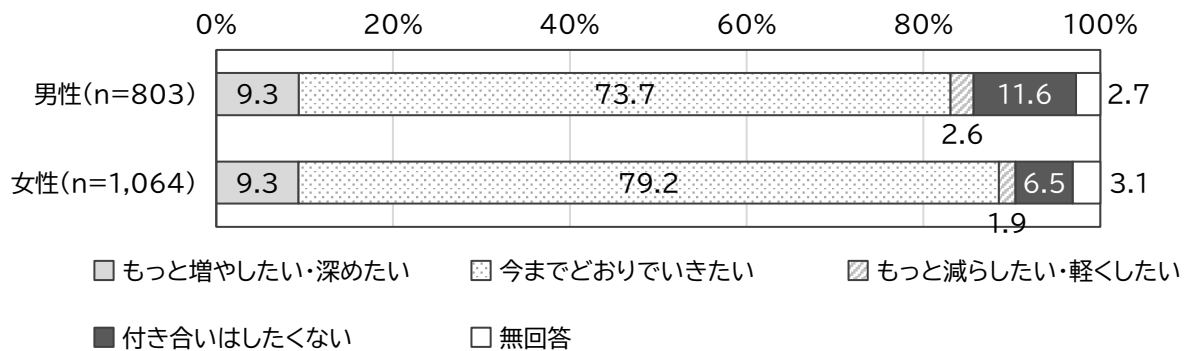
前回調査と比較すると、「今までどおりでいきたい」(76.7%)が前回調査(79.4%)より2.7ポイント減少しています。

図表 2-9-3 ご近所の方との今後の付き合いについて



性別で見ると、「今までどおりでいきたい」では、女性が79.2%で、男性(73.7%)より5.5ポイント高くなっています。

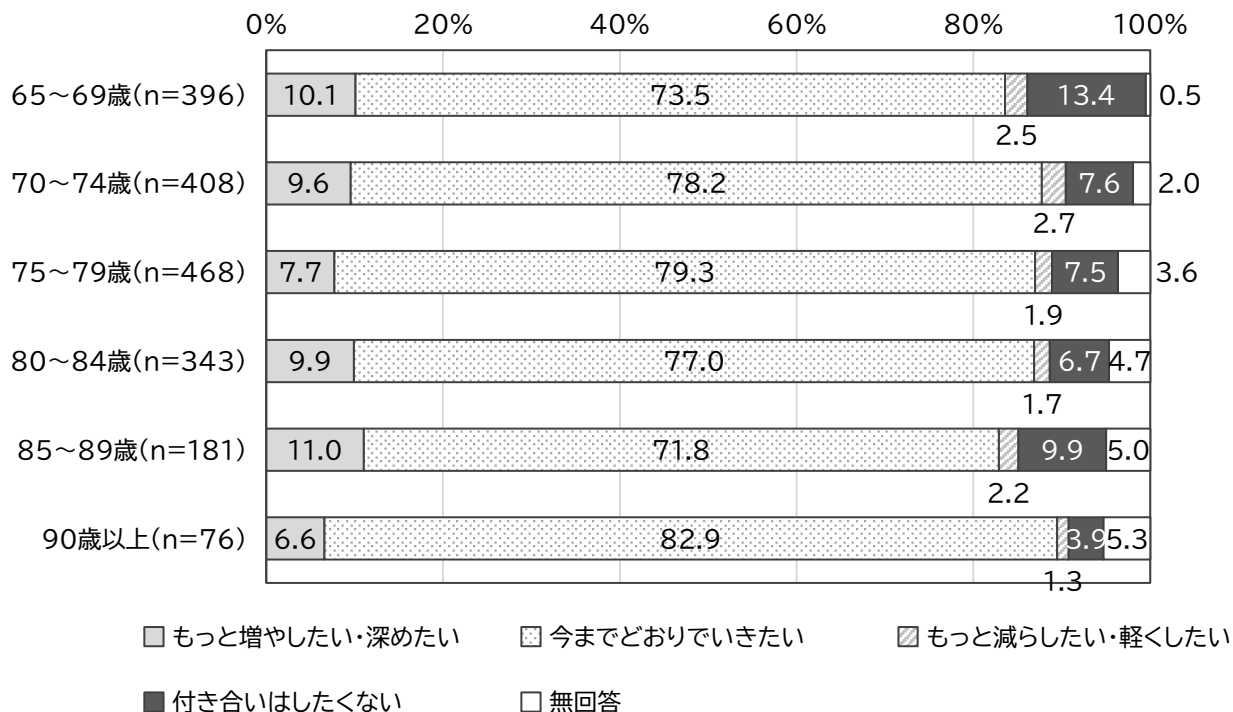
図表 2-9-4 ご近所の方との今後の付き合いについて 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

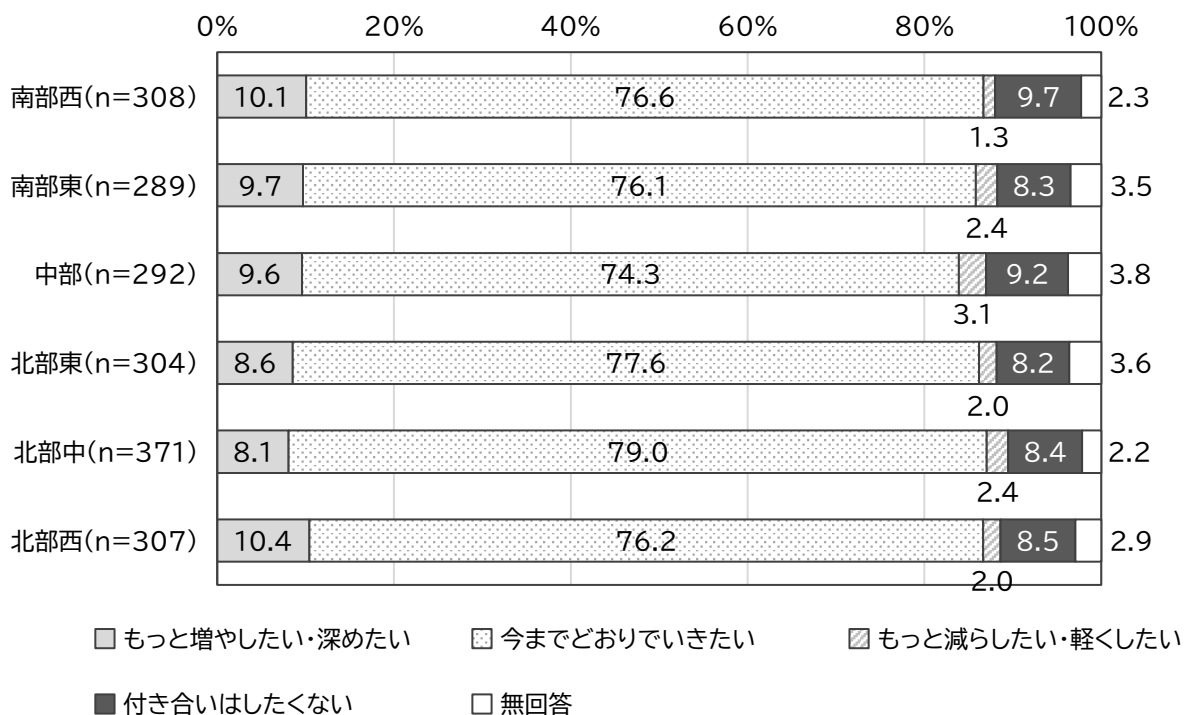
年齢別でみると、「もっと増やしたい・深めたい」では、85～89歳が11.0%で最も高くなっています。

図表 2-9-5 ご近所の方との今後の付き合いについて 年齢別



圏域別でみると、「もっと増やしたい・深めたい」では、北部西地区で10.4%と最も高くなっています。

図表 2-9-6 ご近所の方との今後の付き合いについて 圏域別



10. 就労について

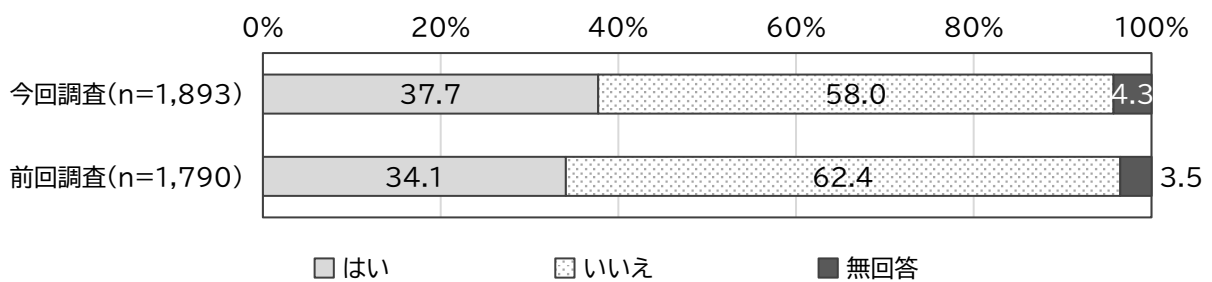
(1) 就労の継続意向

問 12 (1) 現在、仕事をしたい又は続けたいお気持ちがありますか。(○は1つ)

仕事をしたい・続けたい気持ちがあるかについては、「はい」が37.7%、「いいえ」が58.0%となっています。

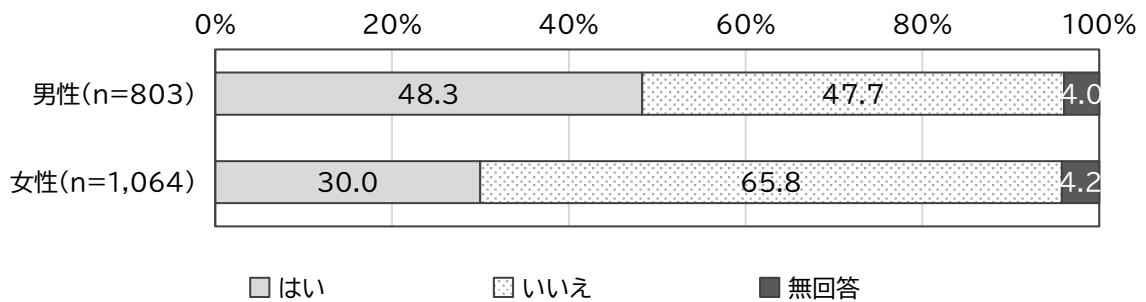
前回調査と比較すると、「はい」(37.7%)が、前回調査(34.1%)より3.6ポイント増加しています。

図表 2-10-1 就労の継続意向



性別でみると、「はい」では、男性が48.3%で、女性(30.0%)より18.3ポイント高くなっています。

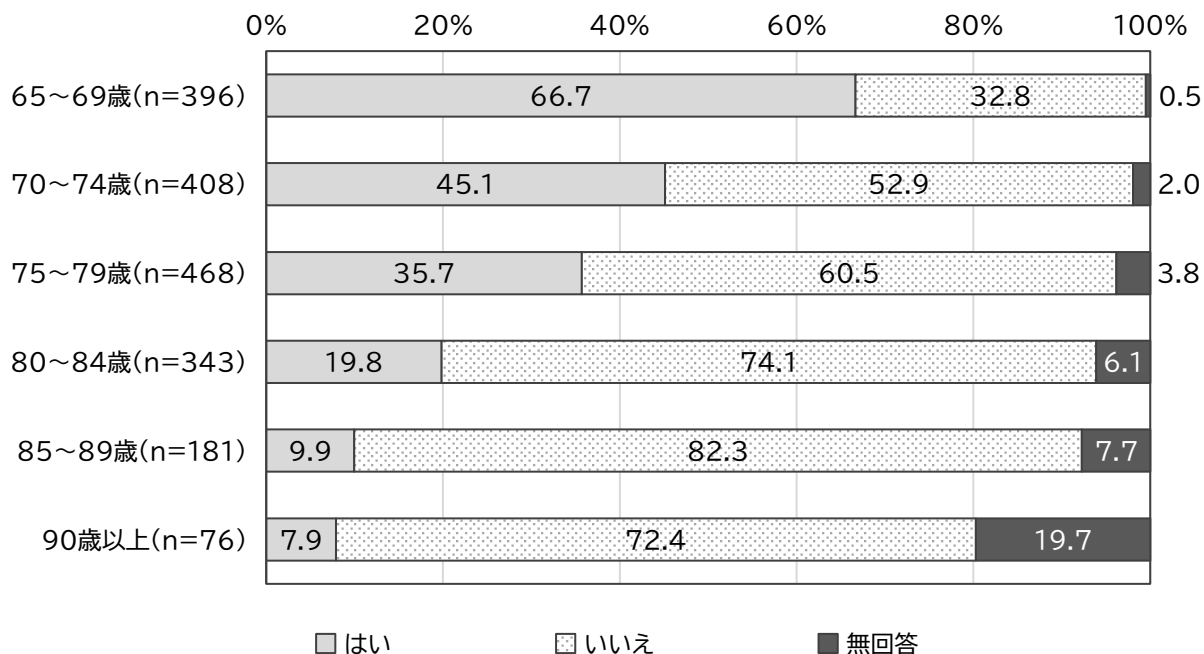
図表 2-10-2 就労の継続意向 性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

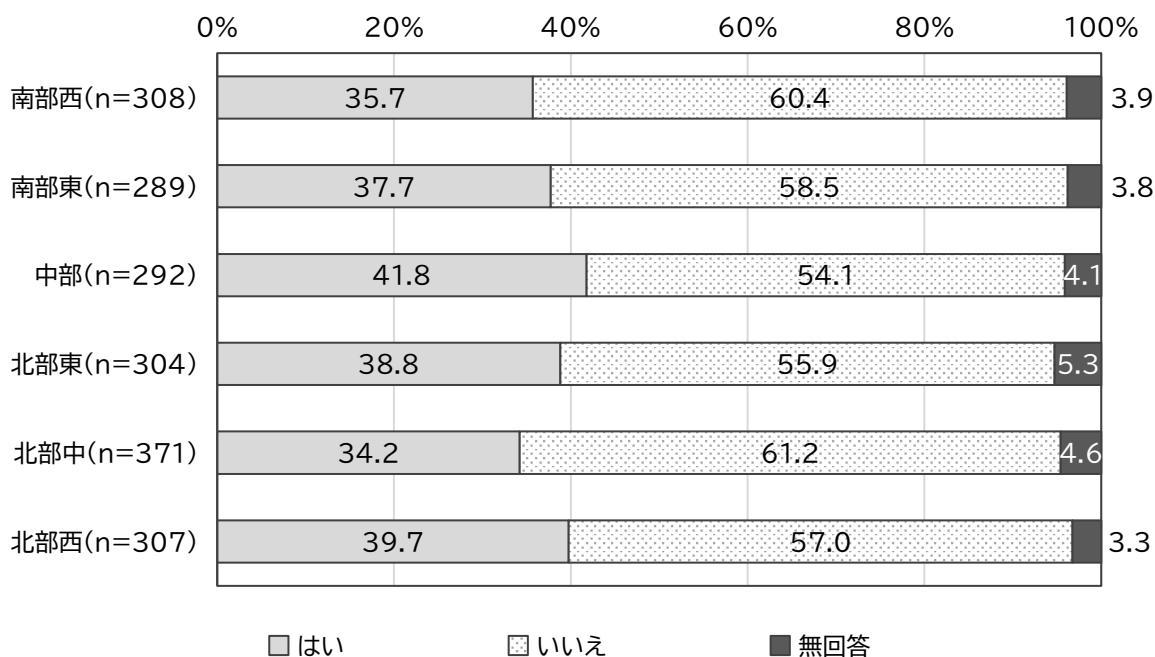
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が66.7%で最も高くなっています。

図表 2-10-3 就労の継続意向 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、中部地区で41.8%と最も高くなっています。

図表 2-10-4 就労の継続意向 圏域別



(2) 就労継続意向の理由

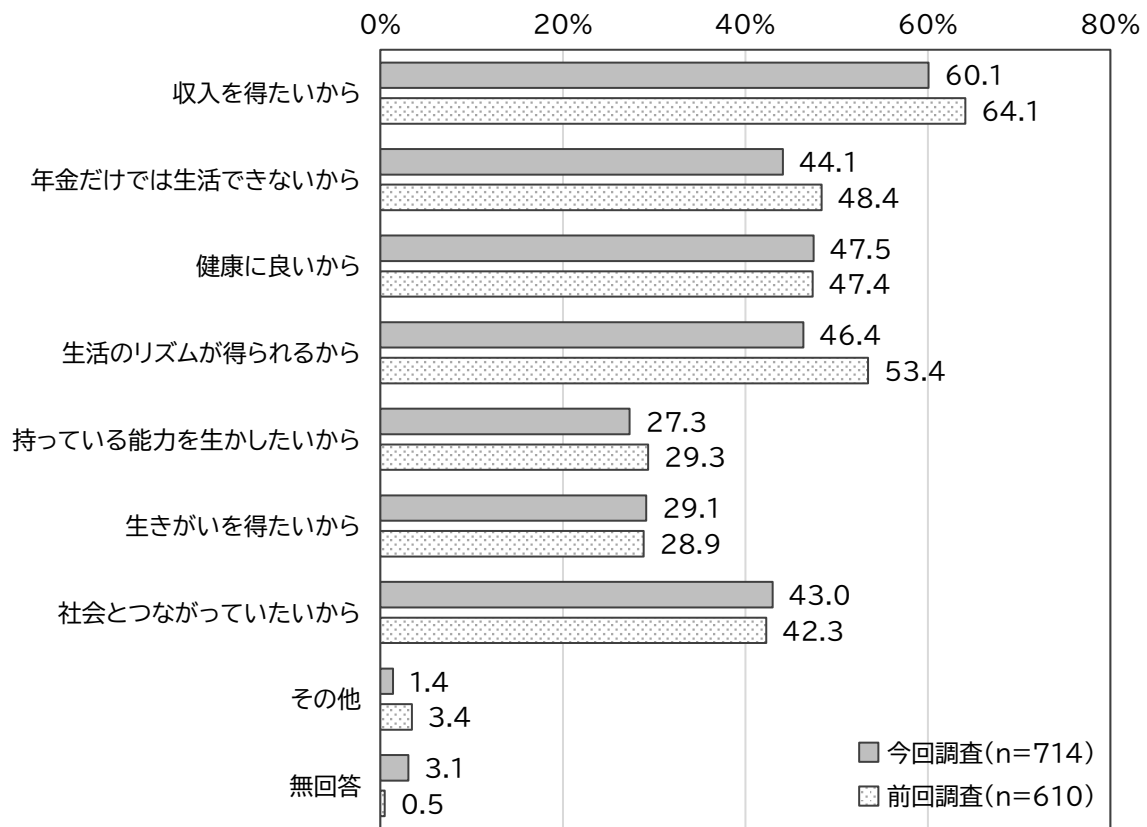
【問12-(1)で「1. はい」とお答えになった方におたずねします。】

①その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

仕事をしたい・続けたい理由については、「収入を得たいから」が60.1%と最も高く、次いで「健康に良いから」が47.5%、「生活のリズムが得られるから」が46.4%となっています。

前回調査と比較すると、「生活のリズムが得られるから」(46.4%)が、前回調査(53.4%)より7.0ポイント減少しています。

図表 2-10-5 就労継続意向の理由



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、いずれも「収入を得たいから」が最も高くなっています。

年齢別で見ると、79歳以下では「収入を得たいから」、80歳以上では「健康に良いから」が最も高くなっています。

圏域別で見ると、「収入を得たいから」では南部東地区で64.2%と最も高くなっています。

図表 2-10-6 就労継続意向の理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	収入を得たいから	年金だけでは生活できないから	健康に良いから	生活のリズムが得られるから	持っている能力を生かしたいから	生きがいを得たいから	社会とつながっていたいから	その他	無回答
全体		714	60.1	44.1	47.5	46.4	27.3	29.1	43.0	1.4	3.1
性別	男性	388	60.6	42.0	47.7	43.3	29.4	29.1	39.9	1.5	2.3
	女性	319	59.6	47.0	47.6	50.2	24.8	29.8	46.1	1.3	3.8
年齢別	65～69歳	264	68.6	47.7	46.6	45.1	29.2	25.0	46.2	0.8	3.8
	70～74歳	184	61.4	47.8	50.0	51.1	29.3	31.5	44.0	2.2	2.2
	75～79歳	167	59.9	41.3	44.3	43.7	24.6	28.7	42.5	1.2	2.4
	80～84歳	68	39.7	38.2	45.6	44.1	19.1	35.3	30.9	1.5	4.4
	85～89歳	18	22.2	22.2	61.1	55.6	38.9	44.4	38.9	5.6	0.0
	90歳以上	6	0.0	16.7	83.3	33.3	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0
日常生活圏域別	南部西	110	60.9	50.0	42.7	41.8	22.7	30.0	41.8	0.0	2.7
	南部東	109	64.2	42.2	45.9	50.5	33.9	36.7	46.8	2.8	5.5
	中部	122	57.4	36.9	51.6	48.4	23.8	29.5	41.0	2.5	0.8
	北部東	118	61.9	50.0	46.6	44.1	22.9	22.0	44.1	1.7	4.2
	北部中	127	58.3	38.6	50.4	49.6	32.3	29.1	46.5	0.8	3.1
	北部西	122	59.0	49.2	47.5	43.4	27.9	29.5	36.1	0.8	1.6

(3) 就労先探しの方法

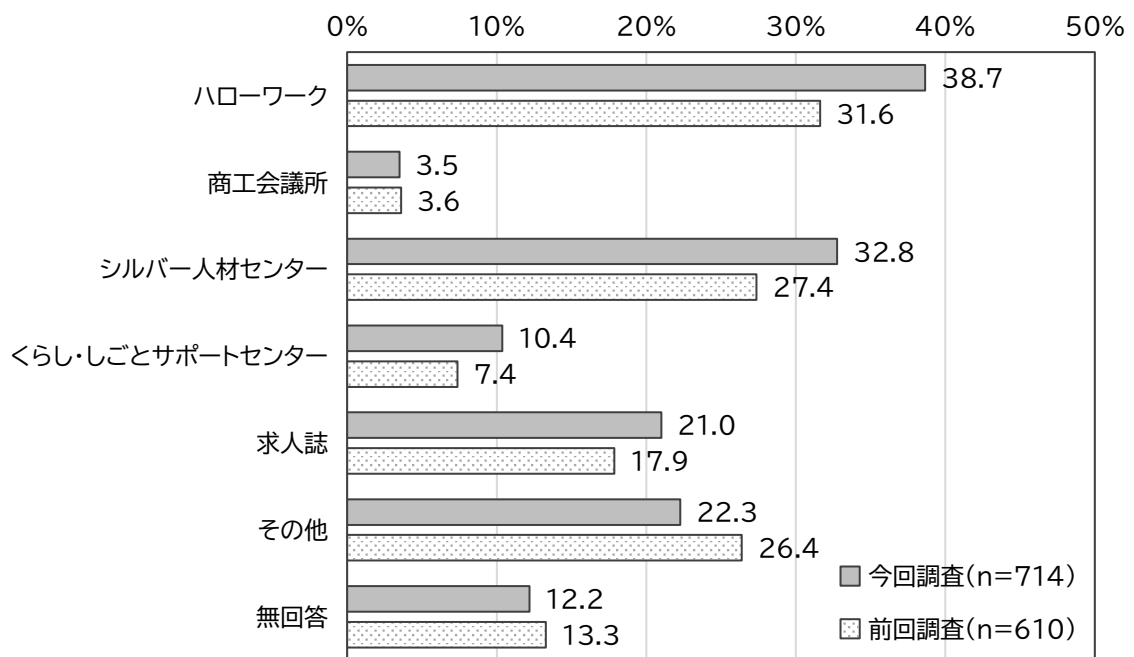
【問12-(1)で「1. はい」とお答えになった方におたずねします。】

②就労先を探すとしたら、どこで探しますか。(〇はいくつでも)

就職先を探す方法については、「ハローワーク」が38.7%と最も高く、次いで「シルバー人材センター」が32.8%、「その他」が22.3%となっています。

前回調査と比較すると、「ハローワーク」(38.7%)が前回調査(31.6%)より7.1ポイント増加しています。

図表 2-10-7 就労先探しの方法



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性では「ハローワーク」が43.0%と最も高く、女性では「シルバー人材センター」が36.1%と最も高くなっています。

年齢別で見ると、74歳以下と85～89歳では「ハローワーク」が最も高く、75～84歳では「シルバー人材センター」が最も高くなっています。

圏域別で見ると、中部地区と北部西地区では「シルバー人材センター」の割合が高く、その他の圏域では「ハローワーク」が最も高くなっています。

図表 2-10-8 就労先探しの方法 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	ハローワーク	商工会議所	シルバー人材センター	くらし・しごとサポートセンター	求人誌	その他	無回答
全体		714	38.7	3.5	32.8	10.4	21.0	22.3	12.2
性別	男性	388	43.0	4.1	29.6	7.0	17.5	23.5	11.6
	女性	319	33.9	2.8	36.1	14.4	25.4	21.0	13.2
年齢別	65～69歳	264	53.0	3.8	28.4	9.8	27.7	21.6	7.6
	70～74歳	184	42.9	3.8	35.3	10.9	19.6	24.5	8.7
	75～79歳	167	23.4	3.6	36.5	10.8	18.6	22.8	13.8
	80～84歳	68	17.6	1.5	38.2	8.8	11.8	19.1	26.5
	85～89歳	18	22.2	5.6	16.7	16.7	5.6	16.7	33.3
	90歳以上	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	66.7
日常生活圏域別	南部西	110	40.0	5.5	26.4	11.8	24.5	20.9	12.7
	南部東	109	44.0	4.6	28.4	11.9	20.2	28.4	12.8
	中部	122	41.0	4.9	42.6	8.2	14.8	23.0	13.9
	北部東	118	34.7	3.4	32.2	9.3	22.9	21.2	11.9
	北部中	127	37.8	3.1	28.3	14.2	22.8	19.7	11.8
	北部西	122	36.1	0.0	36.9	6.6	21.3	21.3	10.7

11. 生活の心配や相談先などについて

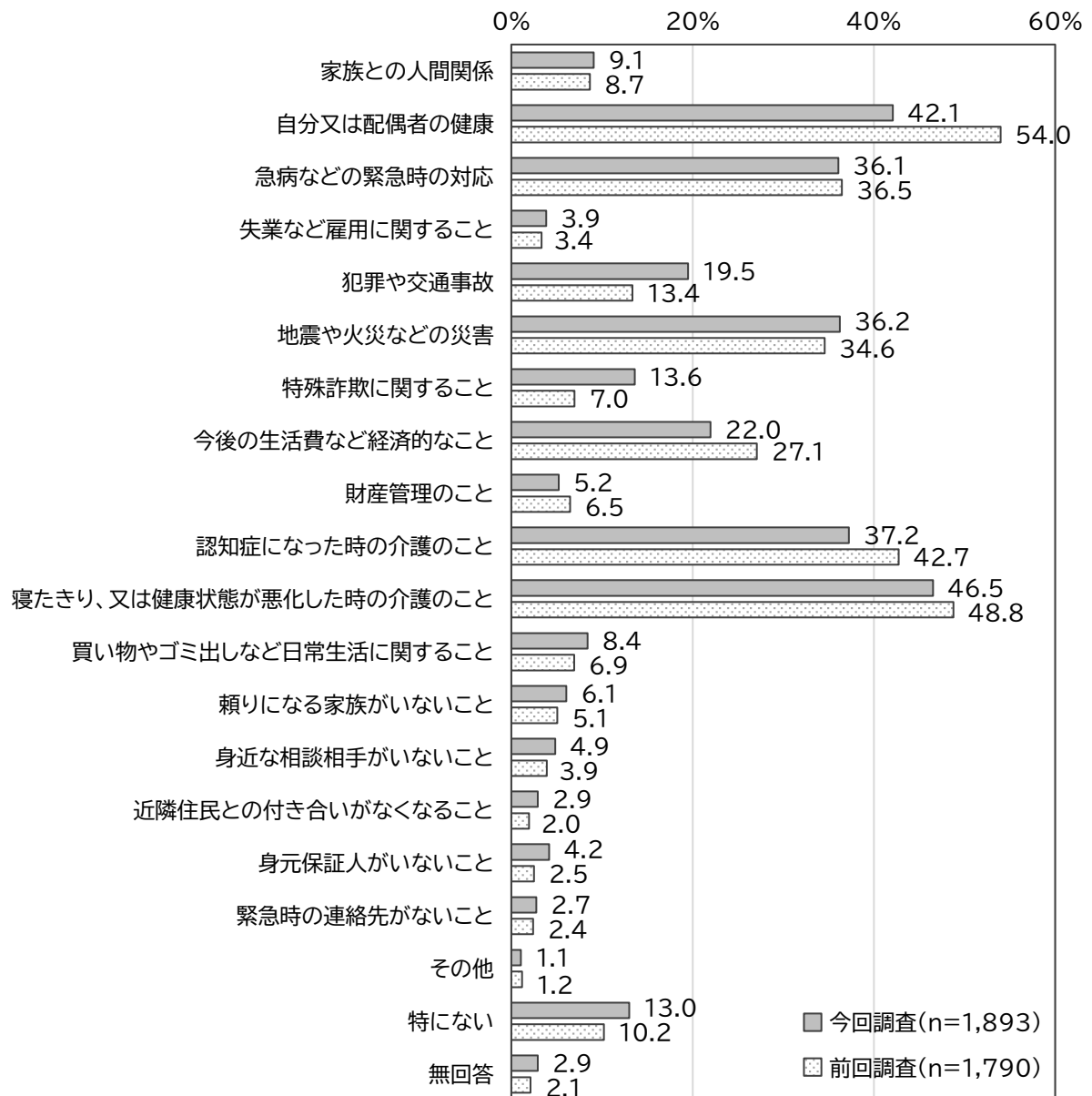
(1) 今後の暮らしで不安に感じていること

問13 (1) 今後の暮らしについて不安に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

今後の暮らしで不安に感じていることについては、「寝たきり、又は健康状態が悪化した時の介護のこと」が46.5%と最も高く、次いで「自分又は配偶者の健康」が42.1%、「認知症になった時の介護のこと」が37.2%となっています。

前回調査と比較すると、「自分又は配偶者の健康」(42.1%)が前回調査(54.0%)より11.9ポイント減少している一方で、「特殊詐欺に関する事」(13.6%)が前回調査(7.0%)より6.6ポイントと増加しています。

図表 2-11-1 今後の暮らしで不安に感じていること



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

性別で見ると、男性では「自分又は配偶者の健康」が52.1%と最も高く、女性では「寝たきり、又は健康状態が悪化した時の介護のこと」49.3%と最も高くなっています。

年齢別で見ると、74歳以下では「自分又は配偶者の健康」、75歳以上では「寝たきり又は健康状態が悪化した時のこと」が最も高くなっています。

圏域別で見ると、いずれも「寝たきり、又は健康状態が悪化した時の介護のこと」が最も高く、大きな差はありません。

図表 2-11-2 今後の暮らしで不安に感じていること 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	家族との関係	自分又は配偶者の健康	急病などの緊急時の対応	失業など雇用に関すること	犯罪や交通事故	地震や火災などの災害	特殊詐欺に関すること	今後の生活費など経済的なこと	財産管理のこと	認知症になった時の介護のこと
全体		1,893	9.1	42.1	36.1	3.9	19.5	36.2	13.6	22.0	5.2	37.2
性別	男性	803	10.1	52.1	35.2	5.5	18.7	31.1	11.7	23.0	8.1	32.8
	女性	1,064	8.2	35.0	37.0	2.7	20.3	40.1	15.2	21.4	3.2	40.6
年齢別	65～69歳	396	9.1	49.0	34.3	8.8	22.7	37.4	13.1	29.3	7.8	37.4
	70～74歳	408	8.3	48.3	35.3	4.9	21.3	37.0	13.2	23.0	4.9	35.8
	75～79歳	468	10.3	41.5	35.3	2.4	17.3	32.9	11.1	22.0	3.6	33.5
	80～84歳	343	9.0	37.3	41.4	1.7	20.1	36.4	15.2	17.5	5.8	42.9
	85～89歳	181	7.7	33.1	38.7	0.6	18.8	44.2	21.0	16.0	4.4	38.7
	90歳以上	76	7.9	22.4	28.9	0.0	9.2	27.6	11.8	14.5	3.9	36.8
日常生活圏域別	南部西	308	6.5	41.6	37.7	5.2	15.6	33.1	11.7	21.1	5.2	33.4
	南部東	289	10.7	42.2	36.7	3.1	20.1	36.0	13.5	21.1	6.6	36.7
	中部	292	11.0	37.0	41.4	4.1	20.2	38.4	15.4	19.2	6.5	40.4
	北部東	304	9.2	44.7	32.9	5.9	16.1	36.5	11.8	24.7	5.6	38.5
	北部中	371	8.1	43.4	34.8	2.2	22.6	38.5	12.9	22.1	4.9	36.7
	北部西	307	9.1	44.0	34.2	3.3	22.5	34.5	16.9	24.4	3.3	37.8

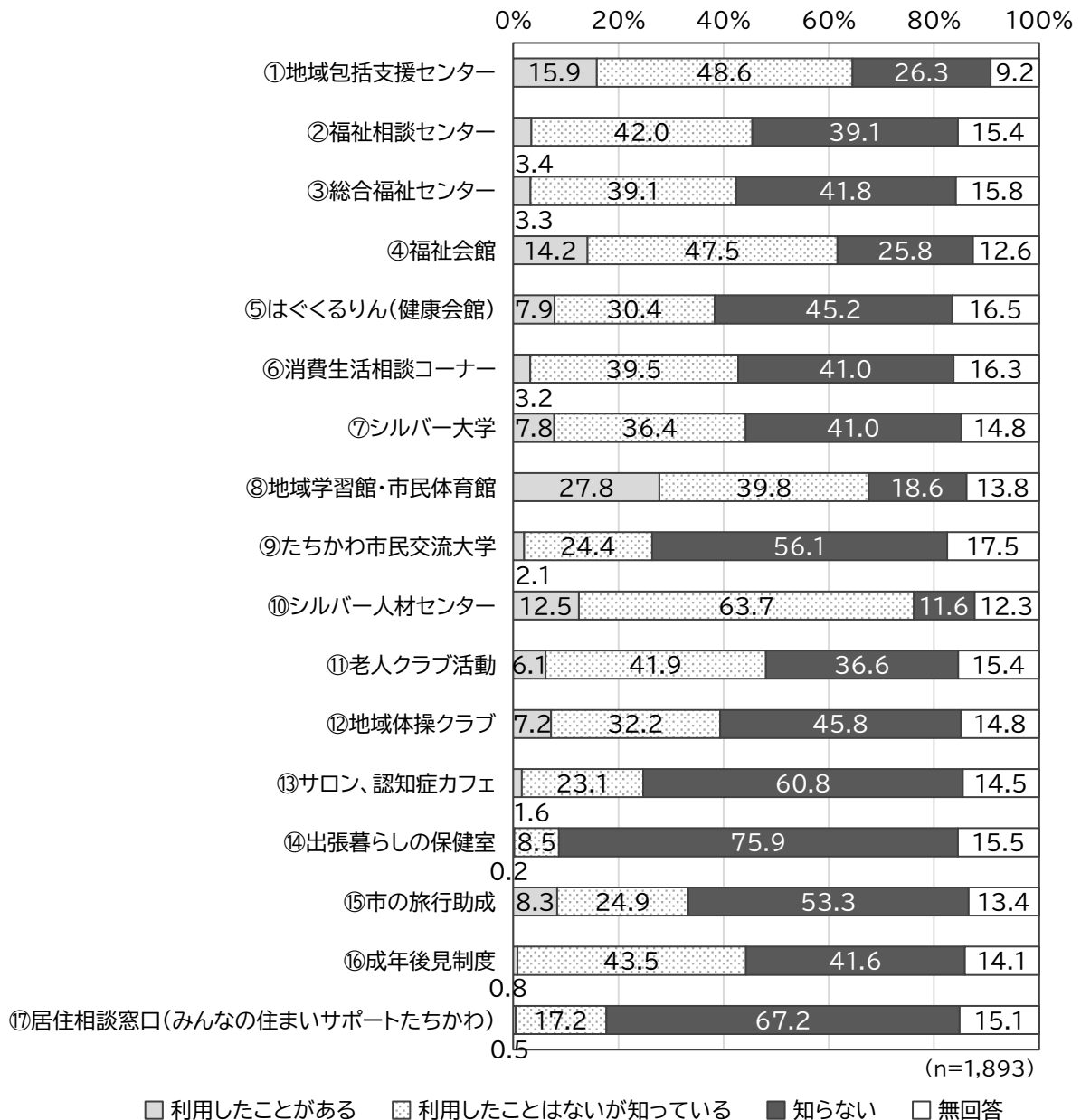
		合計	寝たきり、又は健康状態が悪化した時の介護のこと	買い物やゴミ出しなど日常生活に関すること	頼りになる家族がいないこと	身近な相談相手がいなくこと	近隣住民との付き合いがなくなること	身元保証人がいないこと	緊急時の連絡先がないこと	その他	特にない	無回答
全体		1,893	46.5	8.4	6.1	4.9	2.9	4.2	2.7	1.1	13.0	2.9
性別	男性	803	43.1	7.2	7.0	6.1	2.1	6.4	3.1	1.1	13.2	3.0
	女性	1,064	49.3	9.5	5.5	3.9	3.6	2.6	2.5	0.9	12.9	2.5
年齢別	65～69歳	396	40.2	5.1	7.3	3.5	1.5	6.8	2.8	2.0	12.4	1.5
	70～74歳	408	43.6	6.4	4.9	5.1	2.2	5.1	2.7	1.2	11.8	1.0
	75～79歳	468	43.8	5.6	5.6	5.3	3.0	3.2	3.4	0.6	14.3	3.4
	80～84歳	343	57.1	15.5	8.7	5.5	4.7	3.5	2.3	0.6	11.4	3.8
	85～89歳	181	51.4	11.6	3.9	3.9	3.9	1.7	1.7	0.0	16.6	2.8
	90歳以上	76	56.6	17.1	3.9	6.6	3.9	1.3	3.9	1.3	13.2	10.5
日常生活圏域別	南部西	308	44.5	7.5	7.5	6.5	2.3	4.2	4.5	0.3	12.7	4.9
	南部東	289	46.7	7.6	8.3	2.8	3.5	4.2	0.7	1.7	11.8	3.1
	中部	292	44.9	11.6	9.2	7.9	2.1	5.5	4.8	0.0	12.7	2.7
	北部東	304	46.4	7.9	5.6	3.9	2.6	5.3	3.0	2.0	12.2	2.0
	北部中	371	46.4	8.6	4.0	4.3	3.8	3.8	1.9	0.8	15.4	2.4
	北部西	307	51.5	7.8	2.9	3.9	3.3	2.6	2.0	1.3	12.4	1.6

(2) 施設・サービス等の認知・利用状況

問 13 (2) あなたは、次の施設やサービス、制度などをご存知ですか、又利用したことがありますか。(それぞれに○は1つずつ)

高齢者福祉に関連する施設・サービス等の認知・利用状況で『知っている』（「利用したことがある」と「利用したことはないが知っている」の合計）では、「⑩シルバー人材センター」が76.2%と最も高く、次いで「⑧地域学習館・市民体育館」が67.6%、「①地域包括支援センター」が64.5%となっています。他方、「⑭出張暮らしの保健室」が8.7%、「⑰居住相談窓口（みんなの住まいサポートたちかわ）」は17.7%と少なくなっています。

図表 2-11-3 施設・サービス等の認知・利用状況



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

前回調査と比較すると、『知っている』では、「①地域包括支援センター」(64.5%)が前回調査(56.1%)より8.4ポイント増加している一方で、「⑤はぐくるりん(健康会館)」(38.3%)が前回調査(66.9%)より28.6ポイント減少しています。

図表 2-11-4 施設・サービス等の認知・利用状況 前回調査との比較

単位:構成比(%)

	今回調査(n=1,893)			前回調査(n=1,790)		
	知っている	知らない	無回答	知っている	知らない	無回答
①地域包括支援センター	64.5	26.3	9.2	56.1	35.1	8.7
②福祉相談センター	45.4	39.1	15.4	41.6	44.9	13.5
③総合福祉センター	42.4	41.8	15.8	37.6	48.4	14.1
④福祉会館	61.7	25.8	12.6	64.8	24.2	11.0
⑤はぐくるりん(健康会館)	38.3	45.2	16.5	66.9	22.7	10.4
⑥消費生活相談コーナー	42.7	41.0	16.3	44.0	41.9	14.1

※⑦～⑰は前回調査では実施していません。

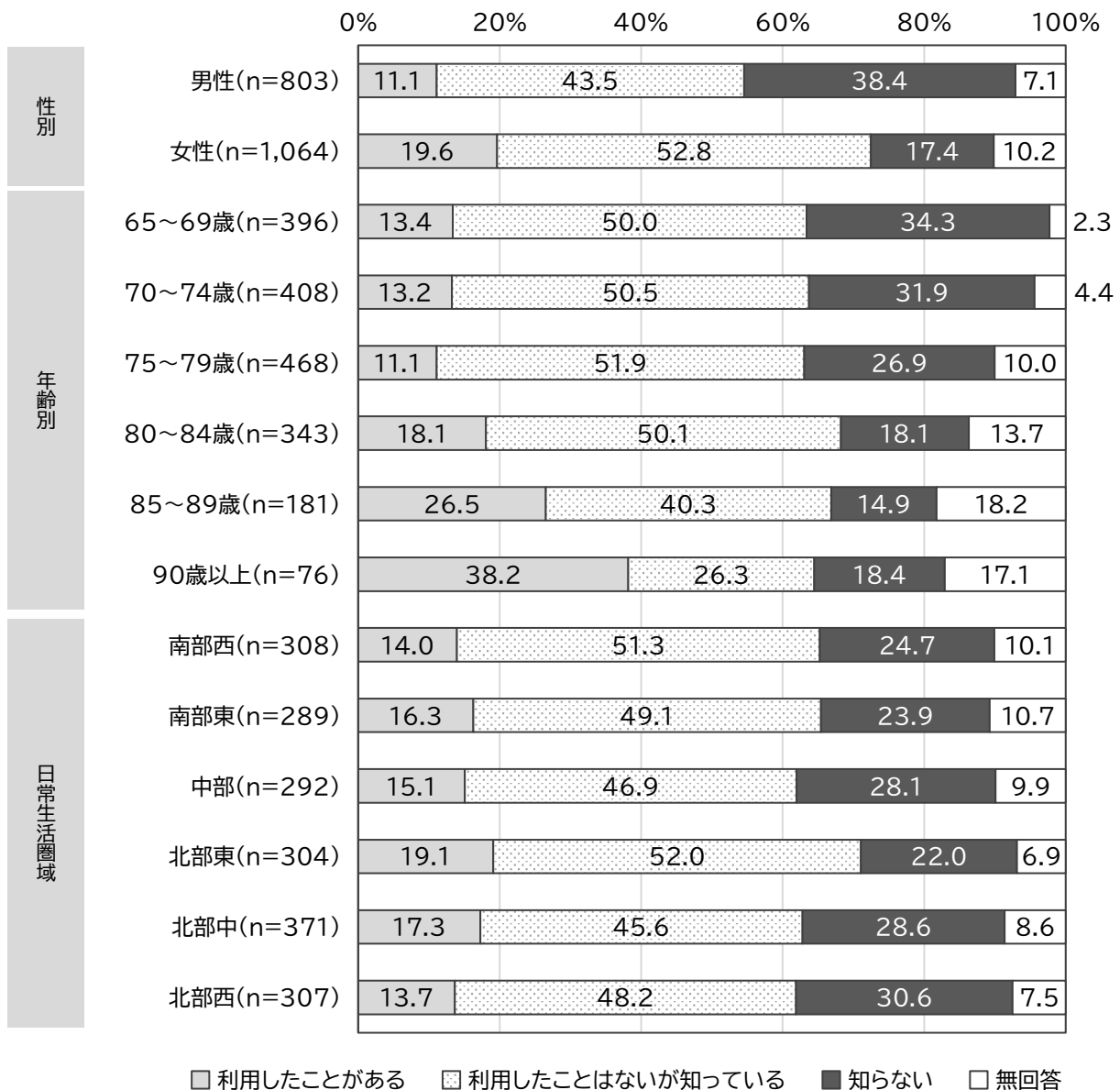
問13(2)① 地域包括支援センター

性別でみると、『知っている』では、女性が72.4%で、男性(54.6%)より17.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で38.2%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では北部東地区で71.1%と最も高くなっています。

図表 2-11-5 施設・サービス等の認知・利用状況 ① 地域包括支援センター 属性別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

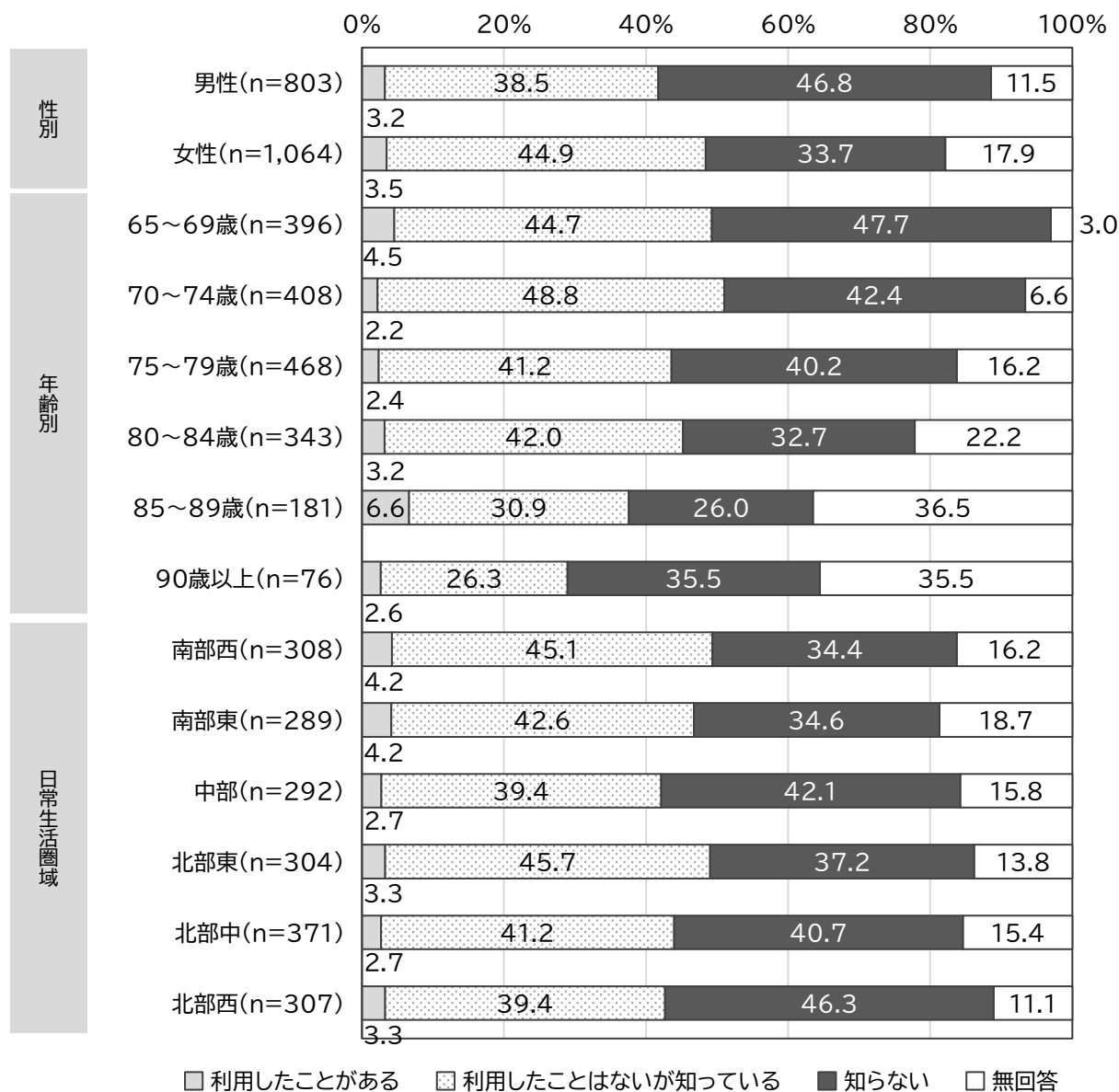
問13(2)② 福祉相談センター

性別でみると、『知っている』では、女性が48.4%で、男性(41.7%)より6.7ポイント高くなっています。

年齢別でみると、『知っている』では、70~74歳で51.0%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では、南部西地区で49.3%と最も高くなっています。

図表 2-11-6 施設・サービス等の認知・利用状況 ② 福祉相談センター 属性別



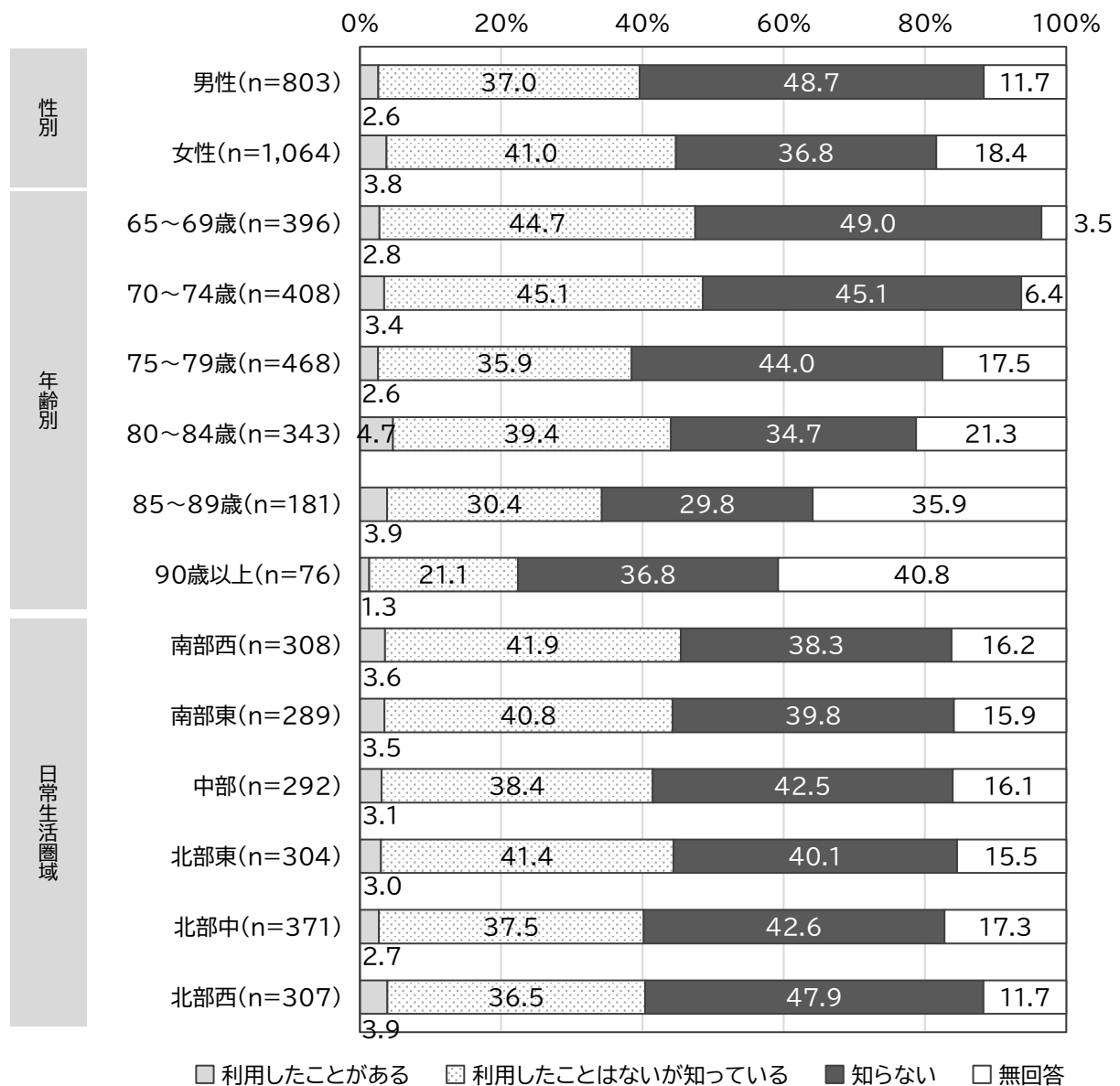
問13(2)③ 総合福祉センター（地域あんしんセンター、ボランティア・市民活動センター、
くらし・しごとサポートセンター）

性別でみると、『知っている』では、女性が44.8%で、男性（39.6%）より5.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、『知っている』では、70～74歳で48.5%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では、南部西地区で45.5%と最も高くなっています。

図表 2-11-7 施設・サービス等の認知・利用状況 ③ 総合福祉センター 属性別



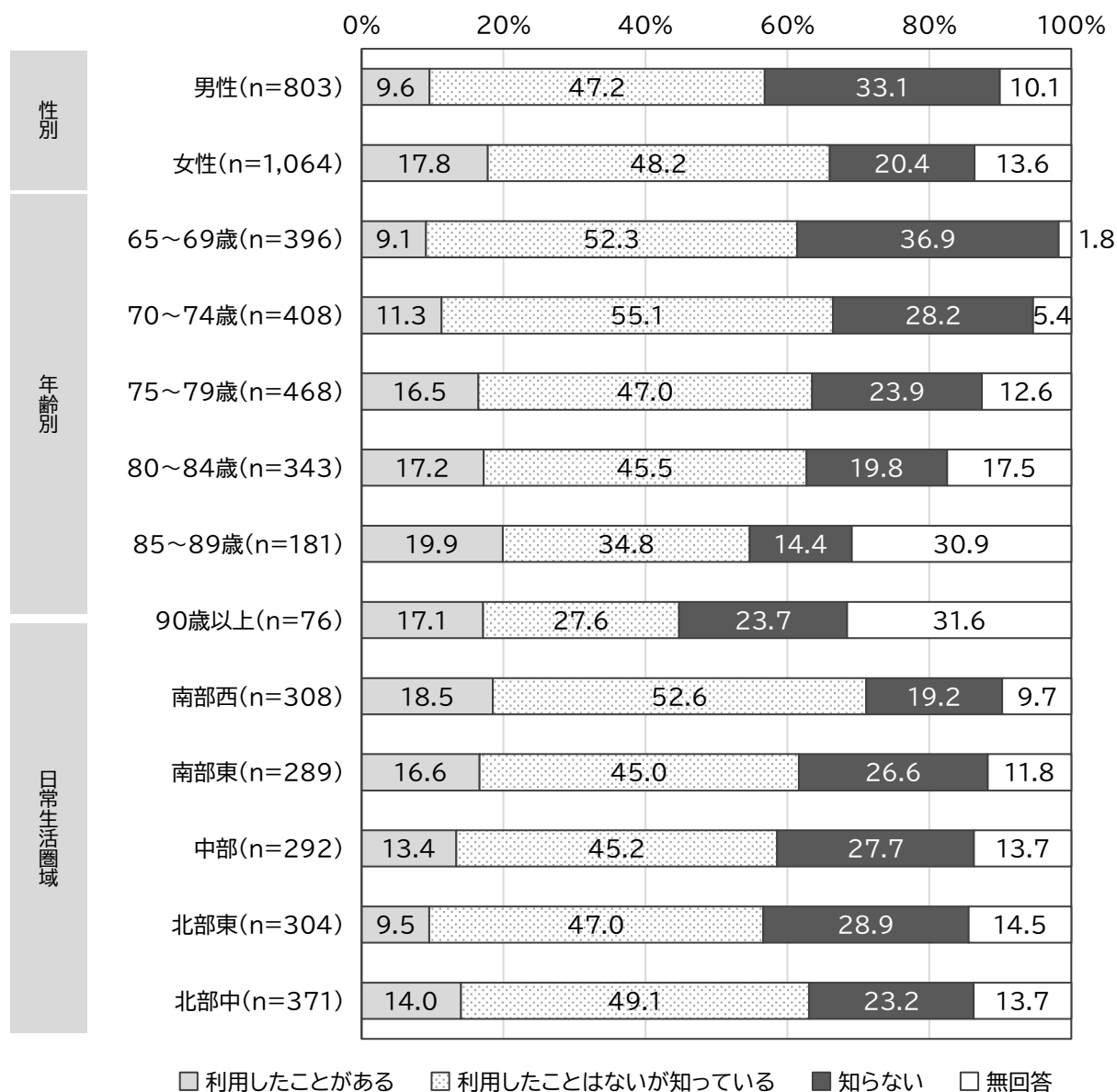
問13(2) ④ 福社会館

性別でみると、『知っている』では、女性が66.0%で、男性(56.8%)より9.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、89歳以下で年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85～89歳で19.9%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では南部西地区で71.1%と最も高くなっています。

図表 2-11-8 施設・サービス等の認知・利用状況 ④ 福社会館 属性別



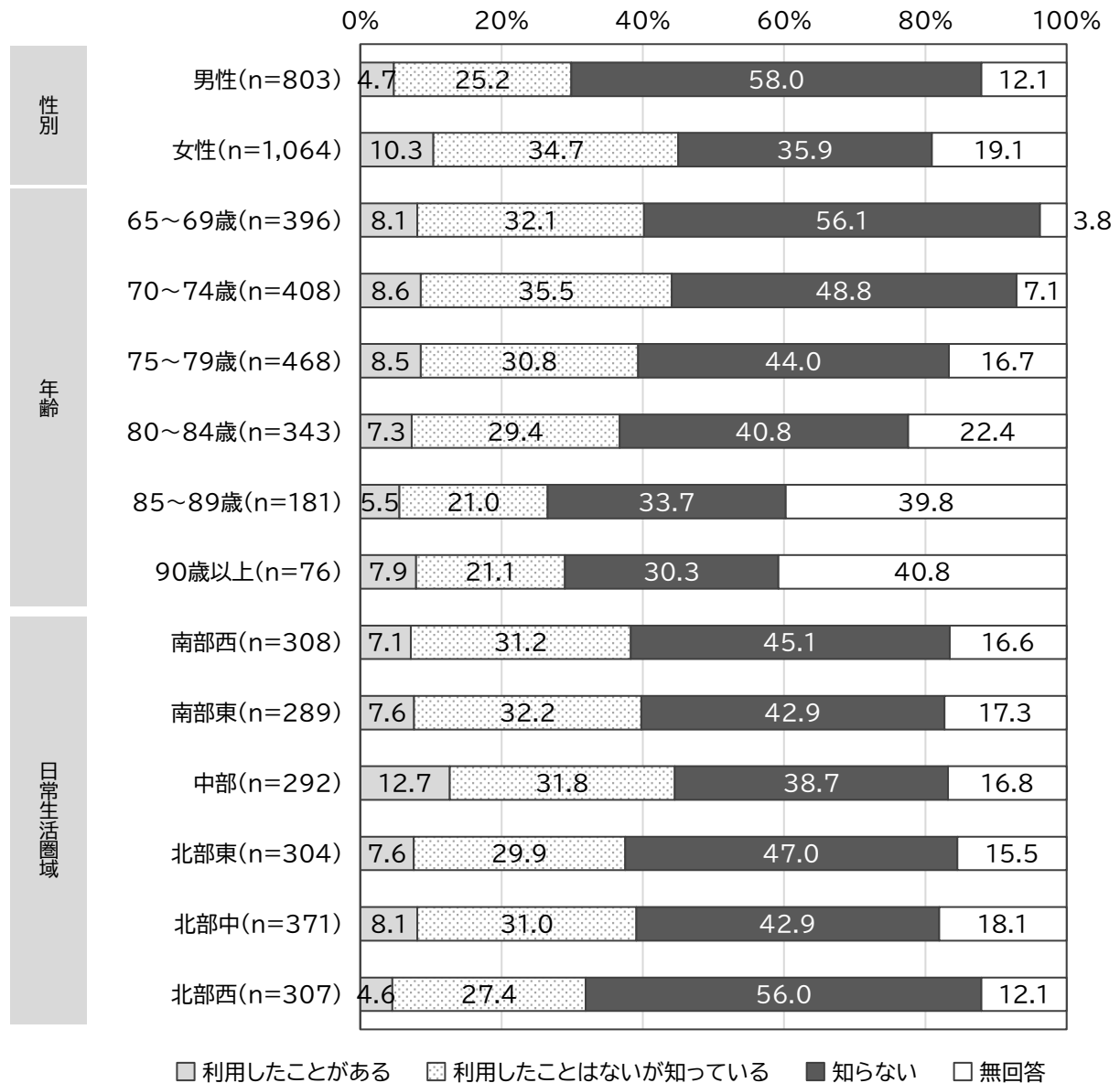
問13(2)⑤ はぐくるりん(健康会館)

性別でみると、『知っている』では、女性が45.0%で、男性(29.9%)より15.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、70~74歳で8.6%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では中部地区で44.5%と最も高くなっています。

図表2-11-9 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑤ はぐくるりん(健康会館) 属性別



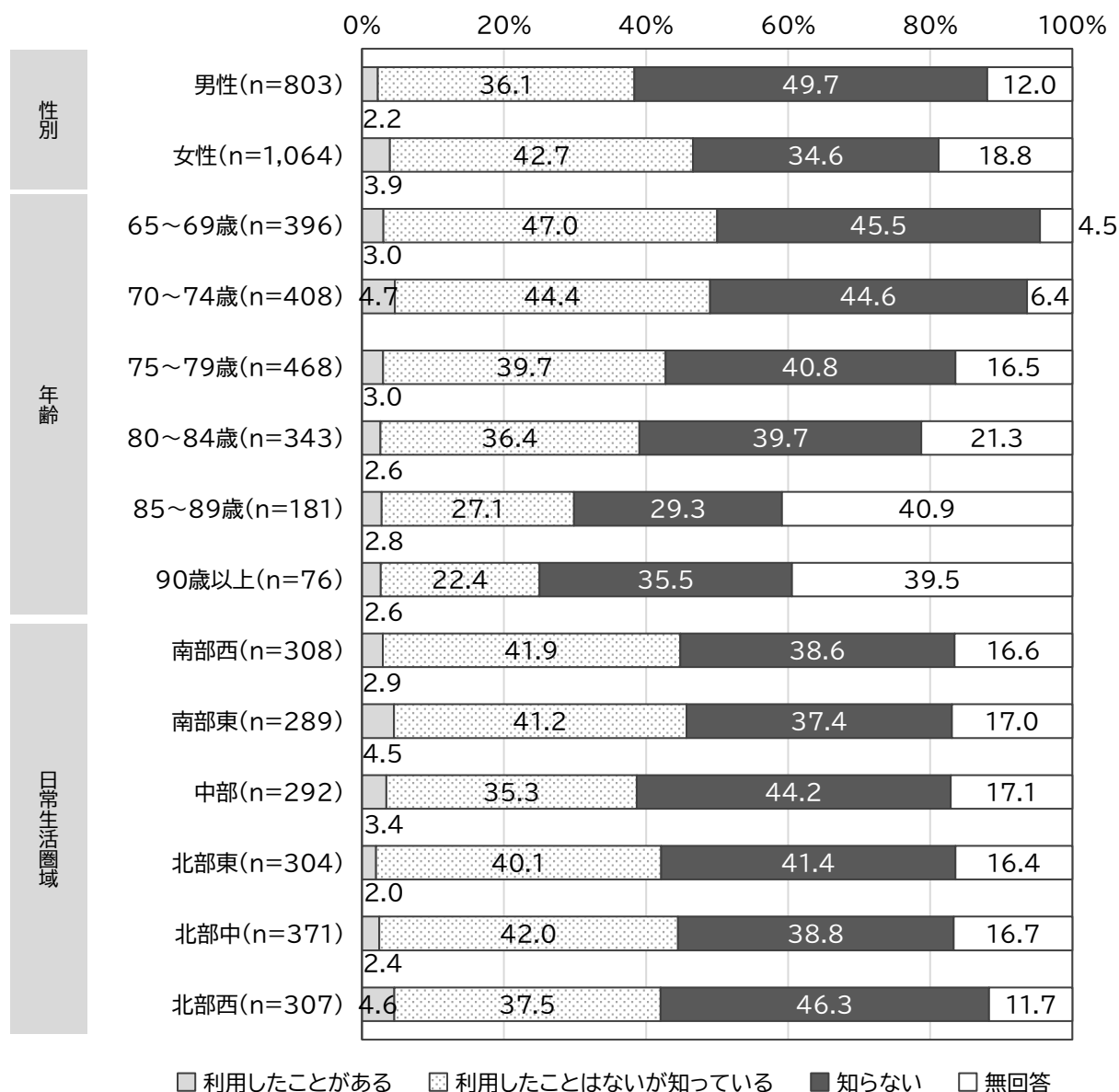
問13(2) ⑥ 消費生活相談コーナー

性別でみると、『知っている』では、女性が46.6%で、男性(38.3%)より8.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、『知っている』では、年齢が上がるにつれて割合が減少し、65~69歳で50.0%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では南部東地区で45.7%と最も高くなっています。

図表 2-11-10 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑥ 消費生活相談コーナー 属性別



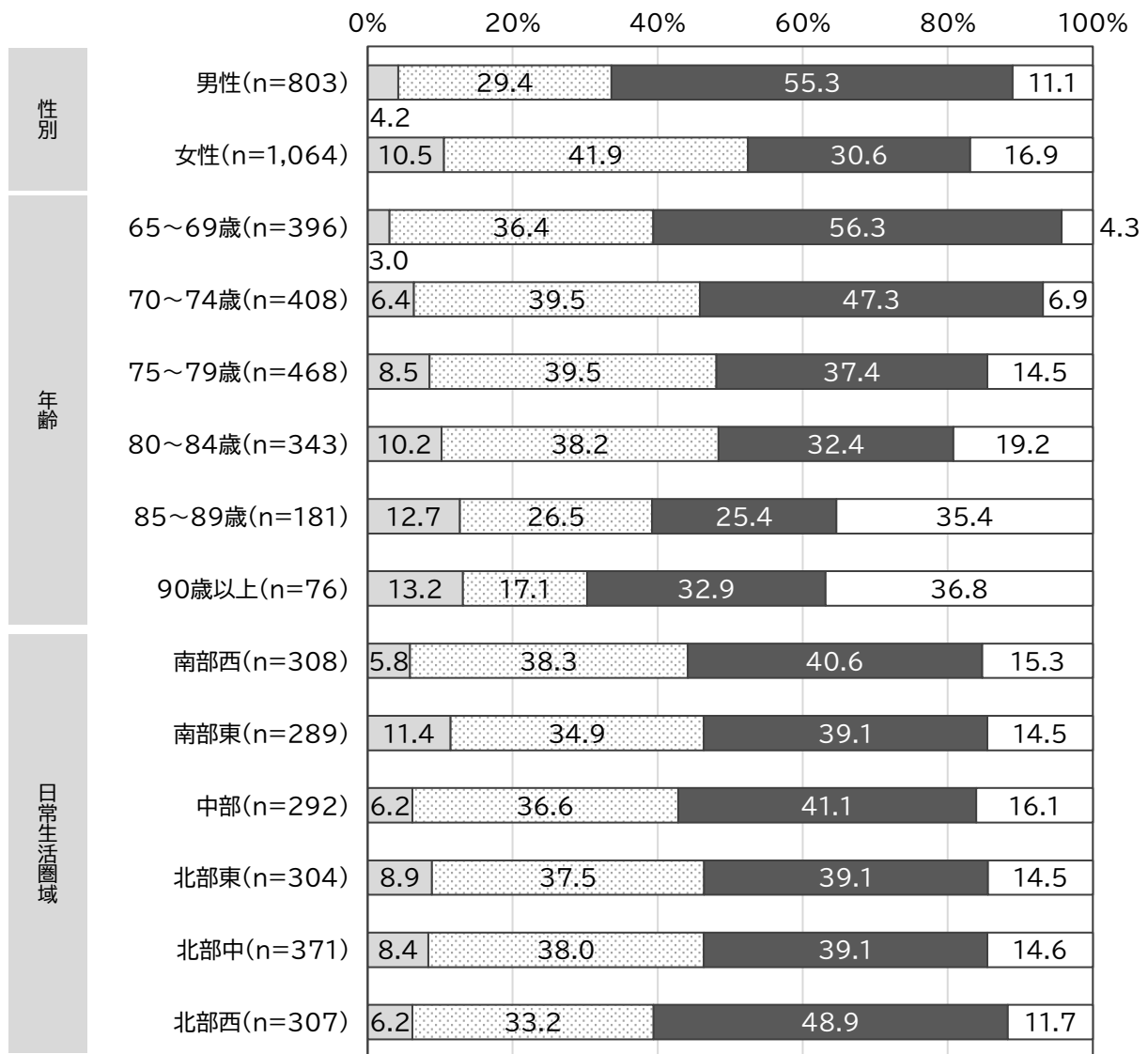
問13(2) ⑦ シルバー大学

性別でみると、『知っている』では、女性が52.4%で、男性(33.6%)より18.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で13.2%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では北部東地区と北部中地区で46.4%と最も高くなっています。

図表2-11-11 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑦ シルバー大学 属性別



□ 利用したことがある ▨ 利用したことはないが知っている ■ 知らない □ 無回答

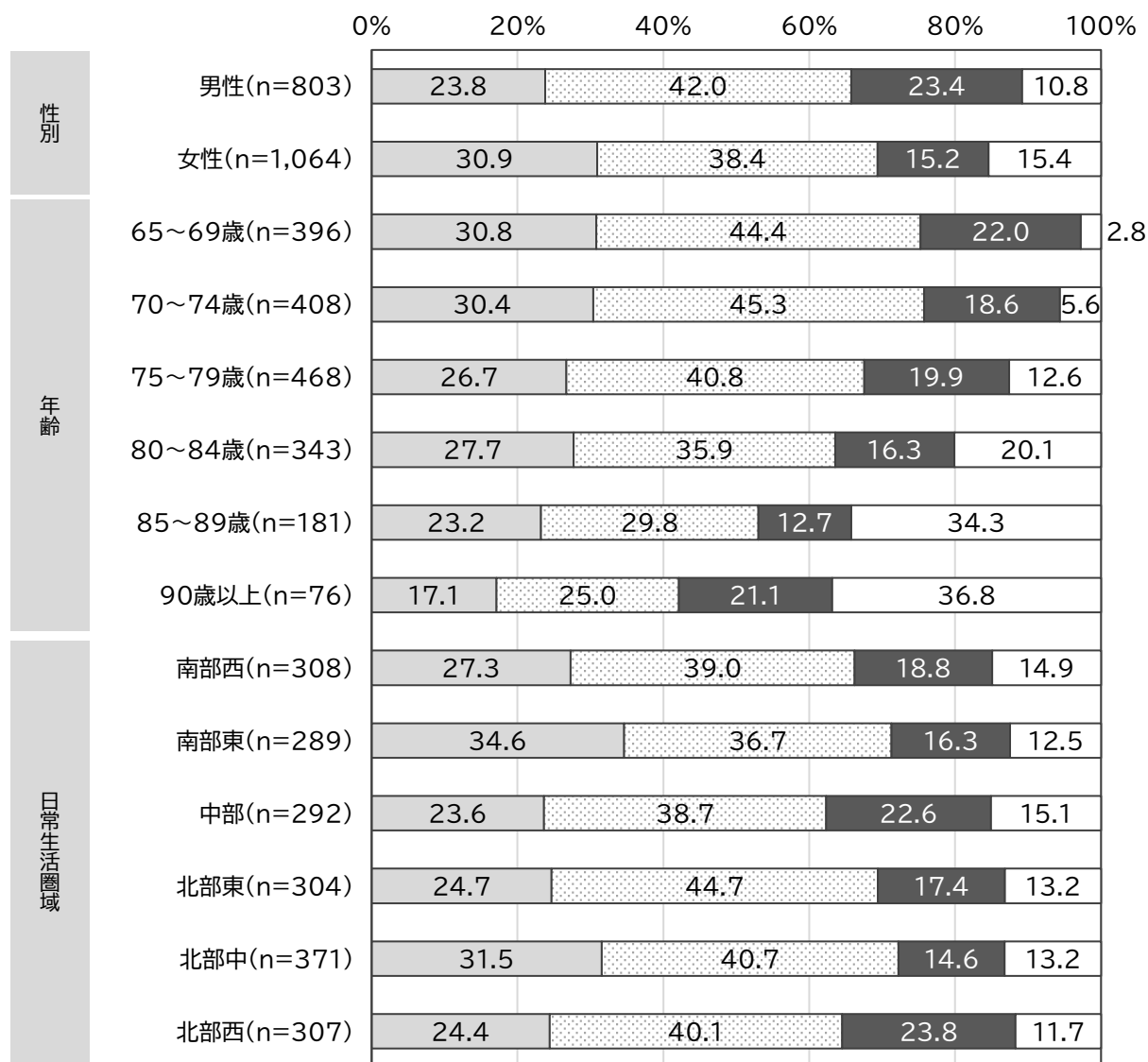
問13(2) ⑧ 地域学習館・市民体育館

性別でみると、『知っている』では、女性が69.3%で、男性(65.8%)より3.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、『知っている』では、70歳以上で年齢が上がるにつれて割合が減少しており、70～74歳で75.7%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では北部中地区で72.2%と最も高くなっています。

図表 2-11-12 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑧ 地域学習館・市民体育館 属性別



■ 利用したことがある ■ 利用したことはないが知っている ■ 知らない □ 無回答

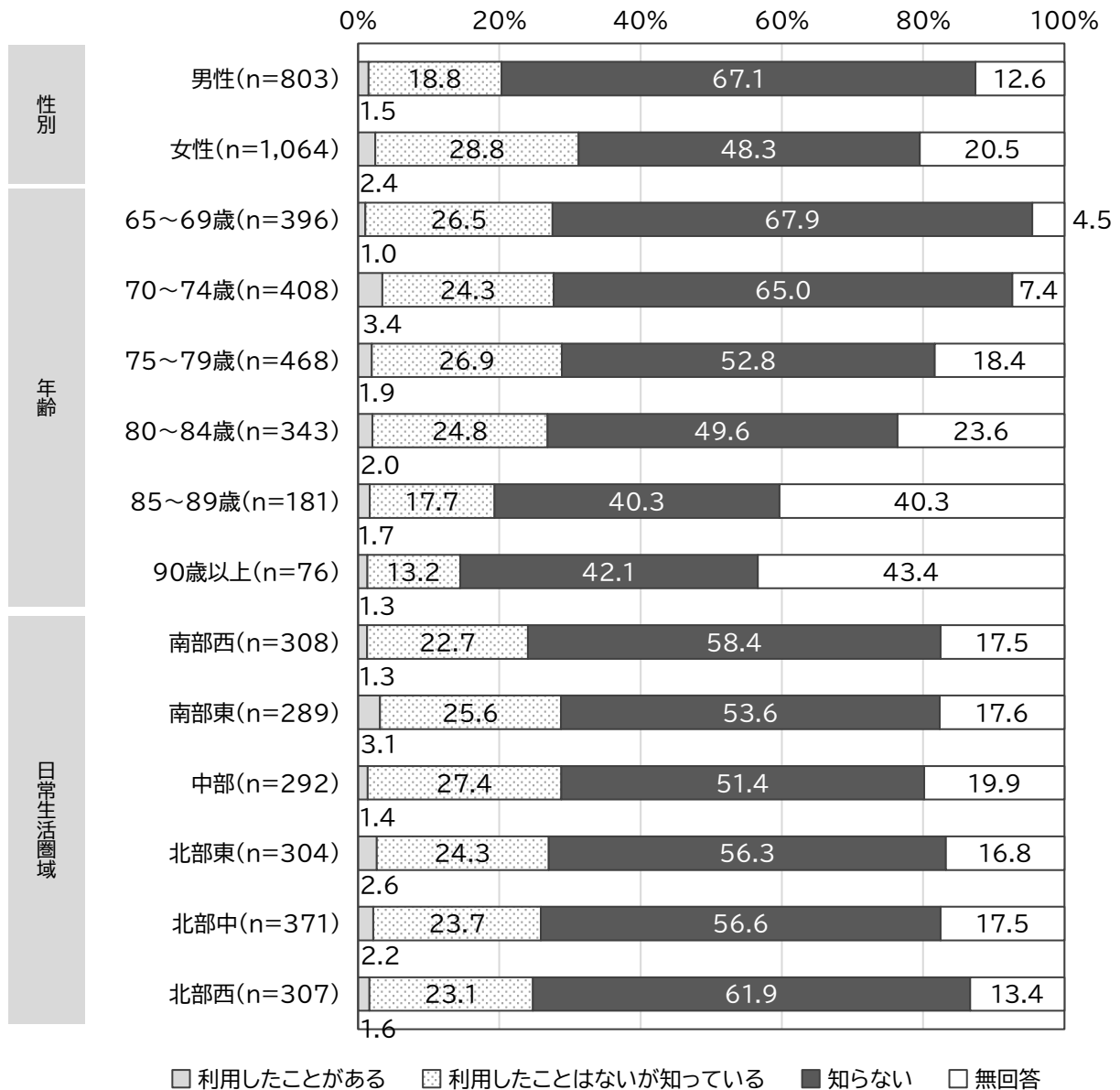
問13(2) ⑨ たちかわ市民交流大学

性別でみると、『知っている』では、女性が31.2%で、男性(20.3%)より10.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、『知っている』では、75~79歳で28.8%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では中部地区で28.8%と最も高くなっています。

図表 2-11-13 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑨ たちかわ市民交流大学 属性別



問13(2) ⑩ シルバー人材センター

性別でみると、『知っている』では、女性が77.4%で、男性(75.4%)より2.0ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、80~84歳で17.2%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では北部西地区で80.2%と最も高くなっています。

図表 2-11-14 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑩ シルバー人材センター 属性別



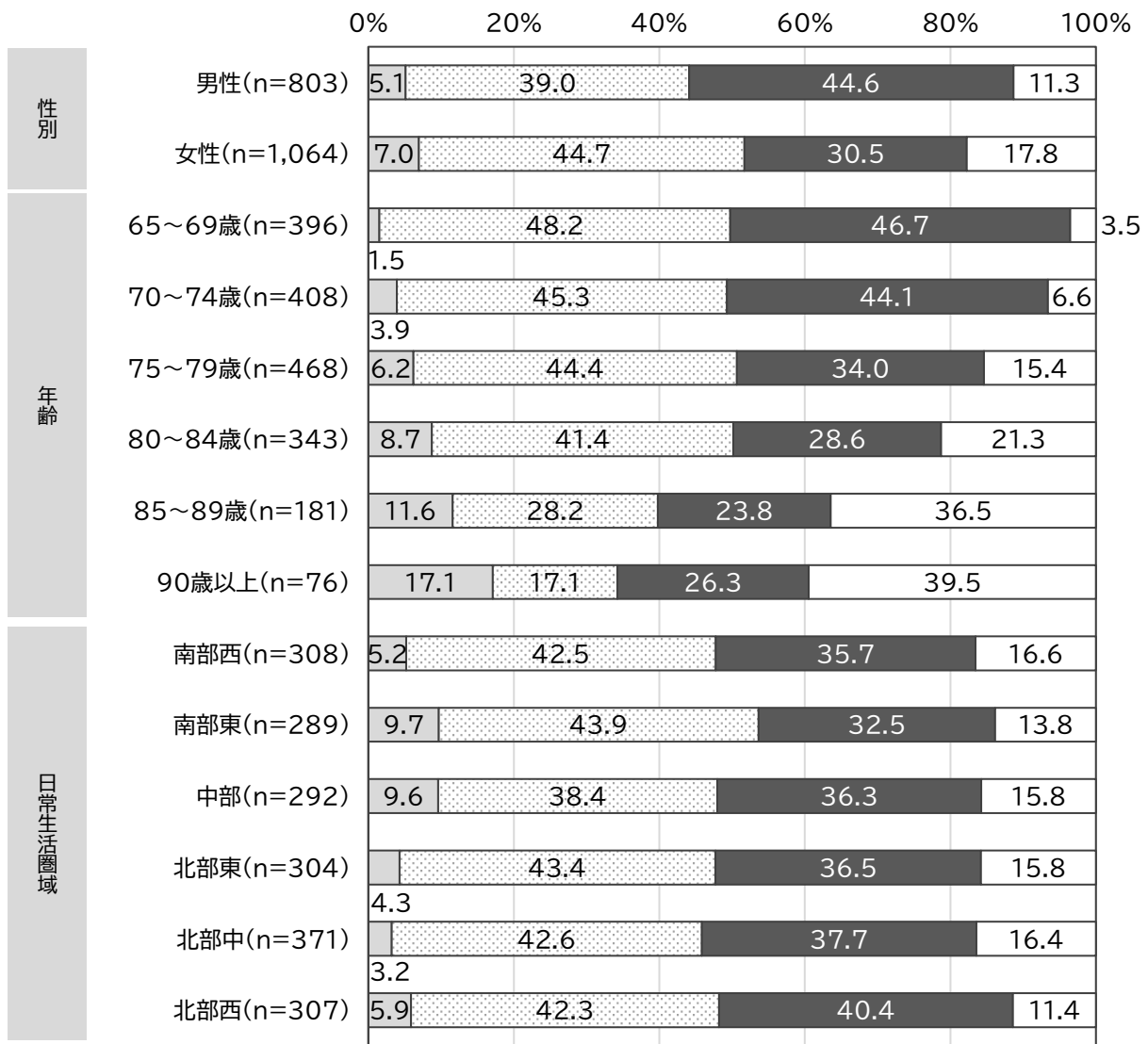
問13(2) ⑪ 老人クラブ活動

性別でみると、『知っている』では、女性が51.7%で、男性(44.1%)より7.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上で17.1%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では南部東地区で53.6%と最も高くなっています。

図表2-11-15 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑪ 老人クラブ活動 属性別



□ 利用したことがある ▨ 利用したことはないが知っている ■ 知らない □ 無回答

第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

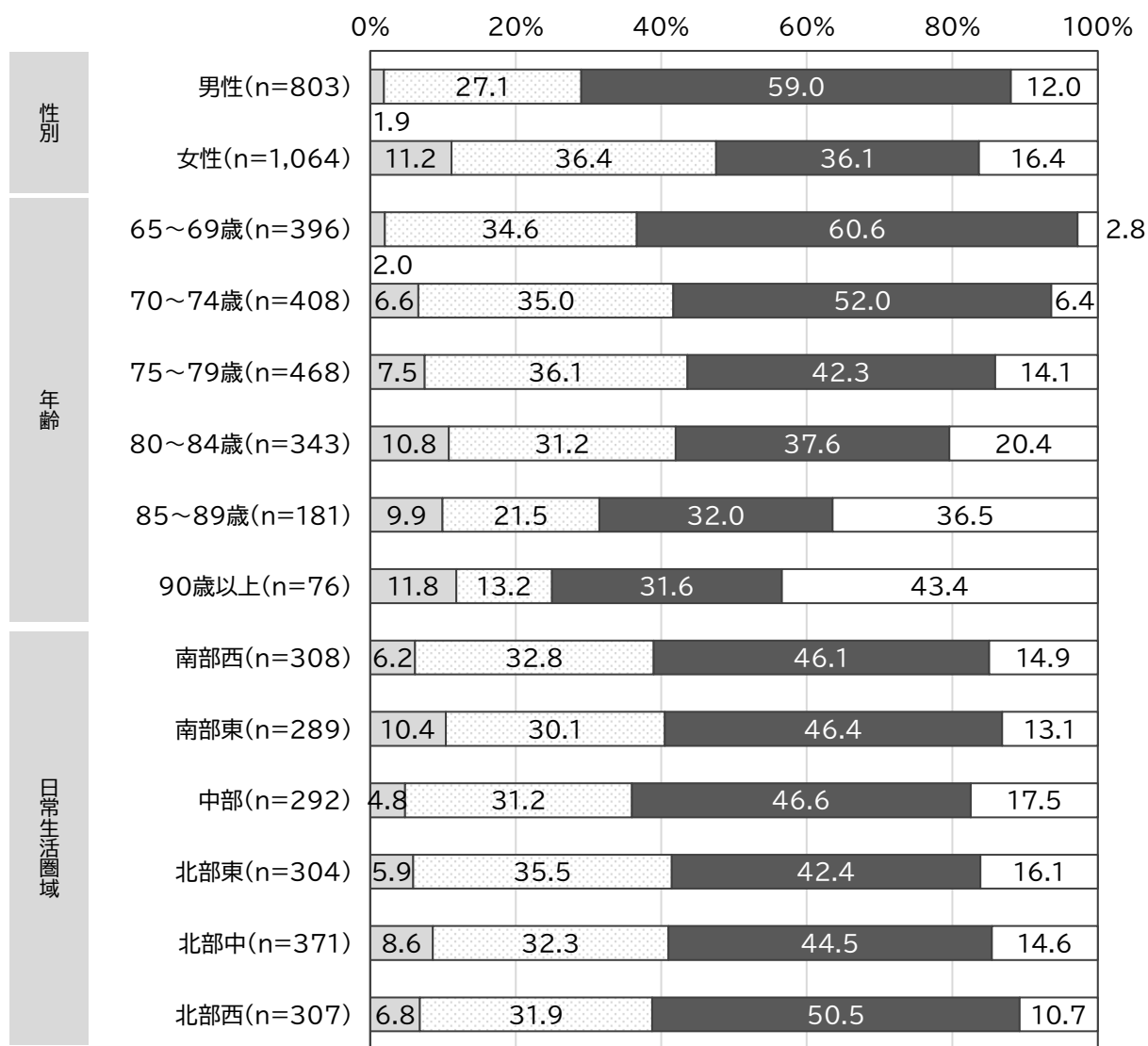
問13(2) ⑫ 地域体操クラブ

性別でみると、『知っている』では、女性が47.6%で、男性(29.0%)より18.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、90歳以上で11.8%と最も高く、『知っている』では、75~79歳で43.6%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では北部東地区で41.4%と最も高くなっています。

図表 2-11-16 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑫ 地域体操クラブ 属性別



□ 利用したことがある □ 利用したことはないが知っている ■ 知らない □ 無回答

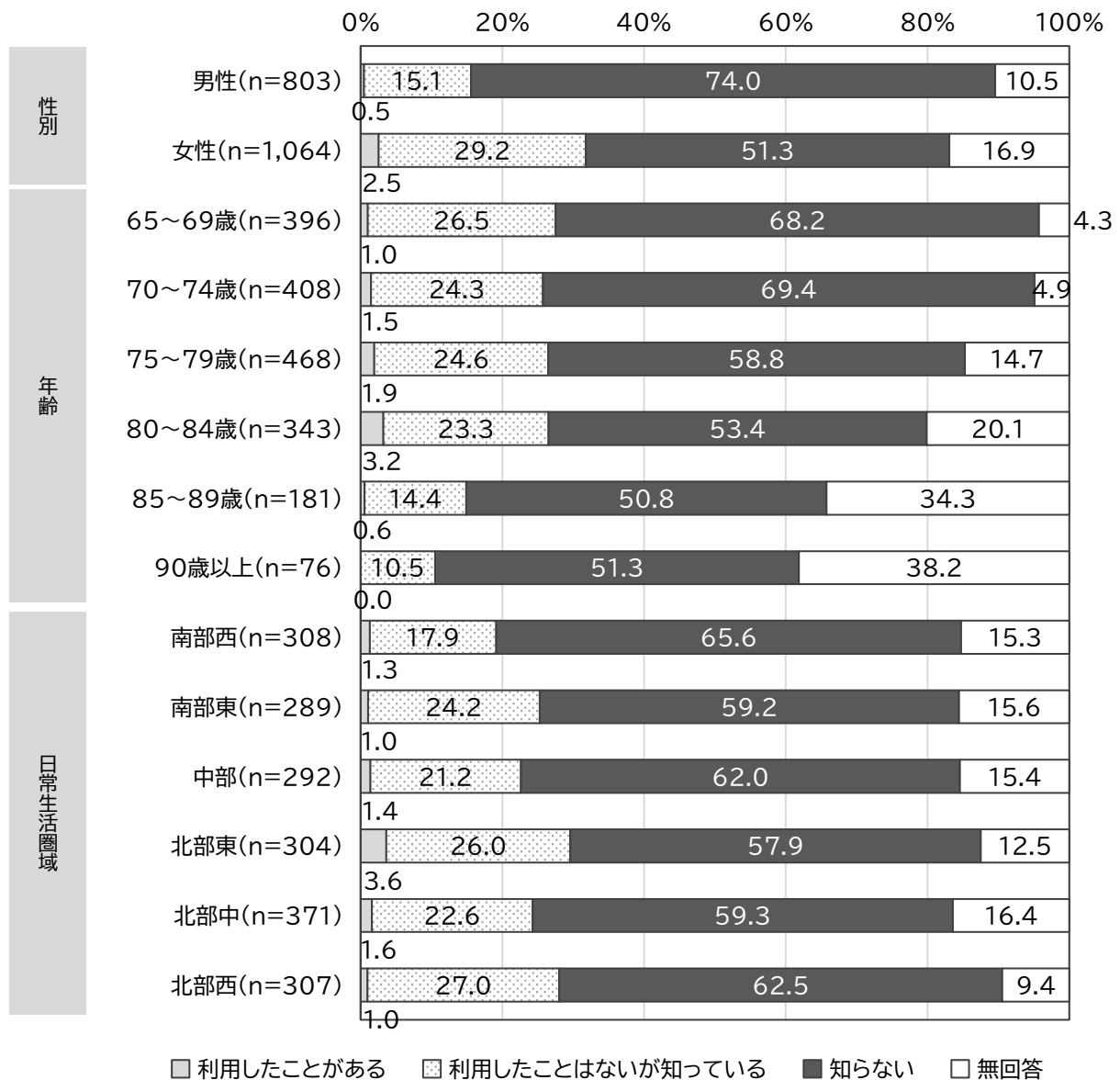
問13(2) ⑬ サロン、認知症カフェ

性別でみると、『知っている』では、女性が31.7%で、男性（15.6%）より16.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、80～84歳で3.2%と最も高く、『知っている』では、65～69歳で27.5%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では北部東地区で29.6%と最も高くなっています。

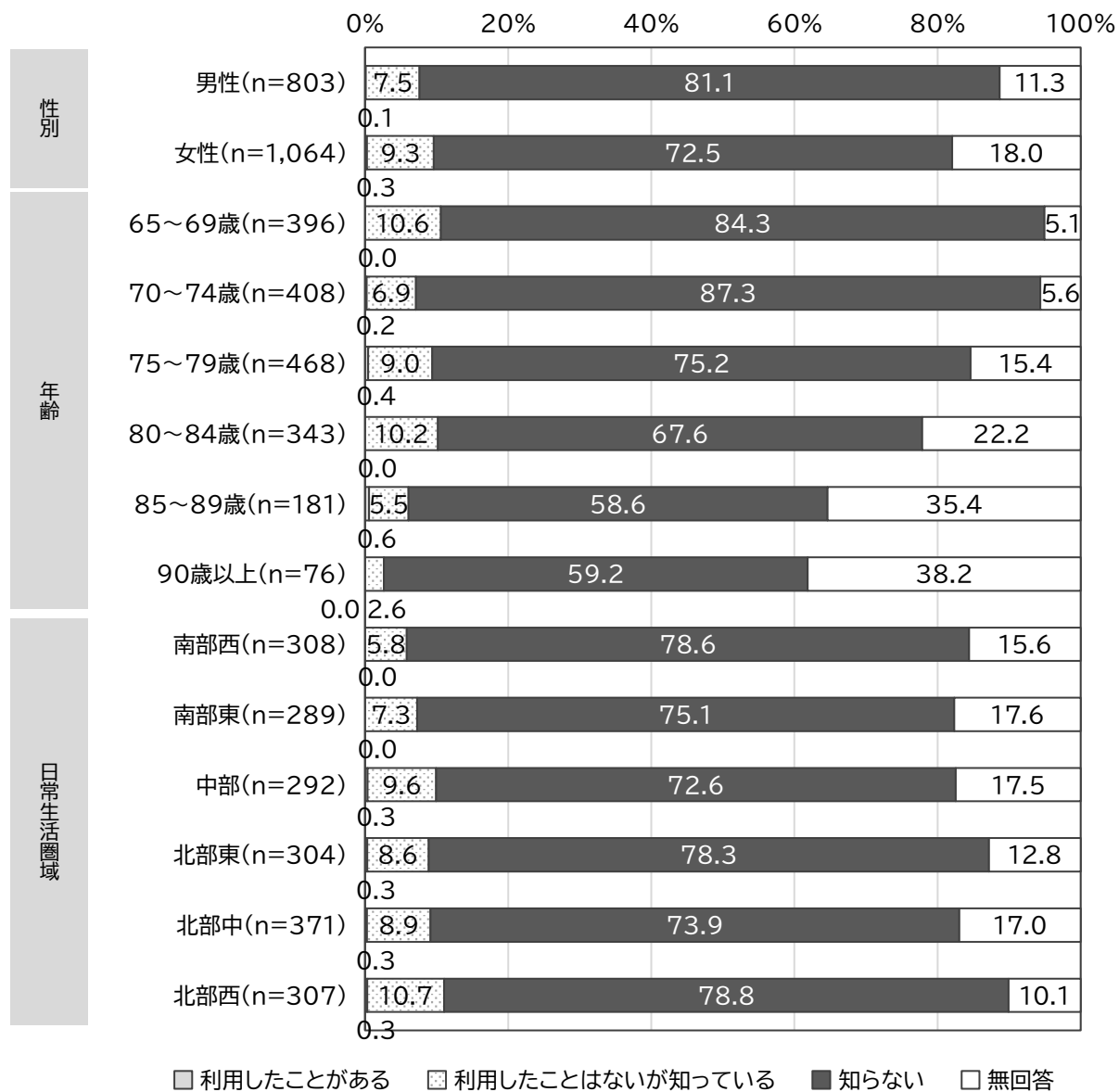
図表 2-11-17 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑬ サロン、認知症カフェ 属性別



問13(2) ⑭ 出張暮らしの保健室

性別でみると、『知っている』では、男性が7.6%、女性が9.6%となっています。
 年齢別でみると、『知っている』では、65～69歳で10.6%と最も高くなっています。
 圏域別でみると、『知っている』では北部西地区で11.0%と最も高くなっています。

図表 2-11-18 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑭ 出張暮らしの保健室 属性別



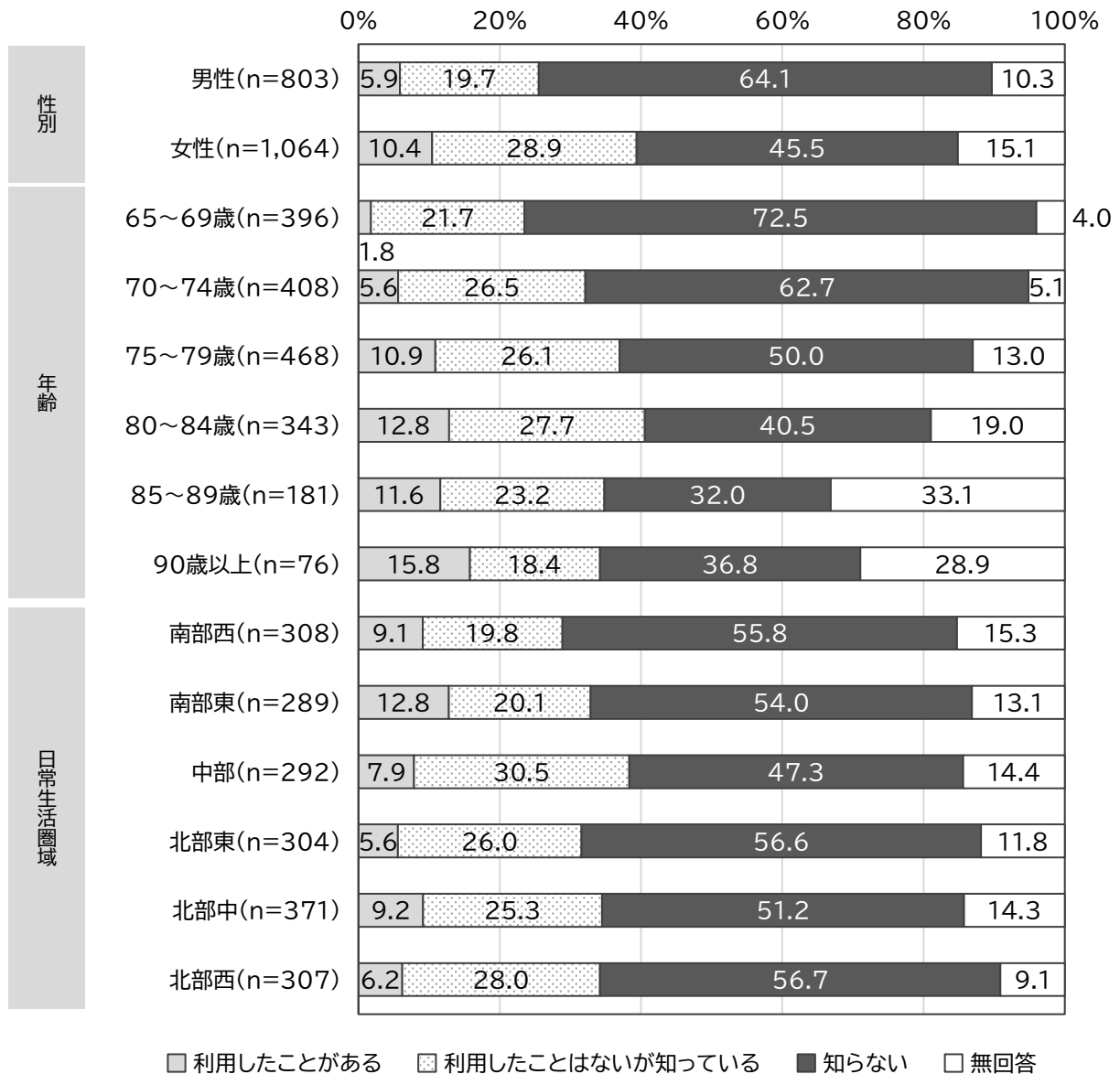
問13(2) ⑮市の旅行助成

性別でみると、『知っている』では、女性が39.3%で、男性(25.6%)より13.7ポイント高くなっています。

年齢別でみると、『知っている』では、80~84歳で40.5%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では中部地区で38.4%と最も高くなっています。

図表2-11-19 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑮市の旅行助成 属性別



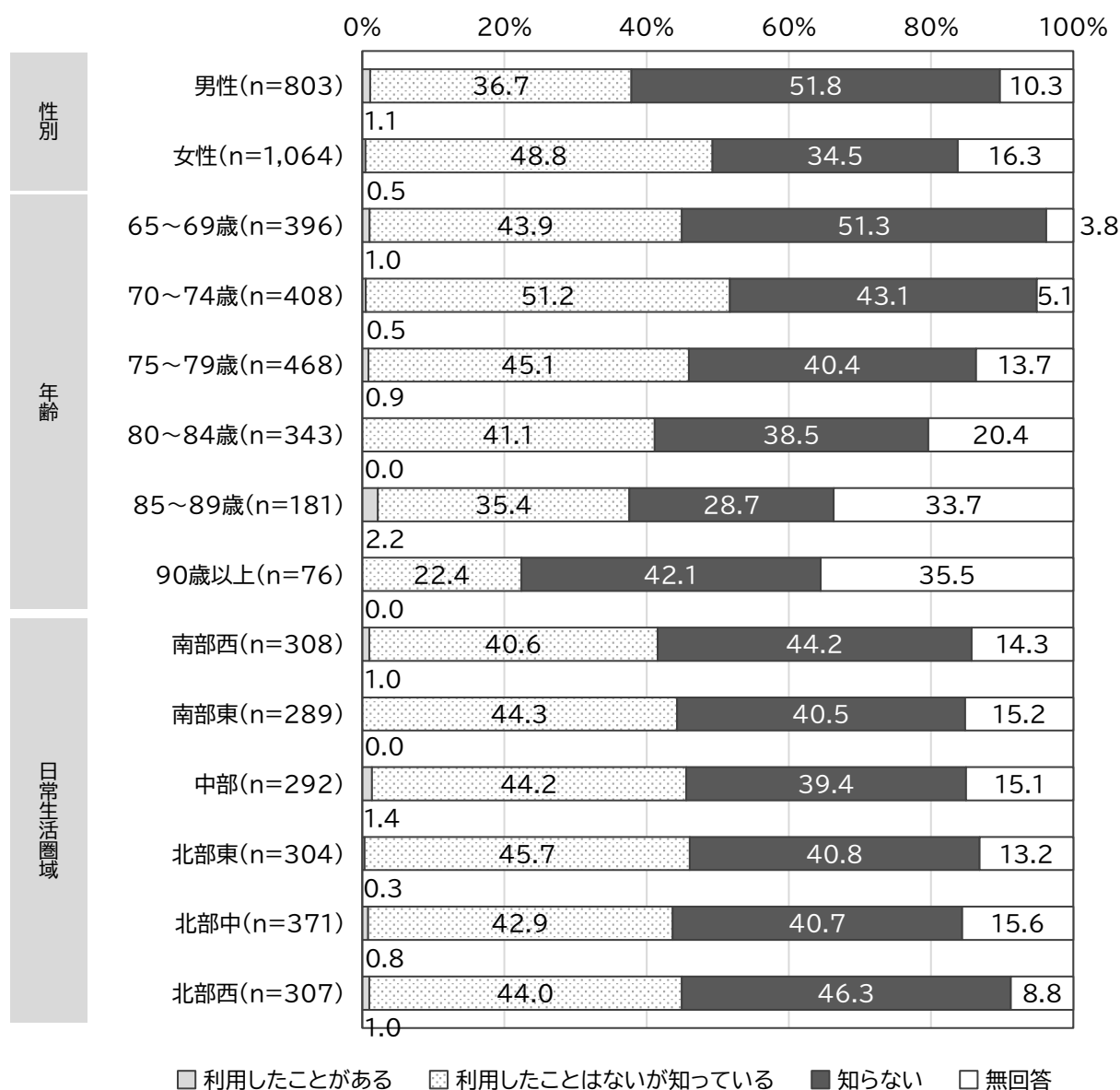
問13(2) ⑯ 成年後見制度

性別でみると、『知っている』では、女性が49.3%で、男性(37.8%)より11.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「利用したことがある」では、85~89歳で2.2%となっており、『知っている』では、70~74歳で51.7%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では北部東地区で46.0%と最も高くなっています。

図表2-11-20 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑯ 成年後見制度 属性別



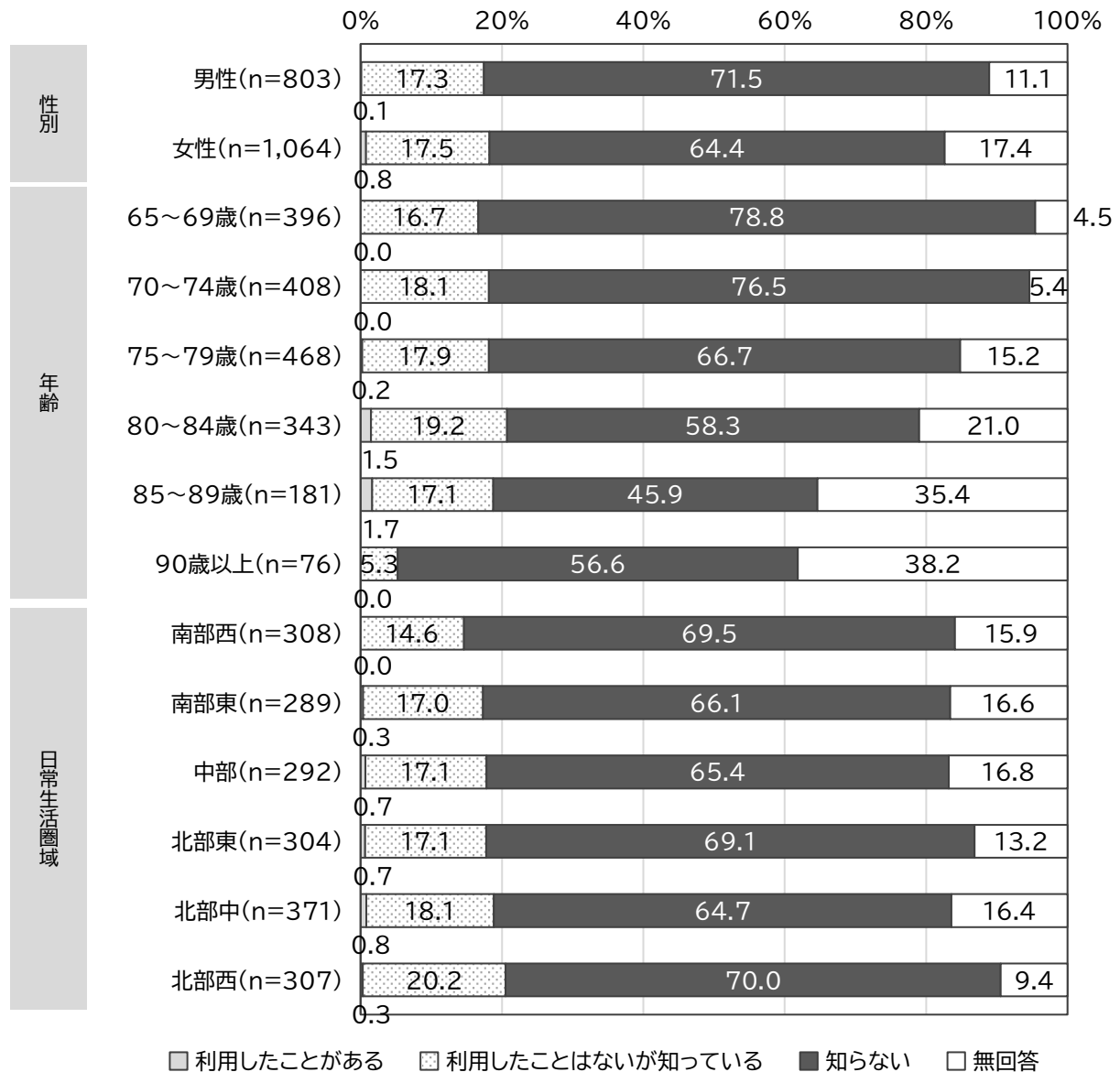
問13(2) ⑰ 居住相談窓口(みんなの住まいサポートたちかわ)

性別でみると、『知っている』では、女性が18.3%で、男性(17.4%)より0.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、『知っている』では、80~84歳で20.7%と最も高くなっています。

圏域別でみると、『知っている』では北部西地区で20.5%と最も高くなっています。

図表2-11-21 施設・サービス等の認知・利用状況 ⑰ 居住相談窓口 属性別

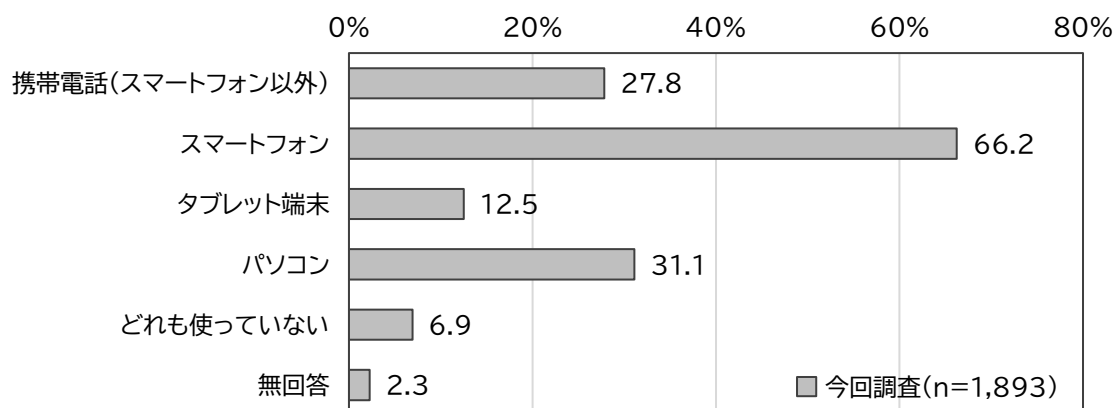


(3) 通信・通話機器の利用状況

問13(3) 通信・通話機器を使っていますか。(○はいくつでも)

通信・通話機器の利用状況については、「スマートフォン」が66.2%と最も高く、次いで「パソコン」が31.1%、「携帯電話(スマートフォン以外)」が27.8%となっており、「どれも使っていない」は6.9%となっています。

図表 2-11-22 通信・通話機器の利用状況 属性別



性別でみると、「スマートフォン」では、男性が70.6%で、女性（63.5%）より7.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、84歳以下では「スマートフォン」が最も高く、85歳以上では「携帯電話（スマートフォン以外）」が最も高くなっています。

圏域別でみると、いずれも「スマートフォン」が最も高く、大きな差はありません。

図表 2-11-23 通信・通話機器の利用状況 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

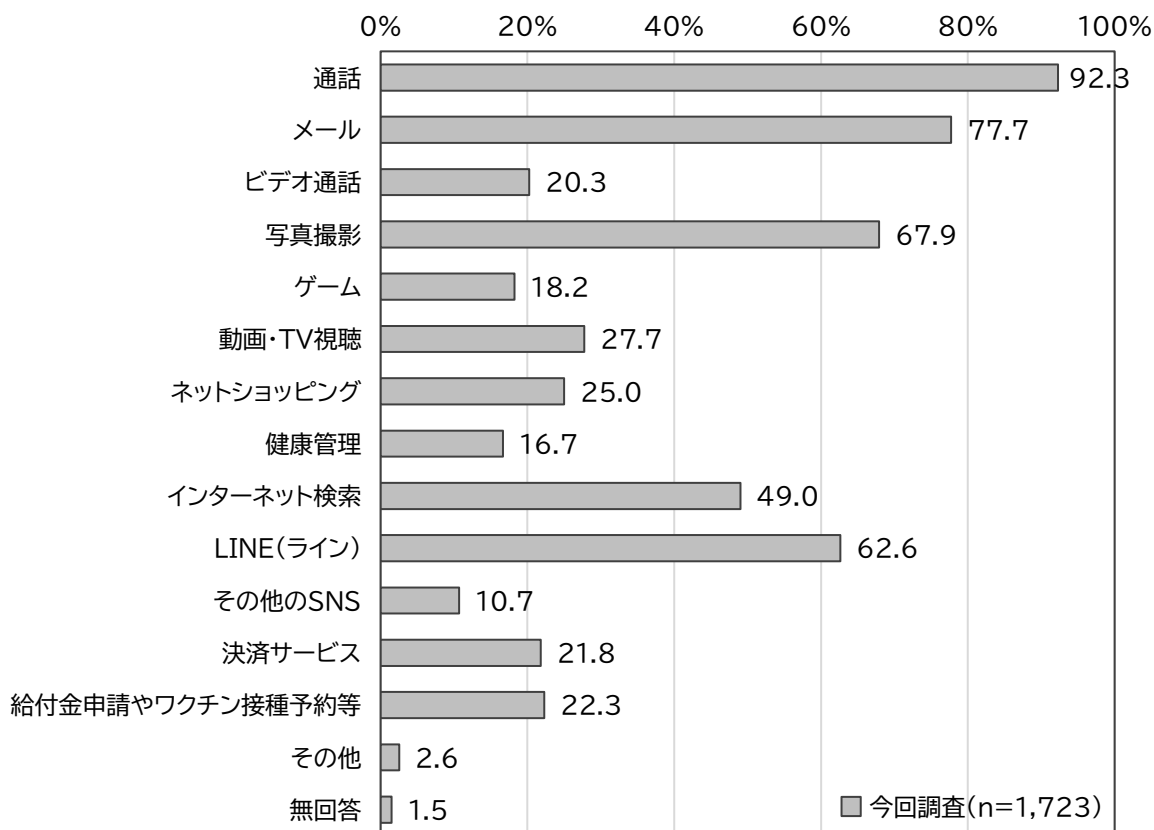
		合計	携帯電話 (スマートフォン以外)	スマートフォン	タブレット端末	パソコン	どれも使っていない	無回答
全体		1,893	27.8	66.2	12.5	31.1	6.9	2.3
性別	男性	803	25.7	70.6	15.3	47.1	6.2	1.6
	女性	1,064	29.4	63.5	10.5	19.6	7.4	2.3
年齢別	65～69歳	396	14.4	86.6	20.5	54.0	1.3	0.5
	70～74歳	408	17.9	80.4	16.7	35.8	2.9	1.5
	75～79歳	468	31.2	66.0	11.5	27.6	5.3	3.0
	80～84歳	343	39.9	52.2	5.8	2-11	7.9	2.0
	85～89歳	181	43.1	34.8	4.4	11.6	23.2	2.8
	90歳以上	76	38.2	30.3	5.3	6.6	23.7	7.9
日常生活圏域別	南部西	308	26.6	64.3	10.4	23.7	11.0	2.3
	南部東	289	26.6	70.2	11.8	36.7	5.5	2.4
	中部	292	27.4	68.5	12.7	31.8	5.8	1.7
	北部東	304	25.3	68.1	10.5	32.2	6.3	2.3
	北部中	371	30.2	64.7	15.1	32.9	6.2	3.0
	北部西	307	30.0	64.2	14.0	30.9	6.5	1.0

(4) 通信・通話機器の利用目的

【問13-(3)で「1」～「4」(通信・通話機器を使用)をお答えになった方におたずねします。】
 ①どのようなことに使用していますか。(〇はいくつでも)

通信・通話機器の利用目的については、「通話」が92.3%と最も高く、次いで「メール」が77.7%、「写真撮影」が67.9%となっています。

図表 2-11-24 通信・通話機器の利用目的



性別でみると、いずれも「通話」が最も高く、大きな差はありません。
 年齢別でみると、いずれも「通話」が最も高く、大きな差はありません。
 圏域別でみると、いずれも「通話」が最も高く、大きな差はありません。

図表 2-11-25 通信・通話機器の利用目的 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	通話	メール	ビデオ通話	写真撮影	ゲーム	聴 動画・TV視	ピン グ ネットシヨ ッ	健康管理
全体		1,723	92.3	77.7	20.3	67.9	18.2	27.7	25.0	16.7
性別	男性	741	91.6	77.5	17.7	61.0	16.5	30.1	30.0	16.2
	女性	963	92.8	77.9	22.2	73.1	19.5	25.6	2-11	16.8
年齢別	65～69歳	389	91.3	90.5	27.5	77.1	28.0	49.4	48.3	25.4
	70～74歳	390	93.6	85.9	28.5	72.3	21.8	29.5	30.5	14.4
	75～79歳	432	94.0	80.1	17.4	67.8	14.4	25.7	18.8	15.7
	80～84歳	310	91.0	66.8	12.6	62.3	15.5	14.2	9.0	14.2
	85～89歳	134	94.0	51.5	9.0	54.5	4.5	6.0	8.2	11.2
	90歳以上	52	80.8	34.6	1.9	34.6	1.9	3.8	0.0	3.8
日常生活圏域別	南部西	267	92.9	74.9	19.1	67.8	15.4	21.0	24.3	15.7
	南部東	266	94.0	82.0	22.6	74.4	21.1	32.3	24.4	18.0
	中部	270	92.6	80.7	22.2	64.4	21.9	29.3	27.8	21.1
	北部東	280	92.5	76.8	20.4	63.9	15.7	26.1	25.4	14.3
	北部中	339	91.4	77.3	19.5	68.4	18.3	27.1	25.4	17.1
	北部西	284	91.2	75.4	18.3	68.0	17.3	30.3	23.2	13.4

		合計	インターネット検索	LINE(ライン)	その他のSNS	決済サービス	種 給付金申請 やワクチン接 予約等	その他	無回答
全体		1,723	49.0	62.6	10.7	21.8	22.3	2.6	1.5
性別	男性	741	58.3	59.0	13.8	25.1	27.3	2.8	0.8
	女性	963	42.0	65.7	8.5	19.4	18.6	2.3	2.0
年齢別	65～69歳	389	74.0	80.7	24.9	42.4	38.3	4.6	0.3
	70～74歳	390	61.0	73.1	10.8	22.8	24.6	2.8	0.5
	75～79歳	432	43.3	60.6	7.4	20.4	21.5	1.2	1.6
	80～84歳	310	30.0	49.7	3.2	9.0	11.3	1.3	3.2
	85～89歳	134	19.4	35.8	2.2	2.2	5.2	2.2	1.5
	90歳以上	52	13.5	17.3	0.0	1.9	3.8	3.8	5.8
日常生活圏域別	南部西	267	46.8	63.7	7.5	16.1	19.5	3.4	1.1
	南部東	266	51.5	65.8	14.3	27.1	20.7	1.1	0.8
	中部	270	51.9	60.4	12.6	25.6	25.2	3.0	1.9
	北部東	280	48.6	61.1	10.4	17.5	21.4	3.9	1.4
	北部中	339	45.7	64.3	10.0	26.5	23.9	0.9	1.2
	北部西	284	51.1	61.6	10.2	18.0	23.2	3.2	2.5

(5) 社会的孤立

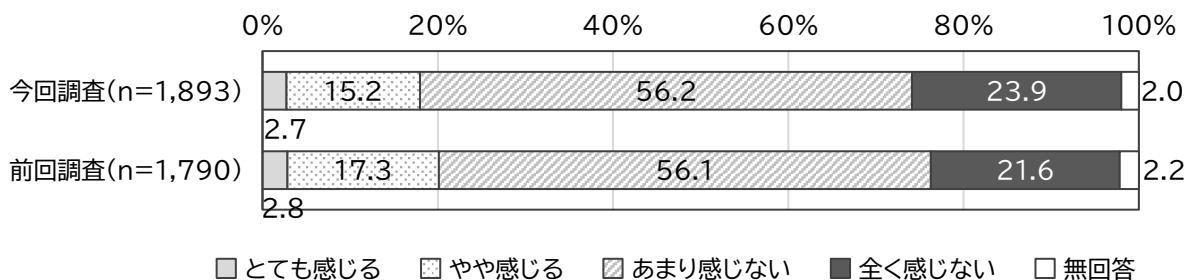
問 13 (4) あなたは、社会的な孤立※を身近に感じますか。(○は1つ)

※社会的な孤立とは、家族や地域社会との交流が客観的にみて著しく乏しい状態のことです。

社会的な孤立を身近に感じるかについては、「あまり感じない」が56.2%と最も高く、次いで「全く感じない」が23.9%、「やや感じる」が15.2%となっています。

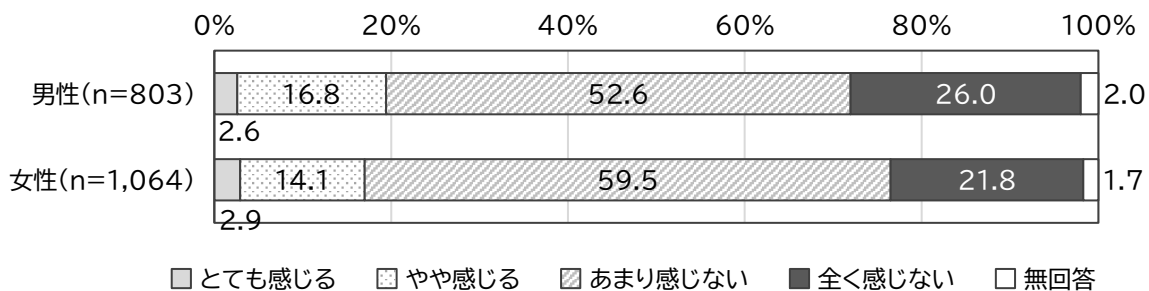
前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 2-11-26 社会的孤立を身近に感じる



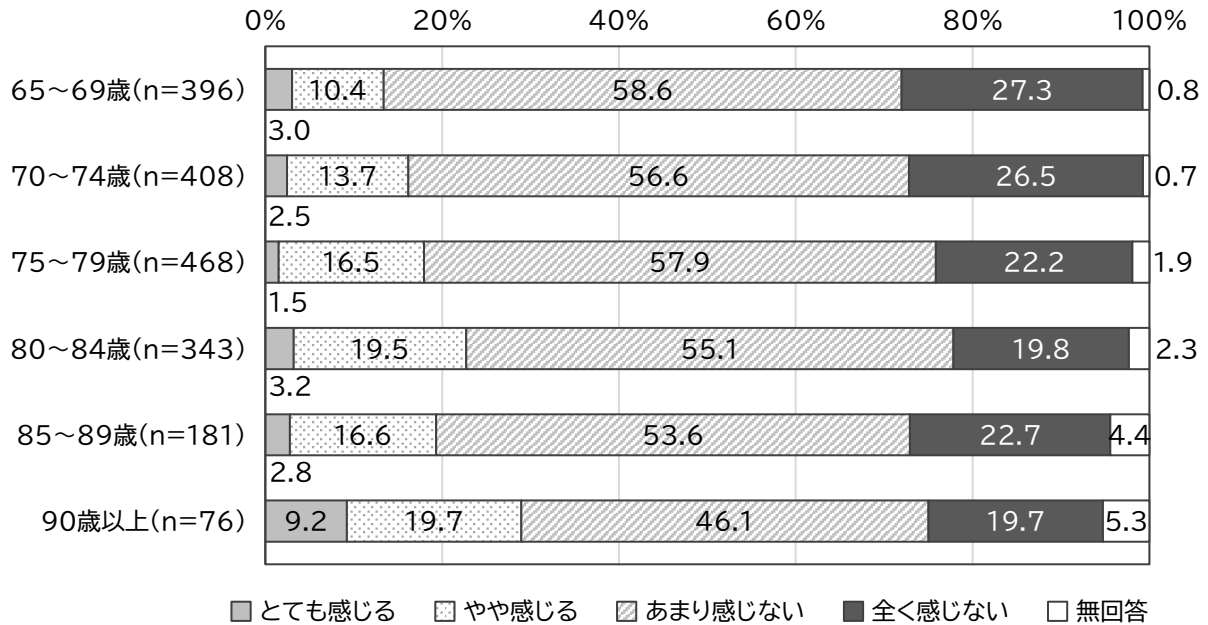
性別でみると、『感じる』(「とても感じる」と「やや感じる」の合計)では、男性が19.4%で、女性(17.0%)より2.4ポイント高くなっています。

図表 2-11-27 社会的孤立を身近に感じる 性別



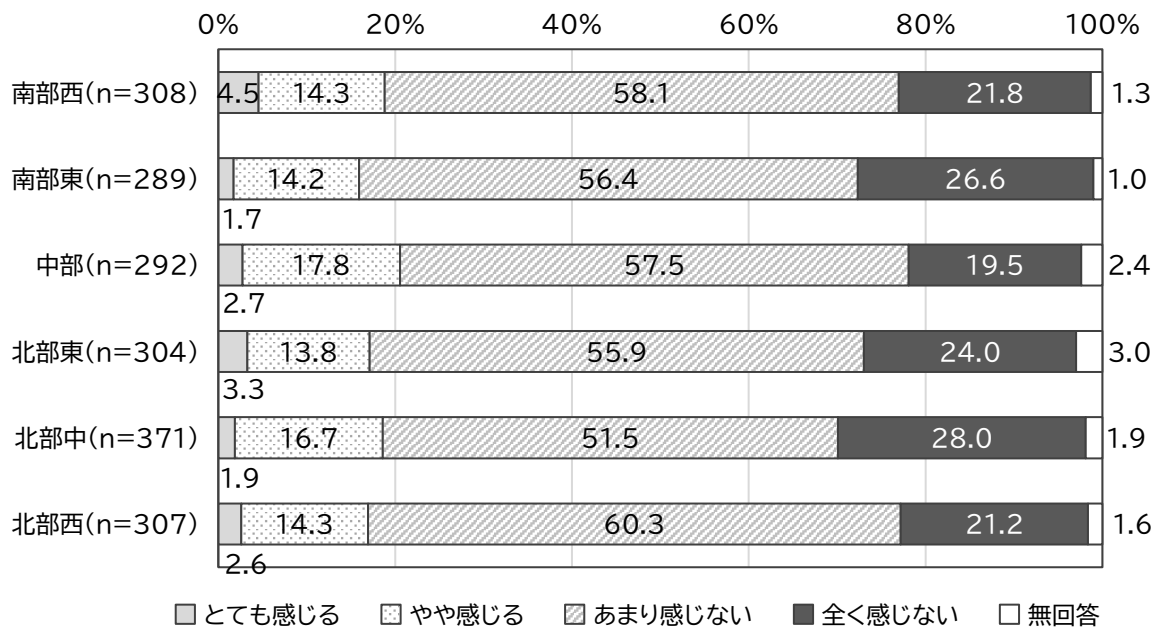
年齢別でみると、『感じる』では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上が28.9%で最も高くなっています。

図表 2-11-28 社会的孤立を身近に感じる 年齢別



圏域別でみると、『感じる』では、中部地区で20.5%と最も高くなっています。

図表 2-11-29 社会的孤立を身近に感じる 圏域別

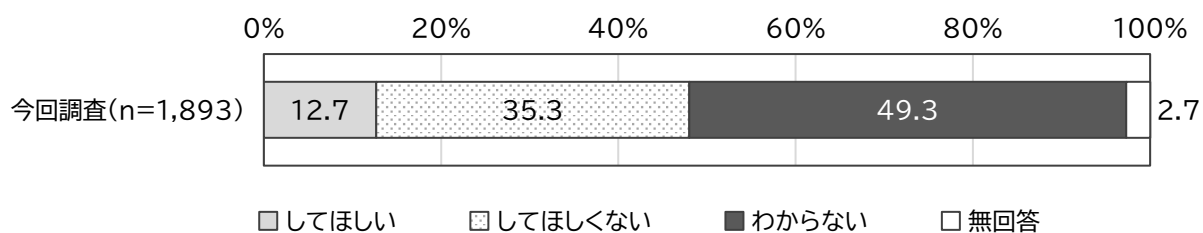


(6) ご近所からの見守り希望

問13(5) あなたは、ご近所の方などから見守りをしてほしいですか。(○は1つ)

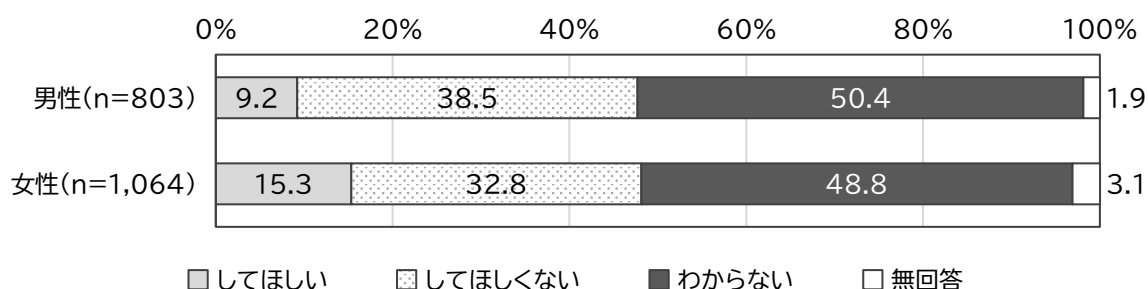
ご近所の方などからの見守りの希望については、「わからない」が49.3%と最も高くなっており、「してほしくない」が35.3%、「してほしい」が12.7%となっています。

図表 2-11-30 ご近所からの見守り希望



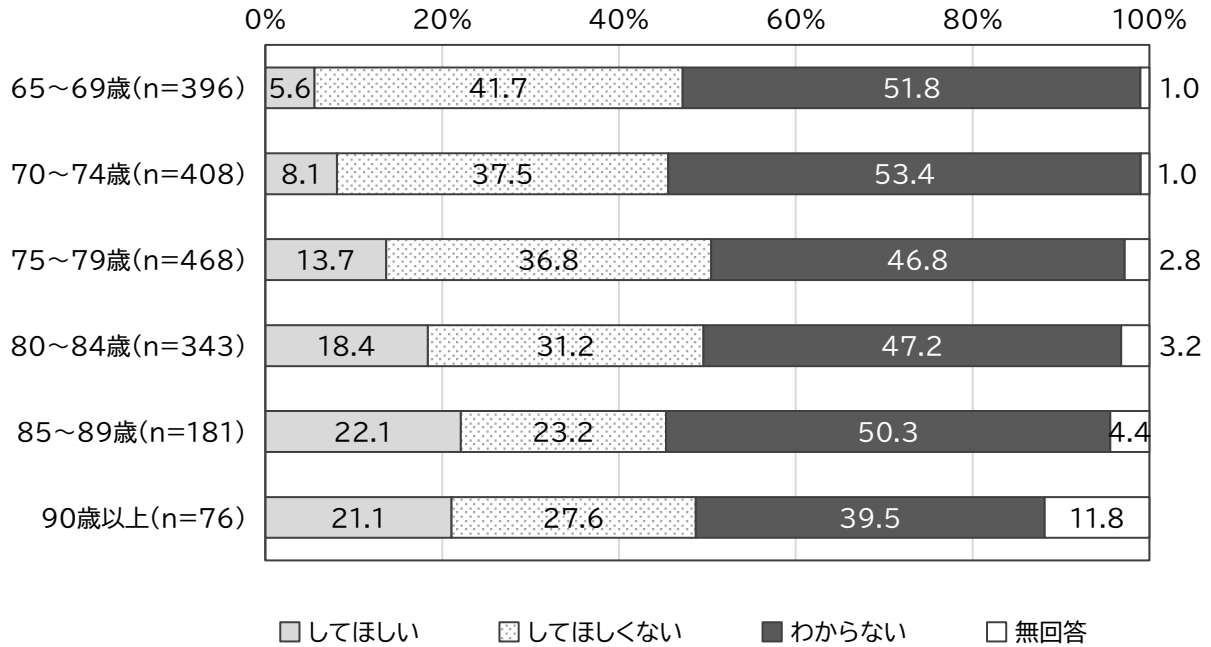
性別でみると、「してほしい」では、女性が15.3%で、男性(9.2%)より6.1ポイント高くなっています。

図表 2-11-31 ご近所からの見守り希望 性別



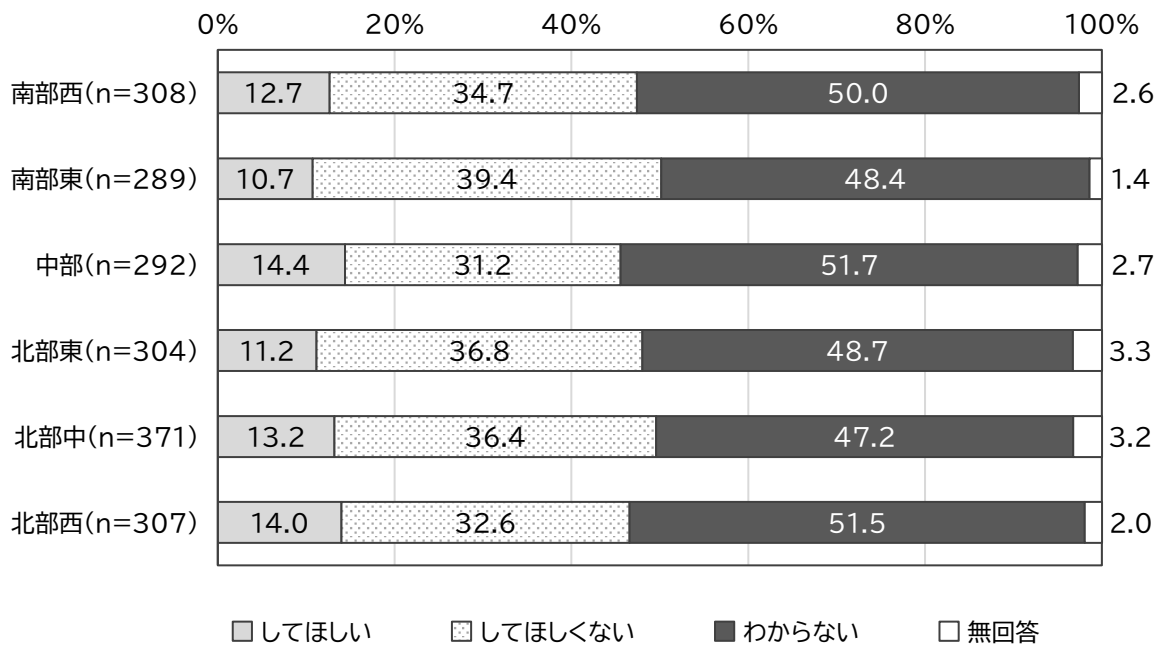
年齢別でみると、「してほしい」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、85～89歳が22.1%で最も高くなっています。

図表 2-11-32 ご近所からの見守り希望 年齢別



圏域別でみると、「してほしい」では、中部地区で14.4%と最も高くなっています。

図表 2-11-33 ご近所からの見守り希望 圏域別



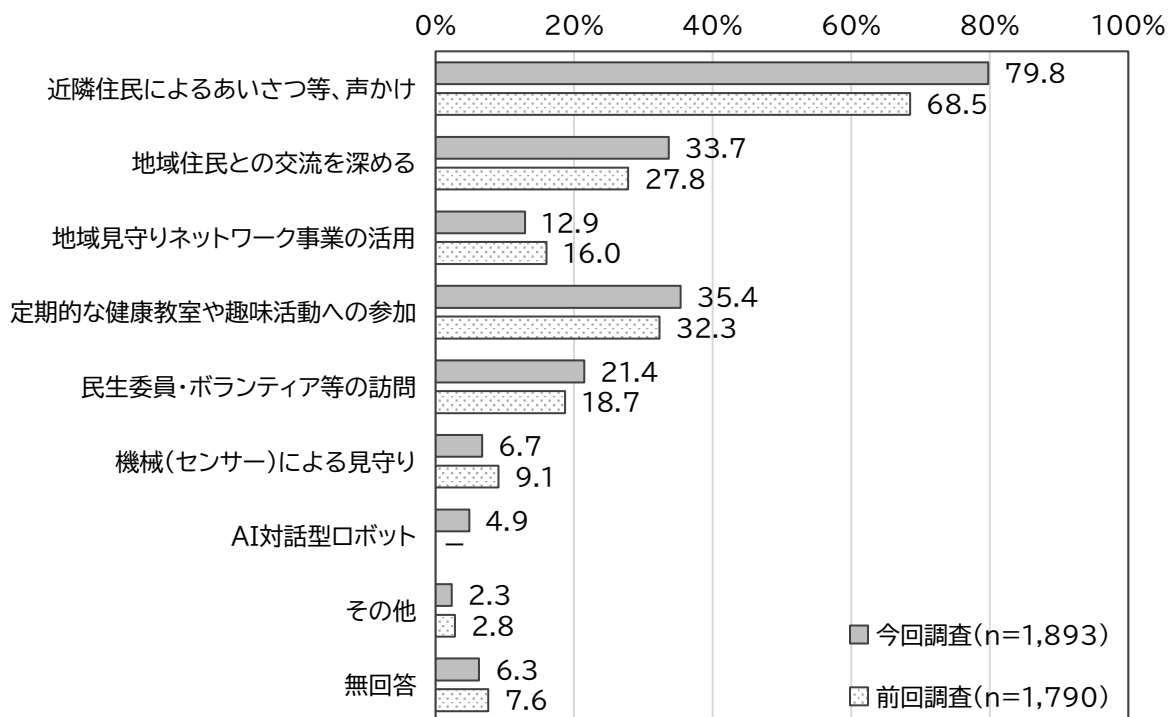
(7) 社会的孤立を防ぐために必要なこと

問 13 (6) 社会的な孤立を防ぐのに必要なことは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

社会的な孤立を防ぐのに必要なことでは、「近隣住民によるあいさつ等、声かけ」が79.8%と最も高く、次いで「定期的な健康教室や趣味活動への参加」が35.4%、「地域住民との交流を深める」が33.7%となっています。

前回調査と比較すると、「地域見守りネットワーク事業の活用」が3.1ポイント減少している一方で、「近隣住民によるあいさつ等、声かけ」が11.3ポイント増加しています。

図表 2-11-34 社会的孤立を防ぐために必要なこと



性別で見ると、「近隣住民によるあいさつ等、声かけ」では、女性が82.7%で、男性（76.7%）より6.0ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、「近隣住民によるあいさつ等、声かけ」では、80～84歳で85.1%と最も高くなっています。

圏域別で見ると、「近隣住民によるあいさつ等、声かけ」では、北部中地区で82.7%と最も高くなっています。

図表 2-11-35 社会的孤立を防ぐために必要なこと 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	近隣住民によるあいさつ等、声かけ	地域住民との交流を深める	地域見守りネットワーク事業の活用	定期的な健康教室や趣味活動への参加	民生委員・ボランティア等の訪問	機械(センサー)による見守り	AI対話型ロボット	その他	無回答
全体		1,893	79.8	33.7	12.9	35.4	21.4	6.7	4.9	2.3	6.3
性別	男性	803	76.7	36.7	14.3	29.6	21.8	7.6	5.6	3.6	6.4
	女性	1,064	82.7	31.9	11.9	40.0	21.5	6.1	4.4	1.3	5.8
年齢別	65～69歳	396	74.2	34.6	18.7	38.4	23.0	8.1	9.6	3.0	4.8
	70～74歳	408	79.9	38.0	17.2	39.0	24.0	7.4	4.2	3.4	3.4
	75～79歳	468	81.6	32.5	9.2	36.1	17.5	6.8	3.8	1.3	6.6
	80～84歳	343	85.1	35.0	10.2	35.3	25.1	6.4	3.2	1.7	6.7
	85～89歳	181	79.0	30.4	7.7	26.0	17.1	4.4	2.8	2.2	9.4
	90歳以上	76	80.3	18.4	7.9	21.1	21.1	3.9	3.9	2.6	13.2
日常生活圏域別	南部西	308	76.3	33.4	11.7	36.0	22.4	5.2	5.5	1.9	8.1
	南部東	289	79.6	37.0	11.4	40.1	22.5	6.9	5.2	1.0	6.2
	中部	292	79.1	33.9	15.4	33.2	21.9	8.6	3.8	2.4	6.5
	北部東	304	79.6	30.6	11.2	29.6	17.1	6.3	4.3	2.3	6.9
	北部中	371	82.7	31.3	11.6	36.7	20.8	8.6	6.7	2.4	4.9
	北部西	307	82.1	37.8	16.6	37.1	25.4	4.9	3.6	3.6	4.2

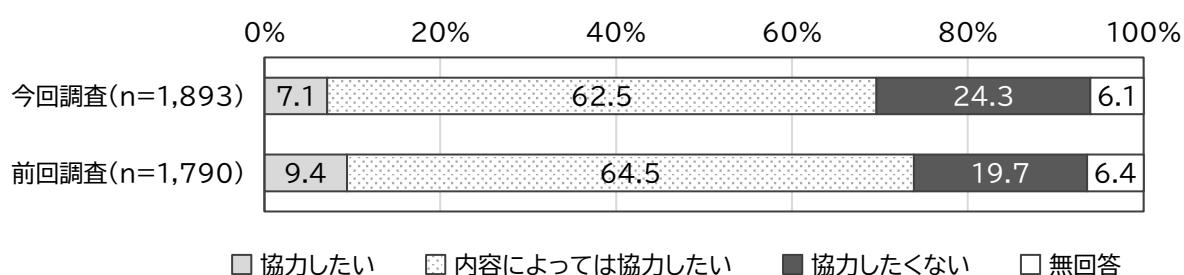
(8) 見守りボランティアへの協力意向

問 13 (7) あなたにご近所の方を見守る、見守りボランティアを頼んだら協力していただけますか。
(〇は1つ)

見守りボランティアへの協力については、「内容によっては協力したい」が62.5%と最も高く、次いで「協力したくない」が24.3%、「協力したい」が7.1%となっています。

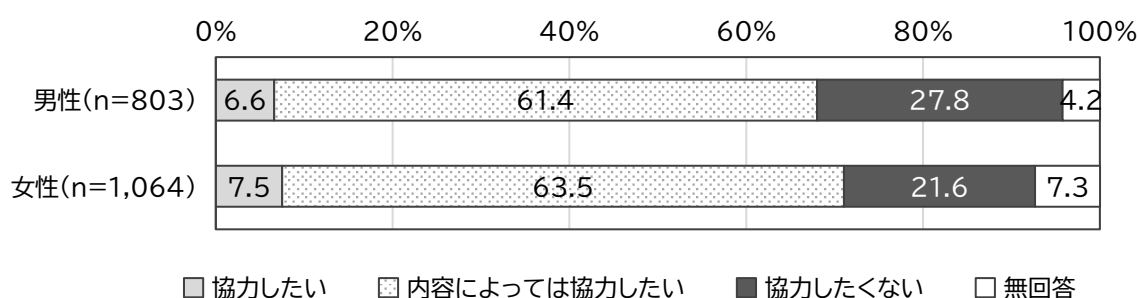
前回調査と比較すると、『協力したい』（「協力したい」と「内容によっては協力したい」の合計）（69.6%）では、前回調査（73.9%）より4.3ポイント減少しています。

図表 2-11-36 見守りボランティアへの協力意向



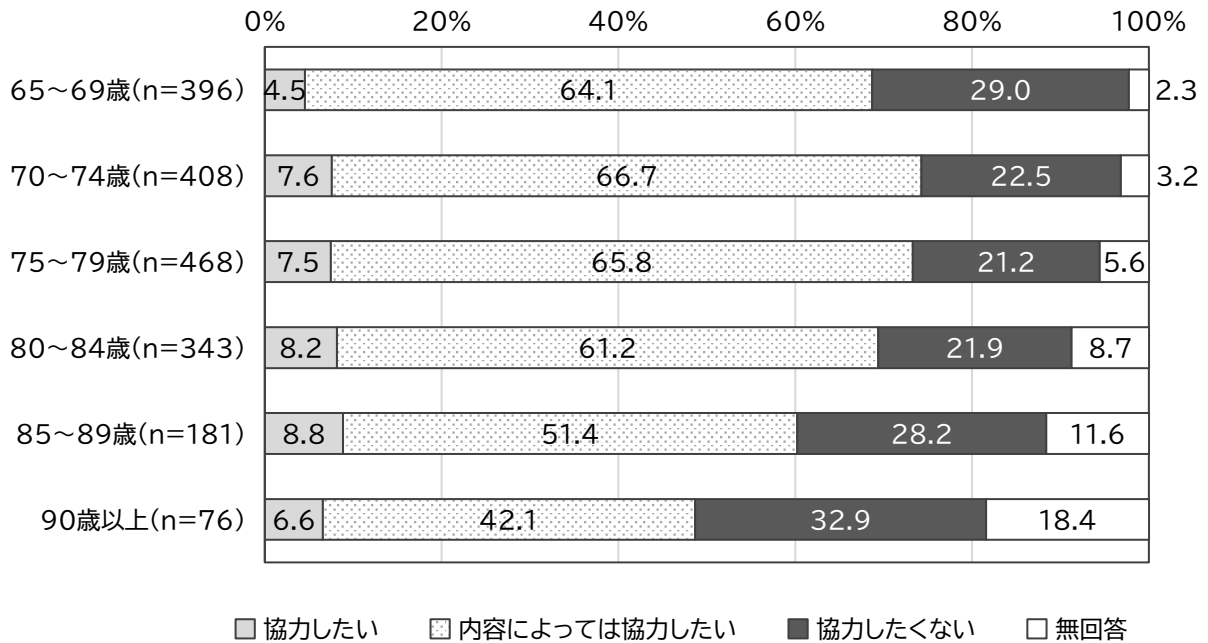
性別でみると、『協力したい』では、女性が71.0%で、男性（68.0%）より3.0ポイント高くなっています。

図表 2-11-37 見守りボランティアへの協力意向 性別



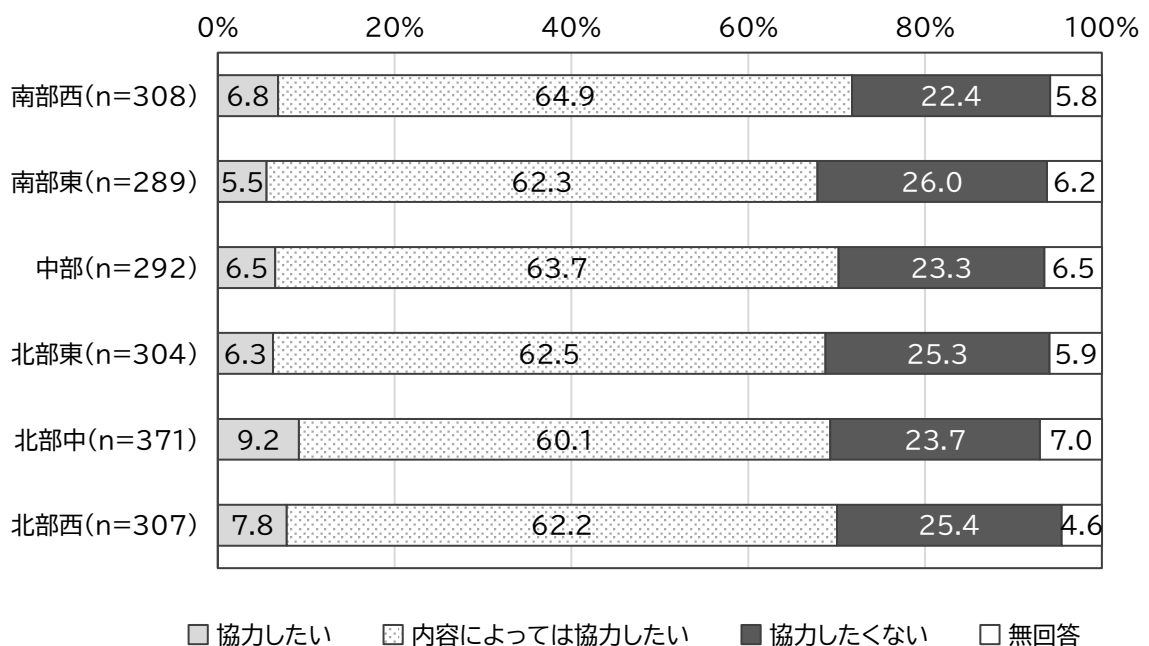
年齢別でみると、『協力したい』では、70歳以降で年齢が上がるにつれて割合が減少しており、70～79歳が74.3%で最も高くなっています。

図表 2-11-38 見守りボランティアへの協力意向 年齢別



圏域別でみると、『協力したい』では、南部西地区で71.7%と最も高くなっています。

図表 2-11-39 見守りボランティアへの協力意向 圏域別



12. 今後の暮らしについて

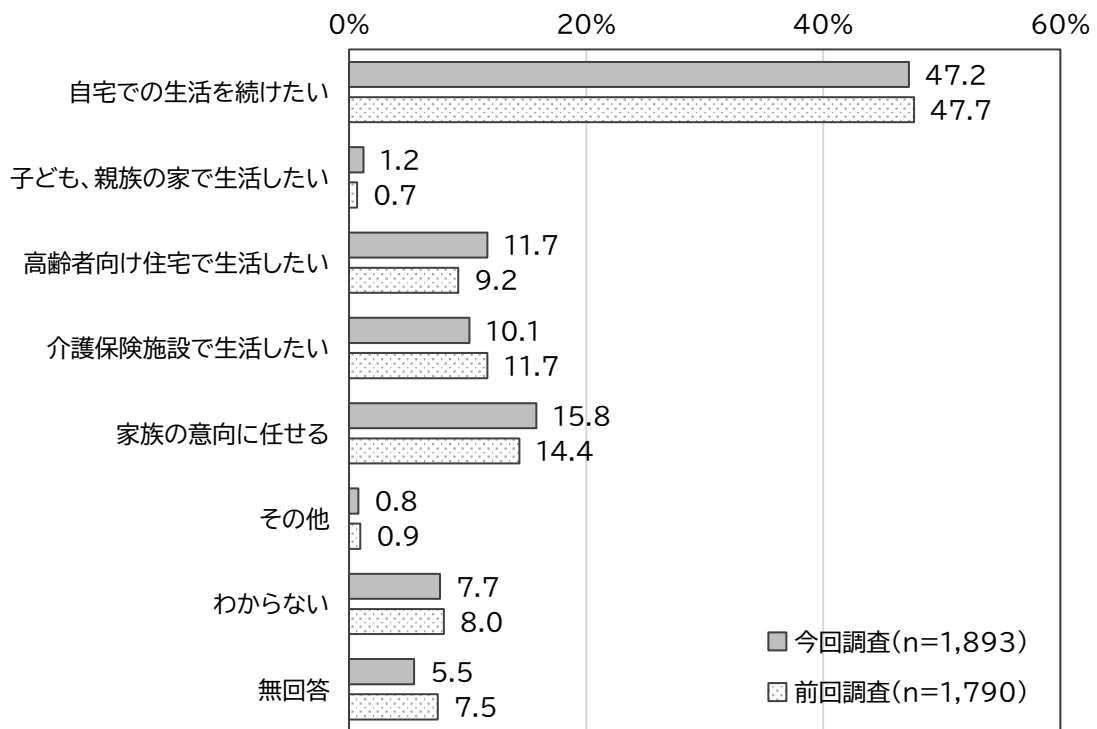
(1) 介護が必要になった時に希望する生活

問14 (1) 介護が必要になったときの生活について、ご希望に最も近いものはどれですか。
(〇は1つ)

介護が必要になったときの生活については、「自宅での生活を続けたい」が47.2%と最も高く、次いで「家族の意向に任せる」が15.8%、「高齢者向け住宅で生活したい」が11.7%となっています。

前回調査と比較すると、「介護保険施設で生活したい」(10.1%)が前回調査(11.7%)より1.6ポイント減少している一方で、「高齢者向け住宅で生活したい」(11.7%)が前回調査(9.2%)より2.5ポイント、「家族の意向に任せる」(15.8%)が前回調査(14.4%)より1.4ポイント増加しています。

図表 2-12-1 介護が必要になった時に希望する生活



性別でみると、いずれも「自宅での生活を続けたい」が最も高く、大きな差はありません。

年齢別でみると、いずれも「自宅での生活を続けたい」が最も高く、90歳以上で53.9%と最も高くなっています。

圏域別でみると、いずれも「自宅での生活を続けたい」が最も高くなっています。

図表 2-12-2 介護が必要になった時に希望する生活 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	自宅での生活を続けたい	子ども、親族の家で生活したい	高齢者向け住宅で生活したい	介護保険施設で生活したい	家族の意向に任せる	その他	わからない	無回答
全体		1,893	47.2	1.2	11.7	10.1	15.8	0.8	7.7	5.5
性別	男性	803	46.7	1.2	12.7	10.3	15.1	0.6	8.8	4.5
	女性	1,064	47.5	1.2	11.1	10.0	16.4	0.9	6.8	6.1
年齢別	65～69歳	396	43.7	0.0	12.4	10.1	15.9	1.3	12.1	4.5
	70～74歳	408	47.1	0.7	14.0	10.8	16.2	0.7	7.1	3.4
	75～79歳	468	47.4	1.9	10.3	11.8	16.2	0.4	7.7	4.3
	80～84歳	343	48.4	0.3	11.4	9.0	14.3	1.5	5.5	9.6
	85～89歳	181	49.2	3.3	12.2	7.2	16.0	0.0	6.6	5.5
	90歳以上	76	53.9	5.3	6.6	9.2	15.8	0.0	0.0	9.2
日常生活圏域別	南部西	308	50.6	1.3	9.4	10.4	12.0	1.0	10.1	5.2
	南部東	289	46.7	0.7	13.8	7.6	14.2	1.0	9.3	6.6
	中部	292	38.0	1.4	15.1	12.7	19.2	0.0	7.5	6.2
	北部東	304	50.7	0.7	10.5	9.9	16.8	1.3	4.9	5.3
	北部中	371	46.6	1.9	13.5	10.0	17.0	0.3	5.4	5.4
	北部西	307	50.5	1.3	7.8	10.1	15.6	1.3	9.1	4.2

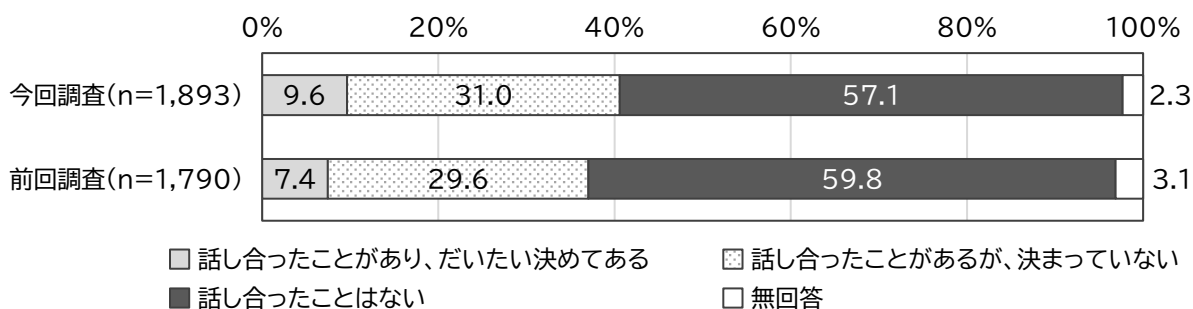
(2) 介護が必要になった生活について家族等と話し合った経験

問 14 (2) 介護が必要になったときの生活について、ご家族やご親族と話し合ったことはありますか。(〇は1つ)

介護が必要になったときの生活について、家族や親族と話し合った経験については、「話し合ったことはない」が57.1%と最も高く、次いで「話し合ったことがあるが、決まっていない」が31.0%、「話し合ったことがあり、だいたい決めてある」が9.6%となっています。

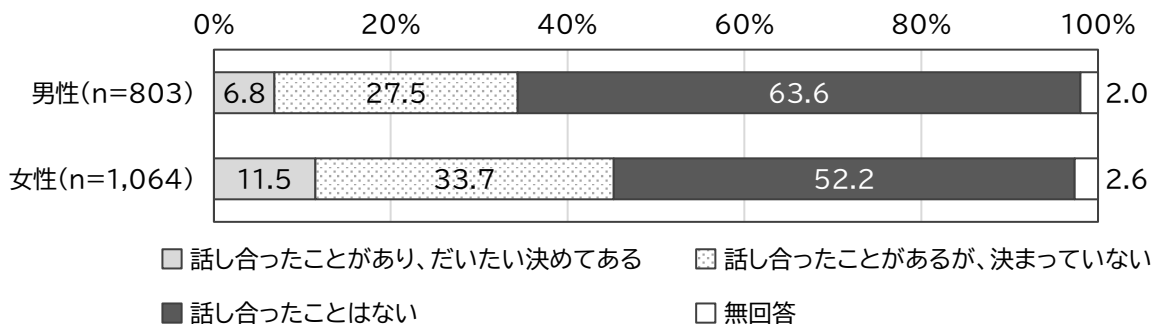
前回調査と比較すると、『話し合ったことがある』(「話し合ったことがあり、だいたい決めてある」と「話し合ったことがあるが、決まっていない」の合計) (40.6%) が前回調査 (37.0%) より 3.6ポイント増加しています。

図表 2-12-3 介護が必要になった生活について家族等と話し合った経験



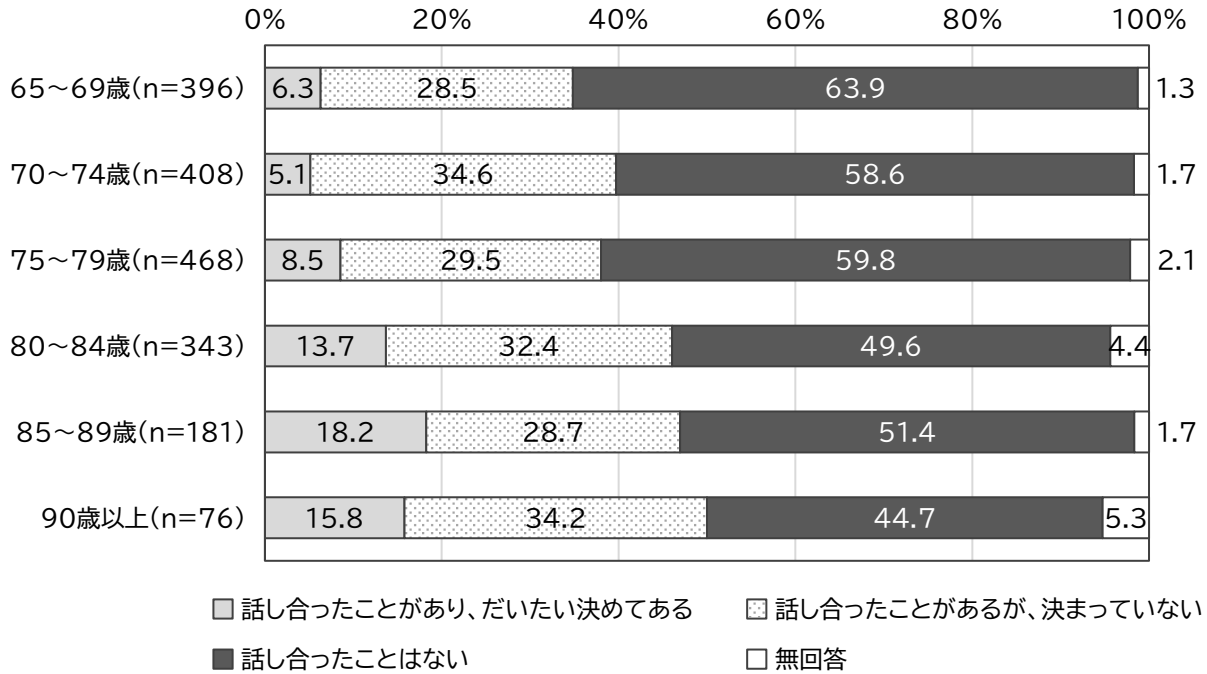
性別でみると、『話し合ったことがある』では、女性が45.2%で、男性(34.3%)より10.9ポイント高くなっています。

図表 2-12-4 介護が必要になった生活について家族等と話し合った経験 性別



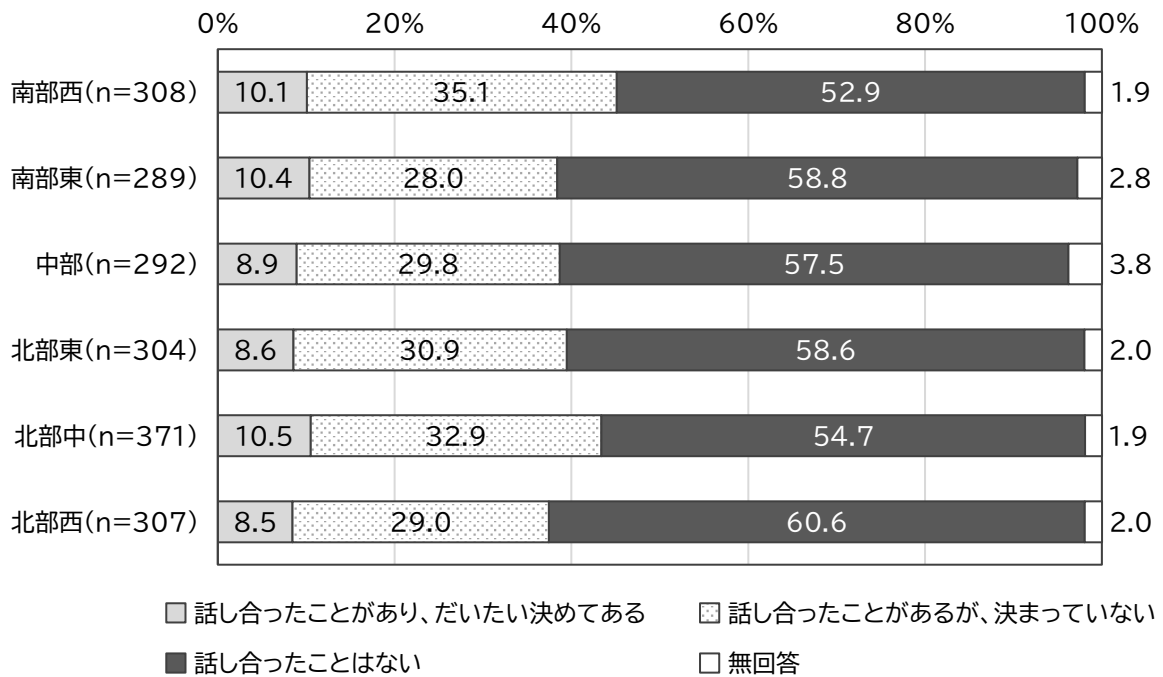
年齢別でみると、『話し合ったことがある』では、概ね年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上が50.0%で最も高くなっています。

図表 2-12-5 介護が必要になった生活について家族等と話し合った経験 年齢別



圏域別でみると、『話し合ったことがある』では、南部西地区で45.2%と最も高くなっています。

図表 2-12-6 介護が必要になった生活について家族等と話し合った経験 圏域別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

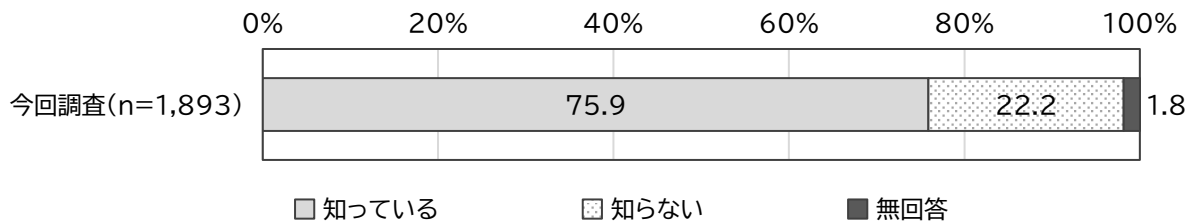
(3) エンディングノートの認知状況

問 14 (3) エンディングノート※を知っていますか。(○は1つ)

※エンディングノートとは、自分自身に何かあったときに備えて、ご家族が様々な判断や手続を進める際に必要な情報を残すためのノートです。また、これまでの人生を振り返り、これからの人生を考えるきっかけ作りにもなるものです。

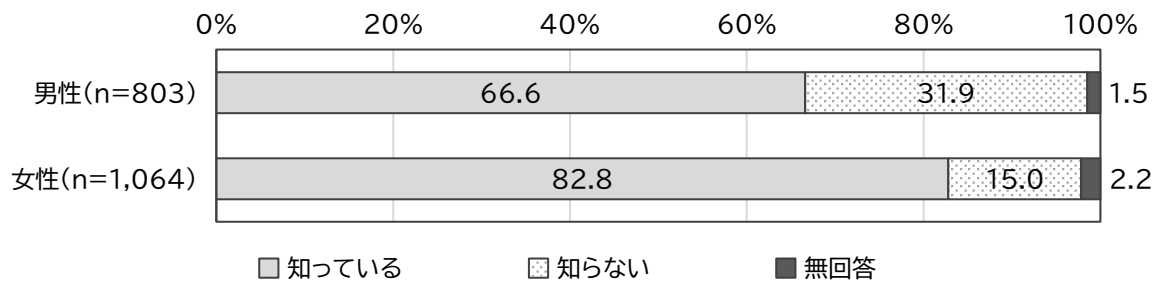
エンディングノートの認知状況について、「知っている」が75.9%、「知らない」が22.2%となっています。

図表 2-12-7 エンディングノートの認知状況



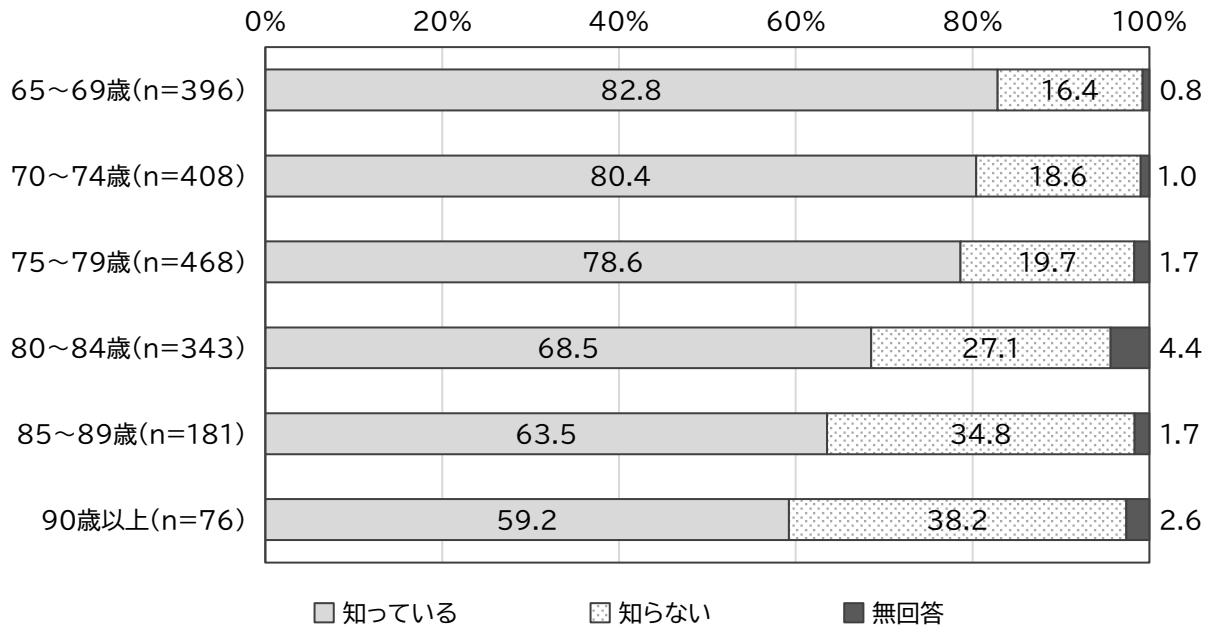
性別で見ると、「知っている」では、女性が82.8%で、男性(66.6%)より16.2ポイント高くなっています。

図表 2-12-8 エンディングノートの認知状況 性別



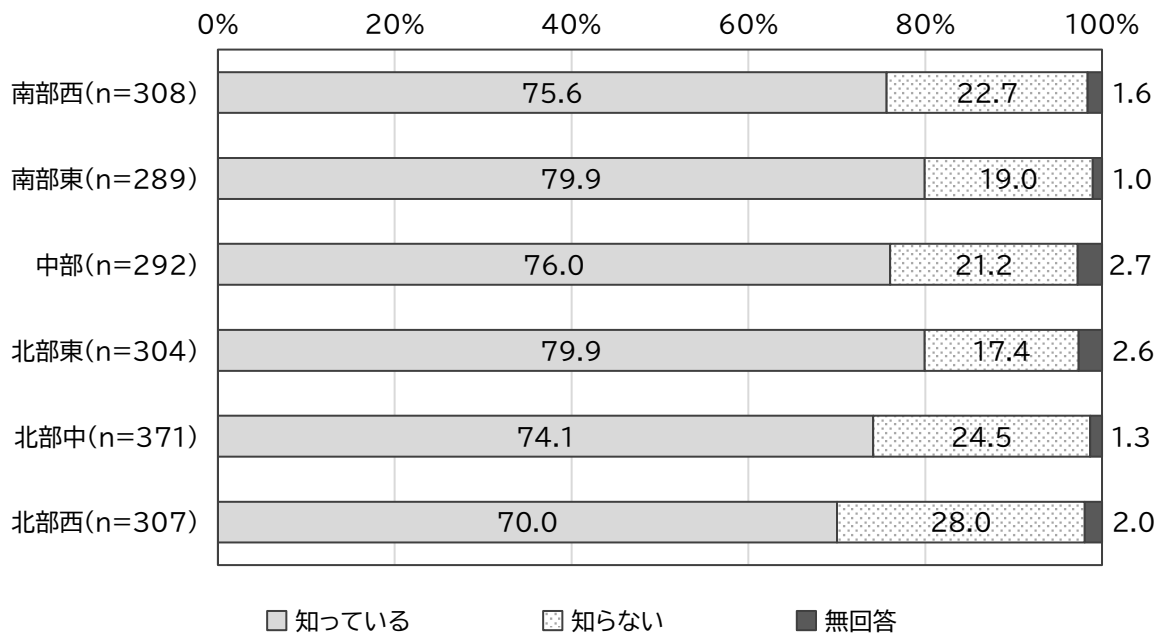
年齢別で見ると、「知っている」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が82.8%で最も高くなっています。

図表 2-12-9 エンディングノートの認知状況 年齢別



圏域別で見ると、「知っている」では、南部東地区で79.9%と最も高くなっています。

図表 2-12-10 エンディングノートの認知状況 圏域別



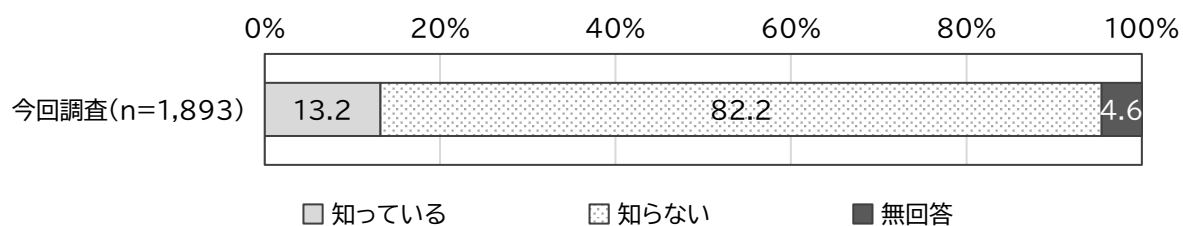
(4) ACPの認知状況

問14 (4) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) ※を知っていますか。(○は1つ)

※ACP (アドバンス・ケア・プランニング) とは、もしものときのために、自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。愛称「人生会議」。

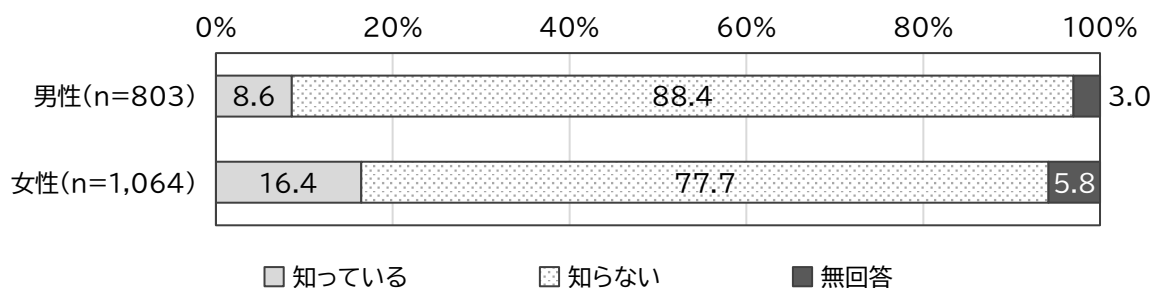
ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の認知状況では、「知っている」が13.2%、「知らない」が82.2%となっています。

図表 2-12-11 ACPの認知状況



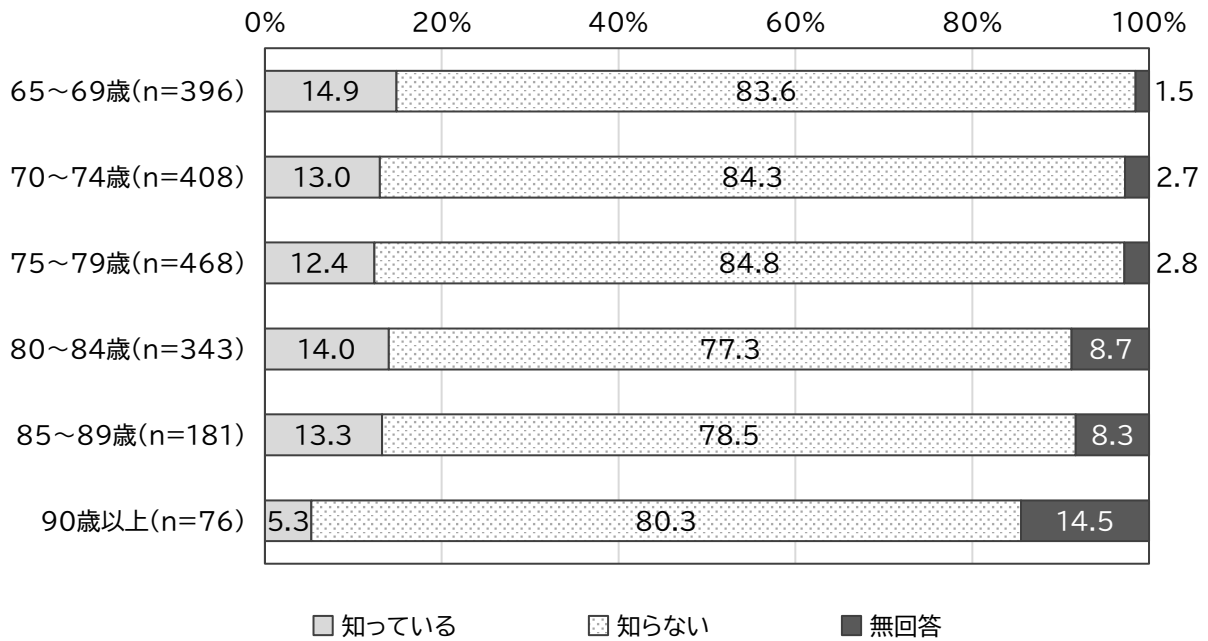
性別で見ると、「知っている」では、女性が16.4%で、男性(8.6%)より7.8ポイント高くなっています。

図表 2-12-12 ACPの認知状況 性別



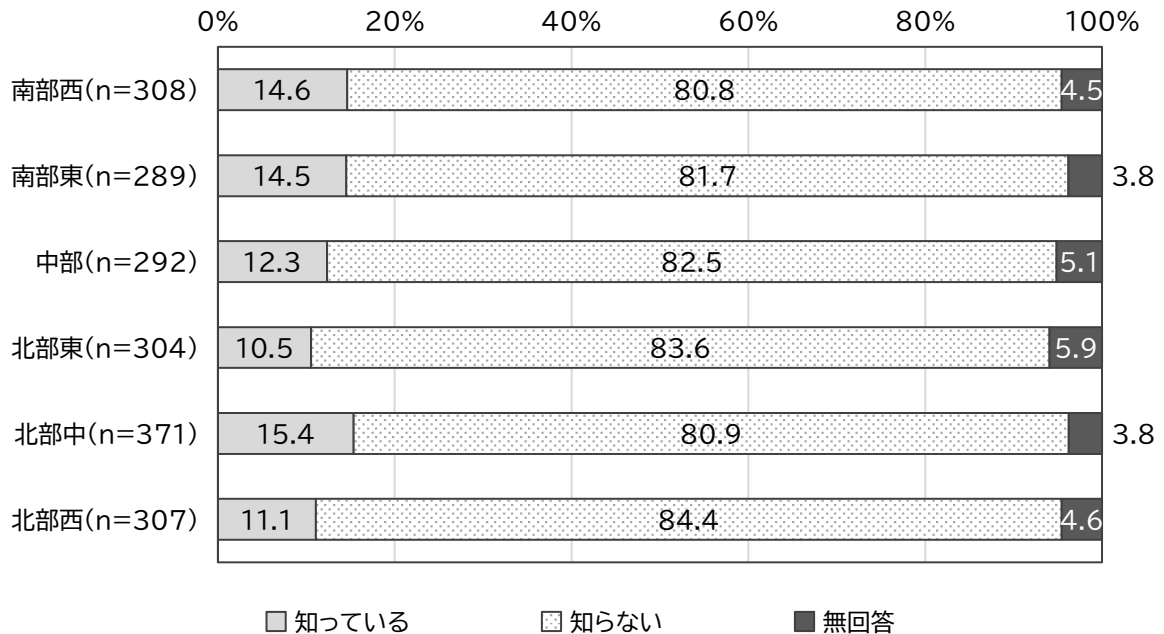
年齢別でみると、「知っている」では、65～69歳が14.9%で最も高くなっています。

図表 2-12-13 ACPの認知状況 年齢別



圏域別でみると、「知っている」では、北部中地区が15.4%と最も高くなっています。

図表 2-12-14 ACPの認知状況 圏域別



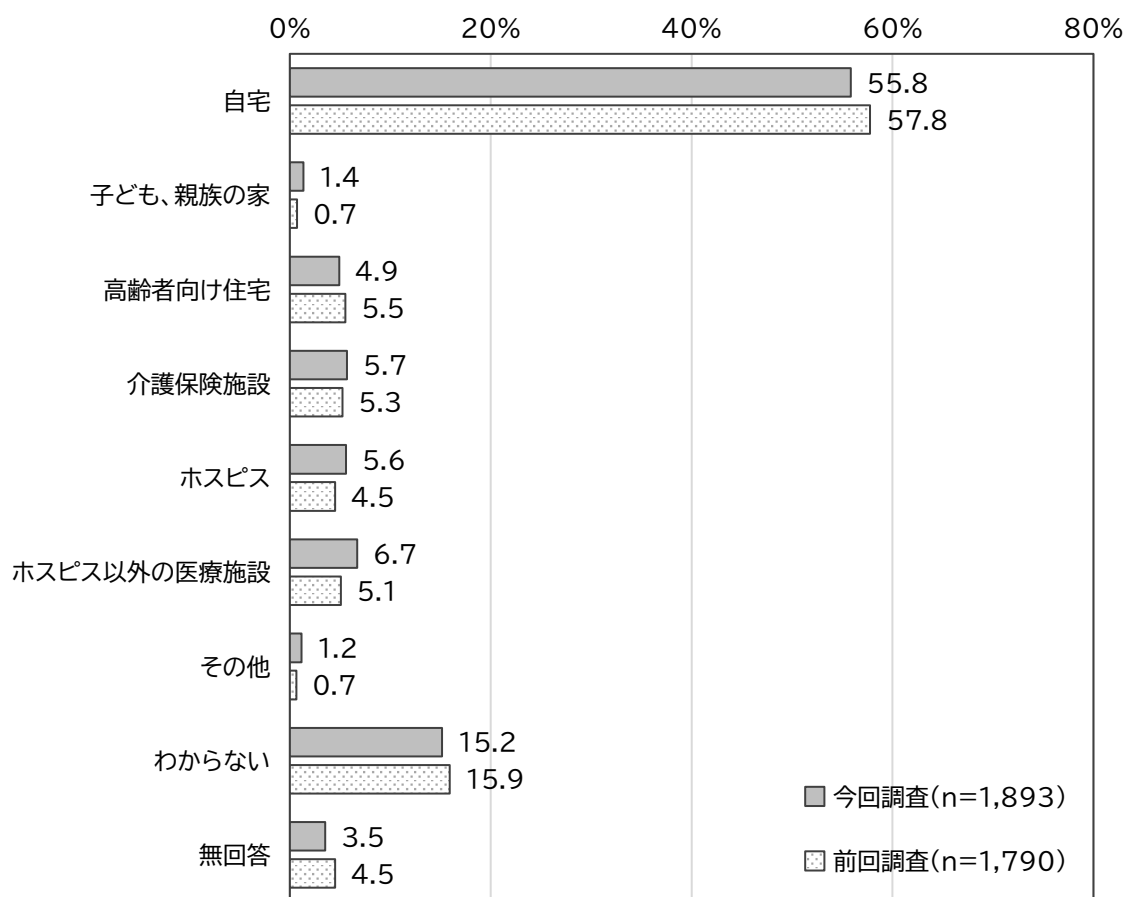
(5) 人生の最後を迎えたい場所

問14(5) あなたが人生の最後を迎えたい場所として、ご希望に最も近いものはどれですか。
(○は1つ)

人生の最後を迎えたい場所については、「自宅」が55.8%と最も高く、次いで「わからない」が15.2%、「ホスピス以外の医療施設」が6.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 2-12-15 人生の最後を迎えたい場所



性別でみると、「自宅」では、男性が60.1%で、女性（52.3%）より7.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「自宅」では、80～84歳が61.8%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「自宅」では、北部西地区が60.3%と最も高くなっています。

図表 2-12-16 人生の最後を迎えたい場所 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	自宅	子ども、 親族の家	高齢者向け住宅	介護保険施設	ホスピス	施設 ホスピス以外の医療	その他	わからない	無回答
全体		1,893	55.8	1.4	4.9	5.7	5.6	6.7	1.2	15.2	3.5
性別	男性	803	60.1	1.0	4.4	5.1	3.4	6.5	1.6	15.4	2.5
	女性	1,064	52.3	1.6	5.5	6.2	7.1	7.0	0.8	15.1	4.4
年齢別	65～69歳	396	50.3	0.5	6.1	5.1	6.8	6.3	2.0	21.5	1.5
	70～74歳	408	54.4	0.2	4.9	4.7	7.4	6.9	1.7	16.9	2.9
	75～79歳	468	55.1	1.1	4.1	8.5	4.9	6.2	1.1	14.7	4.3
	80～84歳	343	61.8	1.7	4.4	5.2	5.5	6.4	0.6	10.5	3.8
	85～89歳	181	60.2	3.9	7.2	2.8	2.2	6.6	0.0	11.6	5.5
	90歳以上	76	56.6	5.3	2.6	6.6	1.3	13.2	0.0	6.6	7.9
日常生活圏域別	南部西	308	53.9	1.9	3.2	5.2	5.8	7.1	0.6	16.9	5.2
	南部東	289	55.7	0.7	7.3	5.9	6.6	4.2	1.4	15.2	3.1
	中部	292	49.3	1.7	6.8	6.5	6.2	7.9	1.4	17.5	2.7
	北部東	304	56.9	1.0	5.9	4.9	3.9	8.6	1.0	14.1	3.6
	北部中	371	57.7	1.6	5.1	6.5	5.9	6.2	1.1	12.1	3.8
	北部西	307	60.3	1.0	1.6	4.9	4.9	6.5	1.6	16.3	2.9

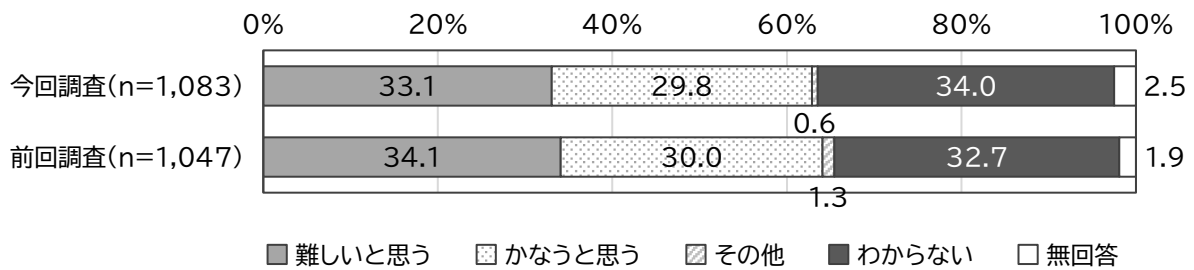
(6) 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うか

【問 14-(5)で「1. 自宅」「2. 子ども、親族の家」とお答えになった方におたずねします。】
 ①あなたの希望はかなうと思いますか。(○は1つ)

人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うかについて、「わからない」が34.0%と最も高く、次いで「難しいと思う」が33.1%、「かなうと思う」が29.8%となっています。

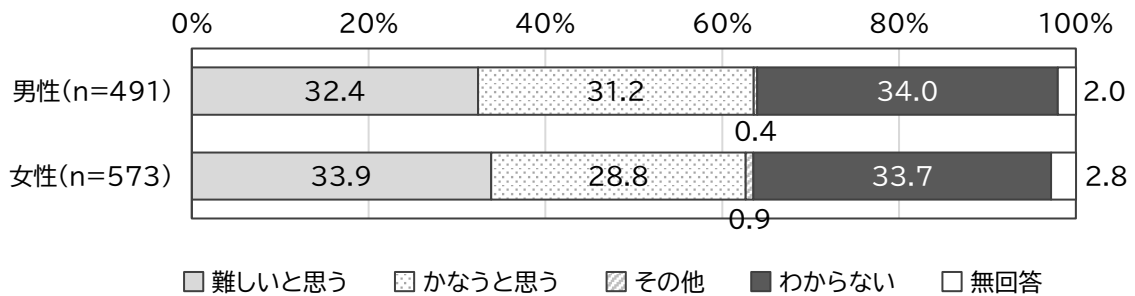
前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 2-12-17 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うか



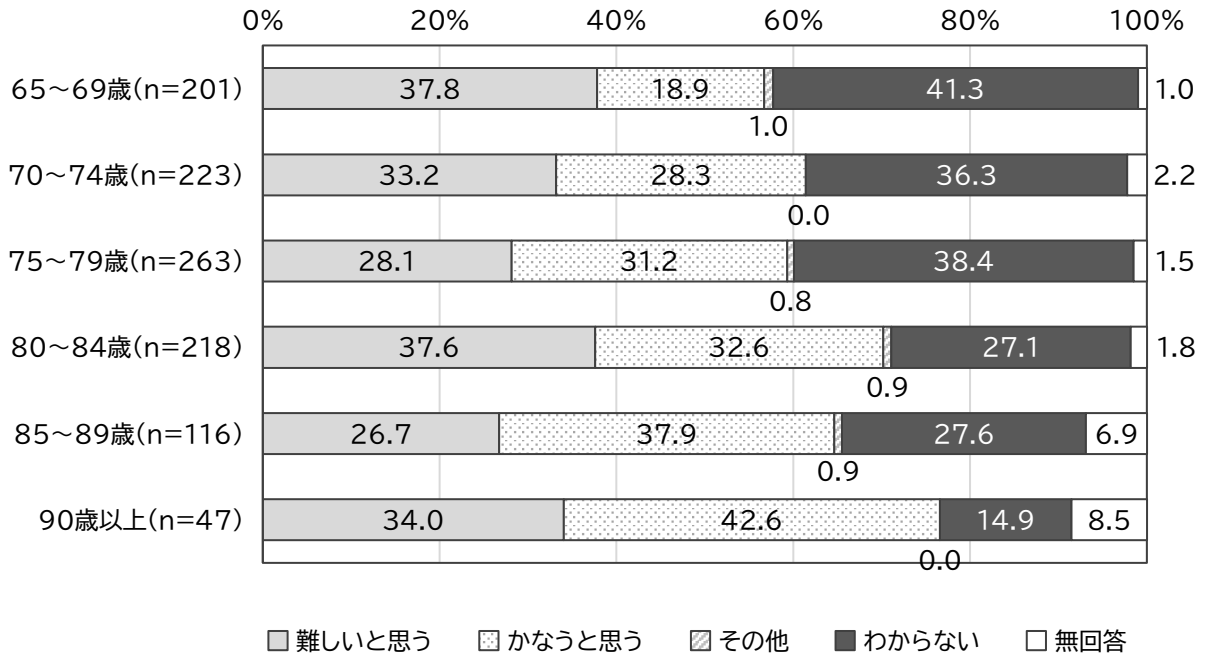
性別でみると、「かなうと思う」では、男性が31.2%で、女性(28.8%)より2.4ポイント高くなっています。

図表 2-12-18 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うか 性別



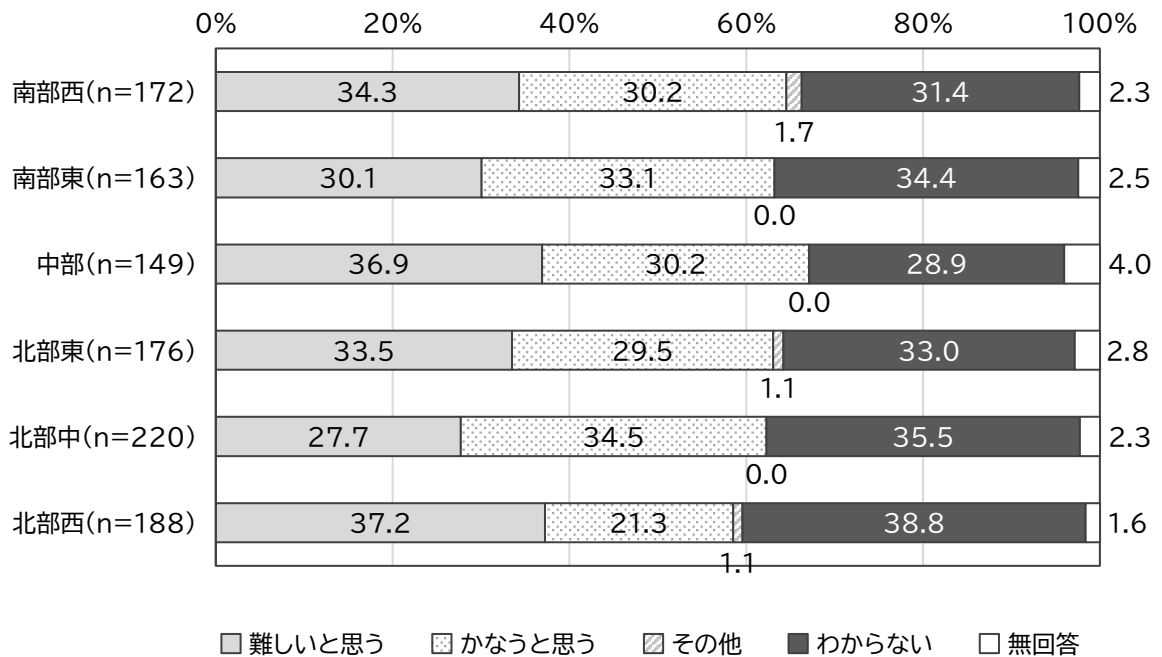
年齢別でみると、「難しいと思う」では、65～69歳が37.8%と最も高くなっています。

図表 2-12-19 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うか 年齢別



圏域別でみると、「難しいと思う」では、北部西地区が37.2%と最も高くなっています。

図表 2-12-20 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなうと思うか 圏域別



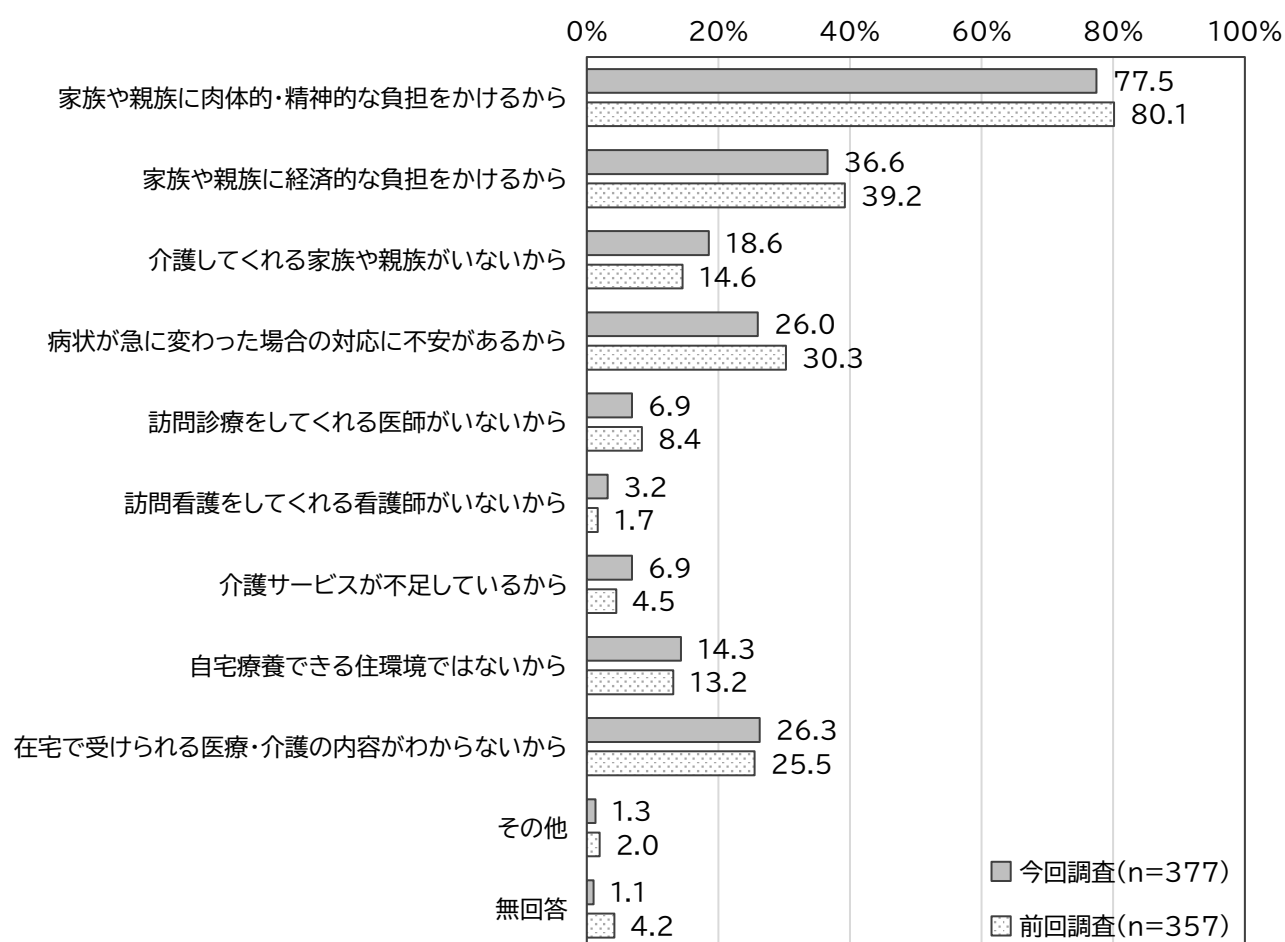
(7) 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなわないと思う理由

【問 14-(5)①で「1. 難しいと思う」とお答えになった方におたずねします。】

②その理由はどれですか。(〇は3つまで)

人生の最後を迎えたい場所への希望がかなわないと思う理由については、「家族や親族に肉体的・精神的な負担をかけるから」が77.5%と最も高く、次いで「家族や親族に経済的な負担をかけるから」が36.6%、「在宅で受けられる医療・介護の内容がわからないから」が26.3%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 2-12-21 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなわないと思う理由



性別でみると、いずれも「家族や親族に肉体的・精神的な負担をかけるから」が最も高くなっています。

年齢別でみると、「家族や親族に肉体的・精神的な負担をかけるから」では、70～74歳が88.3%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「家族や親族に肉体的・精神的な負担をかけるから」では、北部西地区が81.9%と最も高くなっています。

図表 2-12-22 人生の最後を迎えたい場所への希望がかなわないと思う理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

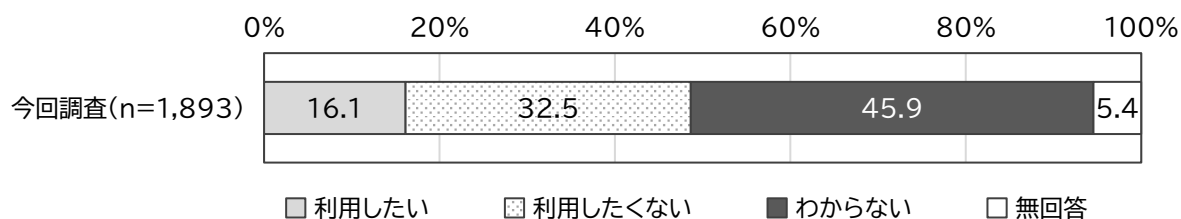
		合計	家族や親族に肉体的・精神的な負担をかけるから	家族や親族に経済的な負担をかけるから	介護してくれる家族や親族がないから	病状が急に変わった場合の対応に不安があるから	訪問診療をしてくれる医師がないから	訪問看護をしてくれる看護師がいないから	介護サービスが不足しているから	自宅療養できる住環境ではないから	在宅で受けられる医療・介護の内容がわからないから	その他	無回答
全体		377	77.5	36.6	18.6	26.0	6.9	3.2	6.9	14.3	26.3	1.3	1.1
性別	男性	165	75.2	38.8	23.0	28.5	5.5	3.0	4.2	13.9	21.2	0.0	1.2
	女性	207	78.7	34.8	15.5	24.2	8.2	3.4	9.2	15.0	30.4	2.4	1.0
年齢別	65～69歳	78	78.2	39.7	20.5	24.4	2.6	3.8	7.7	14.1	21.8	1.3	0.0
	70～74歳	77	88.3	36.4	20.8	24.7	2.6	0.0	7.8	13.0	22.1	1.3	0.0
	75～79歳	81	65.4	40.7	24.7	27.2	8.6	3.7	9.9	18.5	29.6	1.2	2.5
	80～84歳	86	80.2	31.4	14.0	24.4	10.5	3.5	4.7	9.3	30.2	2.3	1.2
	85～89歳	33	72.7	39.4	12.1	30.3	12.1	6.1	3.0	21.2	24.2	0.0	3.0
	90歳以上	17	70.6	23.5	11.8	35.3	11.8	5.9	5.9	17.6	35.3	0.0	0.0
日常生活圏域別	南部西	61	67.2	31.1	27.9	27.9	16.4	4.9	9.8	14.8	36.1	1.6	1.6
	南部東	52	78.8	30.8	19.2	21.2	5.8	1.9	9.6	9.6	28.8	1.9	1.9
	中部	60	80.0	48.3	23.3	15.0	1.7	1.7	3.3	13.3	36.7	0.0	0.0
	北部東	63	73.0	30.2	19.0	39.7	4.8	3.2	6.3	15.9	14.3	0.0	1.6
	北部中	64	81.3	39.1	12.5	21.9	6.3	3.1	6.3	14.1	23.4	0.0	1.6
	北部西	72	81.9	38.9	12.5	29.2	6.9	4.2	6.9	18.1	20.8	4.2	0.0

(8) 成年後見制度の利用意向

問 14 (6) あなた自身が判断が十分にできなくなり生活に支障が生じた場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

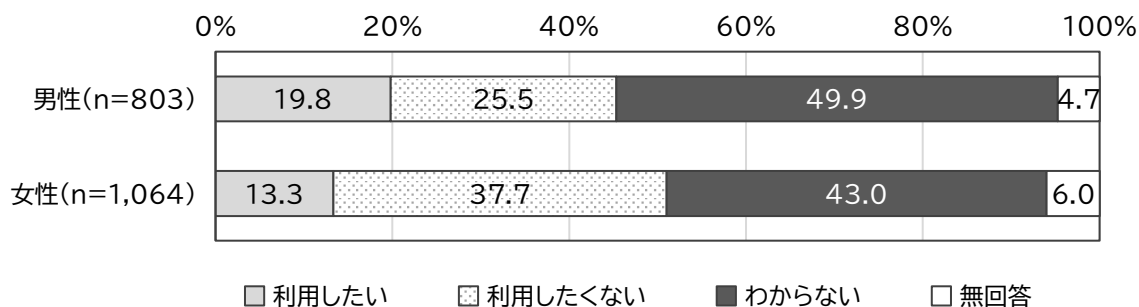
成年後見制度の利用意向について、「わからない」が45.9%と最も高く、次いで「利用したくない」が32.5%、「利用したい」が16.1%となっています。

図表 2-12-23 成年後見制度の利用意向



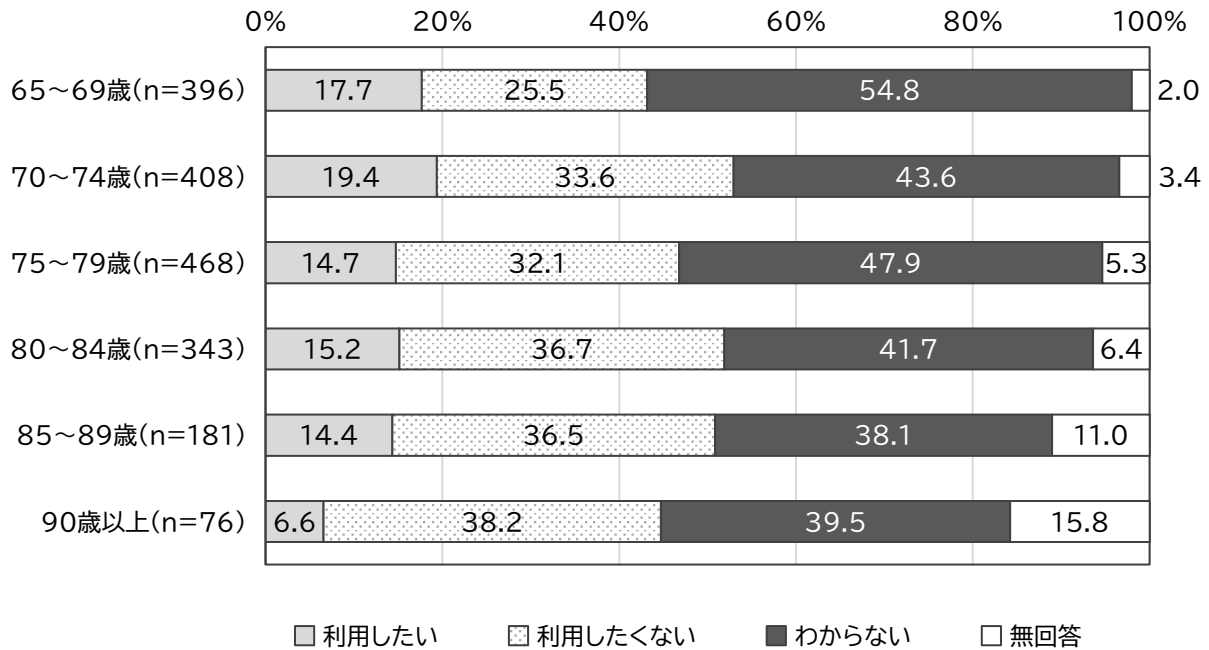
性別でみると、「利用したい」では、男性が19.8%で、女性(13.3%)より6.5ポイント高くなっています。

図表 2-12-24 成年後見制度の利用意向 性別



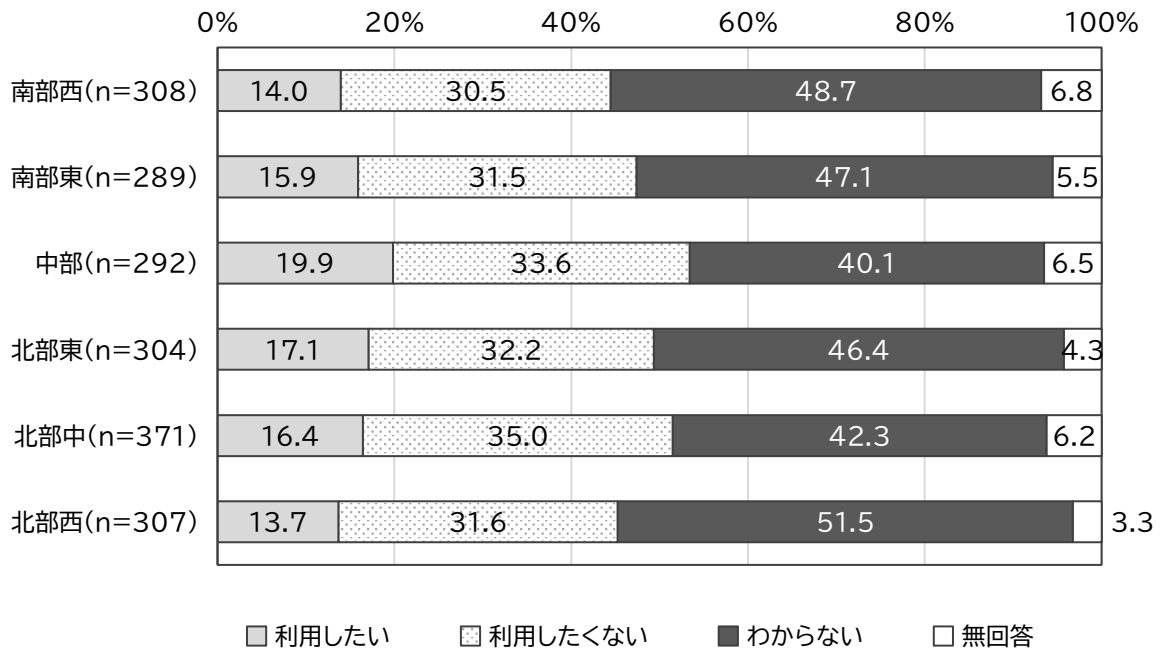
年齢別でみると、「利用したい」では、70～74歳が19.4%と最も高くなっています。

図表 2-12-25 成年後見制度の利用意向 年齢別



圏域別でみると、「利用したい」では、中部地区が19.9%と最も高くなっています。

図表 2-12-26 成年後見制度の利用意向 圏域別



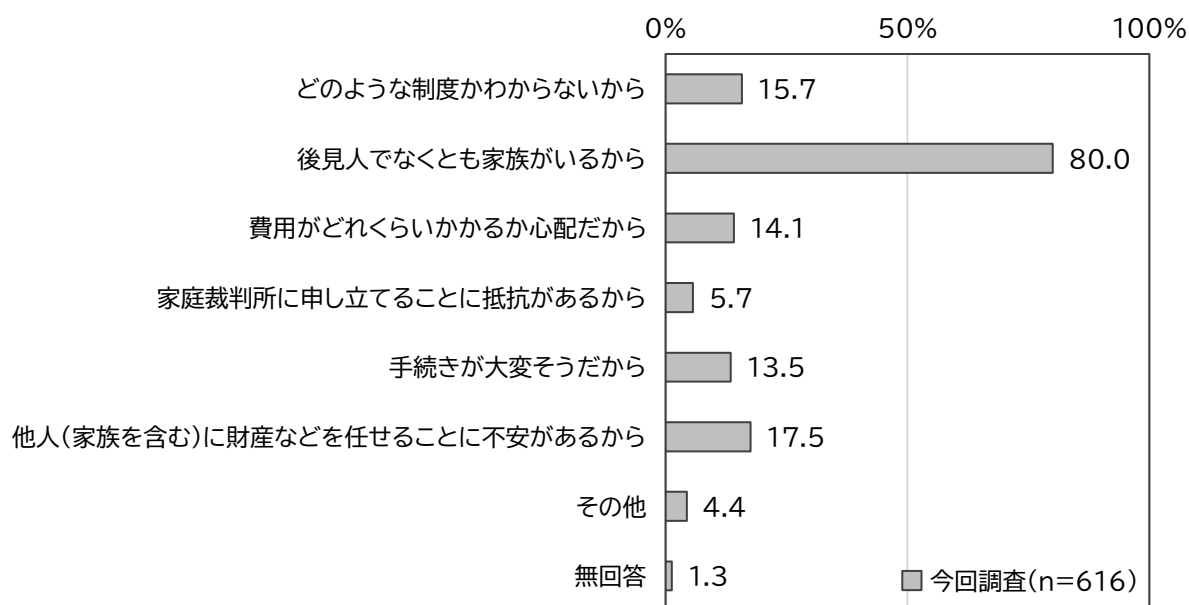
(9) 成年後見制度を利用したくない理由

【問14-(6)で「2. 利用したくない」とお答えになった方におたずねします。】

①「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

成年後見制度を利用したくない理由について、「後見人でなくとも家族がいるから」が80.0%と最も高く、次いで「他人(家族を含む)に財産などを任せることに不安があるから」が17.5%、「どのような制度かわからないから」が15.7%となっています。

図表 2-12-27 成年後見制度を利用したくない理由



性別でみると、「後見人でなくとも家族がいるから」では、女性が82.5%で、男性（75.6%）より6.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「後見人でなくとも家族がいるから」では、85～89歳が87.9%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「後見人でなくとも家族がいるから」では、南部東地区が84.6%と最も高くなっています。

図表 2-12-28 成年後見制度を利用したくない理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	どのような制度かわからないから	後見人でなくとも家族がいるから	費用がどれくらいかかるか心配だから	家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから	手続きが大変そうだから	他人(家族を含む)に財産などを任せることに不安があるから	その他	無回答
全体		616	15.7	80.0	14.1	5.7	13.5	17.5	4.4	1.3
性別	男性	205	20.0	75.6	15.1	7.3	17.1	22.0	4.9	1.0
	女性	401	13.5	82.5	13.5	4.7	11.7	15.2	4.2	1.5
年齢別	65～69歳	101	18.8	81.2	14.9	4.0	15.8	19.8	4.0	1.0
	70～74歳	137	16.1	75.9	11.7	5.1	15.3	22.6	6.6	0.7
	75～79歳	150	14.0	80.0	14.7	6.0	14.7	18.0	2.0	0.7
	80～84歳	126	16.7	79.4	20.6	9.5	15.1	15.1	5.6	3.2
	85～89歳	66	9.1	87.9	6.1	3.0	4.5	13.6	6.1	1.5
	90歳以上	29	24.1	82.8	10.3	3.4	6.9	6.9	0.0	0.0
日常生活圏域別	南部西	94	20.2	77.7	17.0	9.6	17.0	24.5	6.4	0.0
	南部東	91	11.0	84.6	15.4	5.5	11.0	17.6	3.3	1.1
	中部	98	20.4	79.6	17.3	4.1	14.3	18.4	4.1	0.0
	北部東	98	12.2	75.5	15.3	10.2	13.3	20.4	7.1	1.0
	北部中	130	15.4	83.8	9.2	2.3	13.1	10.8	0.8	3.1
	北部西	97	15.5	78.4	12.4	4.1	13.4	17.5	6.2	2.1

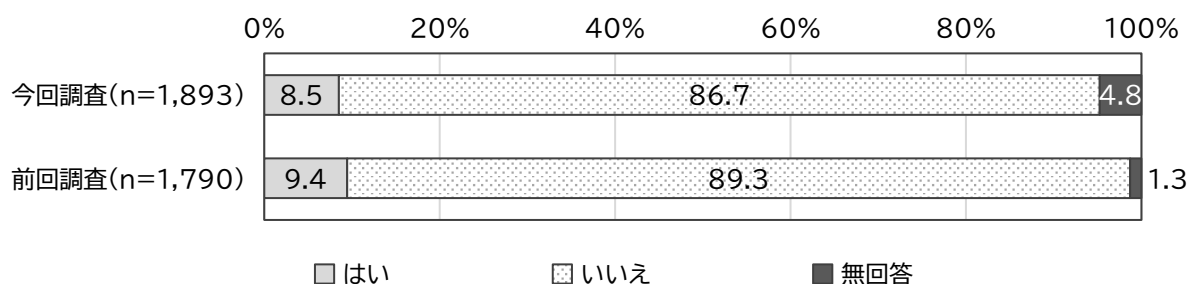
13. 認知症の支援などについて

(1) 認知症の症状がある人

問 15 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

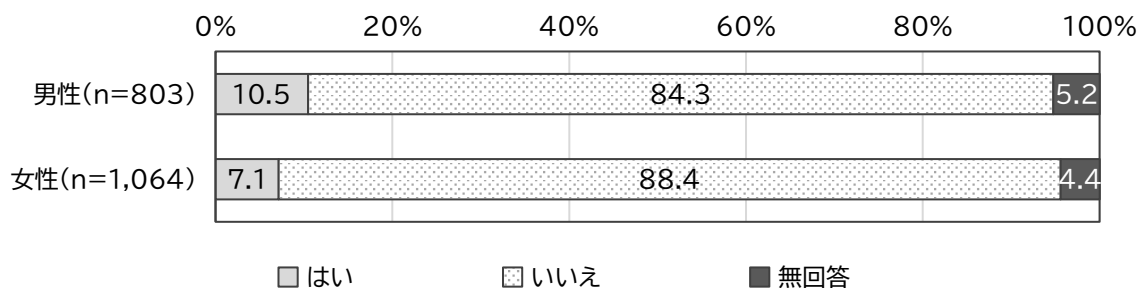
認知症の症状がある人については、「はい」が8.5%、「いいえ」が86.7%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 2-13-1 認知症の症状がある人



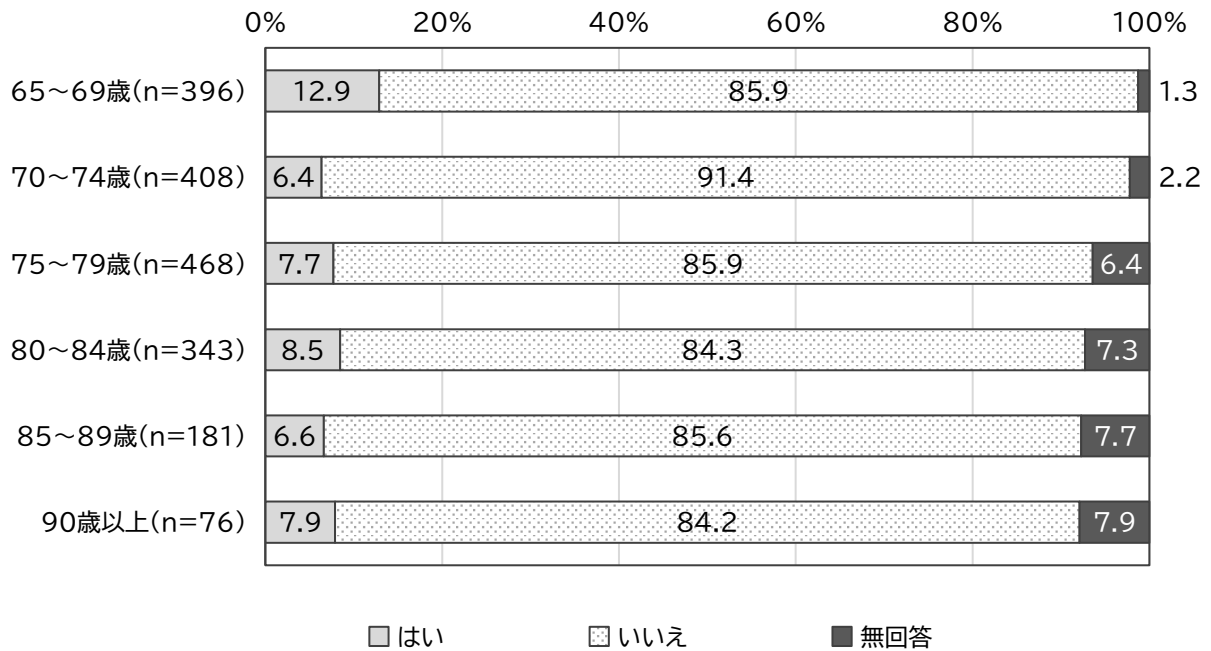
性別でみると、「はい」では、男性が10.5%、女性が7.1%となっています。

図表 2-13-2 認知症の症状がある人 性別



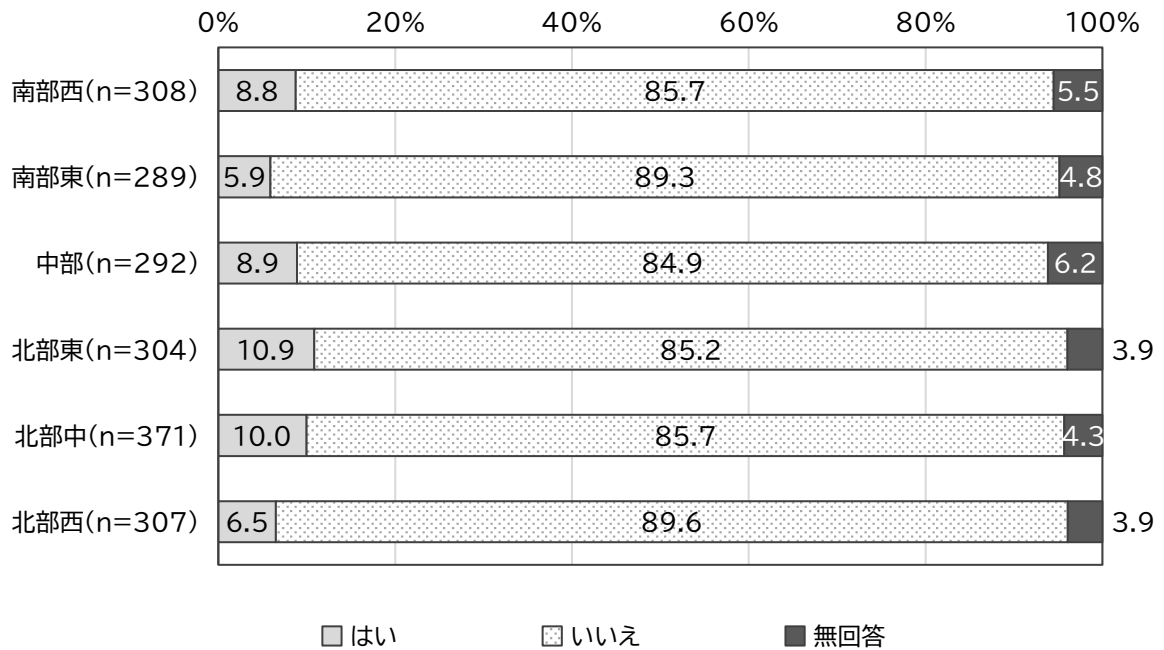
年齢別でみると、「はい」では、65～69歳が12.9%と最も高くなっています。

図表 2-13-3 認知症の症状がある人 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、北部東地区が10.9%と最も高くなっています。

図表 2-13-4 認知症の症状がある人 圏域別



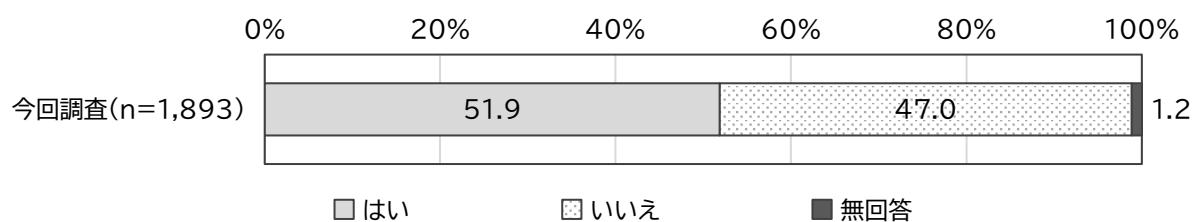
(2) 認知症の人と接した経験

【問 15-(1)で「2. いいえ」とお答えになった方におたずねします。】

①今までに認知症の人と接したことはありますか。(○は1つ)

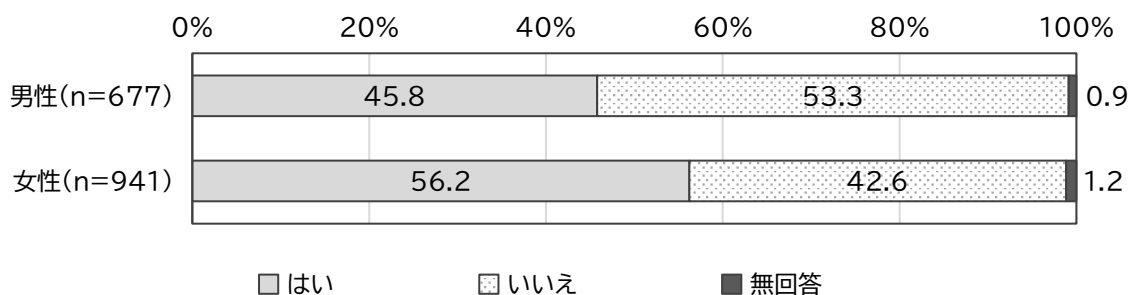
認知症の人と接した経験については、「はい」が51.9%、「いいえ」が47.0%となっています。

図表 2-13-5 認知症の人と接した経験



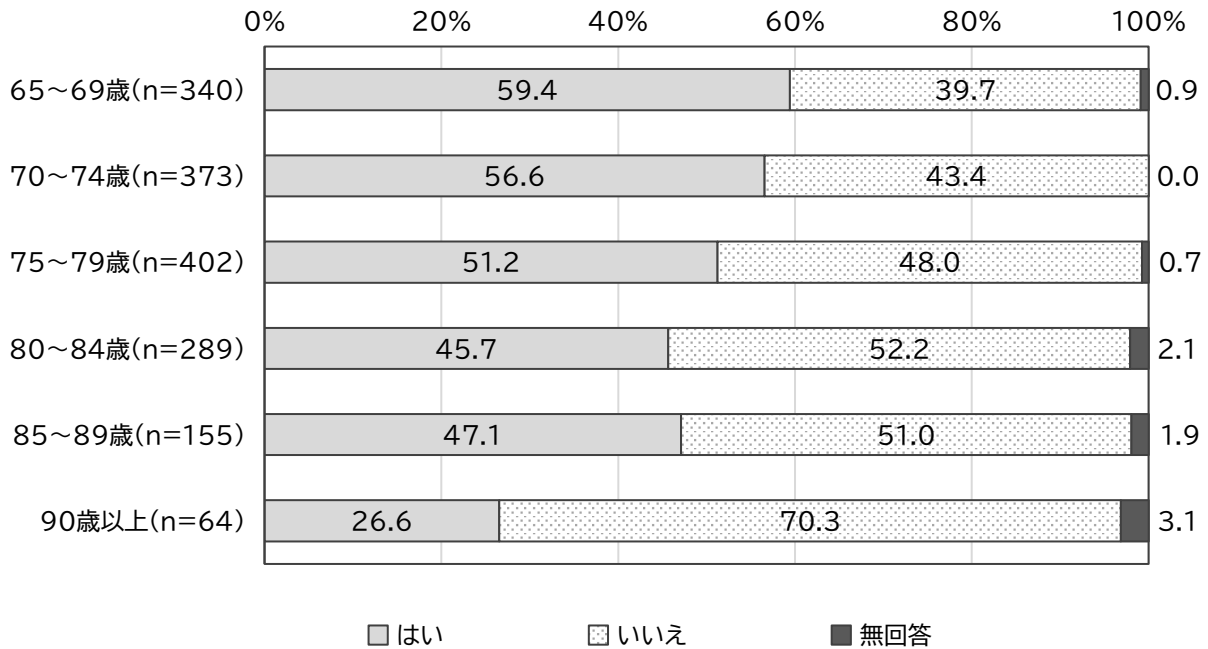
性別でみると、「はい」では、女性が56.2%で、男性(45.8%)より10.4ポイント高くなっています。

図表 2-13-6 認知症の人と接した経験 性別



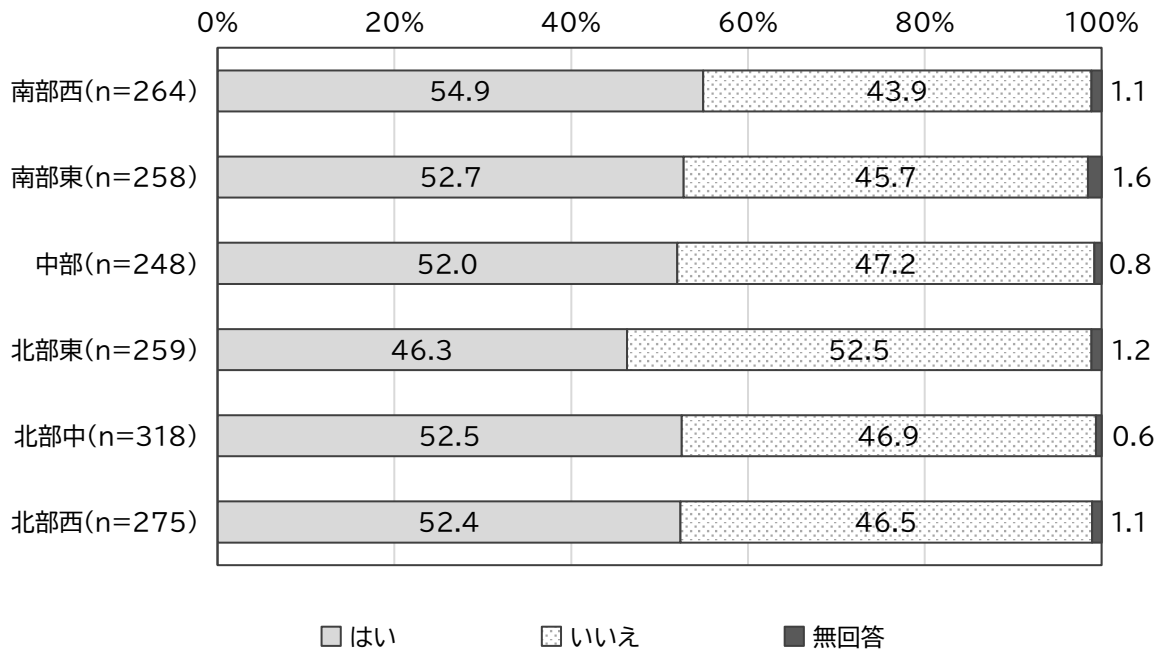
年齢別でみると、「はい」では、65～69歳が59.4%と最も高くなっています。

図表 2-13-7 認知症の人と接した経験 年齢別



圏域別でみると、「はい」では、南部西地区が54.9%と最も高くなっています。

図表 2-13-8 認知症の人と接した経験 圏域別

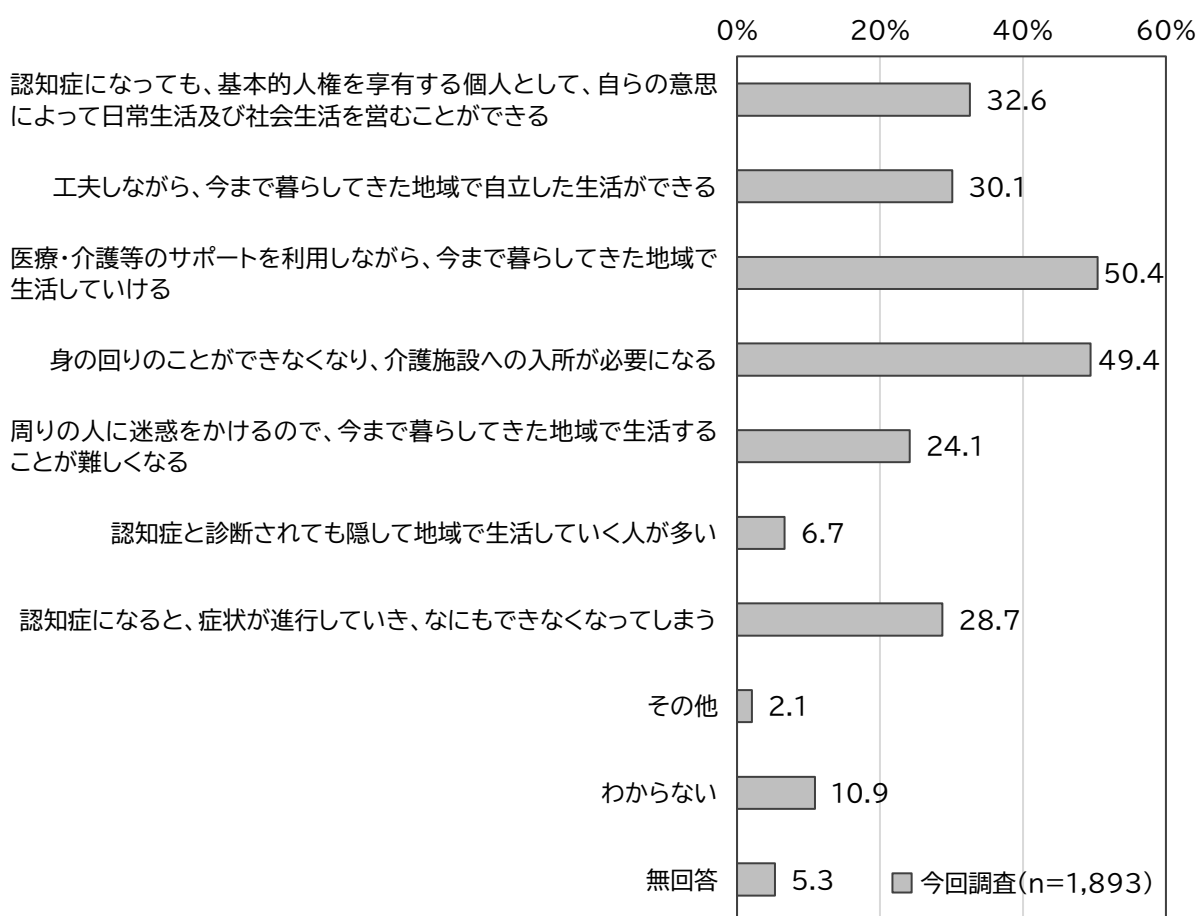


(3) 認知症の人の日常生活のイメージ

問 15 (2) 認知症の人が日常生活を送るうえでどのようなイメージを持っていますか。
(〇はいくつでも)

認知症の人の日常生活のイメージについては、「医療・介護等のサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」が50.4%と最も高く、次いで「身の回りのことができなくなり、介護施設への入所が必要になる」が49.4%、「認知症になっても、基本的人権を享有する個人として、自らの意思によって日常生活及び社会生活を営むことができる」が32.6%となっています。

図表 2-13-9 認知症の人の日常生活のイメージ



性別でみると、「医療・介護等のサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」では、女性が54.1%で、男性（45.7%）より8.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「医療・介護等のサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」では、70～74歳が57.1%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「医療・介護等のサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」では、南部東地区が54.7%と最も高くなっています。

図表 2-13-10 認知症の人の日常生活のイメージ 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

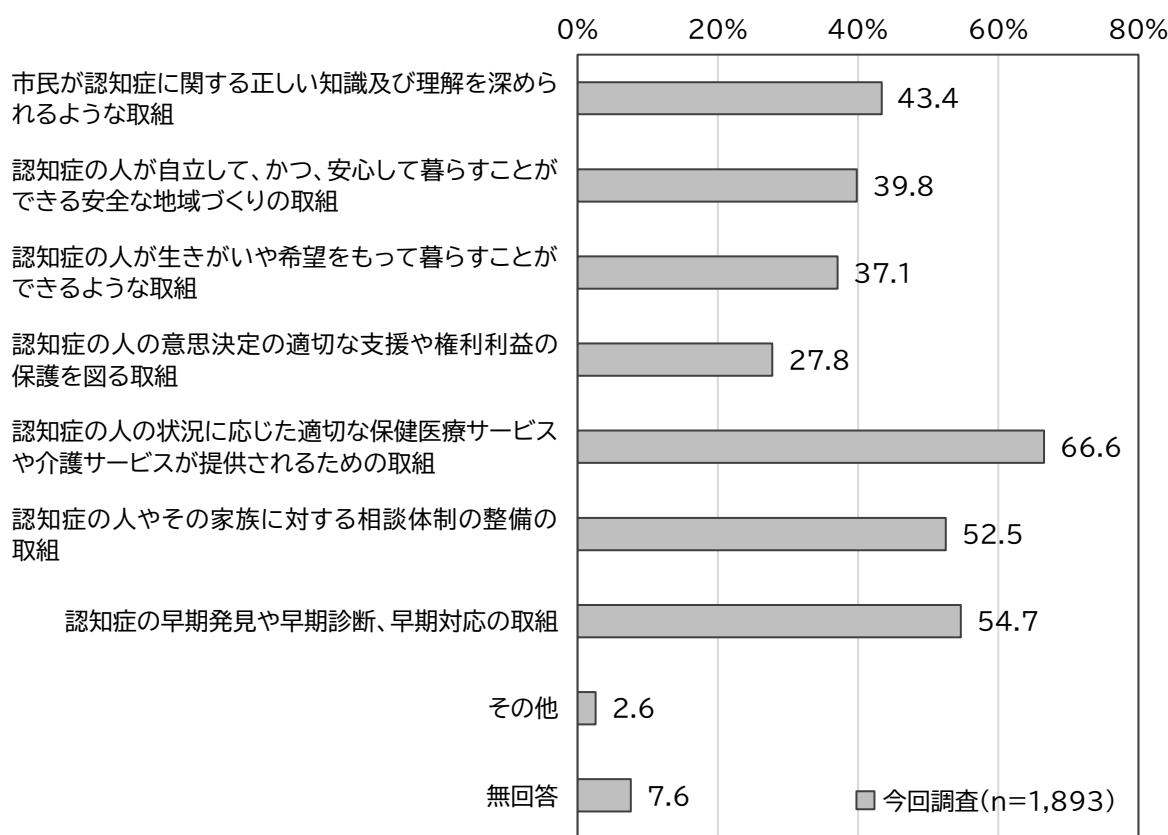
		合計	認知症になっても、基本的な権利を享受する個人として、自らの意思によって日常生活及び社会生活を営むことができる	工夫しながら、今まで暮らしてきた地域で自立した生活ができる	医療・介護等のサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	身の回りのことができなくなり、介護施設への入所が必要になる	周りの人に迷惑をかけるので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	認知症と診断されても隠して地域で生活していく人が多い	認知症になると、症状が進行していき、なにもできなくなってしまう	その他	わからない	無回答
全体		1,893	32.6	30.1	50.4	49.4	24.1	6.7	28.7	2.1	10.9	5.3
性別	男性	803	30.8	27.4	45.7	48.7	25.4	8.2	30.3	2.2	11.2	5.2
	女性	1,064	33.8	32.1	54.1	50.2	23.4	5.5	27.8	2.0	10.6	5.3
年齢別	65～69歳	396	27.3	30.3	52.0	54.3	26.8	9.3	25.3	1.8	8.8	1.8
	70～74歳	408	32.8	33.1	57.1	56.9	25.2	5.4	29.9	2.2	6.6	2.2
	75～79歳	468	33.5	31.4	50.6	44.0	21.8	5.1	29.3	2.4	11.1	6.2
	80～84歳	343	38.5	29.2	48.7	49.9	25.7	8.2	33.2	2.6	11.4	7.3
	85～89歳	181	32.6	28.2	41.4	40.3	23.8	5.0	23.8	0.6	19.9	9.4
	90歳以上	76	26.3	15.8	38.2	36.8	14.5	5.3	28.9	2.6	21.1	14.5
日常生活圏域別	南部西	308	31.2	27.6	46.8	48.7	22.7	7.8	27.3	3.2	9.4	8.1
	南部東	289	31.5	34.3	54.7	51.2	24.2	5.2	26.0	0.7	10.0	6.6
	中部	292	34.6	28.1	53.1	46.9	21.9	8.9	27.1	1.7	12.7	4.8
	北部東	304	32.2	31.9	48.4	49.7	26.0	4.6	30.9	2.3	10.2	5.3
	北部中	371	35.0	29.9	52.6	49.6	24.0	4.6	31.3	2.2	11.9	3.5
	北部西	307	30.9	30.0	48.2	50.5	26.4	9.4	29.3	2.3	10.7	3.6

(4) 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすために必要な取組

問 15 (3) 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすには、市のどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすために、必要な市の取組では、「認知症の人の状況に応じた適切な保健医療サービスや介護サービスが提供されるための取組」が66.6%と最も高く、次いで「認知症の早期発見や早期診断、早期対応の取組」が54.7%、「認知症の人やその家族に対する相談体制の整備の取組」が52.5%となっています。

図表 2-13-11 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすために必要な取組



性別でみると、「認知症の人の状況に応じた適切な保健医療サービスや介護サービスが提供されるための取組」では、女性が69.1%で、男性（63.6%）より5.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「認知症の人の状況に応じた適切な保健医療サービスや介護サービスが提供されるための取組」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳と70～74歳が72.5%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「認知症の人の状況に応じた適切な保健医療サービスや介護サービスが提供されるための取組」では、南部東地区が74.4%と最も高くなっています。

図表 2-13-12 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすために必要な取組 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	市民が認知症に関する正しい知識及び理解を深められるような取組	認知症の人が自立して、かつ、安心して暮らすことができる安全な地域づくりの取組	認知症の人が生きがいや希望をもって暮らすことができるような取組	認知症の人の意思決定の適切な支援や権利利益の保護を図る取組	認知症の人の状況に応じた適切な保健医療サービスや介護サービスが提供されるための取組	認知症の人やその家族に対する相談体制の整備の取組	認知症の早期発見や早期診断、早期対応の取組	その他	無回答
全体		1,893	43.4	39.8	37.1	27.8	66.6	52.5	54.7	2.6	7.6
性別	男性	803	44.6	36.6	33.7	27.9	63.6	48.8	51.2	3.1	6.8
	女性	1,064	43.0	42.4	39.6	27.4	69.1	55.6	57.3	2.3	8.0
年齢別	65～69歳	396	45.2	39.9	39.1	32.8	72.5	54.8	53.5	2.5	2.5
	70～74歳	408	42.2	39.0	36.5	32.4	72.5	57.6	56.9	1.7	4.7
	75～79歳	468	44.2	41.7	36.5	26.3	66.9	53.0	57.5	2.1	6.6
	80～84歳	343	43.4	44.0	38.5	23.6	63.3	50.7	54.8	2.3	10.2
	85～89歳	181	47.0	32.6	36.5	20.4	54.7	42.5	49.2	4.4	15.5
	90歳以上	76	30.3	31.6	27.6	21.1	47.4	44.7	46.1	7.9	23.7
日常生活圏域別	南部西	308	43.8	44.2	37.0	28.6	61.4	53.6	52.3	2.9	8.4
	南部東	289	42.9	43.9	40.1	31.5	74.4	55.4	58.5	2.4	7.6
	中部	292	42.8	39.4	37.0	29.8	68.2	48.6	55.8	2.1	8.6
	北部東	304	46.7	37.8	35.2	27.0	67.1	52.6	54.6	3.6	8.2
	北部中	371	44.2	34.8	35.6	25.6	67.4	54.4	51.2	2.2	6.7
	北部西	307	41.4	41.0	38.4	25.1	62.5	50.8	57.3	2.3	5.9

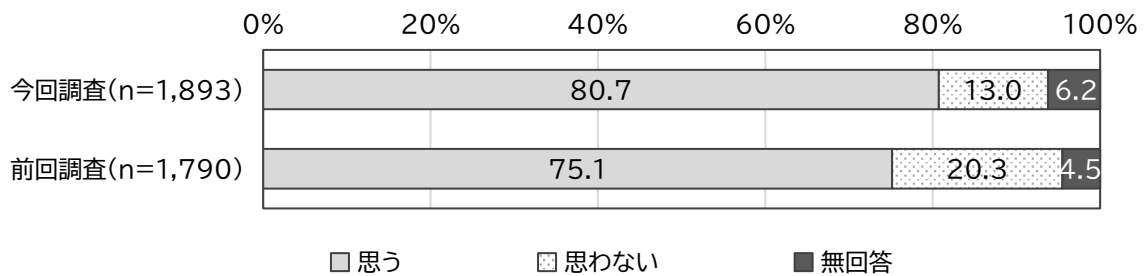
(5) 認知症の人が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか

問 15 (4) 認知症の人が生活するためには、地域住民の協力は必要だと思いますか。(○は1つ)

認知症の人が生活するために、地域住民の協力は必要だと思うかについては、「思う」が80.7%、「思わない」が13.0%となっています。

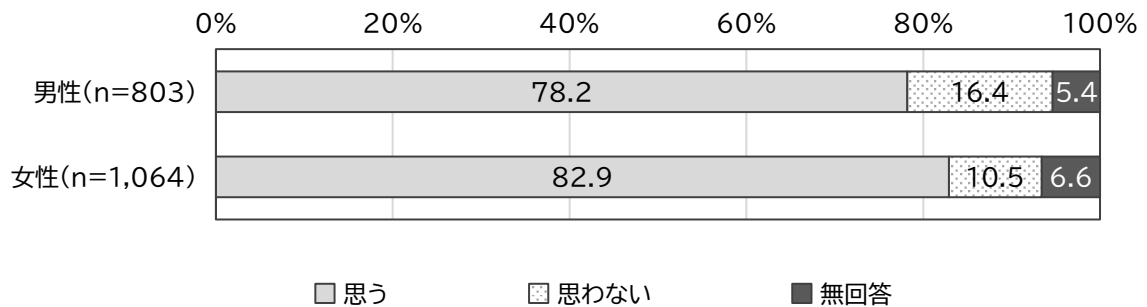
前回調査と比較すると、「思う」(80.7%)が前回調査(75.1%)より5.6ポイント増加しています。

図表 2-13-13 認知症の人が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか



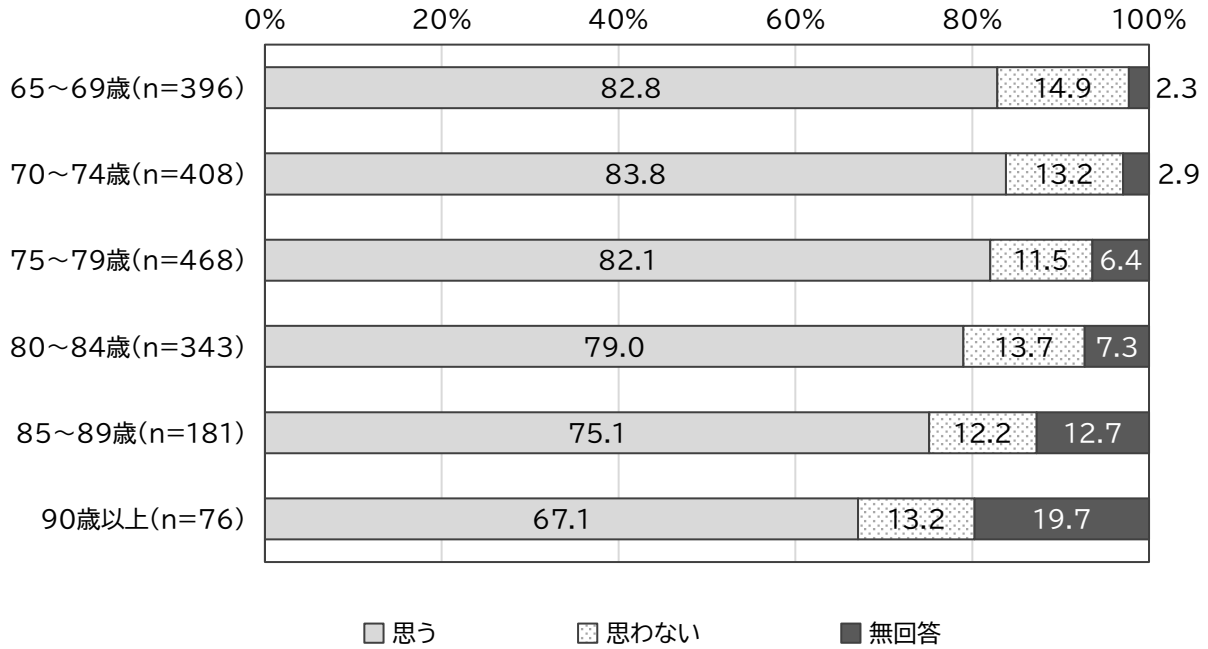
性別でみると、「思う」では、男性が78.2%、女性が82.9%となっています。

図表 2-13-14 認知症の人が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか 性別



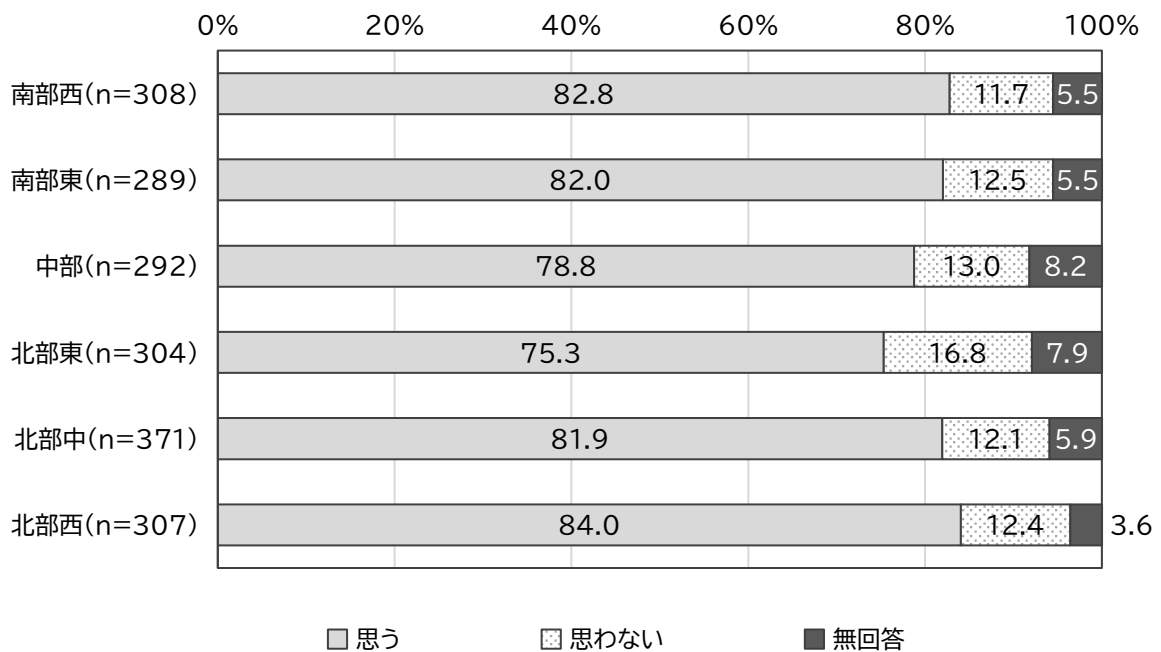
年齢別でみると、「思う」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、70～74歳が83.8%と最も高くなっています。

図表 2-13-15 認知症の人が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか 年齢別



圏域別でみると、「思う」では、北部西地区で84.0%と最も高くなっています。

図表 2-13-16 認知症の人が生活するために地域住民の協力は必要だと思うか 圏域別



(6) 認知症の人が生活するために必要だと思う地域住民の協力

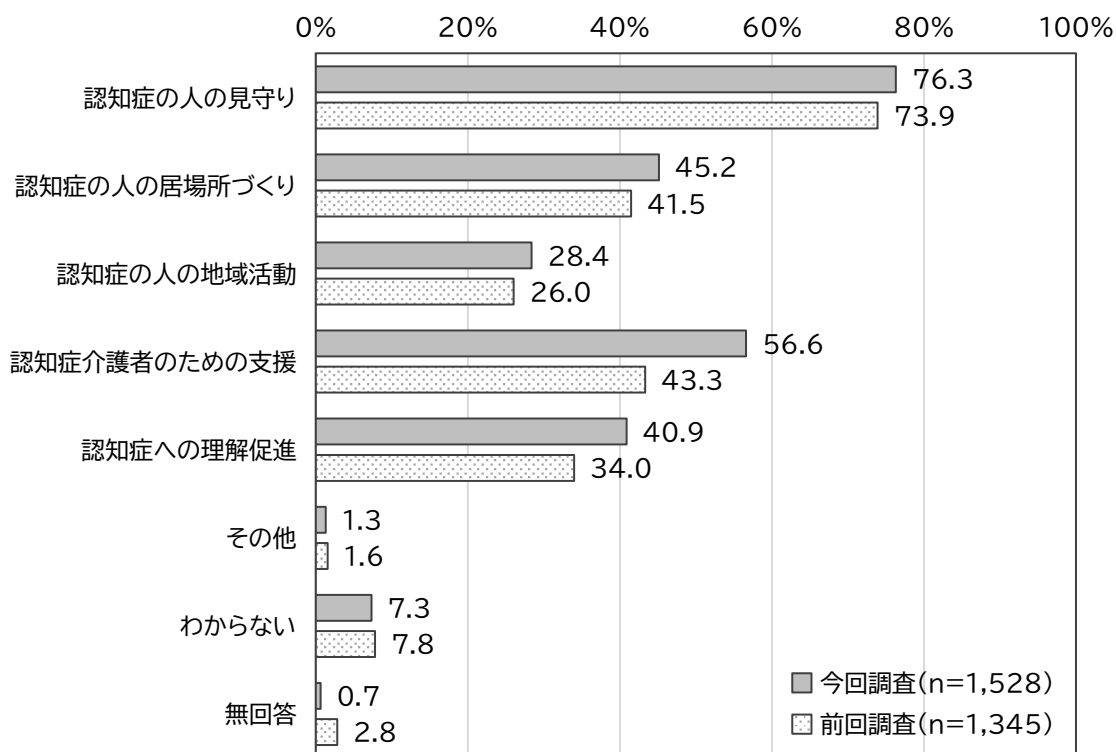
【問15-(4)で「1. 思う」とお答えになった方におたずねします。】

①地域住民のどのような協力が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

認知症の人が生活するために必要だと思う地域住民の協力については、「認知症の人の見守り」が76.3%と最も高く、次いで「認知症介護者のための支援」が56.6%、「認知症の人の居場所づくり」が45.2%となっています。

前回調査と比較すると、「認知症介護者のための支援」(56.6%)が前回調査(43.3%)より13.3ポイント増加しています。

図表 2-13-17 認知症の人が生活するために必要だと思う地域住民の協力



性別でみると、「認知症の人の見守り」では、男性 76.6%、女性 76.2%と、いずれも最も高くなっています。

年齢別でみると、「認知症の人の見守り」では、70～74歳が79.8%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「認知症の人の見守り」では、南部東地区が81.0%と最も高くなっています。

図表 2-13-18 認知症の人が生活するために必要だと思う地域住民の協力 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	認知症の人の見守り	認知症の人の居場所づくり	認知症の人の地域活動	認知症介護者のための支援	認知症への理解促進	その他	わからない	無回答
全体		1,528	76.3	45.2	28.4	56.6	40.9	1.3	7.3	0.7
性別	男性	628	76.6	42.0	29.1	50.8	41.1	0.8	8.0	0.3
	女性	882	76.2	47.4	27.7	61.1	40.8	1.7	6.9	0.8
年齢別	65～69歳	328	77.1	48.2	28.0	60.1	43.3	1.2	5.2	0.0
	70～74歳	342	79.8	45.6	33.9	61.1	41.2	0.9	6.4	0.3
	75～79歳	384	73.7	46.1	28.9	53.1	42.2	2.1	6.8	0.5
	80～84歳	271	77.1	46.1	27.3	55.7	38.7	0.4	8.9	1.5
	85～89歳	136	72.1	38.2	22.1	56.6	37.5	2.2	11.0	1.5
	90歳以上	51	76.5	29.4	11.8	41.2	35.3	2.0	13.7	0.0
日常生活圏域別	南部西	255	72.5	44.7	25.5	54.9	37.6	2.0	8.6	0.8
	南部東	237	81.0	44.7	33.3	58.2	42.6	0.4	8.0	0.0
	中部	230	76.5	44.3	28.7	58.7	39.6	1.7	7.8	0.0
	北部東	229	77.3	45.4	26.2	55.9	43.2	0.9	8.7	0.4
	北部中	304	76.0	46.7	28.3	58.2	41.1	1.3	5.3	1.3
	北部西	258	75.2	44.6	28.3	54.7	41.5	1.6	6.6	0.8

(7) 認知症の人が生活するために地域住民の協力が必要だと思わない理由

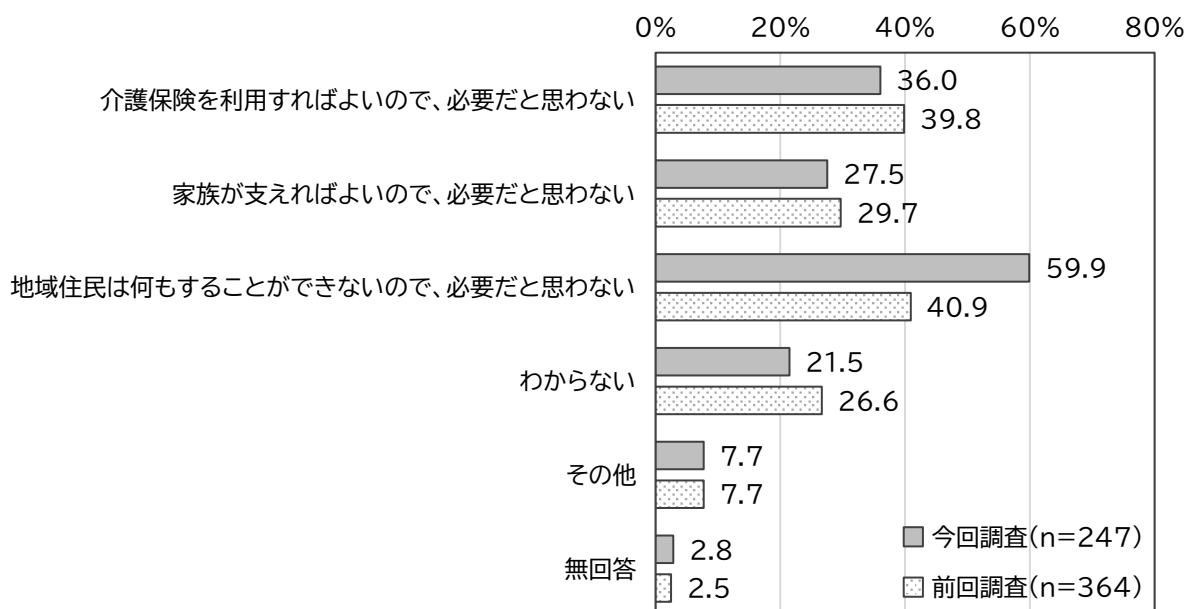
【問 15-(4)で「2. 思わない」とお答えになった方におたずねします。】

②その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

認知症の人が生活するために地域住民の協力が必要だと思わない理由については、「地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない」が 59.9%と最も高く、次いで「介護保険を利用すればよいので、必要だと思わない」が 36.0%、「家族が支えればよいので、必要だと思わない」が 27.5%となっています。

前回調査と比較すると、「地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない」(59.9%)が前回調査(40.9%)より 19.0 ポイント増加しています。

図表 2-13-19 認知症の人が生活するために必要だと思う地域住民の協力



性別でみると、「地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない」では、男性が63.6%で、女性（54.5%）より9.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない」では、80～84歳が70.2%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない」では、南部西地区と南部東地区が63.9%と最も高くなっています。

図表 2-13-20 認知症の人が生活するために必要だと思う地域住民の協力 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	介護保険を利用すればよいので、必要だと思わない	家族が支えればよいので、必要だと思わない	地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない	わからない	その他	無回答
全体		247	36.0	27.5	59.9	21.5	7.7	2.8
性別	男性	132	34.8	24.2	63.6	15.9	8.3	3.8
	女性	112	38.4	32.1	54.5	28.6	7.1	1.8
年齢別	65～69歳	59	33.9	23.7	52.5	27.1	8.5	5.1
	70～74歳	54	29.6	24.1	66.7	14.8	9.3	3.7
	75～79歳	54	38.9	25.9	53.7	25.9	7.4	1.9
	80～84歳	47	42.6	40.4	70.2	14.9	6.4	0.0
	85～89歳	22	36.4	22.7	54.5	22.7	0.0	4.5
	90歳以上	10	40.0	30.0	60.0	30.0	20.0	0.0
日常生活圏域別	南部西	36	30.6	27.8	63.9	16.7	0.0	2.8
	南部東	36	36.1	33.3	63.9	27.8	11.1	0.0
	中部	38	36.8	21.1	57.9	26.3	7.9	2.6
	北部東	51	41.2	31.4	52.9	19.6	9.8	5.9
	北部中	45	33.3	24.4	62.2	20.0	4.4	4.4
	北部西	38	39.5	28.9	60.5	18.4	13.2	0.0

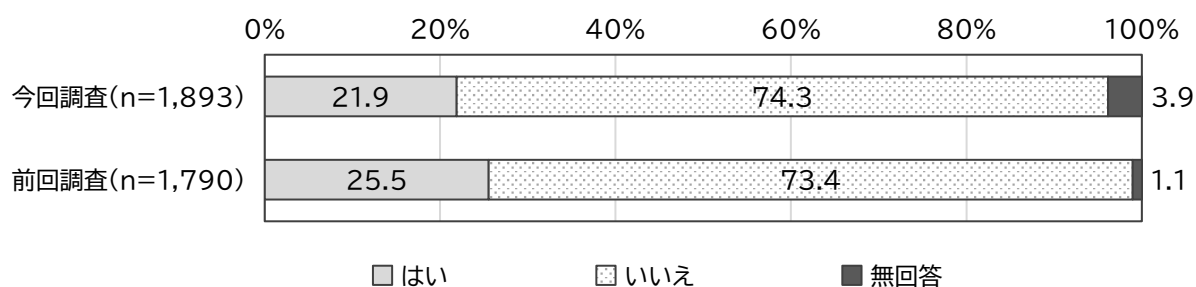
(8) 認知症に関する相談窓口の認知度

問 15 (5) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が21.9%、「いいえ」が74.3%となっています。

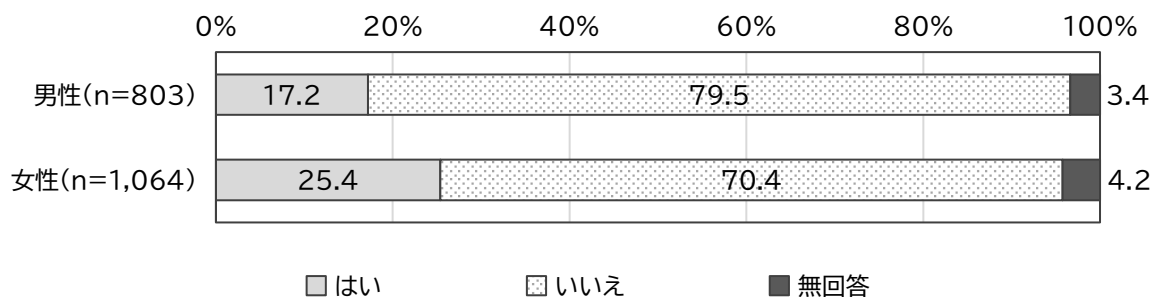
前回調査と比較すると、「はい」(21.9%)が前回調査(25.5%)より3.6ポイント減少しています。

図表 2-13-21 認知症に関する相談窓口の認知度



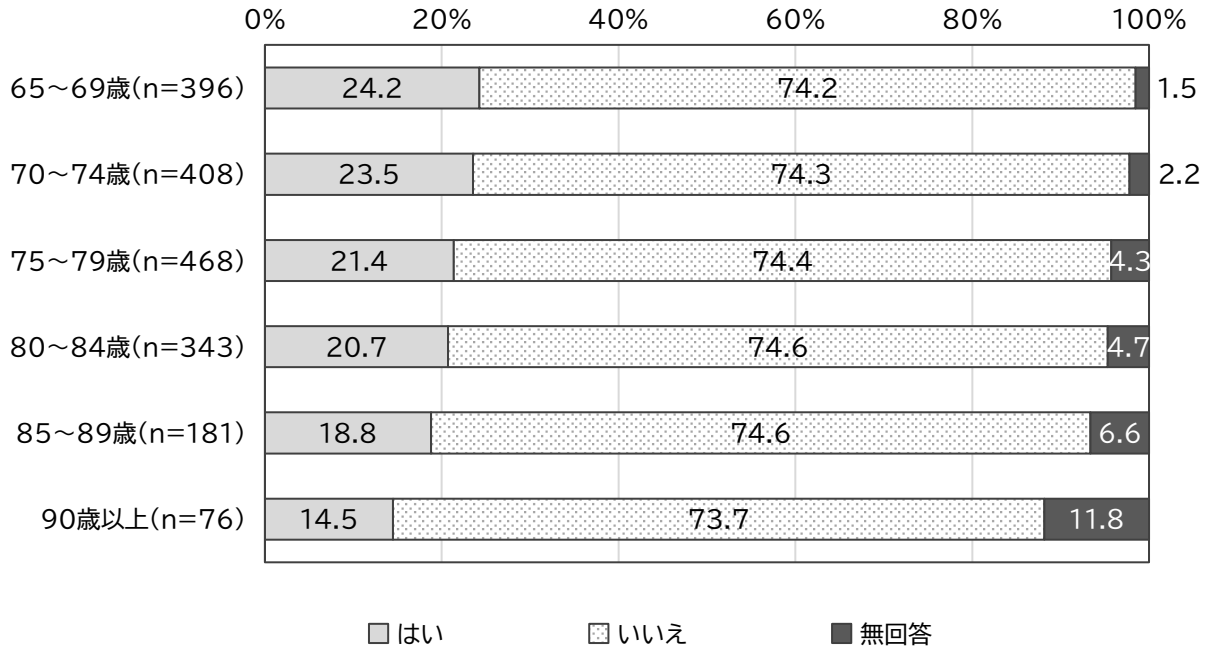
性別でみると、「はい」では、女性が25.4%で、男性(17.2%)より8.2ポイント高くなっています。

図表 2-13-22 認知症に関する相談窓口の認知度 性別



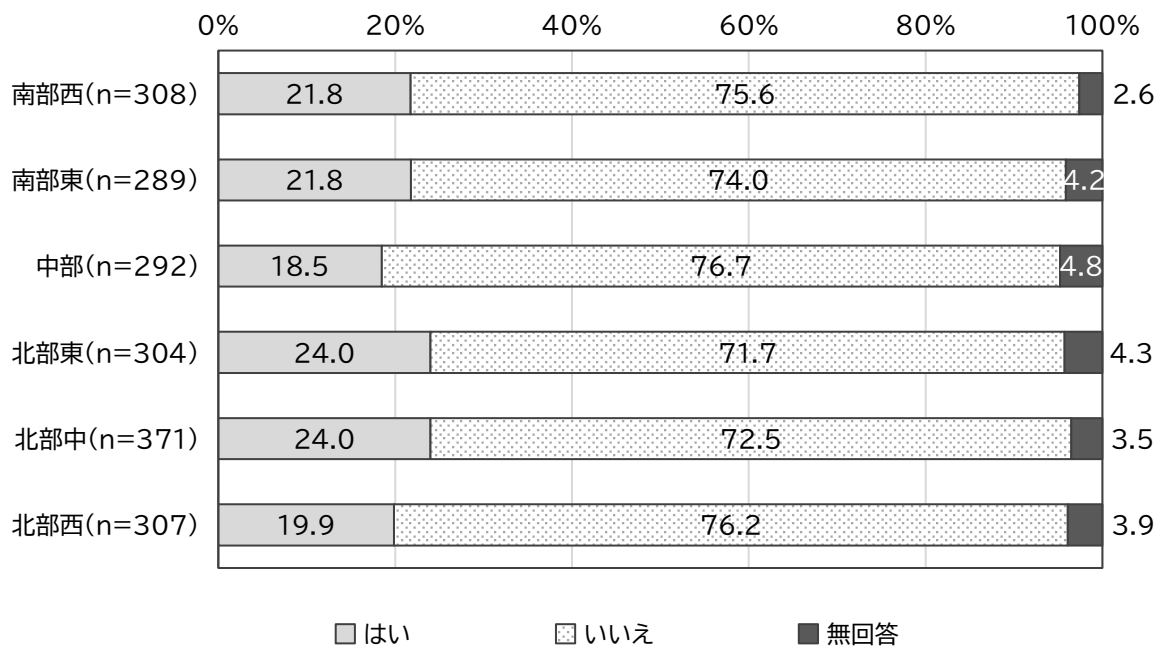
年齢別でみると、「はい」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が24.2%と最も高くなっています。

図表 2-13-23 認知症に関する相談窓口の認知度 年齢別



圏域別でみると、「はい」では北部東地区と北部中地区で24.0%と最も高くなっています。

図表 2-13-24 認知症に関する相談窓口の認知度 圏域別



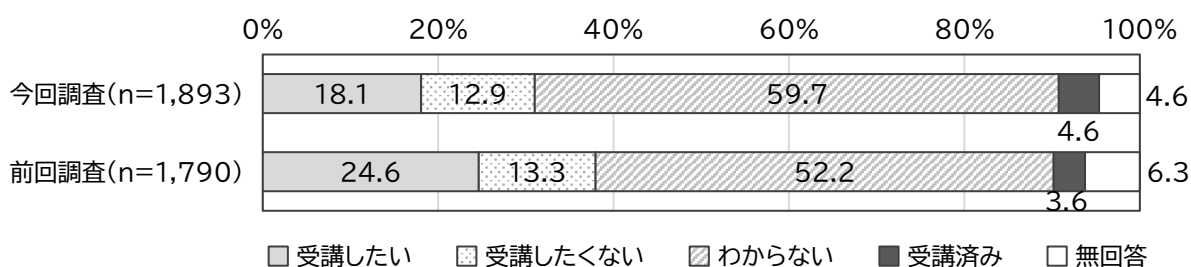
(9) 認知症サポーター養成講座の参加意向

問 15 (6) あなたは認知症サポーター養成講座があれば受講したいと思いますか。(○は1つ)

認知症サポーター養成講座の参加意向について、「わからない」が59.7%と最も高く、次いで「受講したい」が18.1%、「受講したくない」が12.9%となっており、「受講済み」は4.6%となっています。

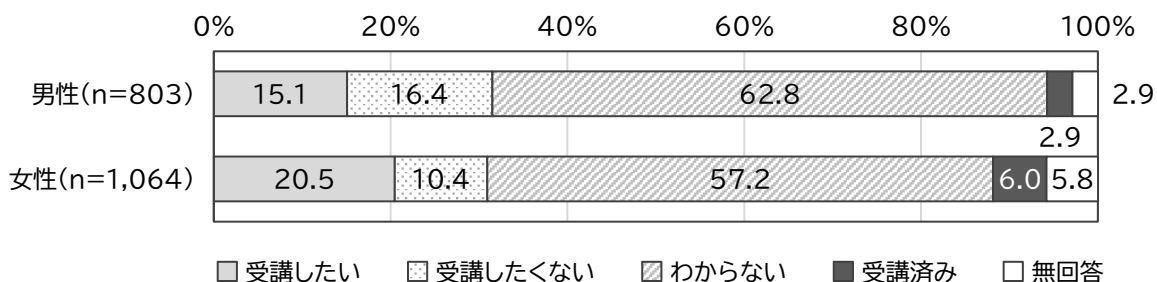
前回調査と比較すると、「受講したい」(18.1%)が前回調査(24.6%)より6.5ポイント減少しています。

図表 2-13-25 認知症サポーター養成講座の参加意向



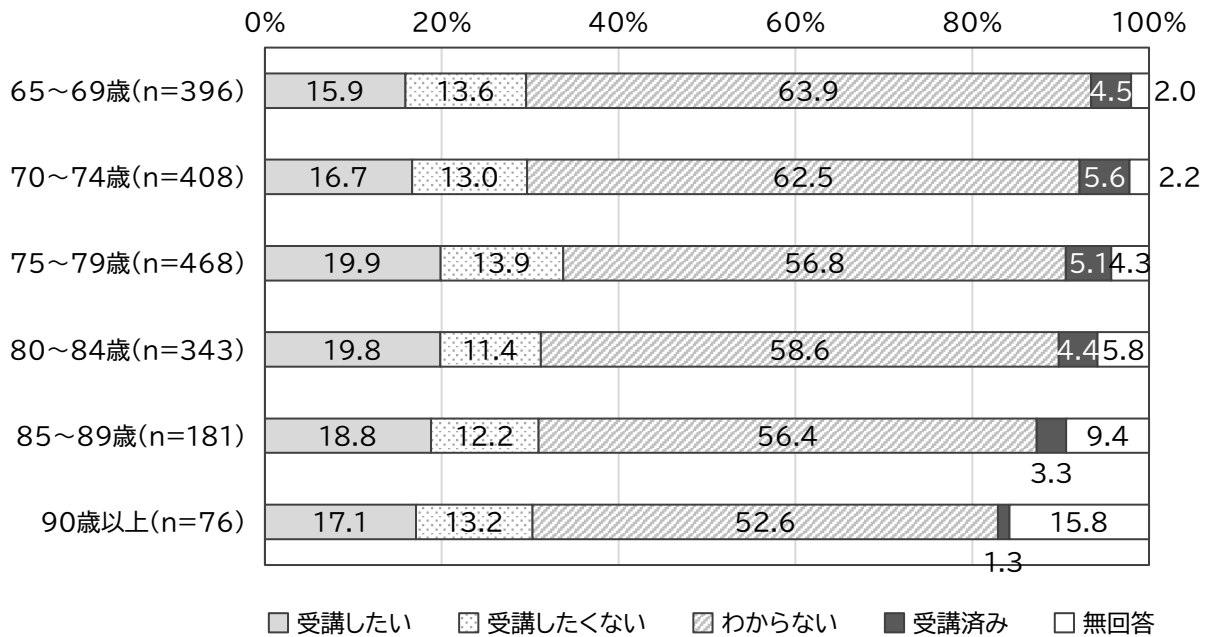
性別でみると、「受講したい」では、女性が20.5%で、男性(15.1%)より5.4ポイント高くなっています。

図表 2-13-26 認知症サポーター養成講座の参加意向 性別



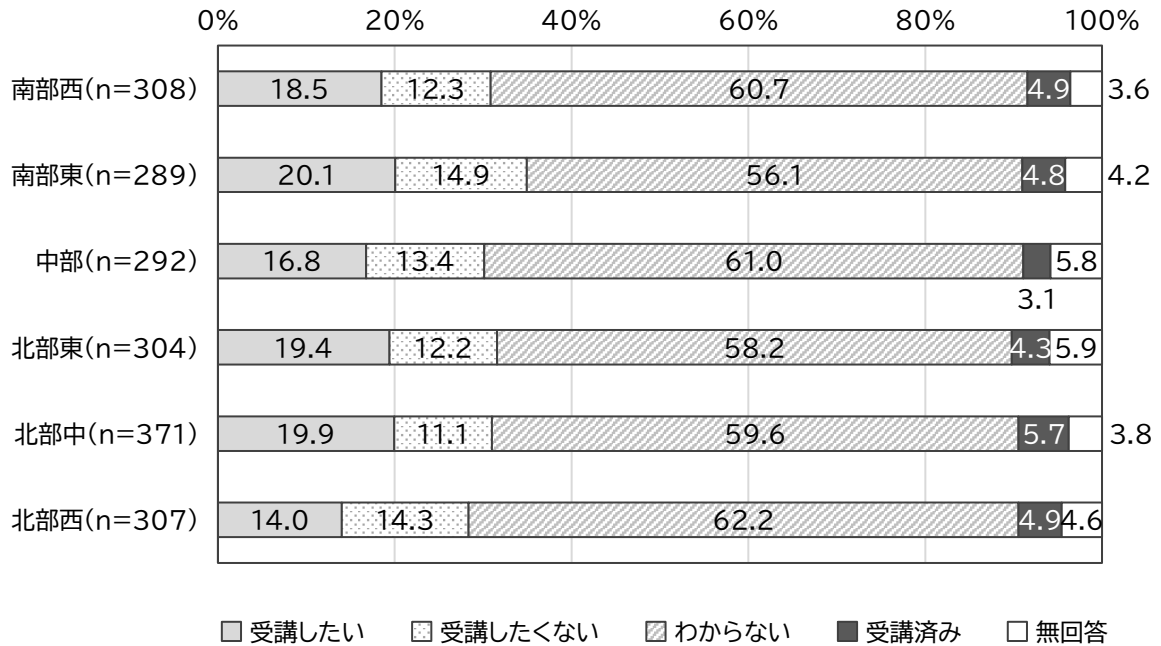
年齢別でみると、「受講したい」では、75～79歳が19.9%と最も高くなっています。

図表 2-13-27 認知症サポーター養成講座の参加意向 年齢別



圏域別でみると、「受講したい」では南部東地区で20.1%と最も高くなっています。

図表 2-13-28 認知症サポーター養成講座の参加意向 圏域別



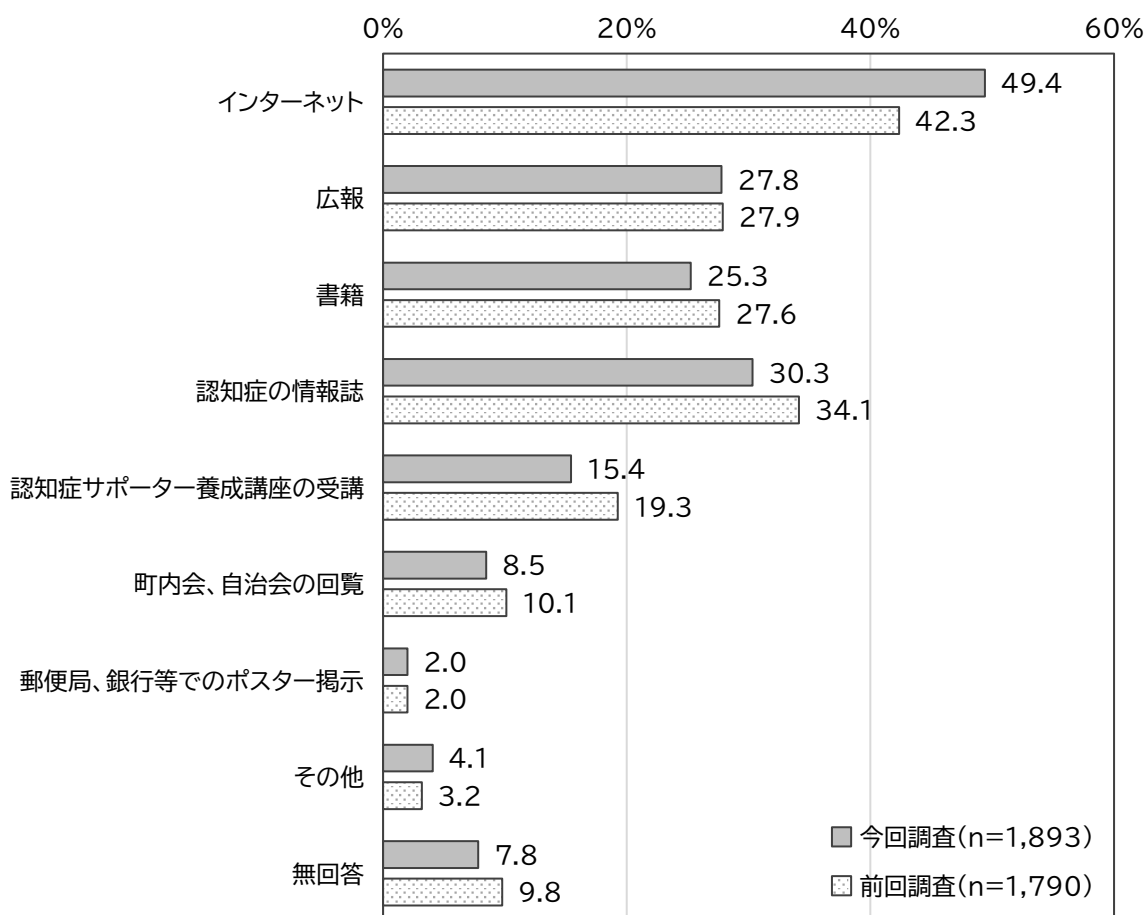
(10) 認知症についての情報源

問 15 (7) 認知症について知りたいと思ったとき、何を利用しますか。(〇は3つまで)

認知症についての情報源のイメージについては、「インターネット」が49.4%と最も高く、次いで「認知症の情報誌」が30.3%、「広報」が27.8%となっています。

前回調査と比較すると、「インターネット」(49.4%)が前回調査(42.3%)より7.1ポイント増加しています。

図表 2-13-29 認知症についての情報源



性別で見ると、「インターネット」では、男性が60.0%で、女性（41.9%）より18.1ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、79歳以下では「インターネット」、80歳以上では「認知症の情報誌」が最も高くなっています。

圏域別で見ると、「インターネット」では、南部東地区が52.2%と最も高くなっています。

図表 2-13-30 認知症についての情報源 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

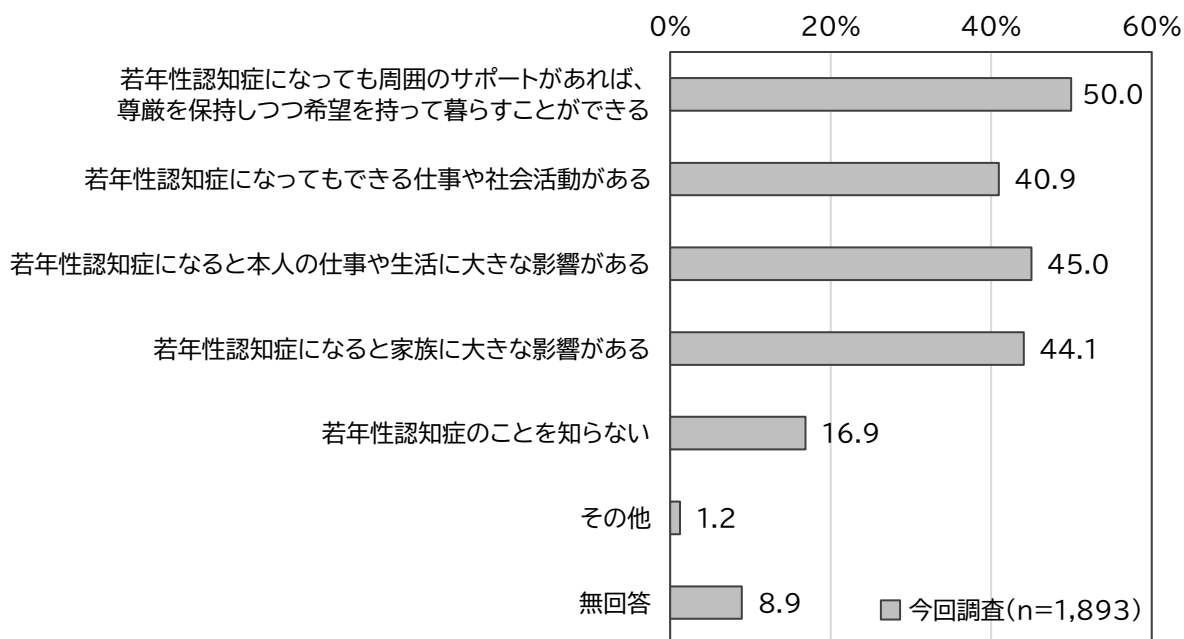
		合計	インターネット	広報	書籍	認知症の情報誌	認知症サポーター養成講座の受講	町内会、自治会の回覧	郵便局、銀行等でのポスター掲示	その他	無回答
全体		1,893	49.4	27.8	25.3	30.3	15.4	8.5	2.0	4.1	7.8
性別	男性	803	60.0	28.3	22.7	23.9	13.6	7.2	1.4	4.2	6.5
	女性	1,064	41.9	27.3	27.2	35.3	16.9	9.4	2.5	3.8	8.6
年齢別	65～69歳	396	81.6	19.4	30.6	23.7	12.1	3.8	0.5	2.3	2.5
	70～74歳	408	64.5	27.9	30.1	26.2	15.9	5.6	2.5	3.4	3.2
	75～79歳	468	42.9	31.8	21.4	35.3	15.0	10.5	1.9	4.7	7.5
	80～84歳	343	29.7	31.5	22.2	37.0	20.1	10.8	4.1	3.8	11.4
	85～89歳	181	14.4	29.3	22.7	30.9	14.9	14.4	1.7	6.1	16.0
	90歳以上	76	19.7	23.7	17.1	25.0	13.2	10.5	0.0	6.6	26.3
日常生活圏域別	南部西	308	46.4	32.1	25.0	28.6	14.3	10.7	1.6	5.2	6.8
	南部東	289	52.2	29.1	28.7	33.6	16.3	7.3	2.4	2.1	8.3
	中部	292	50.0	21.9	28.1	31.2	14.0	8.6	2.7	3.4	8.6
	北部東	304	49.7	28.3	23.4	28.9	15.8	8.2	1.0	2.6	9.5
	北部中	371	48.5	25.3	22.6	31.8	17.3	6.7	2.2	4.9	7.5
	北部西	307	51.8	30.0	24.8	27.7	14.7	9.4	2.3	5.2	5.9

(11) 若年性認知症で知っていること

問 15 (8) 若年性認知症 (65 歳未満で発症する認知症) について知っていることはどんなことですか。(〇はいくつでも)

若年性認知症について知っていることについては、「若年性認知症になっても周囲のサポートがあれば、尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる」が 50.0%と最も高く、次いで「若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある」が 45.0%、「若年性認知症になると家族に大きな影響がある」が 44.1%となっています。

図表 2-13-31 若年性認知症で知っていること



性別でみると、男性では「若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある」が43.0%と最も高く、女性では、「若年性認知症になっても周囲のサポートがあれば、尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる」が56.9%と最も高くなっています。

年齢別でみると、74歳以下では「若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある」、75歳以上では「若年性認知症になっても周囲のサポートがあれば、尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる」が最も高くなっています。

圏域別でみると、北部西地区では「若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある」、その他の地域では「若年性認知症になっても周囲のサポートがあれば、尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる」が最も高くなっています。

図表 2-13-32 若年性認知症で知っていること 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	若年性認知症になっても周囲のサポートがあれば、尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる	若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある	若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある	若年性認知症になると家族に大きな影響がある	若年性認知症のことを知らない	その他	無回答
全体		1,893	50.0	40.9	45.0	44.1	16.9	1.2	8.9
性別	男性	803	41.1	32.6	43.0	41.0	22.4	1.6	8.3
	女性	1,064	56.9	47.3	46.9	46.4	12.8	0.8	9.1
年齢別	65～69歳	396	49.7	40.7	53.5	52.3	16.4	0.8	1.3
	70～74歳	408	52.2	44.9	55.4	53.4	12.0	0.0	4.2
	75～79歳	468	53.4	44.9	45.7	42.1	17.7	1.5	7.1
	80～84歳	343	50.4	40.5	37.9	38.2	16.6	1.7	14.6
	85～89歳	181	44.8	32.0	27.1	31.5	24.9	0.6	21.5
	90歳以上	76	31.6	23.7	18.4	18.4	23.7	5.3	27.6
日常生活圏域別	南部西	308	51.6	40.3	45.5	44.2	14.3	0.6	9.4
	南部東	289	47.4	42.2	45.0	43.9	17.6	1.0	11.4
	中部	292	49.3	42.8	44.5	40.1	16.8	0.3	9.6
	北部東	304	54.6	44.1	45.7	45.7	13.8	1.0	9.5
	北部中	371	49.6	39.9	41.5	43.4	18.9	1.3	5.4
	北部西	307	48.5	37.8	49.8	46.9	19.5	2.3	8.5

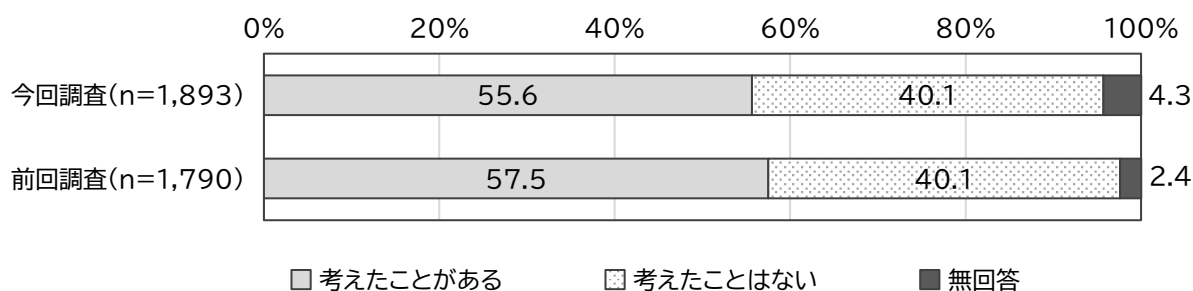
(12) 認知症になったときのことを考えたことがある

問 15 (9) あなたは今までにあなた自身や家族が認知症になった時にどうしたらいいのか、考えたことがありますか。(○は1つ)

自分や家族が認知症になったときにどうしたらよいか考えたことがあるかについては、「考えたことがある」が55.6%、「考えたことはない」が40.1%となっています。

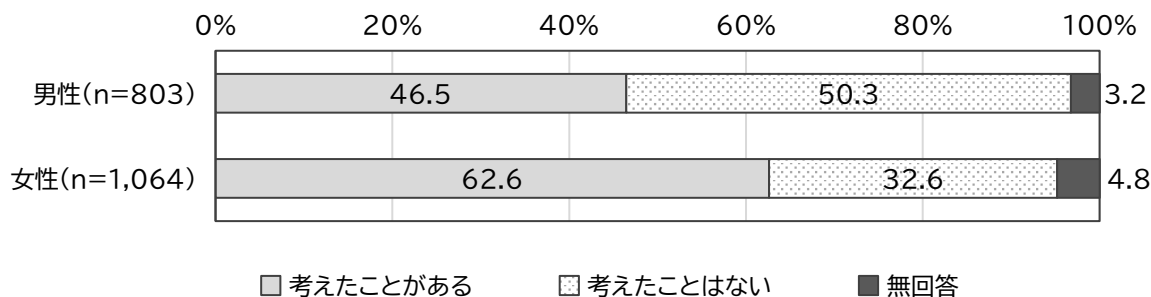
前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 2-13-33 認知症になったときのことを考えたことがある



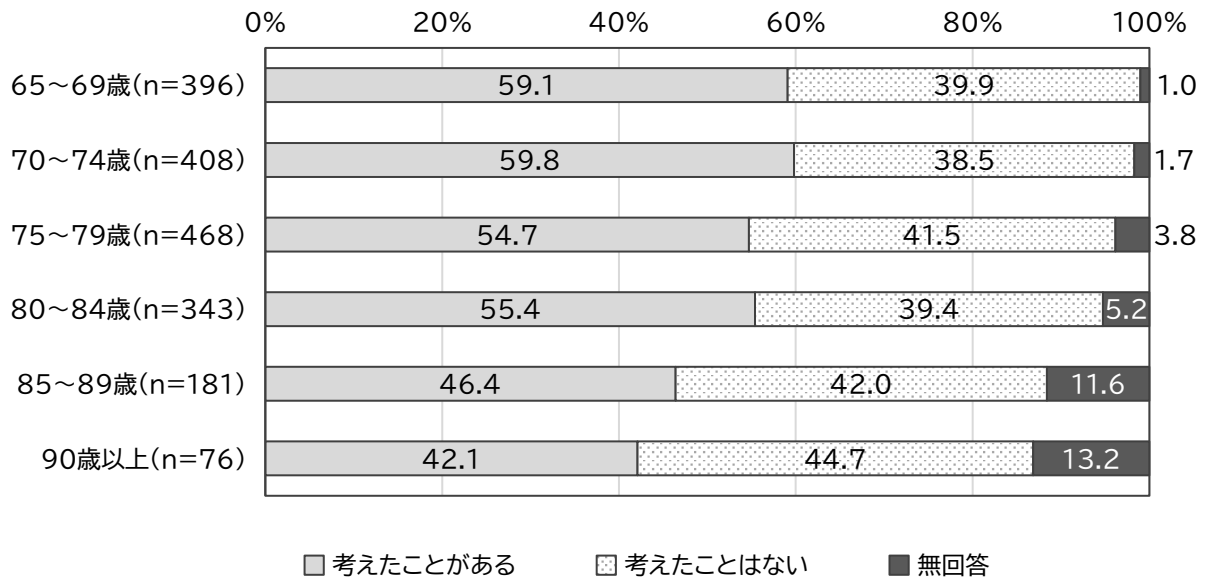
性別でみると、「考えたことがある」では、女性が62.6%で、男性(46.5%)より16.1ポイント高くなっています。

図表 2-13-34 認知症になったときのことを考えたことがある 性別



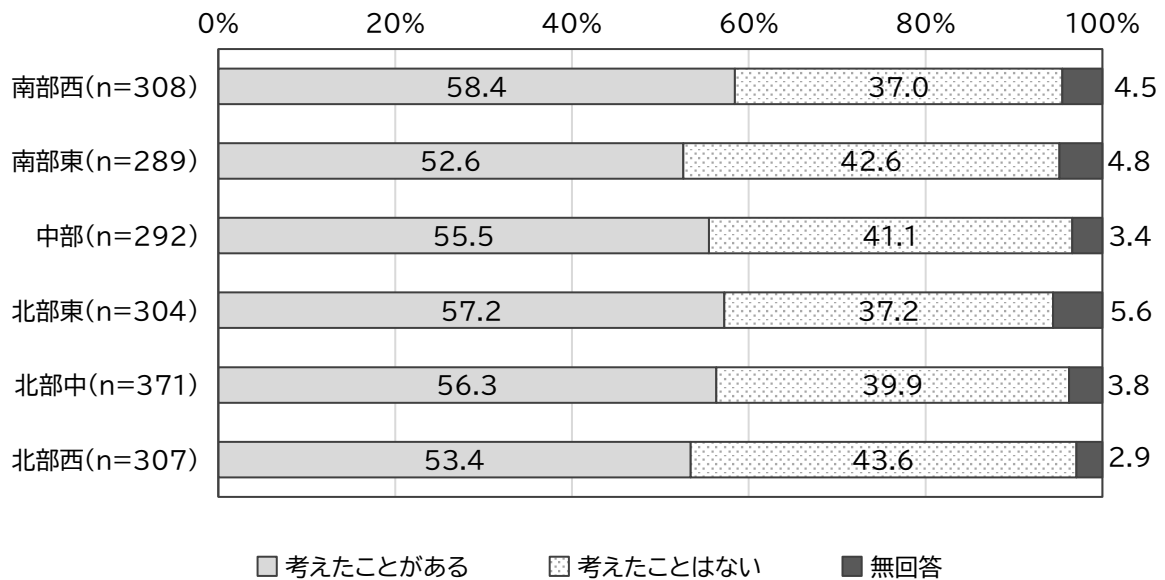
年齢別でみると、「考えたことがある」では、70～74歳が59.8%と最も高くなっています。

図表 2-13-35 認知症になったときのことを考えたことがある 年齢別



圏域別でみると、「考えたことがある」では、南部西地区で58.4%と最も高くなっています。

図表 2-13-36 認知症になったときのことを考えたことがある 圏域別



(13) 認知症になったらと考えたこと

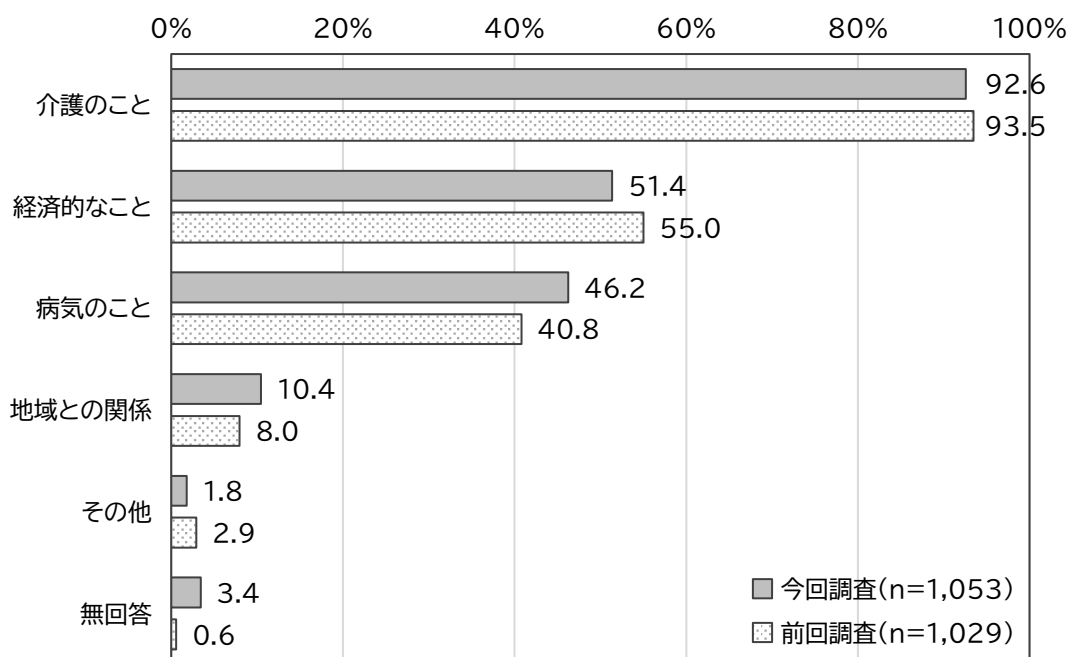
【問 15-(9)で「1. 考えたことがある」とお答えになった方におたずねします。】

①どのようなことを考えましたか。(〇はいくつでも)

認知症になったらと考えたことについては、「介護のこと」が92.6%と最も高く、次いで「経済的なこと」が51.4%、「病気のこと」が46.2%となっています。

前回調査と比較すると、「病気のこと」(46.2%)が前回調査(40.8%)より5.4ポイント増加しています。

図表 2-13-37 認知症になったらと考えたこと



性別でみると、大きな差はありません。

年齢別でみると、「介護のこと」では、70～74歳が95.5%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「介護のこと」では、南部東地区が95.4%と最も高くなっています。

図表 2-13-38 認知症になったらと考えたこと 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	介護のこと	経済的なこと	病気のこと	地域との関係	その他	無回答
全体		1,053	92.6	51.4	46.2	10.4	1.8	3.4
性別	男性	373	93.3	52.0	49.1	9.7	1.6	2.1
	女性	666	92.0	51.2	44.1	10.8	2.0	4.2
年齢別	65～69歳	234	92.7	57.3	46.2	8.1	1.7	3.8
	70～74歳	244	95.5	50.8	45.9	9.4	2.9	1.6
	75～79歳	256	93.0	52.3	45.7	11.3	2.3	2.3
	80～84歳	190	90.5	51.1	44.7	9.5	1.1	5.8
	85～89歳	84	89.3	42.9	48.8	16.7	0.0	3.6
	90歳以上	32	84.4	34.4	46.9	15.6	0.0	9.4
日常生活圏域別	南部西	180	90.6	52.8	49.4	7.2	1.7	3.9
	南部東	152	95.4	52.6	45.4	6.6	0.0	3.9
	中部	162	91.4	42.0	45.1	9.3	1.2	4.9
	北部東	174	90.2	54.0	43.1	10.3	2.3	4.0
	北部中	209	94.7	51.7	45.5	13.4	1.9	1.4
	北部西	164	92.7	55.5	47.6	14.6	3.7	3.0

(14) 認知症になったときにどうしたいか

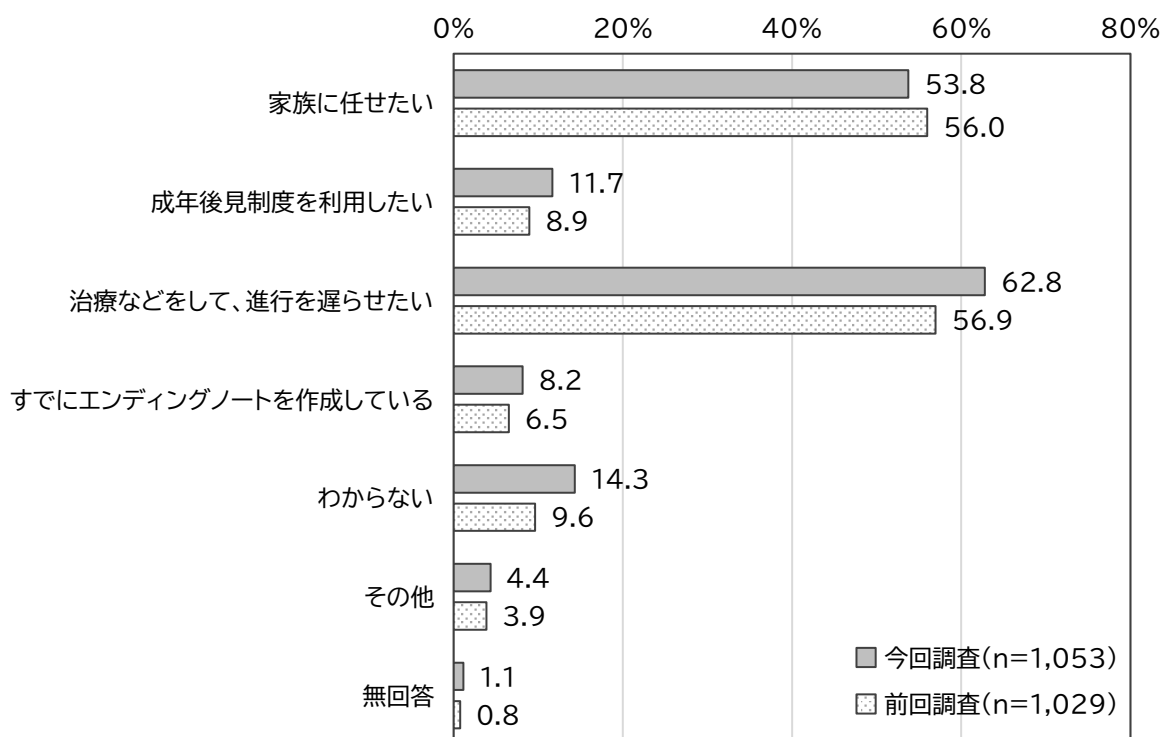
【問 15-(9)で「1. 考えたことがある」とお答えになった方におたずねします。】

②もし、あなたが認知症になった時どうしたいと考えますか。(〇はいくつでも)

認知症になった時にどうしたいかについては、「治療などをして、進行を遅らせたい」が62.8%と最も高く、次いで「家族に任せたい」が53.8%、「わからない」が14.3%となっています。

前回調査と比較すると、「治療などをして、進行を遅らせたい」(62.8%)が前回調査(56.9%)より5.9ポイント増加しています。

図表 2-13-39 認知症になったときにどうしたいか



性別で見ると、男性では「家族に任せたい」が60.1%と最も高く、女性では「治療などをして、進行を遅らせたい」が65.8%と最も高くなっています。

年齢別で見ると、80～84歳と90歳以上では「家族に任せたい」が最も高く、その他の年代では「治療などをして進行を遅らせたい」が最も高くなっています。

圏域別で見ると、北部中地区では「家族に任せたい」が64.1%と最も高く、その他の圏域では「治療などをして、進行を遅らせたい」が最も高くなっています。

図表 2-13-40 認知症になったときにどうしたいか 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	家族に任せたい	成年後見制度を利用したい	治療などをして、進行を遅らせたい	すでにエンディングノートを作成している	わからない	その他	無回答
全体		1,053	53.8	11.7	62.8	8.2	14.3	4.4	1.1
性別	男性	373	60.1	13.7	57.9	8.0	16.1	5.4	0.5
	女性	666	49.8	10.8	65.8	8.3	13.5	3.9	1.5
年齢別	65～69歳	234	45.3	16.2	61.5	5.6	14.1	6.0	0.0
	70～74歳	244	53.3	12.7	68.9	6.1	14.8	4.1	0.8
	75～79歳	256	52.0	11.7	63.7	9.4	16.8	3.9	1.2
	80～84歳	190	61.6	8.4	58.9	14.2	14.2	3.7	2.6
	85～89歳	84	58.3	8.3	65.5	7.1	8.3	2.4	1.2
	90歳以上	32	65.6	3.1	43.8	0.0	12.5	9.4	3.1
問2 日常生活圏域別	南部西	180	49.4	12.8	61.7	7.8	18.9	2.8	2.2
	南部東	152	53.9	13.2	61.8	8.6	14.5	5.3	0.0
	中部	162	54.9	14.2	64.8	7.4	14.2	4.3	1.2
	北部東	174	47.1	11.5	63.2	8.0	12.1	4.0	2.3
	北部中	209	64.1	9.1	62.7	8.6	10.5	5.3	1.0
	北部西	164	49.4	11.0	64.0	8.5	17.1	4.9	0.0

(15) 認知症になったときのことを考えなかった理由

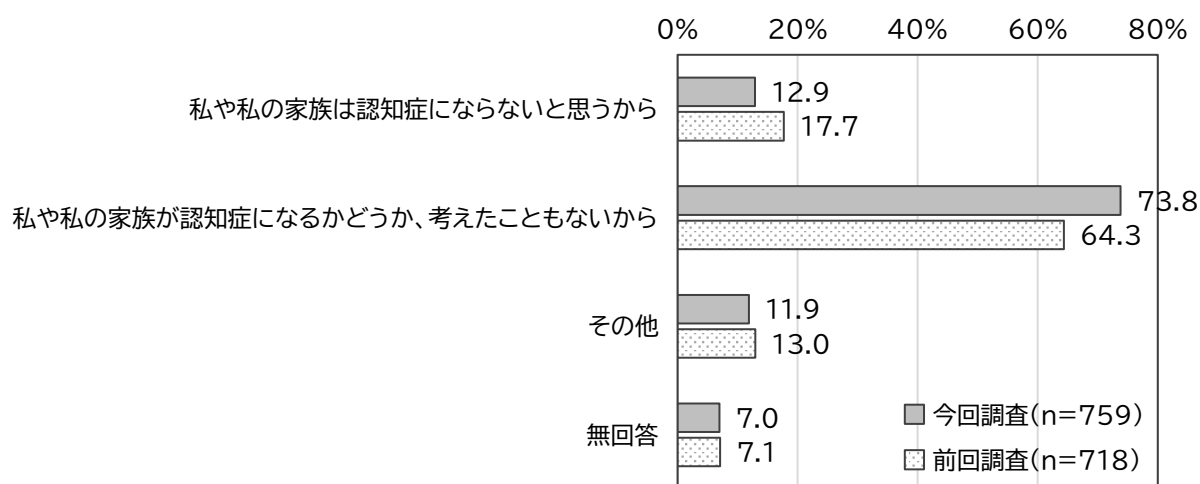
【問 15-(9)で「2. 考えたことはない」とお答えになった方におたずねします。】

③その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

認知症になったときのことを考えなかった理由については、「私や私の家族が認知症になるかどうか、考えたこともないから」が73.8%と最も高く、次いで「私や私の家族は認知症にならないと思うから」が12.9%となっています。

前回調査と比較すると、「私や私の家族が認知症になるかどうか、考えたこともないから」(73.8%)が前回調査(64.3%)より9.5ポイント増加しています。

図表 2-13-41 認知症になったときのことを考えなかった理由



性別でみると、大きな差はありません。

年齢別でみると、「私や私の家族は認知症にならないと思うから」では、90歳以上が23.5%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「私や私の家族は認知症にならないと思うから」では、北部東地区が14.2%と最も高くなっています。

図表 2-13-42 認知症になったときのことを考えなかった理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	私や私の家族は認知症にならないと思うから	私や私の家族が認知症になるかどうか、考えたこともないから	その他	無回答
全体		759	12.9	73.8	11.9	7.0
性別	男性	404	12.4	74.8	11.4	6.7
	女性	347	13.5	73.2	12.4	6.9
年齢別	65～69歳	158	7.6	76.6	15.8	3.2
	70～74歳	157	10.2	74.5	14.0	4.5
	75～79歳	194	9.8	76.3	11.9	7.7
	80～84歳	135	19.3	71.9	7.4	8.9
	85～89歳	76	21.1	68.4	11.8	9.2
	90歳以上	34	23.5	67.6	0.0	17.6
日常生活圏域別	南部西	114	12.3	76.3	10.5	6.1
	南部東	123	13.0	67.5	11.4	11.4
	中部	120	12.5	73.3	16.7	5.0
	北部東	113	14.2	75.2	7.1	8.8
	北部中	148	13.5	73.6	11.5	8.1
	北部西	134	11.9	78.4	13.4	1.5

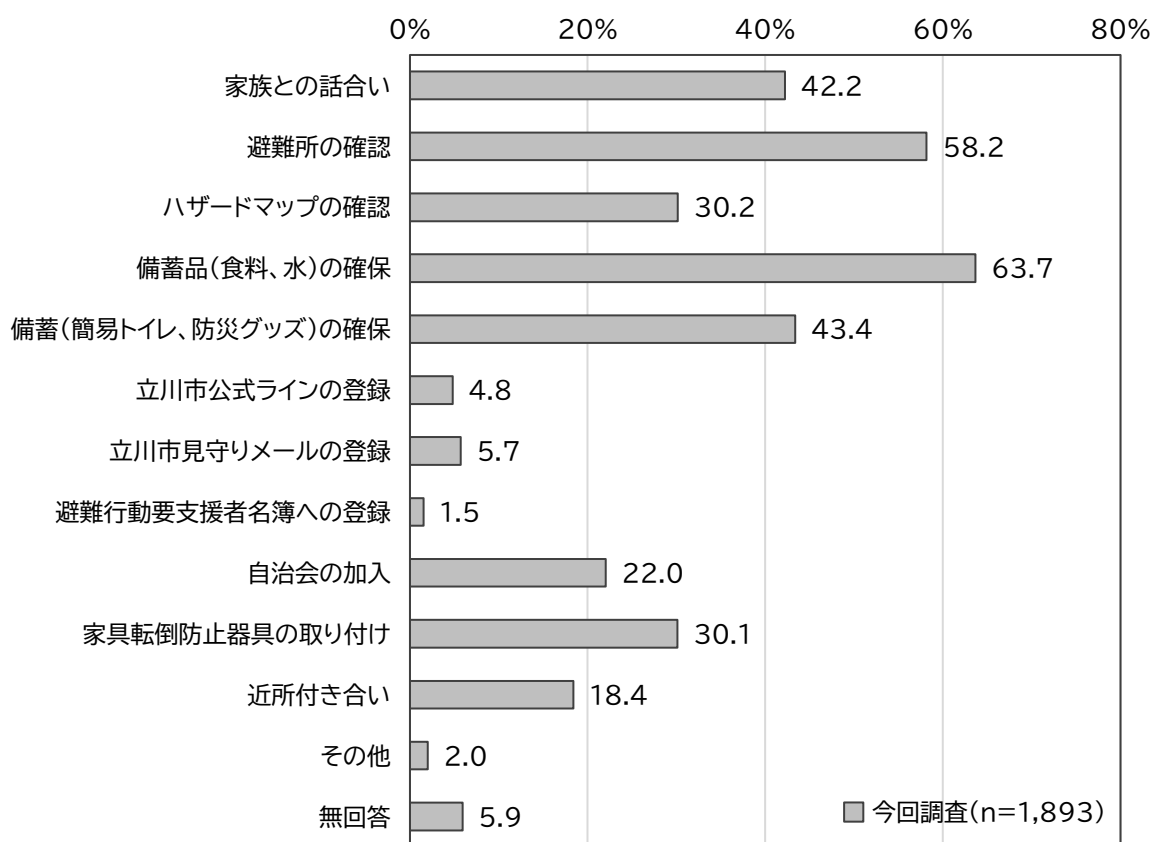
14. 災害時の対応について

(1) 災害時の備え

問16(1) あなたは、災害時の備えについて、どのようなことを行っていますか。(〇はいくつでも)

災害時の備えで行っていることについては、「備蓄品（食料、水）の確保」が63.7%と最も高く、次いで、「避難所の確認」が58.2%、「備蓄（簡易トイレ、防災グッズ）の確保」が43.4%となっています。

図表 2-14-1 災害時の備え



性別でみると、「備蓄品（食料、水）の確保」では、女性が65.7%で、男性（60.6%）より5.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「備蓄品（食料、水）の確保」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が67.2%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「備蓄品（食料、水）の確保」では、北部西地区が67.1%と最も高くなっています。

図表 2-14-2 災害時の備え 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

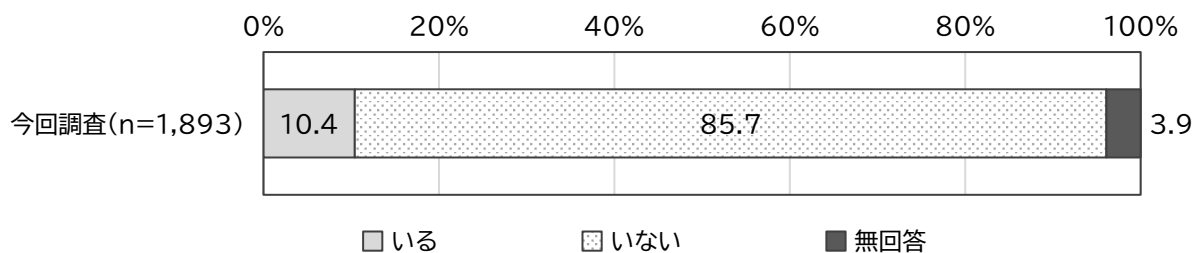
		合計	家族との話し合い	避難所の確認	ハザードマップの確認	備蓄品(食料、水)の確保	備蓄(簡易トイレ、防災グッズ)の確保	立川市公式ラインの登録	立川市見守りメールの登録	避難行動要支援者名簿への登録	自治会の加入	家具転倒防止器具の取り付け	近所付き合い	その他	無回答
全体		1,893	42.2	58.2	30.2	63.7	43.4	4.8	5.7	1.5	22.0	30.1	18.4	2.0	5.9
性別	男性	803	42.8	57.5	34.0	60.6	36.7	5.0	4.1	1.9	17.7	28.1	14.3	2.7	6.0
	女性	1,064	41.9	58.9	27.3	65.7	48.5	4.7	7.0	1.3	25.3	32.0	21.5	1.5	5.7
年齢別	65～69歳	396	45.7	63.1	42.4	67.2	45.2	7.8	8.6	0.8	16.7	29.8	12.1	1.8	3.3
	70～74歳	408	47.1	62.5	30.9	66.2	47.5	6.1	6.4	0.7	19.6	28.4	16.9	2.0	3.2
	75～79歳	468	39.5	58.8	32.3	63.0	42.9	3.2	5.6	1.7	23.9	30.3	21.8	0.4	5.6
	80～84歳	343	40.2	58.0	22.2	63.6	41.7	5.0	4.4	2.3	26.5	32.9	21.0	2.6	8.2
	85～89歳	181	40.9	45.3	21.5	55.8	41.4	1.1	3.3	3.9	24.9	31.5	21.0	5.0	9.4
	90歳以上	76	28.9	39.5	7.9	52.6	30.3	0.0	0.0	0.0	22.4	27.6	21.1	3.9	17.1
日常生活圏域別	南部西	308	40.9	56.5	37.0	59.7	48.1	5.2	6.2	0.0	22.4	27.3	17.2	2.9	5.8
	南部東	289	41.2	63.0	32.9	66.4	39.8	3.8	5.9	1.7	18.7	29.8	15.9	1.7	6.6
	中部	292	38.0	56.8	24.7	58.9	39.0	5.8	5.5	1.7	17.8	26.4	18.5	1.7	6.2
	北部東	304	40.8	58.9	26.6	63.8	44.7	5.3	5.6	1.6	28.6	33.9	17.4	1.6	7.2
	北部中	371	46.9	59.0	30.2	65.0	46.4	4.9	7.0	2.2	24.3	33.2	21.8	1.6	4.6
	北部西	307	45.0	56.0	30.0	67.1	42.0	4.2	4.2	2.0	19.2	30.0	18.9	2.3	5.2

(2) 災害時の自力避難の困難者について

問 16 (2) あなた自身やあなたの同居のご家族に、災害時に自力で避難が困難な方はいますか。
(〇は1つ)

自分や同居家族に、災害時に自力避難が困難な人がいるかについては、「いる」が10.4%、「いない」が85.7%となっています。

図表 2-14-3 災害時の自力避難の困難者について



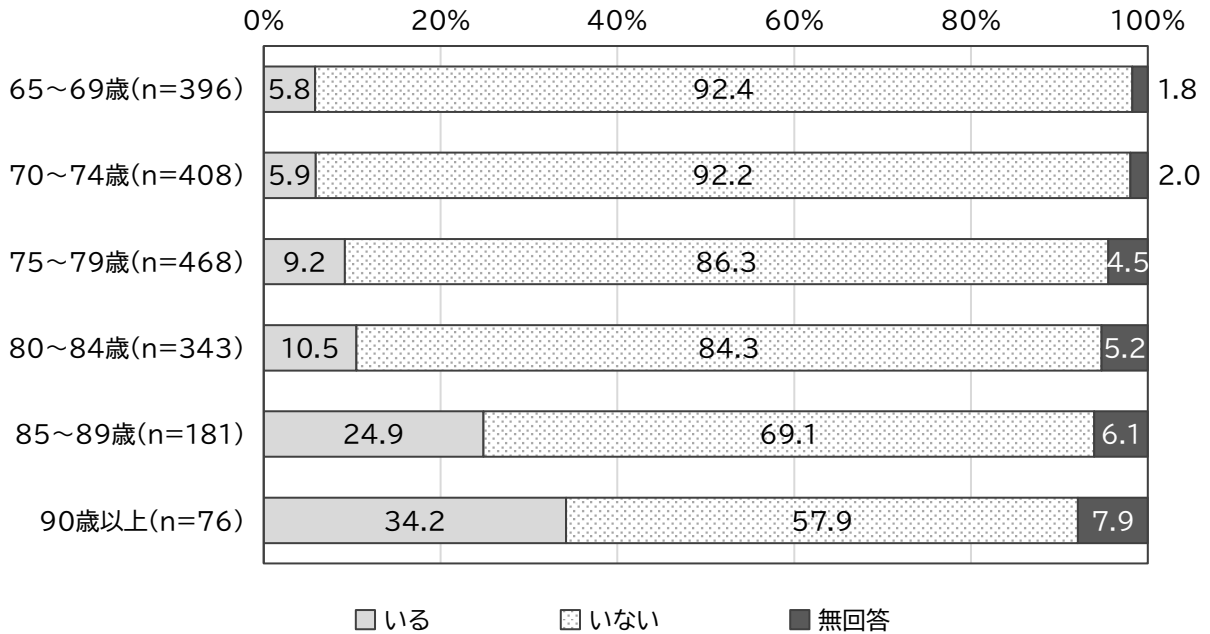
性別でみると、「いる」では、男性が9.1%、女性が11.3%となっています。

図表 2-14-4 災害時の自力避難の困難者について 性別



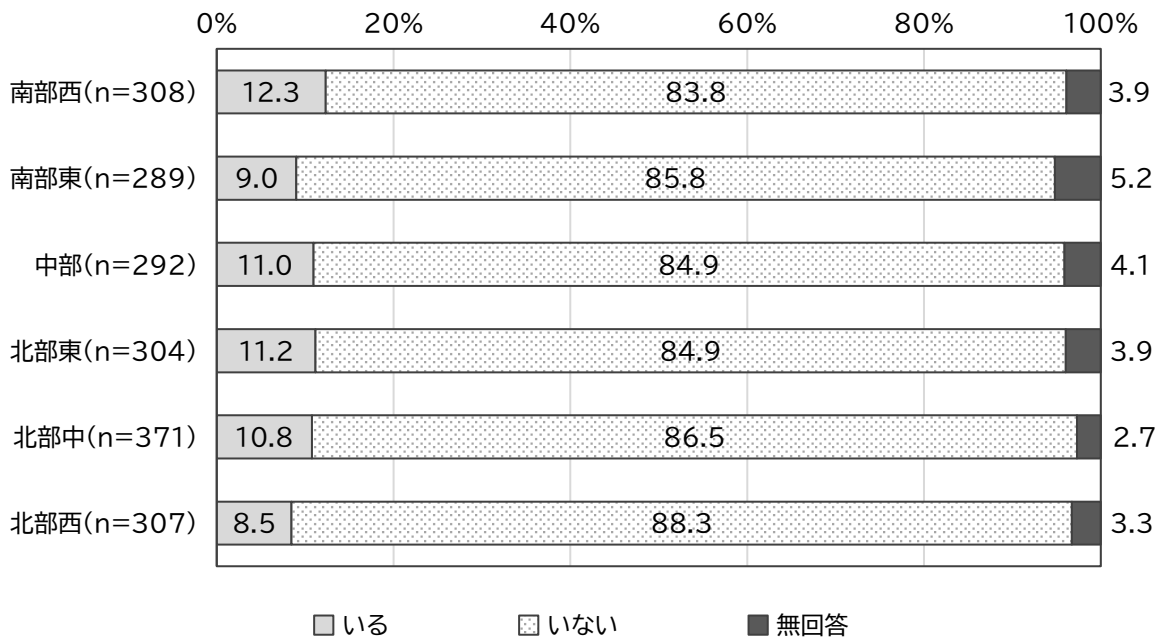
年齢別でみると、「いる」では、年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上では34.2%と最も高くなっています。

図表 2-14-5 災害時の自力避難の困難者について 年齢別



圏域別でみると、「いる」では、南部西地区が12.3%と最も高くなっています。

図表 2-14-6 災害時の自力避難の困難者について 圏域別



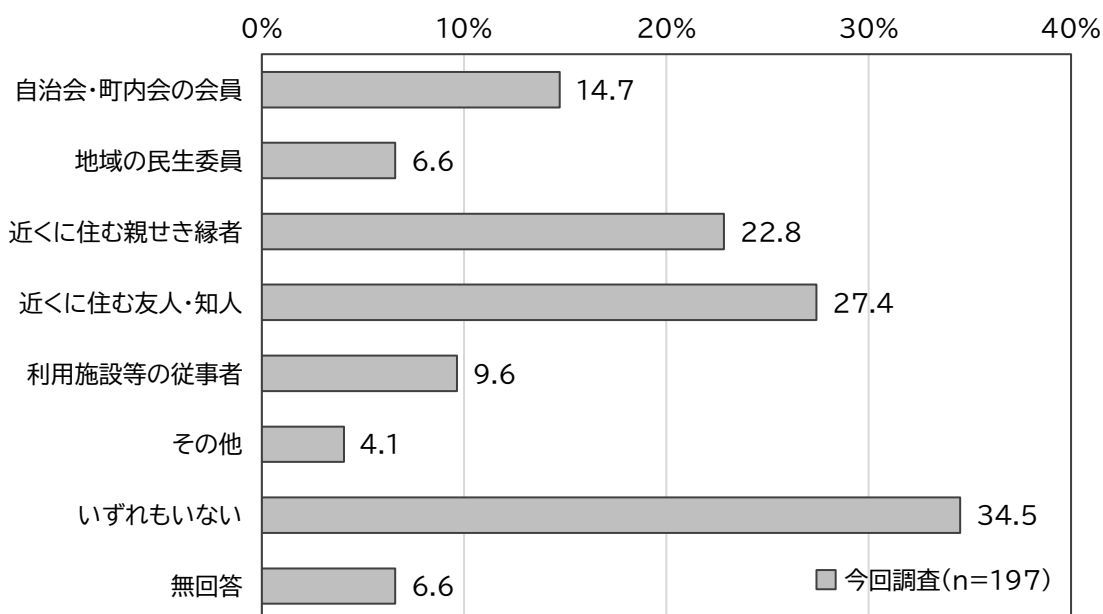
(3) 災害時の避難等を手助けしてくれる方

【問16-(2)で「1. いる」とお答えになった方におたずねします。】

①災害時の避難等を手助けしてくれる方(ご家族以外)はいますか。(〇はいくつでも)

自分や同居家族に、災害時に自力避難が困難な方がいる人のうち、家族以外で災害時の避難等を手助けしてくれる方の状況については、「いずれもない」が34.5%と最も高く、次いで「近くに住む友人・知人」が27.4%、「近くに住む親せき縁者」が22.8%となっています。

図表 2-14-7 災害時の避難等を手助けしてくれる方



性別でみると、「いずれもない」では、男性が37.0%、女性が33.3%となっています。

年齢別でみると、65～69歳では、「近くに住む友人・知人」が43.5%と最も高くなっており、その他の年代では「いずれもない」が最も高く、70～74歳では45.8%となっています。

圏域別でみると、「いずれもない」では、中部地区が46.9%と最も高くなっていきます。

図表 2-14-8 災害時の避難等を手助けしてくれる方 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

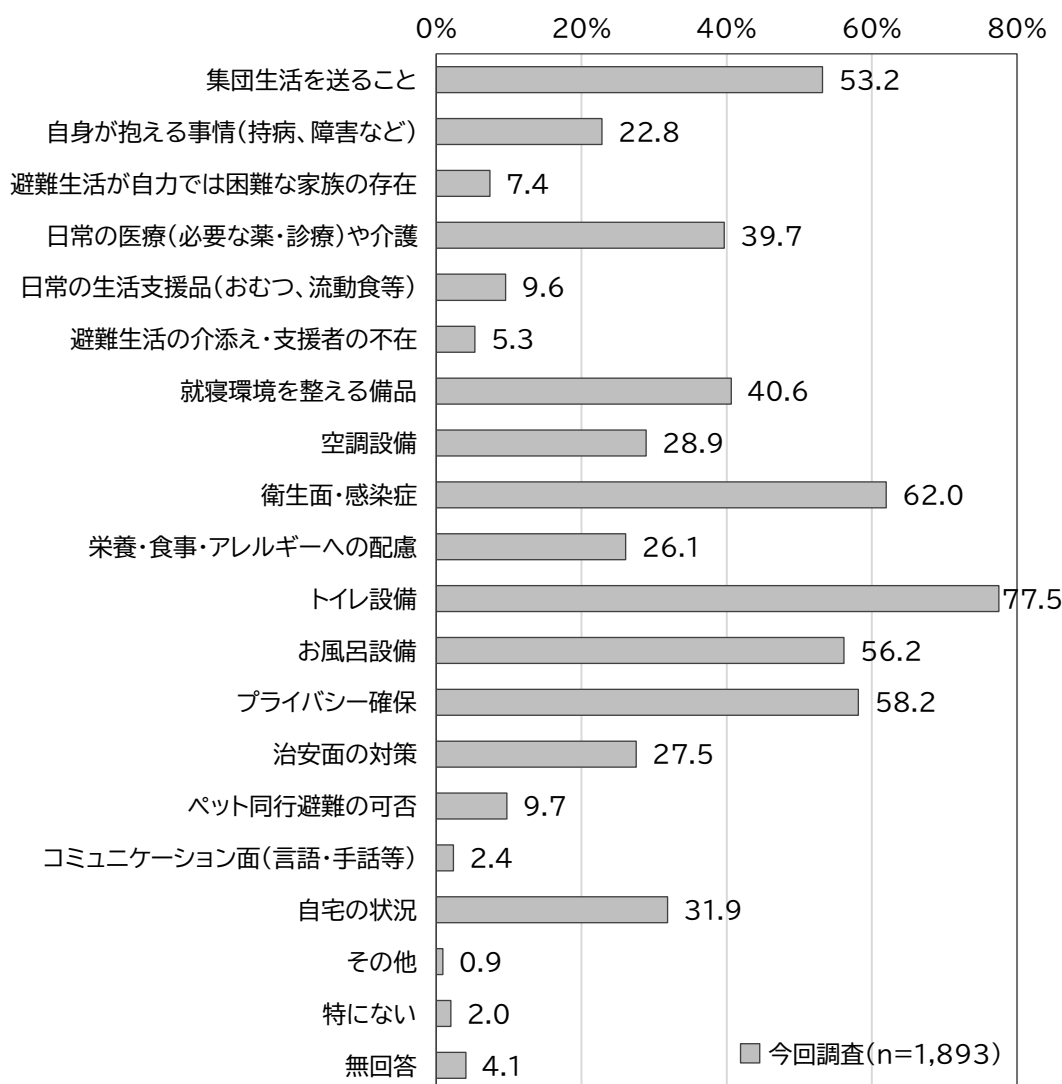
		合計	自治会・町内会の会員	地域の民生委員	近くに住む親せき縁者	近くに住む友人・知人	利用施設等の従事者	その他	いずれもない	無回答
全体		197	14.7	6.6	22.8	27.4	9.6	4.1	34.5	6.6
性別	男性	73	13.7	6.8	27.4	23.3	12.3	2.7	37.0	2.7
	女性	120	15.8	6.7	20.0	30.0	8.3	5.0	33.3	7.5
年齢別	65～69歳	23	26.1	4.3	34.8	43.5	26.1	4.3	21.7	0.0
	70～74歳	24	4.2	4.2	12.5	25.0	12.5	0.0	45.8	4.2
	75～79歳	43	11.6	4.7	25.6	23.3	9.3	0.0	32.6	11.6
	80～84歳	36	19.4	5.6	19.4	22.2	5.6	11.1	38.9	5.6
	85～89歳	45	15.6	8.9	24.4	22.2	6.7	6.7	28.9	8.9
	90歳以上	26	11.5	11.5	19.2	38.5	3.8	0.0	42.3	3.8
日常生活圏域別	南部西	38	23.7	10.5	23.7	31.6	2.6	2.6	31.6	7.9
	南部東	26	3.8	11.5	26.9	34.6	7.7	3.8	30.8	7.7
	中部	32	9.4	9.4	25.0	6.3	9.4	6.3	46.9	3.1
	北部東	34	11.8	5.9	23.5	17.6	8.8	8.8	38.2	8.8
	北部中	40	22.5	2.5	22.5	35.0	15.0	2.5	30.0	7.5
	北部西	26	11.5	0.0	11.5	42.3	15.4	0.0	30.8	3.8

(4) 避難所生活の心配事

問 16 (3) 自宅等に被害があり、避難所で避難生活を送らなければならなくなった際の心配ごとは何ですか。(〇はいくつでも)

避難所で避難所生活を送らなければならなくなった際の心配事では、「トイレ設備」が77.5%と最も高く、次いで「衛生面・感染症」が62.0%、「プライバシー確保」が58.2%となっています。

図表 2-14-9 避難所生活の心配事



性別でみると、「トイレ設備」では、女性が81.2%で、男性(73.1%)より8.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「トイレ設備」では、65～69歳が81.3%で最も高くなっています。

圏域別でみると、「トイレ設備」では、南部東地区が81.7%と最も高くなっています。

図表 2-14-10 避難所生活の心配事 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	集団生活を送ること	自身が抱える事情 (持病、障害など)	避難生活が自力では 困難な家族の存在	日常の医療(必要な 薬・診療)や介護	日常の生活支援品 (おむつ、流動食等)	避難生活の介添え・ 支援者の不在	就寝環境を整える備 品	空調設備	衛生面・感染症	栄養・食事・アレルギー への配慮
全体		1,893	53.2	22.8	7.4	39.7	9.6	5.3	40.6	28.9	62.0	26.1
性別	男性	803	49.2	24.3	7.1	42.3	10.2	5.4	34.7	28.1	55.8	23.7
	女性	1,064	56.6	21.6	7.6	37.7	9.2	5.2	44.7	29.6	66.7	27.9
年齢別	65～69歳	396	55.6	16.4	6.3	32.6	7.8	4.0	44.4	37.6	68.9	26.0
	70～74歳	408	53.2	19.6	6.6	36.5	9.1	3.7	43.9	31.6	69.9	28.7
	75～79歳	468	52.6	26.5	7.3	42.1	8.3	4.7	37.4	27.8	62.0	25.9
	80～84歳	343	56.9	25.4	7.6	44.6	9.9	6.4	38.5	23.6	54.8	23.0
	85～89歳	181	45.3	27.6	9.9	44.8	14.4	7.2	35.9	19.9	50.8	25.4
	90歳以上	76	52.6	27.6	11.8	46.1	17.1	14.5	40.8	26.3	43.4	31.6
日常生活圏域別	南部西	308	48.1	21.1	7.5	36.4	7.1	4.2	39.0	28.6	65.9	23.4
	南部東	289	56.1	23.9	6.9	41.9	9.0	6.6	42.2	31.5	65.7	30.1
	中部	292	48.6	21.2	6.8	37.7	8.6	6.2	40.4	30.5	62.0	27.7
	北部東	304	54.3	22.7	8.2	42.4	10.2	4.6	40.5	27.6	58.2	30.3
	北部中	371	59.0	25.1	7.8	40.7	13.5	5.9	41.8	29.9	59.8	24.3
	北部西	307	53.4	22.1	6.8	38.8	8.1	4.2	39.1	26.1	60.9	21.5

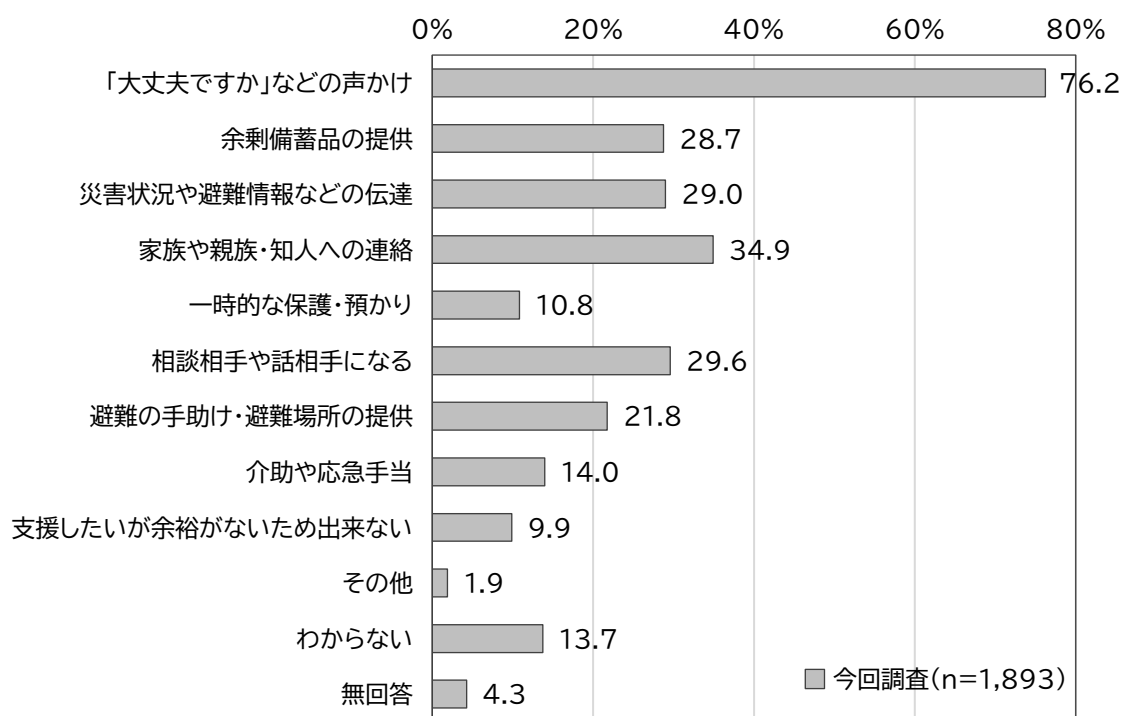
		合計	トイレ設備	お風呂設備	プライバシー確保	治安面の対策	ペット同行避難の可 否	コミュニケーション 面(言語・手話等)	自宅の状況	その他	特にな い	無回 答
全体		1,893	77.5	56.2	58.2	27.5	9.7	2.4	31.9	0.9	2.0	4.1
性別	男性	803	73.1	53.9	52.8	23.5	9.8	2.9	31.1	0.7	2.9	4.0
	女性	1,064	81.2	58.0	62.2	30.7	9.3	2.1	32.4	1.0	1.3	3.8
年齢別	65～69歳	396	81.3	63.6	66.7	33.8	15.7	2.3	34.1	1.3	0.8	2.3
	70～74歳	408	80.6	60.0	66.9	28.7	11.5	2.2	32.6	0.2	2.5	1.2
	75～79歳	468	76.9	54.7	54.7	27.6	9.4	3.2	32.7	0.9	1.5	3.8
	80～84歳	343	76.7	56.3	52.5	23.3	5.2	2.0	30.9	1.2	2.3	5.8
	85～89歳	181	67.4	42.0	45.3	26.0	3.9	1.7	28.7	1.7	4.4	7.7
	90歳以上	76	77.6	40.8	44.7	15.8	0.0	2.6	23.7	0.0	1.3	9.2
日常生活圏域別	南部西	308	76.0	55.2	57.5	27.6	6.8	1.9	29.2	1.0	2.9	4.9
	南部東	289	81.7	59.9	62.3	29.1	12.5	2.4	31.1	0.7	1.0	3.8
	中部	292	74.0	53.4	53.1	26.0	9.9	1.0	31.8	1.0	1.4	4.8
	北部東	304	75.7	53.9	59.5	28.6	9.5	3.0	26.6	0.7	2.3	4.9
	北部中	371	78.7	58.2	59.3	24.8	10.2	3.0	35.3	1.6	1.1	2.4
	北部西	307	79.8	56.4	57.0	30.6	8.5	2.6	35.8	0.3	3.3	2.9

(5) 災害時にできる近所への支援

問 16 (4) ご自身では、災害が起こった時に、ご近所の方にはどのような支援（手助け）ができると思いますか。（〇はいくつでも）

災害時にできる近所への支援については、「大丈夫ですか」などの声かけ」が76.2%と最も高く、次いで「家族や親族・知人への連絡」が34.9%、「相談相手や話相手になる」が29.6%となっています。

図表 2-14-11 避難時にできる近所への支援



性別でみると、「相談相手や話相手になる」では、女性が33.9%で、男性（24.0%）より9.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「大丈夫ですか」などの声かけ」では、概ね年齢が上がるにつれて割合が減少しており、70～74歳が79.9%で最も高くなっています。

圏域別でみると、「大丈夫ですか」などの声かけ」では、北部中地区が81.1%と最も高くなっています。

図表 2-14-12 避難時にできる近所への支援 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	「大丈夫ですか」などの声かけ	余剰備蓄品の提供	災害状況や避難情報などの伝達	家族や親族・知人への連絡	一時的な保護・預かり	相談相手や話相手になる	避難の手助け・避難場所の提供	介助や応急手当	支援したいが余裕がないため出来ない	その他	わからない	無回答
全体		1,893	76.2	28.7	29.0	34.9	10.8	29.6	21.8	14.0	9.9	1.9	13.7	4.3
性別	男性	803	74.3	28.8	31.4	32.9	12.8	24.0	27.5	14.9	9.0	1.1	14.6	3.7
	女性	1,064	78.3	28.9	27.6	36.4	9.5	33.9	17.6	13.3	10.6	2.4	13.2	4.2
年齢別	65～69歳	396	79.3	28.0	36.6	32.3	11.1	29.0	25.8	17.9	6.1	0.8	16.4	1.8
	70～74歳	408	79.9	29.2	32.8	36.3	14.2	31.6	27.9	15.0	7.8	0.7	10.0	1.5
	75～79歳	468	78.8	30.8	30.6	38.9	12.2	31.0	23.5	16.7	8.5	1.5	12.6	3.8
	80～84歳	343	75.8	30.0	22.7	34.7	8.2	31.5	16.3	9.9	14.3	3.5	13.7	6.1
	85～89歳	181	66.9	25.4	21.5	32.0	7.7	23.2	8.8	8.3	16.6	4.4	14.4	8.8
	90歳以上	76	57.9	22.4	10.5	22.4	3.9	21.1	13.2	3.9	14.5	2.6	25.0	10.5
日常生活圏域別	南部西	308	74.4	31.5	26.0	32.8	6.5	25.6	20.8	12.7	9.1	1.9	14.3	4.9
	南部東	289	74.4	30.1	28.4	31.8	12.1	31.1	23.5	14.9	7.3	0.7	15.6	5.2
	中部	292	72.3	24.7	25.7	38.0	10.3	28.1	18.2	14.4	8.2	2.1	15.4	4.8
	北部東	304	76.3	26.3	29.6	32.6	8.9	26.6	21.7	13.5	13.2	2.3	13.5	4.9
	北部中	371	81.1	31.0	31.0	38.5	13.5	33.7	22.1	14.0	11.1	2.7	11.6	3.0
	北部西	307	79.8	29.0	34.2	34.5	13.7	31.9	24.1	14.7	10.4	1.3	12.4	2.3

15. 介護保険のことについて

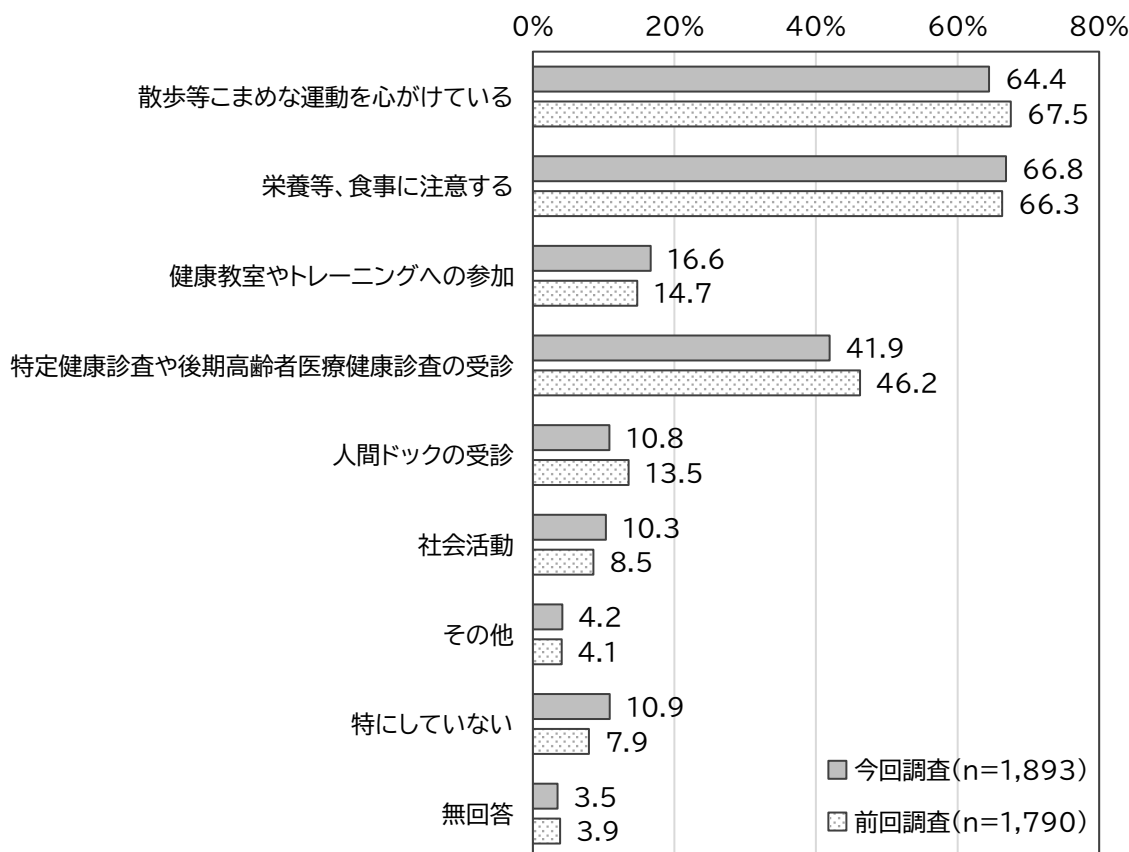
(1) 健康であるためにしていること

問 17 (1) あなた自身が介護保険を使わず健康であるために普段していることは何ですか。
(〇はいくつでも)

介護保険を使わず健康であるために普段していることでは、「栄養等、食事に注意する」が66.8%と最も高く、次いで「散歩等こまめな運動を心がけている」が64.4%、「特定健康診査や後期高齢者医療健康診査の受診」が41.9%となっています。

前回調査と比較すると、「特定健康診査や後期高齢者医療健康診査の受診」(41.9%)が前回調査(46.2%)より4.3ポイント、「散歩等こまめな運動を心がけている」(64.4%)が前回調査(67.5%)より3.1ポイント減少している一方で、「特にしていない」(10.9%)が前回調査(7.9%)より3.0ポイント増加しています。

図表 2-15-1 健康であるためにしていること



性別でみると、「栄養等、食事に注意する」では、女性が72.2%で、男性（59.9%）より12.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「栄養等、食事に注意する」では、85～89歳が72.9%で最も高くなっています。

圏域別でみると、「栄養等、食事に注意する」では、南部東地区が70.6%と最も高くなっています。

図表 2-15-2 健康であるためにしていること 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	散歩等こまめな運動を心がけている	栄養等、食事に注意する	健康教室やトレーニングへの参加	特定健康診査や後期高齢者医療健康診査の受診	人間ドックの受診	社会活動	その他	特にしていない	無回答
全体		1,893	64.4	66.8	16.6	41.9	10.8	10.3	4.2	10.9	3.5
性別	男性	803	66.3	59.9	9.1	38.0	16.1	10.1	4.0	12.0	3.0
	女性	1,064	63.3	72.2	22.4	45.3	6.9	10.5	4.3	10.2	3.6
年齢別	65～69歳	396	64.6	63.6	14.6	30.6	19.4	9.6	3.8	13.4	1.8
	70～74歳	408	64.2	66.4	16.2	40.2	12.5	10.0	3.4	10.3	1.7
	75～79歳	468	66.2	66.2	18.6	45.3	9.8	10.3	3.8	9.2	3.2
	80～84歳	343	67.6	70.0	16.6	49.9	5.8	12.2	4.7	10.5	4.7
	85～89歳	181	60.8	72.9	18.8	48.6	4.4	11.0	6.1	13.3	4.4
	90歳以上	76	51.3	61.8	13.2	44.7	0.0	5.3	6.6	7.9	11.8
日常生活圏域別	南部西	308	64.9	62.0	13.6	40.6	7.1	8.1	3.9	13.6	3.6
	南部東	289	65.1	70.6	22.5	40.1	15.6	13.5	5.2	6.9	3.1
	中部	292	66.1	67.1	14.4	47.6	11.3	8.9	3.4	8.6	5.1
	北部東	304	63.5	65.5	17.4	36.2	8.9	7.9	3.3	13.5	3.9
	北部中	371	68.2	69.3	17.5	44.2	11.1	11.1	5.4	8.6	2.7
	北部西	307	59.9	66.8	14.7	44.0	11.1	12.4	3.9	14.0	1.6

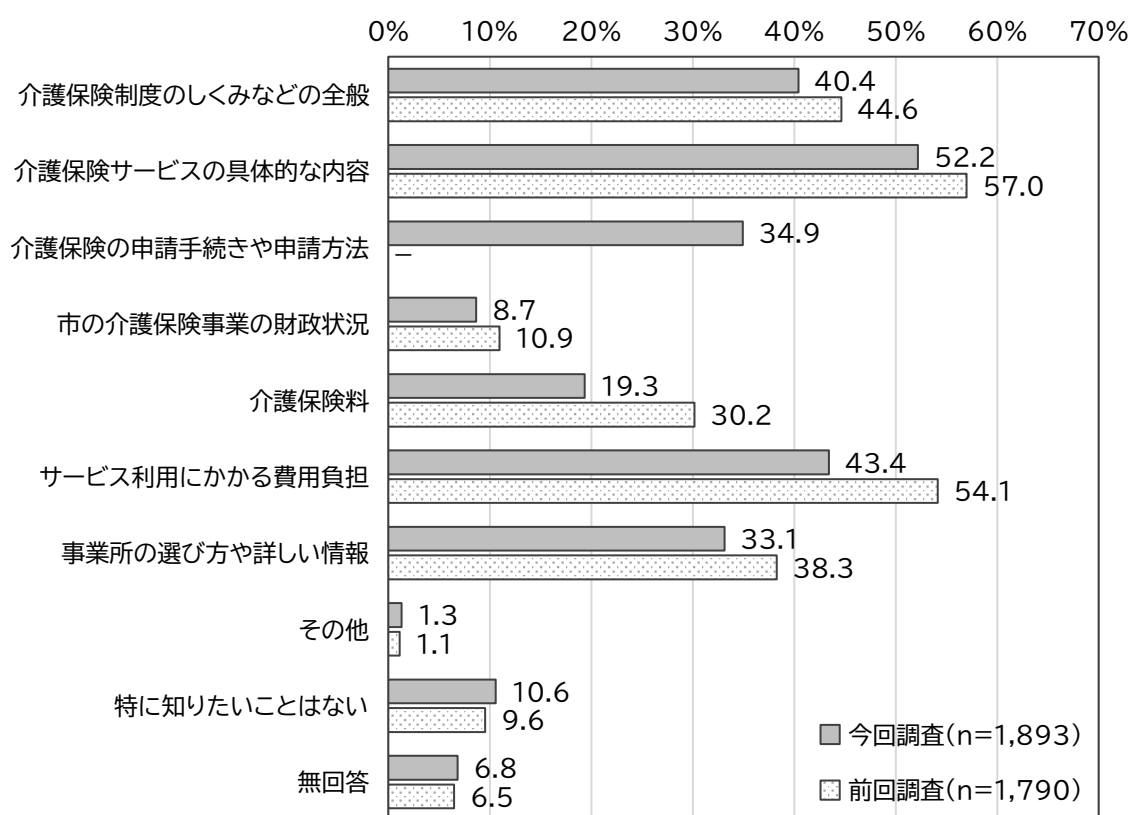
(2) 介護保険制度について知りたいこと

問 17 (2) 介護保険制度についてどのようなことを知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

介護保険制度について知りたいことでは、「介護保険サービスの具体的な内容」が52.2%と最も高く、次いで「サービス利用にかかる費用負担」が43.4%、「介護保険制度のしくみなどの全般」が40.4%となっています。

前回調査と比較すると、「サービス利用に係る費用負担」(43.4%)が前回調査(54.1%)より10.7ポイント減少しています。

図表 2-15-3 介護保険制度について知りたいこと



性別でみると、「事業所の選び方や詳しい情報」では、女性が38.1%で、男性（26.9%）より11.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、85～89歳では「サービス利用にかかる費用負担」が44.8%と最も高く、その他の年齢では「介護保険サービスの具体的な内容」が最も高くなっています。

圏域別でみると、「介護保険サービスの具体的な内容」では、北部中地区が58.8%と最も高くなっています。

図表 2-15-4 介護保険制度について知りたいこと 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	介護保険制度のしくみなどの全般	介護保険サービスの具体的な内容	介護保険の申請手続きや申請方法	市の介護保険事業の財政状況	介護保険料	サービス利用にかかる費用負担	事業所の選び方や詳しい情報	その他	特に知りたいことはない	無回答
全体		1,893	40.4	52.2	34.9	8.7	19.3	43.4	33.1	1.3	10.6	6.8
性別	男性	803	42.5	52.2	34.5	9.8	21.2	41.7	26.9	1.5	14.3	4.9
	女性	1,064	39.3	52.7	35.4	7.9	18.1	44.9	38.1	1.2	7.7	7.8
年齢別	65～69歳	396	42.2	54.5	34.1	9.3	20.5	44.4	31.1	1.3	13.4	2.3
	70～74歳	408	41.7	53.2	33.6	8.6	16.9	43.9	37.7	1.0	10.5	4.9
	75～79歳	468	40.8	53.2	34.8	7.1	19.9	44.7	32.7	1.7	9.0	7.1
	80～84歳	343	39.1	55.1	40.8	8.5	19.8	43.7	34.4	1.5	7.6	9.3
	85～89歳	181	41.4	42.5	35.4	12.2	22.1	44.8	31.5	0.6	12.7	8.3
	90歳以上	76	31.6	44.7	22.4	10.5	17.1	25.0	22.4	2.6	13.2	18.4
日常生活圏域別	南部西	308	43.2	52.3	33.1	6.8	18.2	42.2	32.5	1.0	12.0	6.2
	南部東	289	38.8	49.5	31.5	10.4	19.7	38.4	31.1	0.7	11.8	7.3
	中部	292	39.0	50.0	30.1	9.2	18.2	39.0	34.6	0.7	9.2	6.8
	北部東	304	40.8	50.3	32.9	4.9	15.8	43.4	31.9	2.0	10.5	6.6
	北部中	371	43.7	58.8	41.5	11.6	22.4	50.4	36.1	1.6	9.2	4.9
	北部西	307	38.4	53.1	39.4	8.8	21.8	45.6	32.6	2.0	10.4	7.8

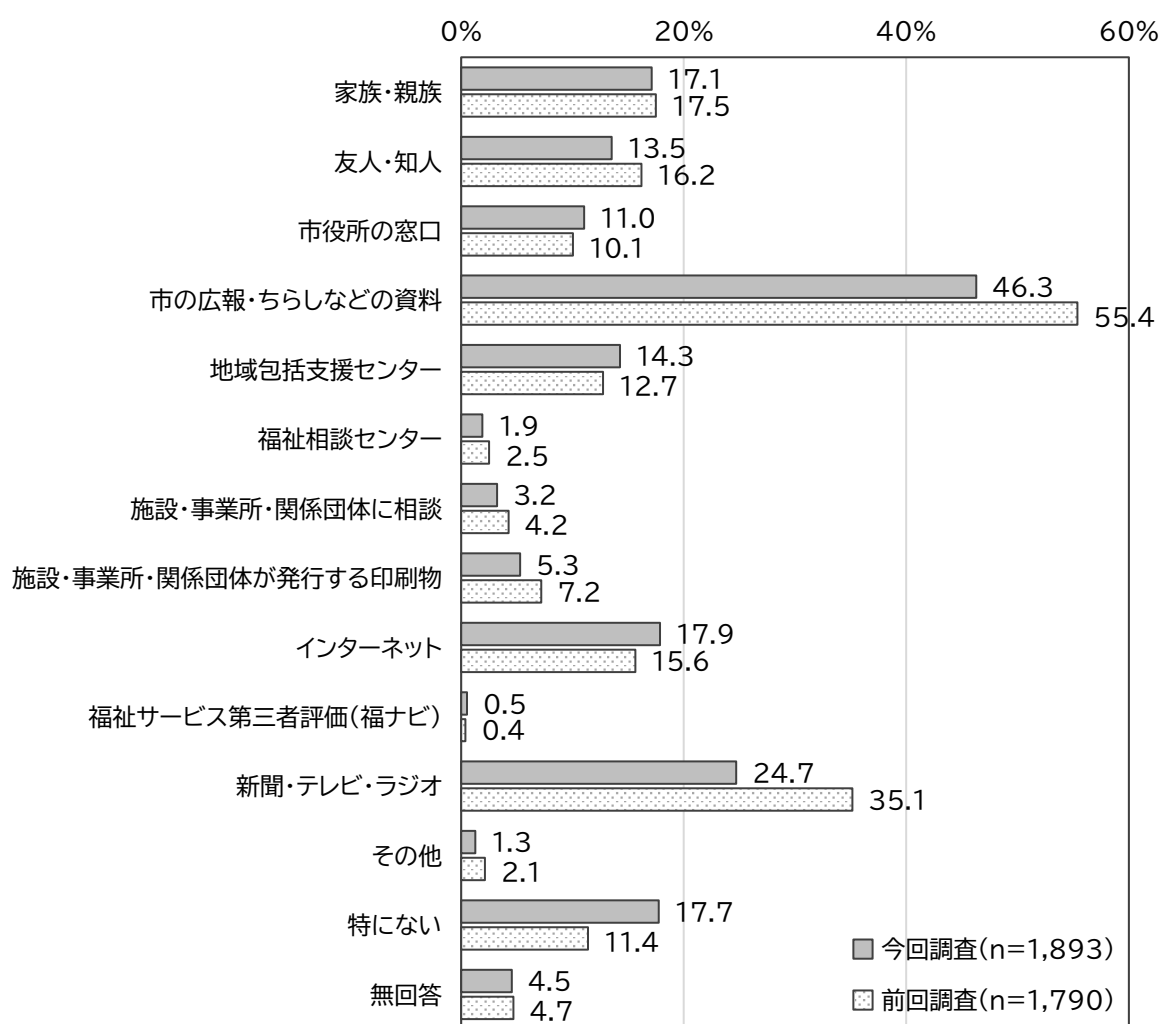
(3) 介護保険に関する情報源

問 17 (3) 介護保険に関する情報は、どこから得ていますか。(〇はいくつでも)

介護保険に関する情報源については、「市の広報・ちらしなどの資料」が46.3%と最も高く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」が24.7%、「インターネット」が17.9%となっています。

前回調査と比較すると、「市の広報・ちらしなどの資料」(46.3%)が前回調査(55.4%)より9.1ポイント減少し、「新聞・テレビ・ラジオ」(24.7%)が前回調査(35.1%)より10.4ポイント減少しています。

図表 2-15-5 介護保険に関する情報源



性別で見ると、「インターネット」では、男性が25.0%で、女性（12.7%）より12.3ポイント高くなっています。

年齢別で見ると、「インターネット」では、年齢が上がるにつれて割合が減少しており、65～69歳が34.3%で最も高くなっています。

圏域別で見ると、「市の広報・ちらしなどの資料」では、南部西地区が50.6%と最も高くなっています。

図表 2-15-6 介護保険に関する情報源 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	家族・親族	友人・知人	市役所の窓口	市の広報・ちらしなどの資料	地域包括支援センター	福祉相談センター	施設・事業所・関係団体に相談
全体		1,893	17.1	13.5	11.0	46.3	14.3	1.9	3.2
性別	男性	803	19.1	7.7	11.0	41.8	10.3	1.9	3.4
	女性	1,064	15.6	17.9	10.9	49.9	17.3	1.9	3.1
年齢別	65～69歳	396	16.9	9.6	7.3	39.1	7.6	1.3	4.0
	70～74歳	408	14.5	13.2	10.5	48.3	10.8	1.2	2.5
	75～79歳	468	17.9	14.1	13.7	48.1	12.4	2.4	3.8
	80～84歳	343	16.0	18.1	13.4	53.9	20.4	2.9	2.3
	85～89歳	181	19.9	14.4	9.9	43.1	24.9	1.7	3.9
	90歳以上	76	23.7	7.9	7.9	38.2	26.3	1.3	1.3
日常生活圏域別	南部西	308	15.3	11.0	13.0	50.6	16.6	2.9	2.9
	南部東	289	15.6	15.6	9.7	46.7	11.4	1.7	3.8
	中部	292	13.7	10.6	12.0	42.8	15.1	1.4	3.4
	北部東	304	15.8	16.1	8.6	46.4	20.1	0.7	3.9
	北部中	371	21.0	13.2	12.9	47.2	12.4	1.9	4.0
	北部西	307	20.2	14.3	9.8	44.6	10.7	2.9	1.0

		合計	施設・事業所・関係団体が発行する印刷物	インターネット	福祉サービス第三者評価(福ナビ)	新聞・テレビ・ラジオ	その他	特になし	無回答
全体		1,893	5.3	17.9	0.5	24.7	1.3	17.7	4.5
性別	男性	803	4.0	25.0	1.0	23.0	1.2	22.0	3.4
	女性	1,064	6.4	12.7	0.2	26.3	1.3	14.5	5.0
年齢別	65～69歳	396	3.0	34.3	0.5	16.9	1.3	25.3	1.8
	70～74歳	408	5.1	22.5	0.5	25.5	1.0	20.8	2.7
	75～79歳	468	5.3	14.7	0.6	28.4	1.5	14.7	4.9
	80～84歳	343	7.0	8.2	0.9	28.9	0.6	13.1	6.1
	85～89歳	181	7.7	4.4	0.0	23.2	3.3	15.5	5.5
	90歳以上	76	5.3	2.6	0.0	26.3	0.0	7.9	11.8
日常生活圏域別	南部西	308	4.9	18.8	0.6	29.5	1.3	13.3	4.2
	南部東	289	4.2	18.7	0.3	22.8	1.4	18.3	5.9
	中部	292	4.8	15.8	0.0	23.6	1.0	21.2	4.8
	北部東	304	6.3	17.4	0.3	22.0	1.6	16.8	3.3
	北部中	371	6.2	21.0	1.3	27.0	1.3	16.2	4.0
	北部西	307	5.5	15.6	0.3	23.1	1.0	20.8	3.9

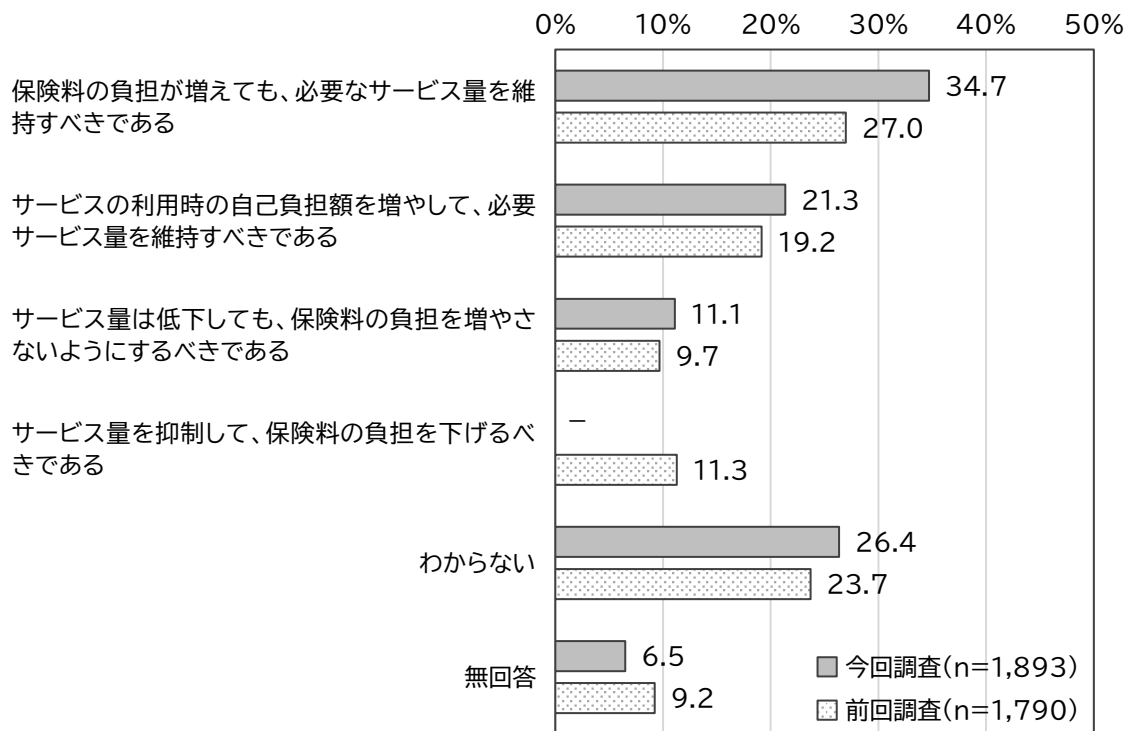
(4) 介護保険と保険料についての考え

問 17 (4) 介護保険は、サービスの利用が増えると保険料も上がる仕組みです。国の試算によれば、サービスの利用者の増加により、保険料は今後も上がることが見込まれています。介護保険のサービスと保険料について、あなたのお考えに一番近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

介護保険のサービスと保険料についての考えでは、「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」が34.7%と最も高く、次いで「わからない」が26.4%、「サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要サービス量を維持すべきである」が21.3%となっています。

前回調査と比較すると、「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」(34.7%)が前回調査(27.0%)より7.7ポイント増加しています。

図表 2-15-7 介護保険と保険料についての考え



性別でみると、大きな差はありません。

年齢別でみると、75～79歳で「わからない」が29.3%と最も高くなっており、その他の年齢では「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」が最も高くなっています。

圏域別でみると、「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」では、北部東地区が41.1%と最も高くなっています。

図表 2-15-8 介護保険と保険料についての考え 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである	サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要サービス量を維持すべきである	サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにするべきである	わからない	無回答
全体		1,893	34.7	21.3	11.1	26.4	6.5
性別	男性	803	36.1	21.5	11.5	25.8	5.1
	女性	1,064	33.6	21.4	10.7	27.2	7.0
年齢別	65～69歳	396	33.6	23.5	12.1	28.0	2.8
	70～74歳	408	38.2	23.3	9.6	26.0	2.9
	75～79歳	468	28.8	23.1	11.8	29.3	7.1
	80～84歳	343	38.5	19.0	9.6	23.6	9.3
	85～89歳	181	35.4	15.5	12.7	24.9	11.6
	90歳以上	76	38.2	17.1	11.8	22.4	10.5
日常生活圏域別	南部西	308	29.5	22.1	14.6	28.2	5.5
	南部東	289	35.3	23.5	8.7	24.9	7.6
	中部	292	35.6	21.2	9.6	27.7	5.8
	北部東	304	41.1	16.8	10.9	24.7	6.6
	北部中	371	33.2	24.8	11.3	24.0	6.7
	北部西	307	34.2	19.9	10.7	30.0	5.2

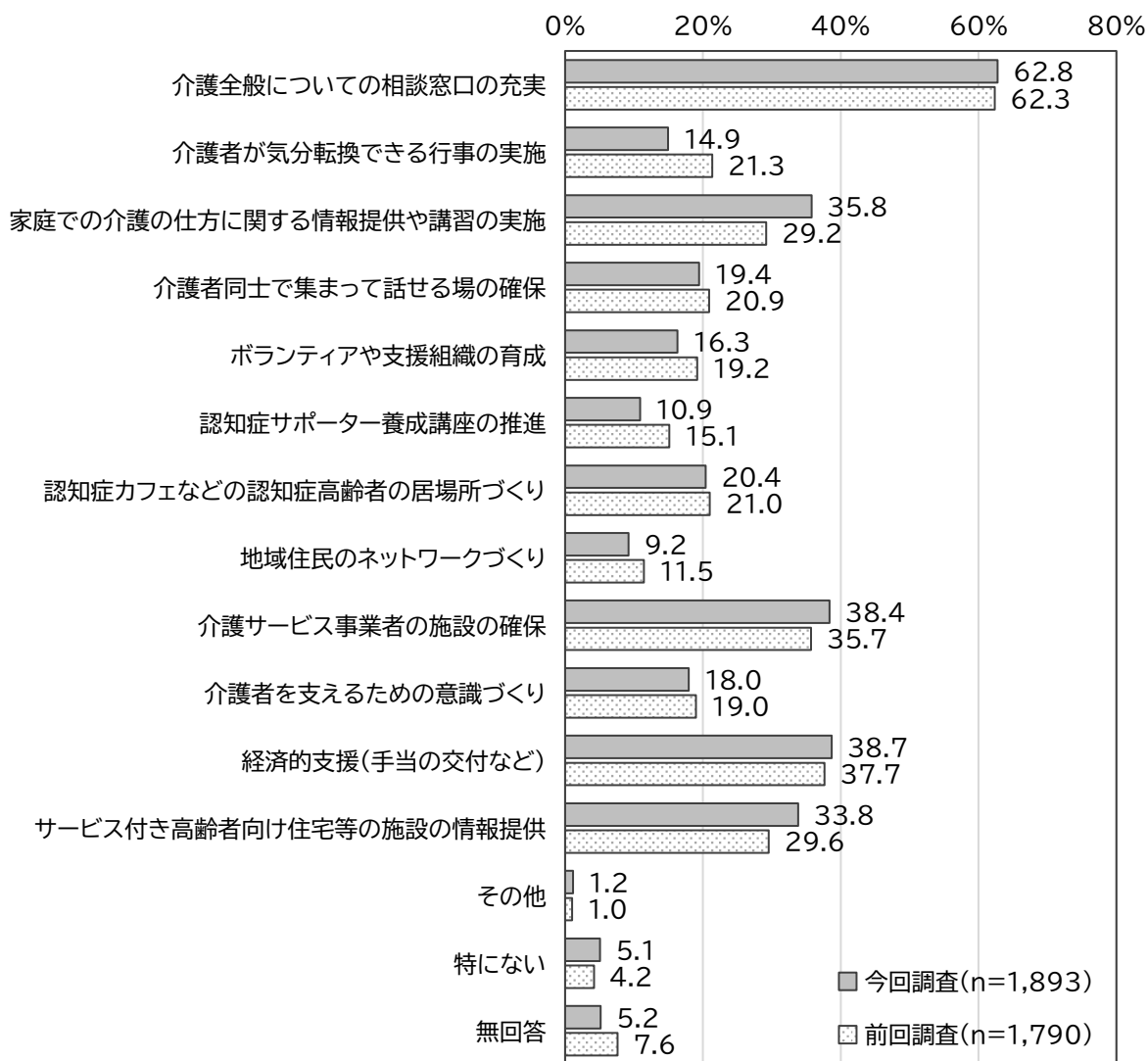
(5) 介護者への支援として力を入れるべき取組

問 17 (5) 介護をする家族の皆さんへの支援として、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

介護をする家族への支援として、市が力を入れるべき取組については、「介護全般についての相談窓口の充実」が62.8%と最も高く、次いで「経済的支援(手当の交付など)」が38.7%、「介護サービス事業者の施設の確保」が38.4%、「家庭での介護の仕方に関する情報提供や講習の実施」が35.8%、「サービス付き高齢者向け住宅等の施設の提供」が33.8%となっています。

前回調査と比較すると、「介護者が気分転換できる行事の実施」(14.9%)が前回調査(21.3%)より6.4ポイント、「認知症サポーター養成講座の推進」(10.9%)より前回調査(15.1%)が4.2ポイント、それぞれ減少している一方で、「家庭での介護の仕方に関する情報提供や講習の実施」(35.8%)が前回調査(29.2%)より6.6ポイント増加しています。

図表 2-15-9 介護者への支援として力を入れるべき取組



性別で見ると、いずれも「介護全般についての相談窓口の充実」の割合が最も高くなっています。
 年齢別で見ると、すべての年齢層で「介護全般についての相談窓口の充実」の割合が最も高くなっています。

圏域別で見ると、「介護全般についての相談窓口の充実」では南部東地区と中部地区が65.1%と最も高くなっています。

図表 2-15-10 介護者への支援として力を入れるべき取組 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	介護全般についての相談窓口の充実	介護者が気分転換できる行事の実施	家庭での介護の仕方に関する情報提供や講習の実施	介護者同士で集まって話せる場の確保	ボランティアや支援組織の育成	認知症サポーター養成講座の推進	認知症カフェなどの認知症高齢者の居場所づくり	地域住民のネットワークづくり
全体		1,893	62.8	14.9	35.8	19.4	16.3	10.9	20.4	9.2
性別	男性	803	60.3	12.5	34.7	12.6	16.1	9.8	14.4	10.3
	女性	1,064	64.8	17.0	36.8	24.8	16.9	11.9	25.0	8.4
年齢別	65～69歳	396	64.6	15.7	33.3	19.9	21.7	10.4	21.5	11.9
	70～74歳	408	66.2	15.2	37.3	19.9	18.1	9.3	20.1	10.3
	75～79歳	468	62.2	17.1	37.8	19.2	15.2	12.0	21.2	8.3
	80～84歳	343	62.4	14.3	37.3	21.6	13.4	10.8	20.1	6.7
	85～89歳	181	60.2	11.0	33.1	18.2	13.8	13.3	19.3	7.7
	90歳以上	76	48.7	11.8	28.9	10.5	9.2	13.2	17.1	9.2
日常生活圏域別	南部西	308	57.1	15.3	31.8	18.8	15.9	9.4	19.2	7.5
	南部東	289	65.1	15.2	38.4	17.3	15.9	13.5	17.0	11.1
	中部	292	65.1	16.4	33.2	22.9	19.5	9.2	22.3	11.0
	北部東	304	63.2	14.5	36.5	20.1	15.1	9.5	19.7	8.9
	北部中	371	63.3	14.0	35.0	17.3	14.8	13.2	21.0	8.1
	北部西	307	63.8	15.3	40.7	21.2	18.2	10.7	23.5	9.1

		合計	介護サービスの確保	介護者を支えるための意識づくり	経済的支援(手当の交付など)	施設の情報提供	サービス付き高齢者向け住宅等の	その他	特にな	無回答
全体		1,893	38.4	18.0	38.7	33.8	1.2	5.1	5.2	
性別	男性	803	36.4	15.6	39.5	31.3	1.4	7.6	4.5	
	女性	1,064	40.2	19.9	38.3	35.8	1.0	2.9	5.4	
年齢別	65～69歳	396	44.9	18.9	47.7	32.6	1.3	4.8	1.8	
	70～74歳	408	41.7	16.2	40.4	36.8	1.2	4.7	2.9	
	75～79歳	468	36.5	18.4	38.5	34.2	1.1	5.1	4.5	
	80～84歳	343	35.6	20.1	33.5	34.4	0.6	5.2	7.3	
	85～89歳	181	32.6	18.2	33.1	30.4	1.7	4.4	8.8	
	90歳以上	76	27.6	11.8	22.4	27.6	2.6	5.3	17.1	
日常生活圏域別	南部西	308	36.0	16.6	37.0	33.8	1.6	7.1	7.1	
	南部東	289	39.8	17.3	34.9	31.5	2.1	5.9	5.9	
	中部	292	39.4	20.5	35.6	36.0	1.0	3.1	5.5	
	北部東	304	35.2	14.8	42.4	33.6	0.3	3.9	4.9	
	北部中	371	43.1	17.0	40.2	36.1	1.1	3.5	4.6	
	北部西	307	36.5	22.5	42.0	31.9	1.0	5.9	2.6	

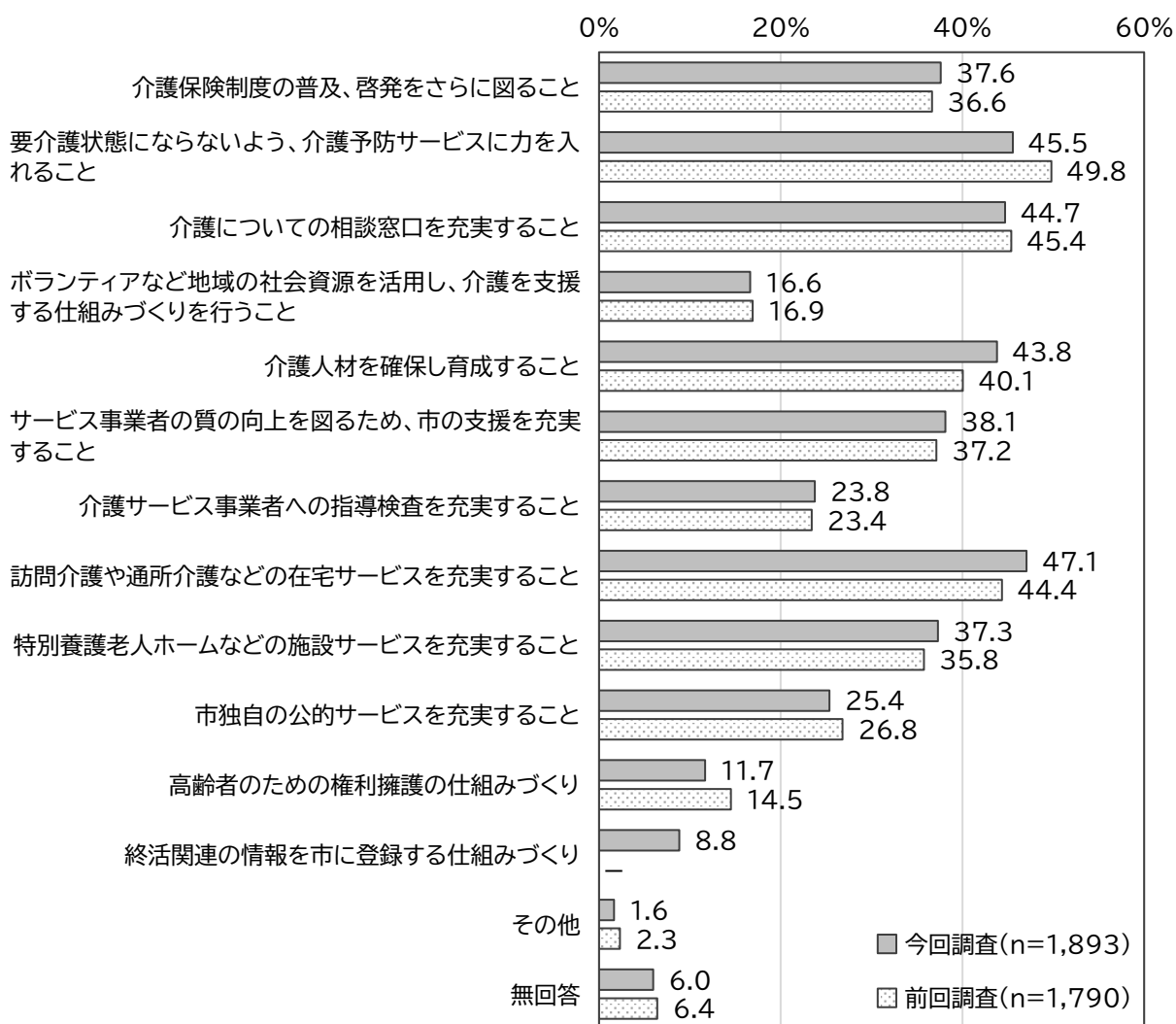
(6) 介護保険制度をよりよくするために市に期待すること

問 17 (6) 介護保険制度をよりよくするため、市に期待することは、次のうちどれですか。
(〇はいくつでも)

介護保険制度をよりよくするために市に期待することについては、「訪問介護や通所介護などの在宅サービスを充実すること」が47.1%と最も高く、次いで「要介護状態にならないよう、介護予防サービスに力を入れること」が45.5%、「介護についての相談窓口を充実すること」が44.7%となっています。

前回調査と比較すると、「要介護状態にならないよう、介護予防サービスに力を入れること」(45.5%)が前回調査(49.8%)より4.3ポイント減少しています。

図表 2-15-11 介護保険制度をよりよくするために市に期待すること



性別でみると、「訪問介護や通所介護などの在宅サービスを充実すること」では、女性が50.8%で男性(42.5%)より8.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「訪問介護や通所介護などの在宅サービスを充実すること」では、75～79歳で51.7%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「訪問介護や通所介護などの在宅サービスを充実すること」では南部東地区で51.9%と最も高くなっています。

図表 2-15-12 介護保険制度をよりよくするために市に期待すること 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	介護保険制度の普及啓発を図ること	要介護状態にならないよう、介護予防サービスに力を入れること	介護についての相談窓口を充実すること	ボランティアなど地域の社会資源を活用し、介護を支援する仕組みづくりを行うこと	介護人材を確保し育成すること	サービス事業者の質の向上を図るため、市の支援を充実すること	介護サービス事業者への指導検査を充実すること	
全体		1,893	37.6	45.5	44.7	16.6	43.8	38.1	23.8	
性別	男性	803	42.6	41.8	43.1	14.9	44.6	34.7	23.7	
	女性	1,064	34.1	48.7	46.2	18.0	43.6	40.7	24.1	
年齢別	65～69歳	396	36.9	40.9	49.0	15.7	47.2	41.2	24.2	
	70～74歳	408	38.0	49.3	45.1	20.1	43.1	40.7	26.7	
	75～79歳	468	38.7	45.7	45.9	16.7	46.6	39.1	23.3	
	80～84歳	343	38.5	46.9	43.7	15.7	41.7	32.9	23.0	
	85～89歳	181	38.1	47.0	38.7	13.3	43.1	35.4	19.3	
	90歳以上	76	31.6	42.1	35.5	15.8	26.3	35.5	26.3	
日常生活圏域別	南部西	308	38.6	45.1	45.5	17.2	38.6	39.9	20.1	
	南部東	289	35.6	48.4	44.6	14.9	46.4	37.7	25.3	
	中部	292	37.7	48.6	43.2	20.2	48.6	35.3	27.4	
	北部東	304	40.1	41.8	46.1	12.5	42.8	37.8	23.7	
	北部中	371	39.4	44.2	43.1	19.1	45.6	36.9	21.3	
	北部西	307	34.9	46.9	47.2	15.6	42.0	41.7	26.1	
		合計		訪問介護や通所介護などの在宅サービスを充実すること	特別養護老人ホームなどの施設サービスを充実すること	市独自の公的サービスを充実すること	高齢者のための権利擁護の仕組みづくり	終活関連の情報を市に登録する仕組みづくり	その他	無回答
全体		1,893	47.1	37.3	25.4	11.7	8.8	1.6	6.0	
性別	男性	803	42.5	34.5	25.8	12.3	9.6	2.5	4.9	
	女性	1,064	50.8	39.8	25.0	11.2	8.2	0.9	6.4	
年齢別	65～69歳	396	43.7	41.9	24.5	13.6	10.9	1.8	3.0	
	70～74歳	408	49.8	38.7	29.2	10.5	9.3	1.5	3.7	
	75～79歳	468	51.7	35.5	26.3	10.9	6.4	1.1	4.5	
	80～84歳	343	47.8	37.6	21.9	12.0	9.6	1.5	9.3	
	85～89歳	181	38.7	30.9	24.3	11.6	8.8	2.2	8.3	
	90歳以上	76	39.5	34.2	23.7	11.8	5.3	3.9	17.1	
日常生活圏域別	南部西	308	42.5	33.4	26.9	8.8	6.8	1.9	8.1	
	南部東	289	51.9	32.5	26.0	12.5	10.0	1.0	5.5	
	中部	292	48.3	39.7	28.1	12.7	10.3	0.3	7.9	
	北部東	304	46.1	40.1	19.7	15.5	9.5	2.0	4.9	
	北部中	371	48.0	39.1	27.0	10.0	8.4	0.8	4.9	
	北部西	307	45.9	39.4	24.4	11.4	7.8	3.3	3.9	

16. リスク判定等

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」は、要介護状態になる前の高齢者について、要介護状態になるリスクの状況と、各種リスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の抱える課題を特定することを目的に実施しています。

(1) 運動器機能の低下リスク

下記の5設問について、3問以上該当する選択肢が回答された場合、運動器機能の低下リスクのある高齢者として判定しました。

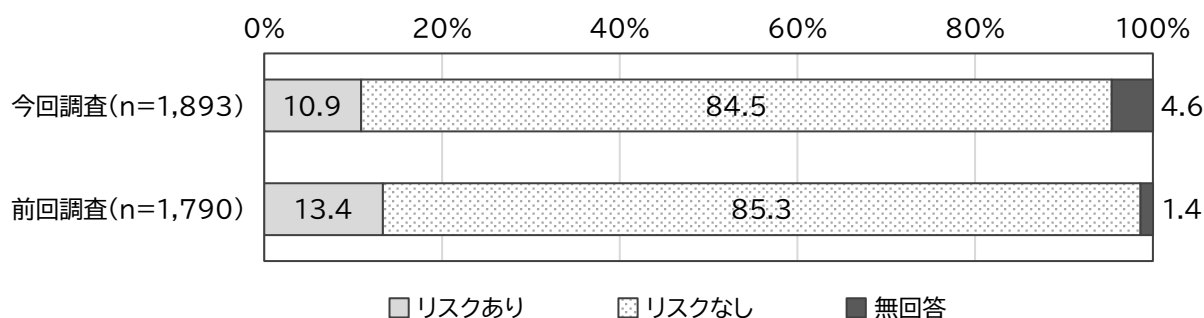
図表 2-16-1 運動器機能低下リスクの判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問4(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問4(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問4(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問4(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問4(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

運動器機能の低下リスクについては、10.9%となっています。

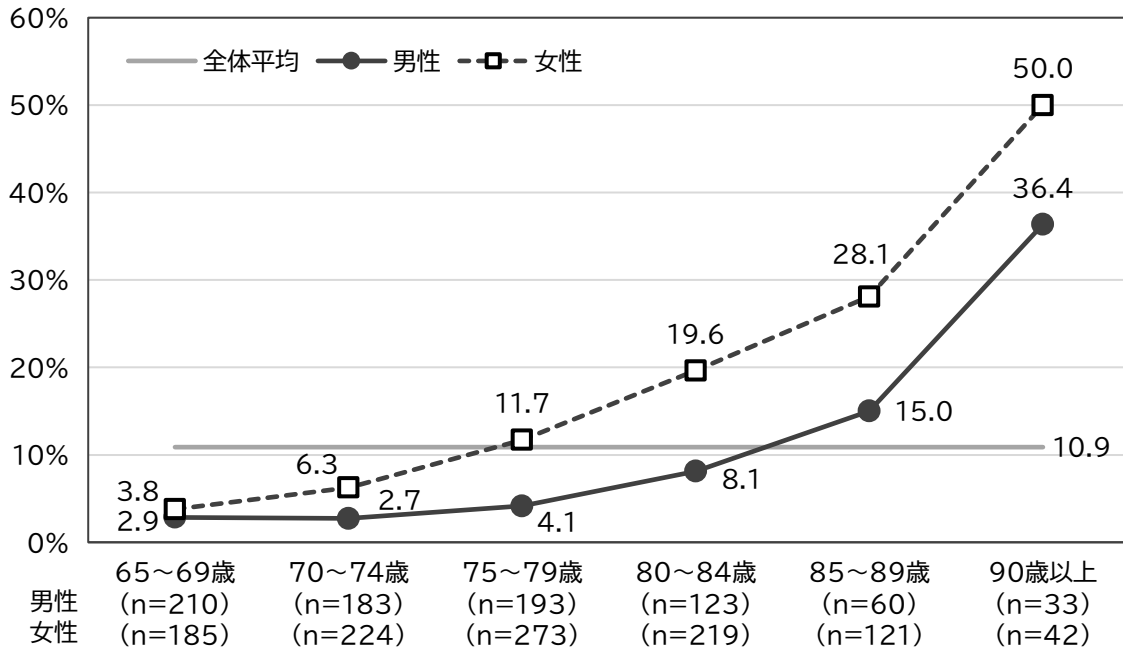
前回調査と比較すると、運動器機能の低下リスク(10.9%)は前回調査(13.4%)より2.5ポイント低くなっています。

図表 2-16-2 運動器機能低下リスク



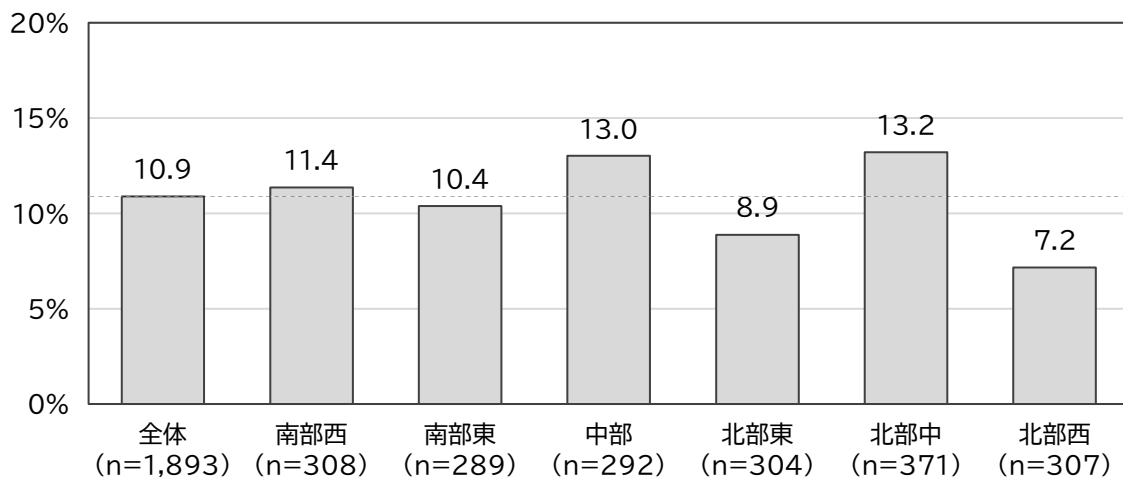
性別・年齢別で見ると、女性の割合が男性よりも高く、男女とも90歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-16-3 運動器機能低下リスク 性別・年齢別



圏域別で見ると、北部中地区が13.2%と最も高くなっています。

図表 2-16-4 運動器機能低下リスク 圏域別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(2) 転倒リスク

下記の1設問について、該当する選択肢が回答された場合、転倒リスクのある高齢者として判定しました。

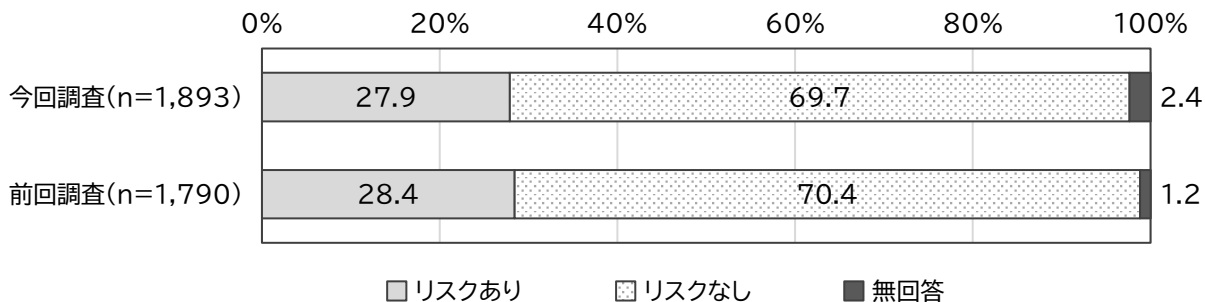
図表 2-16-5 転倒リスクの判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問4(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

転倒リスクについては、27.9%となっています。

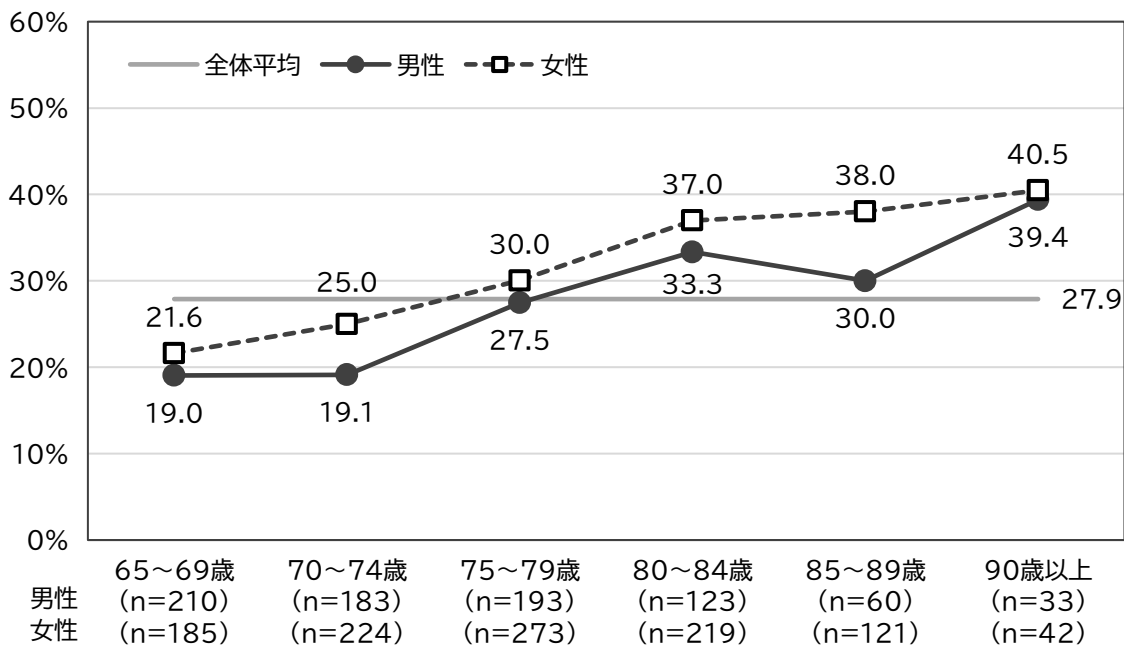
前回調査と比較すると、転倒リスク(27.9%)は前回調査(28.4%)より0.5ポイント高くなっています。

図表 2-16-6 転倒リスク



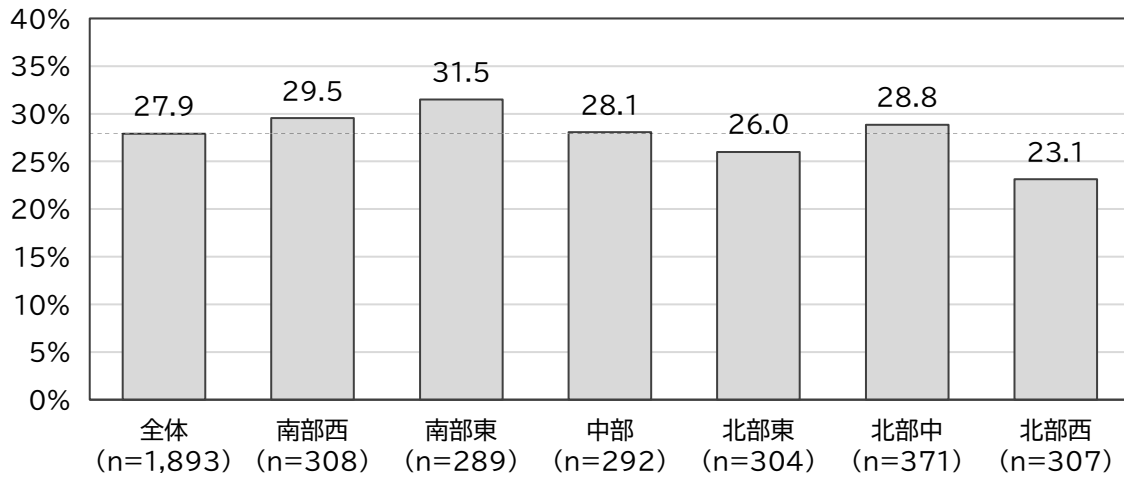
性別・年齢別でみると、女性の割合が男性よりも高く、男女とも90歳以上の割合が最も高くなっています。

図表 2-16-7 転倒リスク 性別・年齢別



圏域別で見ると、南部東地区が31.5%と最も高くなっています。

図表 2-16-8 転倒リスク 圏域別



(3) 閉じこもり傾向

下記の1設問について、該当する選択肢が回答された場合、閉じこもり傾向のある高齢者として判定しました。

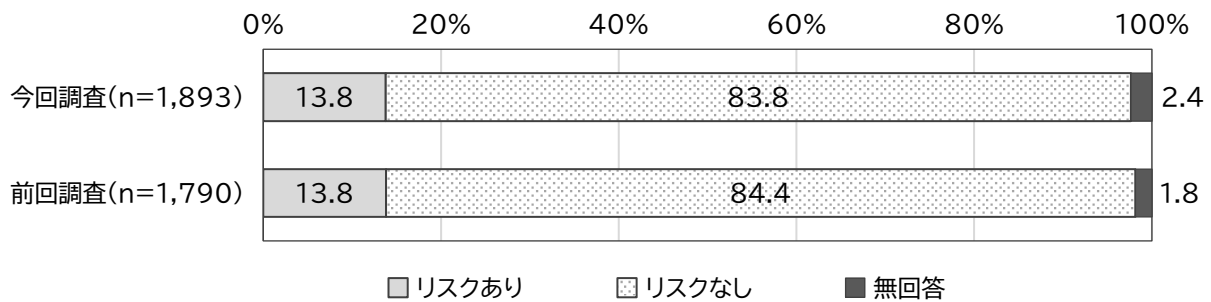
図表 2-16-9 閉じこもり傾向の判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問4(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

閉じこもり傾向については、13.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

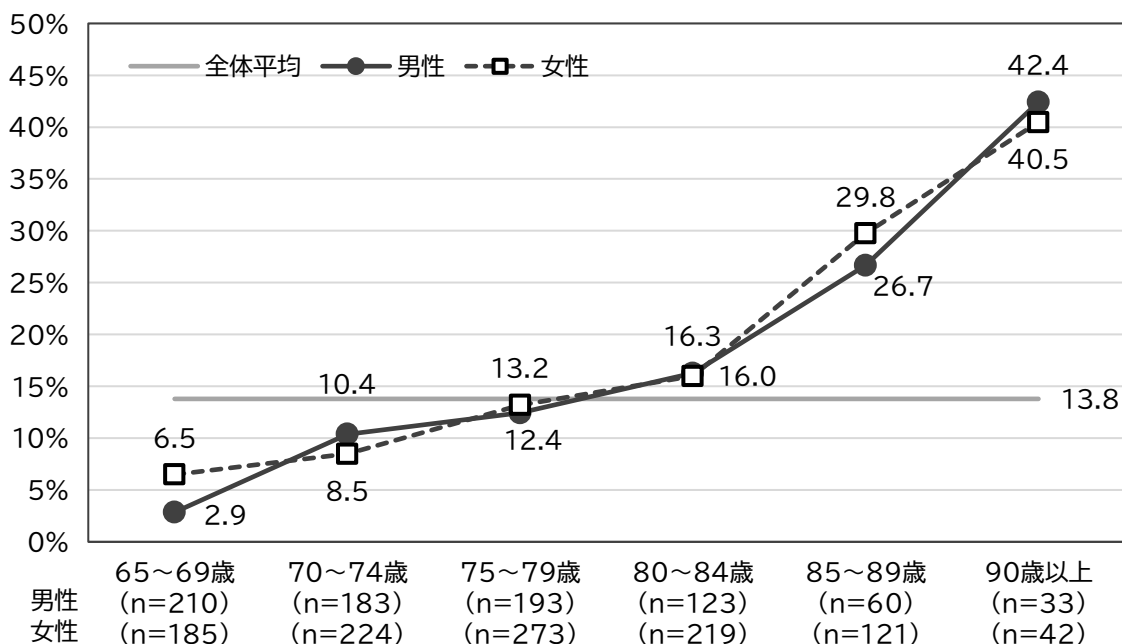
図表 2-16-10 閉じこもり傾向



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

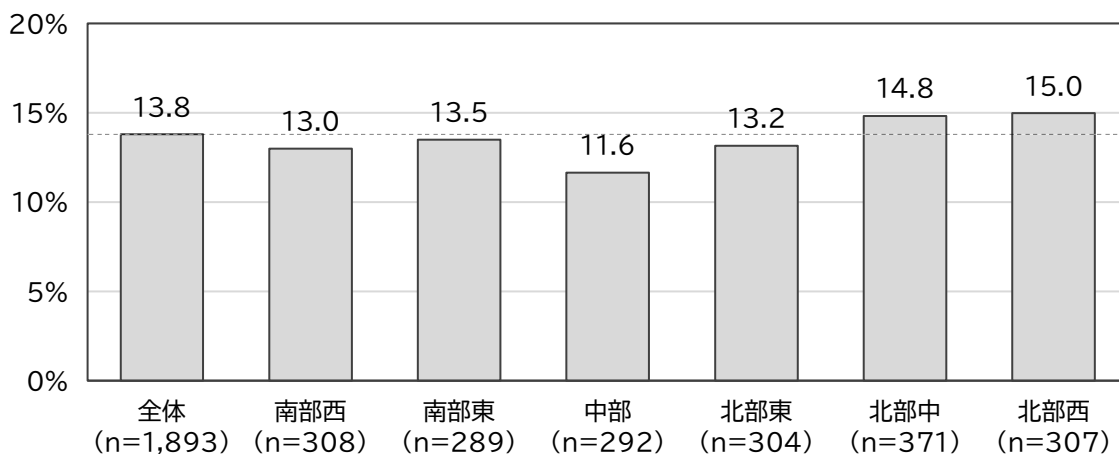
性別・年齢別で見ると、男女も80歳以上で大きく増加しています。

図表 2-16-11 閉じこもり傾向 性別・年齢別



圏域別で見ると、北部西地区が15.0%と最も高くなっています。

図表 2-16-12 閉じこもり傾向 圏域別



(4) 低栄養状態

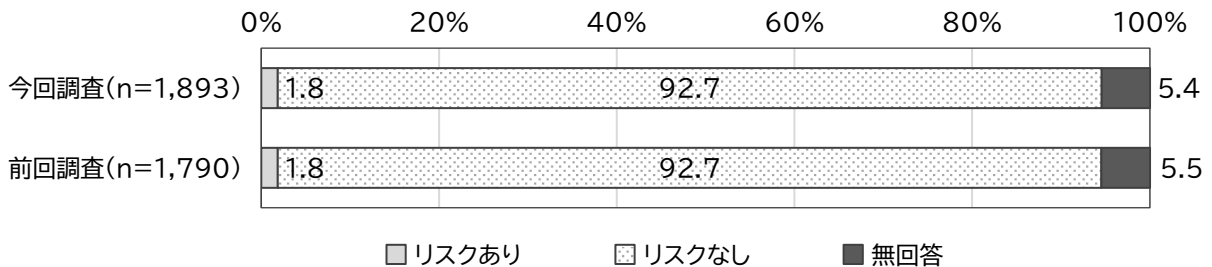
下記の2設問について、2問とも該当する選択肢が回答された場合、低栄養状態にある高齢者として判定しました。

図表 2-16-13 低栄養状態の判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問5(1)	身長・体重をご記入ください。	BMI=18.5 未満
問5(6)	6か月以上で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

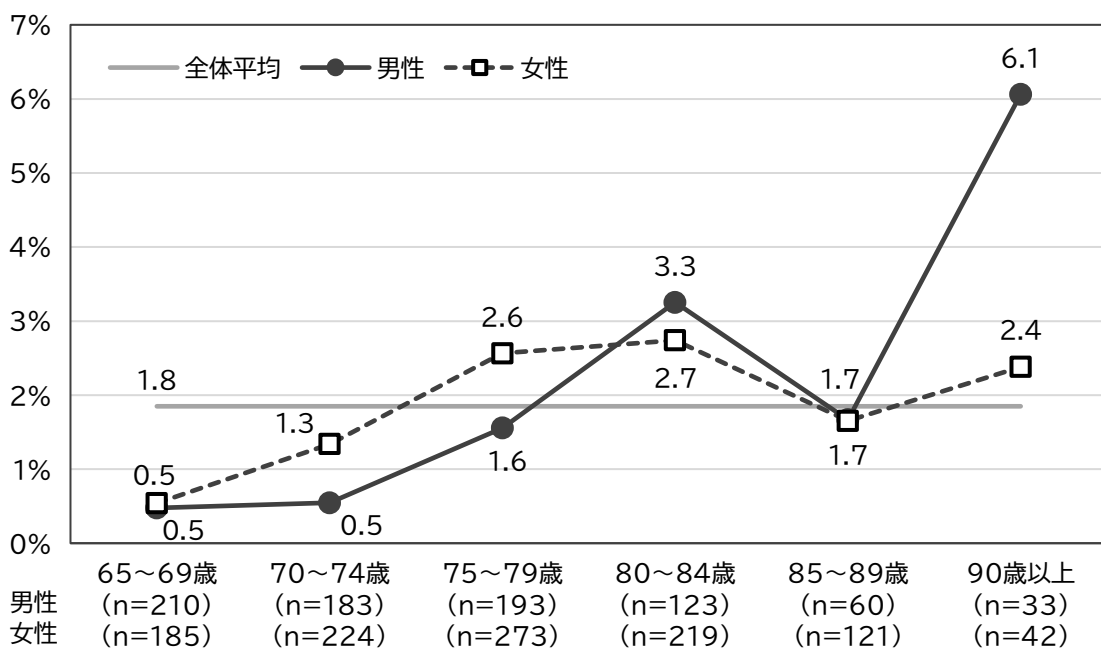
低栄養状態リスクについては、1.8%となっています。
 前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 2-16-14 低栄養状態



性別・年齢別で見ると、女性では80～84歳が2.7%と最も高く、男性では85～89歳から90歳以上にかけて大きく増加しており、90歳以上で6.1%と最も高くなっています。

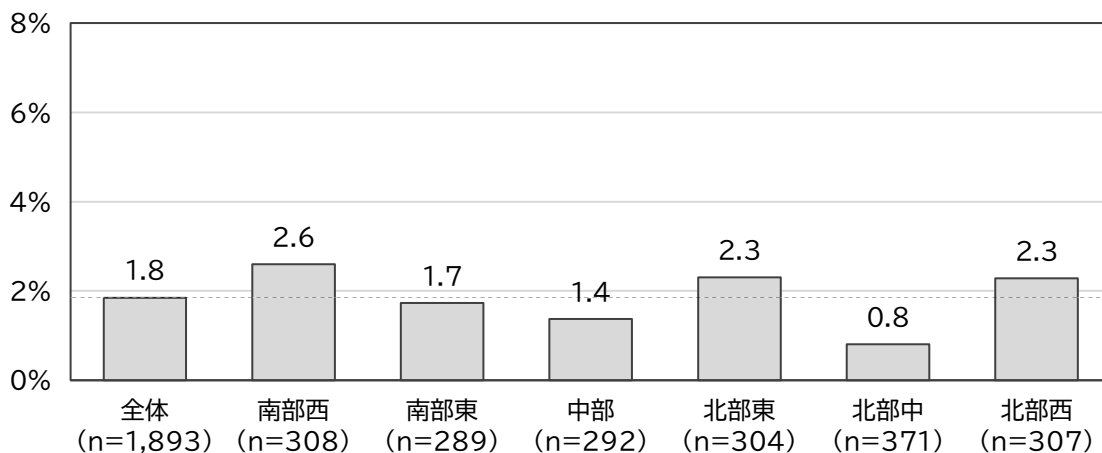
図表 2-16-15 低栄養状態 性別・年齢別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

圏域別でみると、南部西地区が2.6%と最も高くなっています。

図表 2-16-16 低栄養状態 圏域別



(5) 口腔機能の低下リスク

下記の3設問について、2問以上該当する選択肢が回答された場合、口腔機能の低下リスクのある高齢者として判定しました。

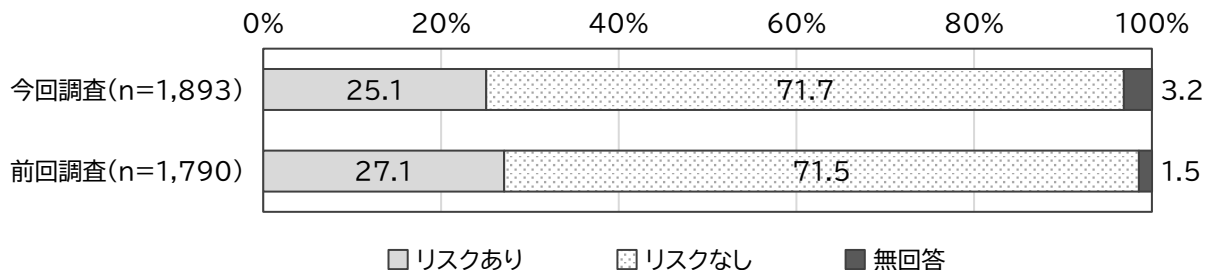
図表 2-16-17 口腔機能の低下リスクの判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問5(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問5(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問5(4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい

口腔機能の低下リスクについては、25.1%となっています。

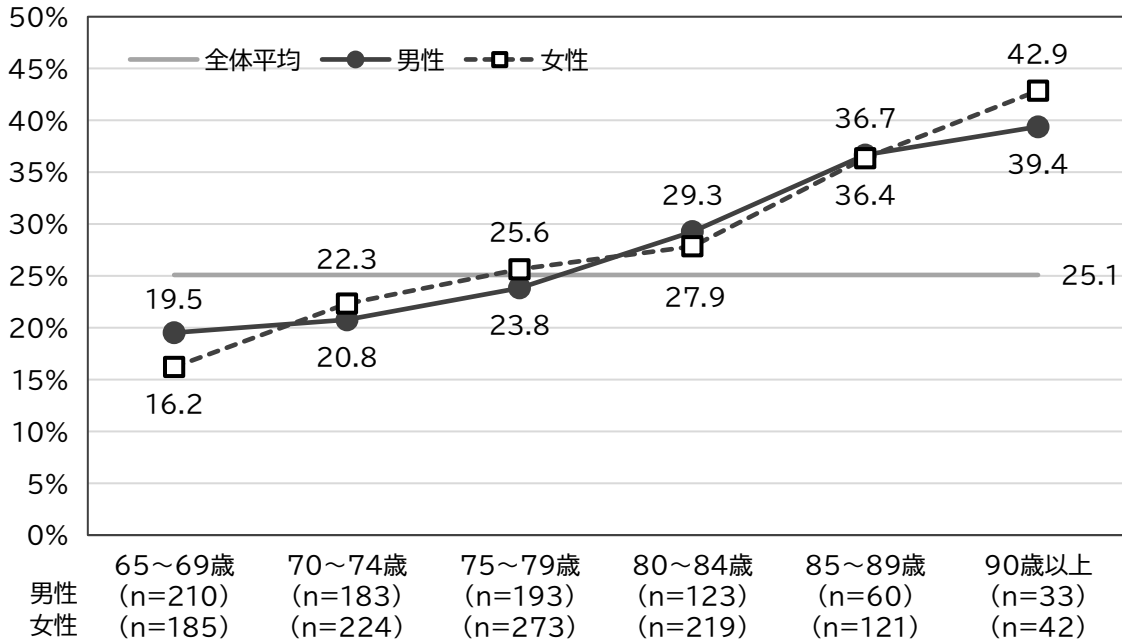
前回調査と比較すると、口腔機能低下のリスク (25.1%) は前回調査 (27.1%) より 2.0 ポイント減少しています。

図表 2-16-18 口腔機能の低下リスク



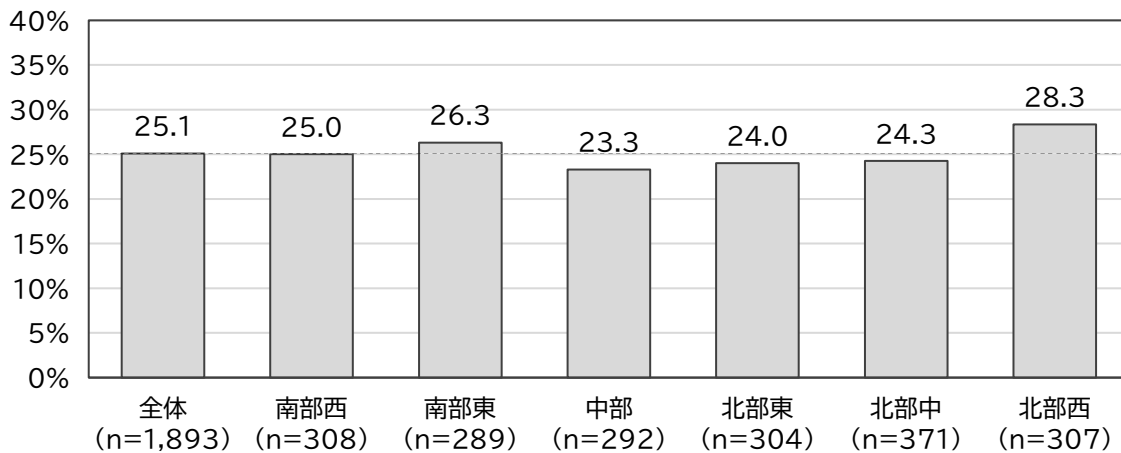
性別・年齢別で見ると、男女とも年齢が上がるにつれて割合が増加しており、90歳以上では男性39.4%、女性42.9%と最も高くなっています。

図表 2-16-19 口腔機能の低下リスク 性別・年齢別



圏域別で見ると、北部西地区が28.3%と最も高くなっています。

図表 2-16-20 口腔機能の低下リスク 圏域別



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(6) 認知機能の低下リスク

下記の設問について、該当する選択肢が回答された場合、認知機能が低下している高齢者として判定しました。

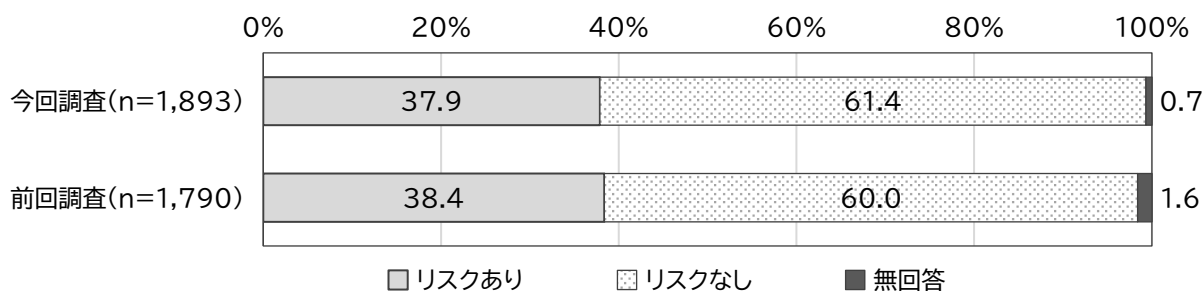
図表 2-16-21 認知機能の低下リスクの判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問6(1)	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

認知機能の低下リスクについては、37.9%となっています。

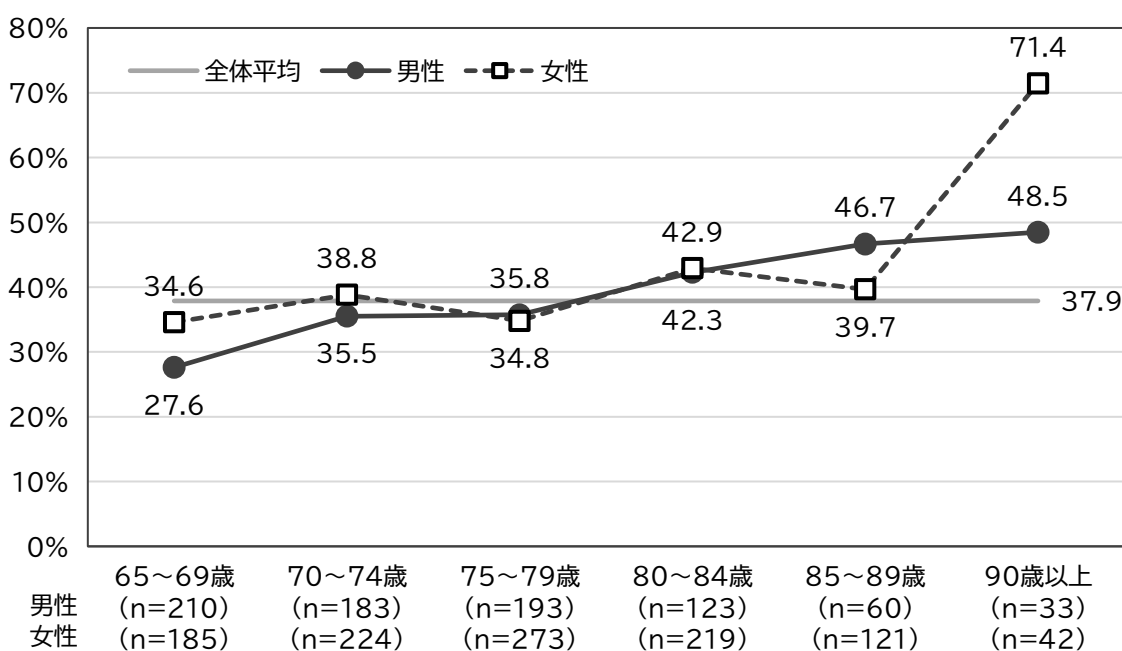
前回調査と比較すると、認知機能の低下リスク(37.9%)は前回調査(38.4%)より0.5ポイント増加しています。

図表 2-16-22 認知機能の低下リスク



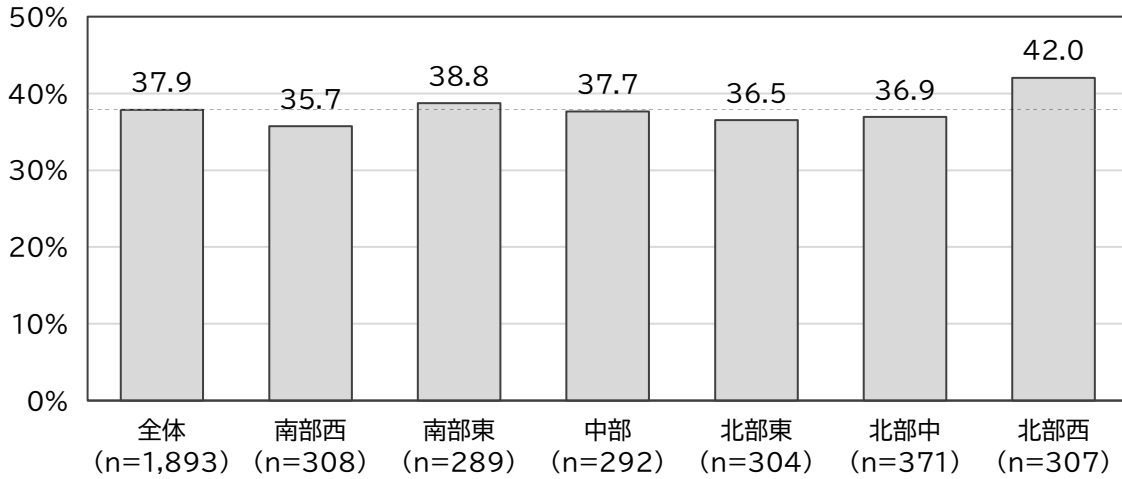
性別・年齢別で見ると、女性では85～89歳から90歳以上にかけて大きく増加し、90歳以上で男性は48.5%、女性は71.4%と最も高くなっています。

図表 2-16-23 認知機能の低下リスク 性別・年齢別



圏域別でみると、北部西地区が42.0%と最も高くなっています。

図表 2-16-24 認知機能の低下リスク 圏域別



(7) うつ傾向

下記の2設問について、1問以上該当する選択肢が回答された場合、うつ傾向の高齢者として判定しました。

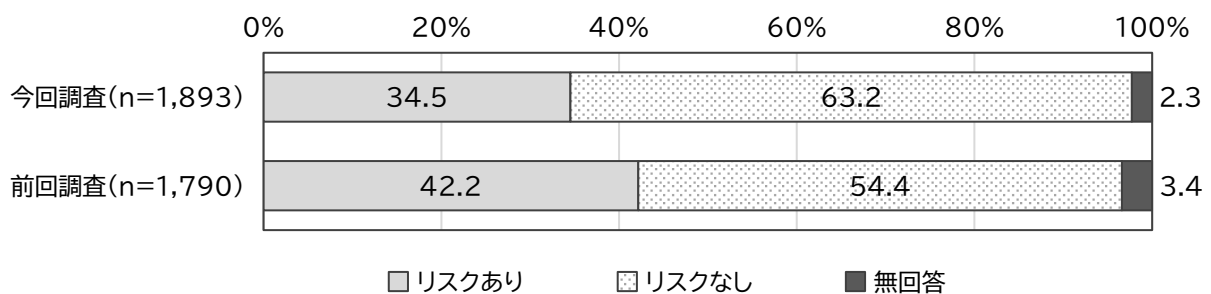
図表 2-16-25 うつ傾向の判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問9(4)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問9(5)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

うつ傾向については、34.5%となっています。

前回調査と比較すると、うつ傾向(34.5%)は前回調査(42.2%)より7.7ポイント増加しています。

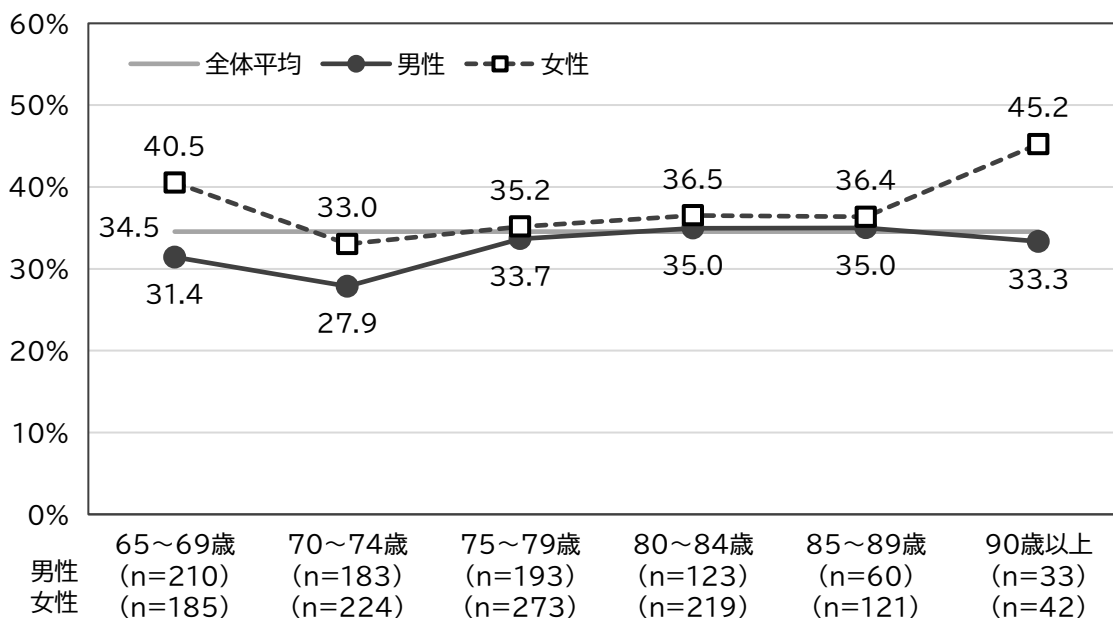
図表 2-16-26 うつ傾向



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

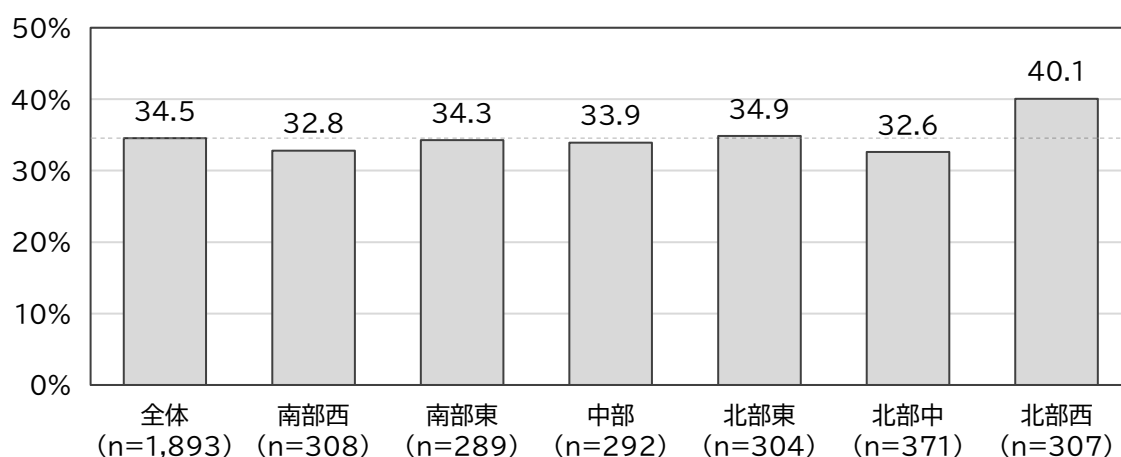
性別・年齢別で見ると、男性では80歳～89歳で35.0%と最も高く、女性では90歳以上で45.2%と最も高くなっています。

図表 2-16-27 うつ傾向 性別・年齢別



圏域別で見ると、北部西地区が40.1%と最も高くなっています。

図表 2-16-28 うつ傾向 圏域別



(8) うつ病の可能性

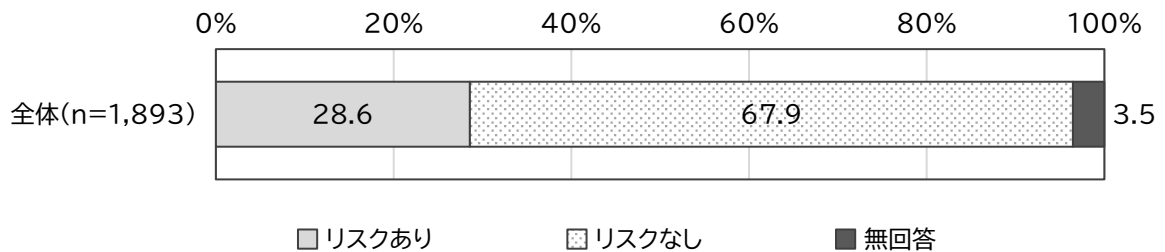
下記の5設問について、2問以上該当する選択肢が回答された場合、うつ病の可能性がある高齢者として判定しました。

図表 2-16-29 うつ病の可能性の判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問9(6)	ここ2週間、毎日の生活に充実感がないと感じますか。	1. はい
問9(7)	ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じますか。	1. はい
問9(8)	ここ2週間、以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられますか。	1. はい
問9(9)	ここ2週間、自分が役に立つ人間だと思えないと感じたことはありますか。	1. はい
問9(10)	ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがすることはありますか。	1. はい

うつ病の可能性については、28.6%となっています。

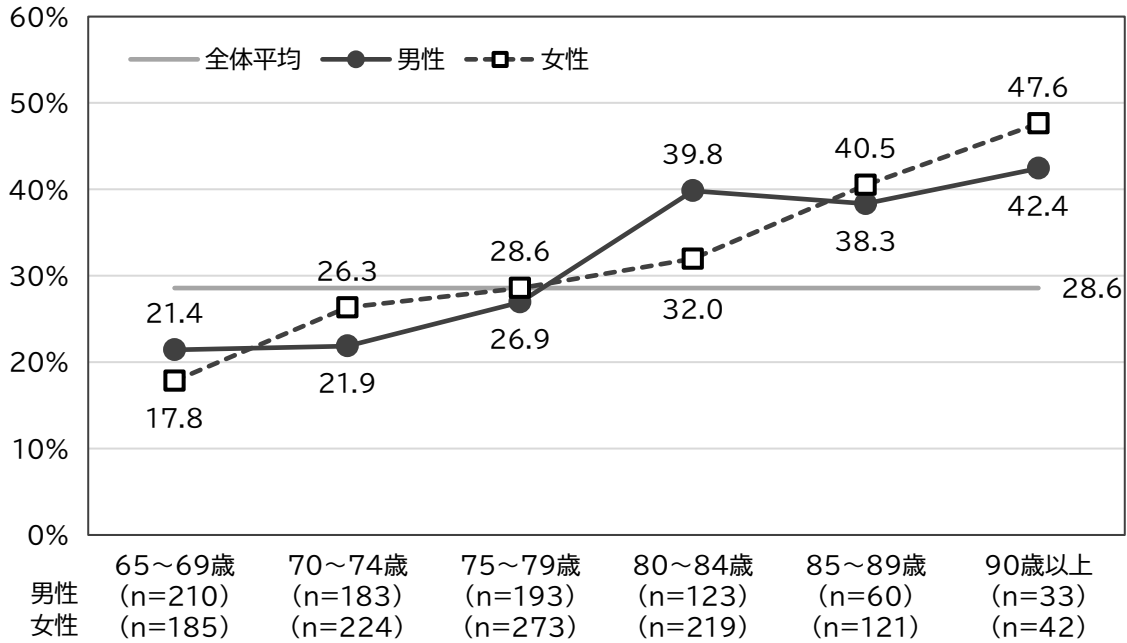
図表 2-16-30 うつ病の可能性



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

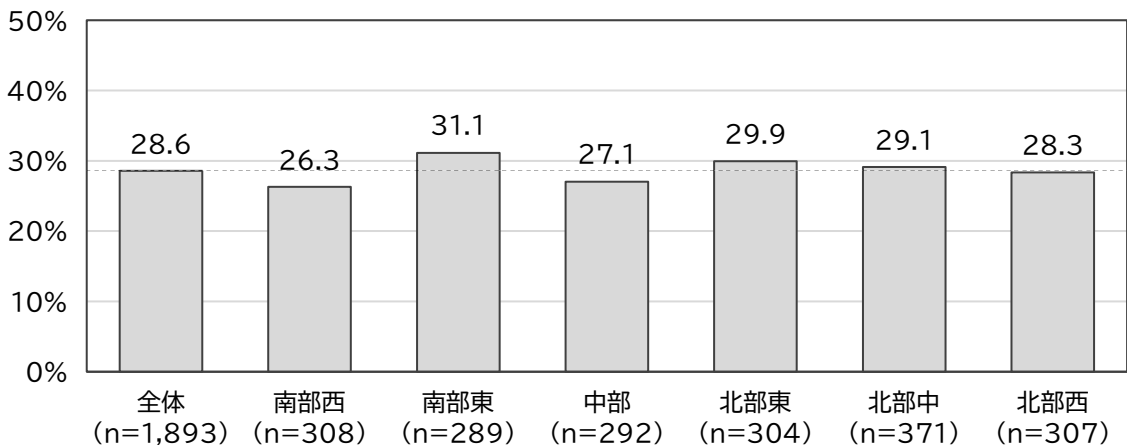
性別・年齢別で見ると、男女とも90歳以上で最も高く、男性が42.4%、女性が47.6%となっています。

図表 2-16-31 うつ病の可能性 性別・年齢別



圏域別で見ると、南部東地区が31.1%と最も高くなっています。

図表 2-16-32 うつ病の可能性 圏域別



(9) IADL（手段的自立度）の低下

下記の5設問について、該当選択肢がすべて回答されていない場合、IADL（手段的自立度）の低下している高齢者として判定しました。

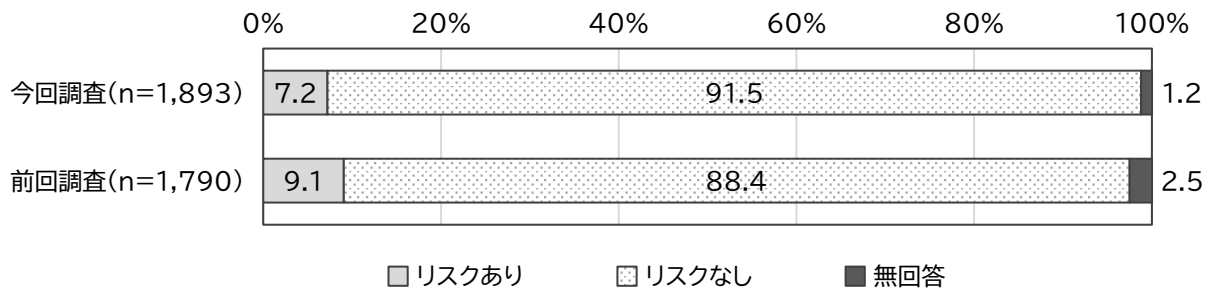
図表 2-16-33 IADL低下の判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問6(5)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している 2. できるけれどしていない
問6(6)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけれどしていない
問6(7)	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している 2. できるけれどしていない
問6(8)	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけれどしていない
問6(9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している 2. できるけれどしていない

IADLの低下リスクについては、7.2%となっています。

前回調査と比較すると、IADLの低下リスク（7.2%）は前回調査（9.1%）より1.9ポイント減少しています。

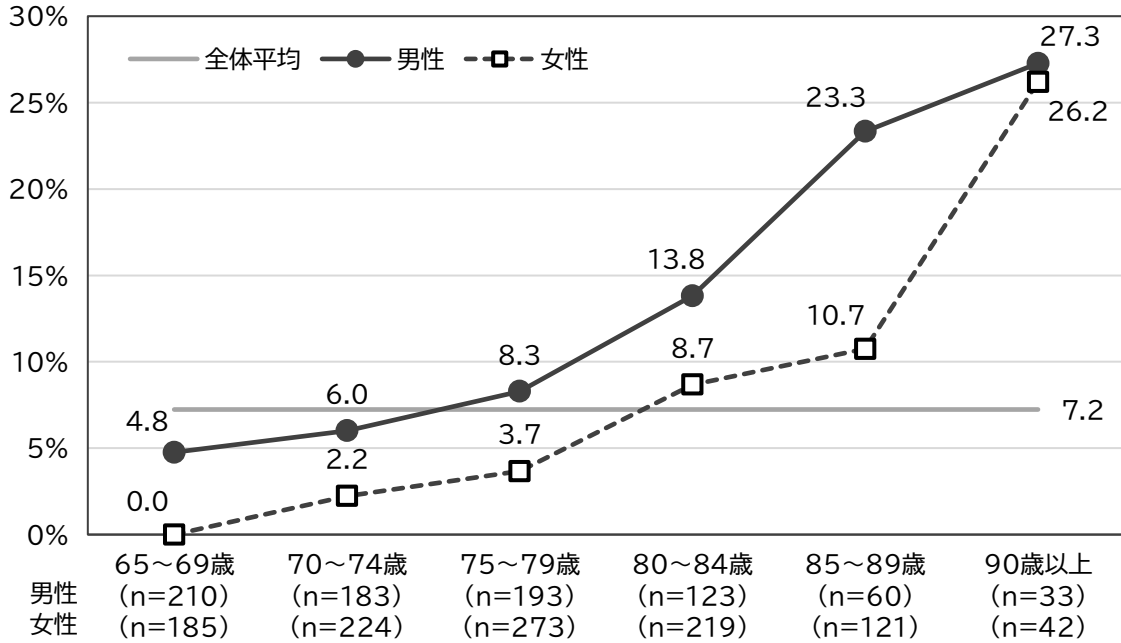
図表 2-16-34 IADL低下



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

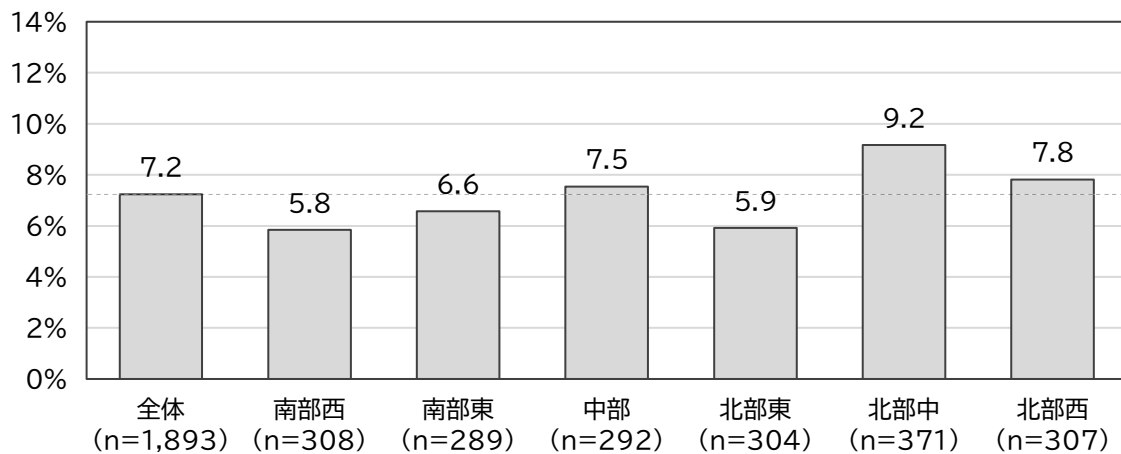
性別・年齢別で見ると、男女とも年齢が上がるにつれて割合が増加し、男女とも90歳以上で最も高く、男性が27.3%、女性が26.2%となっています。

図表 2-16-35 IADL低下 性別・年齢別



圏域別で見ると、北部中地区が9.2%と最も高くなっています。

図表 2-16-36 IADL低下 圏域別



(10) 生活機能全般の低下リスク（基本チェックリスト）

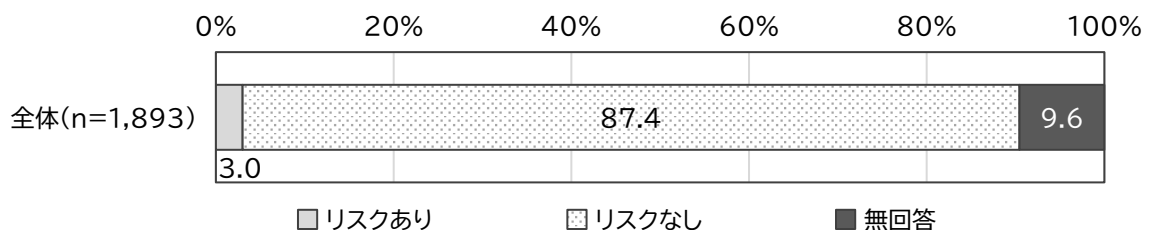
下記の20設問について、10問以上該当する選択肢が回答された場合、生活機能全般の低下リスクのある高齢者として判定しました。

図表 2-16-37 生活機能全般の低下リスクの判定基準

設問番号	設問	該当選択肢
問6(5)	バスや電車を使って1人で外出していますか。	3. できない
問6(6)	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	3. できない
問6(7)	自分で食事の用意をしていますか。	3. できない
問6(8)	自分で請求書の支払いをしていますか。	3. できない
問6(9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	3. できない
問4(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問4(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問4(3)	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問4(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問4(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である
問5(6)	6か月以上で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい
問5(1)	身長・体重をご記入ください。	BMI=18.5 未満
問5(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問5(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問5(4)	口の渇きが気になりますか。	1. はい
問4(6)	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない
問4(7)	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている
問6(2)	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか。	1. はい
問6(4)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。	2. いいえ
問6(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか。	1. はい

生活機能全般の低下リスクについては、3.0%となっています。

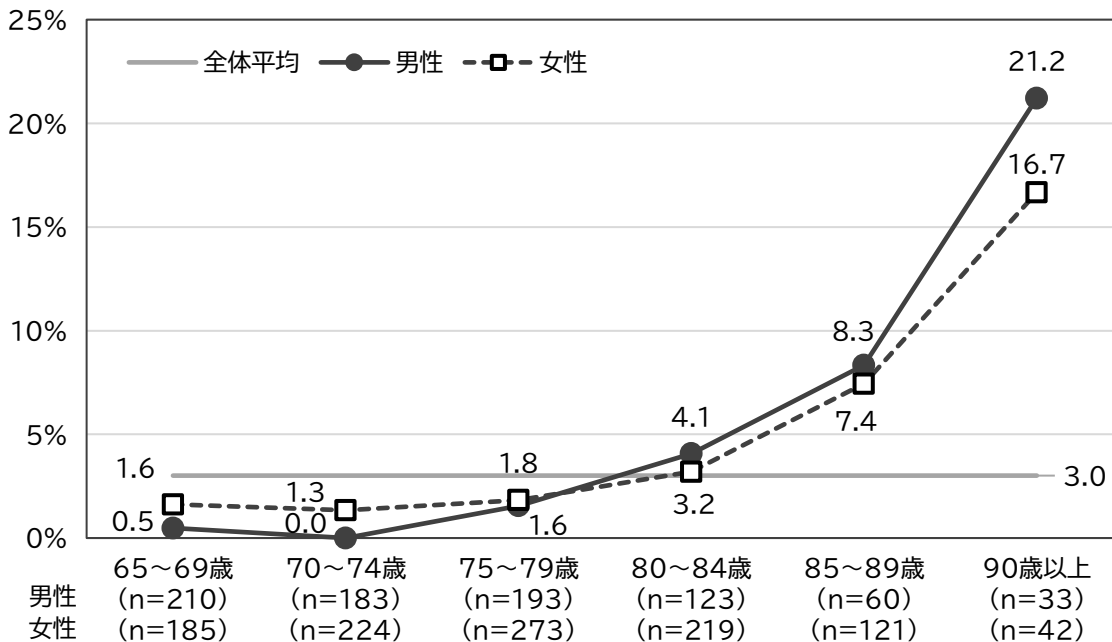
図表 2-16-38 生活機能全般の低下リスク



第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

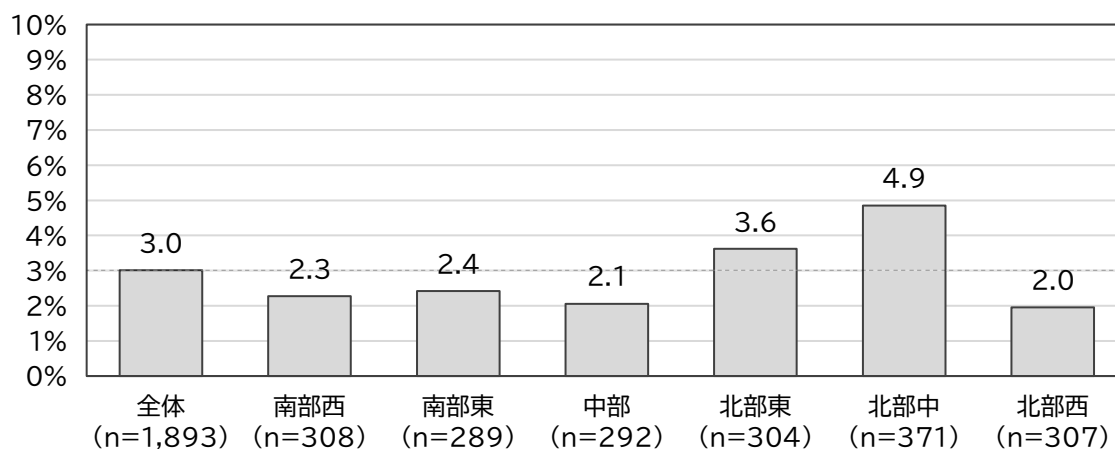
性別・年齢別で見ると、男女とも85歳～89歳から90歳以上にかけて大きく増加しており、90歳以上では、男性が21.2%、女性が16.7%と最も高くなっています。

図表 2-16-39 生活機能全般の低下リスク 性別・年齢別



圏域別で見ると、北部中地区が4.9%と最も高くなっています。

図表 2-16-40 生活機能全般の低下リスク 圏域別



第3章 在宅介護実態調査

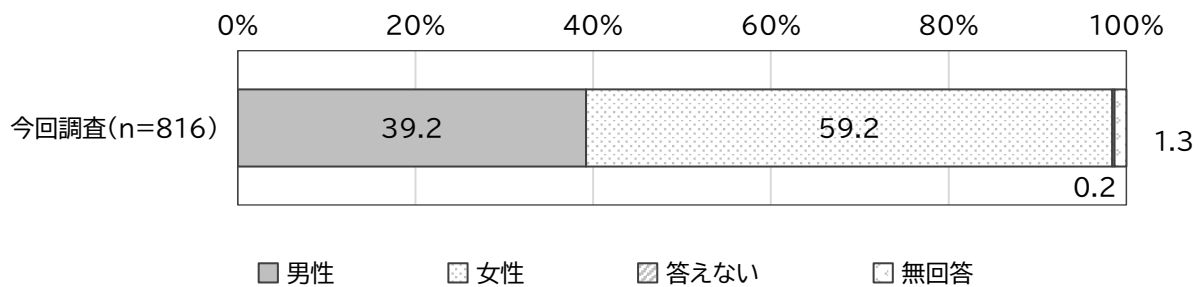
1. 調査対象者について

(1) 性別・年齢

問1 あなた（調査対象者ご本人）の性別をお答えください。（どちらかに○）

性別については、「男性」が39.2%、「女性」が59.2%となっています

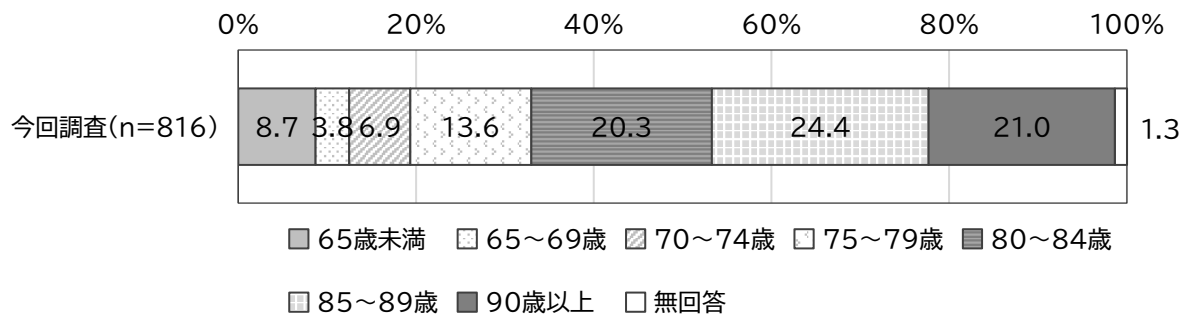
図表 3-1-1 性別



問2 あなた（調査対象者ご本人）の年齢をお答えください。（○は1つ）

年齢については、「85～89歳」が24.4%と最も高く、次いで「90歳以上」が21.0%、「80～84歳」が21.0%と続いています。

図表 3-1-2 年齢



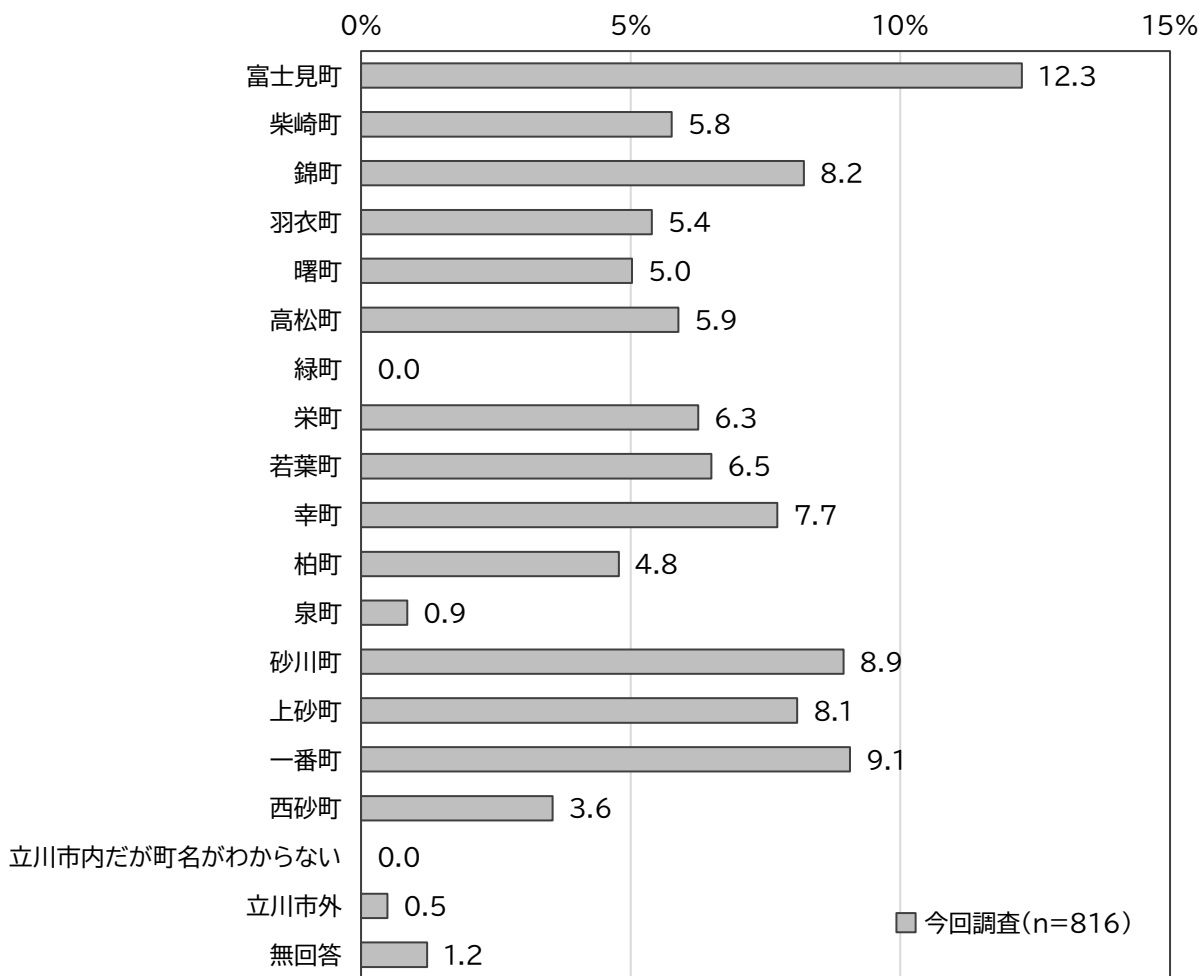
第3章 在宅介護実態調査

(2) 居住地区

問3 あなた（調査対象者ご本人）のお住まいの町名は、どちらですか。（○は1つ）

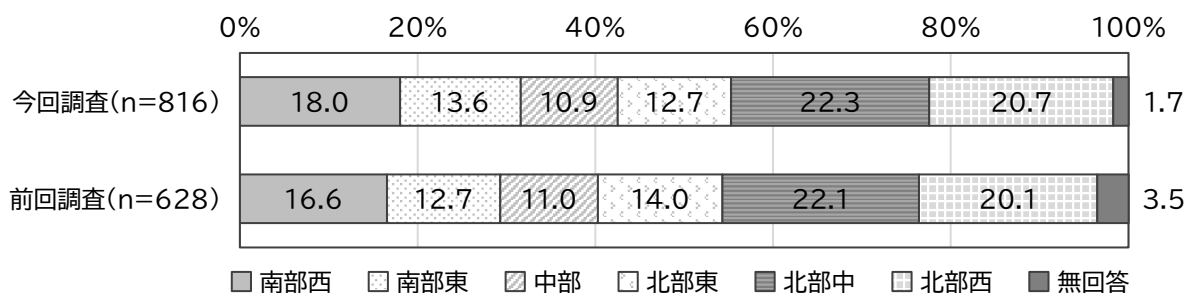
居住地域については、「富士見町」が12.3%と最も高く、次いで「一番町」が9.1%、「砂川町」が8.9%となっています。

図表 3-1-3 居住地域



居住地区（日常生活圏域）については、「北部中」が22.3%と最も高く、次いで「北部西」が20.7%、「南部西」が18.6%となっています。

図表 3-1-4 居住地区

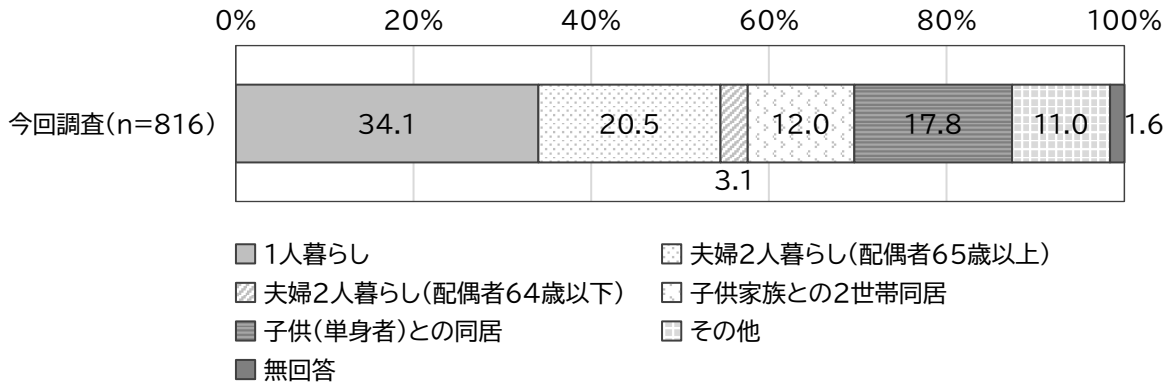


(3) 家族構成

問4 あなた（調査対象者ご本人）は、どなたかと住んでいますか。（○は1つ）

家族構成については、「1人暮らし」が34.1%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が20.5%、「子供（単身者）との同居」が17.8%と続いています。

図表 3-1-5 家族構成

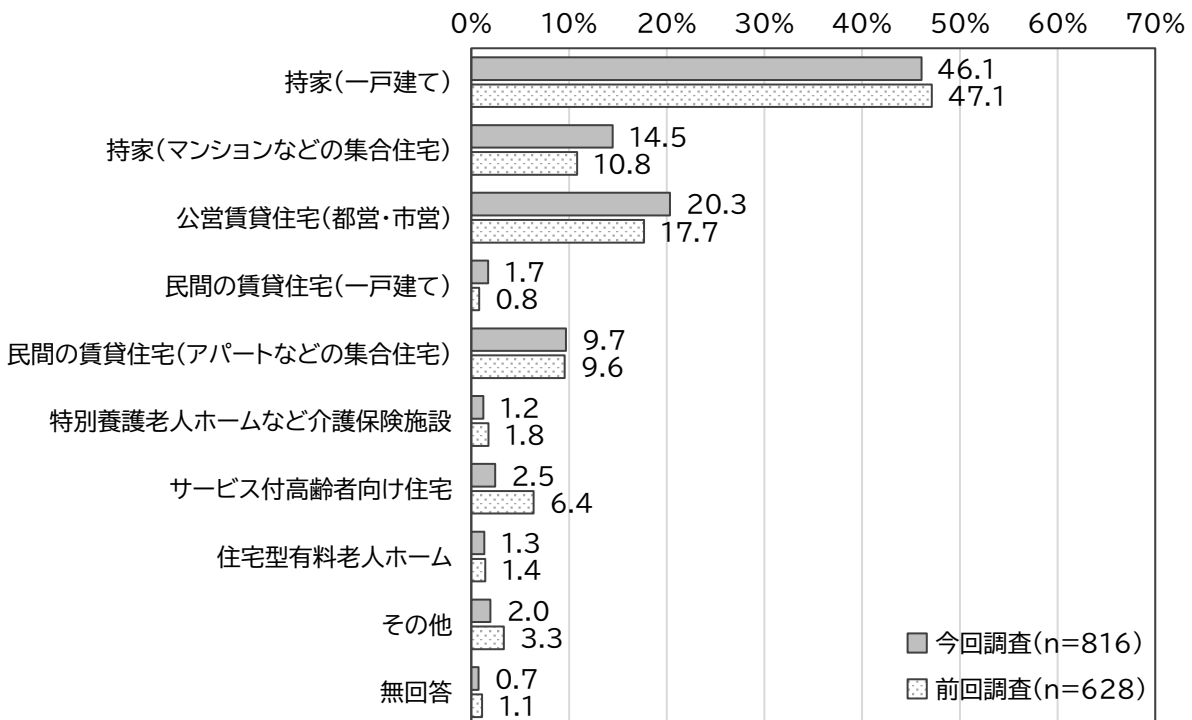


(4) 居住形態

問5 あなた（調査対象者ご本人）のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

住居形態については、「持家（一戸建て）」が46.1%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅（都営・市営）」が20.3%、「持家（マンションなどの集合住宅）」が14.5%と続いています。

図表 3-1-6 家族構成



第3章 在宅介護実態調査

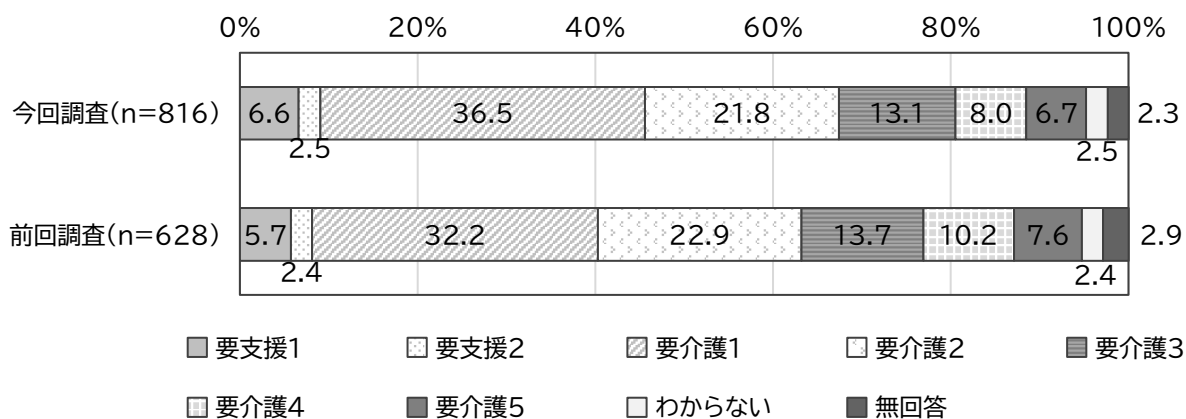
(5) 要介護度認定の状況

問6 あなた（調査対象者ご本人）の要介護度は次のうちどれですか。（○は1つ）

調査対象者の要介護認定の状況については、「要介護1」が36.5%と最も高く、次いで「要介護2」が21.8%、「要介護3」が13.1%となっています。

前回調査と比較すると、「要介護1」（36.5%）が前回調査（32.2%）より4.3ポイント増加しています。

図表 3-1-7 要介護認定の状況



認定状況別に年齢をみると、要支援1と要支援2では80～84歳と最も高く、要介護1と要介護2では85～90歳、要介護3以上では90歳以上がそれぞれ最も高くなっています。

図表 3-1-8 認定状況別回答者の年齢

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答
全体		816	8.7	3.8	6.9	13.6	20.3	24.4	21.0	1.3
認定状況別	要支援1	54	7.4	1.9	3.7	7.4	35.2	29.6	9.3	5.6
	要支援2	20	5.0	0.0	10.0	10.0	35.0	25.0	15.0	0.0
	要介護1	298	5.4	3.7	5.7	14.8	21.1	27.9	20.5	1.0
	要介護2	178	8.4	4.5	7.3	12.4	17.4	25.3	24.2	0.6
	要介護3	107	11.2	3.7	7.5	15.0	20.6	18.7	21.5	1.9
	要介護4	65	18.5	7.7	10.8	13.8	13.8	12.3	23.1	0.0
	要介護5	55	18.2	1.8	5.5	18.2	18.2	14.5	23.6	0.0

(6) 介護が必要となった原因

問7 介護が必要となった原因について、お答えください。(〇はいくつでも)

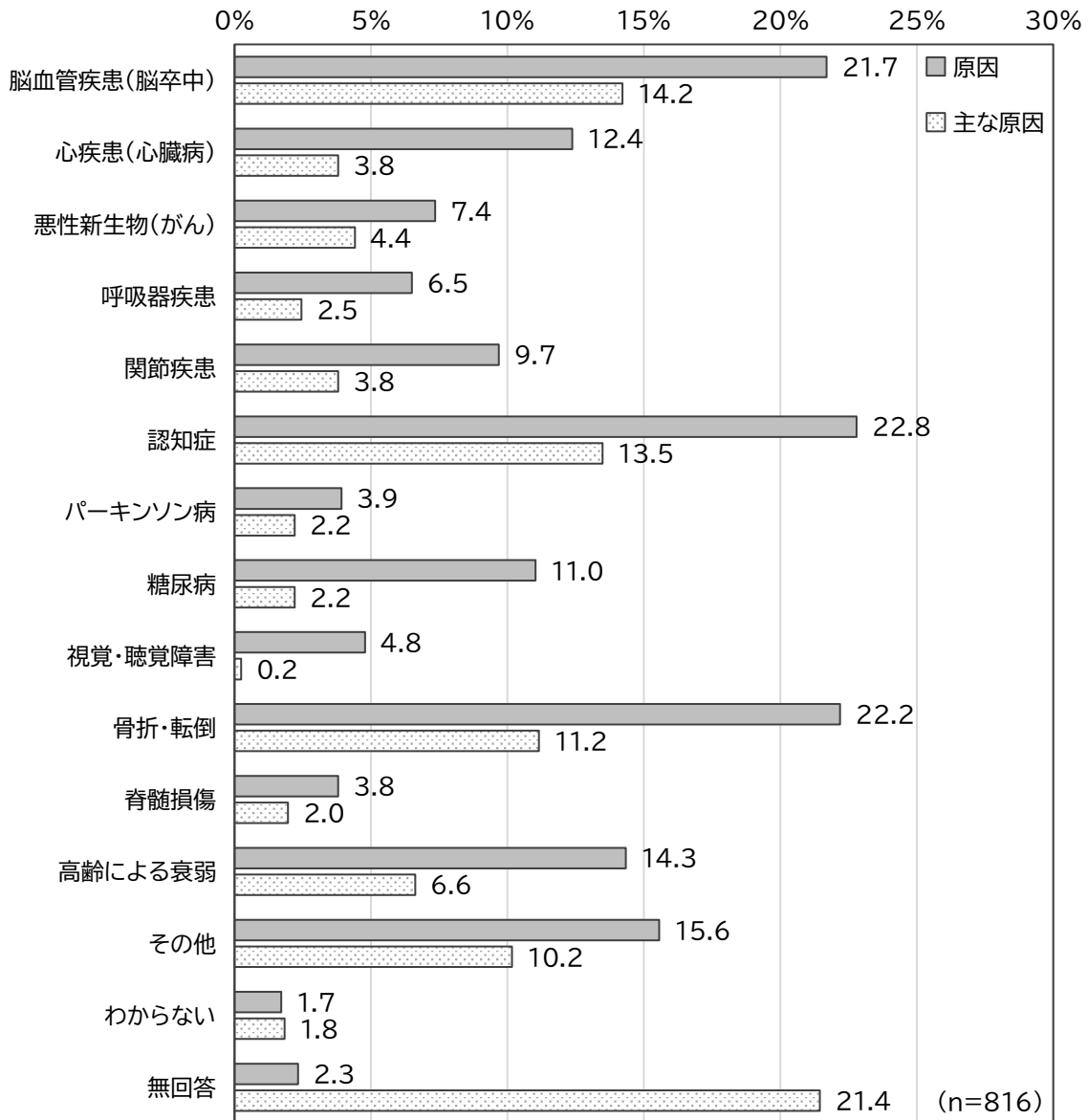
問7-1 上記のうち、主な原因を記入してください。

介護が必要となった原因については、「認知症」が22.8%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が22.2%、「脳血管疾患（脳卒中）」が21.7%となっています。

一方で、介護が必要となった原因のうち主なものに絞り込んだ場合、「脳血管疾患（脳卒中）」が14.2%と最も高く、次いで「認知症」が13.5%、「骨折・転倒」が11.2%となっています。

また、その他の内容では、「脊柱管狭窄症」、「脊髄小脳変性症」、「難病指定」などがありました。

図表 3-1-9 介護が必要となった原因



第3章 在宅介護実態調査

介護が必要となった原因について、年齢別でみると、79歳以下では、「脳血管疾患（脳卒中）」が最も高く、80～89歳では「認知症」、90歳以上では「高齢による衰弱」が最も高くなっています。

介護が必要となった原因について、認定状況別でみると、「脳血管疾患（脳卒中）」では、要介護4が35.4%と最も高くなっています。

図表 3-1-10 介護が必要となった原因 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患(心臓 病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	関節疾患	認知症	パーキンソン 病	糖尿病
全体		816	21.7	12.4	7.4	6.5	9.7	22.8	3.9	11.0
年齢別	65歳未満	71	39.4	7.0	9.9	1.4	8.5	16.9	4.2	11.3
	65～69歳	31	38.7	12.9	19.4	16.1	3.2	12.9	3.2	16.1
	70～74歳	56	28.6	10.7	3.6	8.9	8.9	8.9	5.4	8.9
	75～79歳	111	31.5	6.3	9.0	3.6	10.8	15.3	7.2	11.7
	80～84歳	166	15.1	8.4	6.0	7.2	12.7	28.9	4.8	13.9
	85～89歳	199	18.1	19.1	7.0	8.0	9.5	29.1	3.5	11.1
	90歳以上	171	10.5	15.2	6.4	5.3	8.8	24.6	1.2	7.6
認定状況別	要支援1	54	16.7	1.9	3.7	3.7	3.7	14.8	5.6	18.5
	要支援2	20	10.0	15.0	10.0	25.0	5.0	20.0	0.0	0.0
	要介護1	298	16.1	11.4	7.0	5.7	10.4	24.2	4.0	9.4
	要介護2	178	23.0	15.7	6.7	5.1	14.6	24.2	1.1	12.9
	要介護3	107	28.0	12.1	12.1	7.5	7.5	26.2	4.7	10.3
	要介護4	65	35.4	12.3	7.7	3.1	7.7	20.0	6.2	12.3
	要介護5	55	29.1	14.5	7.3	10.9	7.3	23.6	10.9	10.9

		合計	害 視覚・聴覚障 害	骨折・転倒	脊髄損傷	衰弱 高齢による	その他	わからない	無回答
全体		816	4.8	22.2	3.8	14.3	15.6	1.7	2.3
年齢別	65歳未満	71	1.4	8.5	1.4	2.8	19.7	1.4	1.4
	65～69歳	31	0.0	16.1	6.5	0.0	9.7	3.2	0.0
	70～74歳	56	5.4	14.3	12.5	1.8	23.2	1.8	1.8
	75～79歳	111	4.5	17.1	4.5	4.5	17.1	0.9	2.7
	80～84歳	166	3.6	23.5	3.6	6.0	14.5	3.0	3.6
	85～89歳	199	6.0	25.6	3.0	18.6	13.6	1.0	1.0
	90歳以上	171	6.4	29.8	2.3	36.3	14.6	0.6	2.9
認定状況別	要支援1	54	3.7	22.2	1.9	14.8	11.1	9.3	5.6
	要支援2	20	0.0	10.0	5.0	10.0	15.0	0.0	0.0
	要介護1	298	4.7	19.8	4.4	18.8	19.1	1.3	2.0
	要介護2	178	5.1	24.2	3.9	14.0	14.6	1.7	1.1
	要介護3	107	7.5	25.2	1.9	10.3	14.0	0.9	0.9
	要介護4	65	1.5	32.3	4.6	10.8	16.9	0.0	0.0
	要介護5	55	7.3	20.0	1.8	9.1	10.9	0.0	0.0

介護が必要となった主な原因について、年齢別でみると、79歳以下では、「脳血管疾患（脳卒中）」が最も高く、80～89歳では「認知症」、90歳以上では「高齢による衰弱」が最も高くなっています。

介護が必要となった主な原因について、認定状況別でみると、「脳血管疾患（脳卒中）」では、要介護4が20.0%と最も高くなっています。

図表 3-1-11 介護が必要となった主な原因 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患(心臓 病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	関節疾患	認知症	パーキンソン 病	糖尿病
全体		816	14.2	3.8	4.4	2.5	3.8	13.5	2.2	2.2
年齢別	65歳未満	71	32.4	0.0	8.5	0.0	4.2	11.3	1.4	2.8
	65～69歳	31	35.5	0.0	12.9	3.2	0.0	9.7	3.2	0.0
	70～74歳	56	19.6	1.8	3.6	3.6	5.4	5.4	5.4	0.0
	75～79歳	111	20.7	3.6	7.2	2.7	6.3	9.0	4.5	2.7
	80～84歳	166	7.8	3.6	4.2	2.4	4.2	20.5	2.4	4.8
	85～89歳	199	11.6	3.5	2.5	3.0	3.5	16.6	1.5	2.0
	90歳以上	171	5.3	7.6	2.3	1.8	2.3	11.1	0.6	0.6
認定状況別	要支援1	54	11.1	0.0	1.9	3.7	3.7	11.1	1.9	7.4
	要支援2	20	5.0	10.0	10.0	10.0	5.0	20.0	0.0	0.0
	要介護1	298	11.1	4.0	2.7	2.3	5.7	14.1	2.0	2.0
	要介護2	178	14.6	3.4	3.9	1.1	5.6	14.6	0.6	1.7
	要介護3	107	18.7	3.7	8.4	4.7	0.0	12.1	4.7	1.9
	要介護4	65	20.0	1.5	6.2	1.5	0.0	12.3	1.5	1.5
	要介護5	55	18.2	5.5	7.3	1.8	1.8	10.9	7.3	0.0

		合計	害 視覚・聴覚障 害	骨折・転倒	脊髄損傷	衰弱 高齢による	その他	わからない	無回答
全体		816	0.2	11.2	2.0	6.6	10.2	1.8	21.4
年齢別	65歳未満	71	0.0	2.8	2.8	1.4	19.7	0.0	12.7
	65～69歳	31	0.0	0.0	3.2	0.0	3.2	6.5	22.6
	70～74歳	56	0.0	14.3	5.4	1.8	17.9	1.8	14.3
	75～79歳	111	0.0	6.3	3.6	1.8	11.7	0.9	18.9
	80～84歳	166	0.6	13.3	1.8	2.4	9.6	3.0	19.3
	85～89歳	199	0.0	11.1	1.0	7.0	7.5	1.5	27.6
	90歳以上	171	0.6	17.5	0.6	18.7	7.0	0.6	23.4
認定状況別	要支援1	54	1.9	13.0	0.0	7.4	7.4	11.1	18.5
	要支援2	20	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	10.0
	要介護1	298	0.3	11.1	2.7	8.4	11.4	1.7	20.5
	要介護2	178	0.0	11.8	0.0	7.3	9.0	1.7	24.7
	要介護3	107	0.0	13.1	2.8	3.7	9.3	0.0	16.8
	要介護4	65	0.0	10.8	4.6	1.5	15.4	0.0	23.1
	要介護5	55	0.0	9.1	1.8	7.3	7.3	0.0	21.8

第3章 在宅介護実態調査

(7) 訪問診療の利用

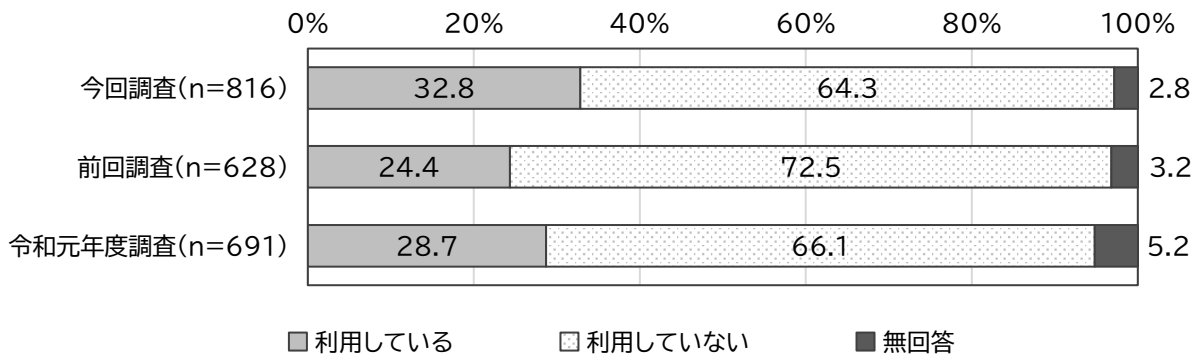
問8 あなた（調査対象者ご本人）は、現在、訪問診療を利用していますか。（どちらかに○）

※ 訪問歯科診療や介護保険サービスの居宅療養管理指導は含みません。

訪問診療の利用状況では、「利用している」が32.8%となっています。

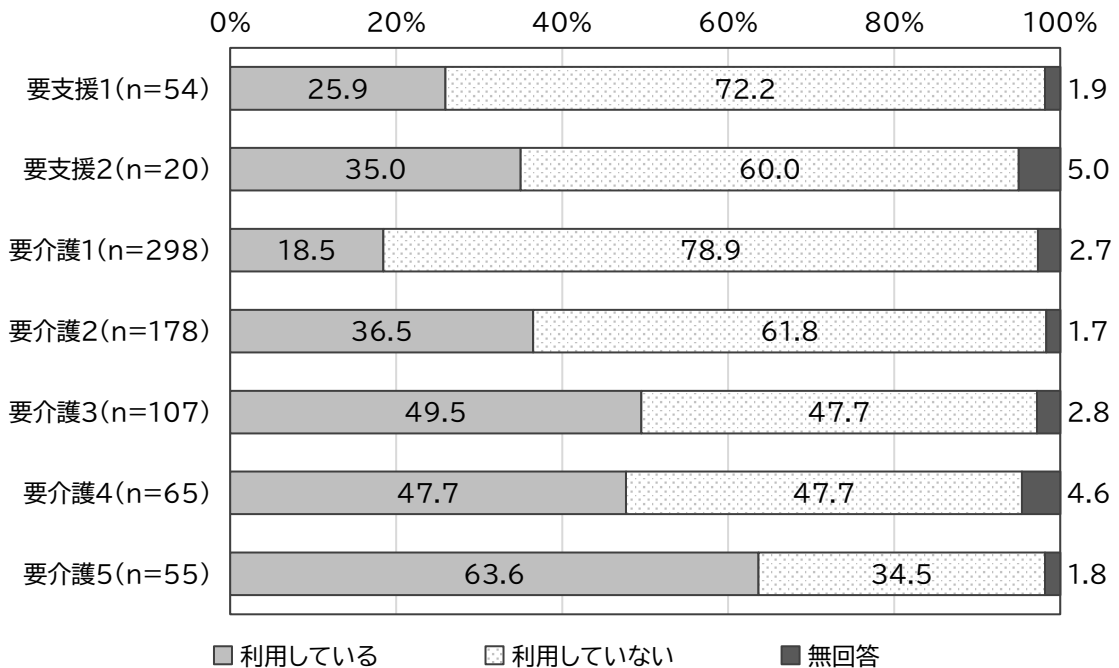
前回調査と比較すると、「利用している」(32.8%)が前回調査(24.4%)より8.4ポイント増加しています。

図表 3-1-12 訪問診療の利用状況 属性別



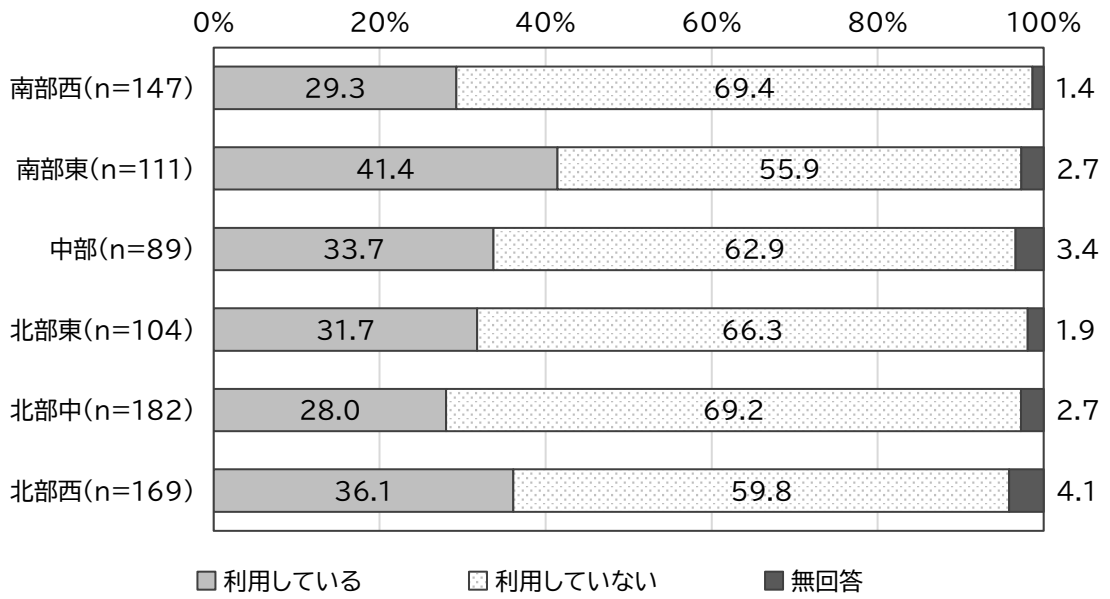
認定状況別でみると、「利用している」では、要介護5が63.6%と最も高くなっています。

図表 3-1-13 訪問診療の利用状況 認定状況別



圏域別でみると、「利用している」では、南部東地区が41.4%と最も高くなっています。

図表 3-1-14 訪問診療の利用状況 圏域別



(8) 介護保険サービス以外のサービス利用状況

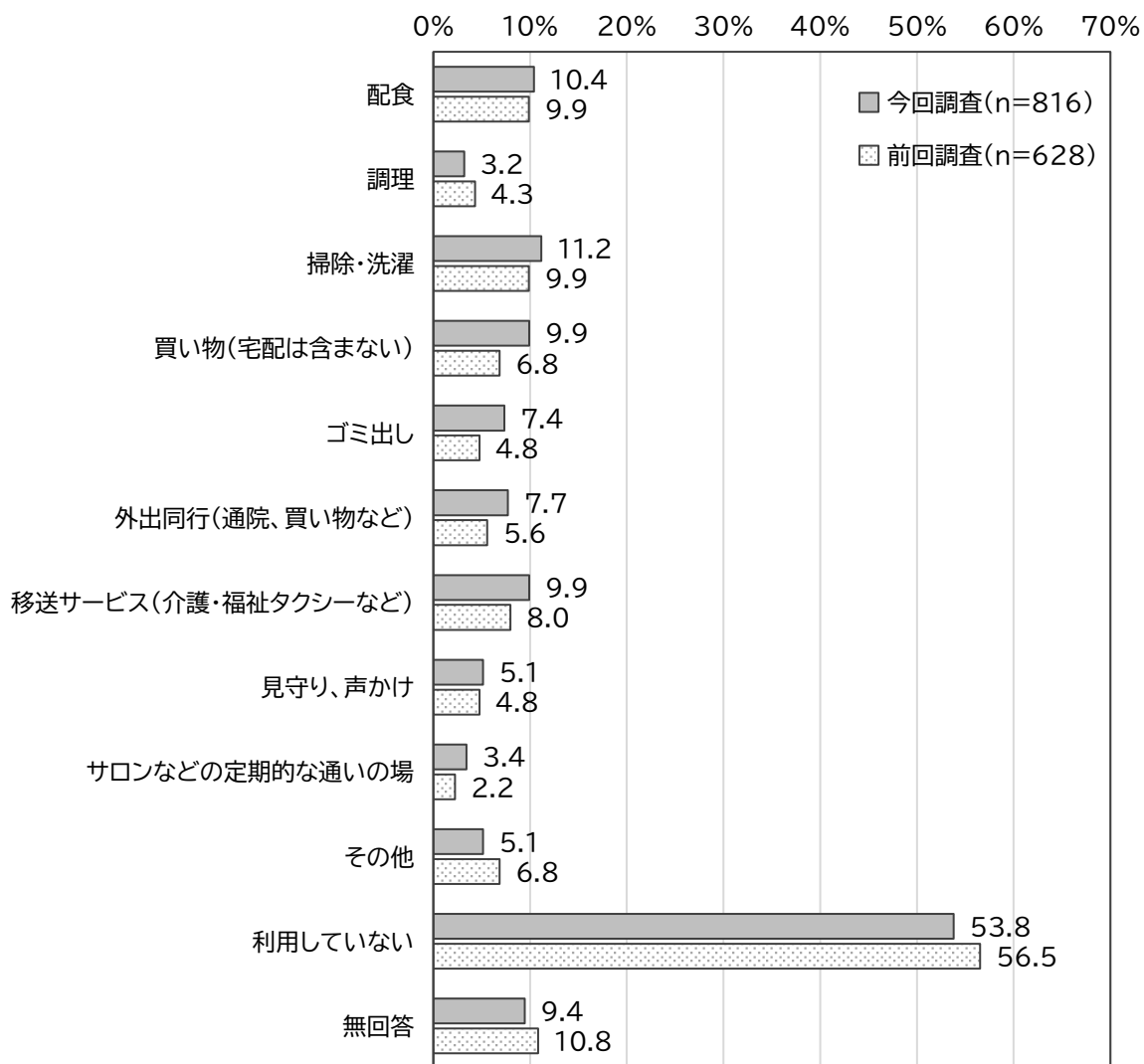
問9 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。
(〇はいくつでも)

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況については、「利用していない」が53.8%と最も高く、次いで「掃除・洗濯」が11.2%、「配食」が10.4%となっています。

前回調査と比較すると、「利用していない」(53.8%)が前回調査(56.5%)より2.7ポイント減少している一方で、「買い物(宅配は含まない)」(9.9%)が前回調査(6.8%)より3.1ポイント増加しています。

図表 3-1-15 介護保険サービス以外のサービス利用状況



認定状況別で見ると、いずれも「利用していない」が最も高くなっています。また、利用されている内容をみると、要介護3以上では「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が最も高く、要介護5では23.6%となっています。

圏域別で見ると、いずれも「利用していない」が最も高くなっています。

図表 3-1-16 介護保険サービス以外のサービス利用状況 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシーなど)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答
全体		816	10.4	3.2	11.2	9.9	7.4	7.7	9.9	5.1	3.4	5.1	53.8	9.4
認定状況別	要支援1	54	9.3	0.0	14.8	5.6	3.7	1.9	9.3	1.9	3.7	9.3	50.0	13.0
	要支援2	20	15.0	5.0	20.0	20.0	5.0	5.0	15.0	0.0	0.0	15.0	45.0	5.0
	要介護1	298	11.4	2.0	10.1	10.7	7.4	6.4	6.0	3.7	3.4	4.0	56.0	7.7
	要介護2	178	9.6	4.5	11.2	12.9	7.3	11.2	9.6	6.7	3.9	5.1	50.0	10.1
	要介護3	107	8.4	4.7	11.2	7.5	10.3	9.3	14.0	7.5	1.9	4.7	55.1	10.3
	要介護4	65	10.8	3.1	12.3	6.2	4.6	10.8	13.8	9.2	3.1	6.2	58.5	10.8
	要介護5	55	9.1	7.3	9.1	7.3	7.3	7.3	23.6	3.6	7.3	5.5	47.3	9.1
日常生活圏域別	南部西	147	8.2	1.4	9.5	6.8	6.1	10.2	6.1	5.4	4.8	5.4	57.8	6.8
	南部東	111	11.7	4.5	14.4	15.3	9.0	13.5	13.5	8.1	2.7	6.3	45.0	11.7
	中部	89	5.6	2.2	13.5	9.0	5.6	5.6	7.9	3.4	1.1	5.6	53.9	15.7
	北部東	104	10.6	1.0	12.5	10.6	6.7	5.8	13.5	3.8	4.8	6.7	46.2	10.6
	北部中	182	11.5	3.8	8.2	6.0	4.9	4.9	8.2	5.5	5.5	3.8	59.9	9.3
	北部西	169	12.4	4.1	11.8	13.0	10.7	6.5	11.2	4.7	1.2	4.1	54.4	6.5

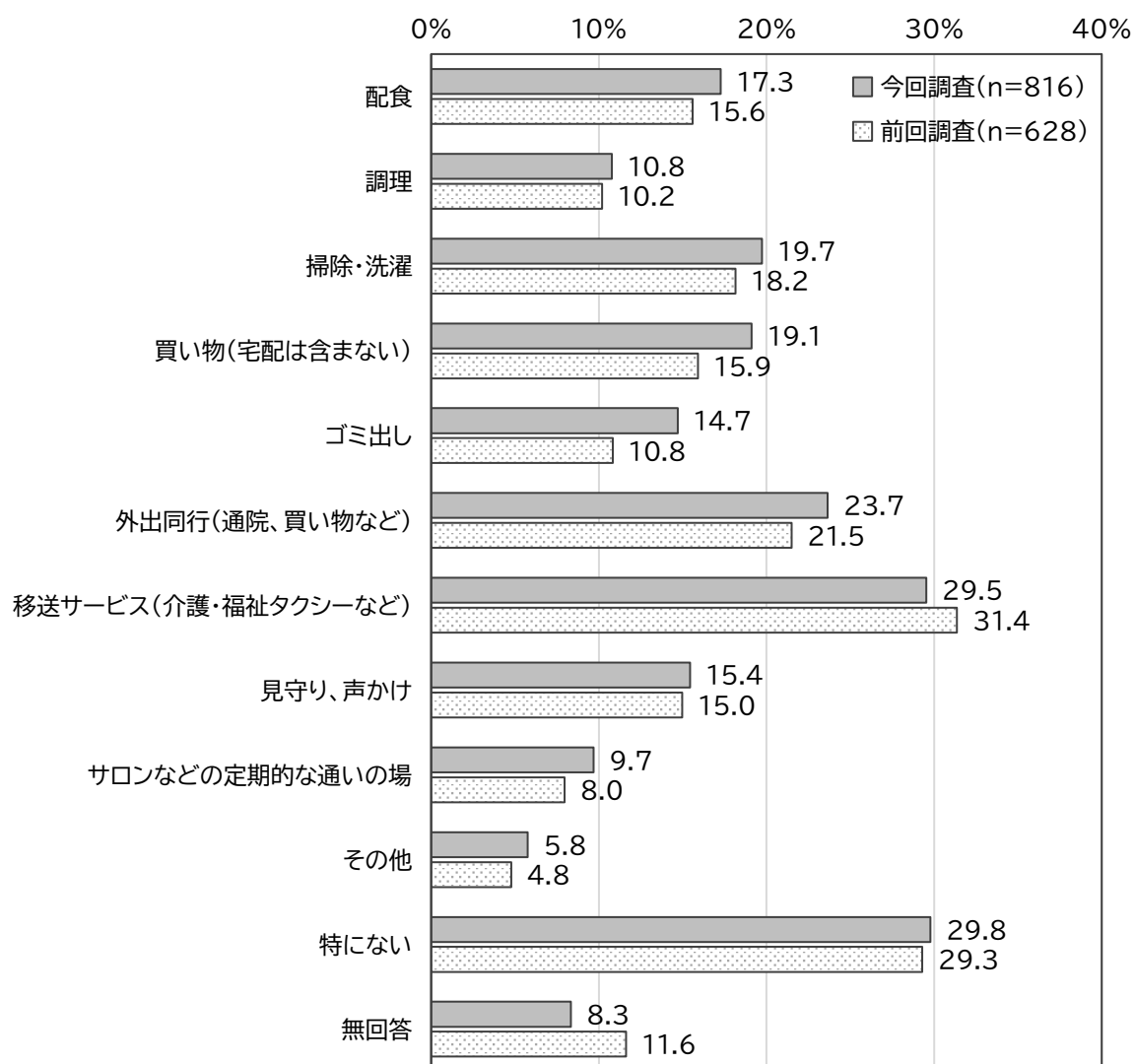
(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

問 10 現在、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、お答えください。（〇はいくつでも）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特にない」が29.8%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が29.5%、「外出同行（通院、買い物など）」が23.7%となっています。

前回調査と比較すると、「ゴミ出し」（14.7%）が前回調査（10.8%）より3.9ポイント、「買い物（宅配は含まない）」（19.1%）が前回調査（15.9%）より3.2ポイント、それぞれ増加しています。

図表 3-1-17 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



認定状況別で見ると、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」では、要介護4が41.5%と最も高くなっています。

圏域別で見ると、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」では、中部地区が32.6%と最も高くなっています。

図表 3-1-18 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシーなど)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特にない	無回答
全体		816	17.3	10.8	19.7	19.1	14.7	23.7	29.5	15.4	9.7	5.8	29.8	8.3
認定状況別	要支援1	54	11.1	7.4	18.5	16.7	16.7	24.1	24.1	14.8	9.3	0.0	37.0	7.4
	要支援2	20	10.0	5.0	10.0	20.0	5.0	10.0	25.0	0.0	10.0	5.0	50.0	10.0
	要介護1	298	16.8	11.1	21.5	22.1	15.4	27.5	28.5	15.8	11.7	5.4	25.8	5.7
	要介護2	178	19.7	13.5	24.2	24.2	17.4	28.1	27.5	17.4	7.9	5.1	28.7	7.3
	要介護3	107	15.0	6.5	15.9	14.0	15.9	21.5	32.7	15.0	10.3	7.5	29.9	15.0
	要介護4	65	20.0	9.2	16.9	12.3	7.7	16.9	41.5	13.8	7.7	12.3	26.2	9.2
	要介護5	55	21.8	16.4	18.2	9.1	12.7	14.5	36.4	20.0	12.7	5.5	34.5	10.9
日常生活圏域別	南部西	147	19.0	8.8	15.0	12.9	10.9	23.8	33.3	10.9	6.1	5.4	38.1	7.5
	南部東	111	17.1	11.7	24.3	24.3	18.0	20.7	28.8	18.0	13.5	1.8	26.1	7.2
	中部	89	14.6	7.9	24.7	24.7	9.0	28.1	32.6	15.7	9.0	6.7	24.7	5.6
	北部東	104	17.3	13.5	26.0	21.2	17.3	21.2	31.7	17.3	7.7	2.9	25.0	11.5
	北部中	182	19.8	12.1	17.6	18.1	13.2	22.0	25.3	14.8	12.6	8.2	33.0	6.6
	北部西	169	15.4	11.2	17.2	18.3	18.3	26.0	29.0	17.2	8.9	7.1	27.2	10.7

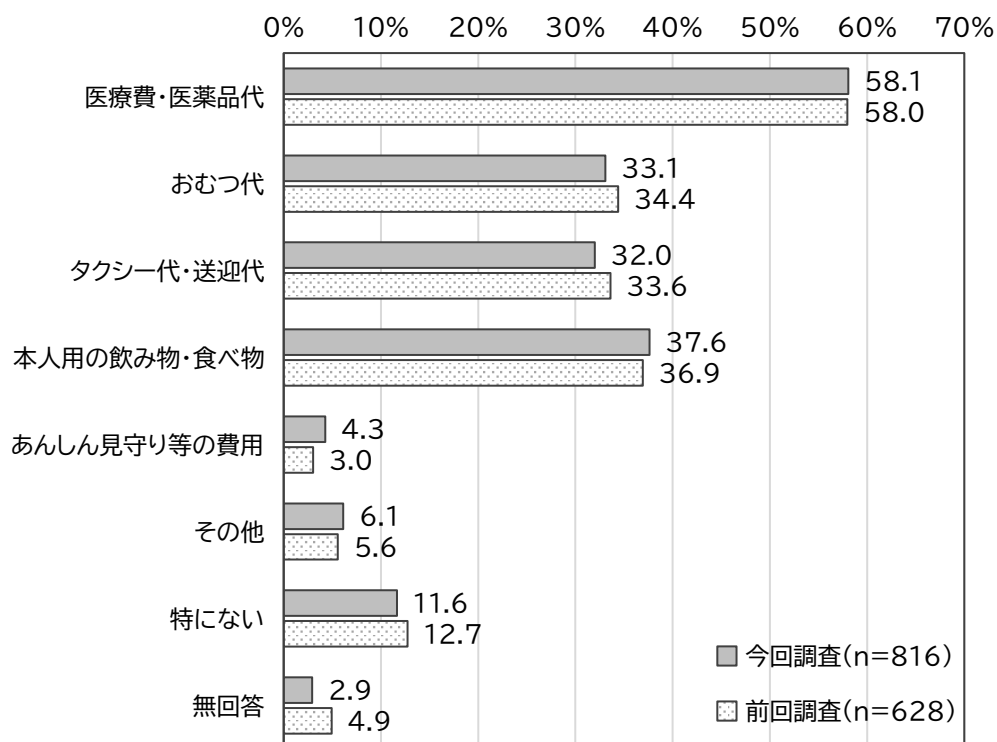
(10) 介護保険サービス以外で費用がかかるもの

問 11 介護に関係することで「介護保険サービス以外」ではどのようなことにお金がかかっていますか。(〇はいくつでも)

介護保険サービス以外で費用がかかるものについては、「医療費・医薬品代」が58.1%と最も高く、次いで「本人用の飲み物・食べ物」が37.6%、「おむつ代」が33.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 3-1-19 介護保険サービス以外で費用がかかるもの



認定状況別で見ると、「医療費・医薬品代」では、要介護4が66.2%と最も高くなっています。
 圏域別で見ると、「医療費・医薬品代」では南部東地区が62.2%と最も高くなっています。

図表 3-1-20 介護保険サービス以外で費用がかかるもの 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	医療費・医薬品代	おむつ代	タクシー代・送迎代	本人用の飲み物・食べ物	あんしん見守り等の費用	その他	特にない	無回答
全体		816	58.1	33.1	32.0	37.6	4.3	6.1	11.6	2.9
認定状況別	要支援1	54	42.6	18.5	24.1	29.6	5.6	3.7	25.9	3.7
	要支援2	20	50.0	15.0	35.0	55.0	0.0	5.0	25.0	0.0
	要介護1	298	59.4	22.8	31.9	37.6	3.0	7.7	11.1	2.7
	要介護2	178	61.8	36.5	32.6	36.5	2.8	5.1	7.9	3.4
	要介護3	107	60.7	42.1	35.5	41.1	7.5	6.5	7.5	3.7
	要介護4	65	66.2	66.2	35.4	41.5	7.7	4.6	3.1	0.0
	要介護5	55	58.2	61.8	29.1	41.8	9.1	7.3	9.1	5.5
日常生活圏域別	南部西	147	60.5	30.6	28.6	34.0	4.8	3.4	16.3	1.4
	南部東	111	62.2	29.7	28.8	38.7	6.3	3.6	12.6	4.5
	中部	89	59.6	24.7	39.3	33.7	2.2	6.7	11.2	3.4
	北部東	104	55.8	28.8	41.3	32.7	3.8	7.7	7.7	2.9
	北部中	182	59.9	34.6	26.4	44.5	4.4	8.8	11.0	2.7
	北部西	169	53.3	42.6	34.9	37.9	3.6	6.5	9.5	2.4

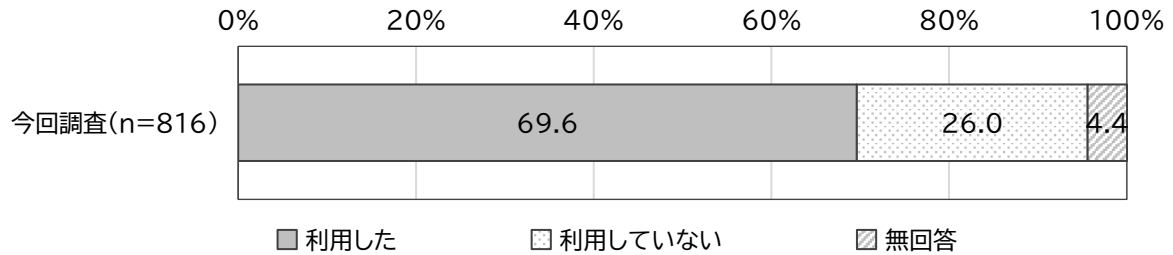
第3章 在宅介護実態調査

(11) 介護保険サービスの利用状況

問12 令和7年10月1日～31日の1か月間に、介護保険サービスを利用しましたか。
〔住宅改修、福祉用具貸与、福祉用具購入以外〕（どちらかに○）

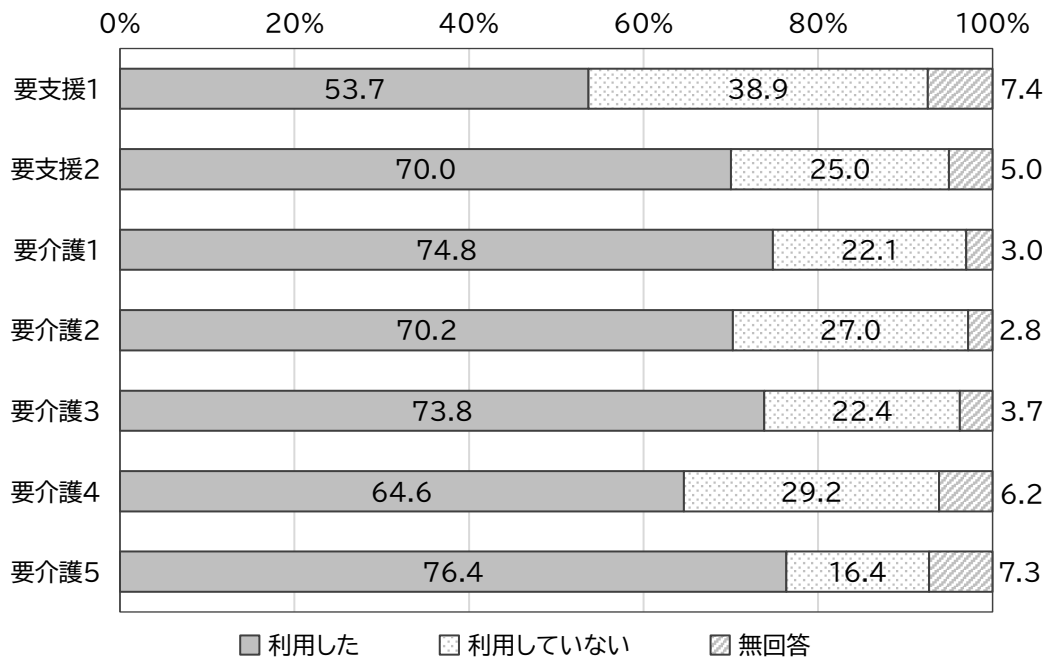
介護保険サービスの利用状況については、「利用した」が69.6%、「利用していない」が26.0%となっています。

図表 3-1-21 介護保険サービスの利用状況



認定状況別にみると、「利用した」では、要介護5が76.4%で最も高くなっています。

図表 3-1-22 介護保険サービスの利用状況 認定状況別



【問12で「1. 利用した」とお答えした方にお伺いします。】

問13 現在、下記のサービスの利用状況について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。
(それぞれ1つに○)

① 訪問介護

訪問介護の1週間あたりの利用状況については、「利用していない」が69.9%と最も高く、次いで「週2回程度」が9.2%、「週1回程度」が7.6%と続いています。

認定状況別でみると、『利用した』（「週1回程度」～「週5回以上」の合計）では、要介護5が45.2%と最も高くなっています。

図表 3-1-23 介護保険サービスの利用状況 ①訪問介護

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	参考 △利用した▽
全体	568	69.9	7.6	9.2	4.4	3.0	5.6	0.4	29.8
認定状況別	要支援1	29	75.9	3.4	13.8	6.9	0.0	0.0	24.1
	要支援2	14	85.7	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	14.3
	要介護1	223	75.8	9.4	7.6	3.6	2.2	1.3	24.2
	要介護2	125	63.2	8.0	12.8	4.0	4.8	6.4	36.0
	要介護3	79	67.1	7.6	7.6	7.6	6.3	3.8	32.9
	要介護4	42	71.4	4.8	2.4	4.8	0.0	16.7	28.6
	要介護5	42	54.8	4.8	11.9	2.4	2.4	23.8	45.2

第3章 在宅介護実態調査

② 訪問入浴介護

訪問入浴介護の1週間あたりの利用状況については、「利用していない」が88.2%と最も高く、次いで「週2回程度」が5.1%、「週1回程度」が4.9%と続いています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護5が31.0%と最も高くなっています。

図表 3-1-24 介護保険サービスの利用状況 ②訪問入浴介護

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	参考 △利用した▽
全体		568	88.2	4.9	5.1	0.9	0.4	0.2	0.4	11.4
認定状況別	要支援1	29	89.7	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3
	要支援2	14	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護1	223	91.5	3.6	4.5	0.4	0.0	0.0	0.0	8.5
	要介護2	125	88.0	2.4	5.6	1.6	0.8	0.8	0.8	11.2
	要介護3	79	88.6	6.3	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4
	要介護4	42	85.7	9.5	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	14.3
	要介護5	42	69.0	14.3	11.9	2.4	2.4	0.0	0.0	31.0

③ 訪問看護

訪問看護の1週間あたりの利用状況については、「利用していない」が72.2%と最も高く、次いで「週1回程度」が19.9%、「週2回程度」が4.8%と続いています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護5が54.8%と最も高くなっています。

図表 3-1-25 介護保険サービスの利用状況 ③訪問看護

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	参考 △利用した▽
全体		568	72.2	19.9	4.8	1.2	0.9	0.9	0.2	27.6
認定状況別	要支援1	29	75.9	13.8	3.4	3.4	3.4	0.0	0.0	24.1
	要支援2	14	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	要介護1	223	81.2	15.2	3.1	0.0	0.4	0.0	0.0	18.8
	要介護2	125	68.0	21.6	4.8	2.4	0.8	1.6	0.8	31.2
	要介護3	79	67.1	22.8	5.1	2.5	2.5	0.0	0.0	32.9
	要介護4	42	59.5	31.0	7.1	0.0	0.0	2.4	0.0	40.5
	要介護5	42	45.2	33.3	14.3	2.4	0.0	4.8	0.0	54.8

④ 訪問リハビリテーション

訪問リハビリテーションの1週間あたりの利用状況については、「利用していない」が73.6%と最も高く、次いで「週1回程度」が15.8%、「週2回程度」が7.4%と続いています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護4が35.7%と最も高くなっています。

図表 3-1-26 介護保険サービスの利用状況 ④訪問リハビリテーション

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	参考 △利用した▽
全体		568	73.6	15.8	7.4	1.2	1.1	0.5	0.4	26.1
認定状況別	要支援1	29	79.3	13.8	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	20.7
	要支援2	14	78.6	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4
	要介護1	223	79.8	14.3	4.5	0.9	0.4	0.0	0.0	20.2
	要介護2	125	68.0	18.4	8.0	0.8	1.6	2.4	0.8	31.2
	要介護3	79	69.6	19.0	8.9	2.5	0.0	0.0	0.0	30.4
	要介護4	42	64.3	23.8	7.1	2.4	2.4	0.0	0.0	35.7
	要介護5	42	66.7	11.9	14.3	2.4	4.8	0.0	0.0	33.3

⑤ 通所介護

通所介護の1週間あたりの利用状況については、「利用していない」が47.0%と最も高く、次いで「週2回程度」が20.1%、「週3回程度」が11.8%と続いています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護4が66.7%と最も高くなっています。

図表 3-1-27 介護保険サービスの利用状況 ⑤通所介護

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	参考 △利用した▽
全体		568	47.0	10.7	20.1	11.8	6.2	4.0	0.2	52.8
認定状況別	要支援1	29	62.1	13.8	20.7	3.4	0.0	0.0	0.0	37.9
	要支援2	14	57.1	14.3	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	42.9
	要介護1	223	44.8	13.9	22.0	12.1	4.9	2.2	0.0	55.2
	要介護2	125	46.4	11.2	16.8	12.0	8.0	5.6	0.0	53.6
	要介護3	79	49.4	3.8	21.5	13.9	6.3	5.1	0.0	50.6
	要介護4	42	33.3	7.1	19.0	19.0	14.3	7.1	0.0	66.7
	要介護5	42	47.6	7.1	23.8	7.1	4.8	9.5	0.0	52.4

第3章 在宅介護実態調査

⑥ 通所リハビリテーション

通所リハビリテーションの1週間あたりの利用状況については、「利用していない」が82.4%と最も高く、次いで「週1回程度」と「週2回程度」が7.2%となっています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護4が23.8%と最も高くなっています。

図表 3-1-28 介護保険サービスの利用状況 ⑥通所リハビリテーション

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	参考 △利用した▽
全体		568	82.4	7.2	7.2	1.9	0.4	0.5	0.4	17.3
認定状況別	要支援1	29	82.8	6.9	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	17.2
	要支援2	14	85.7	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3
	要介護1	223	82.1	9.0	7.6	0.9	0.0	0.4	0.0	17.9
	要介護2	125	80.0	8.8	7.2	2.4	0.0	0.8	0.8	19.2
	要介護3	79	84.8	3.8	8.9	2.5	0.0	0.0	0.0	15.2
	要介護4	42	76.2	2.4	7.1	7.1	4.8	2.4	0.0	23.8
	要介護5	42	90.5	4.8	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	9.5

⑦ 夜間対応型訪問介護

夜間対応型訪問介護の1週間あたりの利用状況については、「利用していない」が97.7%と最も高く、次いで「週5回以上」が0.9%、「週1回程度」と「週2回程度」が0.5%となっています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護4と要介護5が4.8%となっています。

図表 3-1-29 介護保険サービスの利用状況 ⑦夜間対応型訪問介護

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	参考 △利用した▽
全体		568	97.7	0.5	0.5	0.0	0.0	0.9	0.4	1.9
認定状況別	要支援1	29	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援2	14	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護1	223	99.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9
	要介護2	125	96.8	0.8	0.8	0.0	0.0	0.8	0.8	2.4
	要介護3	79	97.5	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	2.5
	要介護4	42	95.2	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	4.8
	要介護5	42	95.2	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8

⑧ 認知症対応型通所介護

認知症対応型通所介護の1週間あたりの利用状況については、「利用していない」が96.1%と最も高く、次いで「週5回以上」が1.1%、「週2回程度」と「週3回程度」が0.7%となっています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要支援2・要介護4・要介護5が7.1%となっています。

図表 3-1-30 介護保険サービスの利用状況 ⑧認知症対応型通所介護

単位:実数(人)、構成比(%)

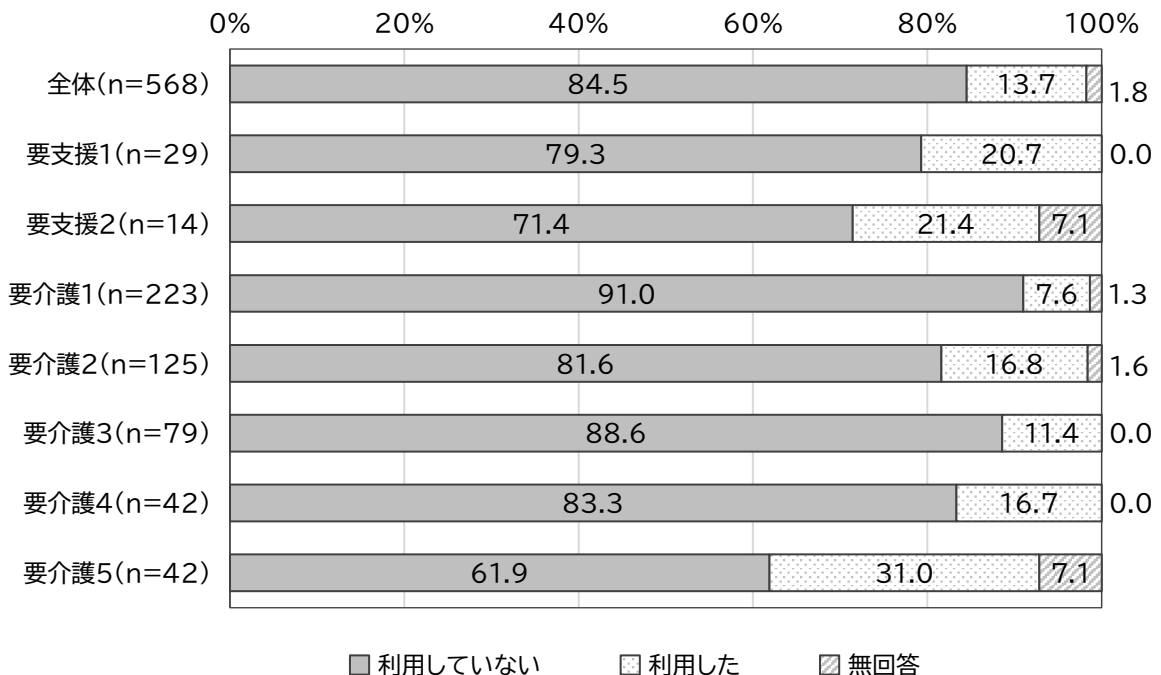
		合計	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答	参考 ↑利用した↓
全体		568	96.1	0.5	0.7	0.7	0.5	1.1	0.4	3.5
認定状況別	要支援1	29	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援2	14	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
	要介護1	223	99.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	要介護2	125	92.8	1.6	0.0	1.6	1.6	1.6	0.8	6.4
	要介護3	79	94.9	0.0	2.5	1.3	0.0	1.3	0.0	5.1
	要介護4	42	92.9	0.0	0.0	2.4	2.4	2.4	0.0	7.1
	要介護5	42	92.9	0.0	4.8	0.0	0.0	2.4	0.0	7.1

⑨ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の1か月あたりの利用状況については、「利用していない」が84.5%、「利用した」が13.7%となっています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護5が31.0%と最も高くなっています。

図表 3-1-31 介護保険サービスの利用状況 ⑨定期巡回・随時対応型訪問介護看護



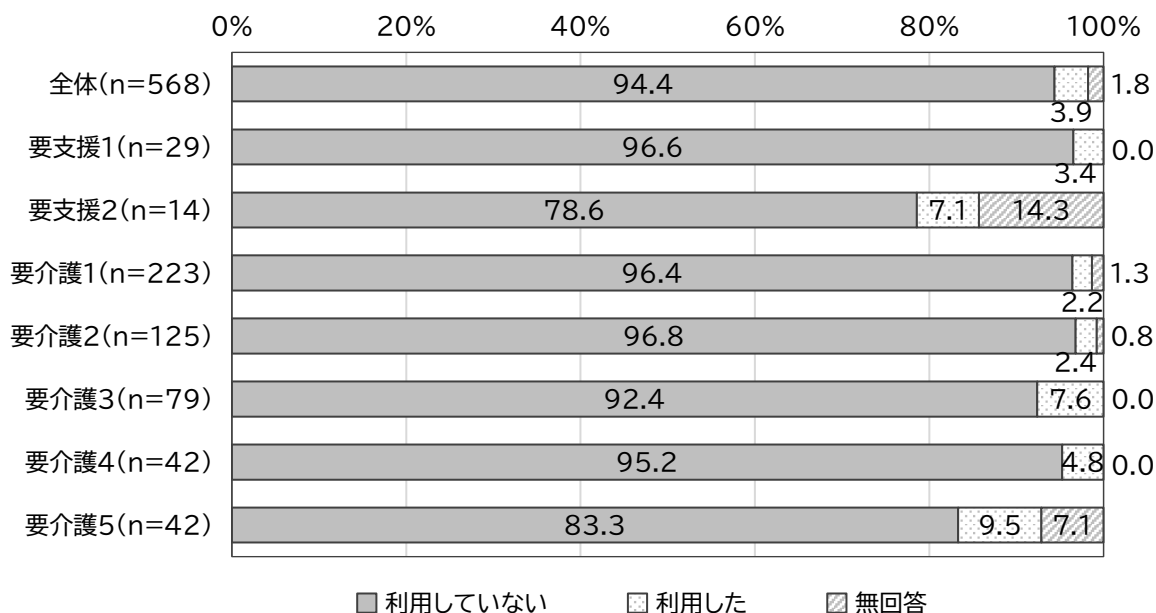
第3章 在宅介護実態調査

⑩ 小規模多機能型居宅介護

小規模多機能型居宅介護の1か月あたりの利用状況については、「利用していない」が94.4%、「利用した」が3.9%となっています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護5が9.5%と最も高くなっています。

図表 3-1-32 介護保険サービスの利用状況 ⑩小規模多機能型居宅介護

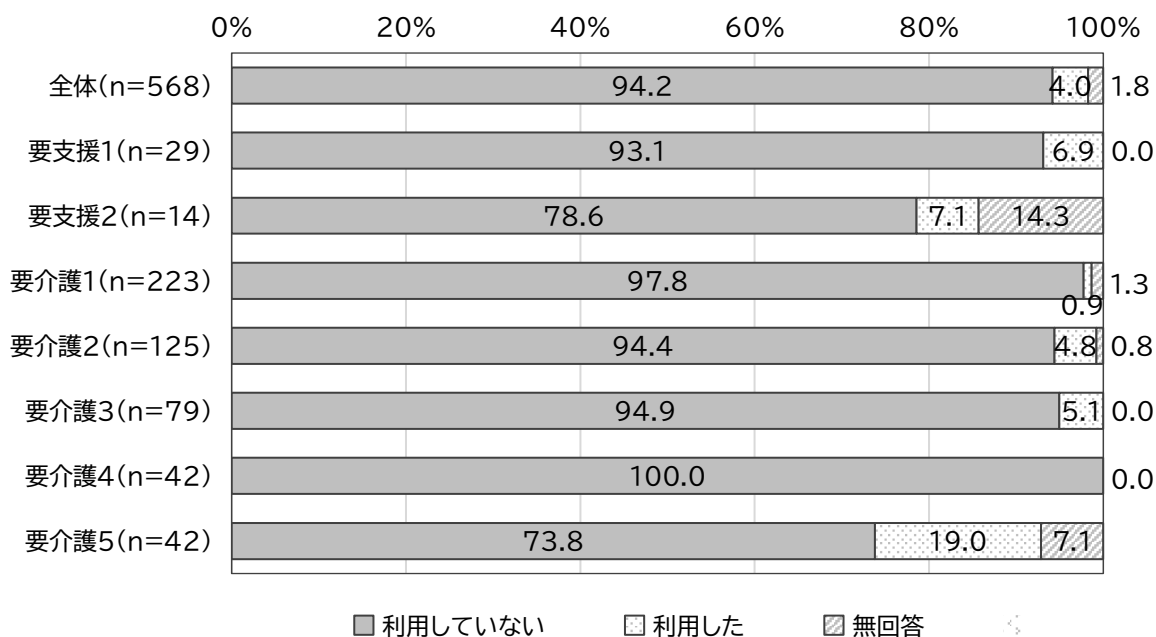


⑪ 看護小規模多機能型居宅介護

看護小規模多機能型居宅介護の1か月あたりの利用状況については、「利用していない」が94.2%、「利用した」が4.0%となっています。

認定状況別でみると、『利用した』では、要介護5が19.0%と最も高くなっています。

図表 3-1-33 介護保険サービスの利用状況 ⑪看護小規模多機能型居宅介護



⑫ ショートステイ

ショートステイの1か月あたりの利用状況については、「利用していない」が87.3%と最も高く、次いで「月1～7日程度」が7.7%、「月8～14日程度」が2.1%と続いています。

認定状況別でみると、『利用した』（「月1～7日程度」～「月22日以上」の合計）では、要介護3が22.8%と最も高くなっています。

図表 3-1-34 介護保険サービスの利用状況 ⑩小規模多機能型居宅介護

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用していない	度月1～7日程度	度月8～14日程度	度月15～21日程度	月22日以上	無回答	参考 利用した
全体		568	87.3	7.7	2.1	0.9	1.1	0.9	11.8
認定状況別	要支援1	29	96.6	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	3.4
	要支援2	14	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	要介護1	223	93.3	4.5	0.9	0.4	0.4	0.4	6.3
	要介護2	125	85.6	11.2	1.6	0.8	0.8	0.0	14.4
	要介護3	79	77.2	16.5	6.3	0.0	0.0	0.0	22.8
	要介護4	42	78.6	11.9	2.4	2.4	4.8	0.0	21.4
	要介護5	42	81.0	4.8	4.8	0.0	4.8	4.8	14.3

⑬ 居宅療養管理指導

居宅療養管理指導の1か月あたりの利用状況については、「利用していない」が78.0%と最も高く、次いで「月1回程度」が8.6%、「月2回程度」が8.3%と続いています。

認定状況別でみると、『利用した』（「月1回程度」～「月4回程度」の合計）では、要介護5が47.6%と最も高くなっています。

図表 3-1-35 介護保険サービスの利用状況 ⑩小規模多機能型居宅介護

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	無回答	参考 利用した
全体		568	78.0	8.6	8.3	1.1	2.6	1.4	20.6
認定状況別	要支援1	29	75.9	10.3	6.9	0.0	3.4	3.4	20.7
	要支援2	14	71.4	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1	21.4
	要介護1	223	86.5	7.2	4.0	0.4	0.9	0.9	12.6
	要介護2	125	78.4	8.0	8.0	1.6	3.2	0.8	20.8
	要介護3	79	81.0	8.9	3.8	0.0	6.3	0.0	19.0
	要介護4	42	59.5	14.3	23.8	2.4	0.0	0.0	40.5
	要介護5	42	47.6	14.3	26.2	2.4	4.8	4.8	47.6

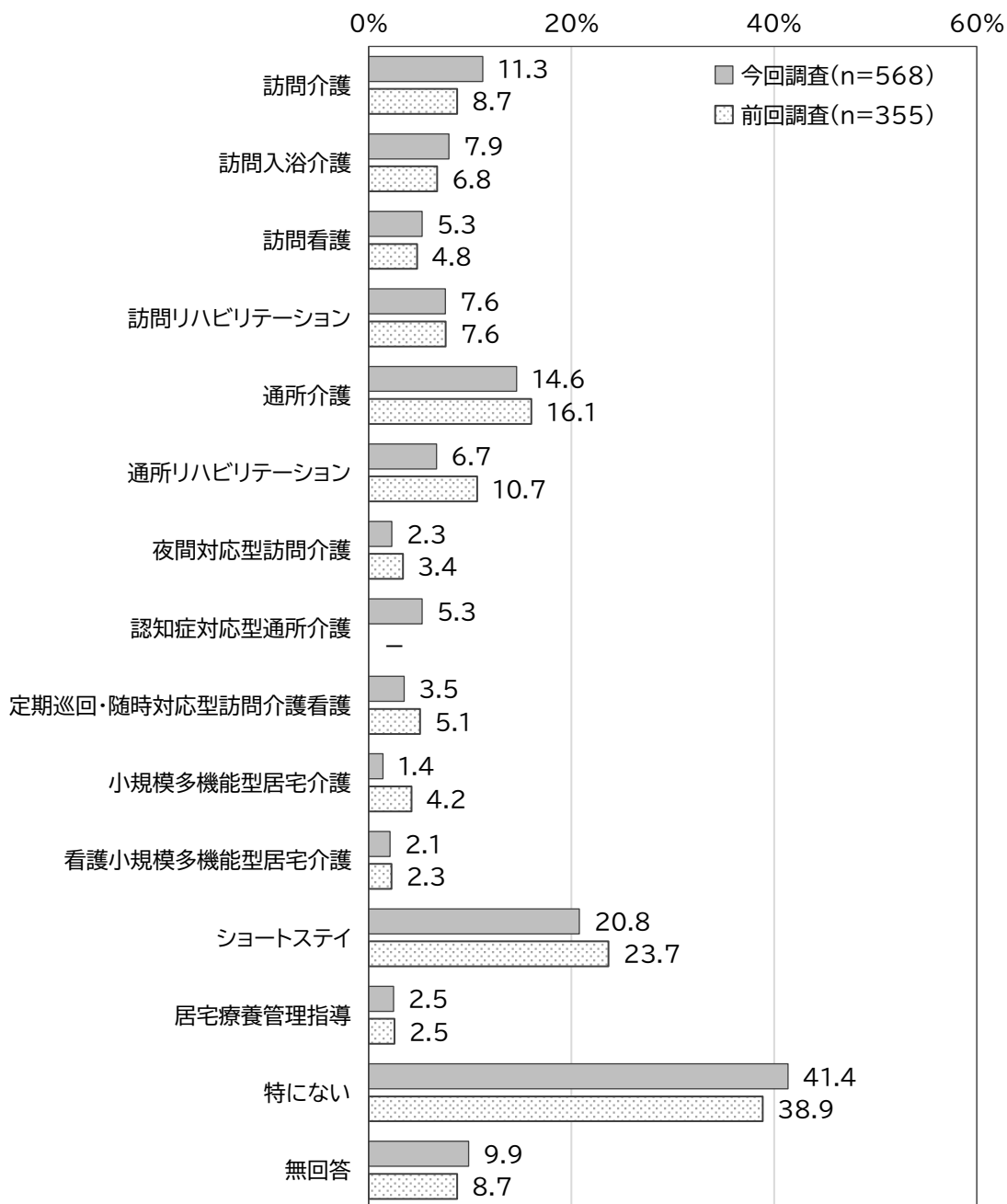
(12) 利用回数等を増やしたい・新規に利用を始めたい介護保険サービス

問14 【問13】の介護保険サービスについて、利用回数等を増やしたい、または新規に利用を始めたいものはありますか。(〇はいくつでも)

利用回数を増やしたい・新規に利用を始めたい介護サービスについては、「特にない」が41.4%と最も高く、次いで「ショートステイ」が20.8%、「通所介護」が14.6%と続いています。

前回調査と比較すると、「訪問介護」(11.3%)が前回調査(8.7%)より2.6ポイント増加し、「通所リハビリテーション」(6.7%)が前回調査(10.7%)より4.0ポイント減少しています。

図表 3-1-36 利用回数等を増やしたい・新規に利用を始めたい介護保険サービス



認定状況別にみると、要介護4では「ショートステイ」が最も高く、その他の介護度では「特にない」が高くなっています。

また、日常生活圏域別では、いずれも「特にない」が高くなっています。

図表 3-1-37 利用回数等を増やしたい・新規に利用を始めたい介護保険サービス 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護	通所リハビリテーション	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	小規模多機能型居宅介護
全体		568	11.3	7.9	5.3	7.6	14.6	6.7	2.3	5.3	3.5	1.4
認定状況別	要支援1	29	10.3	13.8	0.0	6.9	10.3	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援2	14	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0
	要介護1	223	10.8	5.8	5.4	5.4	15.2	6.7	1.8	5.4	3.1	0.4
	要介護2	125	13.6	8.8	5.6	9.6	18.4	8.0	0.8	8.8	4.8	2.4
	要介護3	79	8.9	10.1	2.5	8.9	7.6	1.3	2.5	2.5	0.0	0.0
	要介護4	42	9.5	7.1	2.4	7.1	11.9	9.5	4.8	4.8	9.5	4.8
	要介護5	42	19.0	14.3	16.7	14.3	19.0	4.8	9.5	4.8	7.1	4.8
日常生活圏域別	南部西	96	13.5	5.2	4.2	4.2	8.3	3.1	1.0	2.1	1.0	1.0
	南部東	80	13.8	5.0	8.8	8.8	12.5	7.5	1.3	5.0	3.8	1.3
	中部	64	7.8	6.3	6.3	3.1	14.1	7.8	0.0	4.7	3.1	3.1
	北部東	71	14.1	11.3	4.2	9.9	19.7	9.9	4.2	2.8	5.6	1.4
	北部中	121	12.4	11.6	6.6	12.4	19.8	5.0	1.7	9.9	5.0	0.8
	北部西	126	7.9	7.9	3.2	6.3	12.7	7.9	4.8	4.8	2.4	1.6

		合計	看護小規模多機能型居宅介護	ショートステイ	導 居宅療養管理指	特にない	無回答
全体		568	2.1	20.8	2.5	41.4	9.9
認定状況別	要支援1	29	3.4	13.8	3.4	37.9	13.8
	要支援2	14	0.0	14.3	7.1	35.7	28.6
	要介護1	223	2.2	16.1	1.3	42.6	10.8
	要介護2	125	1.6	30.4	3.2	36.8	4.8
	要介護3	79	0.0	16.5	2.5	48.1	11.4
	要介護4	42	2.4	38.1	2.4	23.8	14.3
	要介護5	42	7.1	21.4	4.8	50.0	2.4
日常生活圏域別	南部西	96	2.1	20.8	0.0	45.8	10.4
	南部東	80	2.5	15.0	2.5	36.3	15.0
	中部	64	3.1	23.4	3.1	39.1	12.5
	北部東	71	1.4	14.1	8.5	36.6	7.0
	北部中	121	1.7	29.8	0.8	41.3	3.3
	北部西	126	2.4	19.8	2.4	46.0	10.3

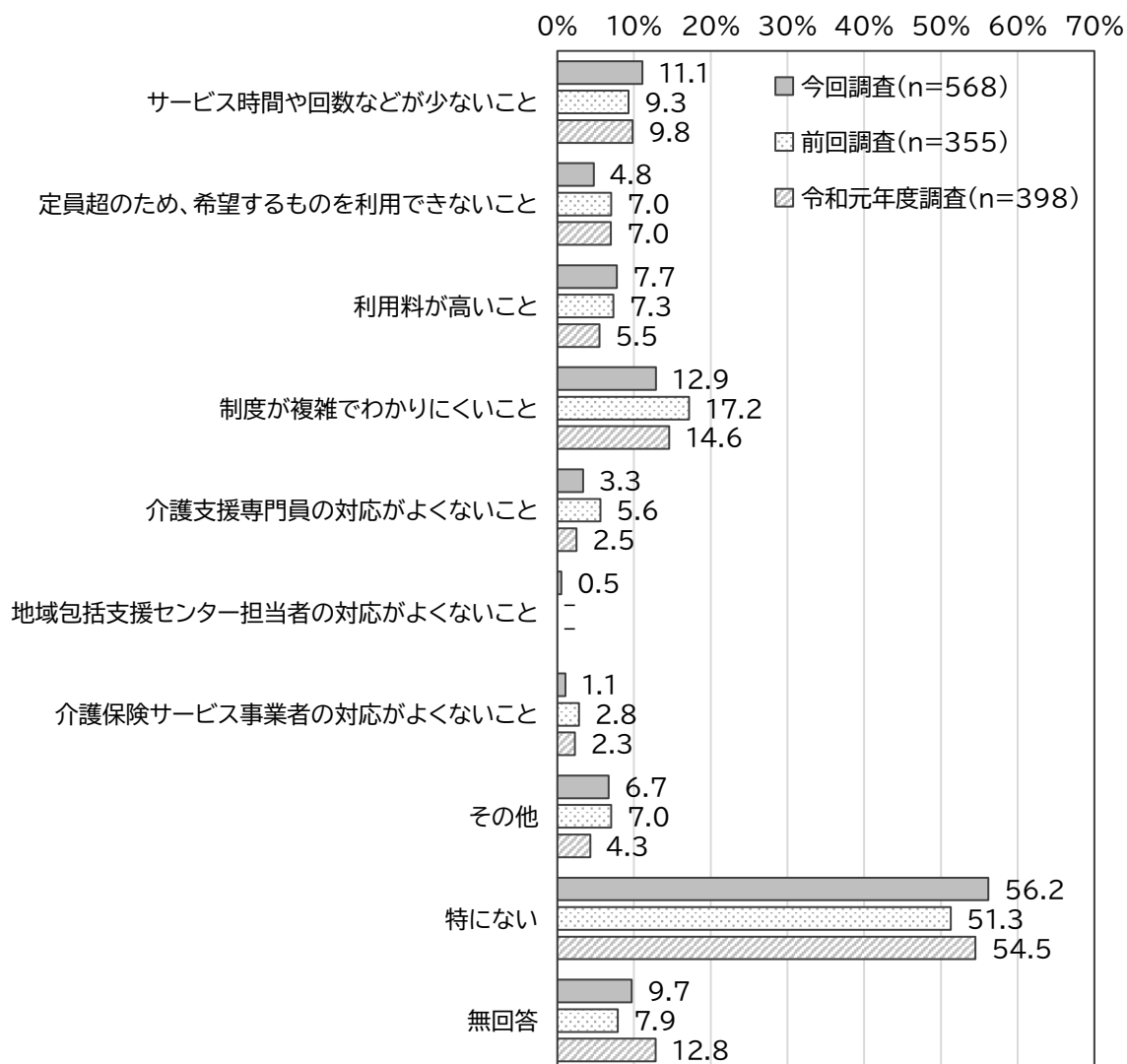
(13) 介護保険サービスを利用する上での困っていること

問 15 介護保険サービスを利用する上で困っていることはありますか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用する上で困っている状況では、「特にない」が56.2%と最も高くなっています。また、困っていることの中では「制度が複雑でわかりにくいこと」が12.9%と最も高く、次いで「サービス時間や回数が少ないこと」が11.1%となっています。

前回調査と比較すると、「特にない」(56.2%)が前回調査(51.3%)より4.9ポイント増加し、「制度が複雑でわかりにくいこと」(12.9%)が前回調査(17.2%)より4.3ポイント減少しています。

図表 3-1-38 介護保険サービスを利用する上で困っていること



認定状況別・日常生活圏域別において、いずれも「特にない」が最も高くなっています。

図表 3-1-39 介護保険サービスを利用する上で困っていること 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	サービス時間や回数などが少ないこと	定員超のため、希望するものを利用できないこと	利用料が高いこと	制度が複雑でわかりにくいこと	介護支援専門員の対応がよいこと	地域包括支援センター担当者の対応がよいこと	介護保険サービス事業者の対応がよいこと	その他	特にない	無回答
全体		568	11.1	4.8	7.7	12.9	3.3	0.5	1.1	6.7	56.2	9.7
認定状況別	要支援1	29	17.2	0.0	0.0	6.9	6.9	0.0	3.4	0.0	62.1	13.8
	要支援2	14	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	50.0	28.6
	要介護1	223	9.0	4.9	5.4	12.6	2.7	0.9	0.0	7.2	57.0	9.9
	要介護2	125	11.2	4.8	6.4	12.8	2.4	0.0	1.6	6.4	62.4	4.0
	要介護3	79	11.4	2.5	8.9	20.3	6.3	1.3	0.0	8.9	50.6	10.1
	要介護4	42	14.3	4.8	11.9	9.5	4.8	0.0	2.4	4.8	45.2	14.3
	要介護5	42	16.7	14.3	23.8	14.3	2.4	0.0	4.8	7.1	47.6	9.5
日常生活圏域別	南部西	96	9.4	3.1	4.2	11.5	3.1	0.0	1.0	4.2	65.6	7.3
	南部東	80	13.8	5.0	11.3	16.3	2.5	1.3	1.3	7.5	50.0	7.5
	中部	64	7.8	4.7	9.4	18.8	6.3	1.6	3.1	7.8	43.8	15.6
	北部東	71	11.3	7.0	5.6	12.7	0.0	0.0	1.4	7.0	57.7	12.7
	北部中	121	12.4	5.0	10.7	11.6	4.1	0.8	0.0	8.3	57.0	5.8
	北部西	126	10.3	4.8	4.8	11.1	4.0	0.0	0.8	5.6	58.7	10.3

(14) 介護保険サービスを利用していない理由

【問12で「2. 利用していない」とお答えした方にお伺いします。】

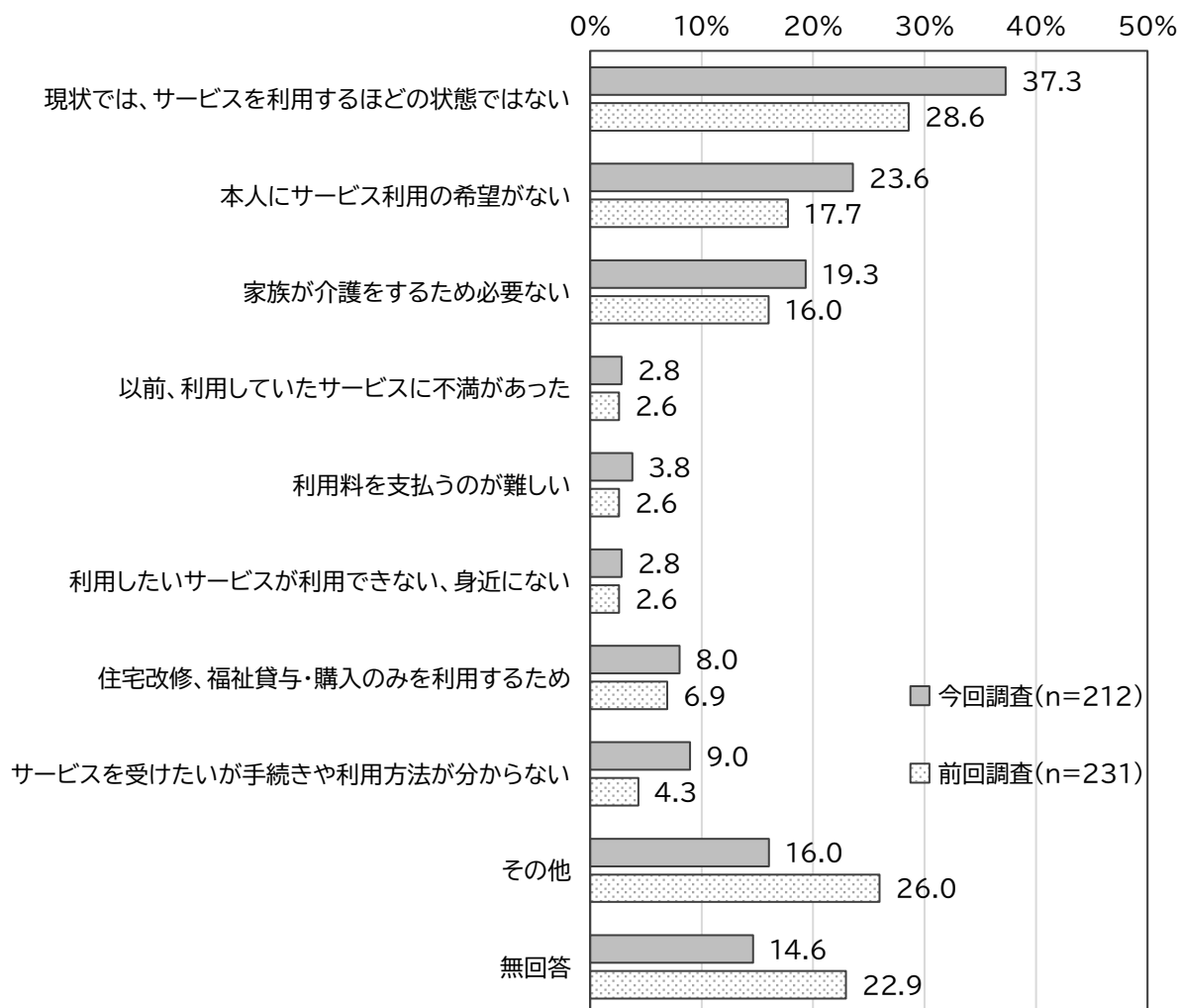
問16 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が37.3%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.6%、「家族が介護をするため必要ない」が19.3%となっています。

前回調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(37.3%)が前回調査(28.6%)より8.7ポイント増加しています。

また、その他の内容では、「入院中」、「施設に入所していた」、「利用を検討中だった」などがありました。

図表 3-1-40 介護保険サービスを利用していない理由



認定状況別にみると、要支援1と要介護2、要介護3では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高く、要支援2と要介護1では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」と「本人にサービス利用の希望がない」が最も高く、要介護4と要介護5では「その他」が最も高くなっています。要介護4と要介護5のその他の内容では、「入院中」、「施設に入所していた」などがありました。

また、日常生活圏域別では、いずれも「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高くなっています。

図表 3-1-41 介護保険サービスを利用していない理由 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体		212	37.3	23.6	19.3	2.8	3.8	2.8	8.0	9.0	16.0	14.6
認定状況別	要支援1	21	47.6	19.0	33.3	4.8	4.8	0.0	9.5	4.8	0.0	19.0
	要支援2	5	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	要介護1	66	37.9	37.9	19.7	3.0	1.5	3.0	7.6	9.1	9.1	9.1
	要介護2	48	25.0	12.5	20.8	4.2	4.2	6.3	6.3	6.3	14.6	33.3
	要介護3	24	37.5	16.7	12.5	4.2	0.0	0.0	16.7	4.2	25.0	12.5
	要介護4	19	26.3	26.3	26.3	0.0	10.5	5.3	15.8	15.8	36.8	0.0
	要介護5	9	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	66.7	0.0
日常生活圏域別	南部西	46	45.7	26.1	26.1	0.0	0.0	2.2	4.3	10.9	21.7	6.5
	南部東	26	34.6	26.9	38.5	3.8	3.8	3.8	7.7	11.5	23.1	7.7
	中部	21	47.6	23.8	19.0	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8	9.5	9.5
	北部東	29	37.9	13.8	10.3	3.4	6.9	6.9	13.8	17.2	10.3	13.8
	北部中	48	39.6	27.1	14.6	2.1	4.2	0.0	10.4	6.3	6.3	25.0
	北部西	39	20.5	20.5	10.3	7.7	5.1	2.6	10.3	5.1	20.5	20.5

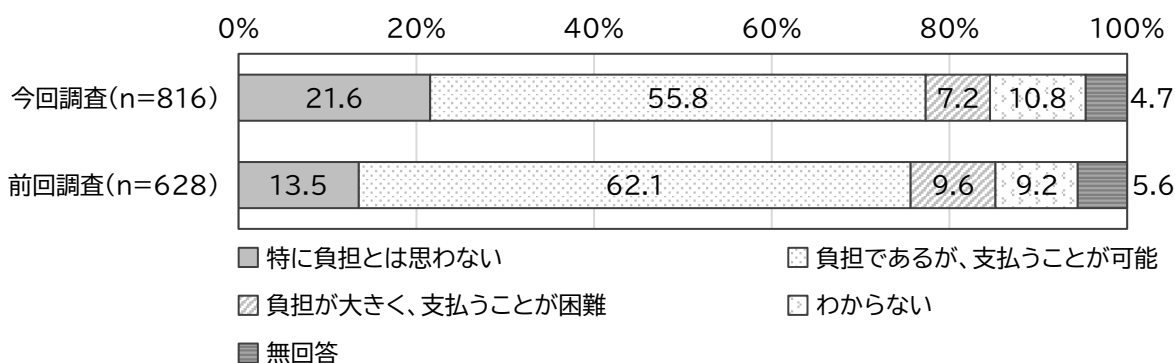
(15) 現在の介護保険料について

問 17 現在支払っている介護保険料について、どのようにお感じになっていますか。(〇は1つ)

現在支払っている介護保険料については、「負担であるが、支払うことが可能」が55.8%と最も高く、次いで「特に負担とは思わない」が21.6%、「わからない」が10.8%となっています。

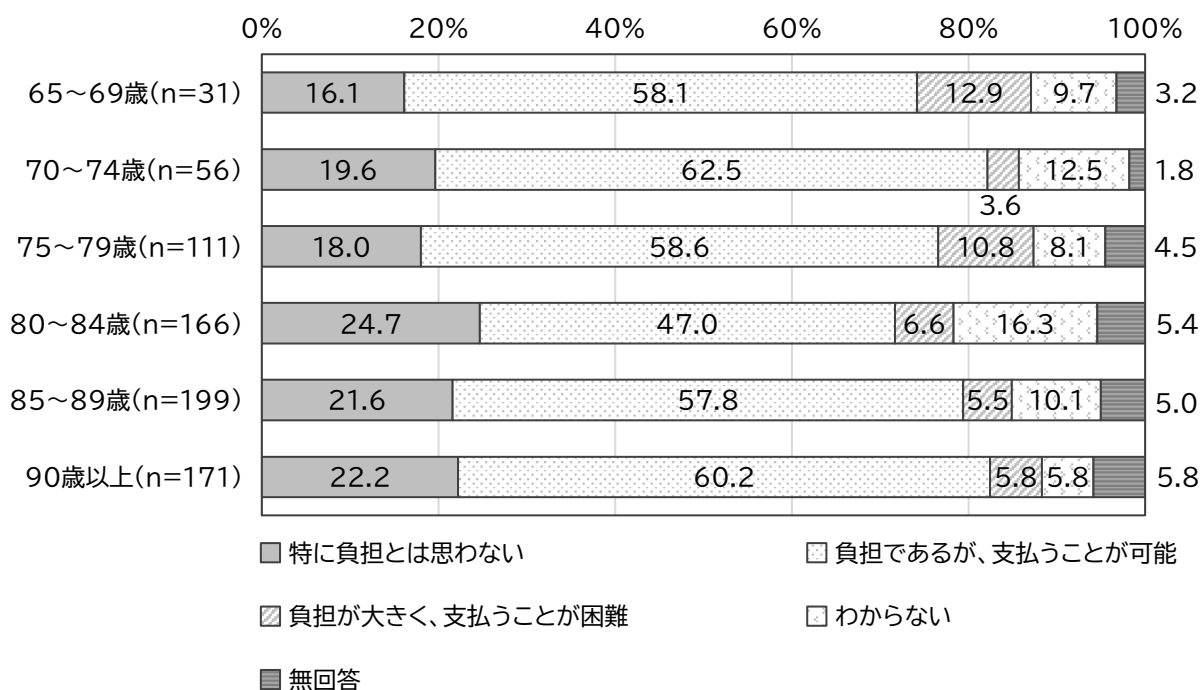
前回調査と比較すると、「特に負担とは思わない」(21.6%)が前回調査(13.5%)より8.1ポイント増加しています。

図表 3-1-42 現在の介護保険料について



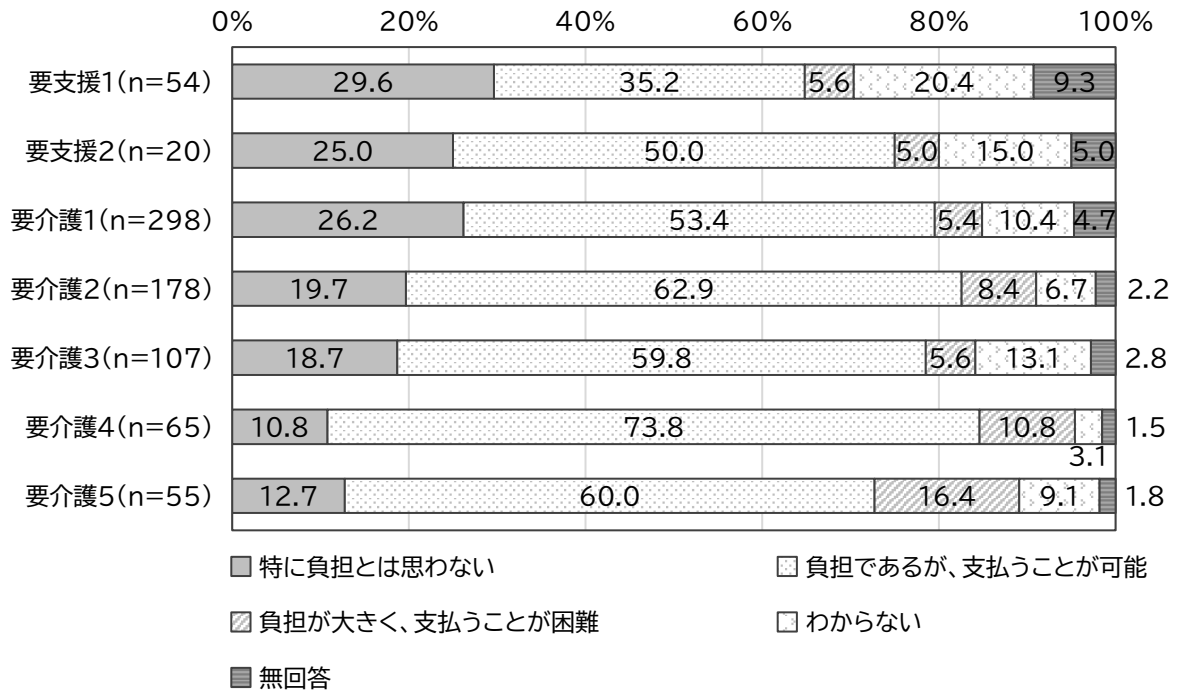
年齢別で見ると、すべての年代で「負担であるが、支払うことが可能」の割合が最も高く、「負担が大きく、支払うことが困難」では、65～69歳が12.9%と最も高くなっています。

図表 3-1-43 現在の介護保険料について 年齢別



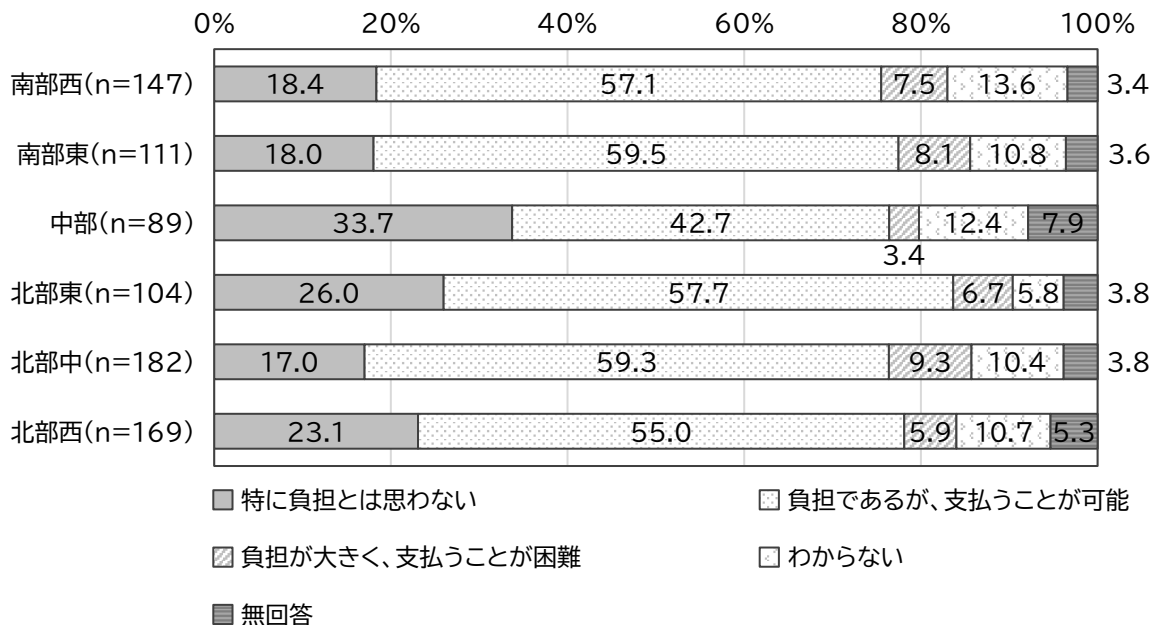
認定状況別で見ると、すべての介護度で「負担であるが、支払うことが可能」が最も高くなっており、「負担が大きく、支払うことが困難」では、要介護5が16.4%と最も高くなっています。

図表 3-1-44 現在の介護保険料について 認定状況別



圏域別で見ると、すべての認定状況で「負担であるが、支払うことが可能」が最も高くなっており、「特に負担とは思わない」では、中部地区が33.7%と最も高くなっています。

図表 3-1-45 現在の介護保険料について 圏域別



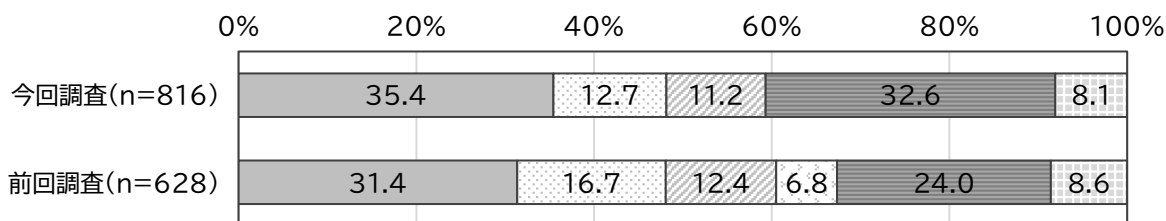
(16) 介護保険サービスと介護保険料の関連性について

問 18 介護保険は、サービスの利用が増えると保険料も上がる仕組みです。国の試算によれば、サービスの利用者の増加により、保険料は今後も上がることが見込まれています。介護保険のサービスと保険料について、あなた（調査対象者ご本人）のお考えに一番近いものは次のうちどれですか。（○は1つ）

介護保険サービスと介護保険料の関連性については、「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」が35.4%と最も高く、次いで「わからない」が32.6%、「サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要なサービス量を維持すべきである」が12.7%となっています。

前回調査と比較すると、「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」（35.4%）が前回調査（31.4%）より4.0ポイント増加しています。

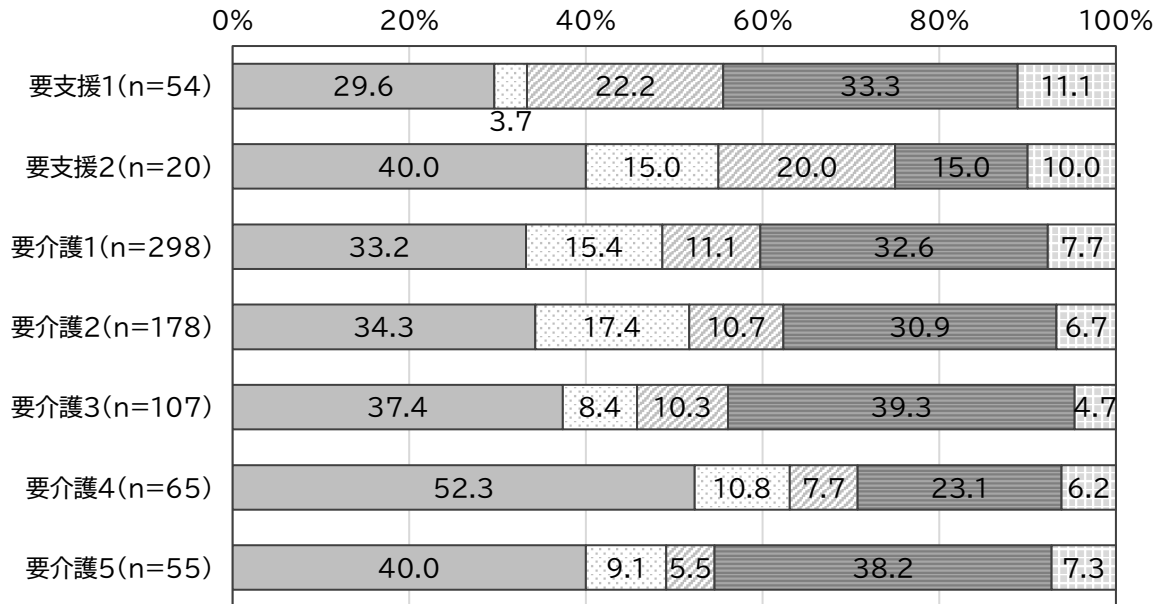
図表 3-1-46 介護保険サービスと介護保険料の関連性について



- 保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである
- ▨ サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要なサービス量を維持すべきである
- ▩ サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにすべきである
- サービス量を抑制して、保険料の負担を下げるべきである
- わからない
- 無回答

認定状況別で見ると、「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」では、要介護4で52.3%と最も高くなっています。

図表 3-1-47 介護保険サービスと介護保険料の関連性について 認定状況別



- 保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである
- ▨ サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要なサービス量を維持すべきである
- ▩ サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにすべきである
- わからない
- 無回答

第3章 在宅介護実態調査

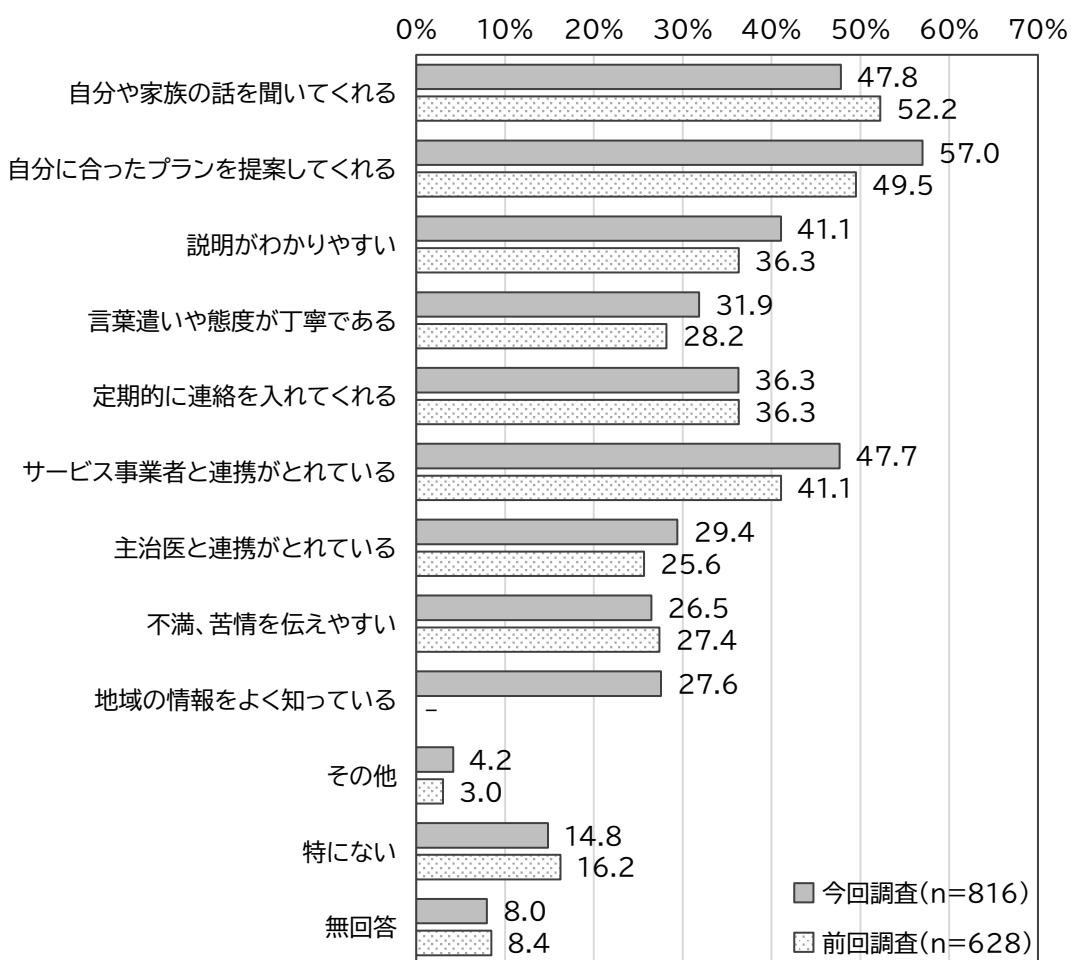
(17) ケアマネジャーに求めること

問19 介護支援専門員（ケアマネジャー）に求めることは、どのようなことですか。
（〇はいくつでも）

介護支援専門員（ケアマネジャー）に求めることについては、「自分に合ったプランを提案してくれる」が57.0%と最も高く、次いで「自分や家族の話を聞いてくれる」が47.8%、「サービス事業者と連携が取れている」が47.7%となっています。

前回調査と比較すると、「自分に合ったプランを提案してくれる」（57.0%）が前回調査（49.5%）より7.5ポイント増加しています。

図表 3-1-48 ケアマネジャーに求めること



認定状況別でみると、「自分に合ったプランを提案してくれる」では、要介護5で70.9%と最も高くなっています。

圏域別でみると、「自分に合ったプランを提案してくれる」では、南部西地区で64.6%と最も高くなっています。

図表 3-1-49 ケアマネジャーに求めること 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	自分や家族の話を聞いてくれる	自分に合ったプランを提案してくれる	説明がわかりやすい	言葉遣いや態度が丁寧である	定期的に連絡を入れてくれる	サービス事業者と連携がとれている	主治医と連携がとれている	不満、苦情を伝えやすい	
全体	816	47.8	57.0	41.1	31.9	36.3	47.7	29.4	26.5	
認定状況別	要支援1	54	29.6	29.6	29.6	24.1	16.7	29.6	18.5	16.7
	要支援2	20	45.0	55.0	55.0	45.0	40.0	60.0	45.0	30.0
	要介護1	298	51.7	61.4	40.6	32.6	40.9	48.7	27.2	27.5
	要介護2	178	50.0	59.0	43.8	35.4	41.6	51.1	33.1	21.9
	要介護3	107	44.9	58.9	43.0	29.0	30.8	48.6	29.0	28.0
	要介護4	65	53.8	61.5	44.6	33.8	38.5	53.8	33.8	36.9
	要介護5	55	52.7	70.9	45.5	34.5	40.0	58.2	47.3	41.8
日常生活圏域別	南部西	147	50.3	64.6	45.6	30.6	39.5	48.3	33.3	26.5
	南部東	111	44.1	60.4	45.0	38.7	40.5	55.9	36.9	28.8
	中部	89	43.8	55.1	36.0	25.8	36.0	46.1	23.6	18.0
	北部東	104	42.3	59.6	44.2	34.6	38.5	47.1	29.8	35.6
	北部中	182	51.6	54.4	39.6	31.9	33.0	47.8	27.5	28.0
	北部西	169	47.9	50.9	36.1	29.0	33.7	44.4	25.4	23.1

	合計	地域の情報をよく知っている	その他	特にない	無回答	
全体	816	27.6	4.2	14.8	8.0	
認定状況別	要支援1	54	20.4	3.7	29.6	9.3
	要支援2	20	30.0	5.0	10.0	10.0
	要介護1	298	27.2	2.7	12.1	9.1
	要介護2	178	28.1	6.2	11.8	4.5
	要介護3	107	30.8	7.5	16.8	4.7
	要介護4	65	24.6	4.6	12.3	7.7
	要介護5	55	41.8	1.8	10.9	5.5
日常生活圏域別	南部西	147	29.3	2.7	15.6	4.8
	南部東	111	30.6	2.7	16.2	4.5
	中部	89	18.0	2.2	10.1	9.0
	北部東	104	29.8	6.7	13.5	10.6
	北部中	182	32.4	5.5	13.2	9.3
	北部西	169	23.7	4.7	17.8	8.9

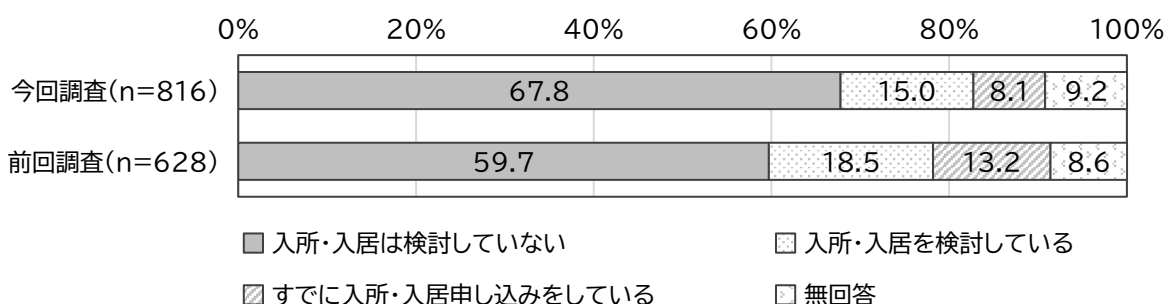
(18) 施設などへの入所・入居検討状況

問 20 現時点での、施設などへの入所・入居の検討状況について、お答えください。(○は1つ)

施設などへの入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が67.8%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が15.0%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が8.1%となっています。

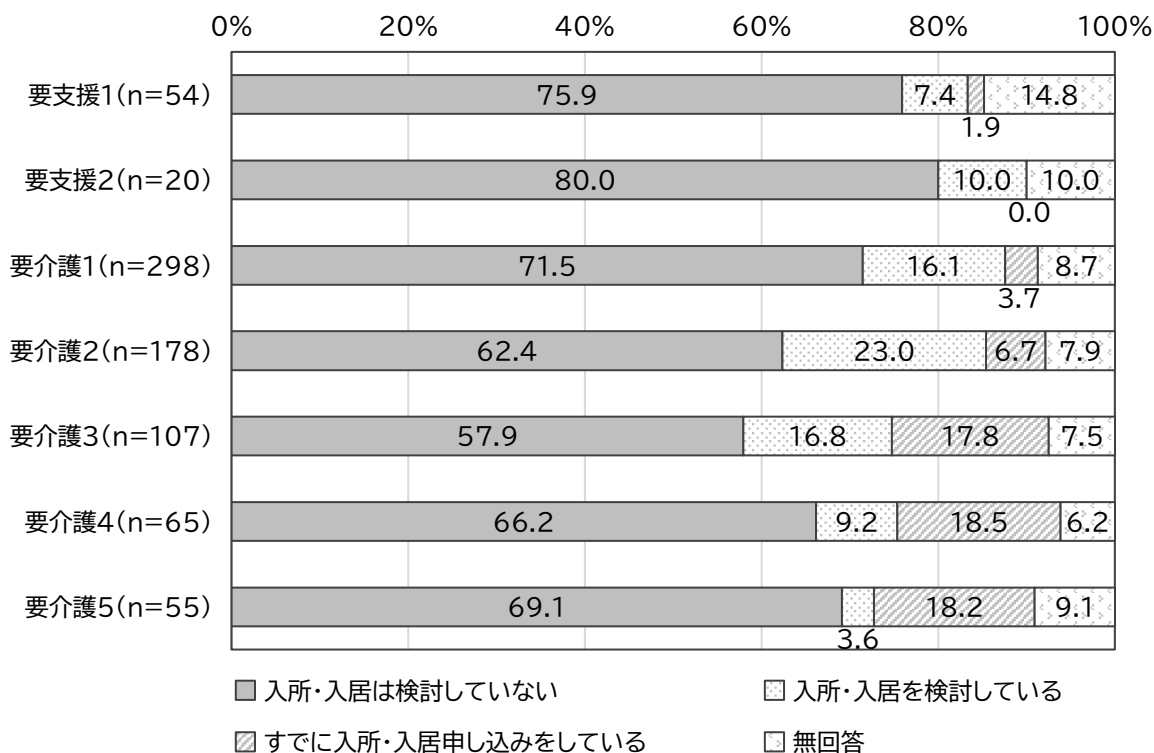
前回調査と比較すると、「入所・入居は検討していない」(67.8%)が前回調査(59.7%)より8.1ポイント増加しています。

図表 3-1-50 施設等への入所・入居検討状況



認定状況別をみると、「すでに入所・入居申し込みをしている」では、要支援4が18.5%と最も高くなっています。

図表 3-1-51 施設等への入所・入居検討状況 認定状況別



(19) 入所・入居を希望している施設

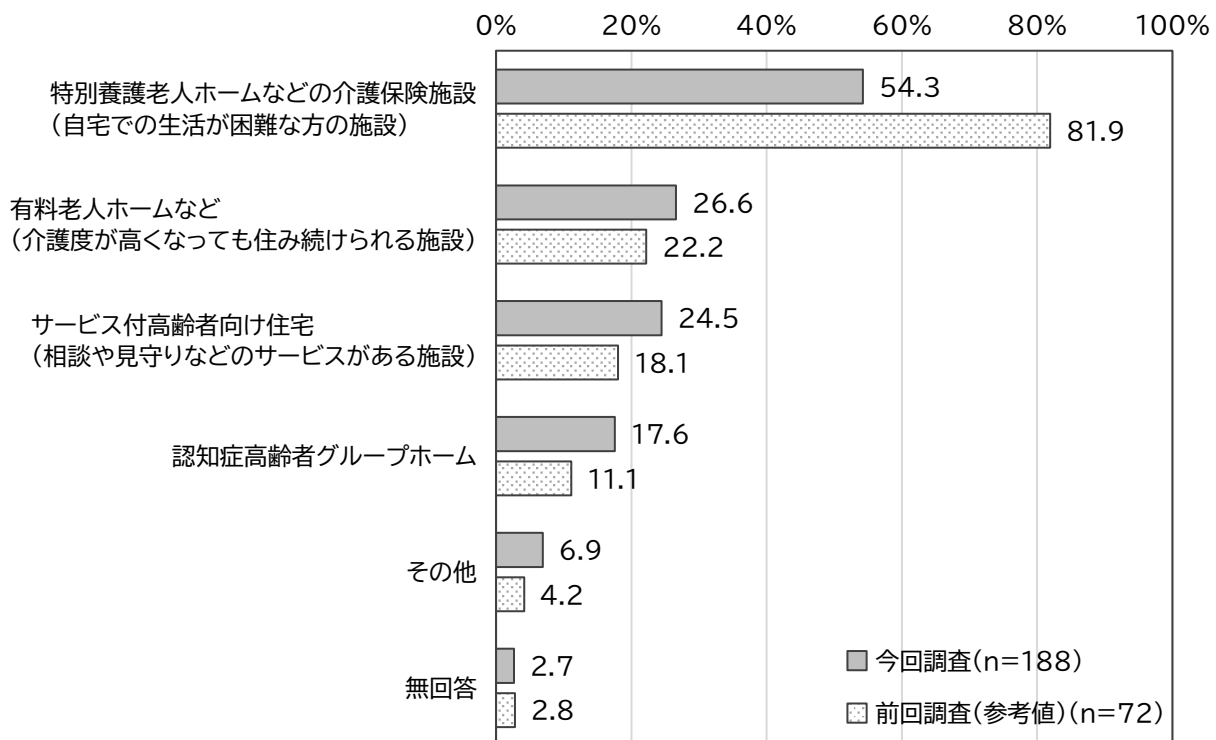
【問20で「2. 入所・入居を検討している」または「3. すでに入所・入居申し込みをしている」とお答えした方にお伺いします。】

問21 あなたが入りたいと希望する施設は、どのような施設ですか。(〇はいくつでも)

入所・入居を希望する施設については、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設（自宅での生活が困難な方の施設）」が54.3%と最も高く、次いで「有料老人ホームなど（介護度が高くなっても住み続けられる施設）」が26.6%、「サービス付高齢者向け住宅（相談や見守りなどのサービスがある施設）」が24.5%となっています。

前回調査と比較すると、特別養護老人ホームなどの介護保険施設（自宅での生活が困難な方の施設）（54.3%）が前回調査（81.9%）より27.6ポイント減少し、「認知症高齢者グループホーム」（17.6%）が前回調査（11.1%）より6.5ポイント増加しています。

図表 3-1-52 入所・入居を希望している施設



第3章 在宅介護実態調査

認定状況別をみると、要支援2以上の認定状況では「特別養護老人ホームなどの介護保険施設（自宅での生活が困難な方の施設）」が最も高くなっています。

圏域別をみると、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設（自宅での生活が困難な方の施設）」では、南部西地区が70.0%と最も高くなっています。

図表 3-1-53 入所・入居を希望している施設 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	特別養護老人ホームなどの介護保険施設(自宅での生活が困難な方の施設)	有料老人ホームなど(介護度が高くなっても住み続けられる施設)	サービス付高齢者向け住宅(相談や見守りなどのサービスがある施設)	認知症高齢者グループホーム	その他	無回答
全体		188	54.3	26.6	24.5	17.6	6.9	2.7
認定状況別	要支援1	5	40.0	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	要支援2	2	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護1	59	52.5	22.0	30.5	28.8	5.1	1.7
	要介護2	53	45.3	35.8	22.6	17.0	5.7	3.8
	要介護3	37	64.9	16.2	16.2	10.8	8.1	2.7
	要介護4	18	72.2	27.8	22.2	5.6	11.1	0.0
	要介護5	12	33.3	33.3	25.0	8.3	16.7	8.3
日常生活圏域別	南部西	40	70.0	12.5	20.0	10.0	5.0	0.0
	南部東	23	34.8	43.5	26.1	13.0	13.0	0.0
	中部	18	44.4	22.2	22.2	33.3	5.6	5.6
	北部東	17	52.9	23.5	23.5	11.8	11.8	5.9
	北部中	56	53.6	25.0	26.8	25.0	1.8	3.6
	北部西	32	59.4	34.4	28.1	12.5	12.5	3.1

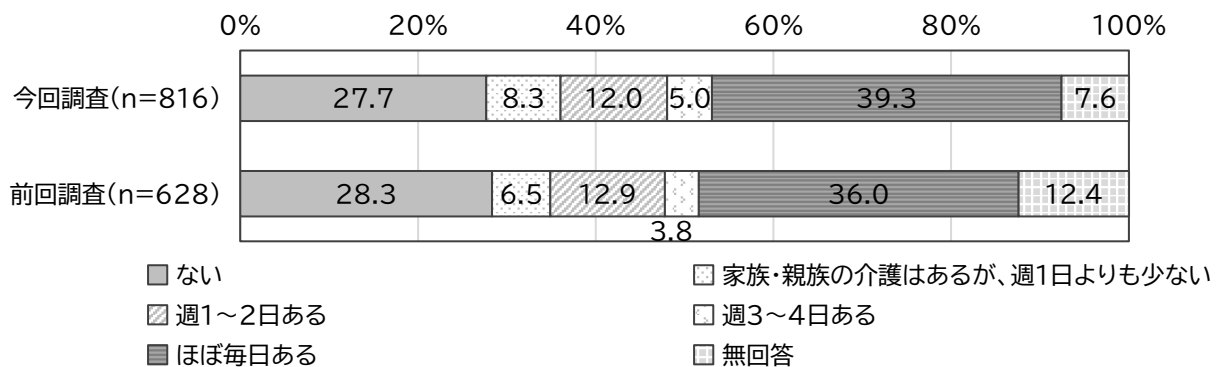
(20) 家族介護の頻度

問 22 ご家族やご親族の方（同居していない子どもや親族も含む）からの介護は、週にどのくらいありますか。（○は1つ）

家族や親族の方からの介護の頻度では、「ほぼ毎日ある」が39.3%と最も高く、次いで「ない」が27.7%、「週1～2日ある」が12.0%となっています。

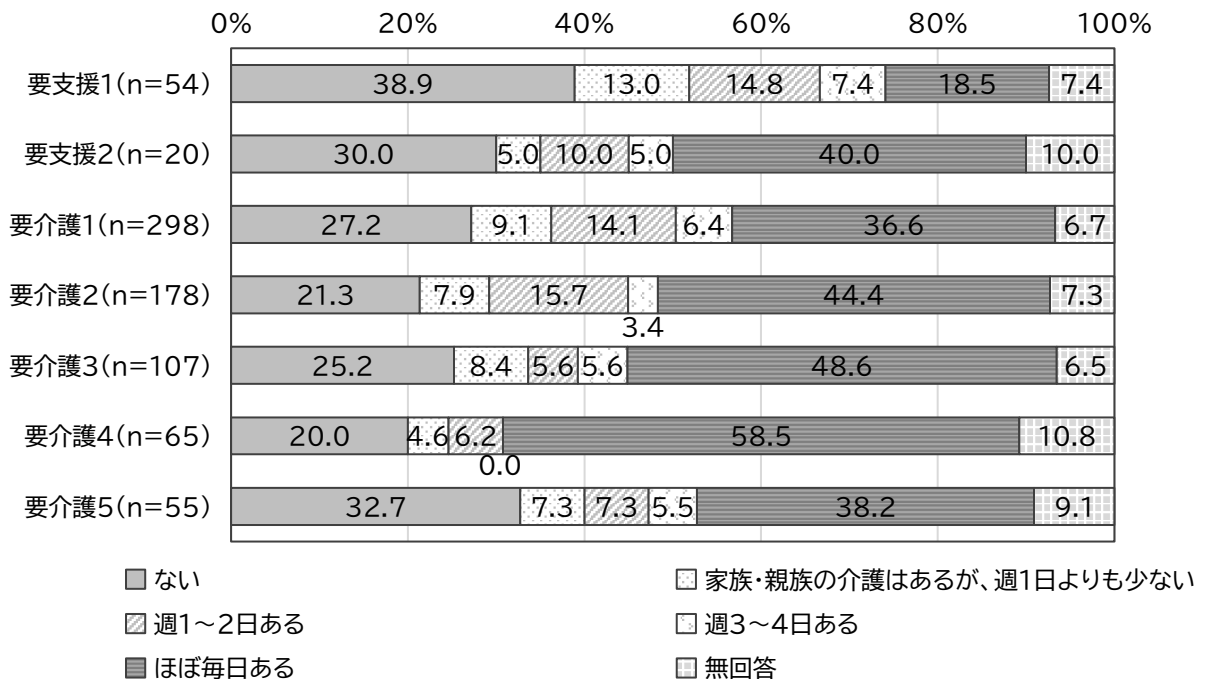
前回調査と比べると、「ほぼ毎日ある」(39.3%)が前回調査(36.0%)より3.3ポイント増加しています。

図表 3-1-54 家族介護の頻度



認定状況別でみると、「ほぼ毎日ある」では、要介護4が58.5%と最も高くなっています。

図表 3-1-55 家族介護の頻度 認定状況別



2. 家族介護者について

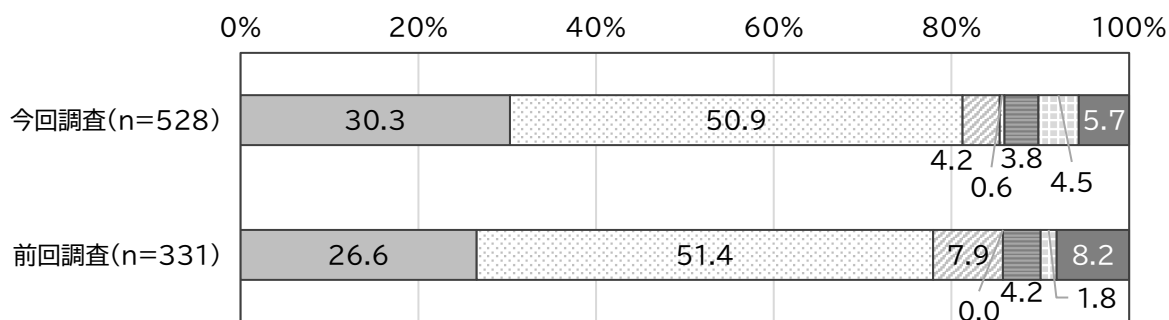
(1) 主な家族介護者について

問 23 ご自宅で主に介護を行っているのはどなたですか。(○は1つ)

主な介護者については、「子」が50.9%と最も高く、次いで「配偶者(パートナーを含む)」が30.3%、「その他」が4.5%となっています。

前回調査と比べると、「配偶者(パートナーを含む)」(30.3%)が前回調査(26.6%)より3.7ポイント増加しています。

図表 3-2-1 ご自宅で主に介護を行っている方



■ 配偶者(パートナーを含む) □ 子 ▨ 子の配偶者(パートナーを含む) □ 孫 ■ 兄弟・姉妹 □ その他 ■ 無回答

調査対象者の年齢別でみると、「配偶者(パートナーを含む)」では65歳未満が66.0%と最も高く、「子」では90歳以上が69.7%と最も高くなっています。

図表 3-2-2 ご自宅で主に介護を行っている方

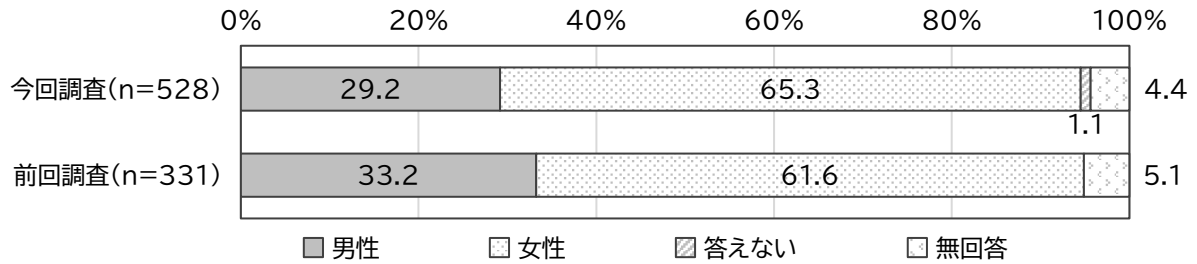
単位:実数(人)、構成比(%)

年齢別		合計	配偶者 (パートナーを含む)	子	子の配偶者 (パートナーを含む)	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
	全体	528	30.3	50.9	4.2	0.6	3.8	4.5	5.7
年齢別	65歳未満	47	66.0	14.9	0.0	0.0	4.3	12.8	2.1
	65~69歳	20	60.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0
	70~74歳	20	65.0	20.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0
	75~79歳	66	50.0	34.8	1.5	0.0	6.1	7.6	0.0
	80~84歳	96	27.1	55.2	4.2	0.0	2.1	5.2	6.3
	85~89歳	143	23.1	60.8	4.2	0.7	2.8	0.7	7.7
	90歳以上	132	9.1	69.7	8.3	1.5	2.3	2.3	6.8

問 24 主な介護者(おひとり)の方の性別をお答えください。(どちらかに○)

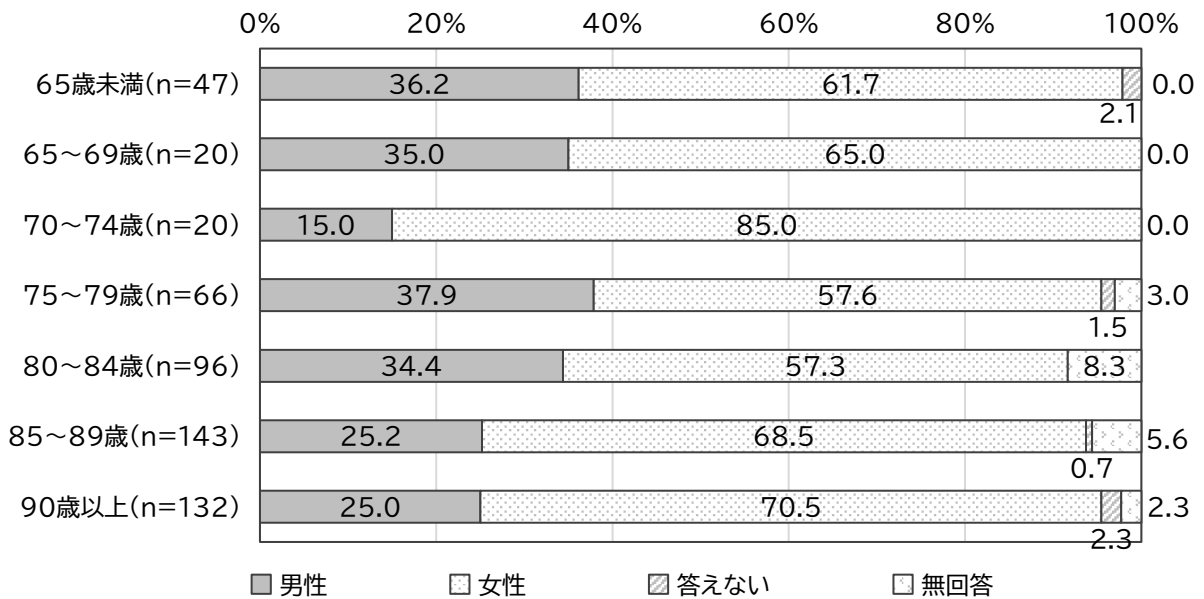
主な介護者の方の性別については、「男性」が29.2%、「女性」が65.3%となっています。
 前回調査と比べると、「女性」(65.3%)が前回調査(61.6%)より3.7ポイント増加しています。

図表 3-2-3 主な介護者の性別



調査対象者の年齢別で見ると、すべての年齢層で「女性」の割合が「男性」より高くなっています。

図表 3-2-4 主な介護者の性別 年齢別

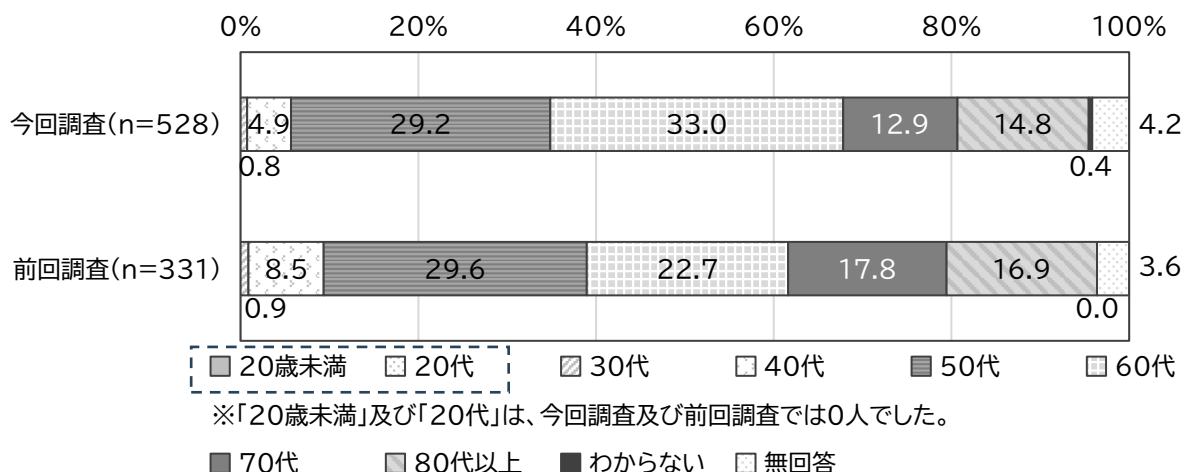


問 25 主な介護者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

主な介護者の方の年齢については、「60代」が33.0%と最も高く、「50代」が29.2%、「80代以上」が14.8%となっています。

前回調査と比べると、「60代」(33.0%)が前回調査(22.7%)より10.3ポイント増加しています。

図表 3-2-5 主な介護者の年齢



調査対象者の年齢別でみると、調査対象者の年齢が74歳以下では介護者の年齢が「60代」が最も高く、調査対象者の年齢が75～79歳では介護者の年齢が「70代」が最も高く、調査対象者の年齢が80～89歳では介護者の年齢が「50代」が最も高く、調査対象者の年齢が90歳以上では介護者の年齢が「60代」が最も高くなっています。

図表 3-2-6 主な介護者の年齢 調査対象者の年齢別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	わからない	無回答
全体		528	0.0	0.0	0.8	4.9	29.2	33.0	12.9	14.8	0.4	4.2
年齢別	65歳未満	47	0.0	0.0	4.3	6.4	29.8	44.7	2.1	12.8	0.0	0.0
	65～69歳	20	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	75.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	20	0.0	0.0	5.0	10.0	5.0	40.0	35.0	5.0	0.0	0.0
	75～79歳	66	0.0	0.0	0.0	13.6	22.7	9.1	42.4	9.1	0.0	3.0
	80～84歳	96	0.0	0.0	0.0	6.3	49.0	6.3	14.6	15.6	0.0	8.3
	85～89歳	143	0.0	0.0	0.7	3.5	35.0	31.5	0.7	23.8	0.0	4.9
	90歳以上	132	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	55.3	11.4	11.4	1.5	2.3

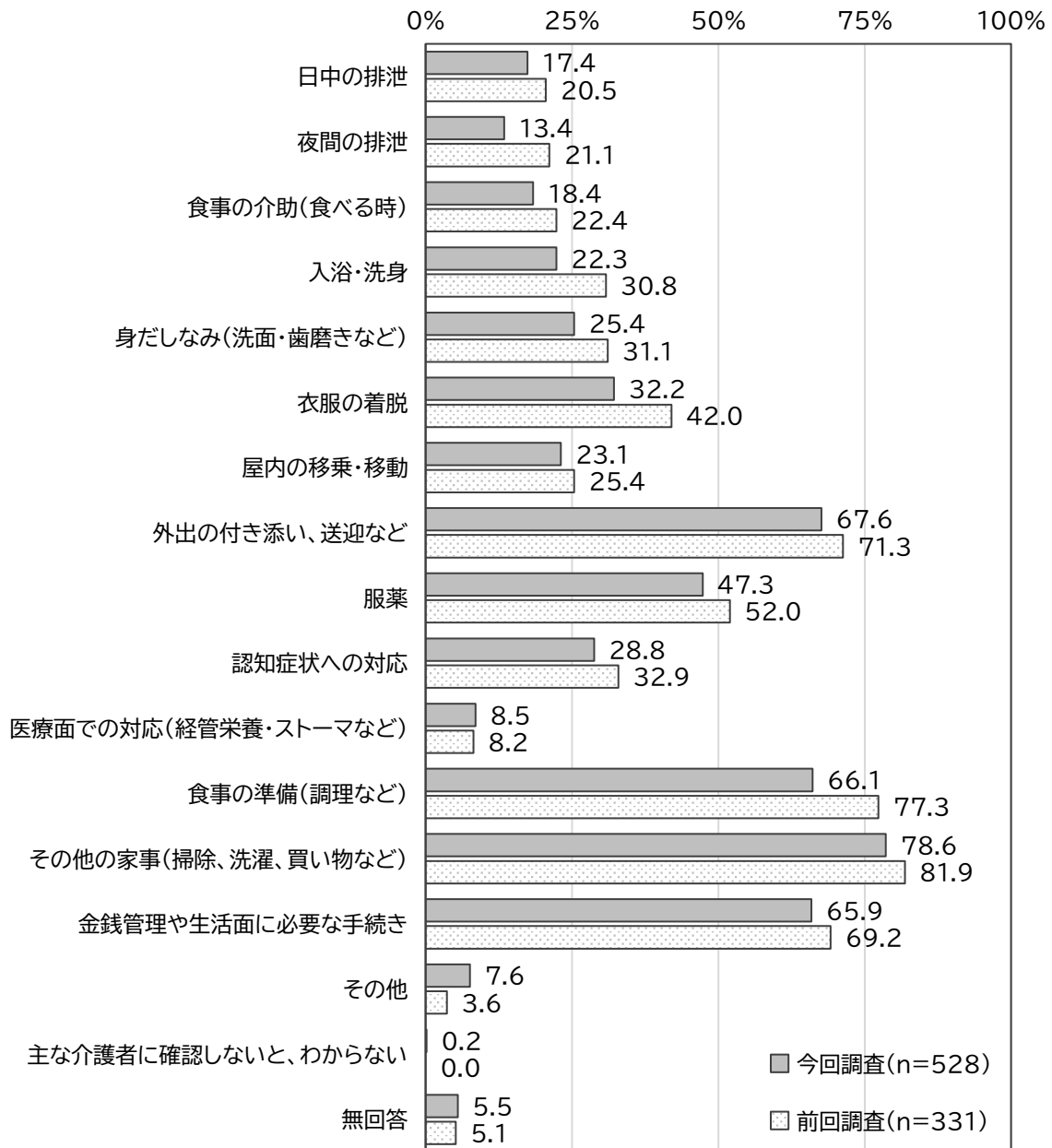
(2) 主な介護者が行っている介護

問 26 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、お答えください。
(〇はいくつでも)

主な介護者の方が行っている介護については、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)」が78.6%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が67.6%、「食事の準備(調理など)」が66.1%となっています。

前回調査と比べると、「食事の準備(調理など)」(66.1%)が前回調査(77.3%)より11.2ポイント減少しています。

図表 3-2-7 主な介護者が行っている介護



第3章 在宅介護実態調査

認定状況別でみると、「服薬」をはじめ、要介護度が上がるにつれて概ね割合が増加しています。

図表 3-2-8 主な介護者が行っている介護 認定状況別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗面・歯磨きなど)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	服薬
全体		528	17.4	13.4	18.4	22.3	25.4	32.2	23.1	67.6	47.3
認定状況別	要支援1	29	3.4	6.9	3.4	6.9	6.9	17.2	6.9	44.8	31.0
	要支援2	12	0.0	25.0	25.0	33.3	33.3	33.3	8.3	50.0	41.7
	要介護1	197	3.6	1.5	6.1	22.8	11.2	17.8	11.2	69.5	42.1
	要介護2	127	10.2	7.9	14.2	22.0	22.0	25.2	18.1	66.9	45.7
	要介護3	73	31.5	23.3	28.8	24.7	38.4	46.6	31.5	74.0	49.3
	要介護4	45	57.8	40.0	46.7	20.0	53.3	75.6	66.7	71.1	68.9
	要介護5	32	62.5	50.0	53.1	31.3	75.0	75.0	56.3	71.9	78.1

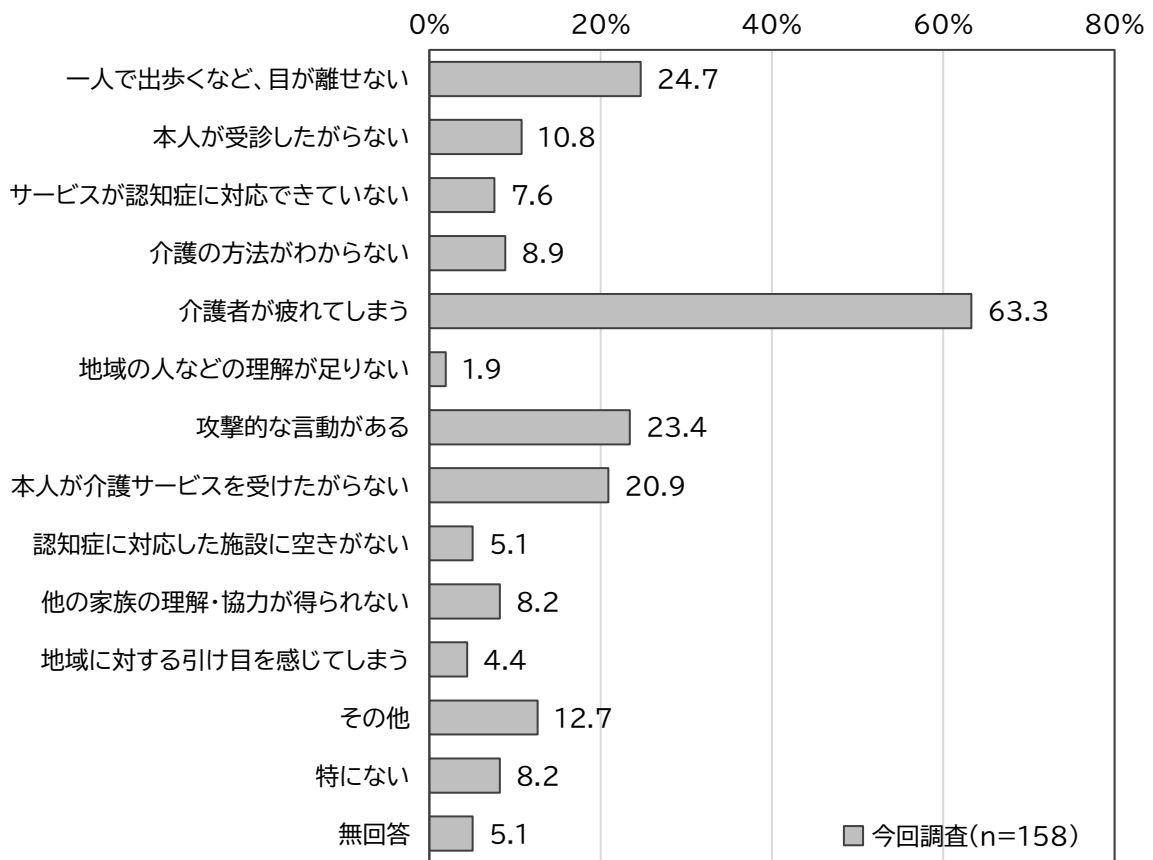
		合計	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養・ストーマなど)	食事の準備(調理など)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		528	28.8	8.5	66.1	78.6	65.9	7.6	0.2	5.5
認定状況別	要支援1	29	24.1	10.3	55.2	55.2	44.8	0.0	3.4	27.6
	要支援2	12	33.3	8.3	58.3	83.3	41.7	16.7	0.0	8.3
	要介護1	197	31.5	5.6	63.5	78.2	69.0	9.6	0.0	5.1
	要介護2	127	32.3	3.9	63.8	78.7	63.0	10.2	0.0	4.7
	要介護3	73	27.4	9.6	78.1	86.3	65.8	5.5	0.0	1.4
	要介護4	45	22.2	13.3	84.4	84.4	75.6	2.2	0.0	2.2
	要介護5	32	18.8	31.3	62.5	81.3	78.1	3.1	0.0	0.0

(3) 認知症状の対応で困っていること

【問 26 で「10. 認知症状への対応」とお答えした方にお伺いします。】
 問 27 認知症に対して、主な介護者の方が困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

認知症状の対応として、主な介護者が困っていることについては、「介護者が疲れてしまう」が 63.3%と最も高く、次いで「一人で出歩くなど、目が離せない」が 24.7%、「攻撃的な言動がある」が 23.4%となっています。

図表 3-2-9 認知症状への対応で困っていること



第3章 在宅介護実態調査

認定状況別にみると、「介護者が疲れてしまう」では、要介護3が75.0%と最も高くなっています。

図表 3-2-10 認知症状への対応で困っていること 認定状況別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	一人で出歩くなど、目が離せない	本人が受診したがい	サービスが認知症に対応できていない	介護の方法がわからない	介護者が疲れてしまう	地域の人などの理解が足りない	攻撃的な言動がある	本人が介護サービスを受けたがらない	認知症に対応した施設に空きがない
全体	158	24.7	10.8	7.6	8.9	63.3	1.9	23.4	20.9	5.1
認定状況別	要支援1	8	25.0	25.0	12.5	12.5	37.5	0.0	37.5	0.0
	要支援2	5	60.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	20.0
	要介護1	64	15.6	10.9	7.8	7.8	65.6	3.1	21.9	4.7
	要介護2	43	32.6	4.7	7.0	11.6	65.1	0.0	23.3	4.7
	要介護3	20	30.0	10.0	10.0	10.0	75.0	5.0	20.0	10.0
	要介護4	10	20.0	20.0	0.0	10.0	60.0	0.0	20.0	0.0
	要介護5	6	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0

	合計	他の家族の理解・協力が得られない	地域に対する引け目を感じてしまう	その他	特にな	無回答	
全体	158	8.2	4.4	12.7	8.2	5.1	
認定状況別	要支援1	8	0.0	0.0	0.0	25.0	
	要支援2	5	0.0	0.0	0.0	0.0	
	要介護1	64	6.3	7.8	14.1	9.4	4.7
	要介護2	43	9.3	0.0	16.3	11.6	4.7
	要介護3	20	15.0	10.0	15.0	0.0	0.0
	要介護4	10	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0
	要介護5	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

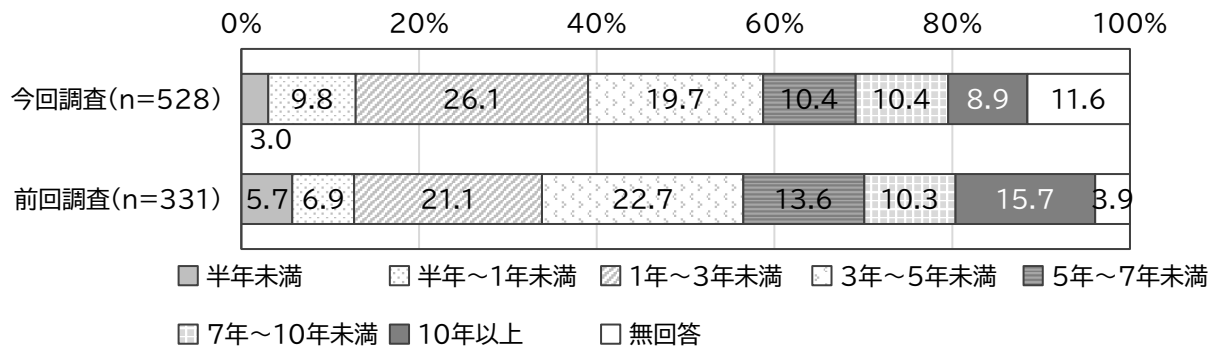
(4) 主な介護者の介護期間

問 28 主な介護者の方が調査対象者様の介護を始めて、どのくらいですか。(○は1つ)

主な介護者の介護期間については、「1年～3年未満」が26.1%と最も高く、次いで「3年～5年」が19.7%、「5年～7年未満」と「7年～10年未満」がそれぞれ10.4%となっています。

前回調査と比較すると、「10年以上」(8.9%)が前回調査(15.7%)より6.8ポイント減少しています。

図表 3-2-11 主な介護者の介護期間



認定状況別でみると、「10年以上」では、要介護5が21.9%と最も高くなっています。

図表 3-2-12 主な介護者の介護期間 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	半年未満	半年～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～10年未満	10年以上	無回答
全体		528	3.0	9.8	26.1	19.7	10.4	10.4	8.9	11.6
認定状況別	要支援1	29	10.3	3.4	34.5	6.9	3.4	3.4	0.0	37.9
	要支援2	12	8.3	16.7	16.7	25.0	8.3	16.7	8.3	0.0
	要介護1	197	0.5	9.1	32.0	22.3	9.6	10.7	6.6	9.1
	要介護2	127	2.4	11.8	20.5	21.3	11.8	9.4	11.0	11.8
	要介護3	73	5.5	12.3	19.2	16.4	17.8	13.7	8.2	6.8
	要介護4	45	4.4	11.1	17.8	20.0	11.1	13.3	13.3	8.9
	要介護5	32	3.1	6.3	40.6	9.4	3.1	6.3	21.9	9.4

第3章 在宅介護実態調査

(5) 一日あたりの介護時間

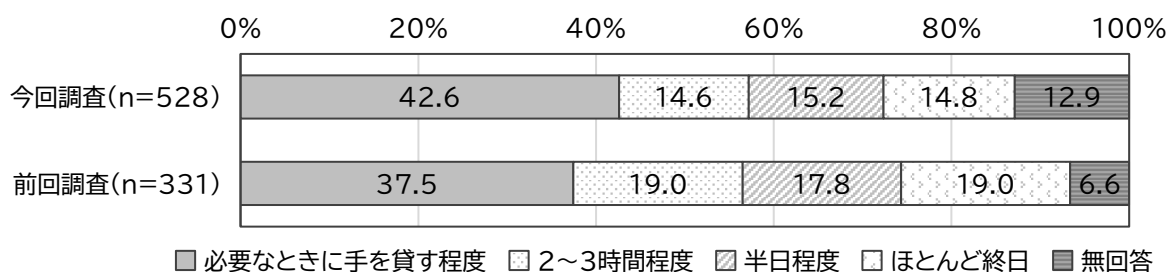
問 29 主な介護者の方の一日あたりの介護時間は、どのくらいですか。(○は1つ)

※ 在宅で訪問介護などの介護保険サービスを受けている時間を除いてお答えください。

主な介護者の一日あたりの介護時間については、「必要な時に手を貸す程度」が42.6%と最も高く、次いで「半日程度」が15.2%、「ほとんど終日」が14.8%となっています。

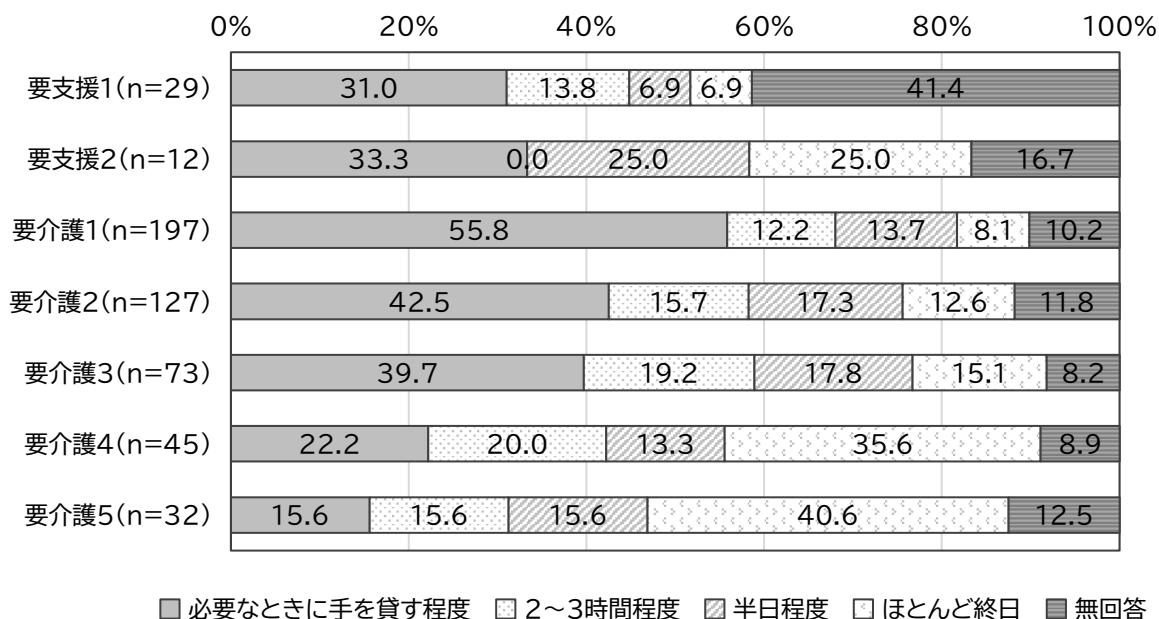
前回調査と比較すると、「必要なときに手を貸す程度」(42.6%)が前回調査(37.5%)より5.1ポイント増加しています。

図表 3-2-13 一日あたりの介護時間



認定状況別にみると、「ほとんど終日」では、要介護1から要介護度があがるにつれて割合が増加しており、要介護5が40.6%と最も高くなっています。

図表 3-2-14 一日あたりの介護時間 認定状況別



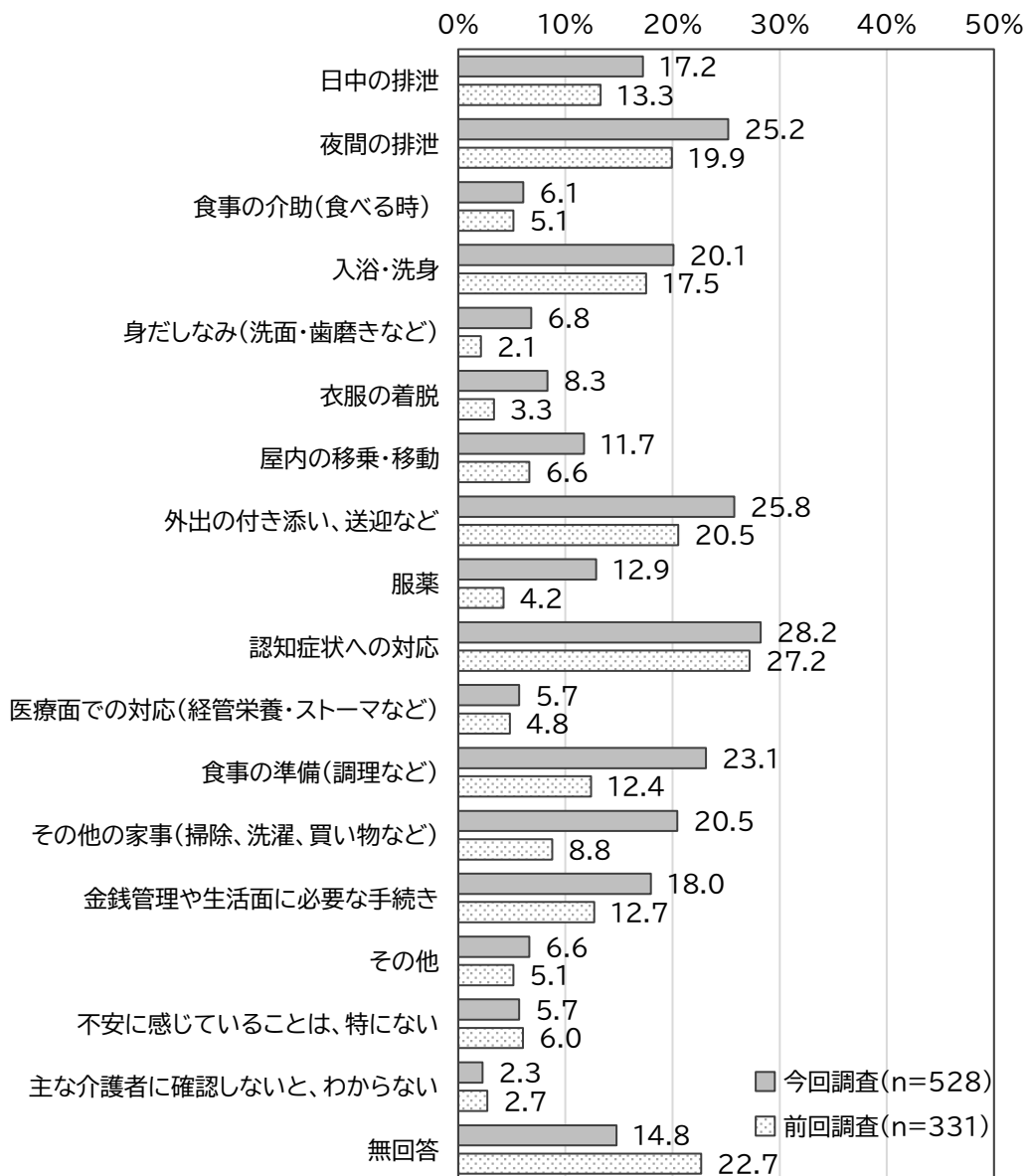
(6) 不安を感じる介護等について

問 30 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（〇は3つまで）

主な介護者の方が不安を感じる介護について、「認知症状への対応」が28.2%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎など」が25.8%、「夜間の排泄」が25.2%となっています。

前回調査と比較すると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」（20.5%）が前回調査（8.8%）から11.7ポイント増加しています。

図表 3-2-15 不安を感じる介護等



第3章 在宅介護実態調査

認定状況別にみると、要介護1と要介護2では、「認知症状への対応」の割合が最も高く、要介護3と要介護5では、「夜間の排泄」の割合が最も高く、要介護4では「外出の付き添い、送迎など」が最も高くなっています。

図表 3-2-16 不安に感じる介護等 認定状況別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗面・歯磨きなど)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎など	服薬
全体		528	17.2	25.2	6.1	20.1	6.8	8.3	11.7	25.8	12.9
認定状況別	要支援1	29	3.4	6.9	3.4	10.3	10.3	13.8	13.8	24.1	6.9
	要支援2	12	16.7	33.3	0.0	25.0	0.0	16.7	16.7	33.3	25.0
	要介護1	197	15.2	21.8	5.1	25.9	8.1	7.6	8.1	30.5	14.7
	要介護2	127	19.7	23.6	7.1	16.5	3.9	7.1	11.0	23.6	15.0
	要介護3	73	24.7	43.8	6.8	17.8	11.0	8.2	8.2	17.8	6.8
	要介護4	45	22.2	26.7	8.9	22.2	4.4	11.1	24.4	31.1	13.3
	要介護5	32	15.6	21.9	9.4	12.5	6.3	9.4	18.8	12.5	9.4

		合計	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養・ストーマなど)	食事の準備(調理など)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物など)	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		528	28.2	5.7	23.1	20.5	18.0	6.6	5.7	2.3	14.8
認定状況別	要支援1	29	17.2	6.9	17.2	17.2	17.2	3.4	0.0	0.0	41.4
	要支援2	12	33.3	0.0	33.3	25.0	25.0	8.3	8.3	0.0	16.7
	要介護1	197	32.5	5.1	25.4	23.4	20.3	5.6	3.6	4.6	11.7
	要介護2	127	31.5	0.0	27.6	20.5	19.7	6.3	9.4	0.8	14.2
	要介護3	73	28.8	9.6	21.9	21.9	6.8	8.2	4.1	2.7	12.3
	要介護4	45	22.2	13.3	15.6	11.1	26.7	11.1	4.4	0.0	8.9
	要介護5	32	15.6	15.6	12.5	12.5	9.4	9.4	12.5	0.0	12.5

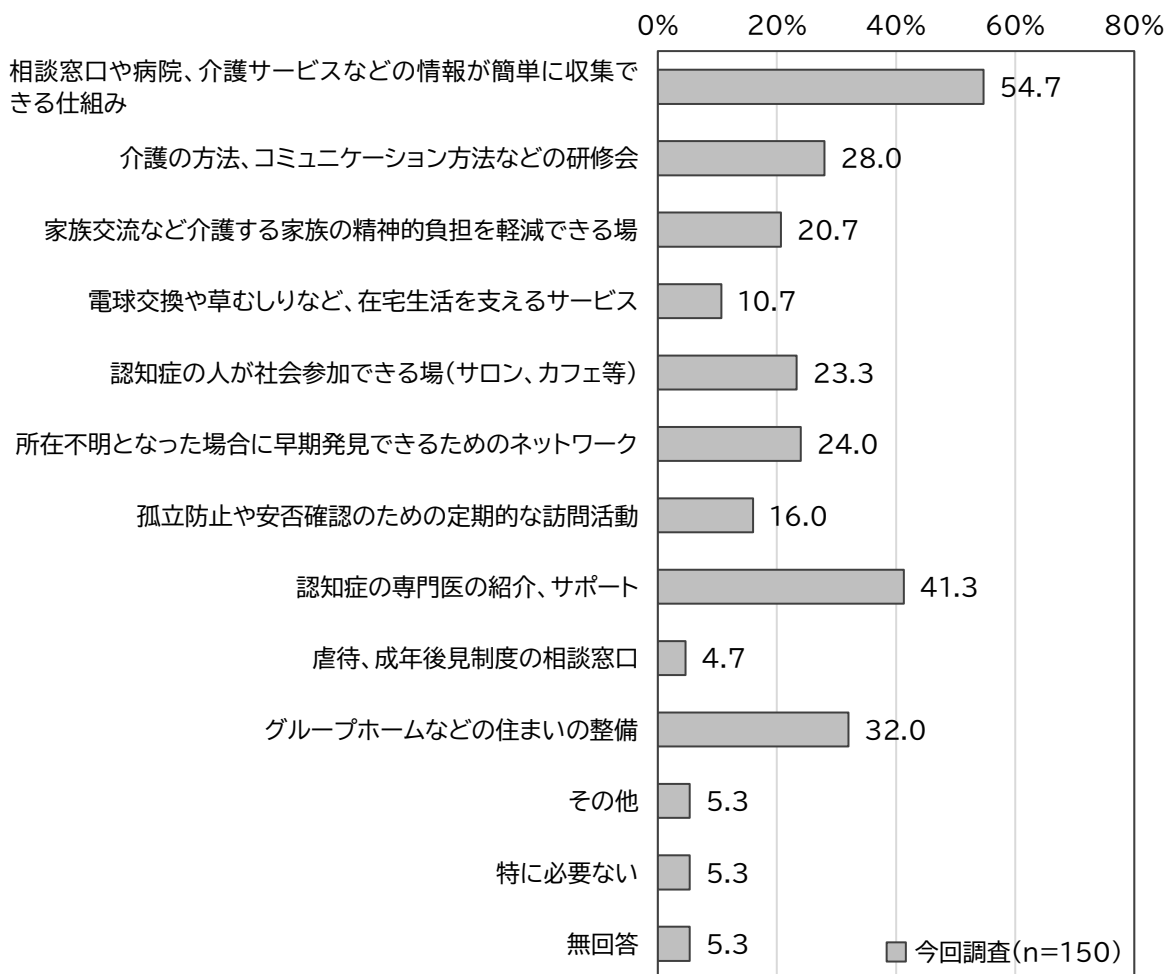
(7) 認知症状の対応に係る支援

【問30で「10. 認知症状への対応」とお答えした方にお伺いします。】

問31 認知症について、どのような支援があればよいと思いますか。(〇はいくつでも)

認知症状の対応への支援については、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」が54.7%と最も高く、次いで「認知症の専門医の紹介、サポート」が41.3%、「グループホームなどの住まいの整備」が32.0%となっています。

図表 3-2-17 認知症状の対応に係る支援



第3章 在宅介護実態調査

認定状況別にみると、要介護3では「認知症の専門医の紹介、サポート」の割合が最も高く、要介護1と要介護2、要介護4、要介護5では「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み」の割合が最も高くなっています。

図表 3-2-18 認知症状の対応への支援 認定状況別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み	介護の方法、コミュニケーション方法などの研修会	家族交流など介護する家族の精神的負担を軽減できる場	電球交換や草むしりなど、在宅生活を支えるサービス	認知症の人が社会参加できる場(サロン、カフェ等)	所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク	孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動	認知症の専門医の紹介、サポート	虐待、成年後見制度の相談窓口
全体		150	54.7	28.0	20.7	10.7	23.3	24.0	16.0	41.3	4.7
認定状況別	要支援1	5	60.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	60.0	0.0
	要支援2	4	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0
	要介護1	64	46.9	26.6	26.6	12.5	26.6	23.4	21.9	32.8	4.7
	要介護2	41	63.4	31.7	12.2	7.3	22.0	31.7	7.3	41.5	4.9
	要介護3	21	47.6	19.0	14.3	14.3	14.3	23.8	19.0	57.1	9.5
	要介護4	10	80.0	30.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	50.0	0.0
	要介護5	5	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0

		合計	グループホームなどの住まいの整備	その他	特に必要ない	無回答
全体		150	32.0	5.3	5.3	5.3
認定状況別	要支援1	5	20.0	0.0	0.0	0.0
	要支援2	4	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護1	64	28.1	6.3	4.7	4.7
	要介護2	41	43.9	4.9	2.4	7.3
	要介護3	21	33.3	4.8	9.5	9.5
	要介護4	10	30.0	10.0	0.0	0.0
	要介護5	5	20.0	0.0	40.0	0.0

(8) 過去1年間の介護離職の状況

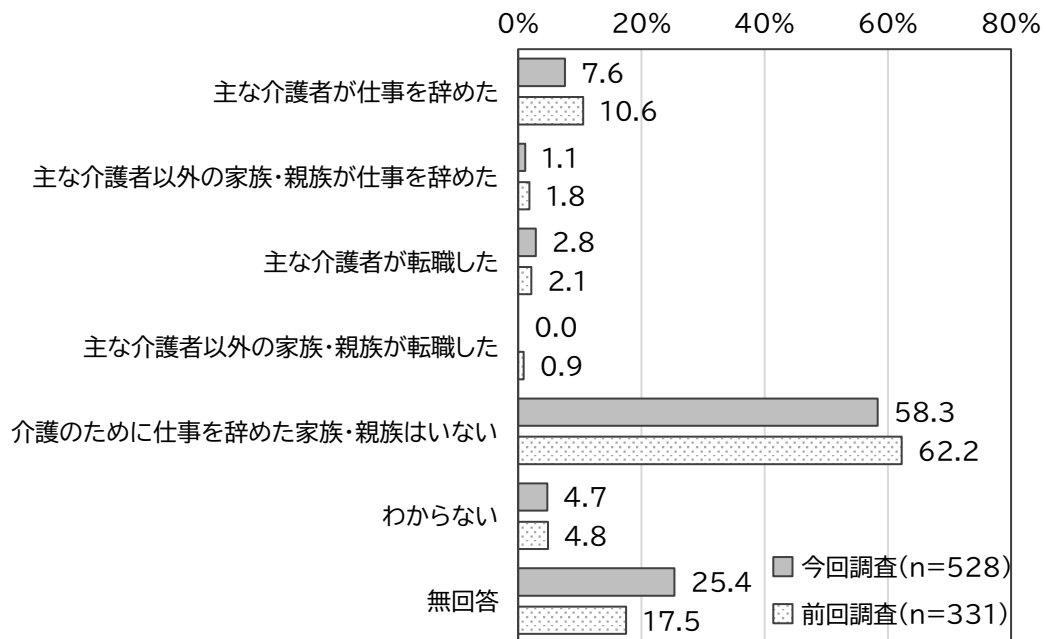
問 32 ご家族やご親族の中で、調査対象者様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)
(〇はいくつでも)

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

過去1年間の介護離職の状況については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が58.3%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた」が7.6%、「わからない」が4.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(58.3%)が前回調査(62.2%)から3.9ポイント減少しています。

図表 3-2-19 過去1年間の介護離職の状況



第3章 在宅介護実態調査

認定状況別にみると、いずれも「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も高い割合になっています。

図表 3-2-20 過去1年間の介護離職の状況 認定状況別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	主な介護者が仕事を辞めた	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
認定状況別	要支援1	29	3.4	0.0	0.0	0.0	37.9	10.3	48.3
	要支援2	12	8.3	8.3	0.0	0.0	50.0	0.0	33.3
	要介護1	197	6.6	1.0	3.6	0.0	65.0	3.6	20.3
	要介護2	127	8.7	0.8	1.6	0.0	57.5	3.9	27.6
	要介護3	73	6.8	2.7	2.7	0.0	63.0	5.5	19.2
	要介護4	45	11.1	0.0	2.2	0.0	57.8	6.7	22.2
	要介護5	32	12.5	0.0	9.4	0.0	46.9	6.3	25.0

(9) 主な介護者の勤務形態

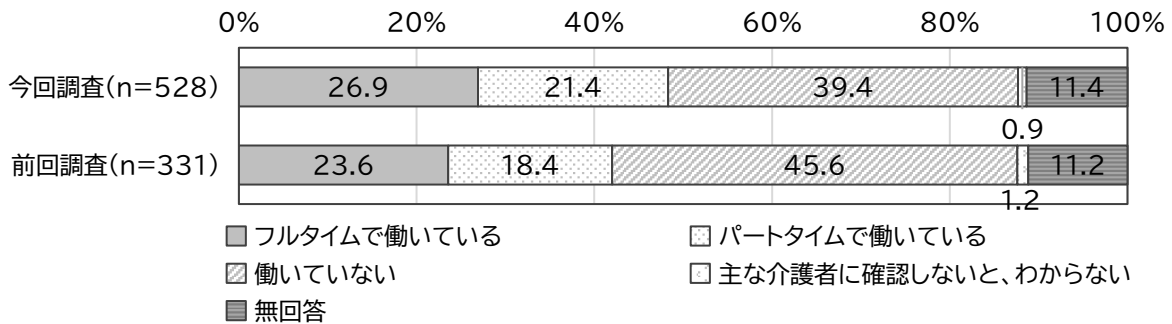
問 33 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お答えください。(○は1つ)

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランスなどの場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

主な介護者の勤務形態については、「働いていない」が39.4%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が26.9%、「パートタイムで働いている」が21.4%と続いています。

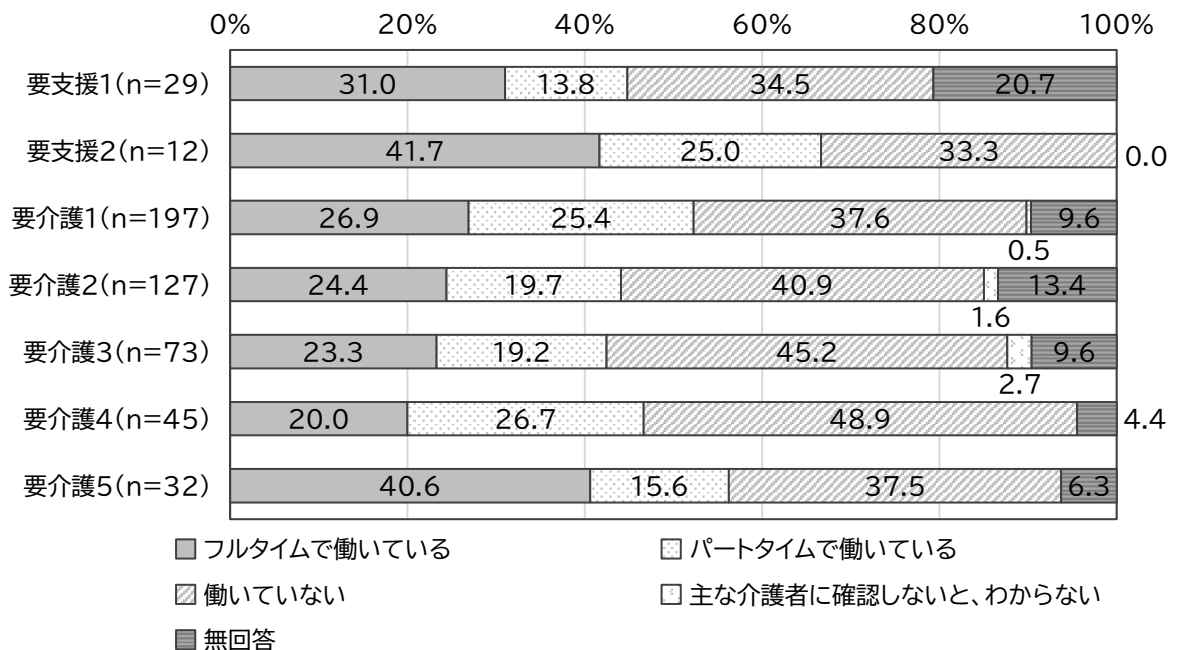
前回調査と比較すると、「働いていない」(39.4%)では、前回調査(45.6%)より6.2ポイント減少しています。

図表 3-2-21 主な介護者の勤務形態



認定状況別でみると、『働いている』(「フルタイムで働いている」と「パートタイムで働いている」の合計)では、要支援2が66.7%と最も高くなっています。

図表 3-2-22 主な介護者の勤務形態 属性別



第3章 在宅介護実態調査

(10) 介護をするにあたっての働き方の調整

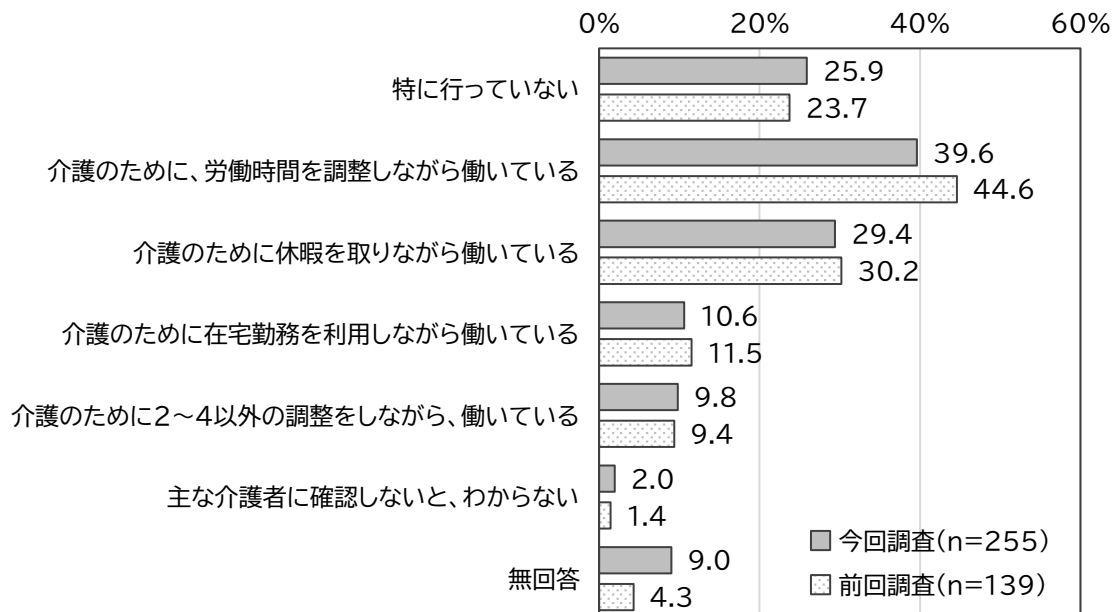
【問33で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」とお答えした方にお伺いします。】

問34 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。
(〇はいくつでも)

介護をするにあたって働き方の調整等を行っているかについては、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が39.6%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が29.4%、「特に行っていない」が25.9%と続いています。

前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 3-2-23 介護をするにあたっての働き方の調整



認定状況別にみると、要支援2～要介護5で「介護のために、労働時間を調整しながら働いている」が最も高く、要支援1では、「介護のために休暇を取りながら働いている」が最も高くなっています。

図表 3-2-24 介護をするにあたっての働き方の調整 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	特に行っていない	介護のために、労働時間を調整しながら働いている	介護のために休暇を取りながら働いている	介護のために在宅勤務を利用しながら働いている	介護のために2〜4以外の調整をしながら働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体		255	25.9	39.6	29.4	10.6	9.8	2.0	9.0
認定状況別	要支援1	13	15.4	23.1	30.8	0.0	0.0	0.0	46.2
	要支援2	8	50.0	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護1	103	30.1	35.0	30.1	7.8	8.7	4.9	6.8
	要介護2	56	25.0	41.1	30.4	8.9	8.9	0.0	12.5
	要介護3	31	25.8	41.9	32.3	19.4	22.6	0.0	3.2
	要介護4	21	19.0	47.6	28.6	23.8	9.5	0.0	4.8
	要介護5	18	11.1	50.0	22.2	16.7	11.1	0.0	5.6

(11) 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

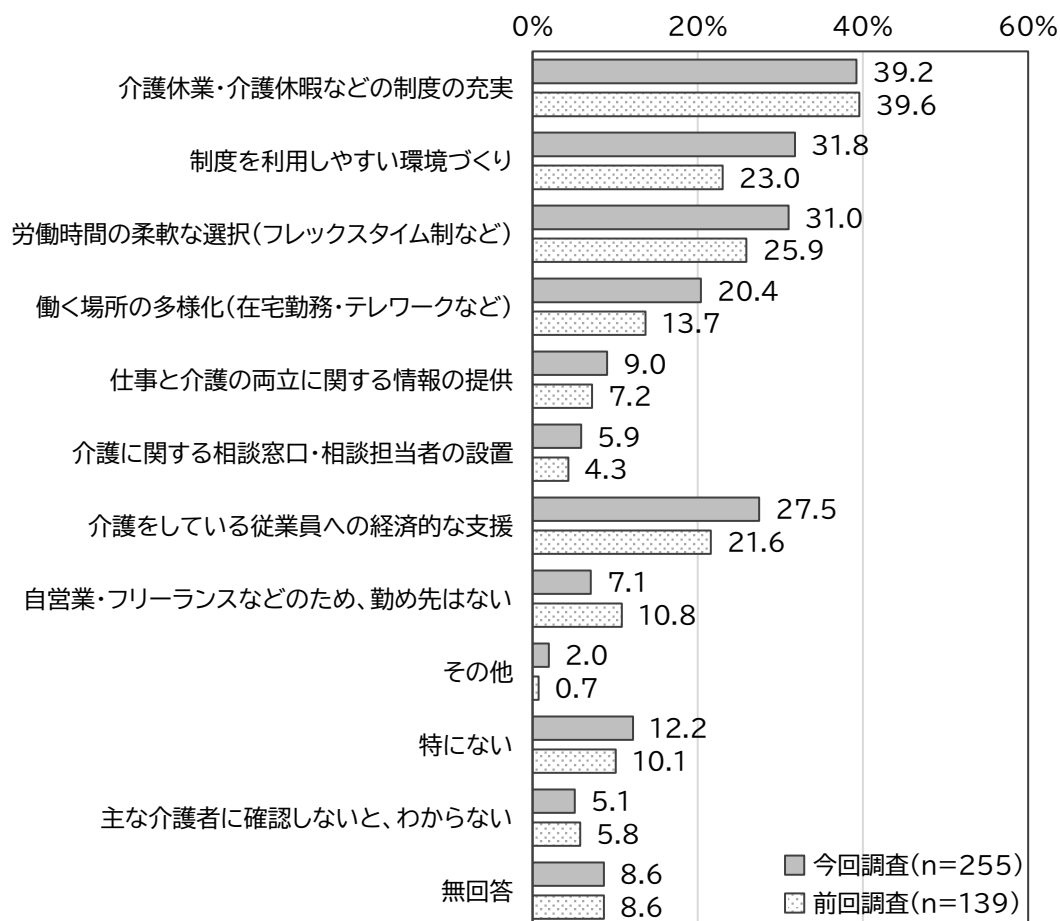
【問33で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」とお答えした方にお伺いします。】

問35 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が39.2%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が31.8%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が31.0%と続いています。

前回調査と比較すると、「制度を利用しやすい環境づくり」（31.8%）が前回調査（23.0%）より8.8ポイント増加しています。

図表 3-2-25 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



認定状況別にみると、要支援2では「労働時間の柔軟な選択」が50%と最も高く、要介護4では「制度を利用しやすい環境づくり」が38.1%、その他の介護度では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が高くなっています。

図表 3-2-26 仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	介護休業・介護休暇などの制度の充実	制度を利用しやすい環境づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護をしている従業員への経済的な支援	自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない	
全体	255	39.2	31.8	31.0	20.4	9.0	5.9	27.5	7.1	
認定状況別	要支援1	13	46.2	23.1	23.1	7.7	15.4	0.0	15.4	7.7
	要支援2	8	37.5	37.5	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	要介護1	103	40.8	35.9	29.1	22.3	9.7	5.8	29.1	4.9
	要介護2	56	42.9	32.1	30.4	10.7	10.7	8.9	25.0	8.9
	要介護3	31	32.3	22.6	29.0	25.8	6.5	6.5	32.3	6.5
	要介護4	21	33.3	38.1	33.3	28.6	9.5	4.8	28.6	9.5
	要介護5	18	38.9	16.7	38.9	33.3	5.6	5.6	22.2	16.7

	合計	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
全体	255	2.0	12.2	5.1	8.6	
認定状況別	要支援1	13	0.0	0.0	7.7	30.8
	要支援2	8	0.0	25.0	0.0	12.5
	要介護1	103	0.0	13.6	9.7	3.9
	要介護2	56	1.8	8.9	1.8	10.7
	要介護3	31	9.7	16.1	3.2	9.7
	要介護4	21	0.0	14.3	0.0	9.5
	要介護5	18	5.6	5.6	0.0	5.6

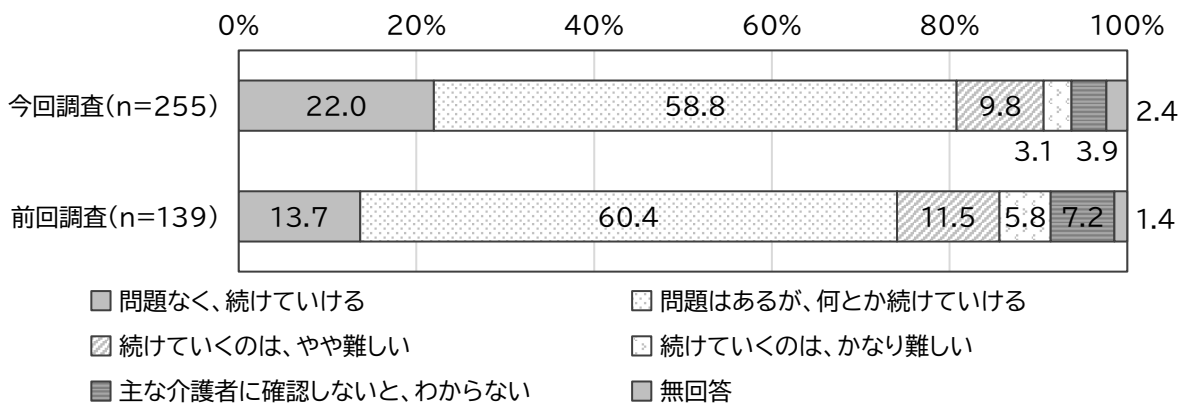
(12) 主な介護者の仕事と介護の両立の継続について

【問33で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」とお答えした方にお伺いします。】
 問36 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

今後も働きながら介護を続けていけそうかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が58.8%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.0%、「続けていくのは、やや難しい」が9.8%と続いています。

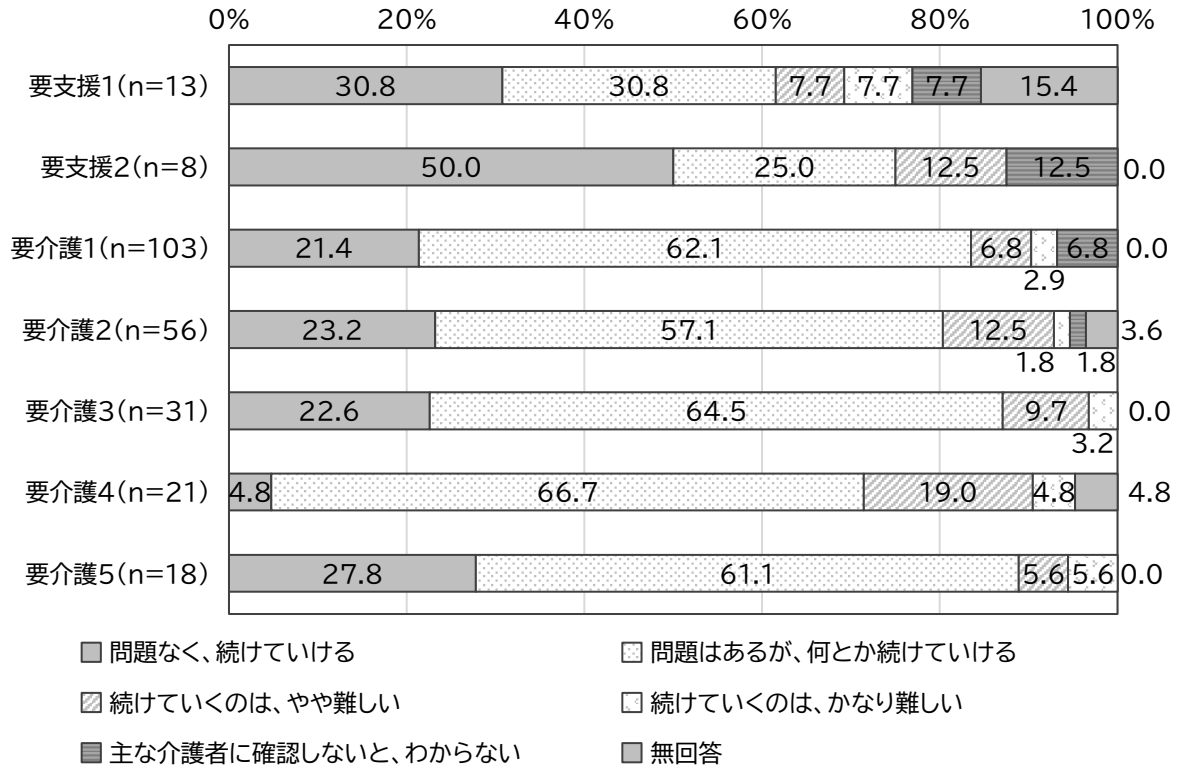
前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」(22.0%)が前回調査(13.7%)より8.3ポイント増加しています。

図表 3-2-27 主な介護者の仕事と介護の両立の継続について



認定状況別でみると、『難しい』（「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」の合計）では、要介護4が23.8%で最も高くなっています。

図表 3-2-28 主な介護者の仕事と介護の両立の継続について



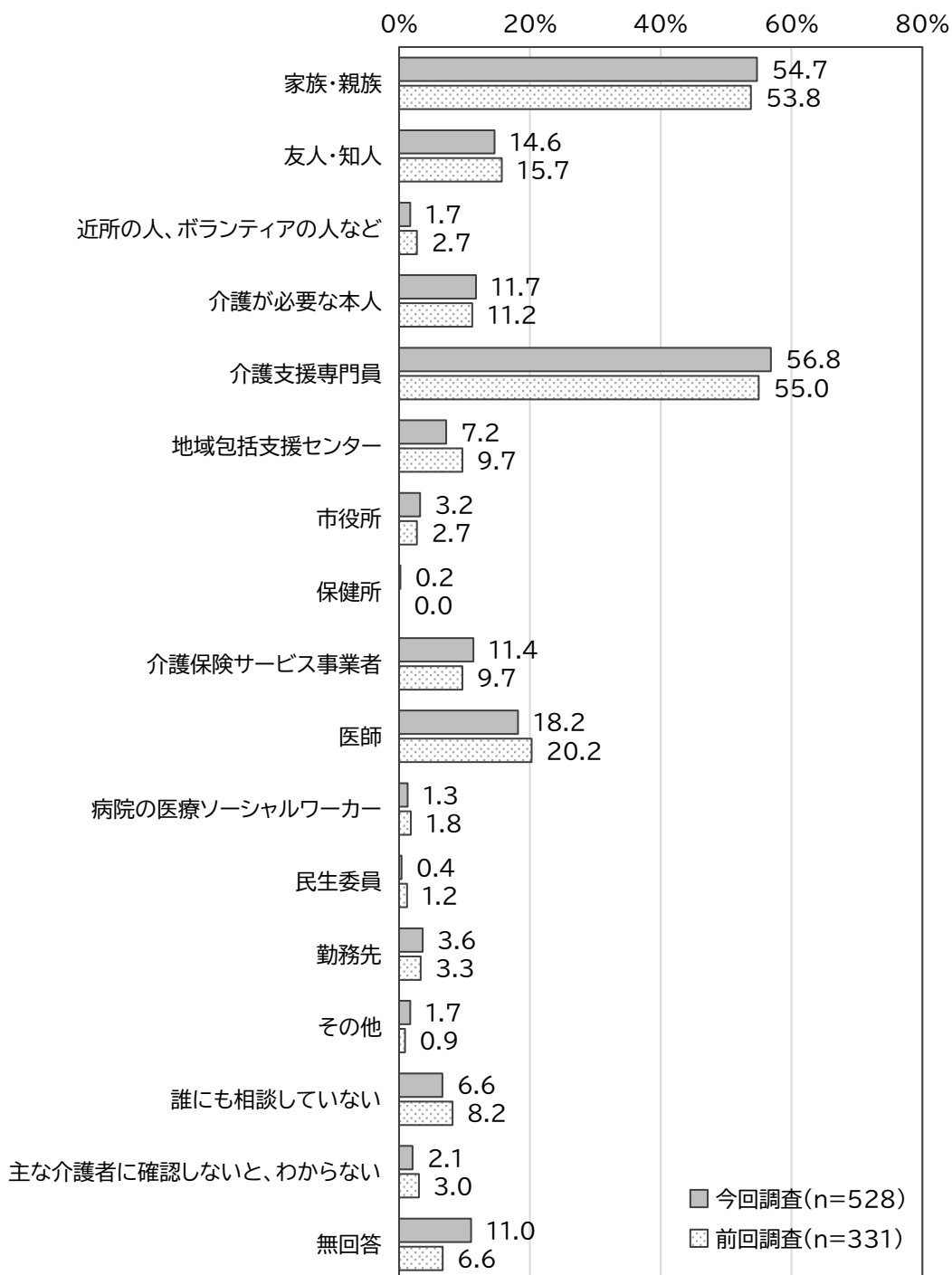
(13) 介護についての相談先

問 37 主な介護者の方は、介護について誰かに相談していますか。(〇はいくつでも)

介護についての相談先については、「介護支援専門員」が56.8%と最も高く、次いで「家族・親族」が54.7%、「医師」が18.2%と続いています。

前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 3-2-29 介護についての相談先



認定状況別にみると、要支援1～要介護1では、「家族・親族」の割合が高く、要介護2～要介護5では「介護支援専門員（ケアマネジャー）」の割合が高くなっています。

また、日常生活圏域別では、北部東・北部中では「家族・親族」の割合が高く、その他の地域では、「介護支援専門員（ケアマネジャー）」の割合が高くなっています。

図表 3-2-30 介護についての相談先 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	家族・親族	友人・知人	近所の人、ボランティアの人など	介護が必要な本人	介護支援専門員（ケアマネジャー）	地域包括支援センター	市役所	保健所	介護保険サービス事業者
全体		528	54.7	14.6	1.7	11.7	56.8	7.2	3.2	0.2	11.4
認定状況別	要支援1	29	37.9	3.4	0.0	3.4	24.1	6.9	3.4	0.0	6.9
	要支援2	12	66.7	8.3	0.0	0.0	41.7	16.7	0.0	0.0	16.7
	要介護1	197	59.4	17.8	1.0	11.7	55.3	9.1	3.0	0.5	8.6
	要介護2	127	53.5	15.7	3.1	13.4	65.4	5.5	1.6	0.0	9.4
	要介護3	73	54.8	12.3	1.4	15.1	57.5	5.5	4.1	0.0	8.2
	要介護4	45	55.6	8.9	4.4	11.1	73.3	8.9	8.9	0.0	26.7
	要介護5	32	50.0	18.8	0.0	15.6	59.4	3.1	3.1	0.0	21.9
日常生活圏域別	南部西	98	57.1	17.3	2.0	12.2	58.2	8.2	3.1	1.0	13.3
	南部東	76	53.9	19.7	3.9	15.8	61.8	6.6	2.6	0.0	9.2
	中部	65	44.6	15.4	1.5	9.2	55.4	10.8	1.5	0.0	18.5
	北部東	64	57.8	10.9	0.0	12.5	53.1	6.3	4.7	0.0	12.5
	北部中	117	61.5	12.8	0.9	11.1	59.0	7.7	2.6	0.0	9.4
	北部西	103	50.5	12.6	1.9	10.7	53.4	4.9	4.9	0.0	8.7

		合計	医師	病院の医療ソーシャルワーカー	民生委員	勤務先	その他	誰にも相談していない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体		528	18.2	1.3	0.4	3.6	1.7	6.6	2.1	11.0
認定状況別	要支援1	29	6.9	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	3.4	37.9
	要支援2	12	41.7	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
	要介護1	197	17.3	0.0	1.0	4.6	1.5	6.6	3.6	7.6
	要介護2	127	16.5	0.8	0.0	3.9	0.0	4.7	1.6	13.4
	要介護3	73	15.1	4.1	0.0	2.7	1.4	8.2	1.4	8.2
	要介護4	45	31.1	6.7	0.0	2.2	4.4	6.7	0.0	4.4
	要介護5	32	25.0	0.0	0.0	3.1	3.1	9.4	0.0	3.1
日常生活圏域別	南部西	98	21.4	1.0	0.0	4.1	0.0	5.1	3.1	8.2
	南部東	76	17.1	0.0	1.3	2.6	2.6	6.6	0.0	9.2
	中部	65	24.6	1.5	0.0	3.1	4.6	6.2	1.5	18.5
	北部東	64	21.9	1.6	0.0	1.6	0.0	6.3	3.1	9.4
	北部中	117	13.7	1.7	0.0	4.3	2.6	7.7	0.9	9.4
	北部西	103	15.5	1.9	1.0	4.9	1.0	7.8	3.9	11.7

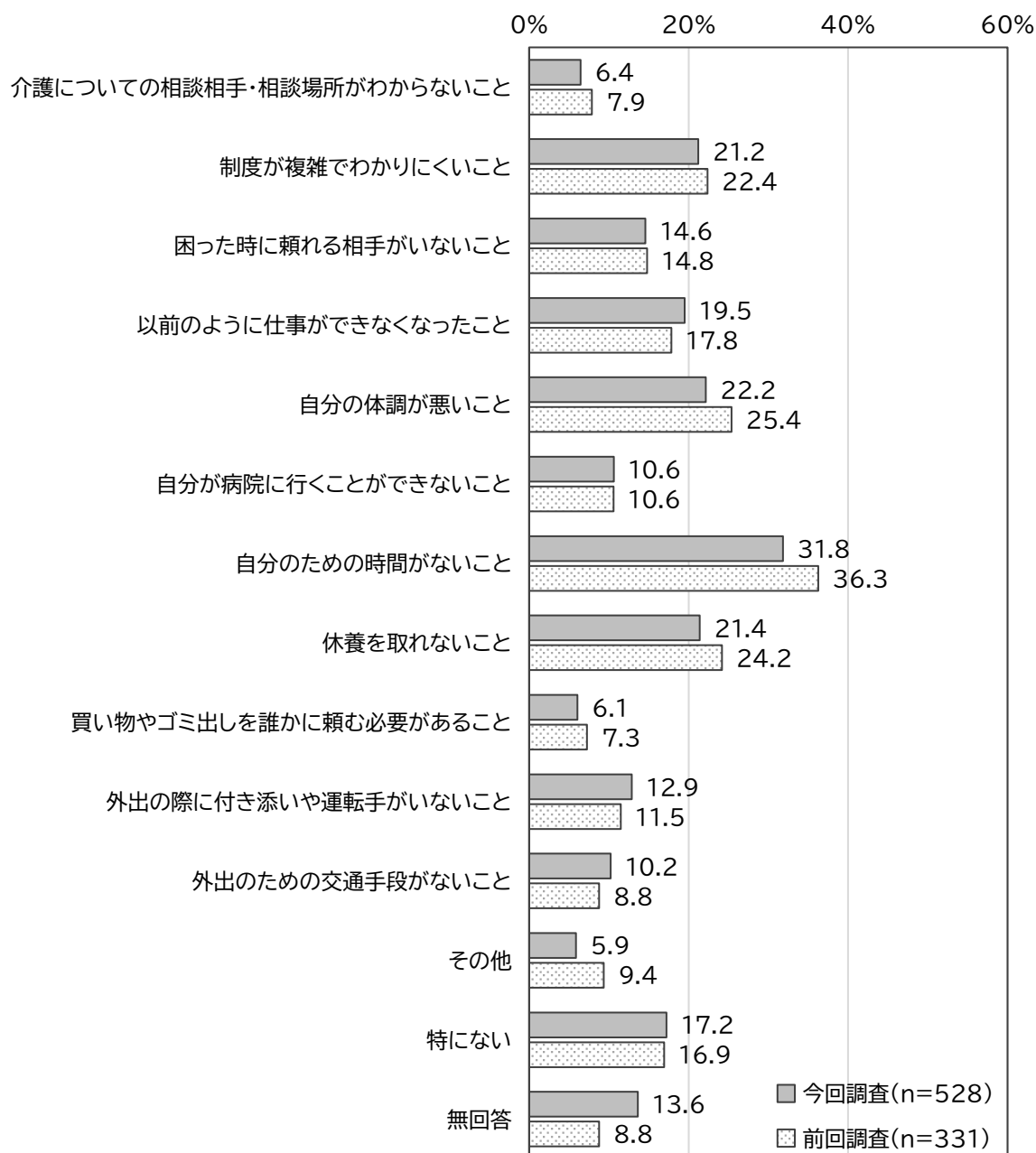
(14) 介護に関して困っていること

問 38 介護に関してお困りのことは、何ですか。(〇はいくつでも)

介護に関して困っていることについては、「自分のための時間がないこと」が31.8%と最も高く、次いで「自分の体調が悪いこと」が22.2%、「休養を取れないこと」が21.4%と続いています。

前回調査と比較すると、「自分のための時間がないこと」(31.8%)が前回調査(36.3%)より4.5ポイント減少し、「以前のように仕事ができなくなったこと」「外出の際に付き添いや運転手がないこと」「外出のための交通手段がないこと」「特にない」が増加した項目となっていますが、大きな差はみられません。

図表 3-2-31 介護に関して困っていること



認定状況別にみると、すべての介護度で「自分のための時間がない」の割合が高くなっています。また、日常生活圏域別にみても、いずれも「自分のための時間がない」が高くなっています。

図表 3-2-32 介護に関して困っていること 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	介護についての相談相手・相談場所がわからないこと	制度が複雑でわかりにくいこと	困った時に頼れる相手がいないこと	以前のようになんかできないようになったこと	自分の体調が悪いこと	自分が病院に行くことができないこと	自分のための時間がないこと	休養を取れないこと	
全体	528	6.4	21.2	14.6	19.5	22.2	10.6	31.8	21.4	
認定状況別	要支援1	29	3.4	13.8	13.8	20.7	13.8	3.4	24.1	13.8
	要支援2	12	16.7	25.0	8.3	16.7	41.7	8.3	50.0	41.7
	要介護1	197	7.1	21.8	12.2	15.7	20.3	9.1	26.4	15.2
	要介護2	127	3.9	18.9	13.4	19.7	22.8	8.7	33.1	23.6
	要介護3	73	8.2	28.8	24.7	20.5	24.7	11.0	30.1	20.5
	要介護4	45	6.7	20.0	17.8	31.1	26.7	17.8	46.7	28.9
要介護5	32	0.0	18.8	12.5	21.9	18.8	18.8	46.9	37.5	
日常生活圏域別	南部西	98	7.1	23.5	11.2	15.3	20.4	5.1	28.6	21.4
	南部東	76	6.6	18.4	13.2	15.8	21.1	14.5	27.6	17.1
	中部	65	1.5	18.5	20.0	13.8	16.9	15.4	29.2	18.5
	北部東	64	6.3	20.3	12.5	21.9	21.9	9.4	32.8	26.6
	北部中	117	10.3	23.1	15.4	24.8	23.1	6.8	35.0	20.5
	北部西	103	4.9	22.3	15.5	21.4	27.2	15.5	35.0	24.3

	合計	買い物やゴミ出しを誰かに頼む必要があること	外出の際に付き添いや運転手がいなこと	外出のための交通手段がないこと	その他	特にない	無回答	
全体	528	6.1	12.9	10.2	5.9	17.2	13.6	
認定状況別	要支援1	29	0.0	3.4	10.3	3.4	13.8	27.6
	要支援2	12	0.0	8.3	16.7	8.3	16.7	8.3
	要介護1	197	7.6	13.7	10.2	7.1	20.3	13.7
	要介護2	127	7.1	14.2	11.8	3.9	15.0	15.0
	要介護3	73	6.8	13.7	6.8	4.1	17.8	5.5
	要介護4	45	0.0	13.3	8.9	8.9	17.8	11.1
要介護5	32	6.3	9.4	12.5	9.4	12.5	6.3	
日常生活圏域別	南部西	98	6.1	14.3	9.2	3.1	21.4	11.2
	南部東	76	6.6	9.2	6.6	7.9	18.4	10.5
	中部	65	3.1	13.8	12.3	1.5	13.8	26.2
	北部東	64	4.7	15.6	14.1	6.3	21.9	9.4
	北部中	117	8.5	7.7	10.3	7.7	15.4	11.1
	北部西	103	4.9	17.5	10.7	7.8	14.6	14.6

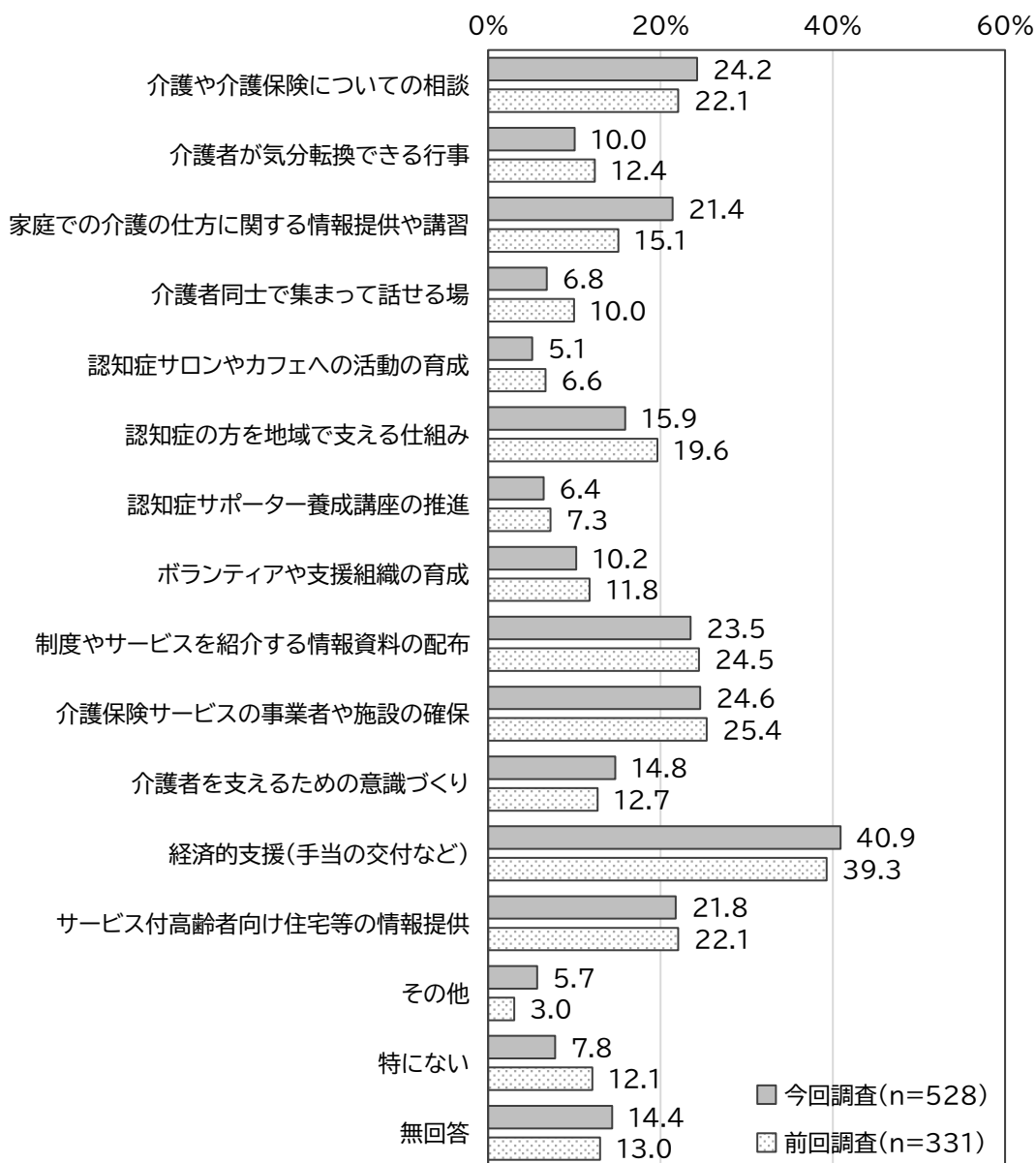
(15) 介護する家族への支援として市が力を入れるべき取組

問 39 介護や付き添いをする家族の皆さんへの支援として、立川市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

介護をする家族への支援として市が力を入れるべき取組については、「経済的支援(手当の交付など)」が40.9%と最も高く、次いで「介護保険サービスの事業者や施設の確保」が24.6%、「介護や介護保険についての相談」が24.2%と続いています。

前回調査と比較すると、「家庭での介護の仕方に関する情報提供や講習」(21.4%)では、前回調査(15.1%)より6.3ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 3-2-33 介護する家族への支援として市が力を入れるべき取組



認定状況別にみると、要支援1では、「介護や介護保険についての相談」が24.1%と高く、要支援2では「サービス付高齢者向け住宅等の情報提供」で50%、その他の介護度では、「経済的支援」の割合が高くなっています。

図表 3-2-34 介護する家族への支援として市が力を入れるべき取組 属性別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	介護や介護保険についての相談	介護者が気分転換できる行事	家庭での介護の仕方に関する情報提供や講習	介護者同士で集まって話せる場	認知症サロンやカフェへの活動の育成	認知症の方を地域で支える仕組み	認知症サポーター養成講座の推進	ボランティアや支援組織の育成
全体		528	24.2	10.0	21.4	6.8	5.1	15.9	6.4	10.2
認定状況別	要支援1	29	24.1	17.2	17.2	6.9	3.4	10.3	0.0	6.9
	要支援2	12	41.7	25.0	25.0	16.7	8.3	25.0	8.3	8.3
	要介護1	197	24.4	11.2	23.4	8.1	8.1	17.8	6.6	11.7
	要介護2	127	25.2	10.2	18.1	3.9	3.9	14.2	7.9	10.2
	要介護3	73	24.7	8.2	27.4	11.0	2.7	19.2	8.2	11.0
	要介護4	45	26.7	6.7	17.8	4.4	2.2	8.9	2.2	6.7
	要介護5	32	18.8	3.1	18.8	0.0	0.0	18.8	6.3	12.5
日常生活圏域別	南部西	98	25.5	8.2	26.5	8.2	8.2	26.5	11.2	7.1
	南部東	76	21.1	9.2	18.4	5.3	6.6	14.5	3.9	11.8
	中部	65	21.5	4.6	26.2	3.1	4.6	15.4	1.5	13.8
	北部東	64	20.3	14.1	20.3	4.7	6.3	18.8	7.8	15.6
	北部中	117	29.9	12.8	20.5	11.1	3.4	12.0	5.1	7.7
	北部西	103	23.3	10.7	18.4	5.8	1.9	9.7	6.8	9.7

		合計	制度やサービスを紹介する情報資料の配布	介護保険サービスの事業者や施設の確保	介護者を支えるための意識づくり	経済的支援(手当の交付など)	サービス付高齢者向け住宅等の情報提供	その他	特になし	無回答
全体		528	23.5	24.6	14.8	40.9	21.8	5.7	7.8	14.4
認定状況別	要支援1	29	17.2	20.7	17.2	20.7	10.3	0.0	6.9	24.1
	要支援2	12	25.0	33.3	8.3	25.0	50.0	8.3	16.7	8.3
	要介護1	197	22.8	25.9	14.7	37.1	22.8	4.6	10.2	12.2
	要介護2	127	28.3	26.8	14.2	40.9	26.8	7.1	7.1	15.0
	要介護3	73	24.7	24.7	19.2	50.7	21.9	8.2	5.5	15.1
	要介護4	45	15.6	26.7	13.3	53.3	15.6	6.7	2.2	8.9
	要介護5	32	28.1	15.6	12.5	59.4	12.5	3.1	6.3	9.4
日常生活圏域別	南部西	98	28.6	29.6	18.4	48.0	22.4	6.1	4.1	12.2
	南部東	76	21.1	22.4	7.9	36.8	19.7	6.6	6.6	15.8
	中部	65	20.0	30.8	16.9	36.9	18.5	1.5	7.7	21.5
	北部東	64	14.1	18.8	6.3	28.1	28.1	6.3	12.5	12.5
	北部中	117	23.1	24.8	17.9	45.3	25.6	7.7	6.8	13.7
	北部西	103	30.1	22.3	16.5	44.7	17.5	4.9	9.7	10.7

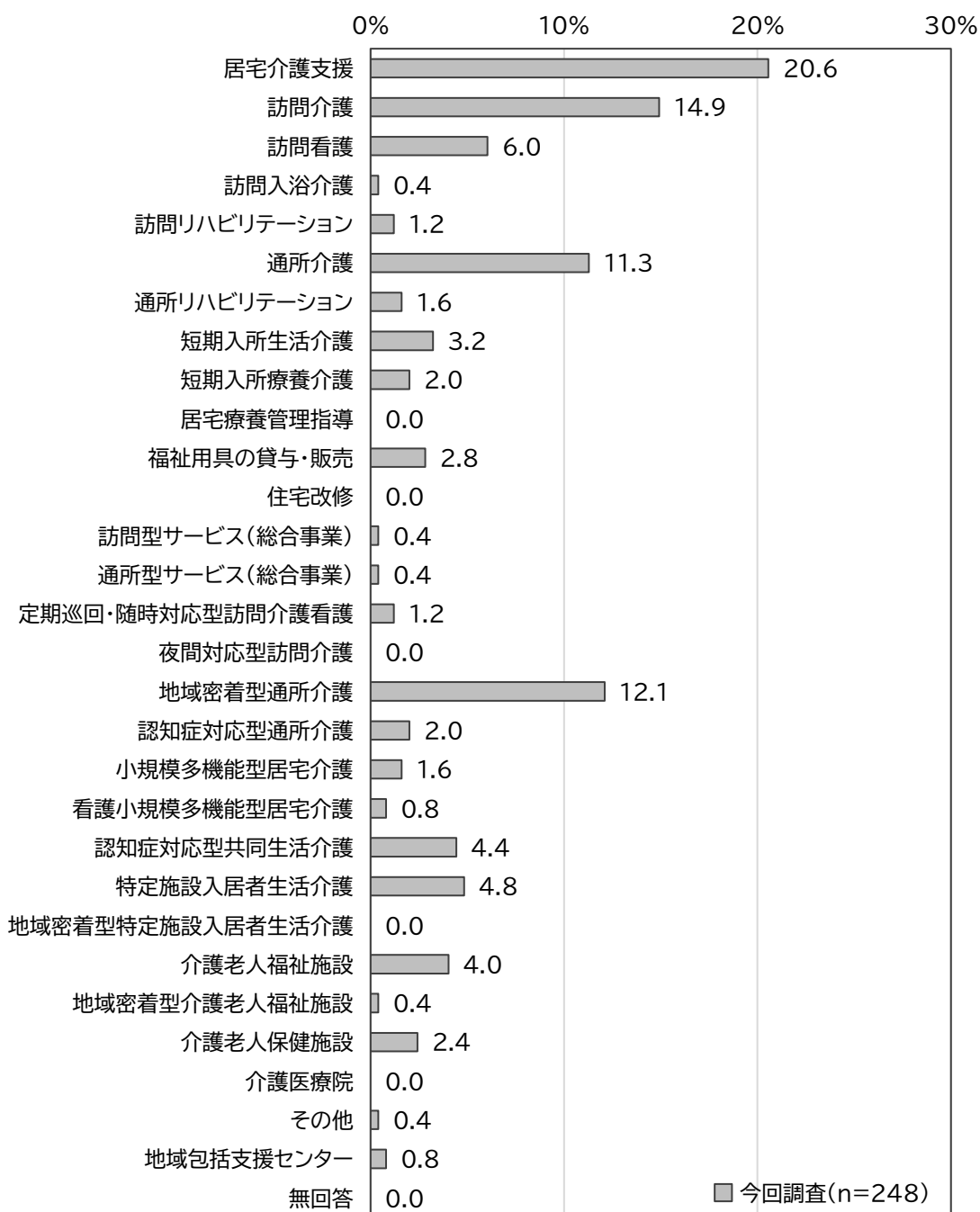
第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

1. 回答事業所の属性

(1) 回答事業所のサービスの種類

サービスの種類については、「居宅介護支援」が20.6%と最も高く、次いで「訪問介護」が14.9%、「地域密着型通所介護」が12.1%となっています。

図表 4-1-1 サービスの種類



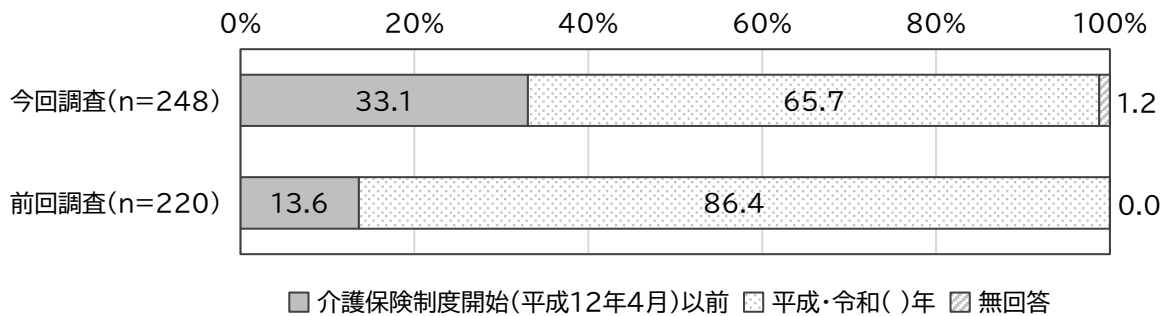
(2) 事業所開設時期

問1 貴事業所が開設されたのはいつですか。(〇は1つ)

事業所の開設時期については、「介護保険制度開始（平成12年4月）以前」が33.1%、「平成・令和（ ）年」が65.7%となっています。

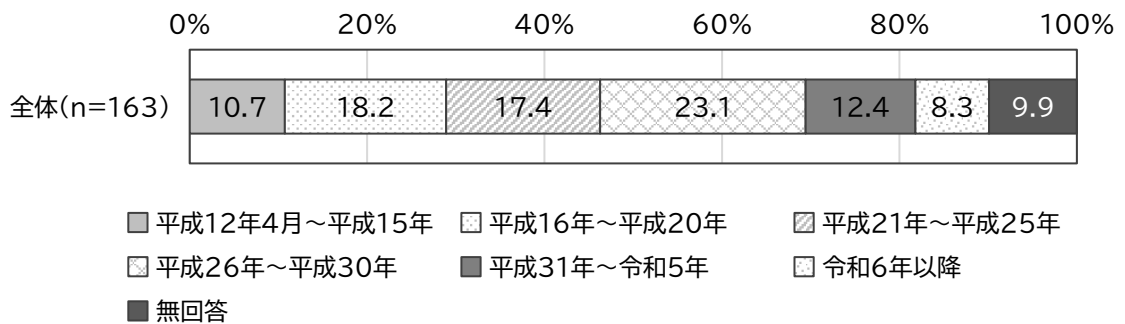
前回調査と比較すると、「介護保険制度開始（平成12年4月）以前」(33.1%)では、前回調査(13.6%)より19.5ポイント増加しています。

図表 4-1-2 事業所の開設時期



介護保険制度開始（平成12年4月）以降に開設した事業所の開設時期については、「平成26年～平成30年」が23.1%と最も高く、次いで「平成16年～平成20年」が18.2%、「平成21～平成25年」が17.4%と続いています。

図表 4-1-3 事業所の開設時期 介護保険制度開始（平成12年4月）以降



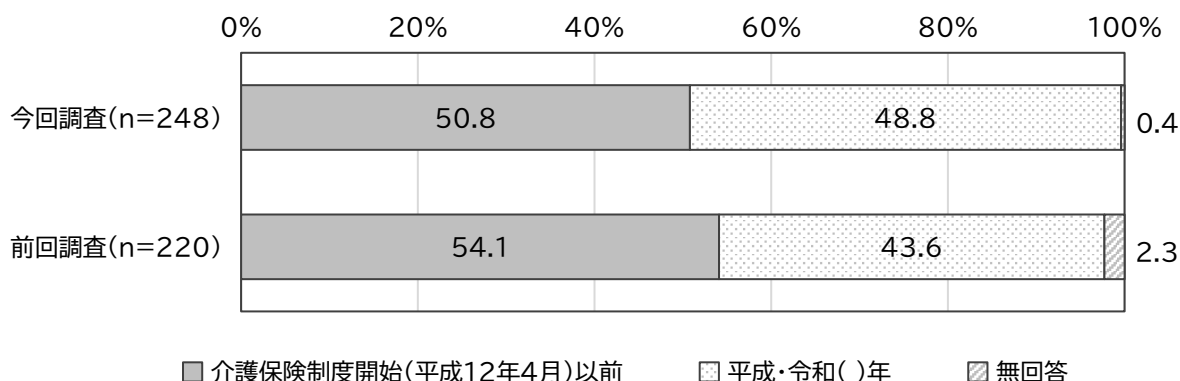
(3) 法人の開設時期

問2 貴法人が開設されたのはいつですか。(〇は1つ)

法人の開設時期については、「介護保険制度開始(平成12年4月)以前」が50.8%、「平成・令和()年」が48.8%となっています。

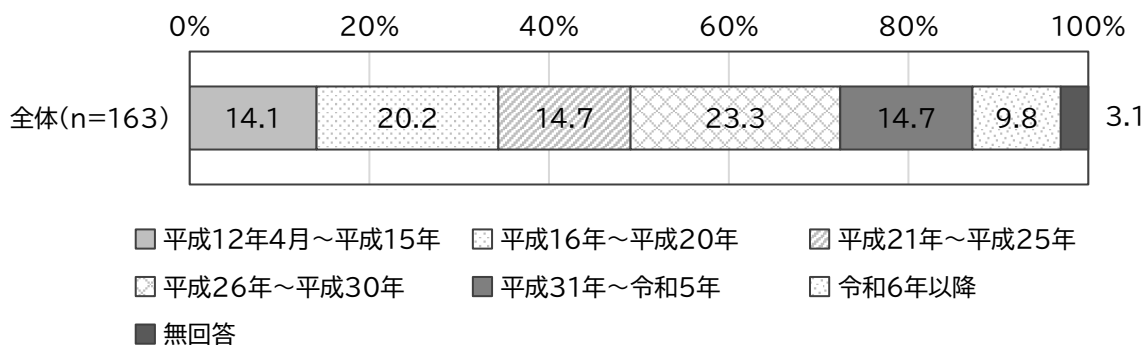
前回調査と比較すると、「平成・令和()年」(48.8%)では、前回調査(43.6%)より5.2ポイント増加しています。

図表 4-1-4 法人の開設時期



介護保険制度開始(平成12年4月)以降に開設した法人の開設時期については、「平成26年~平成30年」が23.3%と最も高く、次いで「平成16年~平成20年」が20.2%、「平成21~25年」と「平成31~令和5年」がともに17.4%となっています。

図表 4-1-5 法人の開設時期 介護保険制度開始(平成12年4月)以降



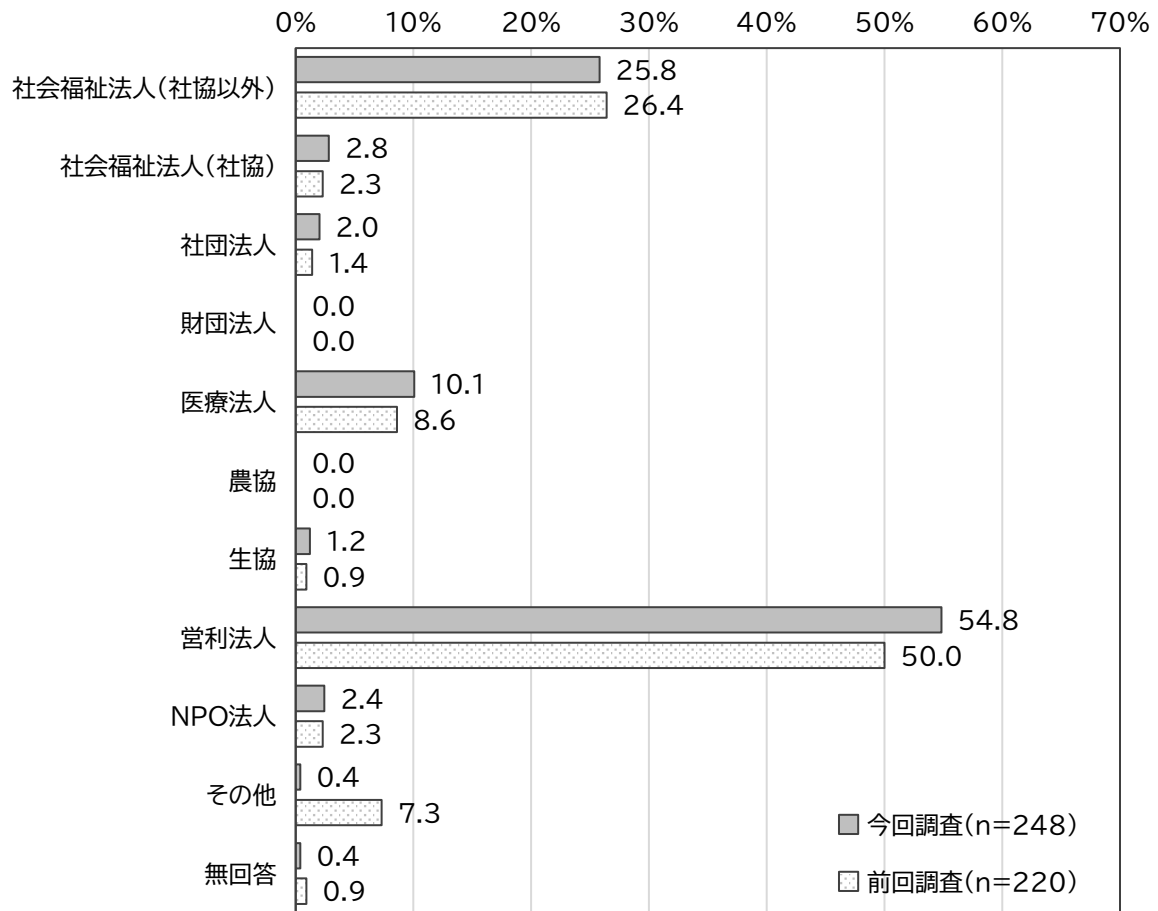
(4) 法人の組織形態

問3 貴法人の組織形態は次のうちどれですか。(〇は1つ)

法人の組織形態については、「営利法人」が54.8%と最も高く、次いで「社会福祉法人(社協以外)」が25.8%、「医療法人」が10.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「営利法人」(54.8%)では、前回調査(50.0%)より4.8ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-6 法人の組織形態

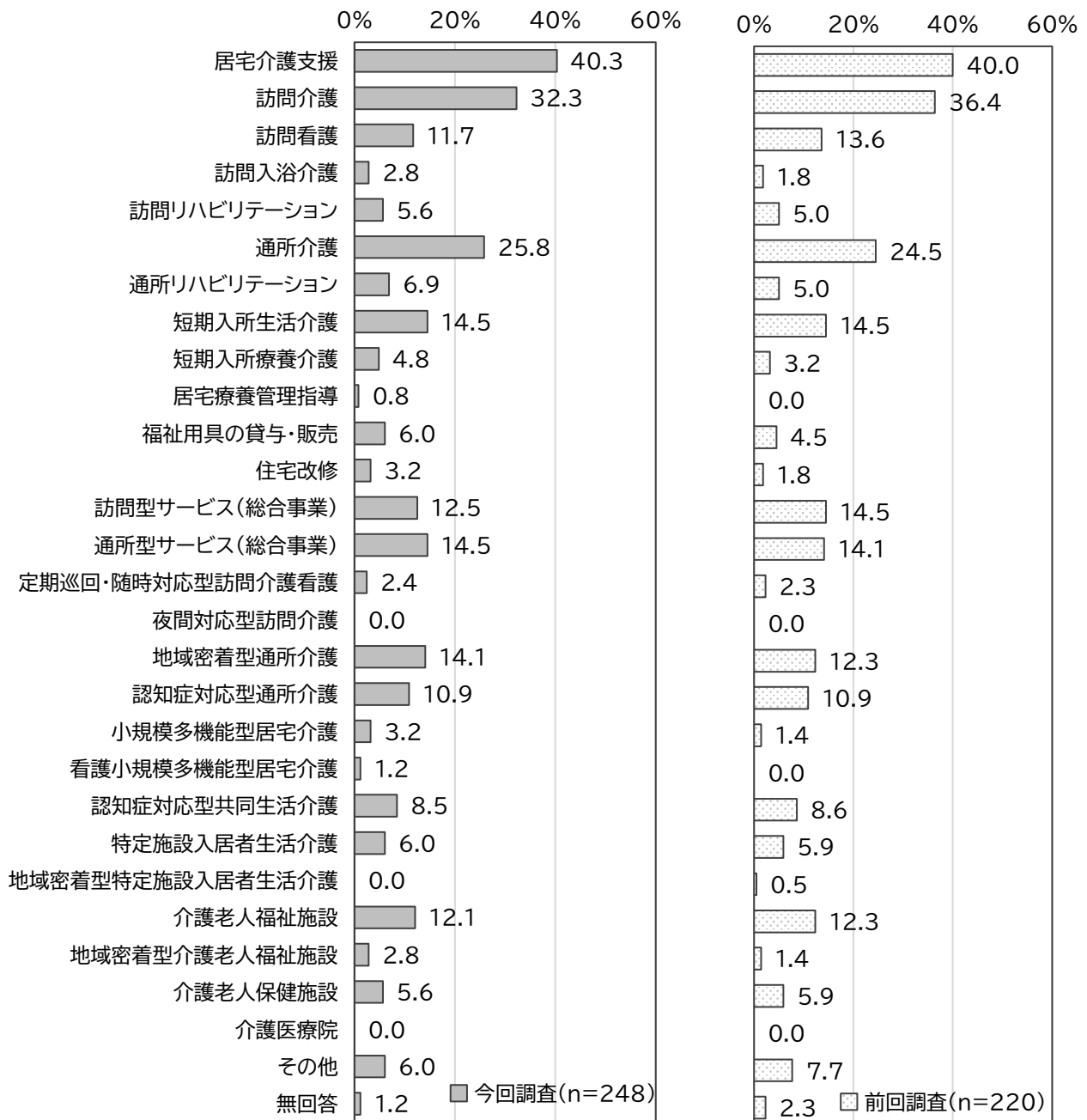


(5) 事業所及び併設事業所で提供している介護保険サービスの種類

問4 貴事業所及び併設事業所において提供している介護保険サービス（総合事業を含む）は何ですか。（〇はいくつでも）※ この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

事業所及び併設事業所において提供している介護保険サービスの種類については、「居宅介護支援」が40.3%と最も高く、次いで「訪問介護」が32.3%、「通所介護」が25.8%と続いています。前回調査と比較すると、大きな差はありません。

図表 4-1-7 事業所及び併設事業所で提供している保健サービスの種類



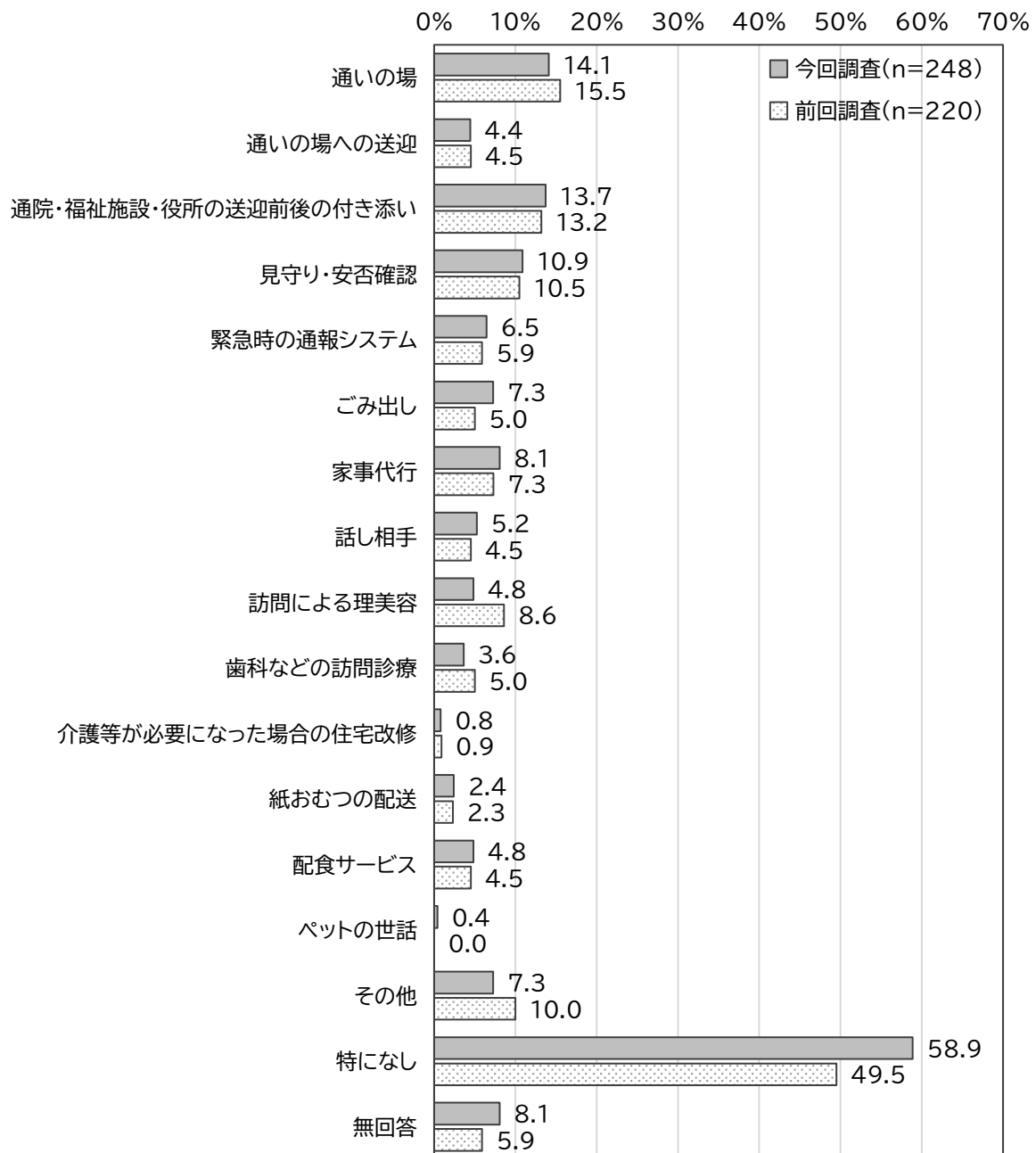
(6) 実施している介護保険サービス以外の事業

問5 貴事業所及び併設事業所では、高齢者向けに介護保険サービス（総合事業を含む）以外の事業も実施していますか。当てはまるものをお答えください。（〇はいくつでも）

実施している介護保険サービス以外の事業については、「特になし」が58.9%と最も高く、次いで「通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流など）」が14.1%、「通院・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い」が13.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「特になし」（58.9%）では、前回調査（49.5%）より9.4ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-1-8 実施している介護保険サービス以外の事業



2. サービスの提供体制について

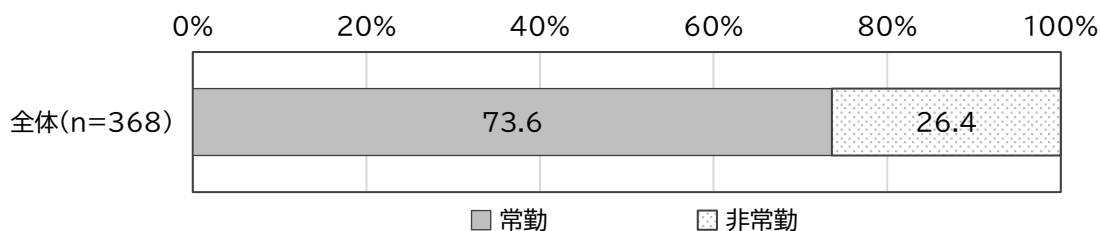
(1) スタッフの人員構成

問6 貴事業所のスタッフの人員構成について教えてください。(令和7年11月1日現在)
注1) 2つ以上に当てはまる方については、主に従事している業務を1つ選んでください。

① 介護支援専門員

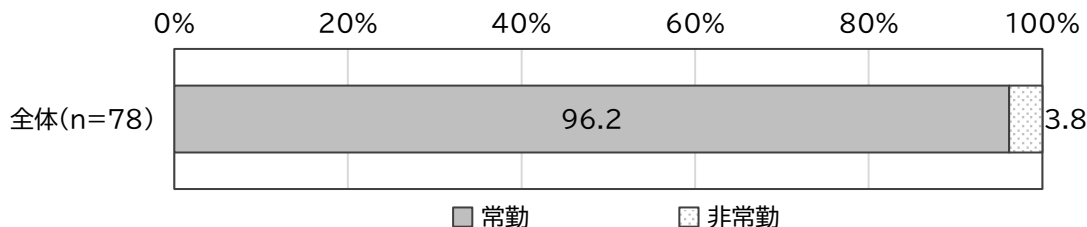
介護支援専門員については、「常勤」が73.6%、「非常勤」が26.4%となっています。

図表 4-2-1 スタッフの人員構成 ①介護支援専門員



うち主任介護支援専門員については、「常勤」が96.2%、「非常勤」が3.8%となっています。

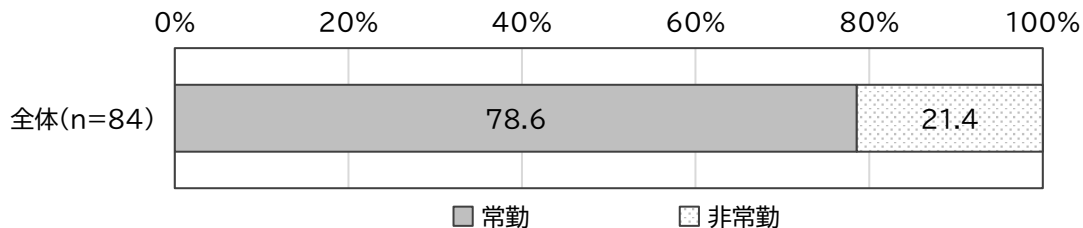
図表 4-2-2 スタッフの人員構成 ①介護支援専門員のうち主任介護支援専門員



② 社会福祉士

社会福祉士については、「常勤」が78.6%、「非常勤」が21.4%となっています。

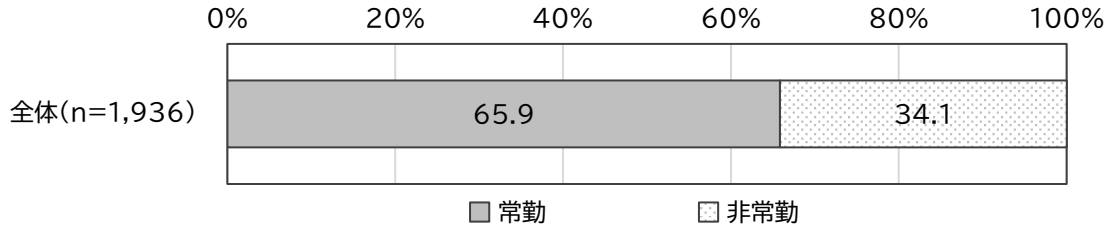
図表 4-2-3 スタッフの人員構成 ②社会福祉士



③ 介護福祉士

介護福祉士については、「常勤」が65.9%、「非常勤」が34.1%となっています。

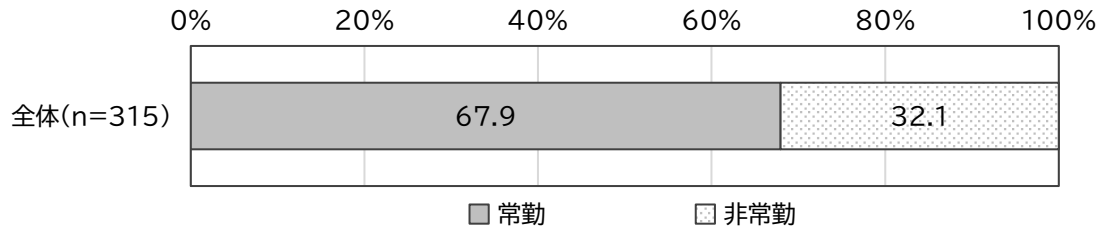
図表 4-2-4 スタッフの人員構成 ③介護福祉士



④ 介護福祉士実務者研修修了者

介護福祉士実務者研修修了者については、「常勤」が67.9%、「非常勤」が32.1%となっています。

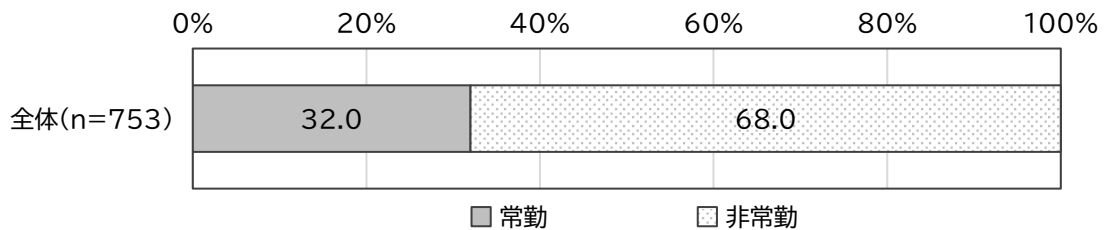
図表 4-2-5 スタッフの人員構成 ④介護福祉士実務者研修修了者



⑤ 介護職員初任者研修修了者

介護職員初任者研修修了者については、「常勤」が32.0%、「非常勤」が68.0%となっています。

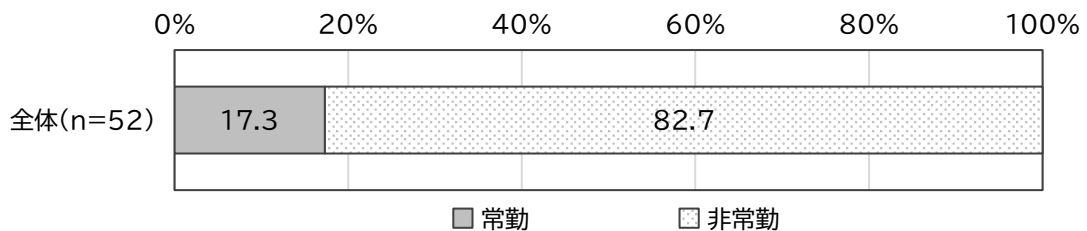
図表 4-2-6 スタッフの人員構成 ⑤介護職員初任者研修修了者



⑥ 生活支援サポーター

生活支援サポーターについては、「常勤」が17.3%、「非常勤」が82.7%となっています。

図表 4-2-7 スタッフの人員構成 ⑥生活支援サポーター

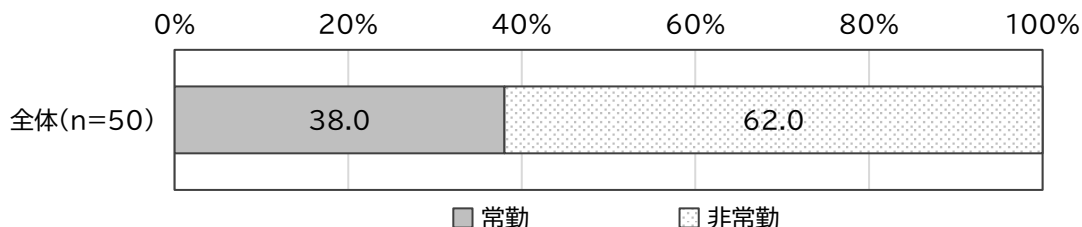


第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

⑦ 医師・歯科医師

医師・歯科医師については、「常勤」が38.0%、「非常勤」が62.0%となっています。

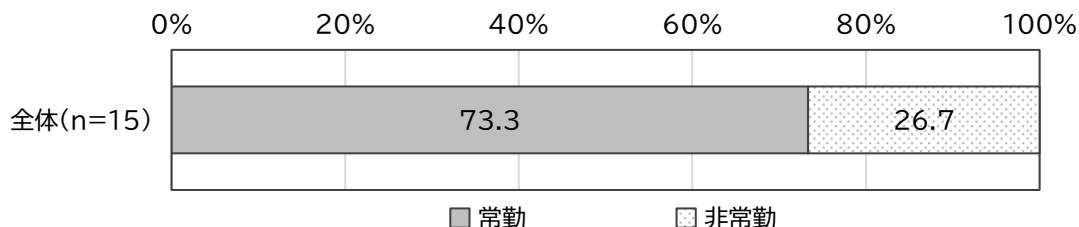
図表 4-2-8 スタッフの人員構成 ⑦医師・歯科医師



⑧ 保健師

保健師については、「常勤」が73.3%、「非常勤」が26.7%となっています。

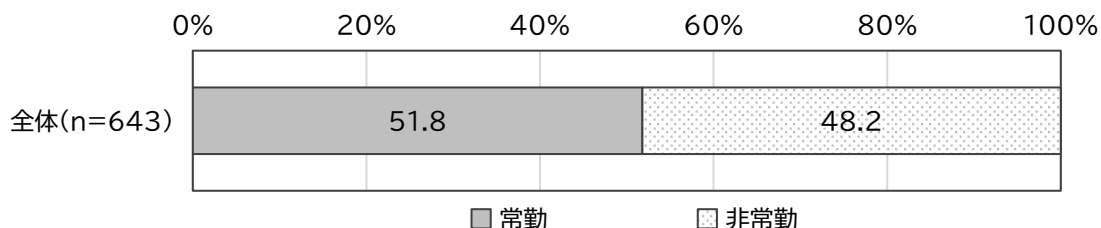
図表 4-2-9 スタッフの人員構成 ⑧保健師



⑨ 看護師・准看護師

看護師・准看護師については、「常勤」が51.8%、「非常勤」が48.2%となっています。

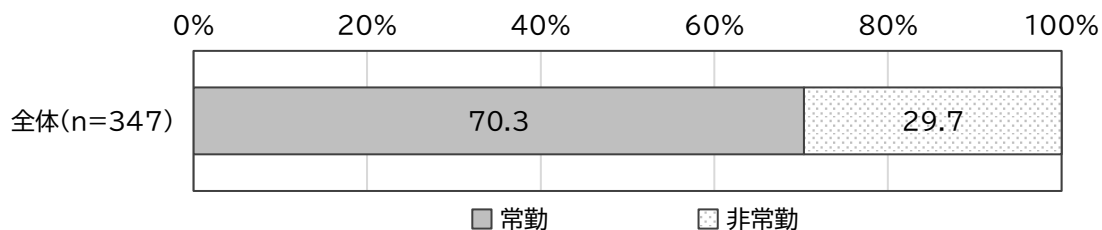
図表 4-2-10 スタッフの人員構成 ⑨看護師・准看護師



⑩ 作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・柔道整復師等

作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・柔道整復師等については、「常勤」が70.3%、「非常勤」が29.7%となっています。

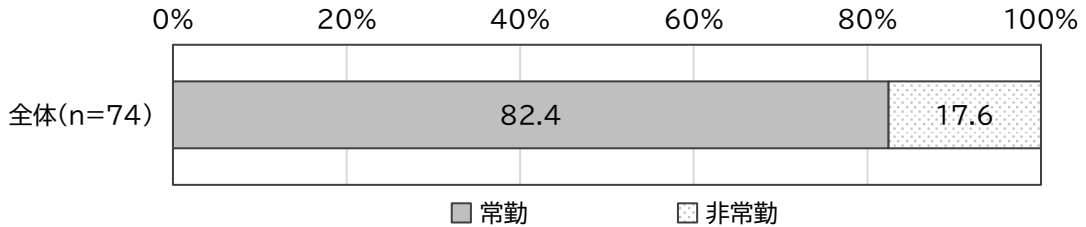
図表 4-2-11 スタッフの人員構成 ⑩作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・柔道整復師等



⑪ 栄養士・管理栄養士

栄養士・管理栄養士については、「常勤」が82.4%、「非常勤」が17.6%となっています。

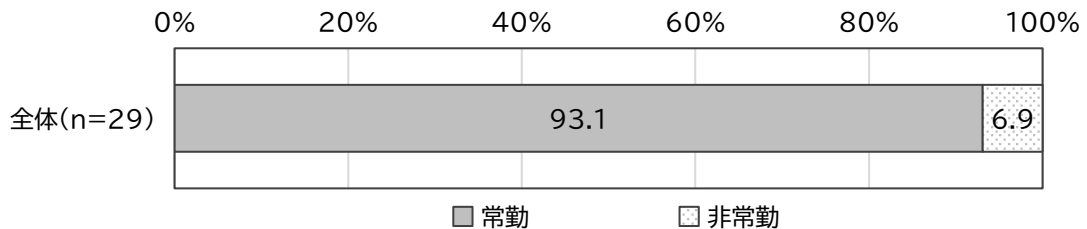
図表 4-2-12 スタッフの人員構成 ⑪栄養士・管理栄養士



⑫ 福祉用具専門相談員

福祉用具専門相談員については、「常勤」が93.1%、「非常勤」が6.9%となっています。

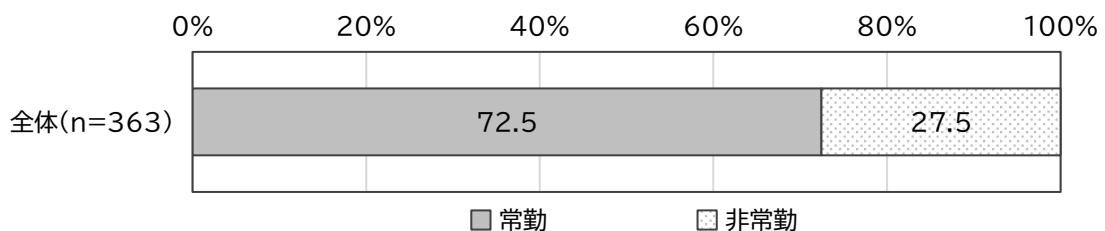
図表 4-2-13 スタッフの人員構成 ⑫福祉用具専門相談員



⑬ 管理職・事務職

管理職・事務職については、「常勤」が72.5%、「非常勤」が27.5%となっています。

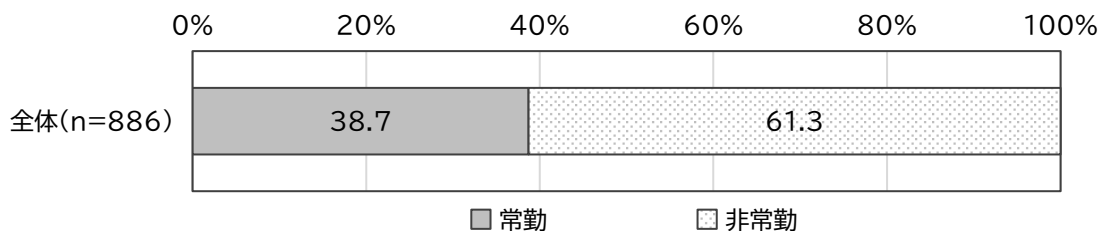
図表 4-2-14 スタッフの人員構成 ⑬管理職・事務職



⑭ その他

その他については、「常勤」が38.7%、「非常勤」が61.3%となっています。

図表 4-2-15 スタッフの人員構成 ⑭その他

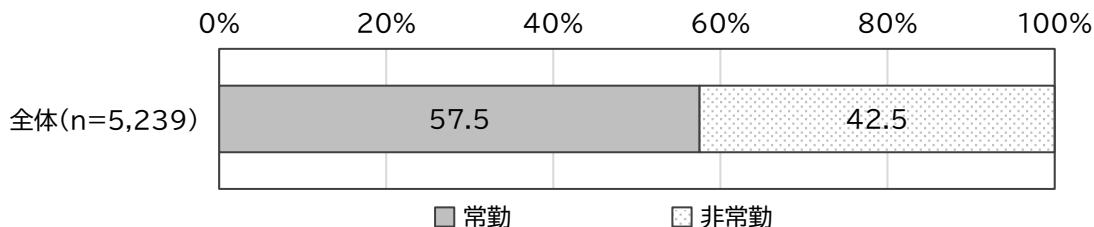


第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

⑮ 合計

合計については、「常勤」が57.5%、「非常勤」が42.5%となっています。

図表 4-2-16 スタッフの人員構成 ⑮合計



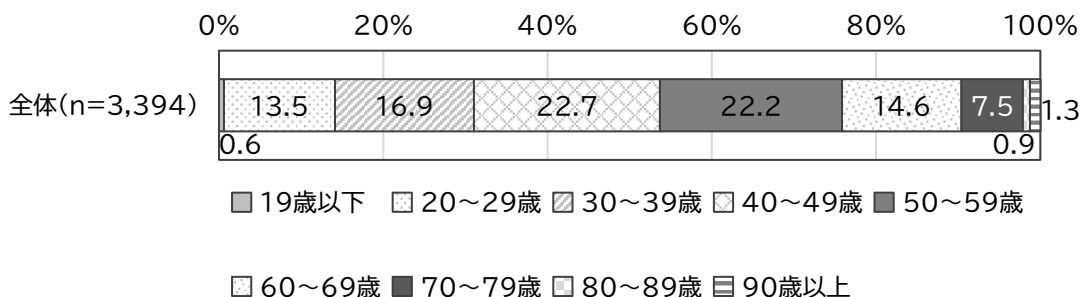
(2) スタッフの年齢構成

問7 貴事業所のスタッフの年齢構成についてお教えてください。(令和7年11月1日現在)

① 介護職員

介護職員の年齢構成については、「40～49歳」が22.7%と最も高く、次いで「50～59歳」が22.2%、「30～39歳」が16.9%と続いています。

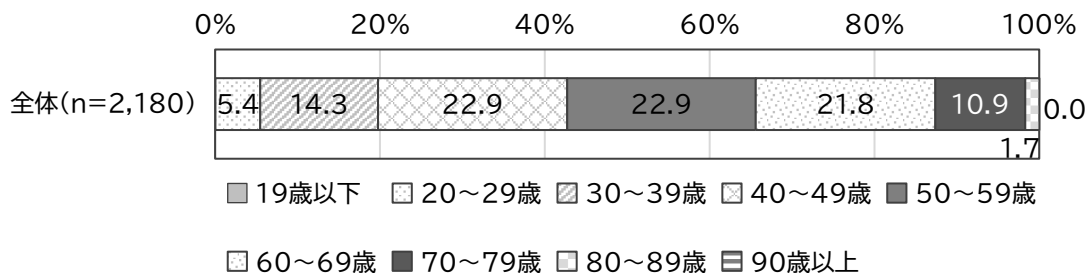
図表 4-2-17 スタッフの年齢構成 ①介護職員



② 介護職員以外

介護職員以外の年齢構成については、「40～49歳」と「50～59歳」がともに22.9%と最も高く、次いで「60～69歳」が21.8%と続いています。

図表 4-2-18 スタッフの年齢構成 ②介護職員以外



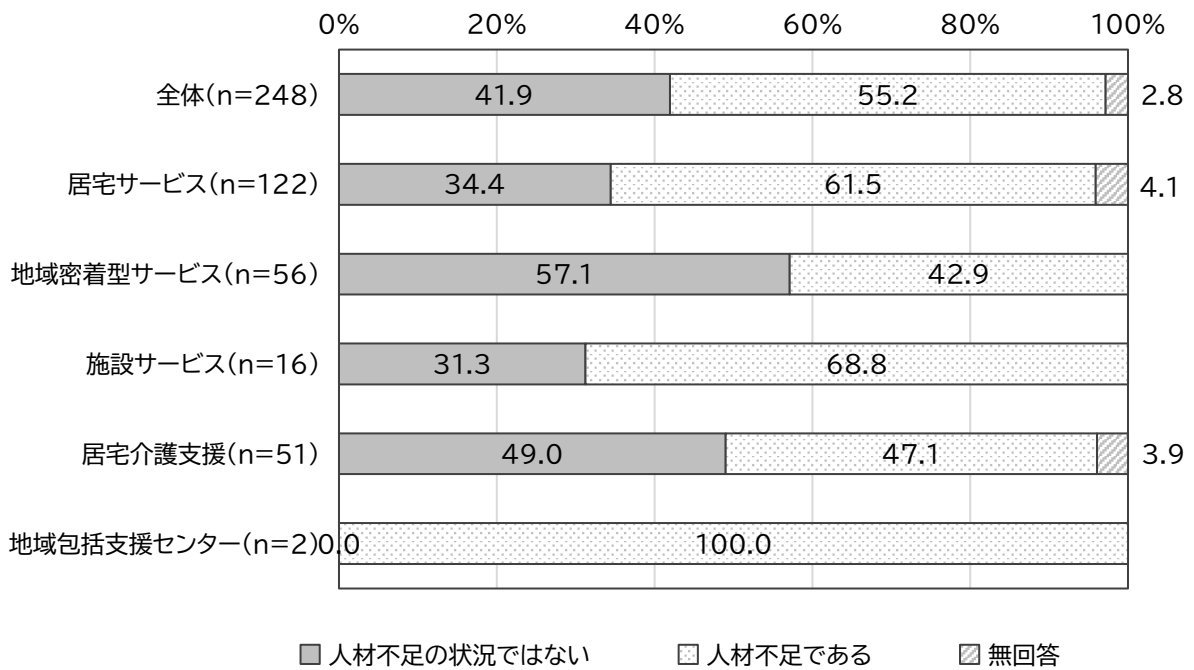
(3) 人材不足の状況

問8 人材不足の状況と人材不足によるサービス提供への影響があればお答えください。
(〇は1つ)

人材不足の状況については、「人材不足である」が55.2%、「人材不足の状況ではない」が41.9%となっています。

サービス分類別でみると、「人材不足である」では、地域包括支援センターが100%と最も高くなっています。

図表 4-2-19 人材不足の状況



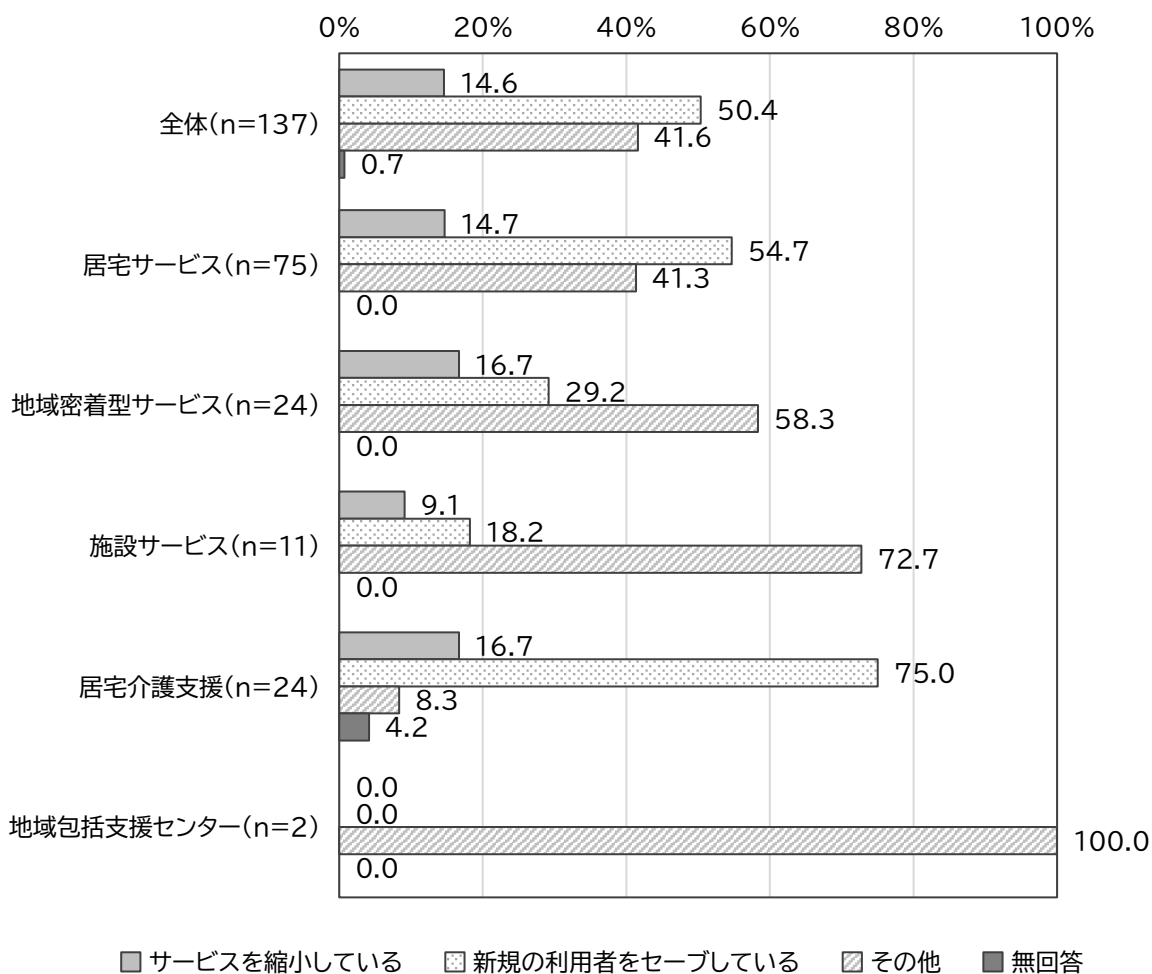
(4) 人材不足によるサービス提供への影響

【問8で「2. 人材不足である」とお答えになった方におたずねします。】
 問8-1 サービス提供への影響状況をお答えください。(〇はいくつでも)

サービス提供への影響状況については、「新規の利用者をセーブしている」が50.4%、「その他」が41.6%、「サービスを縮小している」が14.6%となっています。その他の内容では、「人員配置を工夫する」などがありました。

サービス分類別でみると、「新規の利用者をセーブしている」では、居宅介護支援が75.0%と最も高くなっています。

図表 4-2-20 人材不足によるサービス提供への影響



(5) 職種別従業者の過不足感

問9 事業所の従業者の過不足感を職種別に教えてください。(それぞれ○はひとつ)

事業所の従業者の職種別過不足感について、「適切」では⑤看護職員が24.6%と最も高く、次いで⑦介護支援専門員が23.0%、⑥生活/支援相談員が22.6%と続いています。

「大いに不足」「不足」「やや不足」を合わせた『不足』では、①介護職員(介護福祉士)が41.5%と最も高く、次いで②介護職員(介護福祉士以外)が37.9%、⑤看護職員が26.2%の順になっています。

図表 4-2-21 職種別従業者の過不足感

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職員はいない	無回答	参考△不足▽
①介護職員(介護福祉士)	248	11.7	13.7	16.1	18.1	0.4	27.4	12.5	41.5
②介護職員(介護福祉士以外)	248	10.1	10.5	17.3	20.2	0.4	29.0	12.5	37.9
③訪問介護員(介護福祉士)	248	9.7	4.4	4.8	4.4	0.0	60.1	16.5	18.9
④訪問介護員(介護福祉士以外)	248	8.5	6.5	5.2	3.6	0.0	60.5	15.7	20.2
⑤看護職員	248	2.4	10.5	13.3	24.6	0.0	34.7	14.5	26.2
⑥生活/支援相談員	248	1.2	6.9	10.1	22.6	0.4	41.9	16.9	18.2
⑦介護支援専門員	248	2.8	8.5	13.7	23.0	0.4	37.9	13.7	25.0
⑧サービス提供責任者	248	5.6	3.2	4.4	12.1	0.4	58.1	16.1	13.2

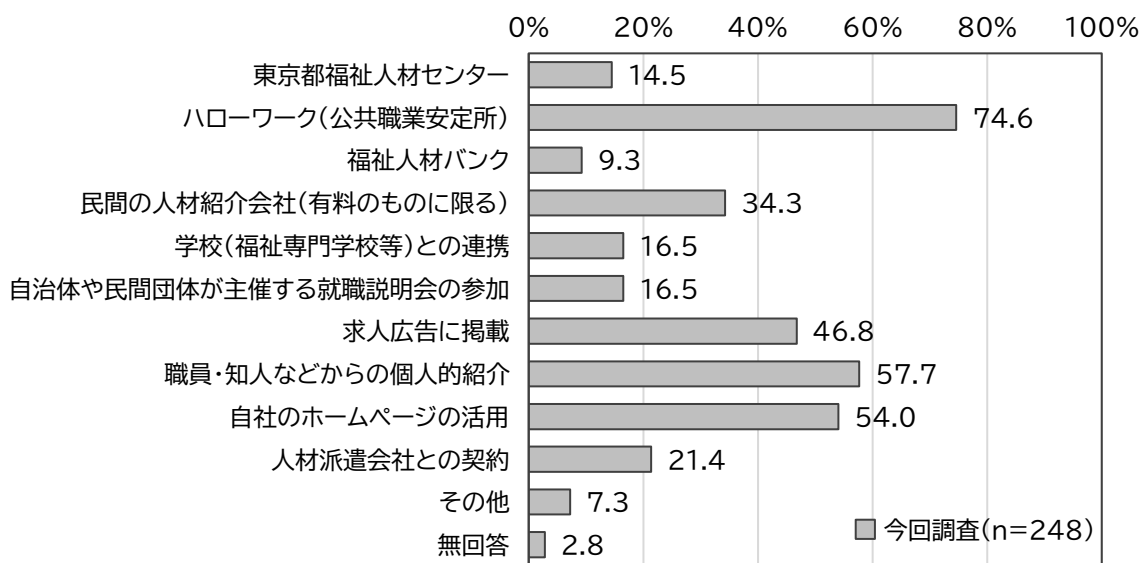
3. 介護人材の確保・育成について

(1) 従業者の募集方法

問10 従業者の募集方法として利用しているものを教えてください。(〇はいくつでも)

従業者の募集方法として利用しているものについては、「ハローワーク（公共職業安定所）」が74.6%と最も高く、次いで「職員・知人などからの個人的紹介」が57.7%、「自社ホームページの活用」が54.0%と続いています。

図表 4-3-1 従業者の募集方法



サービス分類別にみると、すべてのサービス分類で「ハローワーク（公共職業安定所）」が高い割合になっています。

図表 4-3-2 従業者の募集方法 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

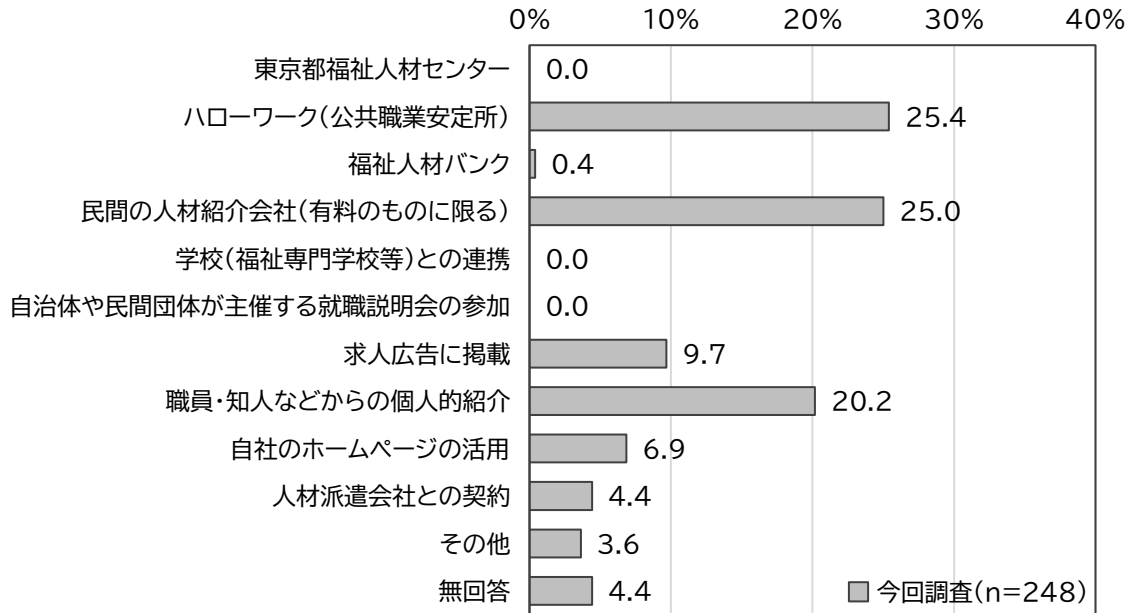
サービス分類別	合計	東京都福祉人材センター	ハローワーク(公共職業安定所)	福祉人材バンク	民間の人材紹介会社(有料のものに限る)	学校(福祉専門学校等)との連携	自治体や民間団体が主催する就職説明会の参加	求人広告に掲載	職員・知人などからの個人的紹介	自社のホームページの活用	人材派遣会社との契約	その他	無回答	
		全体	248	14.5	74.6	9.3	34.3	16.5	16.5	46.8	57.7	54.0	21.4	7.3
サービス分類別	居宅サービス	122	13.9	73.8	8.2	36.1	13.9	16.4	51.6	63.1	59.8	20.5	5.7	4.9
	地域密着型サービス	56	14.3	80.4	5.4	33.9	16.1	14.3	53.6	51.8	57.1	26.8	7.1	0.0
	施設サービス	16	18.8	93.8	25.0	37.5	56.3	37.5	62.5	68.8	75.0	56.3	12.5	0.0
	居宅介護支援	51	13.7	62.7	11.8	31.4	11.8	13.7	23.5	49.0	31.4	7.8	9.8	2.0
	地域包括支援センター	2	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(2) 採用実績の高い募集方法

問10-1 上記のうち、最も採用実績の高い方法を教えてください。

最も採用実績の高い方法については、「ハローワーク（公共職業安定所）」が25.4%と最も高く、次いで「民間の人材紹介会社（有料のものに限る）」が25.0%、「職員・知人などからの個人的紹介」が20.2%と続いています。

図表 4-3-3 採用実績の高い募集方法



サービス分類別にみると、「ハローワーク（公共職業安定所）」では居宅介護支援が27.5%と高く、「民間の人材紹介会社（有料のものに限る）」では施設サービスが31.3%と高い割合になっています。

図表 4-3-4 採用実績の高い募集方法 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

サービス分類別	募集方法	合計	東京都福祉人材センター	ハローワーク(公共職業安定所)	福祉人材バンク	民間の人材紹介会社(有料のものに限る)	学校(福祉専門学校等)との連携	自治体や民間団体が主催する就職説明会の参加	求人広告に掲載	職員・知人などからの個人的紹介	自社のホームページの活用	人材派遣会社との契約	その他	無回答
		実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	実数
全体		248	0.0	25.4	0.4	25.0	0.0	0.0	9.7	20.2	6.9	4.4	3.6	4.4
サービス分類別	居宅サービス	122	0.0	24.6	0.0	25.4	0.0	0.0	10.7	21.3	7.4	2.5	1.6	6.6
	地域密着型サービス	56	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	17.9	16.1	7.1	7.1	0.0	1.8
	施設サービス	16	0.0	25.0	0.0	31.3	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	18.8	12.5	0.0
	居宅介護支援	51	0.0	27.5	2.0	21.6	0.0	0.0	2.0	23.5	7.8	2.0	9.8	3.9
	地域包括支援センター	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

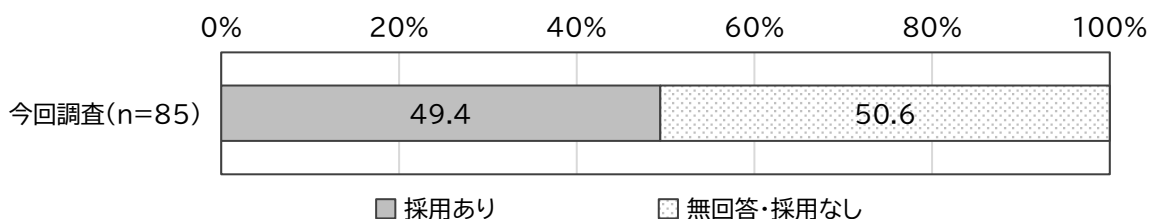
第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

(3) 民間人材紹介会社からの紹介状況

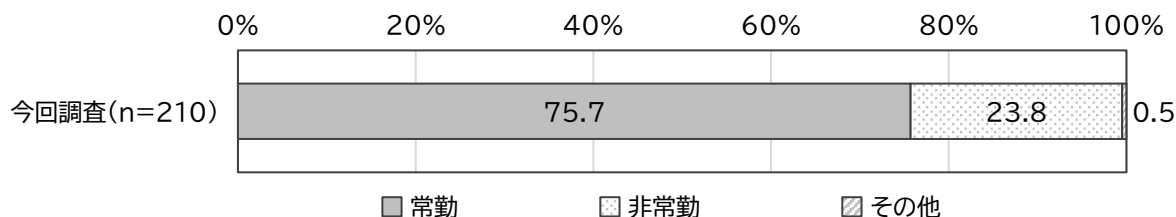
【問10で「4. 民間の人材紹介会社」とお答えになった方におたずねします。】
 問10-2 令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）に民間の人材紹介会社からの紹介で採用した人数と、かかった紹介料を教えてください。

民間の人材紹介会社を利用している事業所のうち、採用につながった事業所は49.4%でした。また採用者の就業状況については、「常勤」が75.7%、「非常勤」が23.8%となっています。民間の人材紹介会社からの採用時にかかった紹介料は「200万円以上500万円未満」が26.2%と最も高く、次いで「100万円未満」が21.4%となっています。

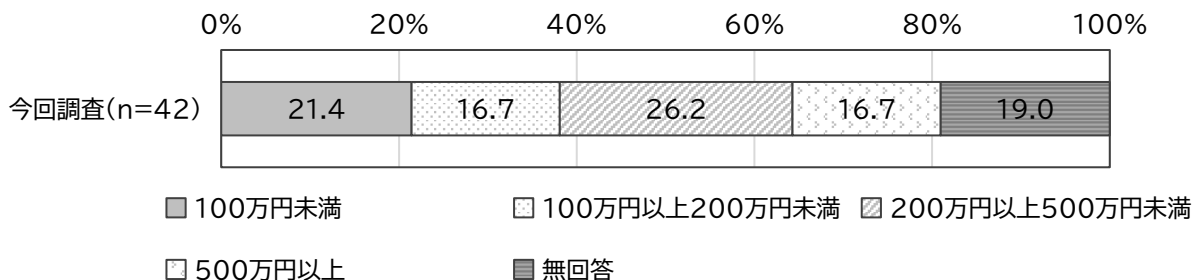
図表 4-3-5 民間人材紹介会社からの採用状況



図表 4-3-6 民間人材紹介会社からの採用者の内訳



図表 4-3-7 民間人材紹介会社からの採用時紹介料

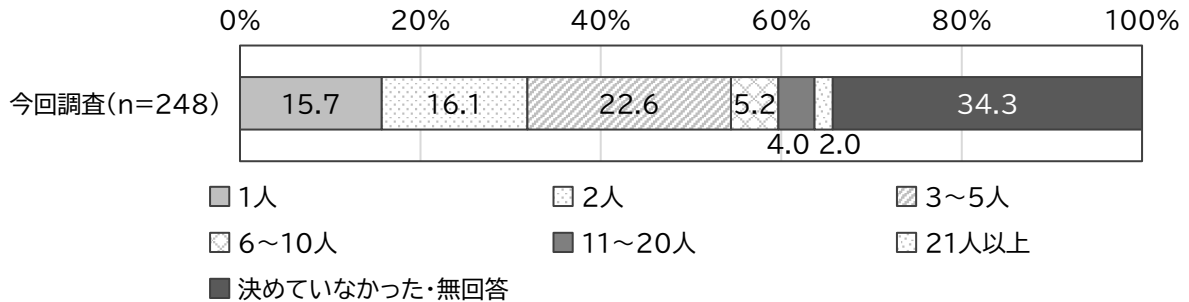


(4) 採用希望人数と採用人数

問11 貴事業所において、令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）に採用を希望していた人数及び実際に採用した従業員の採用経路ごとの人数を教えてください。

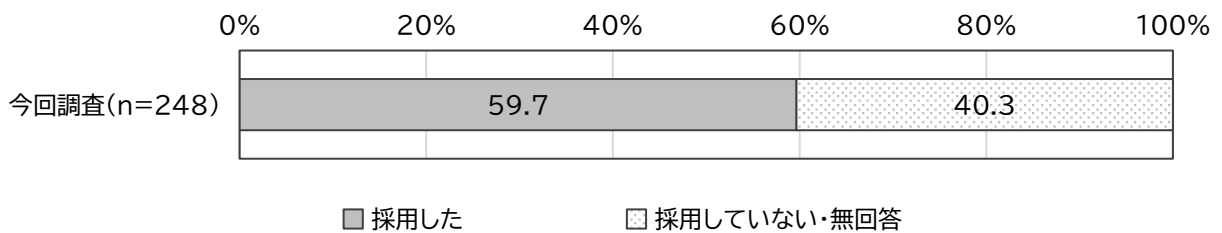
採用希望人数では、「3～5人」が22.6%と最も高く、次いで「2人」が16.1%、「1人」が15.7%となっており、すべての回答事業所の採用希望人数は738人となっています。

図表 4-3-8 採用希望人数



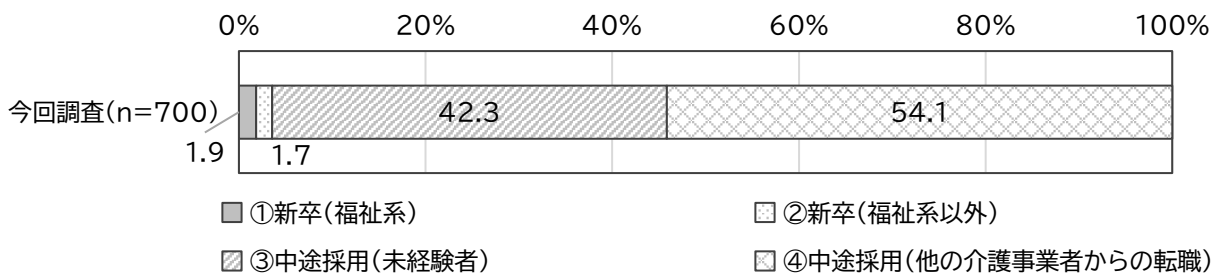
従業員を採用した事業所の割合は、59.7%となっています。

図表 4-3-9 従業員の採用状況



また、令和6年度に採用された従業員数は700人で、採用した従業員の採用経路では、「中途採用（他の介護事業者からの転職）」が54.1%と最も多く、次いで「③中途採用（未経験者）」が42.3%となっており、新卒の採用は3.6%となっています。

図表 4-3-10 採用者の採用経路

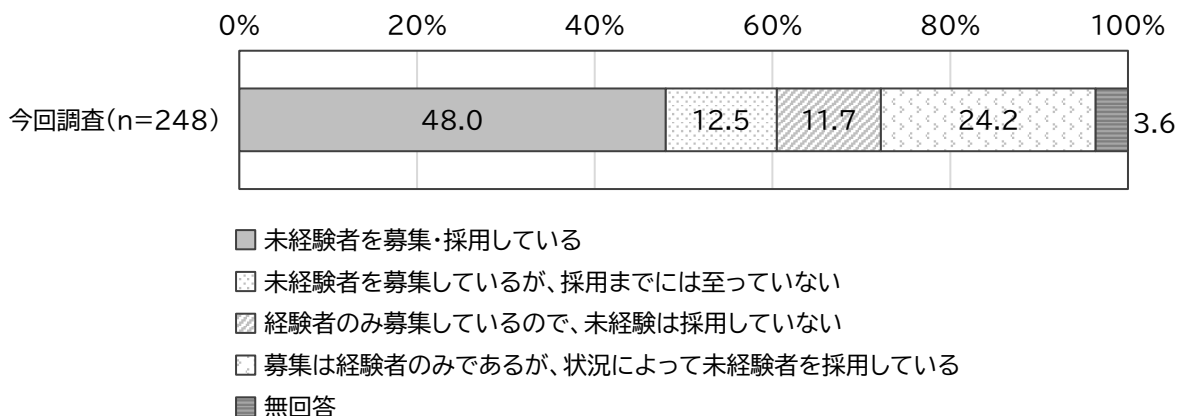


(5) 未経験者の募集・採用について

問12 未経験者の募集・採用についてお答えください。(○は1つ)

未経験者の募集・採用については、「未経験者を募集・採用している」が48.0%と最も高く、次いで「募集は経験者のみであるが、状況によって未経験者を採用している」が24.2%、「未経験者を募集しているが、採用までには至っていない」が12.5%と続いています。

図表 4-3-11 未経験者の募集・採用について



サービス分類別にみると、「未経験者を募集・採用している」では、施設サービスで56.3%と高く、「募集は経験者のみであるが、状況によって未経験者を採用している」では、地域包括支援センターで100%となっています。

図表 4-3-12 未経験者の募集・採用について サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

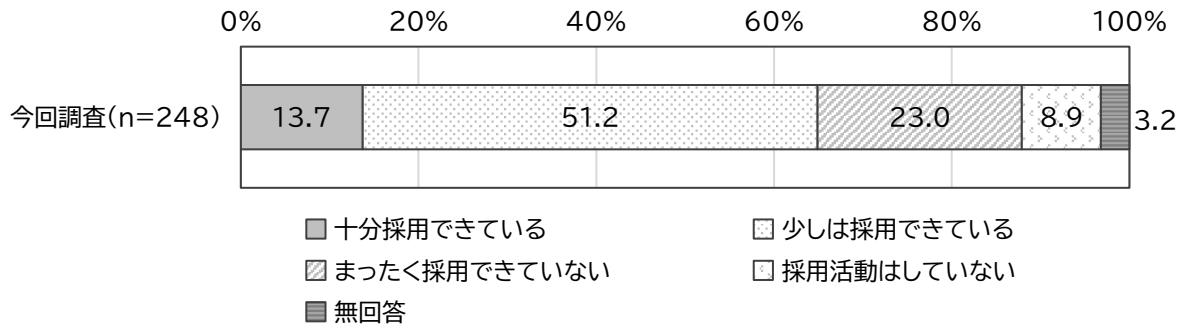
サービス分類別	合計	未経験者を募集・採用している	未経験者を募集しているが、採用までには至っていない	経験者のみ募集しているので、未経験は採用していない	募集は経験者のみであるが、状況によって未経験者を採用している	無回答	
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	
全体	248	48.0	12.5	11.7	24.2	3.6	
サービス分類別	居宅サービス	122	49.2	11.5	11.5	23.8	4.1
	地域密着型サービス	56	55.4	12.5	10.7	19.6	1.8
	施設サービス	16	56.3	12.5	12.5	18.8	0.0
	居宅介護支援	51	35.3	15.7	13.7	29.4	5.9
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(6) 採用の困難感について

問13 採用の困難感について、お答えください。(○は1つ)

採用の困難感については、「少しは採用できている」が51.2%と最も高く、次いで「まったく採用できていない」が23.0%、「十分採用できている」が13.7%と続いています。

図表 4-3-13 採用の困難感について



サービス分類別でみると、いずれも「少しは採用できている」が高い割合となっています。

図表 4-3-14 採用の困難感について サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

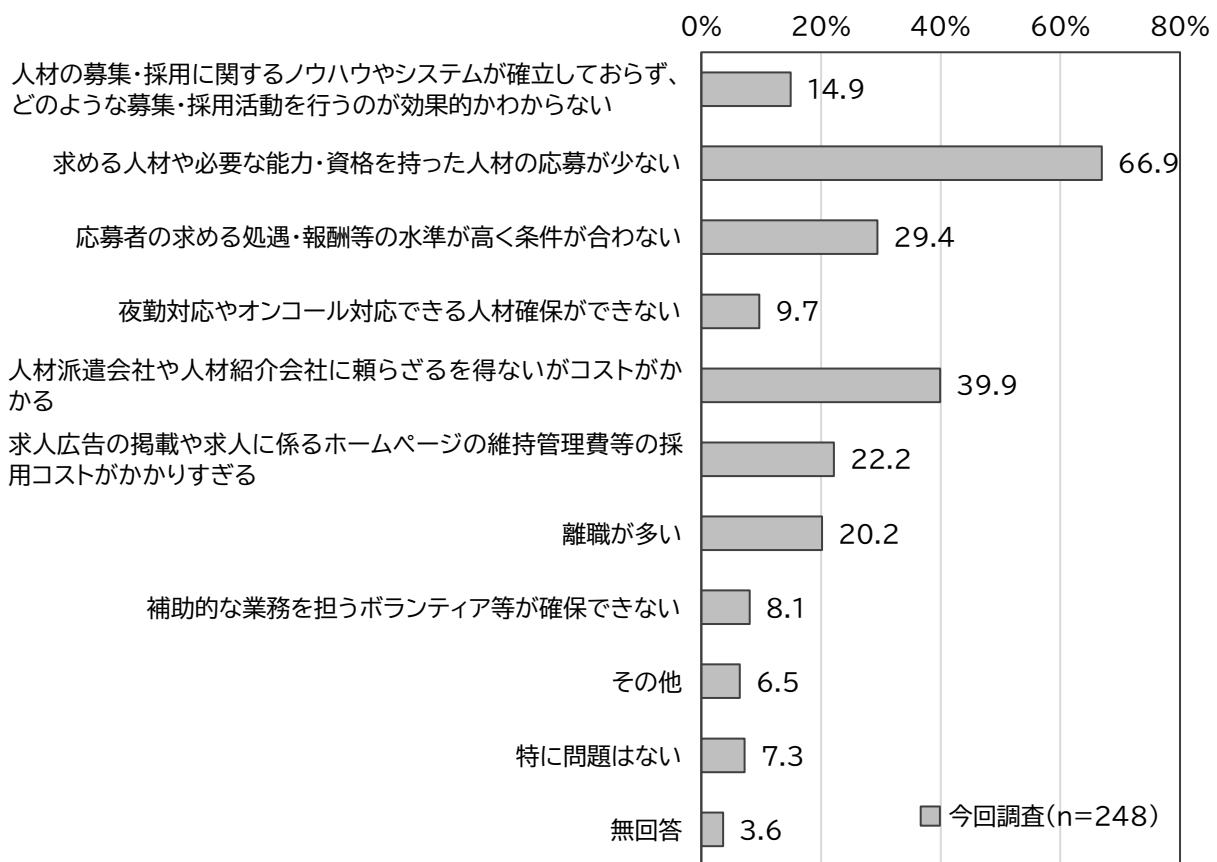
サービス分類別	合計	採用の困難感					
		十分採用できている	少しは採用できている	まったく採用できていない	採用活動はしていない	無回答	
全体	248	13.7	51.2	23.0	8.9	3.2	
サービス分類別	居宅サービス	122	16.4	50.8	23.8	5.7	3.3
	地域密着型サービス	56	12.5	62.5	16.1	8.9	0.0
	施設サービス	16	12.5	50.0	25.0	0.0	12.5
	居宅介護支援	51	7.8	41.2	27.5	19.6	3.9
	地域包括支援センター	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(7) 人材確保にあたっての課題

問14 人材を確保するにあたっての課題として、当てはまるものをお答えください。
(〇はいくつでも)

人材を確保するにあたっての課題については、「求める人材や必要な能力・資格を持った人材の応募が少ない」が66.9%と最も高く、次いで「人材派遣会社や人材紹介会社に頼らざるを得ないがコストがかかる」が39.9%、「応募者の求める処遇・報酬等の水準が高く条件が合わない」が29.4%と続いています。

図表 4-3-15 人材確保にあたっての課題



サービス分類別にみると、「求める人材や必要な能力・資格をもった人材の応募が少ない」が、いずれも高い割合になっています。

図表 4-3-16 人材確保にあたっての課題 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	人材の募集・採用に関するノウハウやシステムが確立しておらず、どのような募集・採用活動を行うのが効果的かわからない	求める人材や必要な能力・資格を持った人材の応募が少ない	応募者の求める処遇・報酬等の水準が高く条件が合わない	夜勤対応やオンコール対応できる人材確保ができない	人材派遣会社や人材紹介会社に頼らざるを得ないがコストがかかる	求人広告の掲載や求人に係るホームページの維持管理費等の採用コストがかかりすぎる
全体		248	14.9	66.9	29.4	9.7	39.9	22.2
サービス分類別	居宅サービス	122	16.4	66.4	27.9	10.7	36.9	23.8
	地域密着型サービス	56	14.3	67.9	33.9	7.1	44.6	23.2
	施設サービス	16	18.8	93.8	18.8	31.3	68.8	25.0
	居宅介護支援	51	11.8	56.9	29.4	3.9	35.3	17.6
	地域包括支援センター	2	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

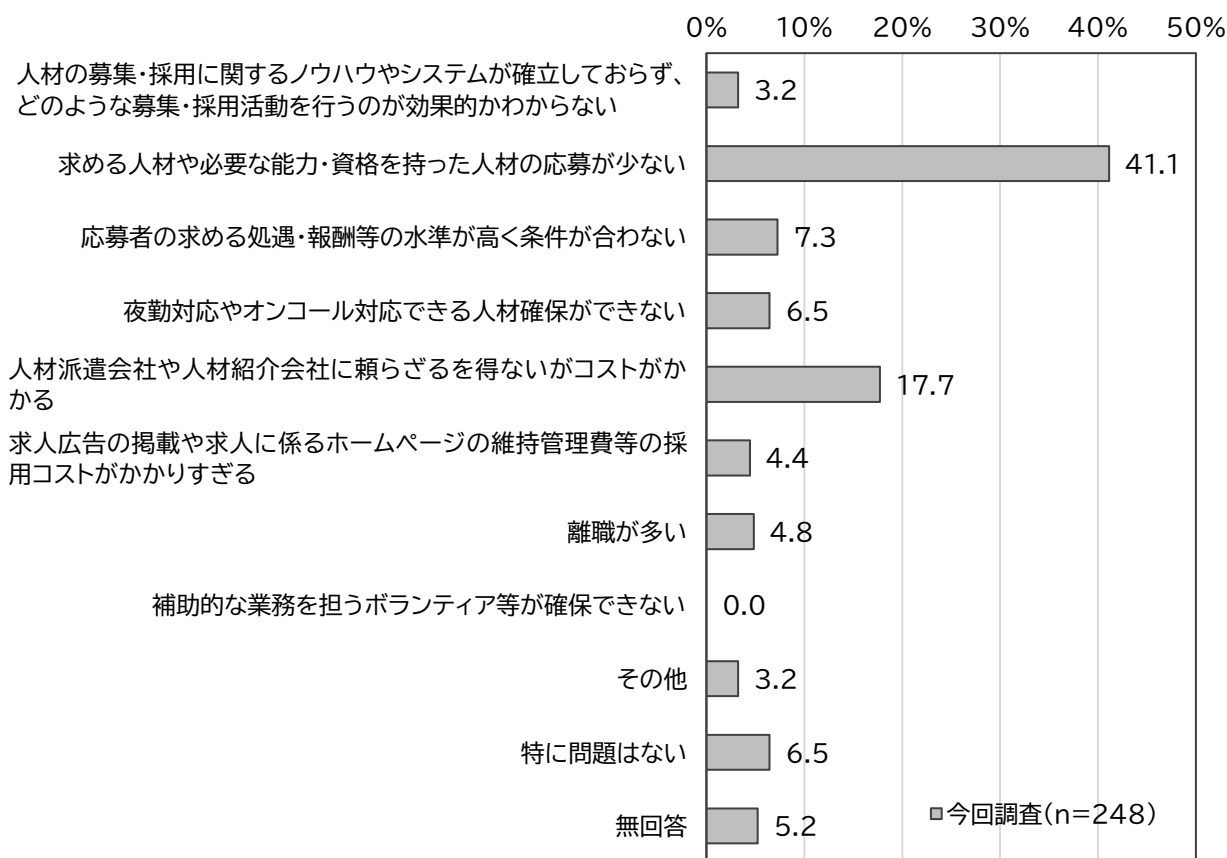
		合計	離職が多い	補助的な業務を担うボランティア等が確保できない	その他	特に問題はない	無回答
全体		248	20.2	8.1	6.5	7.3	3.6
サービス分類別	居宅サービス	122	17.2	4.9	5.7	6.6	4.9
	地域密着型サービス	56	28.6	7.1	3.6	7.1	1.8
	施設サービス	16	18.8	56.3	12.5	0.0	0.0
	居宅介護支援	51	19.6	0.0	9.8	11.8	3.9
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(8) 人材の確保に最も困難な課題

問14-1 上記のうち、最も困難な課題を教えてください。

人材を確保するにあたっての最も困難な課題については、「求める人材や必要な能力・資格を持った人材の応募が少ない」が41.1%と最も高く、次いで「人材派遣会社や人材紹介会社に頼らざるを得ないがコストがかかる」が17.7%、「応募者の求める処遇・報酬等の水準が高く条件が合わない」が7.3%と続いています。

図表 4-3-17 人材の確保に最も困難な課題



サービス分類別にみると、「求める人材や必要な能力・資格を持った人材の応募が少ない」がいずれも高い割合になっており、施設サービスでは56.3%と最も高くなっています。

図表 4-3-18 人材の確保に最も困難な課題 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	人材の募集・採用に関するノウハウやシステムが確立しておらず、どのような募集採用活動を行うのが効果的かわからない	求める人材や必要な能力・資格を持った人材の応募が少ない	応募者の求める処遇・報酬等の水準が高く条件が合わない	夜勤対応やオンコール対応できる人材確保ができない	人材派遣会社や人材紹介会社に頼らざるを得ないがコストがかかる	求人広告の掲載や求人に係るホームページの維持管理費等の採用コストがかりすぎ
全体		248	3.2	41.1	7.3	6.5	17.7	4.4
サービス分類別	居宅サービス	122	2.5	43.4	8.2	7.4	15.6	4.1
	地域密着型サービス	56	5.4	33.9	5.4	5.4	21.4	7.1
	施設サービス	16	0.0	56.3	0.0	0.0	37.5	0.0
	居宅介護支援	51	3.9	39.2	9.8	5.9	13.7	3.9
	地域包括支援センター	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0

		合計	離職が多い	補助的な業務を担うボランティア等が確保できない	その他	特に問題はない	無回答
全体		248	4.8	0.0	3.2	6.5	5.2
サービス分類別	居宅サービス	122	3.3	0.0	1.6	7.4	6.6
	地域密着型サービス	56	12.5	0.0	1.8	7.1	0.0
	施設サービス	16	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
	居宅介護支援	51	0.0	0.0	7.8	5.9	9.8
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

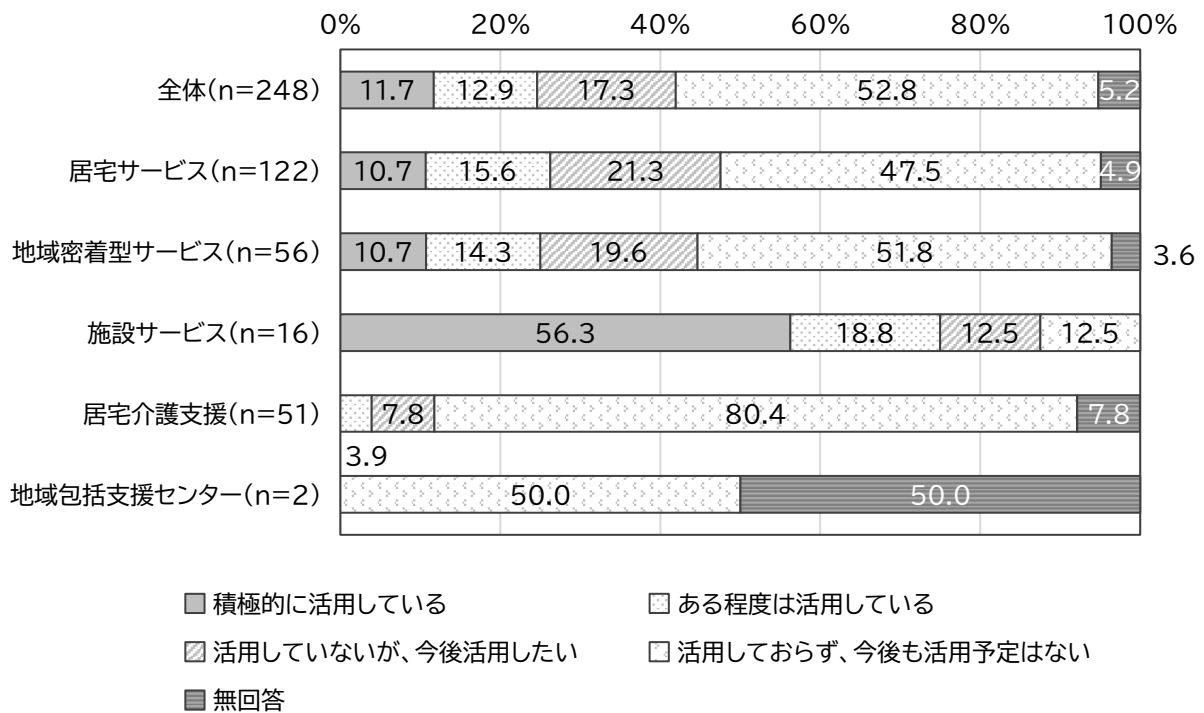
第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

(9) 外国人介護従事者の活用状況

問 15 外国人介護従事者の活用状況について、お伺いします。
 貴事業所における外国人介護従事者の活用状況についてお答えください。(○は1つ)

外国人介護従事者の活用状況については、「活用しておらず、今後も活用予定はない」が52.8%と最も高く、次いで「活用していないが、今後活用したい」が17.3%、「ある程度は活用している」が12.9%と続いています。

図表 4-3-19 外国人介護従事者の活用状況



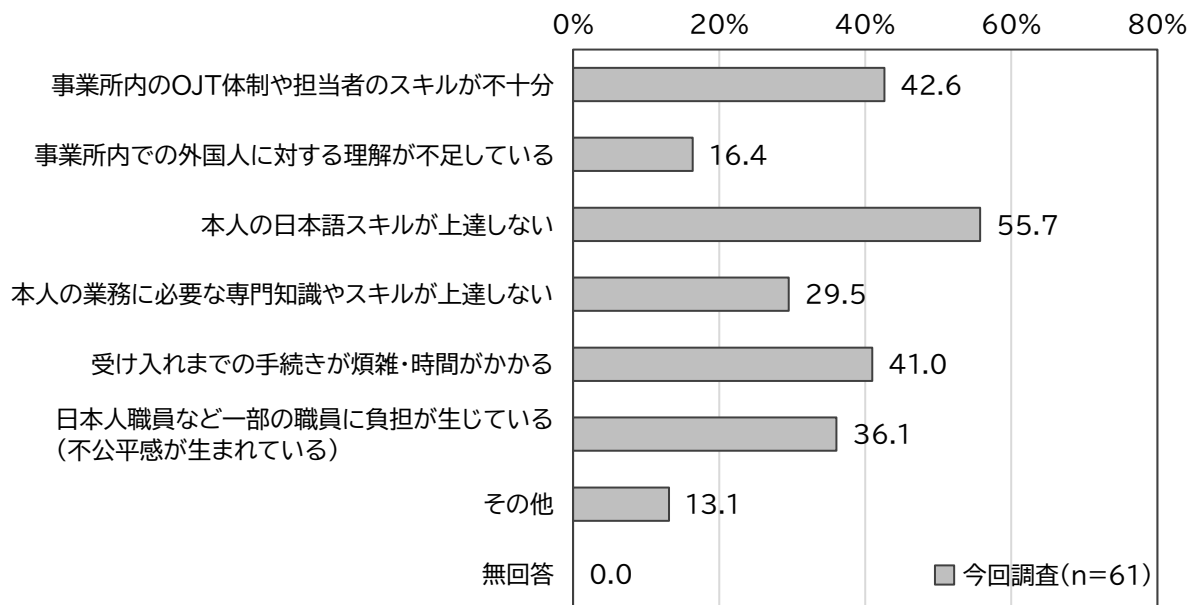
(10) 外国人介護従事者の受け入れ時の課題

【問15で「1. 積極的に活用している」「2. ある程度は活用している」とお答えになった方におたずねします。】

問15-1 外国人を受け入れる際に、課題となることについて教えてください。(〇はいくつでも)

外国人を受け入れる際に課題となることについては、「本人の日本語スキルが上達しない」が55.7%で最も高く、次いで「事業所内のOJT体制や担当者のスキルが不十分」が42.6%、「受け入れまでの手続きが煩雑・時間がかかる」が41.0%と続いています。

図表 4-3-20 外国人介護従事者の受け入れ時の課題



第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

サービス分類別にみると、いずれも「本人の日本語スキルが上達しない」が最も高く、地域密着型サービスでは、「受入れまでの手続きが煩雑・時間がかかる」、また居宅介護支援では「事業所内のOJT体制や担当者のスキルが不十分」も同様に高い割合となっています。

図表 4-3-21 外国人介護従事者の受け入れ時の課題 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	事業所内のOJT体制や担当者のスキルが不十分	事業所内での外国人に対する理解が不足している	本人の日本語スキルが上達しない	本人の業務に必要な専門知識やスキルが上達しない	受け入れまでの手続きが煩雑・時間がかかる	日本人職員など一部の職員に負担が生じている(不公平感が生まれている)	その他	無回答	
全体	61	42.6	16.4	55.7	29.5	41.0	36.1	13.1	0.0	
サービス分類別	居宅サービス	32	37.5	12.5	56.3	31.3	37.5	37.5	15.6	0.0
	地域密着型サービス	14	35.7	28.6	42.9	14.3	42.9	35.7	0.0	0.0
	施設サービス	12	58.3	16.7	66.7	50.0	58.3	41.7	25.0	0.0
	居宅介護支援	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域包括支援センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問15で「3. 活用していないが、今後活用したい」とお答えになった方におたずねします。】

問15-2 現在活用していない理由について教えてください。(記述式)

外国人介護従事者を現在活用していない理由には、「応募がないため」が最も多く、「言葉の問題、日本人とのコミュニケーションに不安」、「受け入れ態勢が整っていない」、「自動車を運転できないと難しい」などがありました。

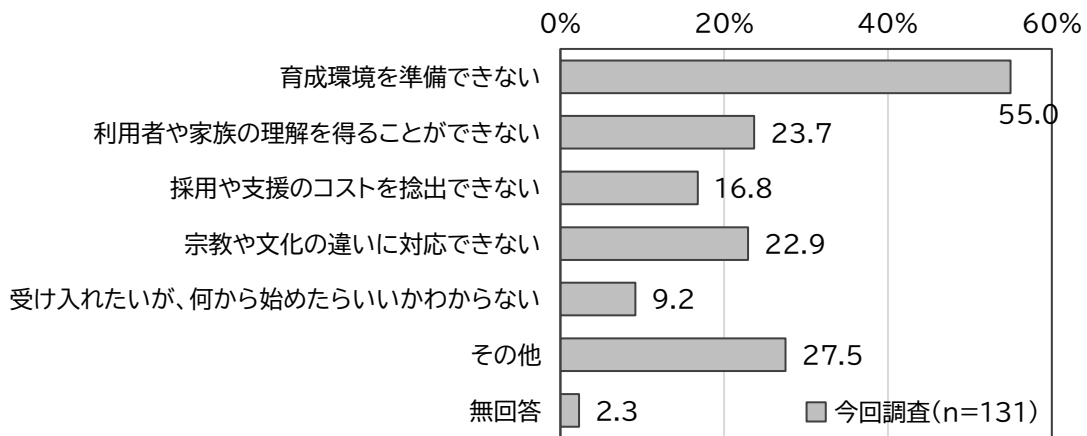
(11) 外国人介護従事者の活用予定がない理由

【問15で「4. 活用しておらず、今後も活用予定はない」とお答えになった方におたずねします。】
 問15-3 今後も活用する予定がない理由について、お答えください。(〇はいくつでも)

今後も活用する予定がない理由については、「育成環境を準備できない」が55.0%と最も高く、次いで「その他」が27.5%、「利用者や家族の理解を得ることができない」が23.7%と続いています。

また、その他の内容では、「相談業務なのでコミュニケーション・制度・資格が必要なため」、「書類作成業務ができない人が多い」、「急変時の対応や夜勤対応に不安がある」、「外国人に限らず、人材不足ではないため」などがありました。

図表 4-3-22 外国人介護従事者の活用予定がない理由



サービス分類別にみると、「育成環境を準備できない」が居宅サービスで60.3%と最も高く、施設サービスでは、「採用や支援のコストを捻出できない」「宗教や文化の違いに対応できない」も同様に高い割合となっています。

図表 4-3-23 外国人介護従事者の活用予定がない理由 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

サービス分類別	合計	育成環境を準備できない	利用者や家族の理解を得ることができない	採用や支援のコストを捻出できない	宗教や文化の違いに対応できない	受け入れたいが、何から始めたらいいかわからない	その他	無回答	
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	
全体	131	55.0	23.7	16.8	22.9	9.2	27.5	2.3	
サービス分類別	居宅サービス	58	60.3	29.3	22.4	22.4	8.6	24.1	1.7
	地域密着型サービス	29	55.2	17.2	13.8	34.5	10.3	34.5	0.0
	施設サービス	2	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	居宅介護支援	41	48.8	22.0	9.8	14.6	9.8	26.8	4.9
	地域包括支援センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

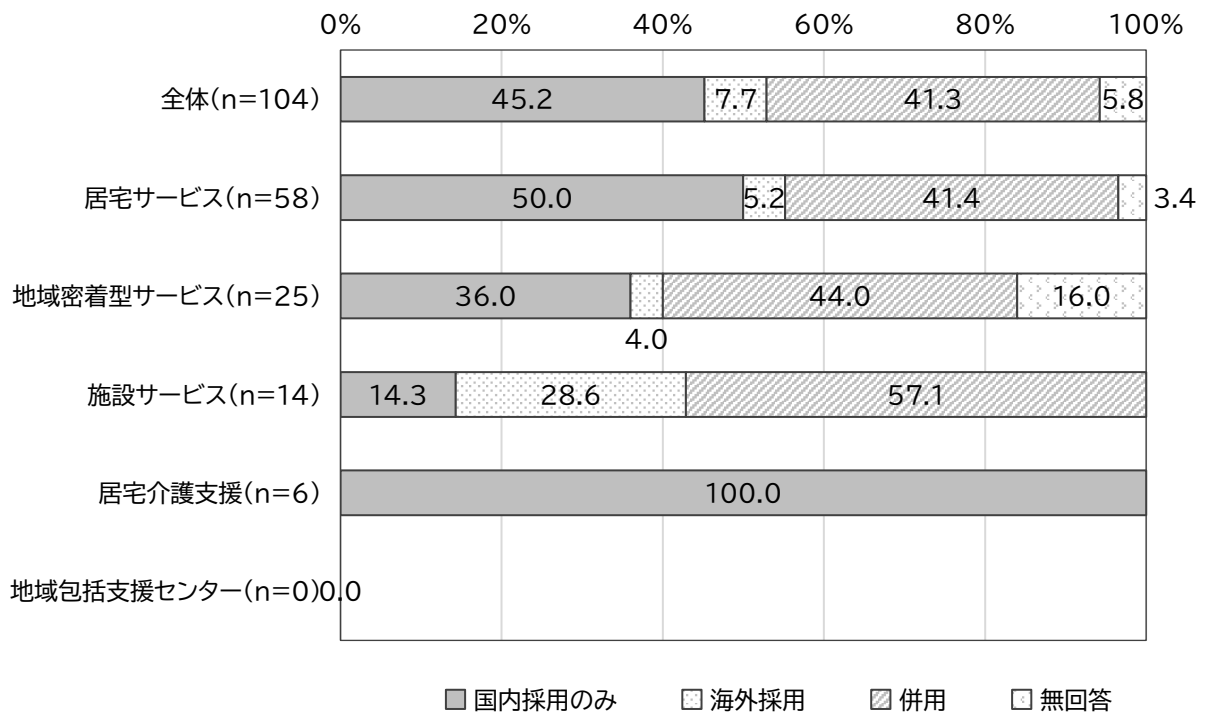
(12) 外国人介護従事者の採用予定経路

【問15で「1. 積極的に活用している」「2. ある程度は活用している」「3. 活用していないが、今後活用したい」とお答えになった方におたずねします。】

問15-4 採用経路（予定）を教えてください。（○は1つ）

外国人介護従事者の採用経路（予定）については、「国内採用のみ」が45.2%と最も高く、次いで「併用」が41.3%、「海外採用」が7.7%と続いています。

図表 4-3-24 外国人介護従事者の採用予定経路



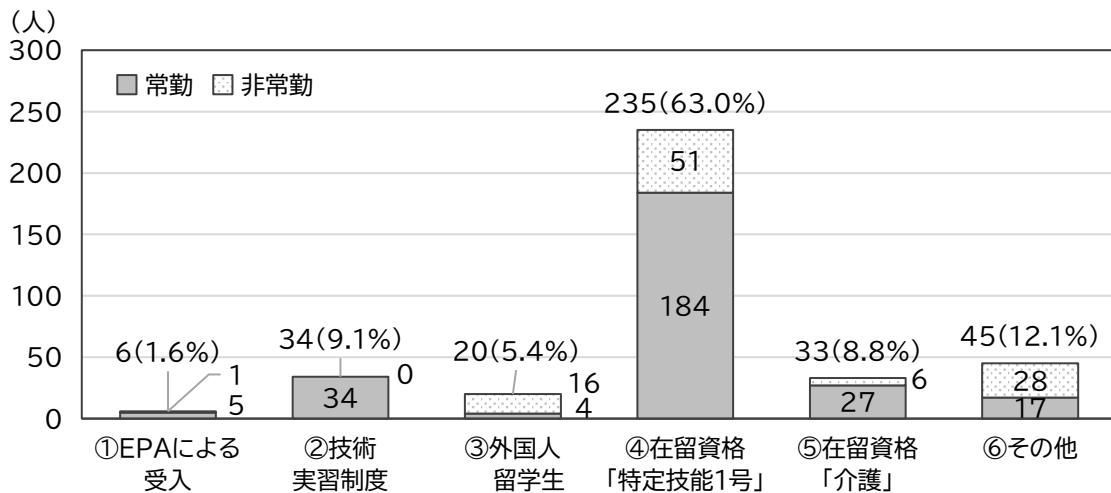
(13) 外国人介護従事者の受け入れ状況

【問 15 で「1. 積極的に活用している」「2. ある程度は活用している」とお答えになった方におたずねします。】

問 15-5 令和7年11月1日時点で外国人の受け入れ区分・人数について、お答えください。

外国人介護従事者の受け入れ区分・人数については、「④在留資格『特定技能1号』」が235人と最も多く、全体の63.0%を占めています。

図表 4-3-25 外国人介護従事者の受け入れ状況



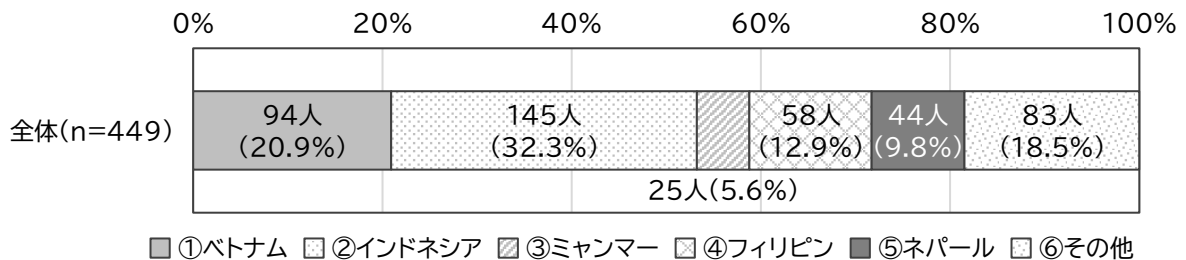
(14) 受け入れた外国人介護従事者の国籍

【問 15 で「1. 積極的に活用している」「2. ある程度は活用している」とお答えになった方におたずねします。】

問 15-6 現在までに受け入れた外国人介護従事者の国籍と人数を教えてください。
(〇はいくつでも)

現在までに受け入れた外国人介護従事者の国籍と人数については、「②インドネシア」が32.3%と最も高く、次いで「①ベトナム」が20.9%となっています。

図表 4-3-26 受け入れた外国人介護従事者の国籍

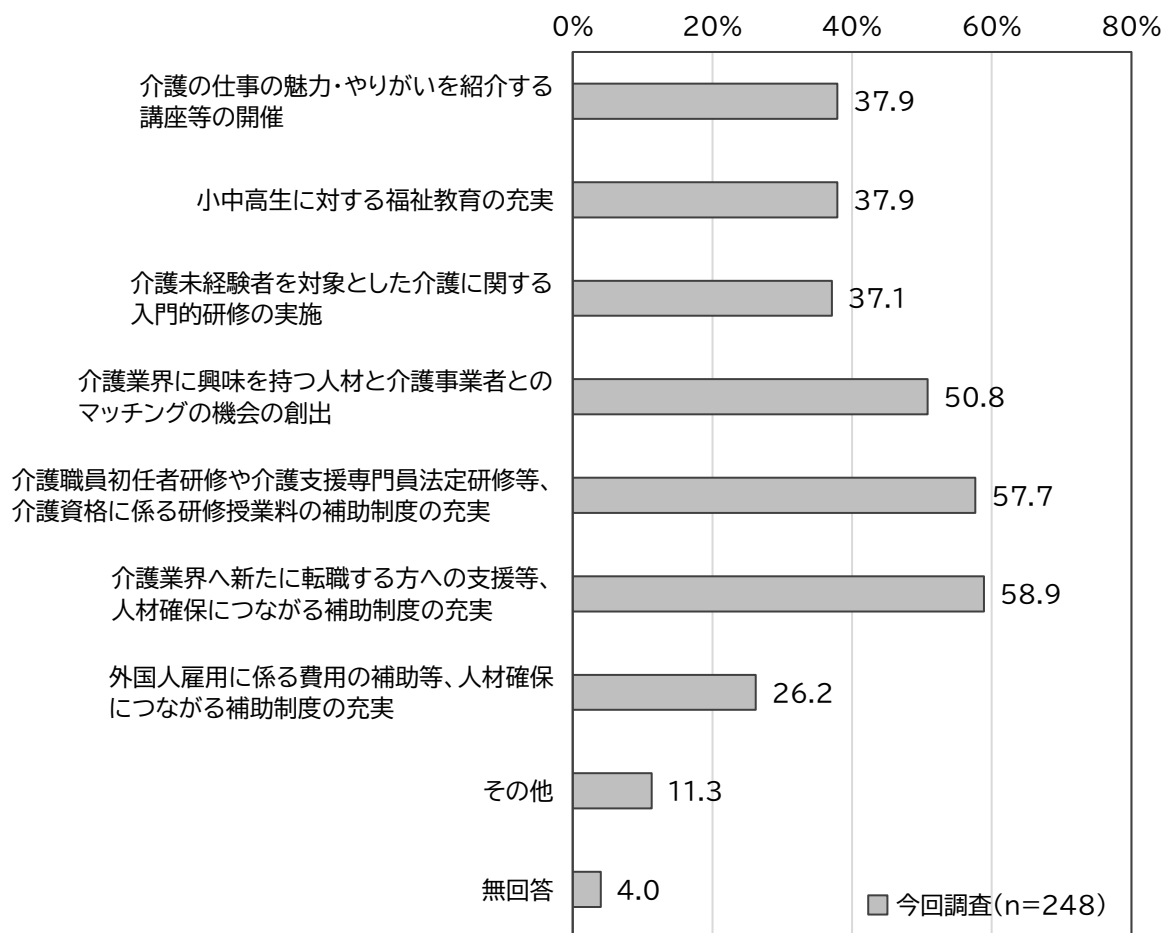


(15) 介護人材確保のために市が行うべき施策

問 16 介護人材確保のために市が行うべき施策は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

介護人材確保のために市が行うべき施策については、「介護業界へ新たに転職する方への支援等、人材確保につながる補助制度の充実」が 58.9%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修や介護支援専門員法定研修等、介護資格に係る研修授業料の補助制度の充実」が 57.7%、「介護業界に興味を持つ人材と介護事業者とのマッチングの機会の創出」が 50.8%と続いています。

図表 4-3-27 介護人材確保のために市が行うべき施策



サービス分類別にみると、施設サービスでは、「介護職員初任者研修や介護支援専門員法定研修等、介護資格に係る研修授業料の補助制度の充実」「介護業界へ新たに転職する方への支援等、人材確保につながる補助制度の充実」「外国人雇用に係る費用の補助等、人材確保につながる補助制度の充実」が75.0%と高い割合となっています。

図表 4-3-28 介護人材確保のために市が行うべき施策 サービス分類別

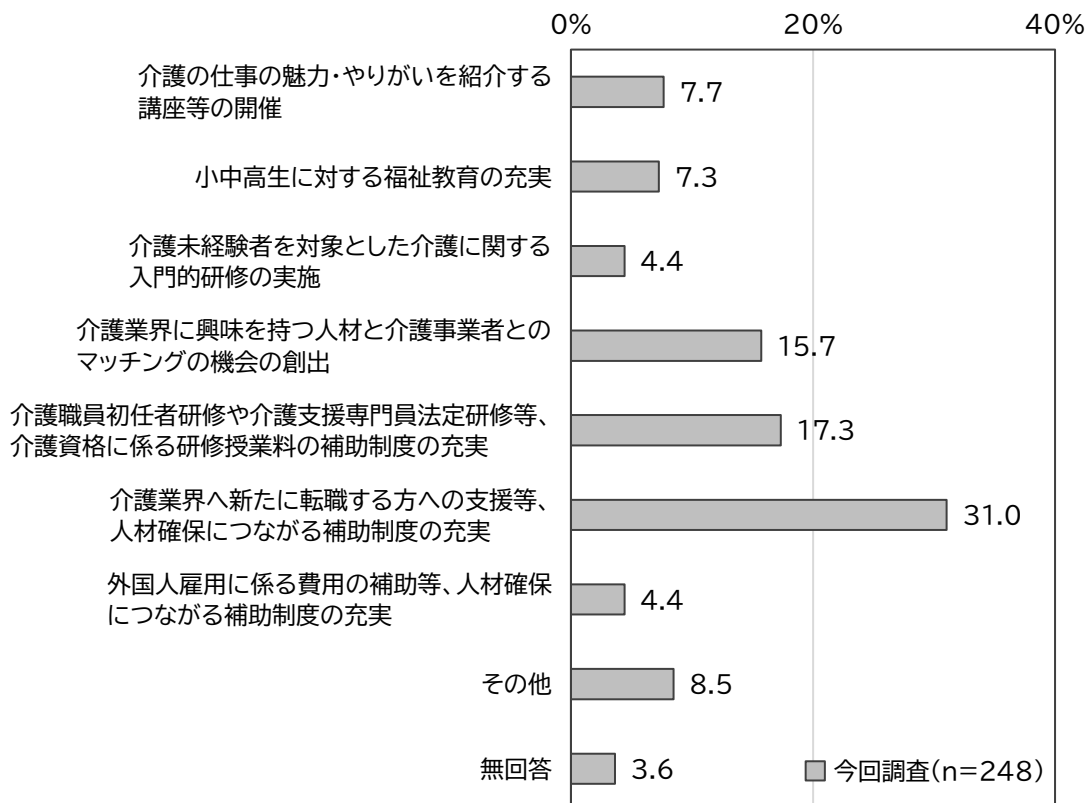
単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	介護の仕事の魅力・やりがいを紹介する講座等の開催	小中高生に対する福祉教育の充実	介護未経験者を対象とした介護に関する入門的研修の実施	介護業界に興味を持つ人材と介護事業者とのマッチングの機会の創出	介護職員初任者研修や介護支援専門員法定研修等、介護資格に係る研修授業料の補助制度の充実	介護業界へ新たに転職する方への支援等、人材確保につながる補助制度の充実	外国人雇用に係る費用の補助等、人材確保につながる補助制度の充実	その他	無回答	
全体	248	37.9	37.9	37.1	50.8	57.7	58.9	26.2	11.3	4.0	
サービス分類別	居宅サービス	122	41.0	38.5	41.8	53.3	54.9	60.7	30.3	9.8	5.7
	地域密着型サービス	56	42.9	35.7	39.3	41.1	60.7	57.1	17.9	12.5	0.0
	施設サービス	16	31.3	56.3	62.5	68.8	75.0	75.0	75.0	12.5	0.0
	居宅介護支援	51	27.5	29.4	17.6	49.0	54.9	52.9	9.8	11.8	5.9
	地域包括支援センター	2	50.0	100.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0

問16-1 上記のうち、最も市が行うべき施策を教えてください。

介護人材確保のために最も市が行うべき施策については、「介護業界へ新たに転職する方への支援等、人材確保につながる補助制度の充実」が31.0%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修や介護支援専門員法定研修等、介護資格に係る研修授業料の補助制度の充実」が17.3%、「介護業界に興味を持つ人材と介護事業者とのマッチングの機会の創出」が15.7%と続いています。

図表 4-3-29 介護人材確保のために、最も市が行うべき施策



サービス分類別にみると、「介護業界へ新たに転職する方への支援等、人材確保につながる補助制度の充実」がいずれも高い割合となっています。

地域包括支援センターでは「介護の仕事の魅力・やりがいを紹介する講座等の開催」が高い割合となっています。

図表 4-3-30 介護人材確保のために、最も市が行うべき施策 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	介護の仕事の魅力・やりがいを紹介する講座等の開催	小中高生に対する福祉教育の充実	介護未経験者を対象とした介護に関する入門的研修の実施	介護業界に興味を持つ人材と介護事業者とのマッチングの機会の創出	介護職員初任者研修や介護支援専門員法定研修等、介護資格に係る研修授業料の補助制度の充実	介護業界へ新たに転職する方への支援等、人材確保につながる補助制度の充実	外国人雇用に係る費用の補助等、人材確保につながる補助制度の充実	その他	無回答
全体		248	7.7	7.3	4.4	15.7	17.3	31.0	4.4	8.5	3.6
サービス分類別	居宅サービス	122	8.2	4.9	4.9	17.2	18.9	31.1	3.3	5.7	5.7
	地域密着型サービス	56	5.4	8.9	7.1	10.7	16.1	37.5	1.8	10.7	1.8
	施設サービス	16	6.3	12.5	0.0	25.0	0.0	31.3	18.8	6.3	0.0
	居宅介護支援	51	7.8	9.8	2.0	15.7	21.6	25.5	3.9	11.8	2.0
	地域包括支援センター	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

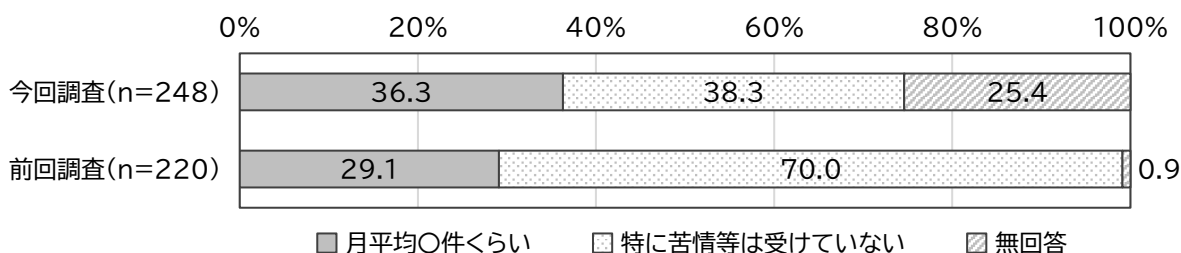
4. サービスの質の向上のための取組について

(1) 過去1か月間の苦情受付件数

問17 貴事業所における過去1か月間の苦情受付件数は、何件くらいですか。(〇は1つ)

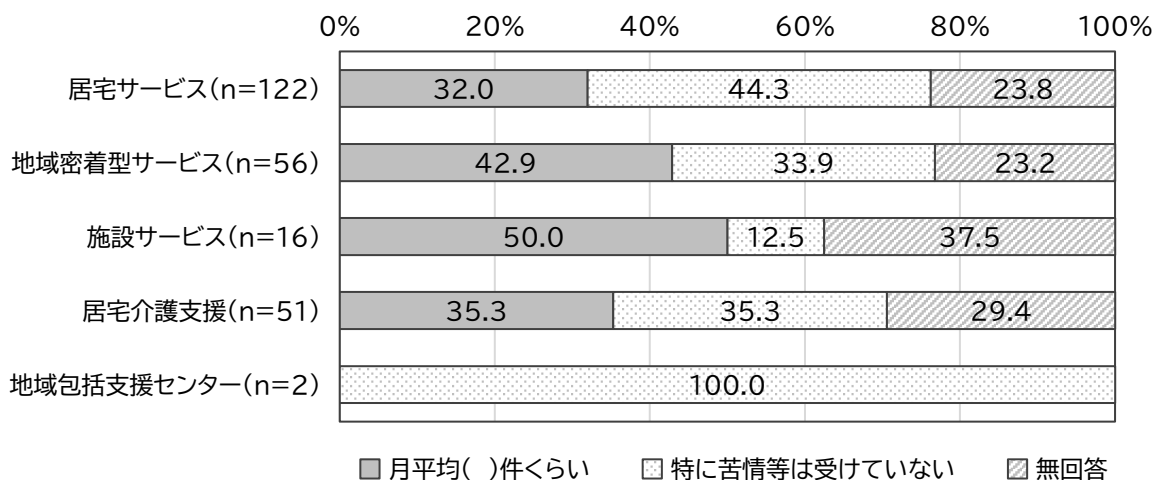
事業所内における過去1か月間の苦情受付件数については、「特に苦情等は受けていない」が38.3%、「月平均()件くらい」が36.3%となっており、苦情を受けた事業所の平均苦情受付件数は1.9件となっています。

図表 4-4-1 過去1か月間の苦情受付件数



サービス分類別にみると、「月平均()件くらい」が、施設サービスで50%と最も高くなっており、次いで「特に苦情等は受けていない」では、居宅サービスで44.3%となっています。

図表 4-4-2 過去1か月間の苦情受付件数 サービス分類別



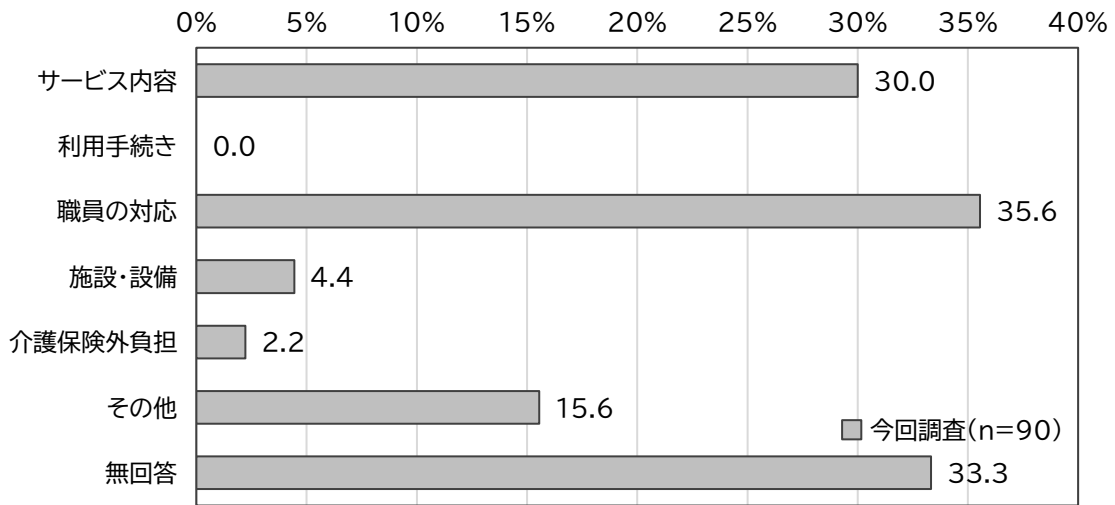
(2) 苦情の内容

【問 17 で「1」とお答えになった方におたずねします。】

問 17-1 苦情はどのような内容が多いですか。下記項目より当てはまる番号をご記入ください。
(○はいくつでも)

苦情の内容については、「職員の対応」が35.6%と最も高く、次いで「サービス内容」が30.0%、「その他」が15.6%と続いています。

図表 4-4-3 苦情の内容



サービス分類別にみると、「職員の対応」が居宅サービスで46.2%と最も高く、「サービス内容」では、地域密着型サービスで33.3%と高い割合になっています。

図表 4-4-4 苦情の内容 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	サービス内容	利用手続き	職員の対応	施設・設備	介護保険外負担	その他	無回答
全体		90	30.0	0.0	35.6	4.4	2.2	15.6	33.3
サービス分類別	居宅サービス	39	33.3	0.0	46.2	5.1	2.6	15.4	23.1
	地域密着型サービス	24	33.3	0.0	25.0	4.2	0.0	12.5	41.7
	施設サービス	8	12.5	0.0	25.0	12.5	0.0	37.5	25.0
	居宅介護支援	18	22.2	0.0	27.8	0.0	5.6	11.1	50.0
	地域包括支援センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

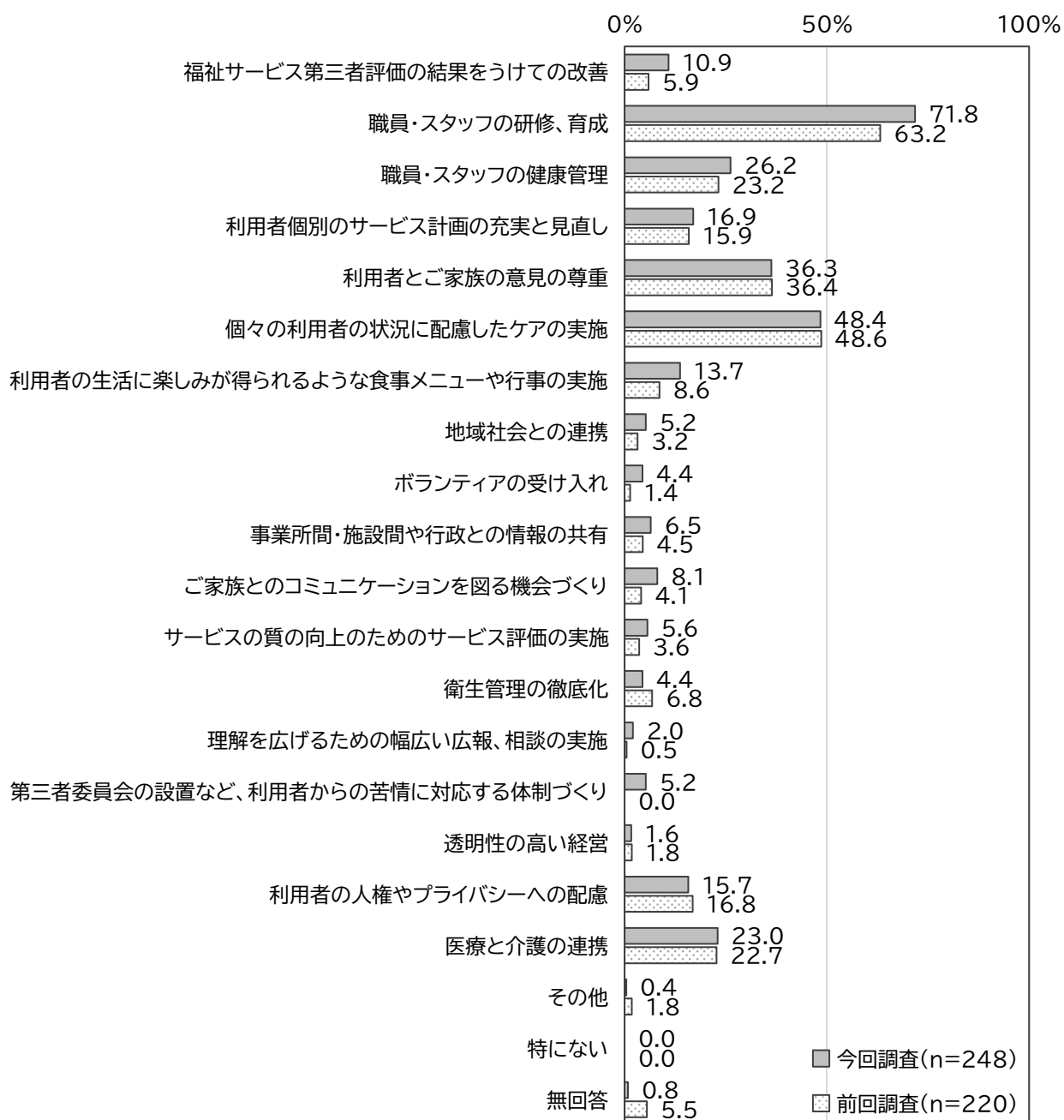
(3) サービスの質の向上のために力を入れている取組

問 18 貴事業所における介護保険サービス（総合事業を含む）の提供にあたり、サービスの質の向上のための取り組みとして力を入れていることは次のうちどれですか。（〇は3つまで）

サービスの質の向上のための取組として力を入れていることについては、「職員・スタッフの研修、育成」が71.8%と最も高く、次いで「個々の利用者の状況に配慮したケアの実施」が48.4%、「利用者のご家族の意見の尊重」が36.3%と続いています。

前回調査と比較すると、「職員・スタッフの研修、育成」(71.8%)では、前回調査(63.2%)より8.6ポイント増加しています。

図表 4-4-5 サービスの質の向上のために力を入れている取組



サービス分類別にみると、いずれも「職員・スタッフの研修、育成」が高い割合となっています。

図表 4-4-6 サービスの質の向上のために力を入れている取組 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	福祉サービス第三者評価の結果を うけての改善	職員・スタッフの研修、育成	職員・スタッフの健康管理	利用者個別のサービス計画の充実 と見直し	利用者ご家族の意見の尊重	個々の利用者の状況に配慮したケ アの実施	利用者の生活に楽しみが得られる ような食事メニューや行事の実施	地域社会との連携	ボランティアの受け入れ	事業所間・施設間や行政との情報の 共有	ご家族とのコミュニケーションを図 る機会づくり
全体		248	10.9	71.8	26.2	16.9	36.3	48.4	13.7	5.2	4.4	6.5	8.1
サービス分類別	居宅サービス	122	7.4	73.0	28.7	21.3	31.1	55.7	11.5	3.3	4.1	4.9	8.2
	地域密着型サービス	56	10.7	66.1	26.8	12.5	41.1	58.9	25.0	7.1	7.1	3.6	8.9
	施設サービス	16	37.5	75.0	12.5	12.5	25.0	25.0	37.5	6.3	12.5	0.0	18.8
	居宅介護支援	51	9.8	74.5	21.6	13.7	45.1	29.4	0.0	5.9	0.0	15.7	3.9
	地域包括支援センター	2	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

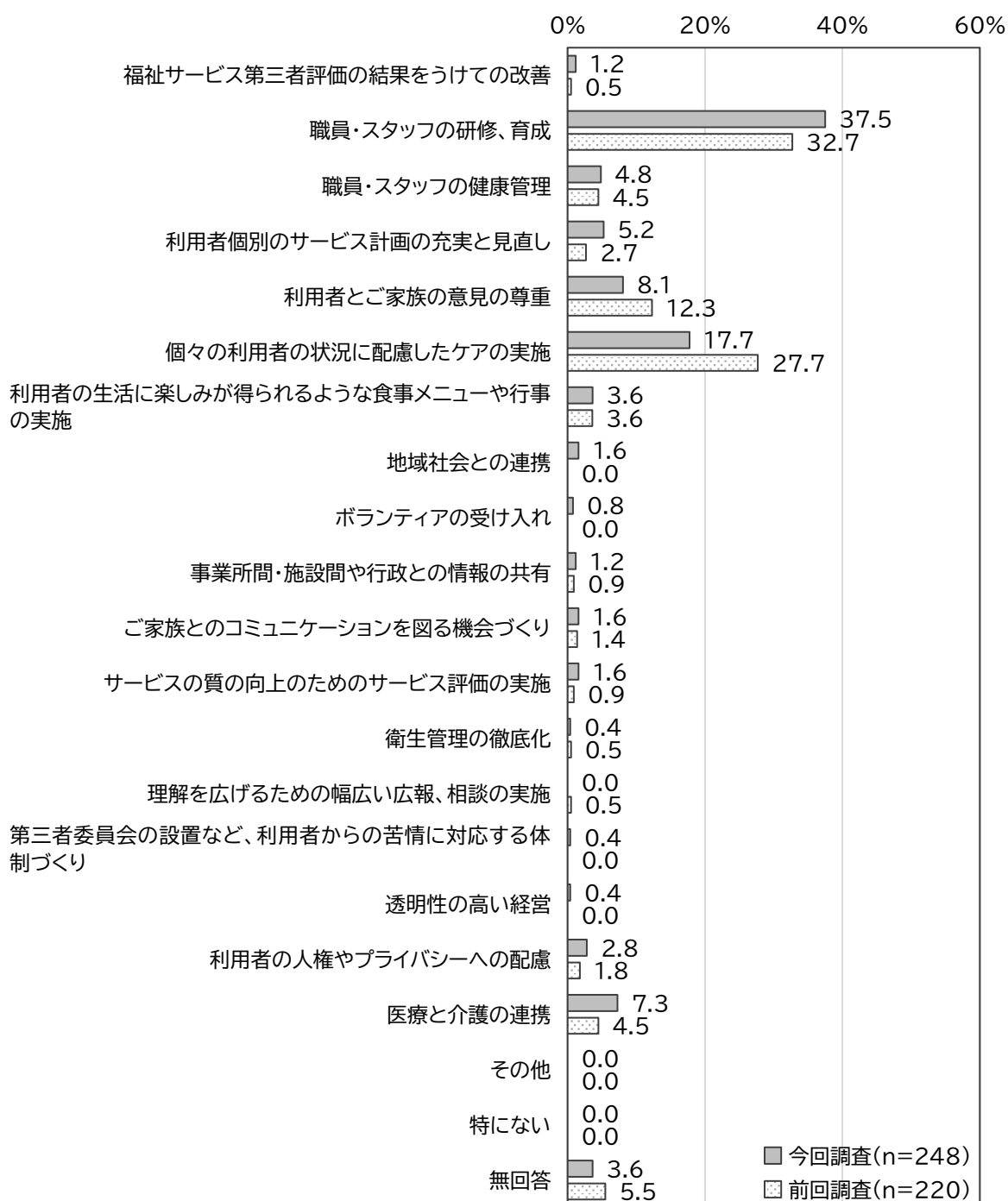
		合計	サービスの質の向上のためのサー ビス評価の実施	衛生管理の徹底化	理解を広げるための幅広い広報、 相談の実施	第三者委員会の設置など、利用者 からの苦情に対応する体制づくり	透明性の高い経営	利用者の人権やプライバシーへの 配慮	医療と介護の連携	その他	特にな い	無回 答
全体		248	5.6	4.4	2.0	5.2	1.6	15.7	23.0	0.4	0.0	0.8
サービス分類別	居宅サービス	122	4.9	4.1	1.6	4.1	1.6	16.4	22.1	0.8	0.0	1.6
	地域密着型サービス	56	5.4	8.9	3.6	5.4	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0
	施設サービス	16	0.0	6.3	0.0	12.5	6.3	12.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	居宅介護支援	51	9.8	0.0	2.0	5.9	2.0	17.6	33.3	0.0	0.0	0.0
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問18-1 上記のうち、質の向上のために最も力を入れている項目を一つ、お選びください。

サービスの質の向上のために最も力を入れていることについては、「職員・スタッフの研修、育成」が37.5%と最も高く、次いで「個々の利用者の状況に配慮したケアの実施」が17.7%、「利用者のご家族の意見の尊重」が8.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「個々の利用者の状況に配慮したケアの実施」(17.7%)では、前回調査(27.7%)より10.0ポイント減少しています。

図表4-4-7 サービスの質の向上のために最も力を入れている取組



サービス分類別にみると、地域密着型サービスでは「個々の利用者の状況に配慮したケアの実施」が30.4%と高く、その他のサービスでは「職員・スタッフの研修、育成」がいずれも高い割合となっています。

図表 4-4-8 サービスの質の向上のために最も力を入れている取組 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	福祉サービス第三者評価の結果を うけての改善	職員・スタッフの研修、育成	職員・スタッフの健康管理	利用者個別のサービス計画の充実 と見直し	利用者ごご家族の意見の尊重	個々の利用者の状況に配慮したケ アの実施	利用者の生活に楽しみが得られる ような食事メニューや行事の実施	地域社会との連携	ボランティアの受け入れ	事業所間・施設間や行政との情報 の共有	ご家族とのコミュニケーションを図 る機会づくり
全体	248	1.2	37.5	4.8	5.2	8.1	17.7	3.6	1.6	0.8	1.2	1.6
サービス分類別	居宅サービス	122	0.8	37.7	5.7	4.1	8.2	17.2	2.5	0.8	0.8	1.6
	地域密着型サービス	56	1.8	26.8	5.4	5.4	7.1	30.4	10.7	1.8	0.0	1.8
	施設サービス	16	0.0	50.0	0.0	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3	6.3
	居宅介護支援	51	2.0	45.1	3.9	7.8	9.8	9.8	0.0	2.0	0.0	3.9
	地域包括支援センター	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	サービスの質の向上のためのサービ ス評価の実施	衛生管理の徹底化	理解を広げるための幅広い広報、相 談の実施	第三者委員会の設置など、利用者か らの苦情に対応する体制づくり	透明性の高い経営	利用者の人権やプライバシーへの配 慮	医療と介護の連携	その他	特にな い	無回 答
全体	248	1.6	0.4	0.0	0.4	0.4	2.8	7.3	0.0	0.0	3.6
サービス分類別	居宅サービス	122	2.5	0.0	0.0	0.0	1.6	9.0	0.0	0.0	6.6
	地域密着型サービス	56	1.8	1.8	0.0	1.8	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
	施設サービス	16	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0
	居宅介護支援	51	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	11.8	0.0	2.0
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

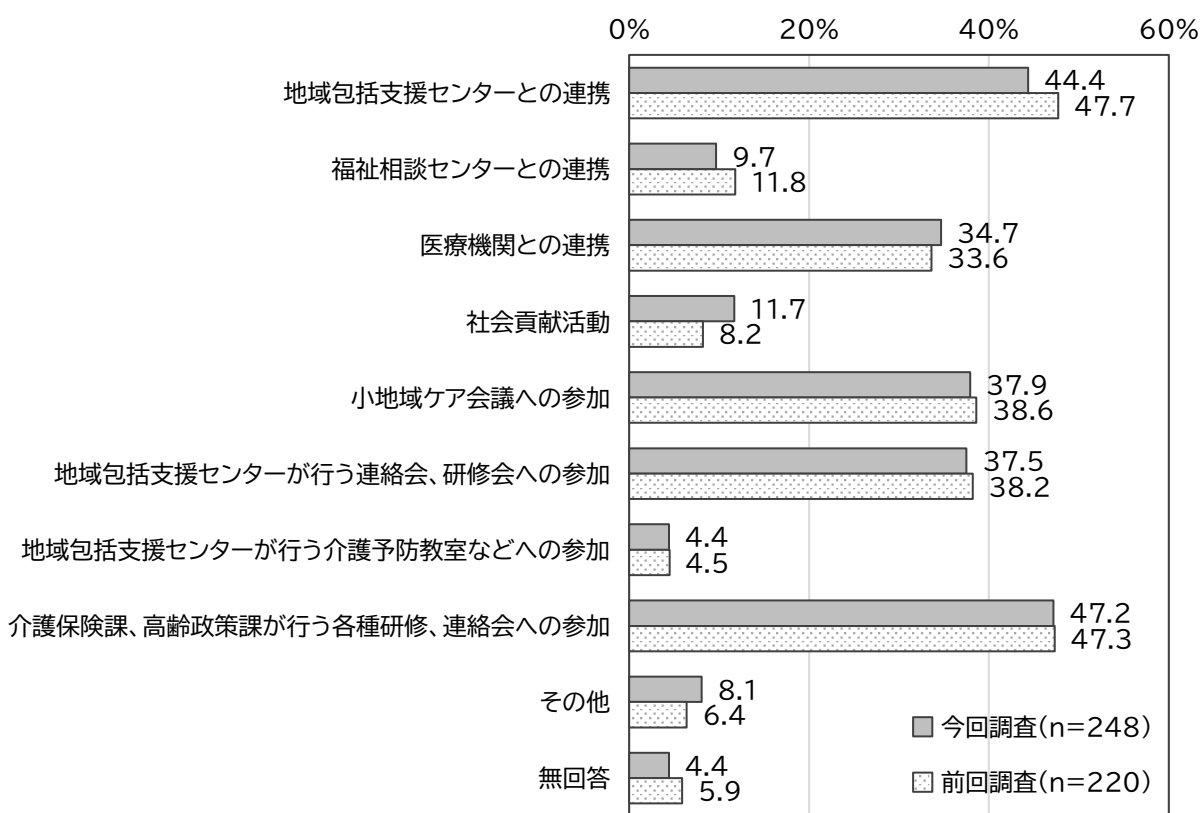
(4) 地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいること

問19 貴事業所において地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいることは何ですか。
(〇はいくつでも)

地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいることについては、「介護保険課、高齢政策課が行う各種研修、連絡会への参加」が47.2%と最も高く、次いで「地域包括支援センターとの連携」が44.4%、「小地域ケア会議への参加」が37.9%と続いています。

前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

図表 4-4-9 地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいること



サービス分類別にみると、「介護保険課、高齢政策課が行う各種研修、連絡会への参加」では、地域包括支援センターが100%で最も高くなっています。

図表 4-4-10 地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいること サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	携 地域 包括 支援 センターとの連	福祉 相談 センターとの連携	医療 機関 との連携	社会 貢献 活動	小 地 域 ケ ア 会 議 へ の 参 加	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー が 行 う 連 絡 会 、 研 修 会 へ の 参 加	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー が 行 う 介 護 予 防 教 室 な ど へ の 参 加	介 護 保 険 課 、 高 齢 政 策 課 が 行 う 各 種 研 修 、 連 絡 会 へ の 参 加	その他	無 回 答	
全体	248	44.4	9.7	34.7	11.7	37.9	37.5	4.4	47.2	8.1	4.4	
サービス 分類別	居宅サービス	122	37.7	4.1	34.4	9.8	28.7	30.3	3.3	40.2	9.8	7.4
	地域密着型サービス	56	50.0	12.5	12.5	10.7	26.8	28.6	0.0	33.9	5.4	3.6
	施設サービス	16	18.8	12.5	56.3	37.5	25.0	12.5	0.0	50.0	12.5	0.0
	居宅介護支援	51	60.8	15.7	51.0	7.8	72.5	70.6	11.8	76.5	3.9	0.0
	地域包括支援センター	2	50.0	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0

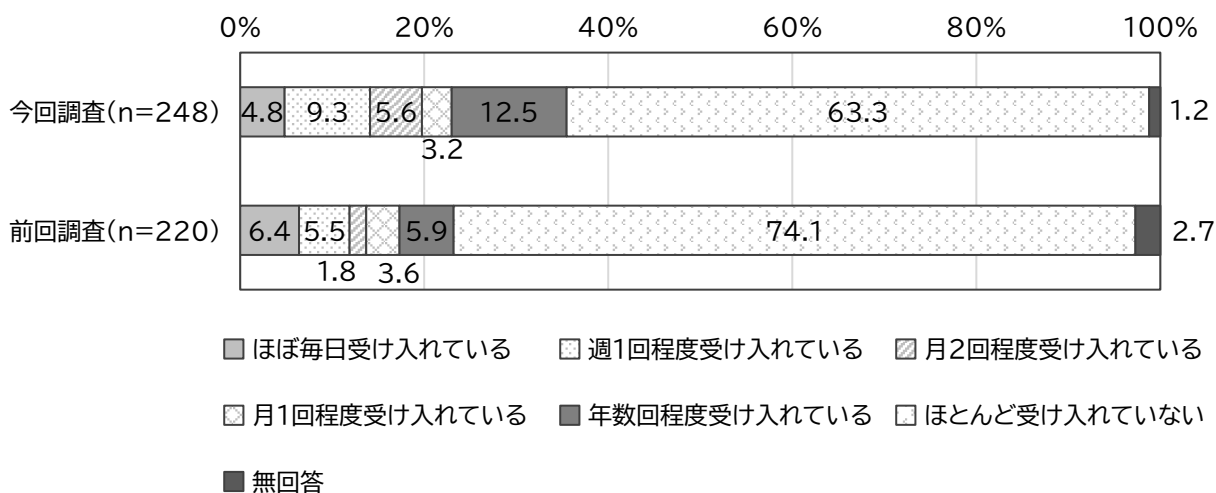
第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

(5) ボランティアの受け入れ状況

問 20 貴事業所における、ボランティアの受け入れ状況をお答えください。(○は1つ)

ボランティアの受け入れ状況については、「ほとんど受け入れていない」が63.3%と最も高く、次いで「年数回程度受け入れている」12.5%、「週1回程度受け入れている」が9.3%と続いています。

図表 4-4-11 ボランティアの受け入れ状況



サービス分類別にみると、施設サービスでは、「月2回程度受け入れている」が31.3%で最も高くなっています。

図表 4-4-12 ボランティアの受け入れ状況 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	ほぼ毎日受け入れている	週1回程度受け入れている	月2回程度受け入れている	月1回程度受け入れている	年数回程度受け入れている	ほとんど受け入れていない	無回答
全体		248	4.8	9.3	5.6	3.2	12.5	63.3	1.2
サービス分類別	居宅サービス	122	3.3	8.2	5.7	1.6	12.3	66.4	2.5
	地域密着型サービス	56	7.1	14.3	3.6	3.6	21.4	50.0	0.0
	施設サービス	16	18.8	18.8	31.3	12.5	0.0	18.8	0.0
	居宅介護支援	51	2.0	3.9	0.0	2.0	5.9	86.3	0.0
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0

(6) 自立支援・介護予防・重度化防止等の取組

問 21 自立支援・介護予防・重度化防止等について、貴事業所で取り組んでいることがあれば、その内容を記載してください。

自立支援・介護予防・重度化防止等について取り組んでいることでは、「機能訓練」、「生活リハビリ」、「散歩」、「歩行訓練」、「立川健康体操」、「認知機能訓練（脳トレ）」などがありました。

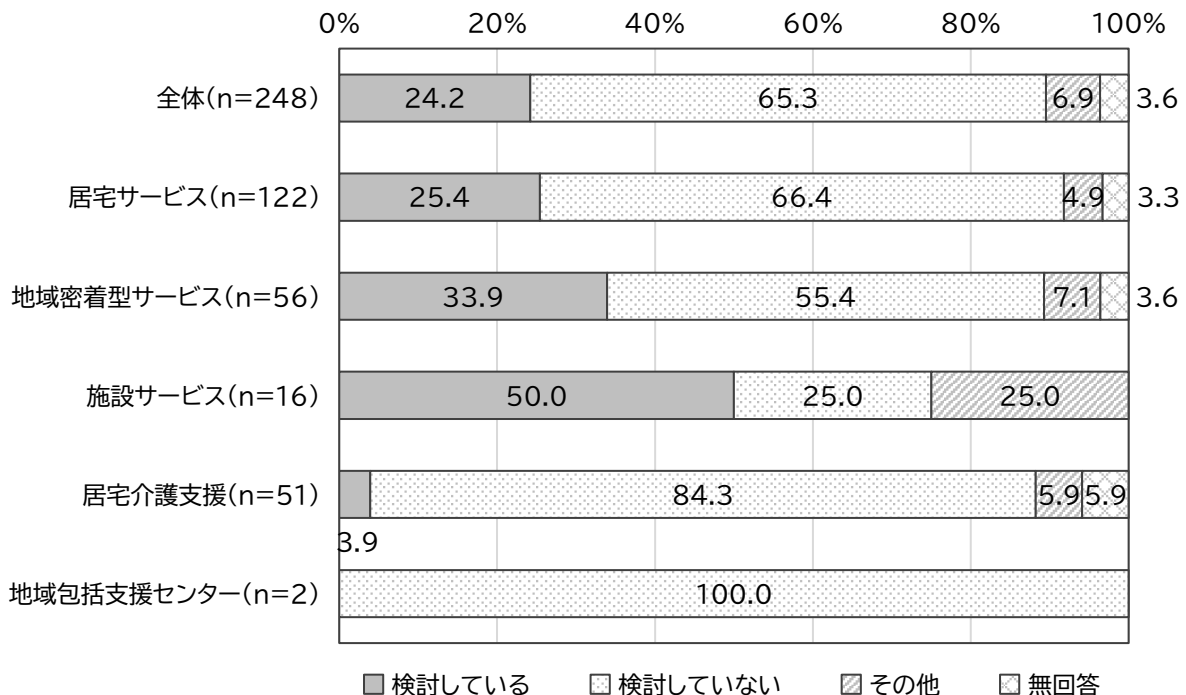
(7) 周辺業務の介護助手の従事

問 22 業務の切り分けについてお伺いします。介護の周辺業務について、短時間アルバイトや有償ボランティア、高齢者（60歳以上）の方等に介護助手（補助スタッフ）として従事してもらうことを検討していますか。（○は1つ）

介護の周辺業務について、短時間アルバイトや有償ボランティア、高齢者の方等に介護助手として従事してもらうことを検討しているかについては、「検討していない」が65.3%、「検討している」が24.2%、「その他」が6.9%となっています。

サービス分類別にみると、「検討している」では、施設サービスが50.0%で最も高くなっています。

図表 4-4-13 周辺業務の介護助手の従事 サービス分類別

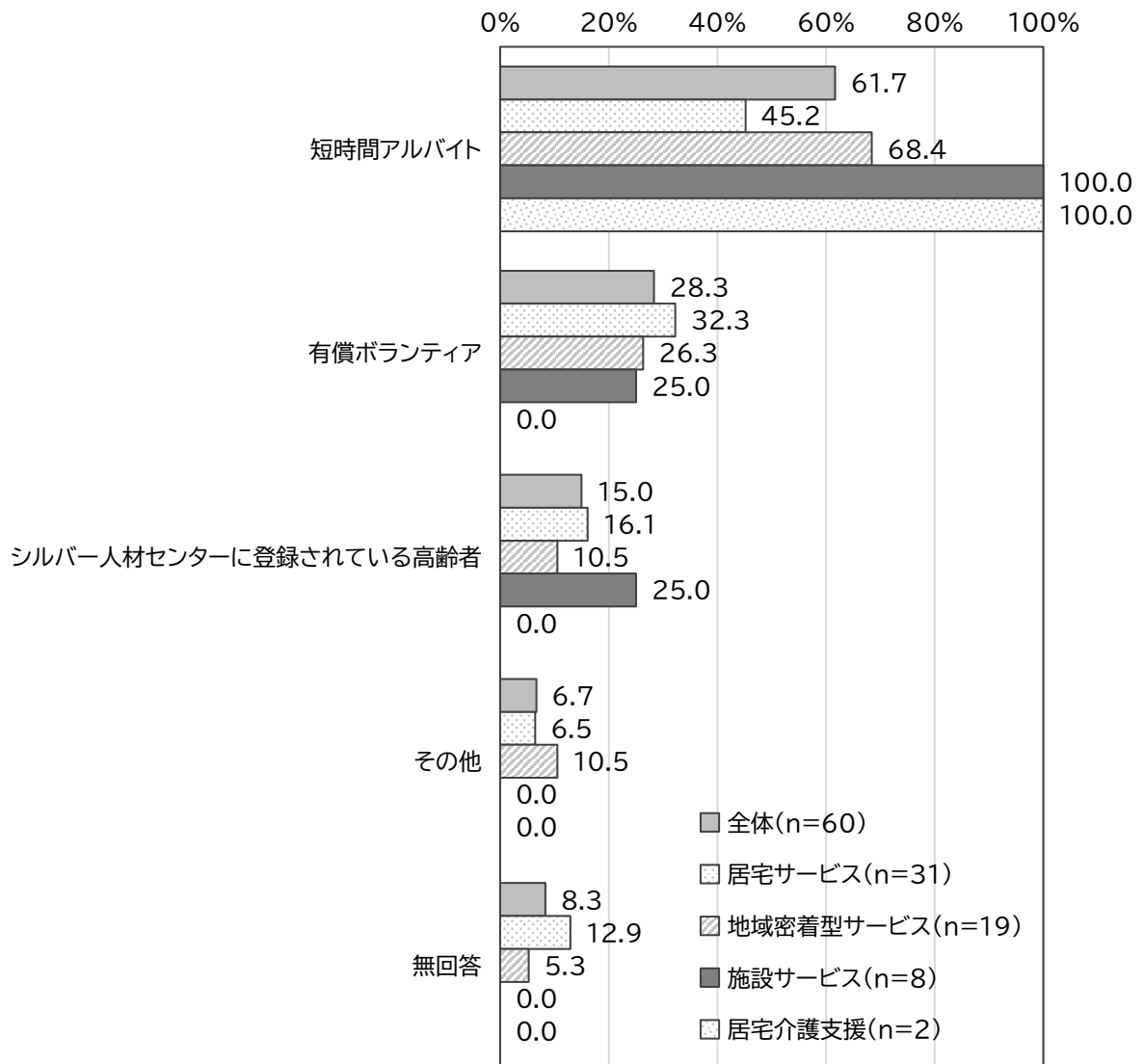


(8) 採用したい介護助手

【問22で「1. 検討している」とお答えになった方におたずねします。】
 問22-1 介護助手（補助スタッフ）として採用したいのは、どちらですか。（○はいくつでも）

採用したい介護助手については、「短時間アルバイト」が61.7%と最も高く、次いで「有償ボランティア」が28.3%、「シルバー人材センターに登録されている高齢者」が15.0%と続いています。
 サービス分類別にみると、いずれも「短時間アルバイト」が最も高くなっています。

図表 4-4-14 採用したい介護助手



(9) 介護助手に依頼したい仕事

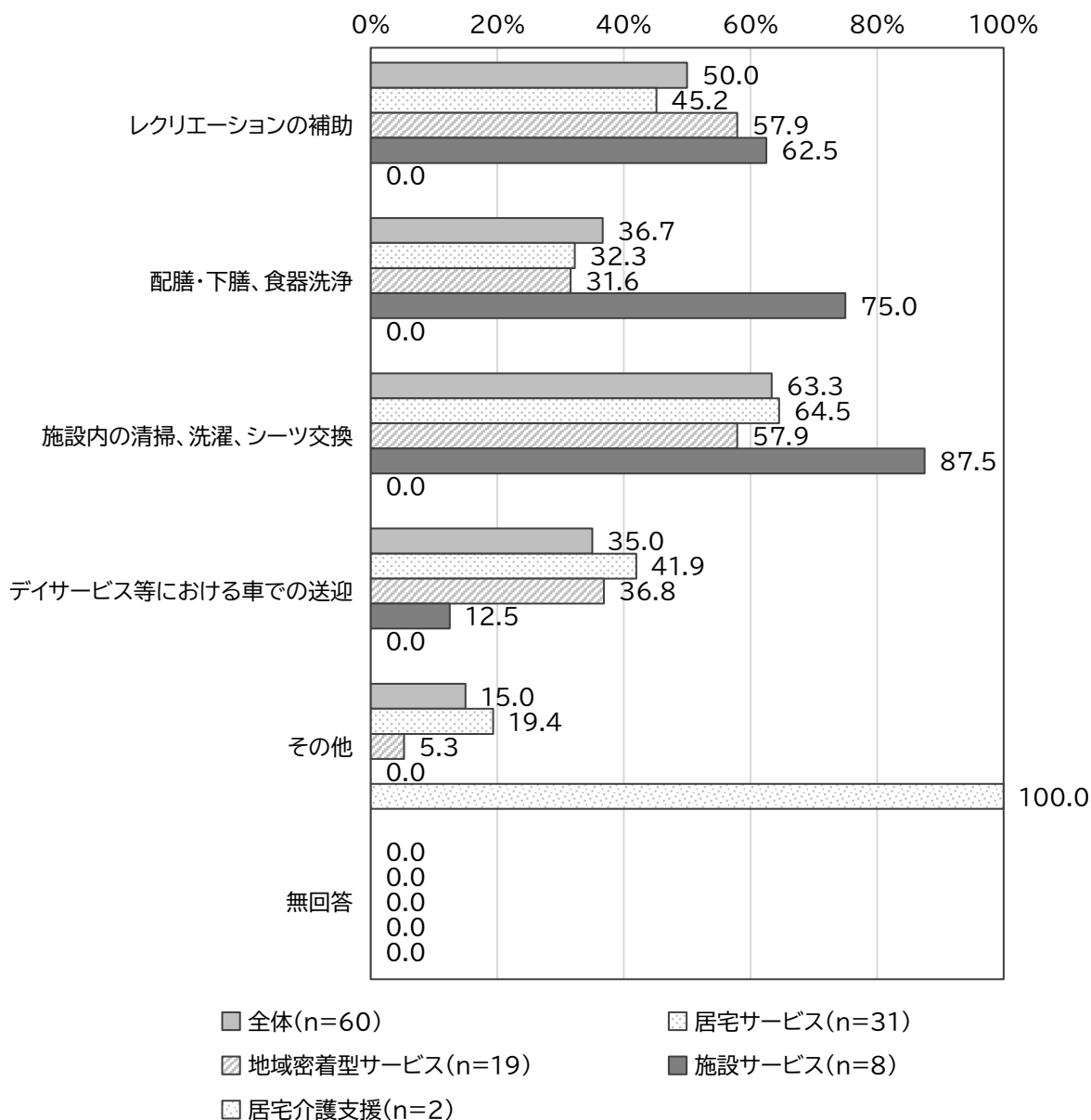
【問22で「1. 検討している」とお答えになった方におたずねします。】

問22-2 介護助手（補助スタッフ）として採用する場合、依頼したい仕事は何ですか。
 (〇はいくつでも)

介護助手として採用する場合、依頼したい仕事については、「施設内の清掃、洗濯、シーツ交換」が63.3%と最も高く、次いで「レクリエーションの補助」が50.0%、「配膳・下膳、食器洗浄」が36.7%と続いています。

サービス分類別にみると、居宅サービスと施設サービスでは「施設内の清掃、洗濯、シーツ交換」が最も高く、地域密着型では「レクリエーションの補助」と「施設内の清掃、洗濯、シーツ交換」が最も高くなっています。

図表 4-4-15 介護助手に依頼したい仕事



5. 近年の制度改正の影響や職員処遇について

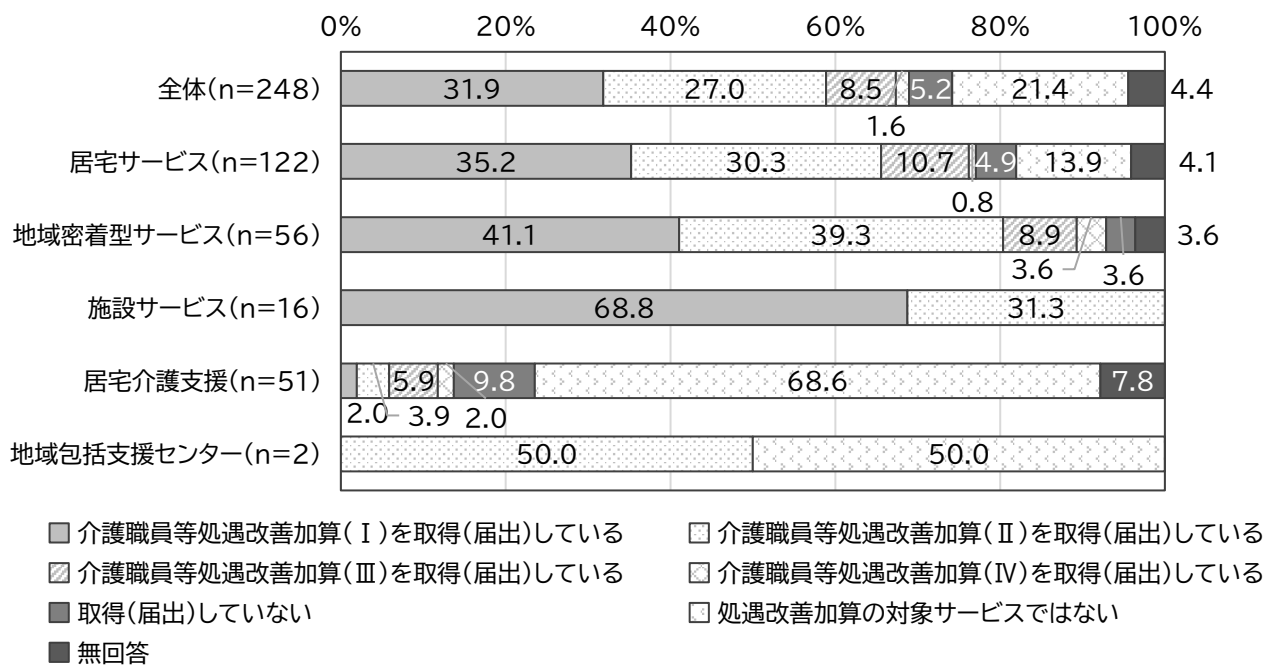
(1) 介護職員等処遇改善加算の取得状況

問 23 貴事業所では、介護職員等処遇改善加算を取得（届出）されていますか。（○は1つ）

介護職員等処遇加算の取得については、「介護職員等処遇加算（Ⅰ）を取得（届出）している」が31.9%で最も高くなっています。

サービス分類別にみると、「介護職員等処遇加算（Ⅰ）を取得（届出）している」では、施設サービスが68.6%と最も高くなっています。

図表 4-5-1 介護職員等処遇改善加算の取得状況



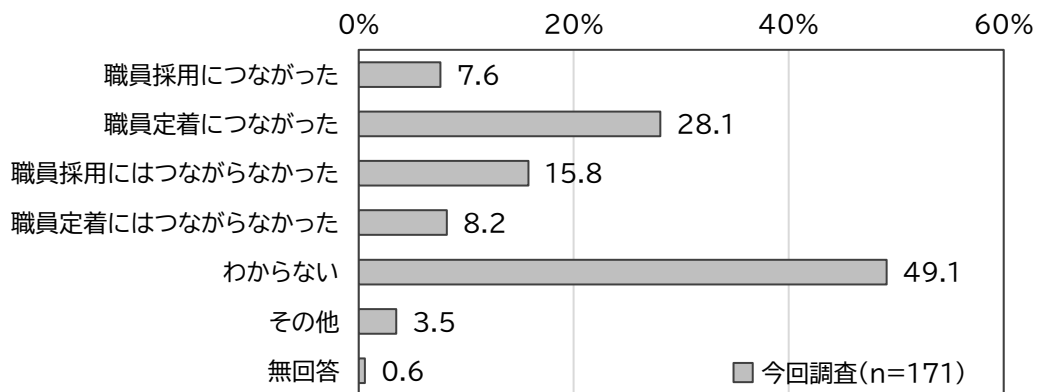
(2) 介護職員等処遇改善加算の取得による職員の採用や定着

【問23で「1」～「4」をお答えになった方におたずねします。】

問23-1 新制度の移行により、以前と比べて職員の採用や定着につながりましたか。
(〇はいくつでも)

新制度の移行により、以前と比べて職員の採用や定着につながったかについては、「わからない」が49.1%で最も高く、「職員定着につながった」は28.1%、「職員採用にはつながらなかった」が15.8%と続いています。

図表 4-5-2 介護職員等処遇改善加算の取得による職員の採用や定着



サービス分類別にみると、施設サービスでは、「職員定着につながった」が50.0%で最も高くなっています。

図表 4-5-3 介護職員等処遇改善加算の取得による職員の採用や定着 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

サービス分類別	合計	職員採用につながった	職員定着につながった	職員採用にはつながらなかった	職員定着にはつながらなかった	わからない	その他	無回答	
		構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	構成比 (%)	
全体	171	7.6	28.1	15.8	8.2	49.1	3.5	0.6	
サービス分類別	居宅サービス	94	7.4	24.5	19.1	8.5	51.1	3.2	1.1
	地域密着型サービス	52	7.7	30.8	9.6	5.8	50.0	3.8	0.0
	施設サービス	16	12.5	50.0	18.8	6.3	31.3	6.3	0.0
	居宅介護支援	7	0.0	14.3	0.0	28.6	57.1	0.0	0.0
	地域包括支援センター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

(3) 介護職員等処遇改善加算を取得していない理由

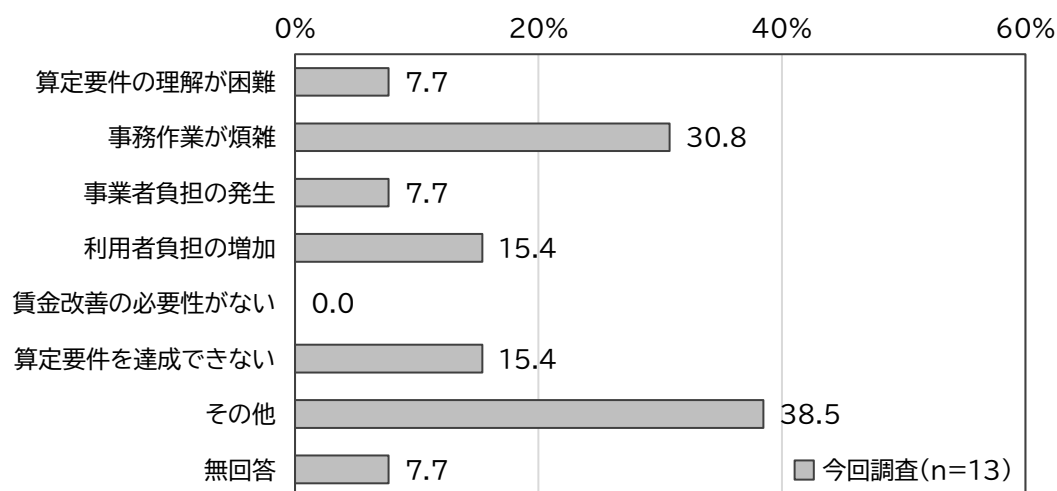
【問23で「5」をお答えになった方におたずねします。】

問23-2 取得（届出）していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

取得（届出）していない理由については、「その他」が38.5%と最も高く、次いで「事務作業が煩雑」が30.8%、「利用者負担の増加」と「算定要件を達成できない」がともに15.4%と続きます。

また、その他の内容では、「介護職員がいないため」、「居宅介護支援のため」などがありました。

図表 4-5-4 介護職員等処遇改善加算を取得していない理由



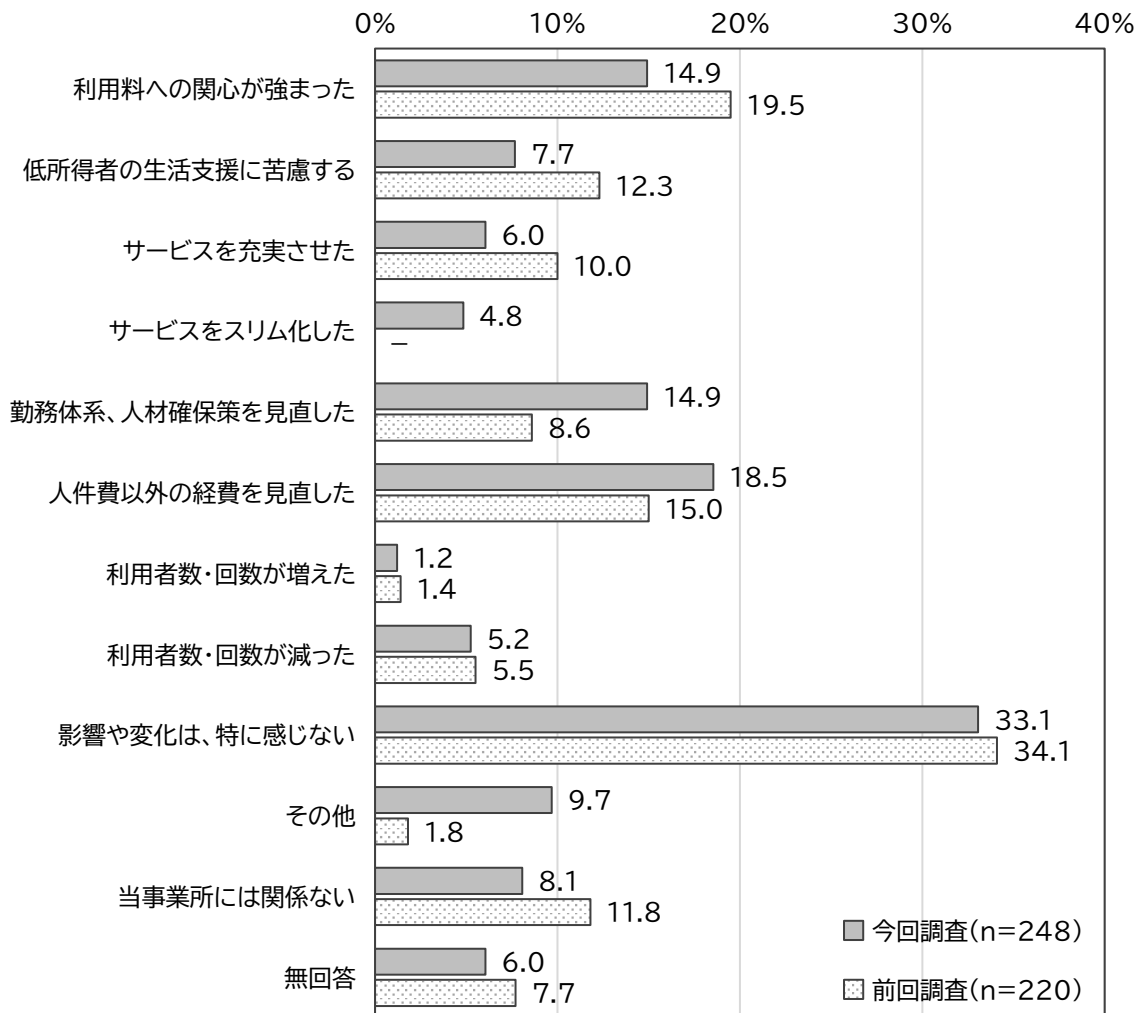
(4) 介護報酬の改定に伴う影響や変化

問 24 貴事業所では、介護報酬の改定に伴う影響や変化としてどのようなものがありましたか。
(〇はいくつでも)

介護報酬の改定に伴う影響や変化については、「影響や変化は、特に感じない」が33.1%と最も高く、次いで「人件費以外の経費を見直した」が18.5%、「利用料への関心が強まった」と「勤務体系、人材確保策を見直した」がともに14.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「勤務体系、人材確保策を見直した」(14.9%)が前回調査(8.6%)より6.3ポイント増加しています。

図表 4-5-5 介護報酬の改定に伴う影響や変化



第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

サービス分類別にみると、施設サービスでは「人件費以外の経費を見直した」が37.5%と最も高く、それ以外のサービスでは「影響や変化は、特に感じない」が高い割合となっています。

図表 4-5-6 介護報酬の改定に伴う影響や変化 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	利用料への関心が強まった	低所得者の生活支援に苦慮する	サービスを充実させた	サービスをスリム化した	勤務体系、人材確保策を見直した	人件費以外の経費を見直した
全体		248	14.9	7.7	6.0	4.8	14.9	18.5
サービス分類別	居宅サービス	122	16.4	9.0	6.6	7.4	19.7	23.0
	地域密着型サービス	56	21.4	5.4	8.9	3.6	16.1	17.9
	施設サービス	16	12.5	0.0	6.3	0.0	18.8	37.5
	居宅介護支援	51	5.9	9.8	2.0	2.0	2.0	3.9
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		合計	利用者数・回数が増えた	利用者数・回数が減った	影響や変化は、特に感じない	その他	当事業所には関係ない	無回答
全体		248	1.2	5.2	33.1	9.7	8.1	6.0
サービス分類別	居宅サービス	122	0.8	6.6	31.1	9.8	5.7	3.3
	地域密着型サービス	56	3.6	3.6	35.7	7.1	1.8	7.1
	施設サービス	16	0.0	18.8	25.0	18.8	0.0	6.3
	居宅介護支援	51	0.0	0.0	37.3	9.8	21.6	9.8
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0

6. 介護保険サービスの経営状況について

(1) 事業所の経営状況

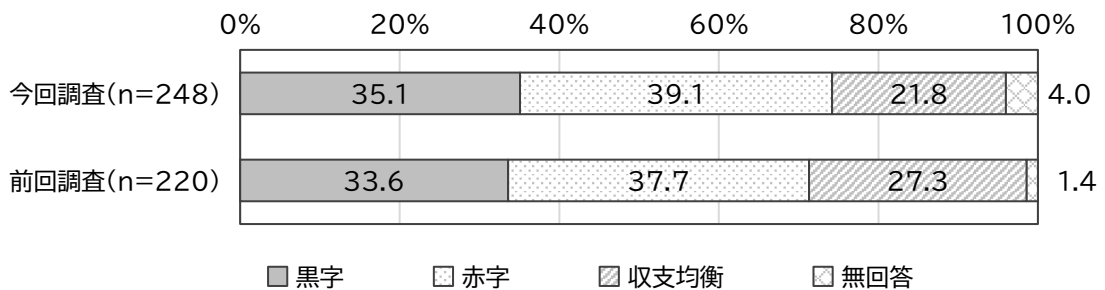
問 25 貴事業所の経営状況（収支）について教えてください。（○は1つ）

※非営利法人の場合は、収支の状況についてお答えください。

経営状況（収支）については、「赤字」が39.1%、「黒字」が35.1%、「収支均衡」が21.8%となっています。

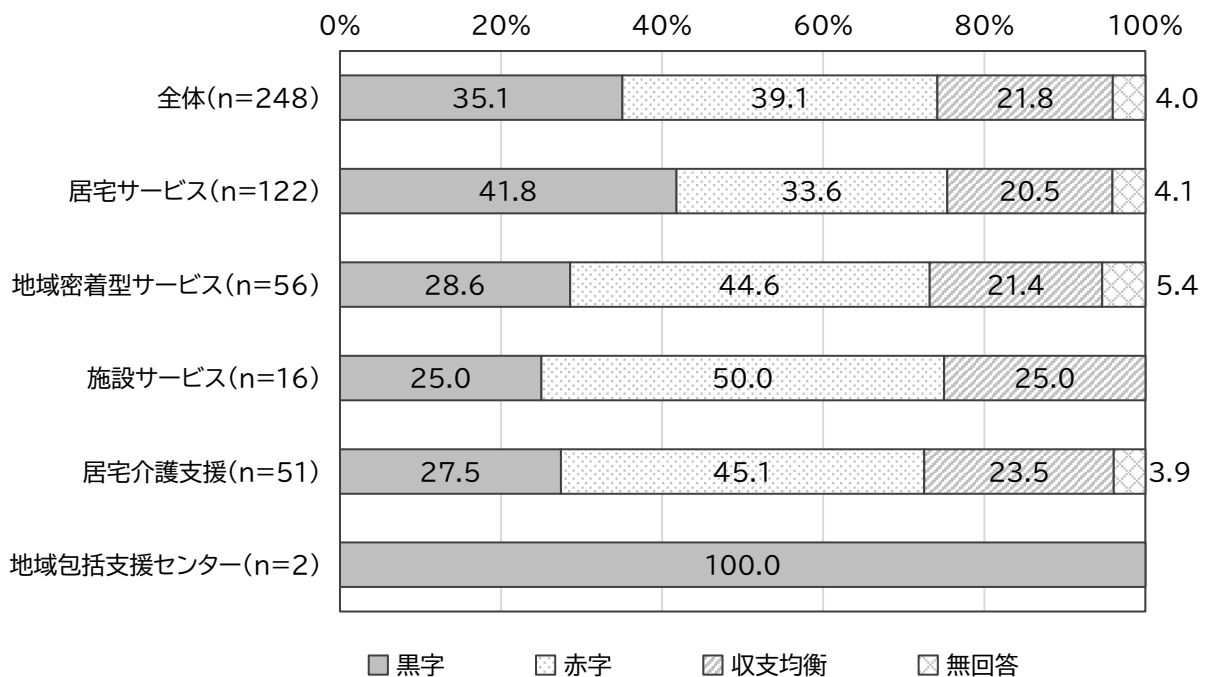
前回調査と比べると、「収支均衡」の割合は低く、「黒字」と「赤字」の割合がともに高くなっています。

図表 4-6-1 事業所の経営状況



サービス分類別にみると、「赤字」では施設サービスが50.0%と最も高くなっています。

図表 4-6-2 事業所の経営状況 サービス分類別



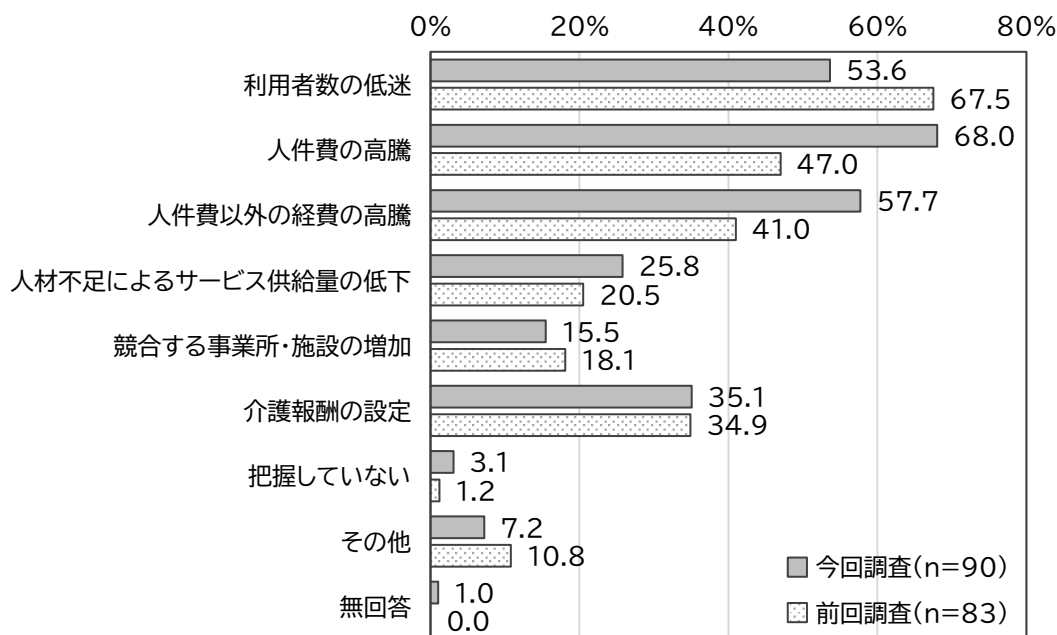
(2) 赤字の主な理由

【問 25 で「2. 赤字」とお答えになった方におたずねします。】
 問 25-1 赤字の主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

赤字の主な理由については、「人件費の高騰」が68.0%と最も高く、次いで「人件費以外の経費の高騰」が57.7%、「利用者の低迷」が53.6%と続いています。

前回調査と比べると、「人件費の高騰」(68.0%)が前回調査(47.0%)より21.0ポイント増加している一方で「利用者数の低迷」(53.6%)が前回調査67.5%より13.9ポイント減少しています。

図表 4-6-3 赤字の主な理由



サービス分類別にみると、いずれも「人件費の高騰」が最も高くなっています。

図表 4-6-4 赤字の主な理由 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

サービス分類別	合計	利用者数の低迷	人件費の高騰	人件費以外の経費の高騰	人材不足によるサービス供給量の低下	競合する事業所・施設の増加	介護報酬の設定	把握していない	その他	無回答	
全体	97	53.6	68.0	57.7	25.8	15.5	35.1	3.1	7.2	1.0	
サービス分類別	居宅サービス	41	63.4	73.2	65.9	31.7	22.0	34.1	0.0	7.3	0.0
	地域密着型サービス	25	68.0	68.0	64.0	12.0	16.0	28.0	4.0	4.0	0.0
	施設サービス	8	62.5	100.0	87.5	37.5	12.5	62.5	0.0	12.5	0.0
	居宅介護支援	23	17.4	47.8	26.1	26.1	4.3	34.8	8.7	8.7	4.3
	地域包括支援センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

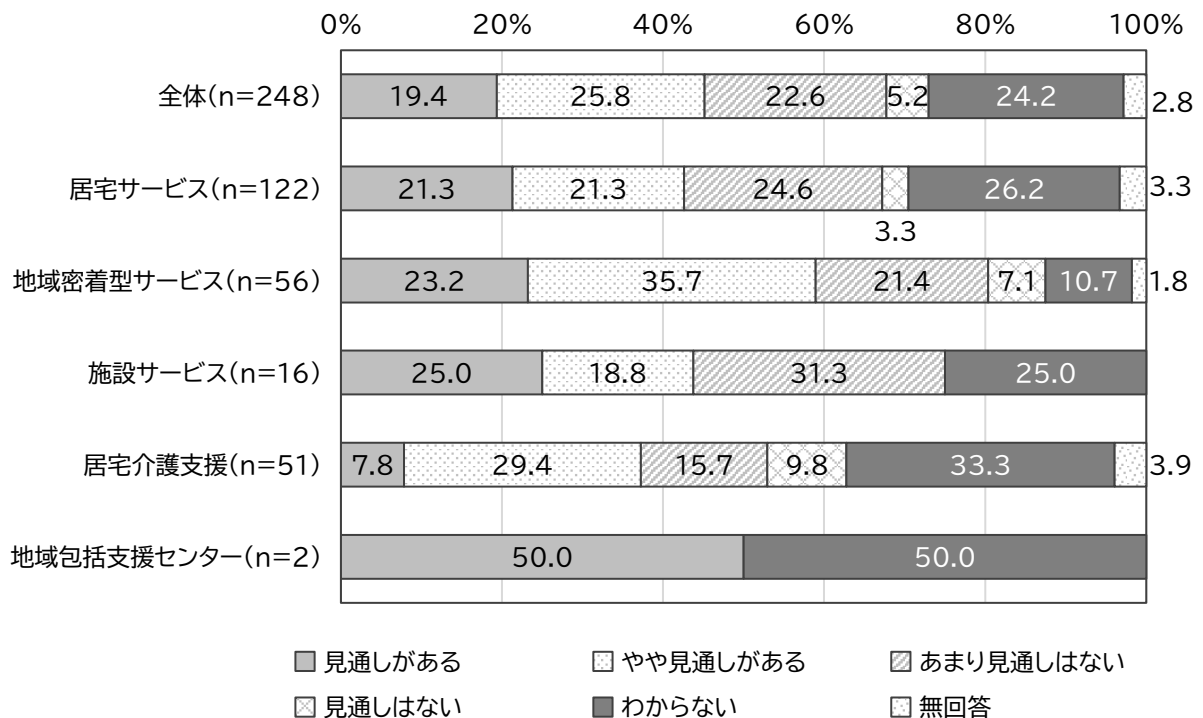
(3) 介護保険サービスの将来性について

問 26 貴事業所が実施している介護保険サービス（総合事業を含む）の将来性について、どのよう
にお考えですか。（○は1つ）

実施している介護保険サービス（総合事業を含む）の将来性については、「やや見通しがある」が25.8%と最も高く、次いで、「わからない」が24.2%、「あまり見通しはない」が22.6%と続いています。

サービス分類別にみると、『見通しはない』（「あまり見通しはない」と「見通しはない」の合計）では、施設サービスが31.3%と最も高くなっています。

図表 4-6-5 介護保険サービスの将来性について



第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

(4) 今後の事業展開について

問 27 貴事業所を含む法人全体の今後の事業予定について、お聞かせください。

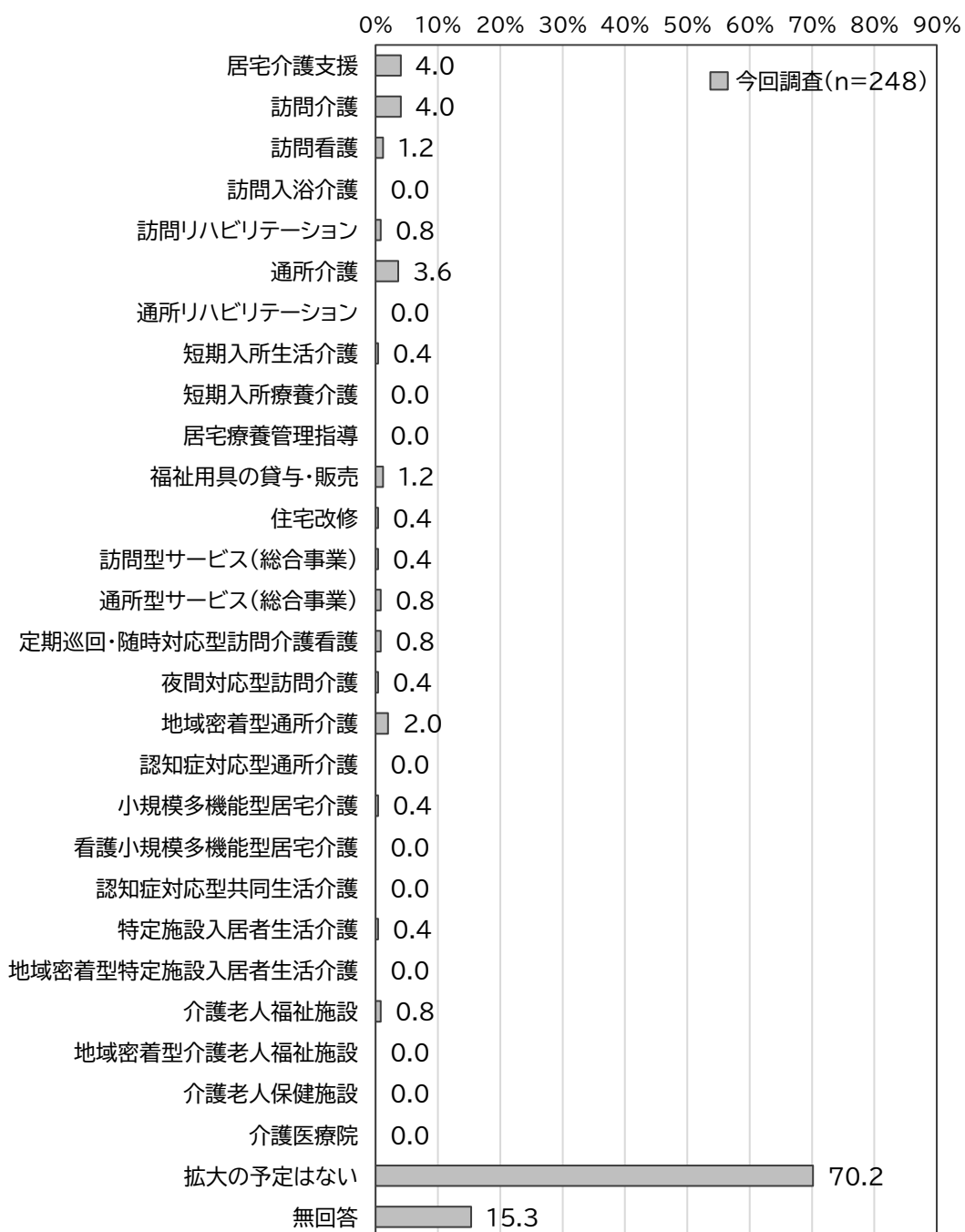
(1) 立川市内で拡大予定または縮小・廃止予定の事業はありますか。(○はいくつでも)

※ この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

■立川市内で拡大予定の事業

立川市内での拡大予定の事業については、「拡大の予定はない」が70.2%と最も高く、次いで「居宅介護支援」と「訪問介護」がともに4.0%、「通所介護」が3.6%と続いています。

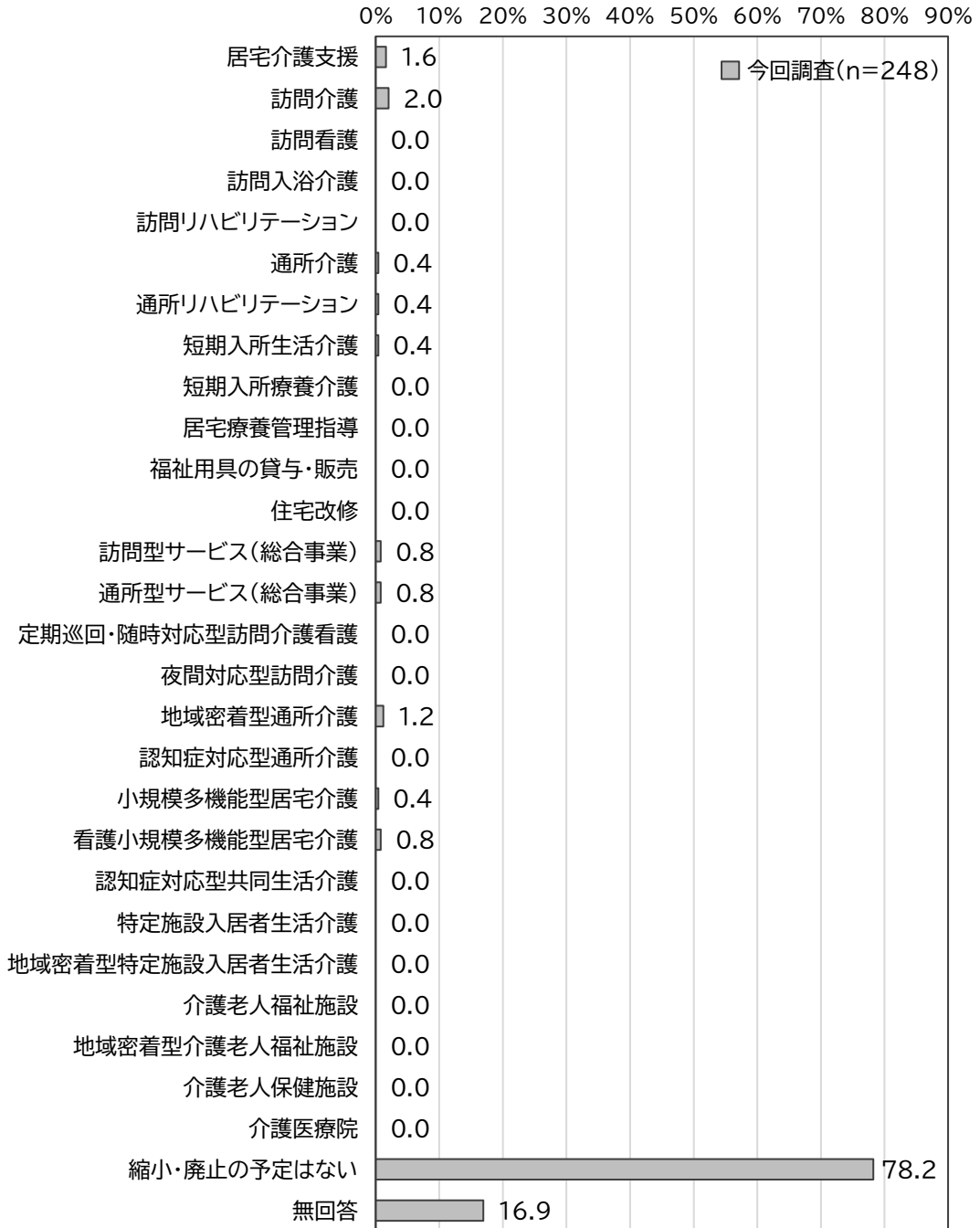
図表 4-6-6 今後の事業展開（拡大予定の事業）



■立川市内で縮小・廃止予定の事業

立川市内での縮小・廃止予定の事業については、「縮小・廃止の予定はない」が78.2%と最も高く、次いで「訪問介護」が2.6%、「居宅介護支援」が1.6%と続いています。

図表 4-6-7 今後の事業展開（縮小・廃止予定の事業）



7. 近年の物価高騰の影響について

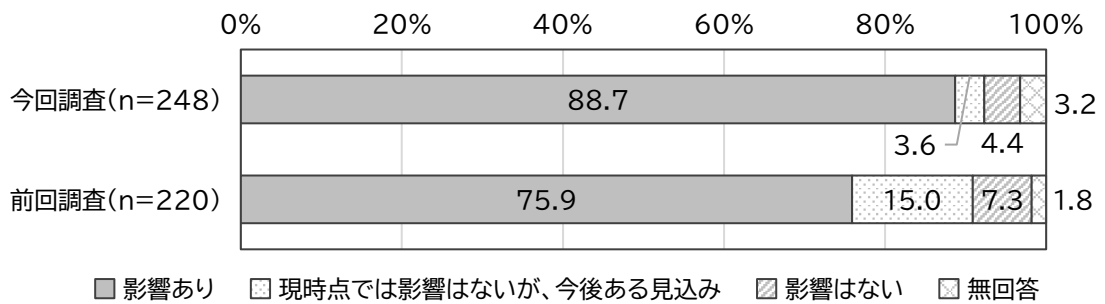
(1) 物価高騰による影響の有無

問 28 現在の物価高騰の影響はありますか。(○は1つ)

現在の物価高騰の影響については、「影響あり」が88.7%、「影響はない」が4.4%、「現時点では影響ないが、今後ある見込み」が3.6%となっています。

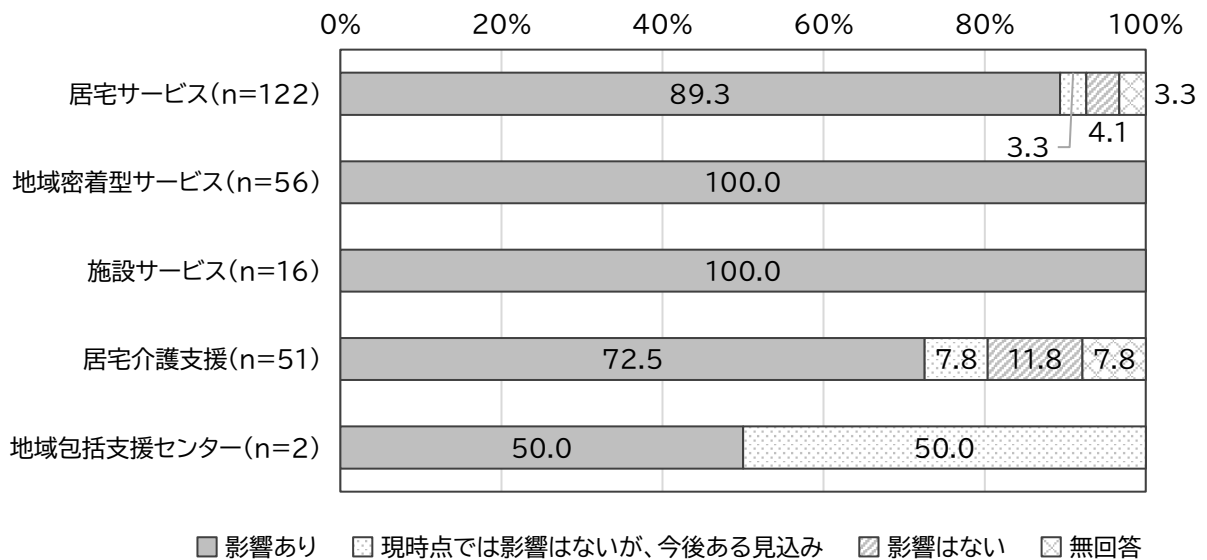
前回調査と比べると、「影響あり」(88.7%)では、前回調査(75.9%)より12.8ポイント増加しています。

図表 4-7-1 物価高騰による影響の有無



サービス分類別にみると、「影響あり」では、地域密着型サービスと施設サービスで、ともに100%となっています。

図表 4-7-2 物価高騰による影響の有無 サービス分類別



(2) 物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる経費

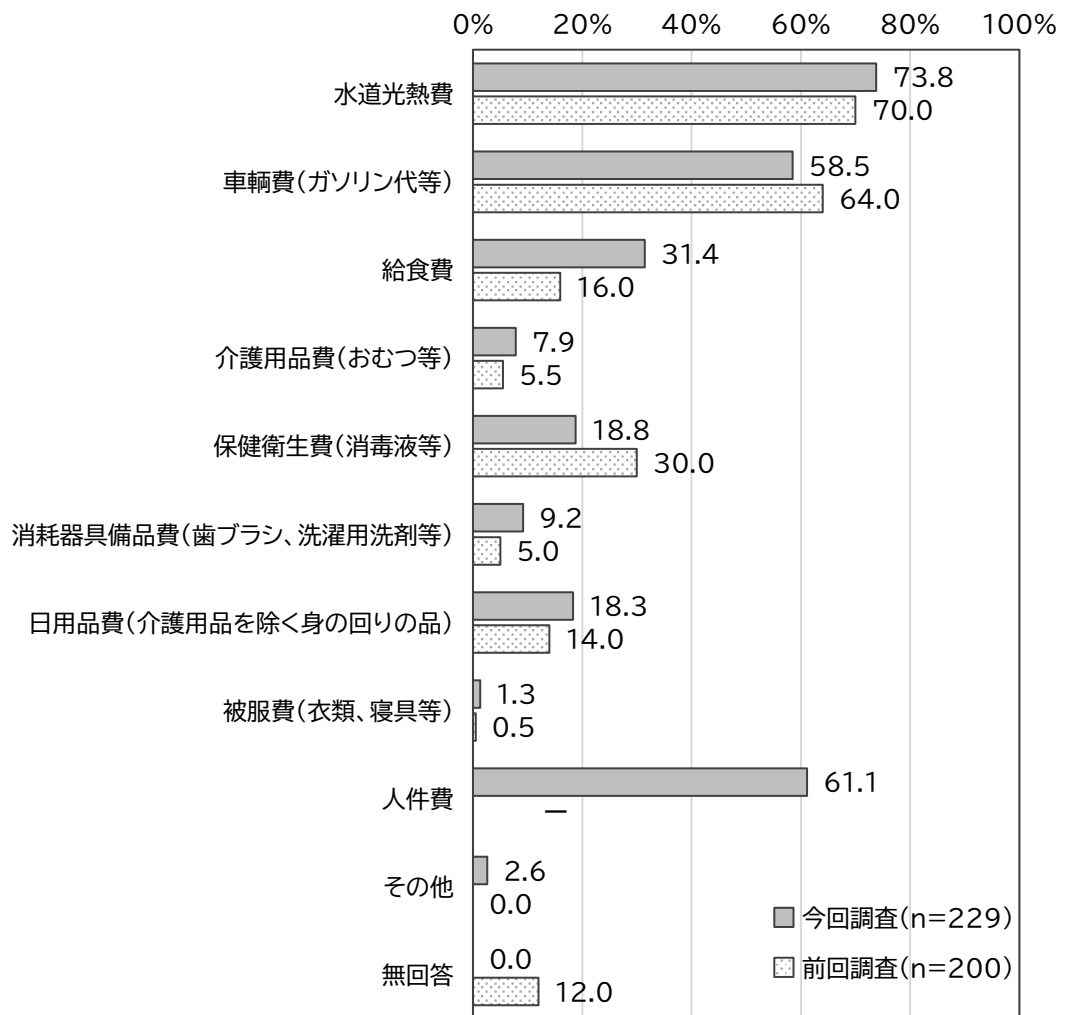
【問 28 で「1」「2」とお答えになった方におたずねします。】

問 28-1 物価高騰の影響について、サービス活動費用増加への影響が大きいと見込まれる経費についてお書きください。(〇は3つまで)

物価高騰の影響が大きいと見込まれる経費については、「水道光熱費」の割合が 73.8%と最も高く、次いで「人件費」が 61.1%、「車両費（ガソリン代等）」が 58.5%と続いています。

前回調査と比べると、「給食費」(31.4%)が前回調査(16.0%)より 15.4 ポイント増加し、「保健衛生費（消毒液等）」(18.8%)が前回調査(30.0%)より 11.2 ポイント減少しています。

図表 4-7-3 物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる経費



第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

サービス分類別にみると、「給食費」では、施設サービスが87.5%で最も高い割合となっています。

図表 4-7-4 物価高騰による影響でサービス活動費用増加が見込まれる経費 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	水道光熱費	車両費(ガソリン代等)	給食費	介護用品費(おむつ等)	保健衛生費(消毒液等)	消耗器具備品費 (歯ブラシ、洗濯用洗剤等)
全体		229	73.8	58.5	31.4	7.9	18.8	9.2
サービス分類別	居宅サービス	113	68.1	61.9	32.7	7.1	20.4	8.0
	地域密着型サービス	56	76.8	62.5	35.7	10.7	23.2	14.3
	施設サービス	16	87.5	12.5	87.5	18.8	6.3	0.0
	居宅介護支援	41	78.0	63.4	2.4	2.4	14.6	9.8
	地域包括支援センター	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		合計	日用品費 (介護用品を除く身の回りの品)	被服費(衣類、寝具等)	人件費	その他	無回答
全体		229	18.3	1.3	61.1	2.6	0.0
サービス分類別	居宅サービス	113	15.0	1.8	62.8	2.7	0.0
	地域密着型サービス	56	35.7	1.8	55.4	3.6	0.0
	施設サービス	16	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0
	居宅介護支援	41	12.2	0.0	51.2	2.4	0.0
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

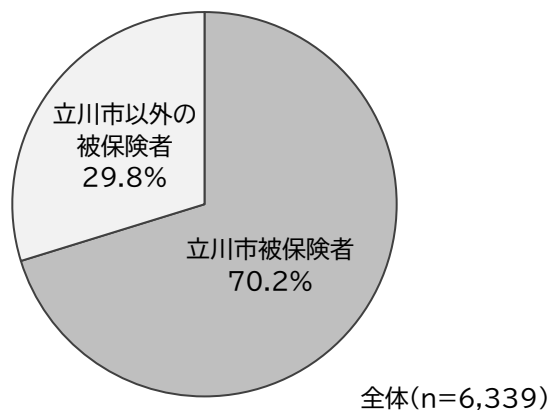
8. 市内の介護保険事業所の状況等について

(1) 居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数

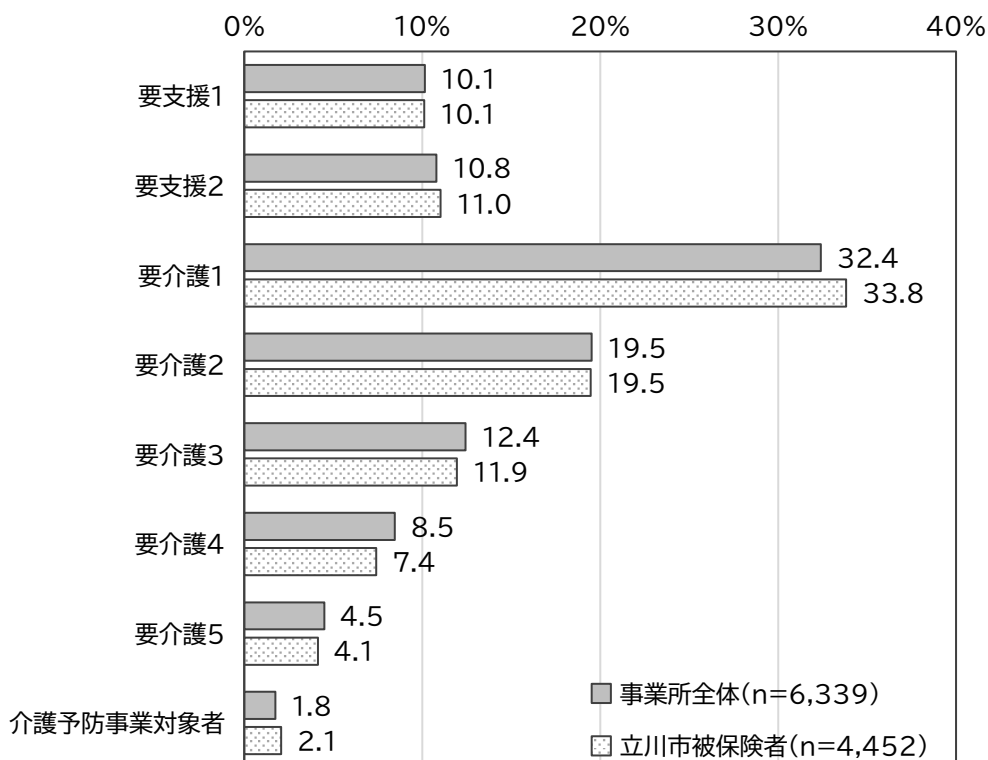
問 29 居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数は何人ですか。令和7年10月末現在について、要介護度別にお答えください。

居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数について、事業所全体の合計件数は6,339件で、そのうち立川市被保険者は70.2%となっており、要介護度別でみると、立川市被保険者のうち要介護1が33.8%で最も高くなっています。

図表 4-8-1 居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数



図表 4-8-2 居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数 要介護度別



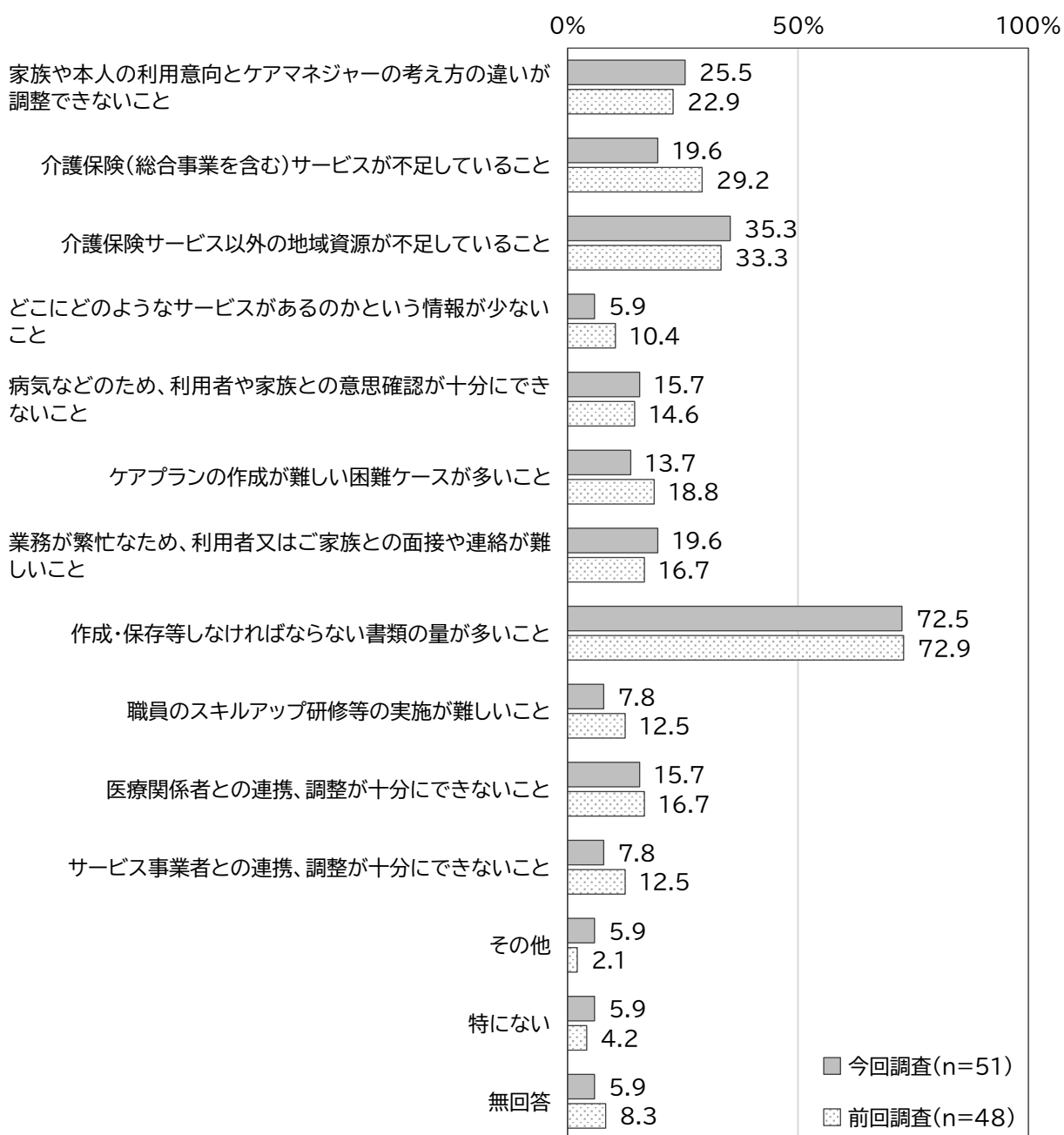
第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

(2) ケアプラン作成時の問題・課題

問 30 ケアプラン作成にあたり、貴事業所の介護支援専門員にとって、問題・課題となっていることはありますか。(〇はいくつでも)

ケアプラン作成にあたり、介護支援専門員にとって、問題・課題となっていることについては、「作成・保存等しなければならない書類の量が多いこと」が72.5%と最も高く、次いで「介護保険サービス以外の地域資源が不足していること」が35.3%、「家族や本人の利用意向とケアマネジャーの考え方の違いが調整できないこと」が25.5%と続いています。

図表 4-8-3 ケアプラン作成時の問題・課題

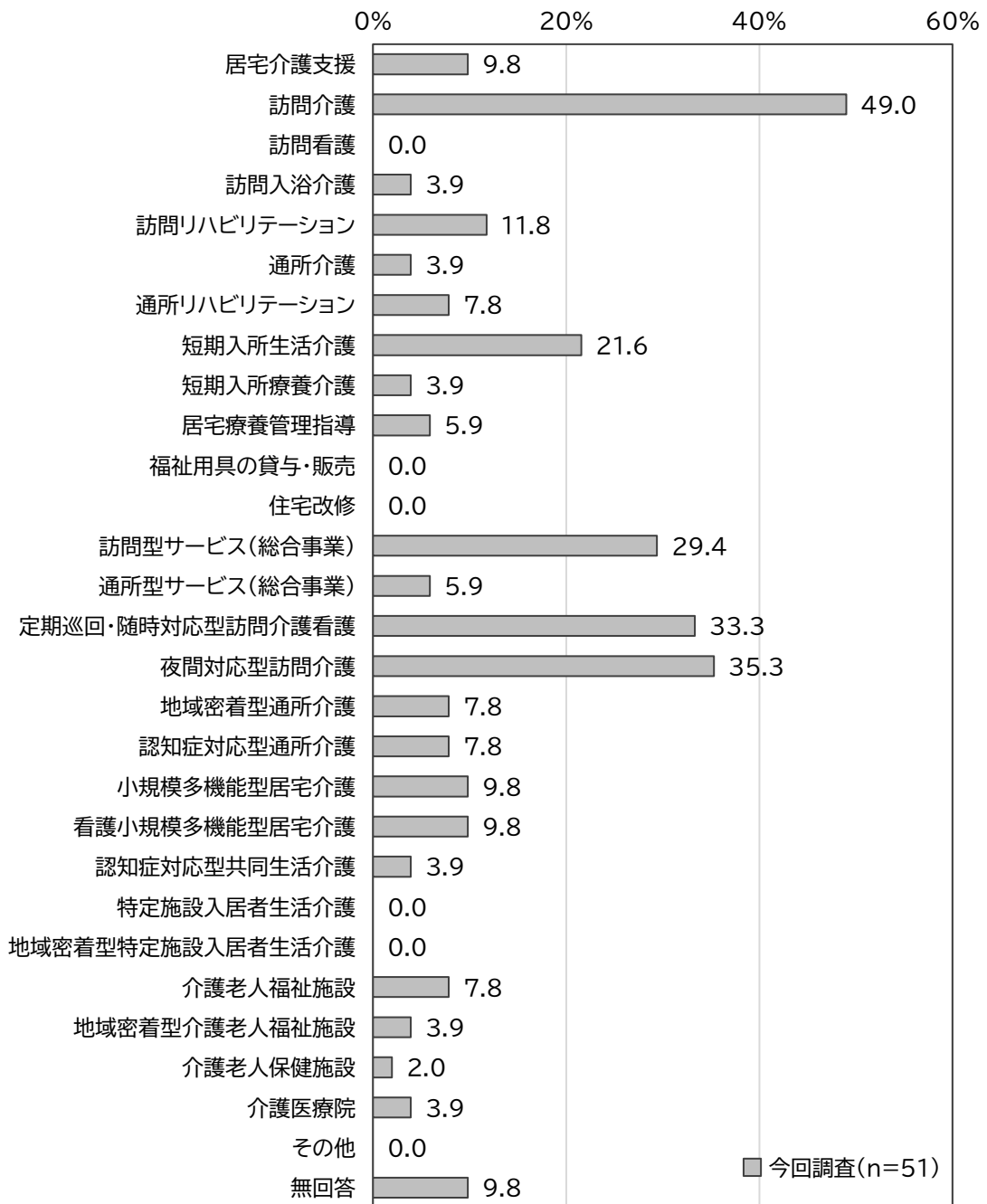


(3) 市内で不足している介護保険サービス

問 31 市内で不足していると思う介護保険サービス（総合事業を含む）はどれですか。
 （〇はいくつでも）※ この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

市内で不足していると思う介護保険サービス（総合事業を含む）については、「訪問介護」が49.0%と最も高く、次いで「夜間対応型訪問介護」が35.3%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が33.3%と続いています。いずれも訪問型のサービスが高い割合となっています。

図表 4-8-4 市内で不足している介護保険サービス



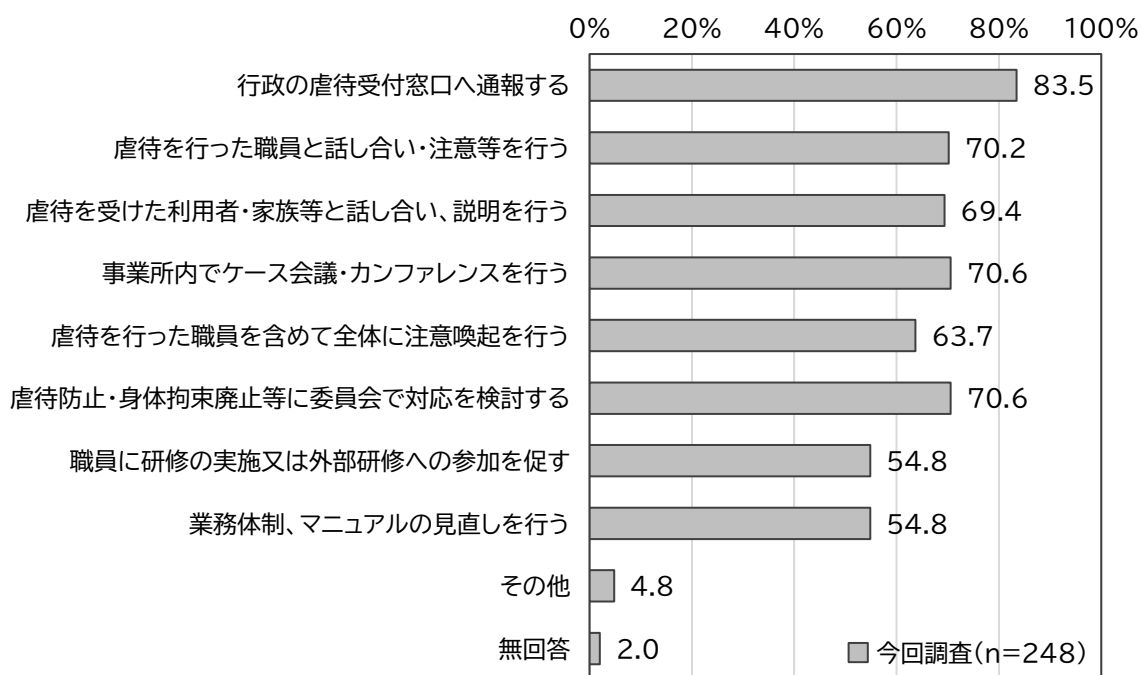
第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

(4) 事業所で高齢者虐待が疑われたときの対応

問 32 貴事業所で高齢者虐待が疑われるケースに気づいた際、どのような対応を行いますか。
(〇はいくつでも)

高齢者虐待が疑われるケースに気づいた際の対応については、「行政の虐待受付窓口へ通報する」が83.5%と最も高く、次いで「事業所内でケース会議・カンファレンスを行う」と「虐待防止・身体拘束廃止等に委員会に対応を検討する」がともに70.6%となっています。

図表 4-8-5 事業所で高齢者虐待が疑われたときの対応



サービス分類別にみても、「行政の虐待受付窓口へ通報する」は、地域密着型サービスを除くすべての項目において、最も高い割合となっています。

図表 4-8-6 事業所で高齢者虐待が疑われたときの対応 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

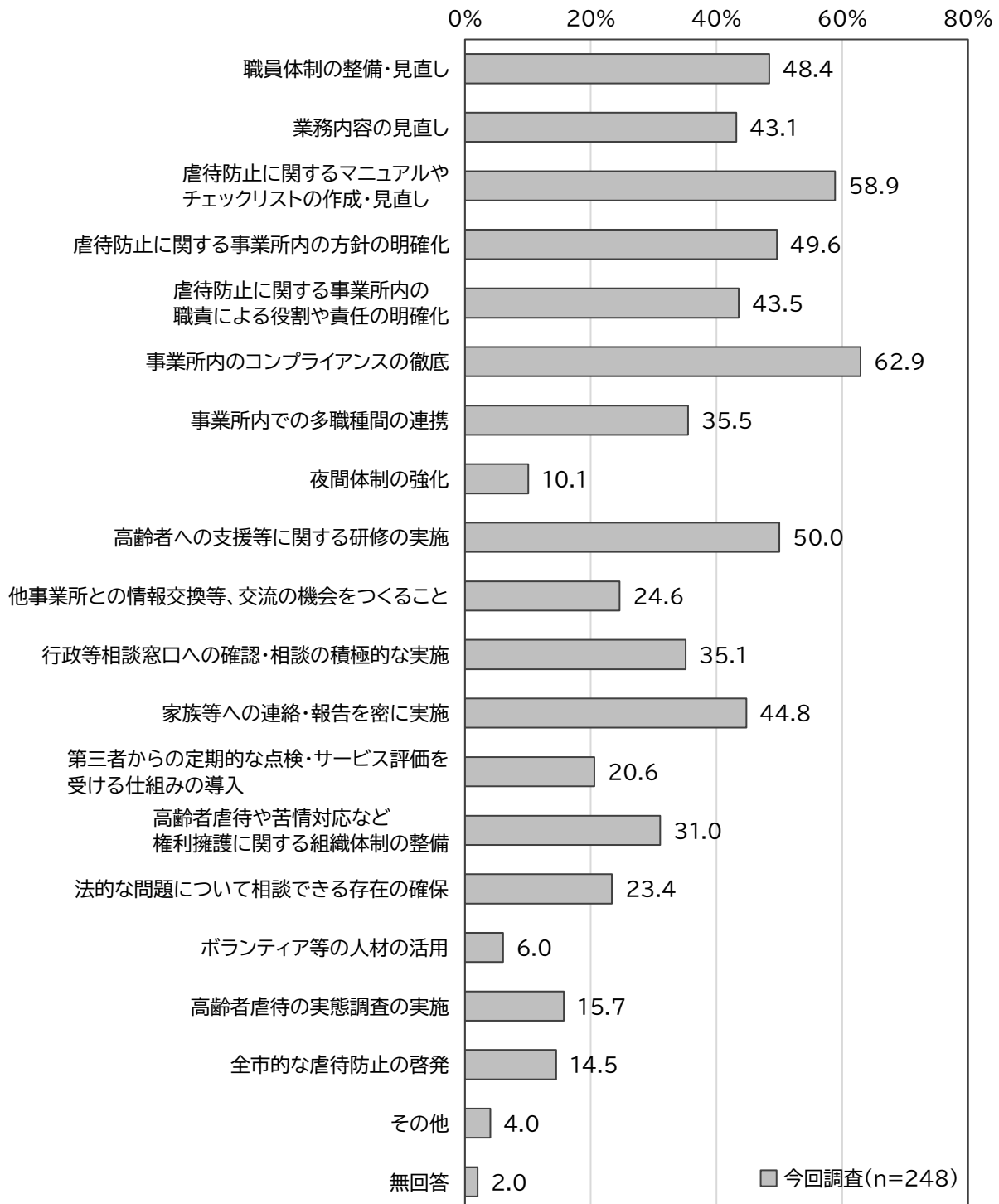
サービス分類別	合計	行政の虐待受付窓口へ通報する	虐待を行った職員と話し合い・注意等を行う	虐待を受けた利用者・家族等と話し合い、説明を行う	事業所内でケース会議・カンファレンスを行う	虐待を行った職員を含めて全体に注意喚起を行う	虐待防止・身体拘束廃止等に委員会に対応を検討する	職員に研修の実施又は外部研修への参加を促す	業務体制、マニュアルの見直しを行う	その他	無回答	
		全体	248	83.5	70.2	69.4	70.6	63.7	70.6	54.8	54.8	4.8
サービス分類別	居宅サービス	122	84.4	76.2	74.6	73.0	70.5	78.7	62.3	63.1	4.1	2.5
	地域密着型サービス	56	75.0	76.8	71.4	67.9	67.9	64.3	46.4	44.6	5.4	0.0
	施設サービス	16	93.8	81.3	81.3	87.5	81.3	93.8	81.3	75.0	6.3	0.0
	居宅介護支援	51	86.3	45.1	51.0	62.7	37.3	49.0	37.3	39.2	5.9	3.9
	地域包括支援センター	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(5) 事業所での高齢者虐待防止に必要なこと

問 33 事業所での高齢者虐待の防止にむけて必要と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

事業所での高齢者虐待の防止にむけて必要と思うことについて、「事業所内のコンプライアンスの徹底」が62.9%と最も高く、次いで「虐待防止に関するマニュアルやチェックリストの作成・見直し」が58.9%、「高齢者への支援等に関する研修の実施」が50.0%と続いています。

図表 4-8-7 事業所での高齢者虐待防止に必要なこと



第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

サービス分類別にみると、「事業所内のコンプライアンスの徹底」と「虐待防止に関するマニュアルやチェックリストの作成・見直し」がともに高い割合となっています。

図表 4-8-8 事業所での高齢者虐待防止に必要なこと サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	職員体制の整備・見直し	業務内容の見直し	虐待防止に関するマニュアルやチェックリストの作成・見直し	虐待防止に関する事業所内の方針の明確化	虐待防止に関する事業所内の職責による役割や責任の明確化	事業所内のコンプライアンスの徹底	事業所内での多職種間の連携	夜間体制の強化	高齢者への支援等に関する研修の実施	他事業所との情報交換等、交流の機会をつくること	
全体	248	48.4	43.1	58.9	49.6	43.5	62.9	35.5	10.1	50.0	24.6	
サービス分類別	居宅サービス	122	56.6	47.5	61.5	52.5	50.0	66.4	39.3	11.5	49.2	28.7
	地域密着型サービス	56	53.6	48.2	58.9	42.9	35.7	58.9	28.6	7.1	51.8	14.3
	施設サービス	16	62.5	56.3	56.3	56.3	56.3	81.3	50.0	18.8	68.8	18.8
	居宅介護支援	51	21.6	25.5	52.9	49.0	33.3	52.9	29.4	7.8	47.1	27.5
	地域包括支援センター	2	0.0	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0

	合計	行政等相談窓口への確認・相談の積極的な実施	家族等への連絡・報告を密に実施	第三者からの定期的な点検・サービス評価を受ける仕組みの導入	高齢者虐待や苦情対応など権利擁護に関する組織体制の整備	法的な問題について相談できる存在の確保	ボランティア等の人材の活用	高齢者虐待の実態調査の実施	全市的な虐待防止の啓発	その他	無回答	
全体	248	35.1	44.8	20.6	31.0	23.4	6.0	15.7	14.5	4.0	2.0	
サービス分類別	居宅サービス	122	34.4	53.3	19.7	30.3	24.6	6.6	18.9	14.8	4.1	2.5
	地域密着型サービス	56	25.0	35.7	16.1	28.6	14.3	8.9	14.3	10.7	3.6	0.0
	施設サービス	16	37.5	56.3	43.8	31.3	43.8	6.3	25.0	12.5	6.3	0.0
	居宅介護支援	51	47.1	31.4	19.6	35.3	23.5	2.0	7.8	19.6	2.0	3.9
	地域包括支援センター	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

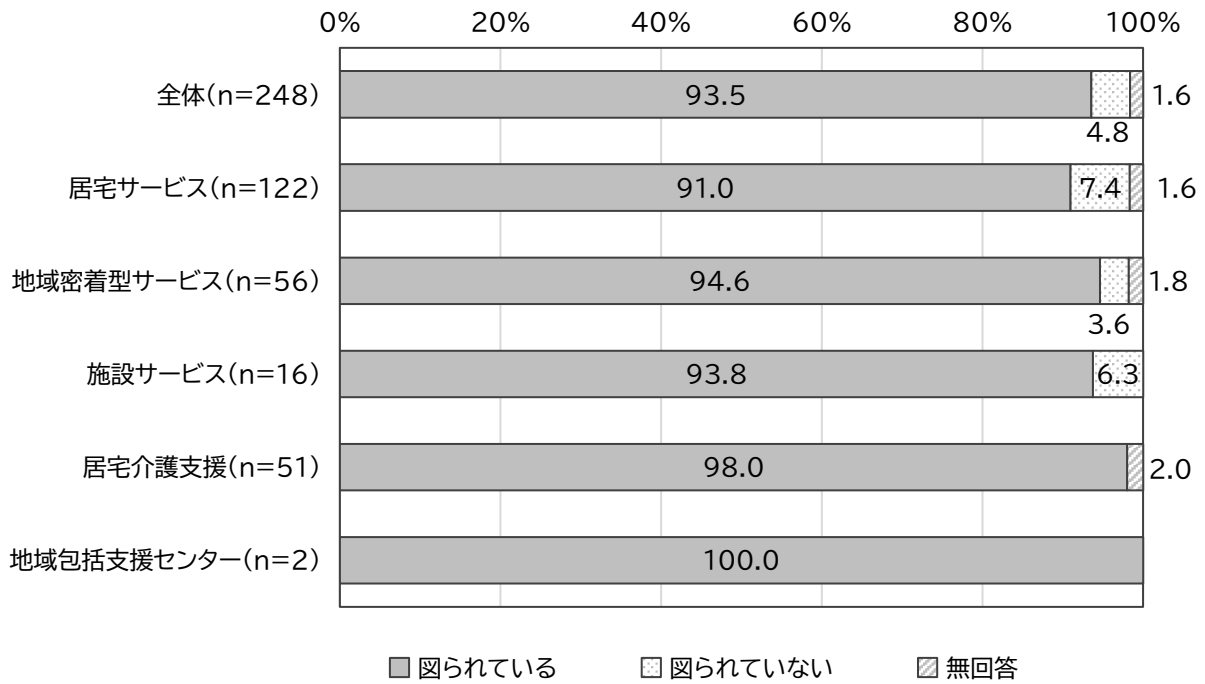
(6) 災害に係る業務継続計画（BCP）の周知状況

問 34 災害に係る業務継続計画（BCP）について事業所内で周知が図られていますか。
（〇は1つ）

災害に係る業務継続計画（BCP）の事業所内での周知については、「図られている」が93.5%、「図られていない」が4.8%となっています。

サービス分類別にみると、すべての項目において「図られている」が90%以上となっています。

図表 4-8-9 災害に係る業務継続計画（BCP）の周知状況



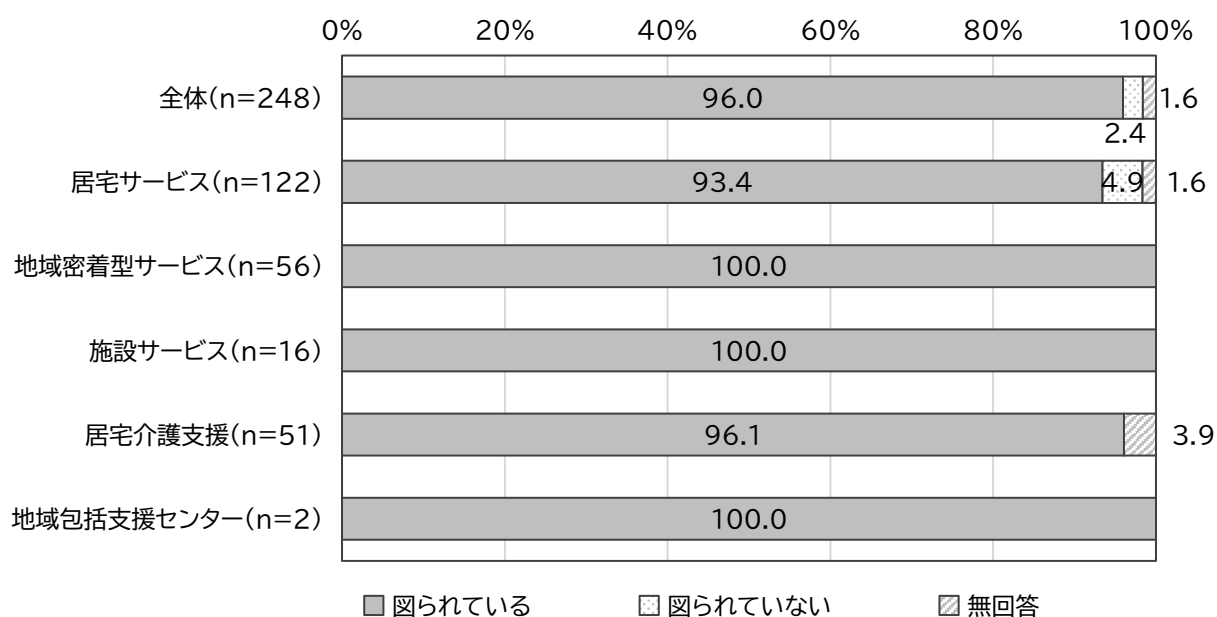
(7) 感染症に係る業務継続計画（BCP）の周知状況

問 35 感染症に係る業務継続計画（BCP）について事業所内で周知が図られていますか。
（〇は1つ）

感染症に係る業務継続計画（BCP）の事業所内での周知については、「図られている」が96.0%、「図られていない」が2.4%となっています。

サービス分類別にみると、すべての項目において「図られている」が90%以上となっています。

図表 4-8-10 感染症に係る業務継続計画（BCP）の周知状況



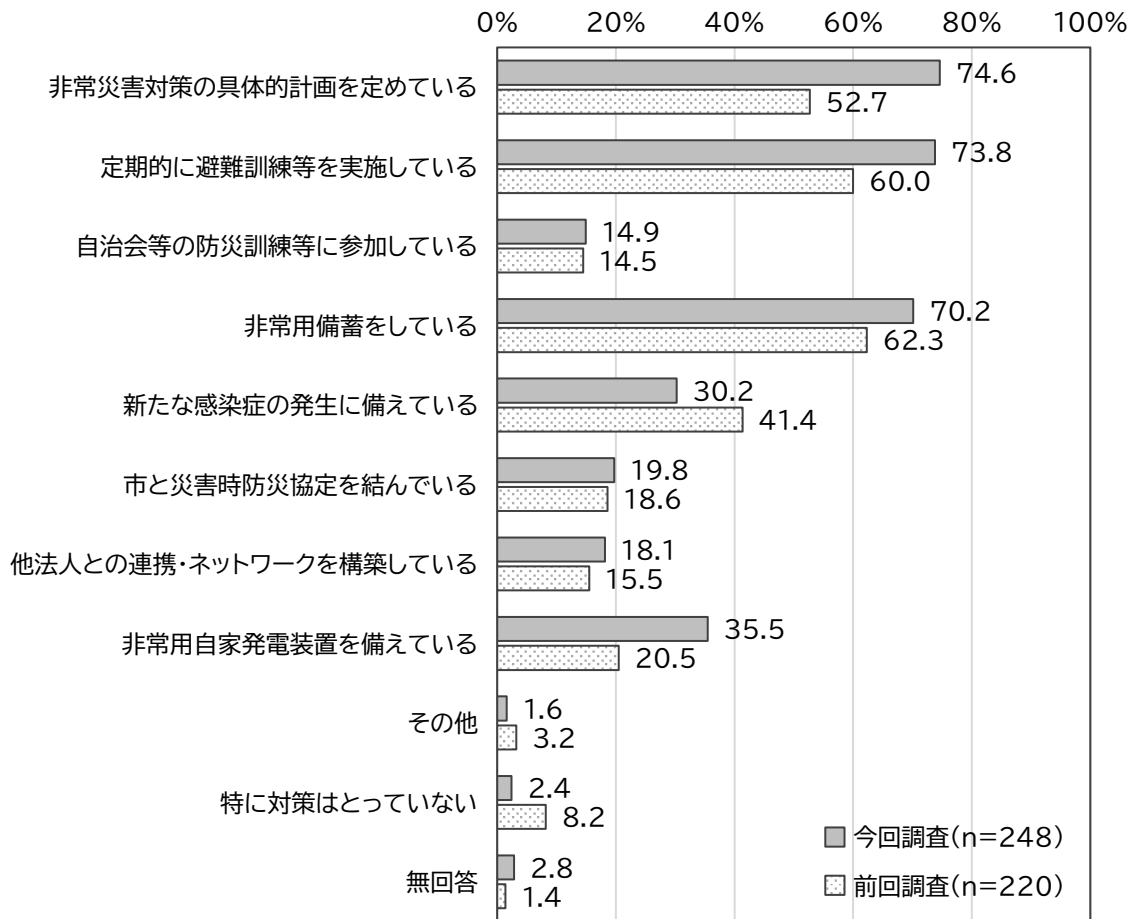
(8) 現在行っている非常災害時の対策

問 36 現在行っている非常災害時の対策について当てはまるものに○をつけてください。
(○はいくつでも)

現在行っている非常災害時の対策については、「非常災害対策の具体的計画を定めている」が74.6%と最も高く、次いで「定期的に避難訓練等を実施している」が73.8%、「非常用備蓄をしている」が70.2%と続いています。

前回調査と比較すると、「非常災害対策の具体的計画を定めている」(74.6%)が前回調査(52.7%)より21.9ポイント増加し、最も増加した項目となっています。

図表 4-8-11 現在行っている非常災害時の対策



第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

サービス分類別にみると、「非常災害対策の具体的計画を定めている」では、居宅介護支援が76.5%で、最も高くなっています。

図表 4-8-12 現在行っている非常災害時の対策 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	非常災害対策の具体的計画を定めている	定期的に避難訓練等を実施している	自治会等の防災訓練等に参加している	非常用備蓄をしている	新たな感染症の発生に備えている	市と災害時防災協定を結んでいる	他法人との連携・ネットワークを構築している	非常用自家発電装置を備えている	その他	特に対策はとっていない	無回答
全体		248	74.6	73.8	14.9	70.2	30.2	19.8	18.1	35.5	1.6	2.4	2.8
サービス分類別	居宅サービス	122	76.2	70.5	11.5	77.9	36.9	20.5	18.0	39.3	2.5	3.3	3.3
	地域密着型サービス	56	66.1	89.3	16.1	58.9	26.8	16.1	10.7	30.4	0.0	3.6	1.8
	施設サービス	16	87.5	100.0	56.3	100.0	25.0	75.0	37.5	68.8	0.0	0.0	0.0
	居宅介護支援	51	76.5	54.9	9.8	54.9	21.6	3.9	21.6	23.5	2.0	0.0	3.9
	地域包括支援センター	2	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

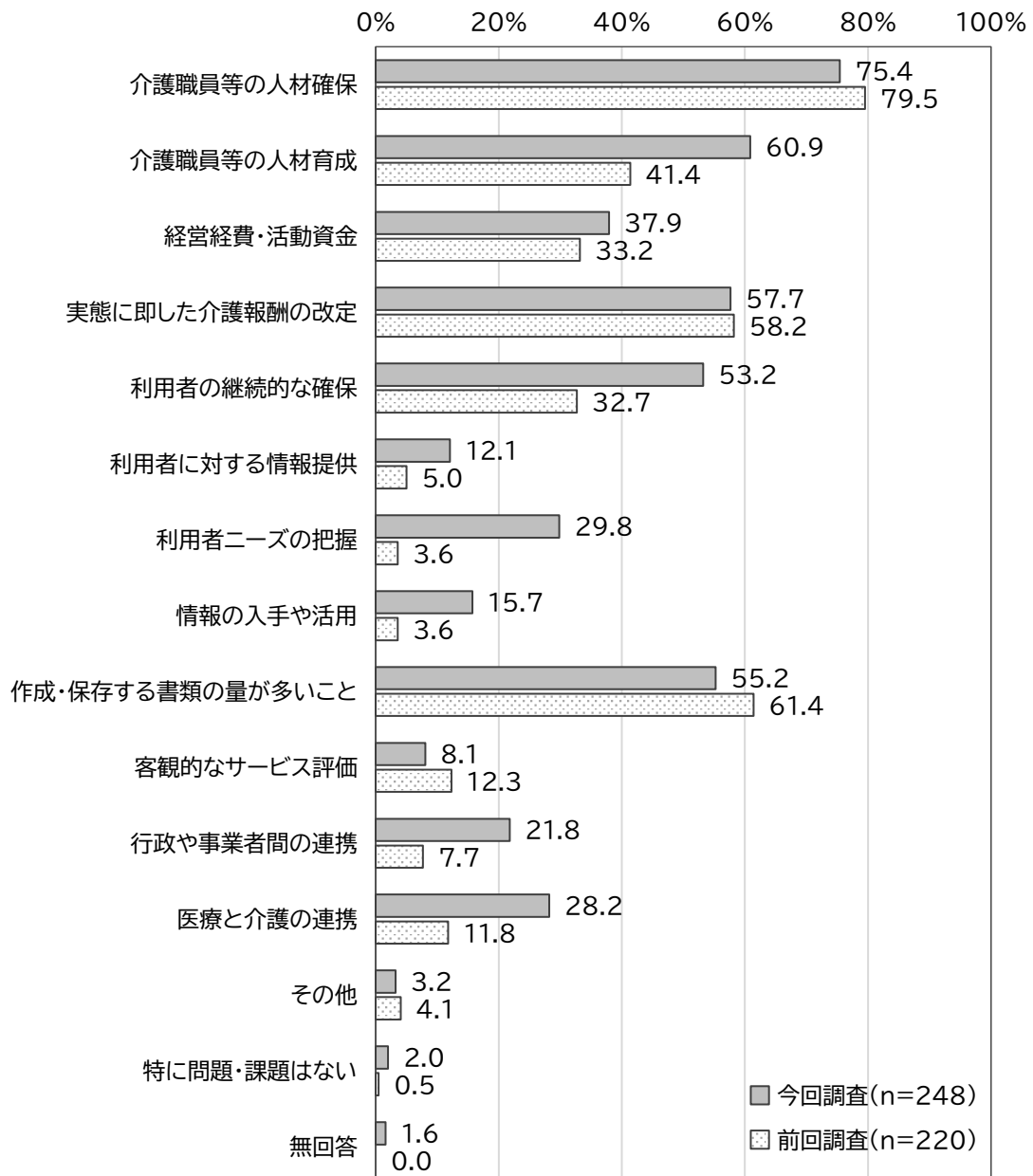
(9) 介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと

問 37 貴事業所が、介護保険サービス（総合事業を含む）を実施する上で、課題や改善が必要と考えていることはどのようなことですか。（〇はいくつでも）

介護保険サービス（総合事業を含む）を実施する上で必要な課題や改善については、「介護職員等の人材確保」が75.4%と最も高く、次いで「介護職員等の人材育成」が60.9%、「実態に即した介護報酬の改定」が57.7%と続いています。

前回調査と比較すると、「利用者ニーズの把握」（29.8%）が前回調査（3.6%）より26.2ポイント、「利用者の継続的な確保」（53.2%）が前回調査（32.7%）より20.5ポイント、「介護職員等の人材育成」（60.9%）が前回調査（41.4%）より19.5ポイント、それぞれ増加しています。

図表 4-8-13 介護保険サービスを実施する上での課題や改善が必要なこと



第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

サービス分類別にみると、地域包括支援センターでは、「作成・保存する書類の量」が100%で最も高く、その他のサービス分類別では「介護職員等の人材確保」の割合が高くなっています。

図表 4-8-14 介護保険サービスの実施する上で課題や改善が必要なこと サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	介護職員等の人材確保	介護職員等の人材育成	経営経費・活動資金	実態に即した介護報酬の改定	利用者の継続的な確保	利用者に対する情報提供	利用者ニーズの把握	情報の入手や活用
全体		248	75.4	60.9	37.9	57.7	53.2	12.1	29.8	15.7
サービス分類別	居宅サービス	122	77.0	63.1	35.2	61.5	56.6	13.9	34.4	18.0
	地域密着型サービス	56	75.0	62.5	41.1	42.9	58.9	14.3	26.8	12.5
	施設サービス	16	93.8	87.5	75.0	81.3	68.8	12.5	37.5	18.8
	居宅介護支援	51	66.7	45.1	29.4	58.8	35.3	5.9	19.6	13.7
	地域包括支援センター	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0

		合計	作成・保存する書類の量が多いこと	客観的なサービス評価	行政や事業者間の連携	医療と介護の連携	その他	特に問題・課題はない	無回答
全体		248	55.2	8.1	21.8	28.2	3.2	2.0	1.6
サービス分類別	居宅サービス	122	50.8	7.4	20.5	30.3	2.5	1.6	2.5
	地域密着型サービス	56	62.5	8.9	17.9	19.6	1.8	1.8	0.0
	施設サービス	16	50.0	12.5	31.3	43.8	12.5	0.0	0.0
	居宅介護支援	51	58.8	5.9	25.5	27.5	3.9	3.9	2.0
	地域包括支援センター	2	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

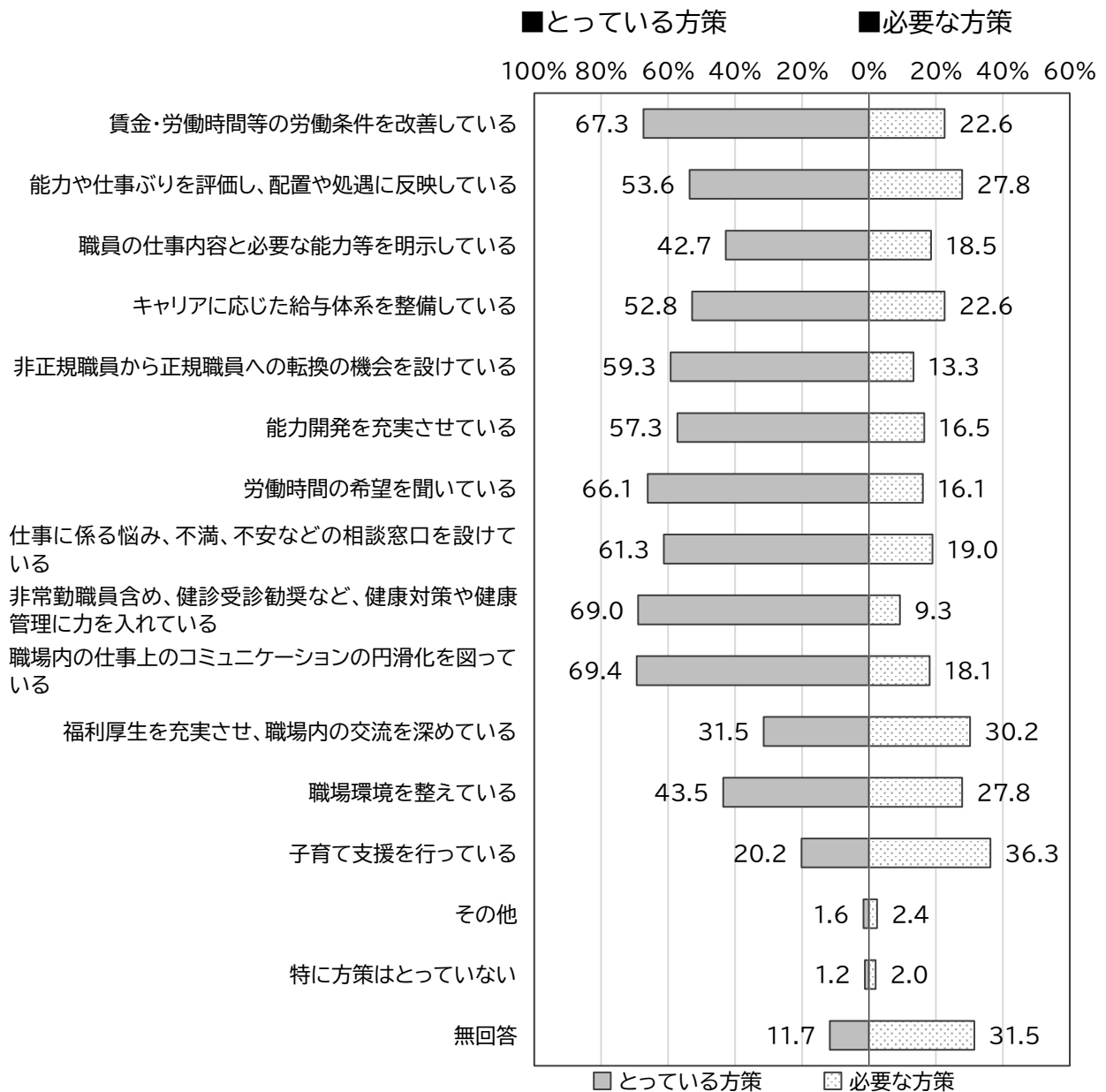
(10) 介護職員等の早期離職や定着促進を図るための方策

問 38 貴事業所では、介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。またどのような方策が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために行っている方策については、「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている」が69.4%と最も高く、次いで「非常勤職員含め、健診受診勧奨など、健康対策や健康管理に力を入れている」が69.0%、「賃金・労働時間等の労働条件を改善している」が67.3%と続いています。

必要な方策については、「子育て支援を行っている」が36.3%と最も高く、次いで「福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている」が30.2%となっています。

図表 4-8-15 介護職員等の早期離職や定着促進を図るための方策



第4章 介護保険事業所向けアンケート調査

■実施している方策

実施している方策について、サービス分類別にみると、施設サービスでは「仕事に係る悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている」が87.5%で最も高く、それ以外のサービス分類では、「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている」の割合が高くなっています。

図表 4-8-16 介護職員等の早期離職や定着促進を図るために実施している方策 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

	合計	賃金・労働時間等の労働条件を改善している	能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	能力開発を充実させている	労働時間の希望を聞いている	仕事に係る悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている	
全体	248	67.3	53.6	42.7	52.8	59.3	57.3	66.1	61.3	
サービス分類別	居宅サービス	122	72.1	61.5	50.8	60.7	66.4	63.9	71.3	65.6
	地域密着型サービス	56	62.5	48.2	37.5	48.2	55.4	44.6	64.3	53.6
	施設サービス	16	81.3	81.3	62.5	68.8	81.3	68.8	81.3	87.5
	居宅介護支援	51	58.8	35.3	23.5	35.3	41.2	52.9	52.9	52.9
	地域包括支援センター	2	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

	合計	非常勤職員含め、健診受診勧奨など、健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている	職場環境を整えている	子育て支援を行っている	その他	特に方策はとっていない	無回答	
全体	248	69.0	69.4	31.5	43.5	20.2	1.6	1.2	11.7	
サービス分類別	居宅サービス	122	73.8	75.4	29.5	47.5	21.3	2.5	1.6	8.2
	地域密着型サービス	56	60.7	66.1	35.7	39.3	23.2	1.8	1.8	12.5
	施設サービス	16	75.0	56.3	37.5	56.3	43.8	0.0	0.0	12.5
	居宅介護支援	51	64.7	64.7	29.4	37.3	7.8	0.0	0.0	17.6
	地域包括支援センター	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

■必要な方策

必要な方策について、サービス分類別にみると、「能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している」では、地域包括支援センターでは100%、地域密着型サービスが35.7%と高い割合になっています。

図表 4-8-17 介護職員等の早期離職や定着促進を図るために必要な方策 サービス分類別

単位:実数(人)、構成比(%)

		合計	賃金・労働時間等の労働条件を改善している	能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している	職員の仕事内容と必要な能力等を明示している	キャリアに応じた給与体系を整備している	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	能力開発を充実させている	労働時間の希望を聞いている	仕事に係る悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている
全体		248	22.6	27.8	18.5	22.6	13.3	16.5	16.1	19.0
サービス分類別	居宅サービス	122	14.8	22.1	13.9	17.2	5.7	10.7	9.0	13.9
	地域密着型サービス	56	30.4	35.7	21.4	26.8	19.6	25.0	26.8	28.6
	施設サービス	16	12.5	18.8	18.8	25.0	6.3	18.8	12.5	12.5
	居宅介護支援	51	35.3	31.4	25.5	27.5	25.5	19.6	21.6	19.6
	地域包括支援センター	2	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0

		合計	非常勤職員含め、健診受診勧奨など、健康対策や健康管理に力を入れている	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている	職場環境を整えている	子育て支援を行っている	その他	特に方策はとっていない	無回答
全体		248	9.3	18.1	30.2	27.8	36.3	2.4	2.0	31.5
サービス分類別	居宅サービス	122	4.9	11.5	32.8	23.0	41.8	3.3	3.3	35.2
	地域密着型サービス	56	16.1	19.6	17.9	32.1	25.0	0.0	0.0	28.6
	施設サービス	16	12.5	43.8	50.0	31.3	43.8	0.0	6.3	25.0
	居宅介護支援	51	11.8	21.6	29.4	33.3	31.4	3.9	0.0	29.4
	地域包括支援センター	2	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0

資料編 調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

00000

次期『立川市高齢者福祉介護計画』策定に向けた 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 アンケートご協力をお願い

立川市の今後を考えるための基礎資料です。
回答のご協力をお願いします。

同封の返信用封筒(切手不要)に、ご記入いただいた調査票を入れて、

令和7年12月15日(月) までに

郵便ポストに投函してくださいませようお願いします。

回答に当たってのお願い

- ※ アンケートの回答は、鉛筆またはボールペンなどをお使いいただき、この調査票に直接ご記入ください。
- ※ 封筒のあて名の方がアンケートの対象者となっております。
- ※ 記入日現在の状況をご回答ください。
- ※ アンケートに調査対象者ご本人様が記入できない場合は、代理の方(ご家族・知人・介護従事者等)がご本人の意思を反映して、ご記入くださるようお願いいたします。
- ※ 回答は無記名でお願いいたします。
- ※ 返信用封筒に、調査票以外のものを入れしないでください。申請書等を同封されても対応できません。
- ※ インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありません。

スマートフォン等をお持ちの方は、インターネットでもご回答いただけます。

下記アドレスか、右の二次元コードから回答フォームにアクセスできます。
(注：インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありませんのでご注意ください)

【URL】
<https://logoform.jp/form/y6d/1091065>



【アンケートについてのお問い合わせ先】

立川市 保健医療部 介護保険課 介護給付係 ・ 高齢政策課 業務係

電話：(042)523-2111 (内線1458-1475) FAX：(042)522-2481

日ごろより、立川市の高齢者福祉行政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、立川市では、令和9年度～11年度に取り組むべき施策を明示した「立川市高齢者福祉介護計画(第10次高齢者福祉・第10期介護保険事業計画)」を策定するにあたり、アンケート調査を実施いたします。

このアンケートは、国の指導により全国的に実施する「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に、立川市独自の調査を加えたもので、皆様を取り巻く環境の変化や問題点などを把握し、計画の策定に向けての基礎資料を作成することを目的としています。対象は、要介護1～5の方を除く65歳以上の方の中から、3,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年11月 立川市

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

記

【個人情報の保護及び活用目的について】

- ・この調査は、立川市高齢者福祉介護計画の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、立川市高齢者福祉介護計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市において適切に管理いたします。
- ・ただし、立川市高齢者福祉介護計画策定時及び効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に個人が識別されない形で情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

【アンケート調査の回答内容の取扱いについて】

- ・アンケート調査でご回答いただいた内容の集計・分析について、株式会社シティ・プランニングに委託してありますが、情報は適切に管理いたします。

以上

株式会社シティ・プランニングは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より「プライバシーマーク」の付与認定を受けております。調査の実施にあたりましては、個人情報保護方針にしたがい、情報の管理を徹底いたします。



■まず、はじめに記入日や調査票を記入された方についてお教えください。

記入日	令和7年 月 日
-----	----------

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。

1. あて名のご本人が記入
 2. ご家族が記入
 ⇒ あて名のご本人からみられた続柄
 (1. 配偶者(パートナーを含む) 2. 子 3. 孫 4. 兄弟姉妹 5. 親 6. 親戚)
 3. その他(友人知人、訪問介護員等)

問1 あなた(あて名ご本人)の性別・年齢をお選びください。

(1) 性別 (○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. 答えない
-------	-------	---------

(2) 年齢 (○は1つ)

1. 65～69歳	3. 75～79歳	5. 85～89歳
2. 70～74歳	4. 80～84歳	6. 90歳以上

問2 お住まいの町名は次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 富士見町	7. 緑町	13. 砂川町
2. 柴崎町	8. 栄町	14. 上砂町
3. 錦町	9. 若葉町	15. 一番町
4. 羽衣町	10. 幸町	16. 西砂町
5. 曙町	11. 柏町	17. 立川市内だが町名がわからない
6. 高松町	12. 泉町	18. 立川市外 ()

問3 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えください。(○は1つ)

1. 1人暮らし	4. 子ども家族との2世帯同居
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	5. 子ども(単身者)との同居
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	6. その他(具体的に:)

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けていない家族などの介護を受けている場合も含む)

【問3-(2)で「2」「3」とお答えになった方におたずねします。】

①介護・介助が必要になった原因は何ですか。(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患(脳卒中) …… 脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など
2. 心疾患(心臓病) …… 狭心症、心筋梗塞、不整脈など
3. 悪性新生物(がん) …… すべての部位のガン(白血病含む)及び肉腫
4. 呼吸器疾患 …… 肺炎、肺気腫、肺炎、気管支炎、胸膜炎患など
5. 関節疾患 …… 関節リウマチ、何らかの原因による関節炎、関節症
6. 認知症 …… 認知症(アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病 …… 糖尿病及び糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症などの合併症
9. 視覚・聴覚障害 …… 緑内障、網膜はくり、難聴など
10. 骨折・転倒 …… 屋内外を問わず、何らかの原因で骨折または転倒したものの
11. 脊髄損傷 …… 外傷に伴って脊髄の挫傷、血行障害などにより脊髄の機能が傷害されたもの
12. 高齢による衰弱 …… 特にこれといった病気と診断されていないもの
13. その他(具体的に:)
14. わからない

②上記のうち、主な原因を記入してください。

【問3-(2)で「3」とお答えになった方におたずねします。】

③主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者（パートナーを含む） 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者（パートナーを含む） 5. 孫 6. 兄弟・姉妹	7. 介護保険サービスのヘルパー 8. その他（具体的に： ）
---	---------------------------------------

▶ 【問3-(2)③で「1」～「6」とお答えになった方におたずねします。】

④主な介護者の方の年齢をお答えください。(〇は1つ)

1. 20歳未満	4. 40代	7. 70代
2. 20代	5. 50代	8. 80歳以上
3. 30代	6. 60代	9. わからない

(3)現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

1. 大変苦しい	4. ややゆとりがある
2. やや苦しい	5. 大変ゆとりがある
3. ふつう	

(4)お住まいは次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 持家（一戸建て）	5. 民間賃貸住宅（集合住宅）
2. 持家（集合住宅）	6. 借家（賃貸借契約がない場合を含む）
3. 公営賃貸住宅	7. その他（具体的に： ）
4. 民間賃貸住宅（一戸建て）	

問4 からだを動かすことについて

(1)階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない
--------------	----------------	---------

(2)椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇は1つ)

1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない
--------------	----------------	---------

(3)15分位続けて歩いていきますか。(〇は1つ)

1. できるし、している	2. できるけれどしていない	3. できない
--------------	----------------	---------

(4)過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)

1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない
----------	---------	-------

(5)転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ)

1. とても不安である	3. あまり不安ではない
2. やや不安である	4. 不安ではない

(6)週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

1. ほとんど外出しない	3. 週2～4回
2. 週1回	4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

1. とても減っている	3. あまり減っていない
2. 減っている	4. 減っていない

→ 【問4-(7)で「1」「2」とお答えになった方におたずねします。】

①外出の回数が減っている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

1. 病気	7. 外出する楽しみや目的がない
2. 障害 (脳卒中の後遺症など)	8. 経済的に出られない
3. 足腰などの痛み	9. 移動手段がない
4. トイレの心配 (失禁など)	10. 一緒に外出する仲間がいない
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	11. その他 (具体的に:)
6. 目の障害	

(8) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

1. 徒歩	8. 病院や施設のパス
2. 自転車	9. 車いす
3. バイク	10. 電動車いす (カート)
4. 自動車 (自分で運転)	11. 歩行器・シルバーカー
5. 自動車 (人に乗せてもらう)	12. タクシー
6. 電車・モノレール	13. その他 (具体的に:)
7. 路線バス	

問5 食べることについて

(1) 身長・体重をご記入ください。(小数点以下は四捨五入)

身長	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	<input type="text"/>	kg
----	----------------------	----	----	----------------------	----------------------	----

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(7) どなたかと食事をとにもする機会はありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある	3. 月に何度かある	5. ほとんどない
2. 週に何度かある	4. 年に何度かある	

問6 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(2) 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると云われますか。
(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

【問7-(3)で「1」「2」「3」とお答えになった方におたずねします。】

①どのような働きかけがあれば活動に参加しやすくなりますか。(○はいくつでも)

1. 地域の人からの声かけ
2. 包括支援センターの職員やコーディネーター等の専門職からの声かけ
3. LINE (ライン) 等を活用したプッシュ型の情報提供
4. インターネットでの情報提供
5. 広報紙等の紙媒体での情報提供
6. その他 (具体的に:)

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい	3. 参加したくない
2. 参加してもよい	4. 既に参加している

(5) 企画・運営(お世話役)を行っていくうえで、どのようなサポートがあればよいですか。(○はいくつでも)

1. 書類作成等の事務のサポート	4. 企画・運営のしかたを学ぶ職会のサポート
2. 参加者を集めることのサポート	5. その他 (具体的に:)
3. 運営資金等のサポート	

(6) あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの取りまとめ役、隣近所のちよっとしたこと、お手伝いやお願い事など)(○は1つ)

1. とてもそう思う	4. あまりそう思わない
2. そう思う	5. 全くそう思わない
3. ややそう思う	

問8 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者(パートナーを含む)	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 (具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者(パートナーを含む)	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 (具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間入院したときに、看病や世話をしてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者(パートナーを含む)	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 (具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(4) 反対に、(あなたが)看病や世話をしあける人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者(パートナーを含む)	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他 (具体的に:)
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会・老人クラブ	5. 地域包括支援センター・役所
2. 社会福祉協議会・民生委員	6. その他
3. 介護支援専門員(ケアマネジャー)	7. そのような人はいない
4. 医師・歯科医師・看護師	

(6) 頼れる人がいない、またはいなくなったときに対応に困ることは何ですか。
(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------------------|---------------------------|---------|
| 1. 身元保証 | 4. 入院・入所の手続き | 8. その他 |
| 2. 緊急連絡先 | 5. 日常的な金銭管理など
(具体的に:) | |
| 3. マイナナンバーや年金の
現況届等の行政手続き | 6. 遺品整理・葬儀等 | 9. 特にない |
| | 7. ペットの世話 | |

【問8-(6)で「9」以外をお答えになった方におたずねします。】

①具体的にどのようなサポートがあればよいですか。

問9 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

- | | |
|----------|------------|
| 1. とてもよい | 3. あまりよくない |
| 2. まあよい | 4. よくない |

(2) あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 市の健康診断 | 4. その他 (具体的に:) |
| 2. 職場の健康診断 | 5. 受けていない |
| 3. 人間ドック | |

【問9-(2)で「5. 受けていない」とお答えになった方におたずねします。】

①健康診断をうけていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 時間がなくて受けられない | 3. 受けたくない |
| 2. 受け方がわからない | 4. その他 (具体的に:) |

(3) あなたは、現在のどの程度幸せですか。「(とても不幸)」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○をお付けください。(○は1つ)

とても不幸	←	→	とても幸せ						
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しい感じがよくなりましたか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) ここ2週間、毎日の生活に充実感がないと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(7) ここ2週間、これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったと感じますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) ここ2週間、以前は楽にできていたことが今はおっくうに感じられますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(9) ここ2週間、自分が役立つ人間だと思えないと感じたことはありませんか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(10) ここ2週間、わけもなく疲れたような感じがすることはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問10 かかりつけ医などについて

(1) 普段から治療を受けたり、日常の健康について相談できる「かかりつけ医」がいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない (→問10-(1)③へ)
-------	---------------------

【問10-(1)で「1. いる」とお答えになった方におたずねします。】

①かかりつけ医の医療機関は次のうちのどれですか。(○は1つ)

1. 診療所・医院・クリニック	2. 病院・総合病院（大学病院を含む）
-----------------	---------------------

【問10-(1)で「1. いる」とお答えになった方におたずねします。】

②その所在地は、どちらですか。(○は1つ)

1. 立川市内	2. 隣接市（国立市、国分寺市、小平市、東大和市、武蔵村山市、昭島市、日野市）
3. その他の東京都内の他市区町村（隣接市は除く）	4. 隣接県（埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県）
5. 他の県	

→問10(2)へ

【問10-(1)で「2. いない」とお答えになった方におたずねします。】

③「かかりつけ医」がいない理由は何か。(○はいくつでも)

1. かかりつけ医を選ぶ際の必要な情報が不足しているから	2. かかりつけ医に適していると思う医師がいないから
3. 大きな（複数の診療科があり、病床数も多い）医療機関に行けばよいから	4. 市販の医薬品などで自己管理すればよいから
5. かかりつけ医がいても、医療費が安くはないから	6. かかりつけ医の必要性について考えたくないから
7. 医者や病院に不信感があるから	8. その他（具体的に：)

(2) かかりつけ歯科医はいますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

(3) かかりつけ薬剤師・薬局を持っていますか。(○は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

(11) お酒は飲みますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日飲む	3. ほとんど飲まない
2. 時々飲む	4. もともと飲まない

(12) タバコは吸っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている	3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている	4. もともと吸っていない

(13) 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)

1. ない	11. 外傷（転倒・骨折等）
2. 高血圧	12. がん（悪性新生物）
3. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症（アルツハイマー病等）
6. 高脂血症（脂質異常）	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他（具体的に：)
10. 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	



がんばってください！
あと半分です。

問11 ご近所づきあいについて

(1) ご近所での見守りやお世話など助けあいの活動を広げるために、必要なことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 時間的な余裕
2. 心身の健康
3. 自分からご近所の方への声かけ
4. 知人から声をかけてもらうこと
5. 手助けが必要な人からの情報発信
6. 世話人・指導者・コーディネーター
7. つどいの場・サロンなど地域活動の場
8. ボランティアや支援組織を育てること
9. 市が地域の情報を収集・提供すること
10. 地域福祉計画周知のための取り組み
11. 認知症サポーター養成講座の推進
12. 行政や社協による働きかけ
13. 自治会や老人クラブによる働きかけ
14. その他 (具体的に:)
15. わからない

(2) ご近所の方々との今後のお付き合いについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

1. もっと増やしたい・深めたい
2. 今までどおりでいきたい
3. もっと減らしたい・軽くしたい
4. 付き合いは、したくない

問12 就労について

(1) 現在、仕事をしたい又は続けたいお気持ちがありますか。(〇は1つ)

1. はい
2. いいえ (→問13へ)

▶【問12-(1)で「1. はい」とお答えになった方におたずねします。】

①その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 収入を得たいから
2. 年金だけでは生活できないから
3. 健康に良いから
4. 生活のリズムが得られるから
5. 持っている能力を生かしたいから
6. 生きがいを得たいから
7. 社会とつながっていたいから
8. その他 (具体的に:)

▶【問12-(1)で「1. はい」とお答えになった方におたずねします。】

②就労先を探すとしたら、どこで探しますか。(〇はいくつでも)

1. ハローワーク
2. 商工会議所
3. シルバー人材センター
4. くらし・しごとサポートセンター
5. 求人誌
6. その他 (具体的に:)

問13 生活の心配や相談先などについて

(1) 今後の暮らしについて不安に感じていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 家族との人間関係
2. 自分又は配偶者 (パートナーを含む) の健康
3. 急病などの緊急時の対応
4. 失業など雇用に関する事
5. 犯罪や交通事故
6. 地震や火災などの災害
7. 特殊詐欺 (振り込め詐欺等) に関する事
8. 今後の生活費など経済的なこと
9. 財産管理のこと
10. 認知症になった時の介護のこと
11. 寝たきり、又は健康状態が悪化した時の介護のこと
12. 買い物やゴミ出しなど日常生活に関する事
13. 頼りになる家族がいらないこと
14. 身近な相談相手がいらないこと
15. 近隣住民との付き合いがなくなること
16. 身元保証人がいないこと
17. 緊急時の連絡先がないこと
18. その他 (具体的に:)
19. 特にない

(2) あなたは、次の施設やサービス、制度などをご存知ですか、又利用したことがありますか。(それぞれに〇は1つずつ)

	利用したことがある	利用したことはないが知っている	知らない
① 地域包括支援センター	1	2	3
② 福祉相談センター	1	2	3
③ 総合福祉センター (地域あんしんセンター、ボランティア・市民活動センター、くらし・しごとサポートセンター)	1	2	3
④ 福祉会館	1	2	3
⑤ はぐくみりん (健康会館)	1	2	3
⑥ 消費生活相談コーナー	1	2	3
⑦ シルバー大学	1	2	3
⑧ 地域学習館・市民体育館	1	2	3
⑨ たちかわ市民交流大学	1	2	3
⑩ シルバー人材センター	1	2	3
⑪ 老人クラブ活動	1	2	3
⑫ 地域体操クラブ	1	2	3

（問 13（2）のつづき）

	利用した ことがある	利用した ことはないが 知っている	知らない
㊸ サロン、認知症カフェ	1	2	3
㊹ 出張暮らしの保健室	1	2	3
㊺ 市の旅行助成	1	2	3
㊻ 成年後見制度	1	2	3
㊼ 居住相談窓口 (あんなの住まいサポートたちかわ)	1	2	3

（3）通信・通話機器をつかっていますか。(○はいくつでも)

1. 携帯電話（スマートフォン以外） 5. どれも使っていない
2. スマートフォン
3. タブレット端末
4. パソコン

【問13-(3)で「1」～「4」をお答えになった方におたずねします。】

①どのようなことに使用していますか。(○はいくつでも)

1. 通話 8. 健康管理
2. メール 9. インターネット検索
3. ビデオ通話 10. LINE（ライン）
4. 写真撮影 11. その他SNS(X(旧Twitter)、Facebook等)
5. ゲーム 12. 決済サービス(PayPay、メルペイ等)
6. 動画・TV視聴 13. 給付金申請やワグチン接種予約等
7. ネットショッピング 14. その他(具体的に：)

（4）あなたは、社会的な孤立*を身近に感じますか。(○は1つ)

1. とても感じる 3. あまり感じない
2. やや感じる 4. 全く感じない

* 社会的な孤立とは、家族や地域社会との交流が客観的にみて著しく乏しい状態のことです。

（5）あなたは、ご近所の方などから見守りをしてほしいですか。(○は1つ)

1. してほしい 2. してほしくない 3. わからない

（6）社会的な孤立を防ぐのに必要なことは何だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 近隣住民によるあいさつ等、声かけ 5. 民生委員・ボランティアなどの訪問
2. 地域住民との交流を深める 6. 機械（センサー）による見守り
3. 地域見守りネットワーク事業の活用 7. AI対話型ロボット
4. 定期的な健康教室や趣味活動への参加 8. その他(具体的に：)

（7）あなたにご近所の方を見守る、見守りボランティアを頼んだら協力していただけますか。(○は1つ)

1. 協力したい 2. 内容によっては協力したい 3. 協力したくない

問14 今後の暮らしについて

（1）介護が必要になったときの生活について、ご希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 自宅での生活を続けたい
2. 子ども、親族の家で生活したい
3. 高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等）で生活したい
4. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設で生活したい
5. 家族の意向に任せる
6. その他(具体的に：)
7. わからない

（2）介護が必要になったときの生活について、ご家族やご親族と話し合ったことはありますか。(○は1つ)

1. 話し合ったことがあり、だいたい決めてある
2. 話し合ったことがあるが、決まっていない
3. 話し合ったことはない

（3）エンディングノート*を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

* エンディングノートとは、自分自身に何かあったときに備えて、ご家族が様々な判断や手続を進める際に必要な情報を残すためのノートです。また、これまでの人生を振り返り、これからの人生を考えるきっかけ作りにもなるものです。

(6) あなた自身が判断が十分にできなくなり生活に支障が生じた場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. 利用したい 2. 利用したくない 3. 分からない

【問14-(6)で「2. 利用したくない」とお答えになった方におたずねします。】

①「成年後見制度」を利用したくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. どのような制度かわからないから
 2. 後見人でなくとも家族がいるから
 3. 費用がどれくらいかかるか心配だから
 4. 家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから
 5. 手続きが大変そうだから
 6. 他人（家族を含む）に財産などを任せることによる不安があるから
 7. その他（具体的に：)

問15 認知症の支援などについて

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

1. はい (→問15(2)へ) 2. いいえ

【問15-(1)で「2. いいえ」とお答えになった方におたずねします。】

①今までに認知症の人と接したことはありますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症の人が日常生活を送るうえでどのようなイメージを持っていますか。(○はいくつでも)

1. 認知症になっても、基本的な人権を享有する個人として、自らの意思によって日常生活及び社会生活を営むことができる
 2. 工夫しながら、今まで暮らしてきた地域で自立した生活ができる
 3. 医療・介護等のサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活している
 4. 身の回りのことができなくなり、介護施設への入所が必要になる
 5. 周りの人に迷惑をかけるので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
 6. 認知症と診断されても隠して地域で生活していく人が多い
 7. 認知症になると、症状が進行していき、なにもできなくなってしまう
 8. その他（具体的に：)
 9. わからない

(4) ACP（アドバンス・ケア・プランニング）※を知っていますか。(○は1つ)

1. 知っている 2. 知らない

※ ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは、もしものときのために、自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。愛称「人生会議」。

(5) あなたが人生の最後を迎えたい場所として、ご希望に最も近いものはどれですか。(○は1つ)

1. 自宅
 2. 子ども、親族の家
 3. 高齢者向け住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム等）
 4. 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの介護保険施設
 5. ホスピス（緩和ケア病棟）
 6. ホスピス以外の医療施設（病院等）
 7. その他（具体的に：)
 8. わからない

(→次ページ 問14(6)へ)

【問14-(5)で「1. 自宅」「2. 子ども、親族の家」とお答えになった方におたずねします。】

①あなたの希望はかろうと思えますか。(○は1つ)

1. 難しいと思う
 2. かなうと思う
 3. その他（具体的に：)
 4. わからない

(→次ページ 問14(6)へ)

【問14-(5)①で「1. 難しいと思う」とお答えになった方におたずねします。】

②その理由はどれですか。(○は3つまで)

1. 家族や親族に肉体的・精神的な負担をかけるから
 2. 家族や親族に経済的な負担をかけるから
 3. 介護してくれる家族や親族がいらないから
 4. 病状が急に変わった場合の対応に不安があるから
 5. 訪問診療をしてくれる医師がいらないから
 6. 訪問看護をしてくれる看護師がいらないから
 7. 介護サービスが不足しているから
 8. 自宅療養できる住環境ではないから
 9. 在宅で受けられる医療・介護の内容がわからないから
 10. その他（具体的に：)

(3) 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすには、市などのような取組が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 市民が認知症に関する正しい知識及び理解を深められるような取組 2. 認知症の人が自立して、かつ、安心して暮らすことができる安全な地域づくりの取組 3. 認知症の人が生きがいや希望をもって暮らすことができるような取組 4. 認知症の人の意思決定の適切な支援や権利利益の保護を図る取組 5. 認知症の人の状況に応じた適切な保健医療サービスや介護サービスが提供されるための取組 6. 認知症の人やその家族に対する相談体制の整備の取組 7. 認知症の早期発見や早期診断、早期対応の取組 8. その他（具体的に： ）

(4) 認知症の人が生活するためには、地域住民の協力は必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 思う 2. 思わない (→問15-(4)②へ)

【問15-(4)で「1. 思う」とお答えになった方におたずねします。】

①地域住民のどのような協力が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 認知症の人の見守り（ひとり歩き行動が見られる高齢者への支援） 2. 認知症の人の居場所づくり（認知症カフェ等） 3. 認知症の人の地域活動（商店街、町内会、自治会、地域のサロン等） 4. 認知症介護者のための支援（家族会等） 5. 認知症への理解促進（認知症サポーター養成講座等） 6. その他（具体的に： ） 7. わからない

→問15 (5)へ

【問15-(4)で「2. 思わない」とお答えになった方におたずねします。】

②その理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 介護保険を利用すればよいので、必要だと思わない 2. 家族が支えればよいので、必要だと思わない 3. 地域住民は何もすることができないので、必要だと思わない 4. わからない 5. その他（具体的に： ）

(5) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はいくつ)

1. はい 2. いいえ

(6) あなたは認知症サポーター養成講座があれば受講したいと思いますか。(○はいくつ)

1. 受講したい 2. 受講したくない 3. わからない 4. 受講済み

(7) 認知症について知りたいと思ったとき、何を利用しますか。(○は3つまで)

1. インターネット 2. 広報 3. 書籍 4. 認知症の情報紙 5. 認知症サポーター養成講座の受講 6. 町内会、自治会の回覧 7. 郵便局、銀行などでのポスター掲示 8. その他（具体的に： ）
--

(8) 若年性認知症（65歳未満で発症する認知症）について知っていることはどんなことですか。(○はいくつでも)

1. 若年性認知症になっても周囲のサポートがあれば、尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができる 2. 若年性認知症になってもできる仕事や社会活動がある 3. 若年性認知症になると本人の仕事や生活に大きな影響がある 4. 若年性認知症になると家族に大きな影響がある 5. 若年性認知症のことを知らない 6. その他（具体的に： ）

(9) あなたは今までにあなた自身や家族が認知症になった時にどうしたらいいのか、考えたことがありますか。(○はいくつ)

1. 考えたことがある 2. 考えたことはない

問15-(9)①②へ

問15-(9)③へ

(2) あなた自身やあなたのご家族に、災害時に自力で避難が困難な方はいますか。
(○はい 1つ)

1. いる	2. いない (→問16-(3)へ)
-------	--------------------

【問16-(2)で「1. いる」とお答えになった方におたずねします。】

①災害時の避難を手助けしてくれる方(ご家族以外)はいますか。(○はいくつでも)

1. 自治会・町内会の会員	5. 利用施設等の従事者
2. 地域の民生委員	6. その他 ()
3. 近くに住む親せき縁者	7. いずれもない
4. 近くに住む友人・知人	

(3) 自宅等に被害があり、避難所で避難生活を送らなければならなくなった際の心配ごとは何ですか。(○はいくつでも)

1. 集団生活を送ること	11. トイレ設備
2. 自身が抱える事情(持病、障害など)	12. お風呂設備
3. 避難生活が自力では困難な家族の存在	13. プライバシー確保
4. 日常の医療(必要薬・診療)や介護	14. 治安面の対策
5. 日常生活支援品(おむつ、流動食等)	15. ペット同行避難の可否
6. 避難生活の介添え・支援者の不在	16. コミュニケーション面(言語・手話等)
7. 就労環境を整える備品	17. 自宅の状況
8. 空調設備	18. その他 ()
9. 衛生面・感染症	19. 特になし
10. 栄養・食事・アレルギーへの配慮	

(4) ご自身では、災害が起こった時に、ご近所の方にはどのような支援(手助け)ができると思えますか。(○はいくつでも)

1. 「大丈夫ですか」などの声かけ	7. 避難の手助け・避難場所の提供
2. 余剰備品の提供	8. 介助や応急手当
3. 災害状況や避難情報などの伝達	9. 支援したいが(時間的・経済的に)余裕がないため出来ない
4. 家族や親族・知人への連絡	10. その他 ()
5. 一時的な保護・預かり	11. わからず
6. 相談相手や話相手になる	

【問15-(9)で「1. 考えたことがある」とお答えになった方におたずねします。】

1. 介護のこと	4. 地域との関係
2. 経済的なこと	5. その他 (具体的に:)
3. 病気のこと	

【問15-(9)で「1. 考えたことがある」とお答えになった方におたずねします。】

②もし、あなたが認知症になった時どうしたいと考えますか。(○はいくつでも)

1. 家族に任せたい
2. 成年後見制度を利用したい
3. 治療などをして、進行を遅らせたい
4. すでにエンディングノートを作成している
5. わからない
6. その他 (具体的に:)

【問15-(9)で「2. 考えたことはない」とお答えになった方におたずねします。】

③その理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 私や私の家族は認知症にならないと思うから
2. 私や私の家族が認知症になるかどうか、考えたこともないから
3. その他 (具体的に:)

問16 災害時の対応について

(1) あなたは、災害時の備えについて、どのようなことを行っていますか。
(○はいくつでも)

1. 家族との話し合い	7. 立川市見守りメールの登録
2. 避難所の確認	8. 避難行動要支援者名簿への登録
3. ハザードマップの確認	9. 自治会の加入
4. 備蓄品(食料、水)の確認	10. 家具転倒防止器具の取り付け
5. 備蓄(簡易トイレ、防災グッズ)の確認	11. 近所付き合い
6. 立川市公式ラインの登録	12. その他 (具体的に:)



がんばってください!
あと3ページです。

問17 介護保険のことについて

(1) あなた自身が介護保険を使わず健康であるために普段していることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 散歩等こまめな運動を心がけている
2. 栄養等、食事に注意する
3. 健康教室やトレーニングへの参加
4. 特定健康診査や後期高齢者医療健康診査の受診
5. 人間ドックの受診
6. 社会活動（自治会・ボランティア等）
7. その他（具体的に：）
8. 特にしていない

(2) 介護保険制度についてどのようなことを知りたいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 介護保険制度のしくみなどの全般
2. 介護保険サービスの具体的な内容
3. 介護保険の申請手続きや申請方法
4. 市の介護保険事業の財政状況
5. 介護保険料
6. サービス利用にかかる費用負担
7. 事業所の選び方や詳しい情報
8. その他（具体的に：）
9. 特に知りたいことはない

(3) 介護保険に関する情報は、どこから得ていますか。(〇はいくつでも)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 市役所の窓口
4. 市の広報・ちらしなどの資料
5. 地域包括支援センター
6. 福祉相談センター
7. 施設・事業所・関係団体に相談
8. 施設・事業所・関係団体が発行する印刷物
9. インターネット
10. 福祉サービス第三者評価（福ナビ）※
11. 新聞・テレビ・ラジオ
12. その他（具体的に：）
13. 特にない

※ 評価機関が福祉施設・事業所と契約を締結し、サービスの内容等を評価し、公表する制度です。

(4) 介護保険は、サービスの利用が増えると保険料も上がる仕組みです。国の試算によれば、サービスの利用者の増加により、保険料は今後も上がるが見込まれています。介護保険のサービスと保険料について、あなたのお考えに一番近いものは次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 保険料の負担が増えても、必要なサービスを維持すべきである
2. サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要サービスを維持すべきである
3. サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにすべきである
4. わからない

(5) 介護をする家族の皆さんへの支援として、市はどのようなことを入れるべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 介護全般についての相談窓口の充実
2. 介護者が気分転換できる行事の実施
3. 家庭での介護のしかたに関する情報提供や講習の実施
4. 介護者同士で集まって話せる場の確保
5. ボランティアや支援組織の育成
6. 認知症サポーター養成講座の推進
7. 認知症カフェなどの認知症高齢者の居場所づくり
8. 地域住民のネットワークづくり
9. 介護サービスの事業者や施設の確保
10. 介護者を支えるための意識づくり
11. 経済的支援（手当の交付など）
12. サービス付き高齢者向け住宅などの施設の情報提供
13. その他（具体的に：）
14. 特にない

(6) 介護保険制度をよりよくするため、市に期待することは、次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

1. 介護保険制度の普及、啓発をさらに図ること
2. 要介護状態にならないよう、介護予防サービスに力を入れること
3. 介護についての相談窓口を充実すること
4. ボランティアなど地域の社会資源を活用し、介護を支援する仕組みづくりを行うこと
5. 介護人材を確保し育成すること
6. サービス事業者の質の向上を図るため、市の支援を充実すること
7. 介護サービス事業者への指導検査を充実すること
8. 訪問介護や通所介護（デイサービス）などの在宅サービスを充実すること
9. 特別養護老人ホームなどの施設サービスを充実すること
10. 市独自の公的サービスなどを充実すること
11. 高齢者のための権利擁護の仕組みづくり（成年後見制度の充実・金銭管理サービスなど）
12. 終活関連の情報（エンディングノート等）を市に登録する仕組みづくり
13. その他（具体的に：）

問18 市の介護保険サービス・高齢者福祉施策について

ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。長時間にわたり、ご協力いただきありがとうございました。
記入済みの調査票を同封の返信用封筒に入れて、
令和7年12月15日（月）までに郵便ポストに投函してください。

(2) 在宅介護実態調査

00000

次期『立川市高齢者福祉介護計画』策定に向けた
在宅介護実態調査
アンケートご協力をお願い

立川市の今後を考えるための基礎資料です。
回答のご協力をお願いします。

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、

令和7年12月15日（月）

までに
郵便ポストに投函してくださいようお願いいたします。

回答に当たってのお願い

- ※ アンケートの回答は、鉛筆またはボールペンなどをお使いいただき、この調査票に直
接ご記入ください。
- ※ 封筒のあて名の方がアンケートの対象者となっております。
- ※ 記入日現在の状況をご回答ください。
- ※ アンケートに調査対象者ご本人様が記入できない場合は、代理の方（ご家族・知人・
介護従事者等）がご本人の意思を反映して、ご記入くださるようお願いいたします。
- ※ 回答は無記名でお願いいたします。
- ※ 返信用封筒に、調査票以外のものを入れないでください。申請書等を同封されても
対応できません。
- ※ インターネットでご回答いただいた方は、調査票をお送りいただく必要はありません。

スマートフォン等をお持ちの方は、インターネットでもご回答いただけます。



下記アドレスか、右の二次元コードから回答フォームにアクセスできます。
（注：インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要は
ありませんのでご注意ください。）

【URL】
<https://logoform.jp/form/yf6d/1087576>

【アンケートについてのお問い合わせ先】

立川市 保健医療部 介護保険課 介護給付係

電話：(042)523-2111（内線1458） FAX：(042)522-2481

日ごろより、立川市の高齢者福祉行政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき
ありがとうございます。

さて、立川市では、令和9年度～11年度に取り組むべき施策を明示した「立川市高齢者
福祉介護計画（第10次高齢者福祉・第10期介護保険事業計画）」を策定するにあたり、
アンケート調査を実施いたします。

このアンケートは、利用されている介護サービスの状況や今後の利用量等、計画の策定
に向けての基礎資料を作成することを目的としています。

対象は、立川市において介護保険の要介護の認定を受けている方の中から、無作為に
選ばせていただいた1,500人の方です。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、何卒ご協
力くださいますようお願いいたします。

令和7年11月 立川市

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていた
だきます。

記

【個人情報の保護及び活用目的について】

この調査は、立川市高齢者福祉介護計画の立案と効果評価のために行うものです。本調
査で得られた情報につきましては、立川市高齢者福祉介護計画策定と効果評価の目的以
外には利用いたしません。また当該情報については、市において適切に管理いたします。
ただし、立川市高齢者福祉介護計画策定時及び効果評価時に本調査で得られたデータを
活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、
必要に応じて集計・分析することがあります。

【要介護認定データの活用目的について】

要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）は、要介護認定及び本市にお
ける立川市高齢者福祉介護計画の検討の際の基礎資料とすることを目的に活用させてい
たします。ご本人のご同意なく、目的以外の活用はいたしません。

【アンケート調査の回答内容の取扱いについて】

アンケート調査でご回答いただいた内容の集計・分析について、株式会社シティ・ブラ
ンニングに委託してありますが、情報は適切に管理いたします。

以上



株式会社シティ・ブランニングは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より「プライバシーバシ
ルマーク」の付与認定を受けております。調査の実施にあたりましては、個人情報保護方針に
したがって、情報の管理を徹底いたします。

■まず、はじめに記入日や調査票を記入された方についてお教えください。

記入日	令和7年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. 調査対象者 (あて名の方) 本人	3. 主な介護者以外の家族・親族
2. 主な介護者となっている家族・親族	4. その他 (友人知人 等)

■調査対象者様 (あて名の方) ご本人について、おたずねします。

問1 あなた (調査対象者ご本人) の性別をお答えください。(どちらかに○)

1. 男性	2. 女性	3. 答えない
-------	-------	---------

問2 あなた (調査対象者ご本人) の年齢をお答えください。(○は1つ)

1. 65歳未満	4. 75~79歳	7. 90歳以上
2. 65~69歳	5. 80~84歳	
3. 70~74歳	6. 85~89歳	

問3 あなた (調査対象者ご本人) のお住まいの町名は、どちらですか。(○は1つ)

1. 富士見町	7. 緑町	13. 砂川町
2. 柴崎町	8. 栄町	14. 上砂町
3. 錦町	9. 若葉町	15. 一番町
4. 羽衣町	10. 幸町	16. 西砂町
5. 曙町	11. 柏町	17. 立川市内だが町名がわからない
6. 高松町	12. 泉町	18. 立川市外 ()

問4 あなた (調査対象者ご本人) は、どなたかと住んでいますか。(○は1つ)

1. 1人暮らし	4. 子供家族との2世帯同居
2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	5. 子供 (単身者) との同居
3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	6. その他 (具体的に:)

問5 あなた (調査対象者ご本人) のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

1. 持家 (一戸建て)	6. 特別養護老人ホームなど介護保険施設
2. 持家 (マンションなどの集合住宅)	7. サービス付高齢者向け住宅
3. 公営賃貸住宅 (都営・市営)	8. 住宅型有料老人ホーム
4. 民間の賃貸住宅 (一戸建て)	9. その他 (具体的に:)
5. 民間の賃貸住宅 (アパートなどの集合住宅)	

問6 あなた (調査対象者ご本人) の要介護度は次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 要支援1	4. 要介護2	7. 要介護5
2. 要支援2	5. 要介護3	8. わからない
3. 要介護1	6. 要介護4	

問7 介護が必要となった原因について、お答えください。(○はいくつでも)

1. 脳血管疾患 (脳卒中) … 脳出血、脳こうそく、くも膜下出血など
2. 心疾患 (心臓病) …… 狭心症、心筋梗塞、不整脈など
3. 悪性新生物 (がん) …… すべての部位のガン (白血病含む) 及び肉腫
4. 呼吸器疾患 …… 肺炎、気管支炎、胸膜炎など
5. 関節疾患 …… 関節リウマチ、何らかの原因による関節炎、関節症
6. 認知症 …… 認知症 (アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病 …… 糖尿病及び糖尿病性腎症、糖尿病性網膜症などの合併症
9. 視覚・聴覚障害 …… 緑内障、網膜はくり、難聴など
10. 骨折・転倒 …… 屋内外を問わず、何らかの原因で骨折または転倒したものの
11. 脊髄損傷 …… 外傷に伴って脊髄の挫傷、血行障害などにより脊髄の機能が障害されたもの
12. 高齢による衰弱 …… 特にこれといった病気が診断されていないもの
13. その他 …… (具体的に:)
14. わからない

問7-1 上記のうち、主な原因を記入してください。

↑

問8 あなた(調査対象者ご本人)は、現在、訪問診療を利用していますか。
(どちらかに○)

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

※ 訪問歯科診療や介護保険サービスの居宅療養管理指導は含みません。

問9 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。(○はいくつでも)

1. 配食	7. 移送サービス(介護・福祉タクシーなど)
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物(宅配は含まない)	10. その他(具体的に:)
5. ゴミ出し	11. 利用していない
6. 外出同行(通院、買い物など)	

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問10 現在、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、お答えください。(○はいくつでも)

1. 配食	7. 移送サービス(介護・福祉タクシーなど)
2. 調理	8. 見守り、声かけ
3. 掃除・洗濯	9. サロンなどの定期的な通いの場
4. 買い物(宅配は含まない)	10. その他(具体的に:)
5. ゴミ出し	11. 特にない
6. 外出同行(通院、買い物など)	

問11 介護に関係することで「介護保険サービス以外」ではどのようなことにお金がかかっていますか。(○はいくつでも)

1. 医療費・医薬品代	5. あんしん見守り等の費用
2. おむつ代	6. その他(具体的に:)
3. タクシー代・送迎代	7. 特にない
4. 本人用の飲み物・食べ物	

問12 令和7年10月1日～31日の1か月間に、介護保険サービスを利用しましたか。
〔住宅改修、福祉用具貸与、福祉用具購入以外〕(どちらかに○)

1. 利用した	(→問13ハ)
2. 利用していない	(→6ページの問16ハ)

【問12で「1. 利用した」とお答えした方にお伺いします。】
問13 現在、下記のサービスの利用状況について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ1つに○)					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
(※回答例) ●●●サービス	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
① 訪問介護 (ホームヘルプサービス) (ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排せつ、食事などの身体介護や薬理、洗濯などの生活援助をします。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
② 訪問入浴介護 (介護職員と看護師が居宅を訪問し、浴槽を提供しての入浴介護を行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
③ 訪問看護 (疾病などを抱えている人に対して、看護師が居宅を訪問して、療養上のお世話や、診療の補助を行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
④ 訪問リハビリテーション (居宅での生活行為を向上させるために、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士が訪問によるリハビリテーションを行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
⑤ 通所介護(デイサービス) (通所介護(デイサービス)施設で、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日曜日で行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
⑥ 通所リハビリテーション(デイケア) (老人保健施設や医療機関などで、食事、入浴などの日常生活上の支援や生活行為向上のために、医師の指示にもとづくリハビリテーションを日曜日で行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
⑦ 夜間対応型訪問介護 (※訪問のあった回数を回答) (夜間に、定期的な巡回訪問または随時の訪問により、入浴、排せつ、食事などの介護や、その他日常生活上の緊急時の対応などを行います。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上
⑧ 認知症対応型通所介護 (日常生活に支障が生じる程度にまで認知機能が低下した状態の方が、デイサービスセンターなどで入浴、排せつ、食事などの身体介護や、その他日常生活上の世話、機能訓練などを受けられます。)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上

問14 【問13】の介護保険サービスについて、利用回数等を増やしたい、または新規に利用を始めたものはありますか。(○はいくつでも)

1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	8. 認知症対応型通所介護
2. 訪問入浴介護	9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
3. 訪問看護	10. 小規模多機能型居宅介護
4. 訪問リハビリテーション	11. 看護小規模多機能型居宅介護
5. 通所介護 (デイサービス)	12. ショートステイ (短期入所生活介護・短期入所療養介護)
6. 通所リハビリテーション (デイケア)	13. 居宅療養管理指導
7. 夜間対応型訪問介護	14. 特にない

問15 介護保険サービスを利用する上で困っていることはありますか。(○はいくつでも)

1. サービス時間や回数などが少ないこと	
2. 定員超のため、希望するものを利用できないこと	
3. 利用料金が高いこと	(どのサービスですが、具体的に：)
4. 制度が複雑でわかりにくいこと	
5. 介護支援専門員 (ケアマネジャー) の対応がよくないこと	
6. 地域包括支援センター担当者の対応がよくないこと	
7. 介護保険サービス事業者の対応がよくないこと	
8. その他 (具体的に：)	
9. 特にない	

→問17/8

【問12で「2. 利用していない」とお答えした方にお伺いします。】

問16 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他 (具体的に：)

	1か月あたりの利用の有無 (それぞれどちらかに○)	
	1. 利用していない	2. 利用した
⑨ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (定期的な巡回訪問により、又は随時通報を受け、訪問介護と訪問看護が連携しながら、日常生活上の世話、療養生活等々を支援します。)		2. 利用した
⑩ 小規模多機能型居宅介護 (通所を中心として、利用者の状態や希望に応じて、訪問や府出を組み合わせて、入浴、排せつ、食事などの介護や、その他日常生活上の世話などを行い、在宅での生活の継続を支援します。)	1. 利用していない	2. 利用した
⑪ 看護小規模多機能型居宅介護 (小規模多機能型居宅介護のサービス内容に加えて、必要に応じて訪問看護が組み合わされたサービスが提供されます。)	1. 利用していない	2. 利用した

	1か月あたりの利用日数 (1つに○)				
	利用していない	月1~7日程度	月8~14日程度	月15~21日程度	月22日以上
⑫ ショートステイ (短期入所生活介護・療養介護) (介護老人福祉施設などに短期間入所して、食事、入浴などのサービスや生活行為のための機能訓練が受けられます。)	0回	1~7日	8~14日	15~21日	22日以上

	1か月あたりの利用回数 (1つに○)				
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
⑬ 居宅療養管理指導 (医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士などが居宅を訪問し、療養上の管理や指導を行います。)	0回	1回	2回	3回	4回

問20 現時点での、施設などへの入所・入居の検討状況について、お答えください。
(○は1つ)

1. 入所・入居を検討していない	(→問22へ)
2. 入所・入居を検討している	}
3. すでに入所・入居申し込みをしている	

【問20で「2. 入所・入居を検討している」または「3. すでに入所・入居申し込みをしている」とお答えした方にお伺いします。】

問21 あなたが入りたいと希望する施設は、どのような施設ですか。(○はいくつでも)

1. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設 (自宅での生活が困難な方の施設)
2. 有料老人ホームなど (介護度が高くなっても住み続けられる施設)
3. サービス付高齢者向け住宅 (相談や見守りなどのサービスがある施設)
4. 認知症高齢者グループホーム
5. その他 (具体的に:)

【すべての方にお伺いします。】

問22 ご家族やご親族の方 (同居していない子どもや親族も含む) からの介護は、週にどのくらいありますか。(○は1つ)

1. ない	}	(→問40へ)
2. 家族・親族の介護はあるが、週1日より少ない		
3. 週1～2日ある		
4. 週3～4日ある		
5. ほぼ毎日ある		(→問23へ)

↳問22 を回答した方で、「1. ない」を回答した方は、14 ページ 最後の問40へお進みください。

・それ以外の方は問23へお進みください。



問23～39は、
家族介護をしている方に
お願いしてね！

【すべての方にお伺いします。】

問17 現在支払っている介護保険料について、どのような感じになっていきますか。
(○は1つ)

1. 特に負担とは思わない	3. 負担が大きく、支払うことが困難
2. 負担であるが、支払うことが可能	4. わからない

問18 介護保険は、サービスの利用が増えると保険料も上がる仕組みです。国の試算によれば、サービスの利用者の増加により、保険料は今後も上がるが見込まれています。介護保険のサービスと保険料について、あなた (調査対象者ご本人) のお考えに一番近いものは次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 保険料の負担が増えても、必要なサービスを維持すべきである
2. サービスの利用時の自己負担額を増やして、必要なサービスを維持すべきである
3. サービス量は低下しても、保険料の負担を増やさないようにすべきである
4. わからない

問19 介護支援専門員 (ケアマネジャー) に求めることは、どのようなことですか。
(○はいくつでも)

1. 自分や家族の話を聞いてくれる	7. 主治医と連携がとれている
2. 自分に合ったプランを提案してくれる	8. 不満、苦情を伝えやすい
3. 説明がわかりやすい	9. 地域の情報をよく知っている
4. 言葉遣いや態度が丁寧である	10. その他 (具体的に:)
5. 定期的に連絡を入れてくれる	11. 特になし
6. サービス事業者と連携がとれている	

■調査対象者様をご自宅で介護されている方について、お伺いします。

問23 ご自宅で主に介護を行っているのはどなたですか。(○は1つ)

- 1. 配偶者 (パートナーを含む)
- 2. 子
- 3. 子の配偶者 (パートナーを含む)
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他 (具体的に:)

問24 主な介護者(おひとり)の方の性別をお答えください。(どちらかに○)

- 1. 男性
- 2. 女性
- 3. 答えない

問25 主な介護者の方の年齢をお答えください。(○は1つ)

- 1. 20歳未満
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代
- 8. 80歳以上
- 9. わからない

問26 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、お答えください。(○はいくつでも)

- 【身体介護】
- 1. 日中の排泄
 - 2. 夜間の排泄
 - 3. 食事の介助 (食べる時)
 - 4. 入浴・洗身
 - 5. 身だしなみ (洗面・歯磨きなど)
 - 6. 衣服の着脱
 - 【生活援助】
 - 7. 屋内の移乗・移動
 - 8. 外出の付き添い、送迎など
 - 9. 服薬
 - 10. 認知症への対応
 - 11. 医療面での対応 (経管栄養・ストーマなど)
 - 12. 食事の準備 (調理など)
 - 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物など)
 - 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き
 - 15. その他 (具体的に:)
 - 16. 主な介護者に確認しないと、わからない

【問26で「10. 認知症への対応」とお答えした方にお伺いします。】
問27 認知症に対して、主な介護者の方が困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 一人で出歩かなくなど、目が離せない
- 2. 本人が受診したくない
- 3. サービスが認知症に対応できていない
- 4. 介護の方法がわからない
- 5. 介護者が疲れてしまう
- 6. 地域の人などの理解が足りない
- 7. 攻撃的な言動がある
- 8. 本人が介護サービスを受けたがらない
- 9. 認知症に対応した施設に空きがない
- 10. 他の家族の理解・協力が得られない
- 11. 地域に対する引け目を感じてしまう
- 12. その他 ()
- 13. 特にない

問28 主な介護者の方が調査対象者様の介護を始めて、どのくらいですか。(○は1つ)

- 1. 半年未満
- 2. 半年～1年未満
- 3. 1年～3年未満
- 4. 3年～5年未満
- 5. 5年～7年未満
- 6. 7年～10年未満
- 7. 10年以上

問29 主な介護者の方の一日あたりの介護時間は、どのくらいですか。(○は1つ)

- 1. 必要ときに手を貸す程度
- 2. 2～3時間程度
- 3. 半日程度
- 4. ほとんど終日

※ 在宅で訪問介護などの介護保険サービスを受けている時間を除いてお答えください。

問30 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください (現状で行っているか否かは問いません)。(○は3つまで)

- 【身体介護】
- 1. 日中の排泄
 - 2. 夜間の排泄
 - 3. 食事の介助 (食べる時)
 - 4. 入浴・洗身
 - 5. 身だしなみ (洗面・歯磨きなど)
 - 6. 衣服の着脱
 - 【生活援助】
 - 7. 屋内の移乗・移動
 - 8. 外出の付き添い、送迎など
 - 9. 服薬
 - 10. 認知症への対応
 - 11. 医療面での対応 (経管栄養・ストーマなど)
 - 12. 食事の準備 (調理など)
 - 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物など)
 - 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き
 - 15. その他 (具体的に:)
 - 16. 不安に感じていることは、特にない
 - 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問33 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お答えください。(○は1つ)

1. フルタイムで働いている	} (→問34ハ)
2. パートタイムで働いている	
3. 働いていない	} (→13ページの問37ハ)
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

※ 「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」などの方を含みます。自営業・フリーランスなどの場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【問33で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」とお答えした方にお伺いします。】

問34 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などをしていきますか。(○はいいくつでも)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2.～4.以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

【問33で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」とお答えした方にお伺いします。】

問35 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

1. 介護休業・介護休暇などの制度の充実
2. 制度を利用しやすい職場づくり
3. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイト制など）
4. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
5. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
6. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
7. 介護をしている従業員への経済的な支援
8. 自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない
9. その他（具体的に：)
10. 特にない
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

【問30で「10. 認知症への対応」とお答えした方にお伺いします。】

問31 認知症について、どのような支援があればよいと思いますか。(○はいいくつでも)

1. 相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み
2. 介護の方法、コミュニケーション方法などの研修会
3. 家族交流など介護する家族の精神的負担を軽減できる場
4. 電球交換や草むしりなど、在宅生活を支えるサービス
5. 認知症の人が社会参加できる場（サロン、カフェ等）
6. 所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク
7. 孤立防止や安否確認のための定期的な訪問活動
8. 認知症の専門医の紹介、サポート
9. 虐待、成年後見制度の相談窓口
10. グループホームなどの住まいの整備
11. その他（具体的に：)
12. 特に必要ない

問32 ご家族やご親族の中で、調査対象者様の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。)(○はいいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族は、いない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。



がんばってください。
あと3ページです。

（3）介護保険事業所向けアンケート調査

次期『立川市高齢者福祉介護計画』策定に向けた
介護保険事業所向けアンケート調査
アンケートご協力をお願い

日ごろより、立川市の高齢者福祉行政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、立川市では、令和9年度～11年度に取り組むべき施策を明示した「立川市高齢者福祉介護計画（第10次高齢者福祉・第10期介護保険事業計画）」を策定するにあたり、事前アンケートを実施いたします。

このアンケートは、皆様を取り巻く環境の変化や問題点などを把握し、計画の策定に向けての基礎資料を作成することを目的としています。

対象は、市内の全事業所及び市外の事業所の合計約300事業所です。同一の法人で複数の事業所を運営している場合は、事業所ごとに調査を行いますので、ご回答くださいますようお願いいたします。また、この調査票にご記入いただいた内容は、統計的に処理し、調査の目的以外には使用いたしません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

令和7年11月 立川市

立川市の今後を考えるための基礎資料です。
回答のご協力をお願いします。

同封の返信用封筒（切手不要）に、ご記入いただいた調査票を入れて、

令和7年12月15日（月）
までに

郵便ポストに投函してくださいませようお願いします。

回答に当たってのお願い

- ※ アンケートの回答は、鉛筆またはボールペンなどをお使いいただき、この調査票に直接ご記入ください。
- ※ 封筒のあて名が事業所名がアンケートの対象事業所区分となっております。
- ※ 各調査項目について、特に指定がない場合は、記入日現在の状況を記入してください。
- ※ インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありません。

スマートフォン等をお持ちの方は、インターネットでもご回答いただけます。

下記アドレスか、右の二次元コードから回答フォームにアクセスできます。
（注：インターネットでご回答いただいた方は調査票をお送りいただく必要はありませんのでご注意ください。）

【URL】
<https://logoform.jp/form/yf6d/1079901>



【アンケートについてのお問い合わせ先】

立川市 保健医療部 介護保険課 介護給付係

電話：(042)523-2111（内線1458） FAX：(042)522-2481

問4 貴事業所及び併設事業所において提供している介護保険サービス（総合事業を含む）は何ですか。（〇はいくつでも）

※ この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 居宅介護支援 | 16. 夜間対応型訪問介護 |
| 2. 訪問介護 | 17. 地域密着型通所介護 |
| 3. 訪問看護 | 18. 認知症対応型通所介護 |
| 4. 訪問入浴介護 | 19. 小規模多機能型居宅介護 |
| 5. 訪問リハビリテーション | 20. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 6. 通所介護 | 21. 認知症対応型共同生活介護 |
| 7. 通所リハビリテーション | 22. 特定施設入居者生活介護 |
| 8. 短期入所生活介護 | 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 |
| 9. 短期入所療養介護 | 24. 介護老人福祉施設 |
| 10. 居宅療養管理指導 | 25. 地域密着型介護老人福祉施設 |
| 11. 福祉用具の貸与・販売 | 26. 介護老人保健施設 |
| 12. 住宅改修 | 27. 介護医療院 |
| 13. 訪問型サービス（総合事業） | 28. その他（具体的に：) |
| 14. 通所型サービス（総合事業） | |
| 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | |

問5 貴事業所及び併設事業所では、高齢者向けに介護保険サービス（総合事業を含む）以外の事業も実施していますか。当てはまるものをお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 通いの場（体操・運動・趣味などの活動、食事会などの定期的な交流など） | 8. 話し相手 |
| 2. 通いの場への送迎 | 9. 訪問による理美容 |
| 3. 通所・福祉施設・役所の送迎前後の付き添い | 10. 歯科などの訪問診療 |
| 4. 見守り・安否確認 | 11. 介護等が必要になった場合の住宅改修 |
| 5. 緊急時の通報システム | 12. 紙おむつの配送 |
| 6. ごみ出し | 13. 配食サービス |
| 7. 家事代行 | 14. ペットの世話 |
| | 15. その他（具体的に：) |
| | 16. 特になし |

■まず、はじめに法人名・事業所名をご記入ください。

運営法人名	
事業所（施設）名	
所在地（どちらかに〇）	1. 立川市内 2. 立川市外
介護保険事業所番号	
サービス種類	

■貴事業所・法人の概況について、おたずねします。

問1 貴事業所が開設されたのはいつですか。（〇は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1. 介護保険制度開始（平成12年4月）以前 |
| 2. 平成・令和（ ）年 |

問2 貴法人が開設されたのはいつですか。（〇は1つ）

- | |
|------------------------|
| 1. 介護保険制度開始（平成12年4月）以前 |
| 2. 平成・令和（ ）年 |

問3 貴法人の組織形態は次のうちどれですか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 社会福祉法人（社協以外） | 6. 農協 |
| 2. 社会福祉法人（社協） | 7. 生協 |
| 3. 社団法人 | 8. 営利法人（株式会社、有限会社など） |
| 4. 財団法人 | 9. NPO法人 |
| 5. 医療法人 | 10. その他（具体的に：) |

■貴事業所のサービス提供体制について、おたずねします。

問6 貴事業所のスタッフの人員構成についてお教えください。(令和7年11月1日現在)
注1) 2つ以上に当てはまる方については、主に従事している業務を1つ選んでください。

	常勤	非常勤
1. 介護支援専門員 (うち 主任介護支援専門員)	人	人
2. 社会福祉士	人	人
3. 介護福祉士	人	人
4. 介護福祉士実務者研修修了者	人	人
5. 介護職員初任者研修修了者 (ヘルパー2級)	人	人
6. 生活支援サポーター	人	人
7. 医師・歯科医師	人	人
8. 保健師	人	人
9. 看護師・准看護師	人	人
10. 作業療法士・理学療法士・ 言語聴覚士・柔道整復師等	人	人
11. 栄養士・管理栄養士	人	人
12. 福祉用具専門相談員	人	人
13. 管理職・事務職	人	人
14. その他	人	人
15. 合計	人	人

問7 貴事業所のスタッフの年齢構成についてお教えください。(令和7年11月1日現在)

	介護職員	介護職員以外
1. 19歳以下	人	人
2. 20～29歳	人	人
3. 30～39歳	人	人
4. 40～49歳	人	人
5. 50～59歳	人	人
6. 60～69歳	人	人
7. 70～79歳	人	人
8. 80～89歳	人	人
9. 90歳以上	人	人
10. 合計	人	人

問8 人材不足の状況と人材不足によるサービス提供への影響があればお答えください。
(〇は1つ)

1. 人材不足の状況ではない (→問9へ)
2. 人材不足である

▶【問8で「2. 人材不足である」とお答えになった方におたずねします。】

問8-1 サービス提供への影響状況をお答えください。(〇はいくつでも)

1. サービスを縮小している
2. 新規の利用者をセーブしている
3. その他 (具体的に:)

問9 事業所の従業者の過不足感を職種別に教えてください。(それぞれ〇はひとつ)

	大いに不足	不足	やや不足	適切	過剰	該当する職はない
①介護職員 (介護福祉士)	1	2	3	4	5	6
②介護職員 (介護福祉士以外)	1	2	3	4	5	6
③訪問介護員 (介護福祉士)	1	2	3	4	5	6
④訪問介護員 (介護福祉士以外)	1	2	3	4	5	6
⑤看護職員	1	2	3	4	5	6
⑥生活/支援相談員	1	2	3	4	5	6
⑦介護支援専門員	1	2	3	4	5	6
⑧サービス提供責任者	1	2	3	4	5	6

問12 未経験者の募集・採用についてお答えください。(〇は1つ)

1. 未経験者を募集・採用している
2. 未経験者を募集しているが、採用までには至っていない
3. 経験者のみ募集しているが、未経験は採用していない
4. 募集は経験者のみであるが、状況によって未経験者を採用している

問13 採用の困難感について、お答えください。(〇は1つ)

1. 十分採用できている
2. 少しは採用できている
3. まったく採用できていない
4. 採用活動はしていない

問14 人材を確保するにあたっての課題として、当てはまるものをお答えください。(〇はいくつでも)

1. 人材の募集・採用に関するノウハウやシステムが確立しておらず、どのような募集・採用活動を行うのが効果的かわからない
2. 求める人材や必要な能力・資格を持った人材の応募が少ない
3. 応募者の求める処遇・報酬等の水準が高く条件が合わない
4. 夜勤対応やオンライン対応できる人材が確保できない
5. 人材派遣会社や人材紹介会社に頼らざるを得ないがコストがかかると感じる
6. 求人広告の掲載や求人に係るホームページの維持管理費等の採用コストがかかりすぎる
7. 離職が多い
8. 補助的な業務を担うボランティア等が確保できない
9. その他（具体的に：)
10. 特に問題はない

問14-1 上記のうち、最も困難な課題を教えてください。

↑

■介護人材の確保・育成について、おたずねします。

問10 従業者の募集方法として利用しているものを教えてください。(〇はいくつでも)

1. 東京都福祉人材センター
2. ハローワーク（公共職業安定所）
3. 福祉人材バンク
4. 民間の人材紹介会社
5. 学校（福祉専門学校等）との連携（有料のものに限る）
6. 自治体や民間団体が主催する就職説明会の参加
7. 求人広告（新聞折り込み、インターネット、フリーペーパー等）に掲載
8. 職員・知人などからの個人的紹介
9. 自社のホームページの活用
10. 人材派遣会社との契約
11. その他

問10-1 上記のうち、最も採用実績の高い方法を教えてください。

↑

【問10で「4. 民間の人材紹介会社」とお答えになった方におたずねします。】

問10-2 令和6年度（令和4年4月1日～令和7年3月31日）に民間の人材紹介会社からの紹介で採用した人数と、かかった紹介料を教えてください。

採用した人数	常勤	人	非常勤	人			
	その他（	）	人	人			
かかった紹介料	合計	_____	万円				

問11 貴事業所において、令和6年度（令和4年4月1日～令和7年3月31日）に採用を希望していた人数及び実際に採用した従業者の採用経路ごとの人数を教えてください。

採用希望人数	_____	人
実際の採用者数	①新卒（福祉系） 人
	②新卒（福祉系以外） 人
	③中途採用（未経験者） 人
	④中途採用（他の介護事業者からの転職） 人

問15 外国人介護従事者の活用状況について、お伺いします。
貴事業所における外国人介護従事者の活用状況についてお答えください。(〇は1つ)

1. 積極的に活用している ⇒ 問15-1、問15-4、問15-5、問15-6をお答えください
2. ある程度は活用している ⇒ 問15-1、問15-4、問15-5、問15-6をお答えください
3. 活用していないが、今後活用したい ⇒ 問15-2、問15-4をお答えください
4. 活用しておらず、今後も活用予定はない ⇒ 問15-3をお答えください

【問15で「1. 積極的に活用している」「2. ある程度は活用している」とお答えになった方におたずねします。】

問15-1 外国人を受け入れる際に、課題となることについて教えてください。
(〇はいくつでも)

1. 事業所内のOJT体制や担当者のスキルが不十分
2. 事業所内での外国人に対する理解が不足している（宗教・文化など）
3. 本人の日本語スキルが上達しない
4. 本人の業務に必要な専門知識やスキルが上達しない
5. 受け入れまでの手続が煩雑・時間がかかる
6. 日本人職員など一部の職員に負担が生じている（不公平感が生まれている）
7. その他（具体的に：）

【問15で「3. 活用していないが、今後活用したい」とお答えになった方におたずねします。】

問15-2 現在活用していない理由について教えてください。（記述式）

【問15で「4. 活用しておらず、今後も活用予定はない」とお答えになった方におたずねします。】

問15-3 今後も活用する予定がない理由について、お答えください。(〇はいくつでも)

1. 育成環境を準備できない
2. 利用者や家族の理解を得ることができない
3. 採用や支援のコストが捻出できない
4. 宗教や文化の違いに対応できない
5. 受け入れたいが、何から始めたいかわからない
6. その他（具体的に：）

【問15で「1. 積極的に活用している」「2. ある程度は活用している」「3. 活用していないが、今後活用したい」とお答えになった方におたずねします。】

問15-4 採用経路（予定）を教えてください。(〇は1つ)

1. 国内採用のみ
⇒ 海外採用について、どのような不安や懸念がありますか。
（具体的に：）
2. 海外採用（国内での転職等ではなく、海外からの直接採用）
3. 併用

【問15で「1. 積極的に活用している」「2. ある程度は活用している」とお答えになった方におたずねします。】

問15-5 令和7年11月1日時点で外国人の受け入れ区分・人数について、お答えください。

1. E P Aによる受け入れ……………雇用人数のうち、常勤__人、非常勤__人
2. 技能実習制度……………雇用人数のうち、常勤__人、非常勤__人
3. 外国人留学生……………雇用人数のうち、常勤__人、非常勤__人
4. 在留資格「特定技能1号」……………雇用人数のうち、常勤__人、非常勤__人
5. 在留資格「介護」……………雇用人数のうち、常勤__人、非常勤__人
6. その他（ ）…雇用人数のうち、常勤__人、非常勤__人

【問15で「1. 積極的に活用している」「2. ある程度は活用している」とお答えになった方におたずねします。】

問15-6 現在までに受け入れた外国人介護従事者の国籍と人数を教えてください。
(〇はいくつでも)

1. ベトナム __人 4. フィリピン __人
2. インドネシア __人 5. ネパール __人
3. ミャンマー __人 6. その他 __人

問16 介護人材確保のために市が行うべき施策は何だと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 介護の仕事の魅力・やりがいを紹介する講座（セミナー）等の開催
2. 小中高生に対する福祉教育の充実
3. 介護未経験者を対象とした介護に関する入門的研修の実施
4. 介護業界に興味を持つ人材と介護事業者とのマッチングの機会の創出（就職相談会等の開催）
5. 介護職員初任者研修や介護支援専門員法定研修等、介護資格に係る研修授業料の補助制度の充実
6. 介護業界へ新たに転職する方への支援等、人材確保につながる補助制度の充実
7. 外国人雇用に係る費用の補助等、人材確保につながる補助制度の充実
8. その他（具体的に：)

問16-1 上記のうち、最も市が行うべき施策を
教えてください。

■サービスの質の向上のための取り組みについて、おたずねします。

問17 貴事業所における過去1か月間の苦情受付件数は、何件くらいですか。（〇は1つ）

1. 月平均（ ）件くらい
2. 特に苦情等を受けていない （→問18へ）

▶【問17で「1」とお答えになった方におたずねします。】

問17-1 苦情はどのような内容が多いですか。下記項目より当てはまる番号をご記入ください。（〇はいくつでも）

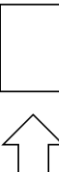
1. サービス内容
2. 利用手続き
3. 職員の対応
4. 施設・設備
5. 介護保険外負担（その他日常生活費など）
6. その他（具体的に： ）

お差し支えなければ項目の番号に〇をつけ、内容をご記入ください。

サービス種別	項目	内容
(記載例) 短期入所 生活介護	①	
	2	(記載例)
	3	「施設に預ける前に比べると健康状態が思わしくないようだが、入所中の健康管理はどうなっているのか。」といった問い合わせ
	4	
	5	
	6	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	

問18 貴事業所における介護保険サービス（総合事業を含む）の提供にあたり、サービスの質の向上のための取り組みとして力を入れていることは次のうちどれですか。（〇は3つまで）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉サービス第三者評価の結果をうけての改善 2. 職員・スタッフの研修、育成 3. 職員・スタッフの健康管理 4. 利用者個別のサービス計画の充実と見直し 5. 利用者のご家族の意見の尊重 6. 個々の利用者の状況に配慮したケアの実施 7. 利用者の生活に楽しみが得られるような食事メニューや行事の実施 8. 地域社会との連携（地元小学校、町内会などとの交流） 9. ボランティアの受け入れ 10. 事業所間・施設間や行政との情報の共有 11. ご家族とのコミュニケーションを図る機会づくり 12. サービスの質の向上のためのサービス評価の実施 13. 衛生管理の徹底化 14. 理解を広げるための幅広い広報、相談の実施 15. 第三者委員会の設置など、利用者からの苦情に対応する体制づくり 16. 透明性の高い経営（経営・収支状況の公開など） 17. 利用者の人権やプライバシーへの配慮 18. 医療と介護の連携 19. その他（具体的に：) 20. 特になし
--



問18-1 上記のうち、質の向上のために最も力を入れている項目を一つ、お選びください。

問19 貴事業所において地域包括ケアシステムの構築のために取り組んでいることは何ですか。（〇はいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域包括支援センターとの連携（具体的に：) 2. 福祉相談センターとの連携（具体的に：) 3. 医療機関との連携（具体的に：) 4. 社会貢献活動（具体的に：) 5. 小地域ケア会議への参加 6. 地域包括支援センターが行う連絡会、研修会への参加 7. 地域包括支援センターが行う介護予防教室などへの参加 8. 介護保険課、高齢政策課が行う各種研修、連絡会への参加 9. その他（具体的に：)
--

問20 貴事業所における、ボランティアの受け入れ状況をお答えください。（〇は1つ）

<ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎日受け入れている 2. 週1回程度受け入れている 3. 月2回程度受け入れている 4. 月1回程度受け入れている 5. 年数回程度受け入れている 6. ほとんど受け入れていない

問21 自立支援・介護予防・重度化防止等について、貴事業所で取り組んでいることがあれば、その内容を記載してください。

--

問22 業務の切り分けについてお伺いします。介護の周辺業務について、短時間アルバイトや有償ボランティア、高齢者（60歳以上）の方等に介護助手（補助スタッフ）として従事してもらうことを検討していますか。（〇は1つ）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 検討している 2. 検討していない（→問23へ） 3. その他（具体的に：)
--

▶【問22で「1. 検討している」とお答えになった方におたずねします。】

問22-1 介護助手（補助スタッフ）として採用したいのは、どちらですか。（〇はいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 短時間アルバイト 2. 有償ボランティア 3. シルバー人材センターに登録されている高齢者 4. その他（具体的に：)
--

▶【問22で「1. 検討している」とお答えになった方におたずねします。】

問22-2 介護助手（補助スタッフ）として採用する場合、依頼したい仕事は何ですか。（〇はいくつでも）

<ol style="list-style-type: none"> 1. レクリエーションの補助 2. 配膳・下膳、食器洗浄 3. 施設内の清掃、洗濯、シーツ交換 4. デイサービス等における車の送迎（運転） 5. その他（具体的に：)

■近年の制度改正の影響や職員処遇について、おたずねします。

問23 貴事業所では、介護職員等処遇改善加算を取得（届出）されていますか。(○は1つ)

- 1. 介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）を取得（届出）している
- 2. 介護職員等処遇改善加算（Ⅱ）を取得（届出）している
- 3. 介護職員等処遇改善加算（Ⅲ）を取得（届出）している
- 4. 介護職員等処遇改善加算（Ⅳ）を取得（届出）している
- 5. 取得（届出）していない (→問23-2へ)
- 6. 処遇改善加算の対象サービスでない (→問24へ)

▶【問23で「1」～「4」をお答えになった方におたずねします。】

問23-1 新制度の移行により、以前と比べて職員の採用や定着につなげられましたか。(○はいくつでも)

- 1. 職員採用につながった
- 2. 職員定着につながった
- 3. 職員採用にはつながらなかった
- 4. 職員定着にはつながらなかった
- 5. わからない
- 6. その他 (具体的に：)

▶【問23で「5」をお答えになった方におたずねします。】

問23-2 取得（届出）していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 算定要件の理解が困難
- 2. 事務作業が煩雑
- 3. 事業者負担の発生
- 4. 利用者負担の増加 (具体的に：)
- 5. 資金改善の必要性がない
- 6. 算定要件を達成できない
- 7. その他 (具体的に：)

問24 貴事業所では、介護報酬の改定に伴う影響や変化としてどのようなものがありましたか。(○はいくつでも)

- 1. 利用料への関心が落ちた
- 2. 低所得者の生活支援に苦慮する
- 3. サービスを充実させた
- 4. サービスをスリム化した
- 5. 勤務体系、人材確保策を見直した
- 6. 人件費以外の経費を見直した
- 7. 利用者数・回数が増えた
- 8. 利用者数・回数が減った
- 9. 影響や変化は、特に感じない
- 10. その他 (具体的に：)
- 11. 当事業所には関係ない

■介護保険サービスの経営状況について、おたずねします。

※非営利法人の場合は、収支の状況についてお答えください。

問25 貴事業所の経営状況（収支）について教えてください。(○は1つ)

- 1. 黒字
- 2. 赤字
- 3. 収支均衡

▶【問25で「2. 赤字」とお答えになった方におたずねします。】

問25-1 赤字の主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 利用者数の低迷
- 2. 人件費の高騰
- 3. 人件費以外の経費の高騰
- 4. 人材不足によるサービス供給量の低下
- 5. 競合する事業所・施設の増加
- 6. 介護報酬の設定
- 7. 把握していない
- 8. その他 (具体的に：)

問26 貴事業所が実施している介護保険サービス（総合事業を含む）の将来性について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1. 見通しがある
- 2. やや見通しがある
- 3. あまり見通しはない
- 4. 見通しはない
- 5. わからない



がんばってください！
あと6ページです。

問27 貴事業所を含む法人全体の今後の事業予定について、お聞かせください。
 (1) 立川市内で拡大または縮小・廃止予定の事業はありますか。(○はいくつでも)
 ※ この設問では「予防」サービスと区別しなくても構いません

一拡大予定の事業－（あてはまるものすべてに○） 1. 居宅介護支援 2. 訪問介護 3. 訪問看護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問リハビリテーション 6. 通所介護 7. 通所リハビリテーション 8. 短期入所生活介護 9. 短期入所療養介護 10. 居宅療養管理指導 11. 福祉用具の貸与・販売 12. 住宅改修 13. 訪問型サービス（総合事業） 14. 通所型サービス（総合事業） 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16. 夜間対応型訪問介護 17. 地域密着型通所介護 18. 認知症対応型通所介護 19. 小規模多機能型居宅介護 20. 看護小規模多機能型居宅介護 21. 認知症対応型共同生活介護 22. 特定施設入居者生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 介護老人福祉施設 25. 地域密着型介護老人福祉施設 26. 介護老人保健施設 27. 介護医療院 28. 拡大の予定はない
一縮小・廃止予定の事業－（あてはまるものすべてに○） 1. 居宅介護支援 2. 訪問介護 3. 訪問看護 4. 訪問入浴介護 5. 訪問リハビリテーション 6. 通所介護 7. 通所リハビリテーション 8. 短期入所生活介護 9. 短期入所療養介護 10. 居宅療養管理指導 11. 福祉用具の貸与・販売 12. 住宅改修 13. 訪問型サービス（総合事業） 14. 通所型サービス（総合事業） 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	16. 夜間対応型訪問介護 17. 地域密着型通所介護 18. 認知症対応型通所介護 19. 小規模多機能型居宅介護 20. 看護小規模多機能型居宅介護 21. 認知症対応型共同生活介護 22. 特定施設入居者生活介護 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護 24. 介護老人福祉施設 25. 地域密着型介護老人福祉施設 26. 介護老人保健施設 27. 介護医療院 28. 縮小・廃止の予定はない

(2) 拡大または縮小・廃止の理由、時期について、差しつかえのない範囲で構いませんので、教えてください。

【拡大の理由・時期】

【縮小・廃止の理由・時期】

■近年の物価高騰の影響について、おたずねします。

問28 現在の物価高騰の影響はありますか。(○は1つ)

1. 影響あり 2. 現時点では影響はないが、今後ある見込み 3. 影響はない

【問28で「1」「2」とお答えになった方におたずねします。】

問28-1 物価高騰の影響について、サービス活動費用増加への影響が大きいと見込まれる経費についてお書きください。(○は3つまで)

1. 水道光熱費 6. 消耗器具備品費（歯ブラシ、洗濯用洗剤等）
 2. 車輦費（ガンソリン代等） 7. 日用品費（介護用品を除く身の回りの品）
 3. 給食費 8. 被服費（衣類、寝具等）
 4. 介護用品費（おむつ等） 9. 人件費
 5. 保健衛生費（消毒液等） 10. その他（具体的に：）

■居宅介護支援事業所に、おたずねします。※他の事業所の方は、P18の問32へ

問29 居宅サービス計画書（ケアプラン）担当件数は何人ですか。令和7年10月末現在について、要介護度別にお答えください。

	貴事業所全体	立川市被保険者
1. 要支援1	人	人
2. 要支援2	人	人
3. 要介護1	人	人
4. 要介護2	人	人
5. 要介護3	人	人
6. 要介護4	人	人
7. 要介護5	人	人
8. 介護予防事業対象者	人	人
9. 合計	人	人

問30 ケアプラン作成にあたり、貴事業所の介護支援専門員にとって、問題・課題となっていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. 家族や本人の利用意向とケアマネジャーの考え方の違いが調整できないこと
 2. 介護保険（総合事業含む）サービスが不足していること
 3. 介護保険サービス以外の地域資源が不足していること
 (具体的に：)
 4. どこにどのようなサービスがあるのかという情報が少ないこと
 5. 病气などのため、利用者や家族との意思確認が十分にできないこと
 6. ケアプランの作成が難しい困難ケースが多いこと
 7. 業務が繁忙なため、利用者又はご家族との面接や連絡が難しいこと
 8. 作成・保存等しなければならぬ書類の量が多いこと
 9. 職員のスキルアップ研修等の実施が難しいこと
 10. 医療関係者との連携、調整が十分にできないこと
 11. サービス事業者との連携、調整が十分にできないこと
 12. その他（具体的に：)
 13. 特にない

問31 市内で不足していると思う介護保険サービス（総合事業を含む）はどれですか。(〇はいくつでも)

※ この設問では「予防」サービスを区別しなくても構いません

1. 居宅介護支援
 2. 訪問介護
 3. 訪問看護
 4. 訪問入浴介護
 5. 訪問リハビリテーション
 6. 通所介護
 7. 通所リハビリテーション
 8. 短期入所生活介護
 9. 短期入所療養介護
 10. 居宅療養管理指導
 11. 福祉用具の貸与・販売
 12. 住宅改修
 13. 訪問型サービス（総合事業）
 14. 通所型サービス（総合事業）
 15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
 16. 夜間対応型訪問介護
 17. 地域密着型通所介護
 18. 認知症対応型通所介護
 19. 小規模多機能型居宅介護
 20. 看護小規模多機能型居宅介護
 21. 認知症対応型共同生活介護
 22. 特定施設入居者生活介護
 23. 地域密着型特定施設入居者生活介護
 24. 介護老人福祉施設
 25. 地域密着型介護老人福祉施設
 26. 介護老人保健施設
 27. 介護医療院
 28. その他（具体的に：)

17

■ すべての事業所に、おたずねします。

問32 貴事業所で高齢者虐待が疑われるケースに気づいた際、どのような対応を行いますか。(〇はいくつでも)

1. 行政の虐待受付窓口へ通報する
 2. 虐待を行った職員と話し合い・注意等を行う
 3. 虐待を受けた利用者・家族等と話し合い、説明を行う
 4. 事業所内でケース会議・カンファレンスを行う
 5. 虐待を行った職員を含めて全体に注意喚起を行う
 6. 虐待防止・身体拘束廃止等に委員会等で対応を検討する
 7. 職員に研修の実施又は外部研修への参加を促す
 8. 業務体制、マニュアルの見直しを行う
 9. その他（具体的に：)

問33 事業所での高齢者虐待の防止にむけて必要と思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 職員体制の整備・見直し
 2. 業務内容の見直し
 3. 虐待防止に関するマニュアルやチェックリストの作成・見直し
 4. 虐待防止に関する事業所内の方針の明確化
 5. 虐待防止に関する事業所内の職員による役割や責任の明確化
 6. 事業所内のコンプライアンスの徹底
 7. 事業所内での多職種間の連携
 8. 夜間体制の強化
 9. 高齢者への支援等に関する研修の実施
 10. 他事業所との情報交換等、交流の機会をつくること
 11. 行政等相談窓口への確認・相談の積極的な実施
 12. 家族等への連絡・報告を密に実施
 13. 第三者からの定期的な点検・サービス評価を受ける仕組みの導入
 14. 高齢者虐待や苦情対応など権利擁護に関する組織体制の整備
 15. 法的な問題について相談できる存在の確保
 16. ボランティア等の人材の活用
 17. 高齢者虐待の実態調査の実施
 18. 全市的な虐待防止の啓発
 19. その他（具体的に：)

18

問34 災害に係る業務継続計画（BCP）について事業所内で周知が図られていますか。
（○は1つ）

1. 図られている	2. 図られていない
-----------	------------

問35 感染症に係る業務継続計画（BCP）について事業所内で周知が図られていますか。
（○は1つ）

1. 図られている	2. 図られていない
-----------	------------

問36 現在行っている非常災害時の対策について当てはまるものに○をつけてください。
（○はいくつでも）

1. 非常災害対策の具体的計画を定めている 2. 定期的に避難訓練等を実施している 3. 自治会等の防災訓練等に参加している 4. 非常用備蓄をしている 5. 新たな感染症の発生に備えている 6. 市と災害時防災協定を結んでいる 7. 他法人との連携・ネットワークを構築している 8. 非常用自家発電装置（照明・冷暖房等に電力を供給するもの）を備えている 9. その他（具体的に： 10. 特に対策はとっていない

問37 貴事業所が、介護保険サービス（総合事業を含む）を実施する上で、課題や改善が必要と考えていることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1. 介護職員等の人員確保 2. 介護職員等の人材育成 3. 経営経費・活動資金 4. 実態に即した介護報酬の改定 5. 利用者の継続的な確保 6. 利用者に対する情報提供 7. 利用者ニーズの把握 8. 情報の入手や活用 9. 作成・保存する書類の量が多いこと 10. 客観的なサービス評価 11. 行政や事業者間の連携 12. 医療と介護の連携 13. その他（具体的に： 14. 特に問題・課題はない
--

問38 貴事業所では、介護職員等の早期離職防止や定着促進を図るために、どのような方策をとっていますか。またどのような方策が必要と考えますか。（○はいくつでも）

	とっている方策	必要な方策
1.	賃金・労働時間等の労働条件（休暇をとりやすくすることも含める）を改善している	
2.	能力や仕事ぶりを評価し、配置や処遇に反映している	
3.	職員の仕事内容に必要な能力等を明示している	
4.	キャリアに応じた給与体系を整備している	
5.	非正規職員から正規職員への転換の機会を設けている	
6.	能力開発を充実させている （社内研修実施、社外講習等の受講・支援等）	
7.	労働時間（時間帯・総労働時間）の希望を聞いている	
8.	仕事に係る悩み、不満、不安などの相談窓口を設けている （メンタルヘルス対策を含む）	
9.	非常勤職員含め、健診受診勧奨など、健康対策や健康管理に力を 入れている	
10.	職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化を図っている （定期的なミーティング、意見交換会、チームケア等）	
11.	福利厚生を充実させ、職場内の交流を深めている （カラオケ、ボウリングなどの同好会、親睦会等の実施を含む）	
12.	職場環境を整えている （休憩室、談話室、出社時に座れる席の確保等）	
13.	子育て支援を行っている （子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）	
14.	その他（具体的に： ）	
15.	特に方策はとっていない	

問39 最後に、介護保険事業、保健・福祉サービス、経営に関することなど、どのようなことでも結構ですので、市などに対する要望がありましたら、お書きください。

_____ _____ _____

アンケートは以上です。長時間にわたり、ご協力いただきありがとうございました。
記入した調査票は同封の返信用封筒に入れ、令和7年12月15日（月）までに

郵便ポストに投函してください

立川市高齢者福祉介護計画改定事前調査報告書

令和8（2026）年4月

立川市 保健医療部 介護保険課・高齢政策課

〒190-8666 東京都立川市泉町1156番地の9

TEL 042-528-4370

FAX 042-522-2481

